取扱説明書

FOMA® SH903iTV

’07.10

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA SH903iTV」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなどの機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA SH903iTVは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、
  RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。
FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただけます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう（☞P.12）
2. 電池パックをセットし、充電しましょう（☞P.39、P.40）
3. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（☞P.44、P.46）
4. 本体のボタンなどの役割を確認しましょう（☞P.24）
5. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（☞P.28）
6. メニューの操作方法を確認しましょう（☞P.32）
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう（☞P.47）

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、本体色に合わせて初期設定されています（きせかえツール☞P.136）。本書では、主にきせかえツールの設定が本体色「White」の場合で説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

ボタン表記と操作手順

- 本書ではボタンの表記を簡略したデザインで表記しております。

実際のボタン	本書での表記
例）［1 あ ./-@］	［1］ ● P.24「各部の名称と機能」を参照してください。

- 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表　記	意　味
例）☎（1秒以上）	☎を1秒以上押し続ける。

本書の引きかたについて

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

次ページで詳しく説明しています。

索引から ☞P.466

FOMA SH903iTVのディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から ☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから ☞表紙

表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

目次から ☞P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から ☞P.8

新機能や便利な機能など、FOMA SH903iTVの特徴的な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー一覧から ☞P.418

FOMA SH903iTVのメニューに表示されるメニューを一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから ☞P.476

基本的な機能について簡潔に説明しています。切り離して外出の際にお持ちいただけます。

- この『FOMA SH903iTV取扱説明書』の本文中においては、「FOMA SH903iTV」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについて☞P.318
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

索引、かんたん検索、表紙インデックスからの引きかたは、アラーム機能を例に説明します。
● 本文中のページとは内容が異なります。

索引から

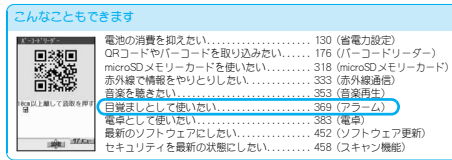
☞P.466

FOMA SH903iTVのディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。

P.369「アラーム」の説明ページへ

かんたん検索から

☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

P.369「アラーム」の説明ページへ

表紙インデックスから

☞表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

P.369「アラーム」の説明ページへ

※ 本文中のページとは内容が異なります。

お知らせ

- お買い上げ時の設定については、P.418「メニュー一覧」を参照してください。
- 本書ではmicroSDメモリーカードを、「microSDメモリーカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書では「ＩＣカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を、「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。

ディスプレイの表示について

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- Flash画像やアニメーション効果を持つアイコンなどが表示されている場合には、ディスプレイの表示が本書の表記とは異なる場合があります。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

テレビを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

※1 お申し込みが必要な有料サービスです。
※2 有料サービスです。

よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとしてまとめています（☞P.476）。

目次

※「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

FOMA SH903iTVの主な機能

FOMAとは、第３世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードはｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

ｉモード（月額使用料：有料）
※お申し込みが必要な有料サービスです。
☞P.182

ｉモーション対応
サイトやインターネットから映像や音楽を取得して楽しむことができます。保存したｉモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定することもできます。☞P.205

ｉモードメール、デコメ絵文字

テキスト本文に加えて、合計２Mバイトもしくは10個までファイル（JPEG、トルカなど）を添付することができます。また、デコメール／デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたりすることができ、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。☞P.212

着うたフル®

ｉモード上の対応サイトから楽曲を１曲まるごと取得し、再生したり着信音に設定することができます。☞P.116、P.354、P.356

メガｉアプリ、ｉアプリDX

ｉアプリをサイトから取り込むことにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。大容量のメガｉアプリ対応のため、高精細３Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することでよりｉアプリの楽しみ方が広がります。☞P.246

あんしん設定

おまかせロック※1☞P.149
FOMA端末を紛失した際に、お申し出によりそのFOMA端末へロックをかけられ、解除もできます。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。なお、おまかせロックは有料サービス※2です。

※１ おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

※２ ご利用中の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

電話帳お預かりサービス☞P.112、P.114、P.159
携帯電話の電話帳、静止画、メールを、お預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを携帯電話に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理することができ、編集したデータを携帯電話に反映することも可能です。
電話帳お預かりサービスご利用にあたっての注意事項およびご利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。なお、本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

豊富なネットワークサービス

- デュアルネットワークサービス（月額使用料：有料）☞P.397
- 留守番電話サービス（月額使用料：有料）☞P.392
- キャッチホン（月額使用料：有料）☞P.394
- SMS（ショートメッセージ）☞P.240
- 転送でんわサービス☞P.395

有効画素数約200万画素カメラと高精細ディスプレイ

有効画素数約200万画素のCMOSカメラ搭載

(記録画素数:メインカメラ約190万画素、サブカメラ約10万画素)
デジタルカメラで静止画や動画の撮影・再生を行うことができます。連写やフレーム付撮影も可能です。また、有効画素数約200万画素のCMOS、約11万画素のCMOSサブカメラにより、自分撮りやテレビ電話を利用することもできます。☞P.162

3.0型WQVGA高精細大画面液晶

3.0型のワイド大画面でワンセグを楽しむことができます。また、撮影した静止画や動画を美しい画質で見ることができます。ゲームなどのｉアプリも迫力あるワイド大画面で楽しめます。さらに、明るさセンサーにより、周囲の明るさに合わせてバックライトの輝度を調整し、省電力に活かすこともできます。☞P.132

サブディスプレイ

FOMA端末を閉じているときでも、電話やプッシュトーク、メールの着信を確認したり、時計や着もじ、ｉチャネルテロップを表示することができます。音楽再生中は、タイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。☞P.129

プライベートフィルタ

ディスプレイの濃淡を変えることにより、まわりの人から見えにくくし、大切なプライバシーを保護します。☞P.142

多彩な機能

microSDメモリーカード対応

小型のmicroSDメモリーカードに対応。FOMA端末(本体)とmicroSDメモリーカードとの間でやりとりをしたり、microSDメモリーカードへの直接保存による長時間の動画撮影&再生にも対応しています。また、ワンセグの番組をビデオ録画したり、コンテンツ移行対応のデータを保存したりできます。さらに、パソコンを利用して音楽や画像を保存することもできます。☞P.318

きせかえツール

きせかえツールを利用すると、TOPメニュー・ｉモードメニュー・メールメニューなどのメニューアイコンや背景画像、待受画面、着信音などを一括してカスタマイズできます。☞P.136

アクティブマーカー

最近利用した機能やファイルを簡単な操作で呼び出すことができます。また、当日のスケジュールやToDoリストの詳細を表示できます。
☞P.365

手ぶれ補正機能

カメラで動画を撮影するときに自動的に手ぶれを補正して撮影します。☞P.174

ワンタッチ節電モード

ワンタッチでディスプレイの設定を節電モード(Eco)に切り替えて、バッテリーの消耗を抑えることができます。☞P.130

FMトランスミッタ

ワンセグやビデオプレーヤー、ミュージックプレーヤー、SDオーディオの音声や音楽を、FOMA端末からFM電波で送信し、FMラジオや車載FMチューナーなどで受信して再生できます。
☞P.361

多彩なロック機能やセキュリティ設定

各種ロック機能やセキュリティの設定で、FOMA端末を安心してお使いいただけます。

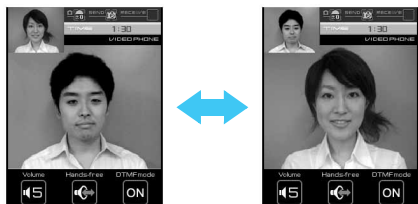
- 各種ロック機能☞P.148
- シークレットモード☞P.154
- まとめて簡単ロック☞P.152
- まとめて自動ロック☞P.153
- 発着信履歴表示☞P.153

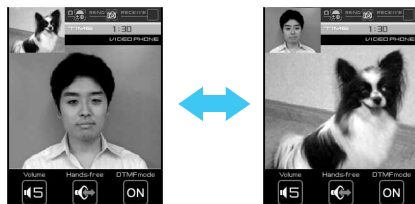
FOMA SH903iTVを使いこなす！

ここでは、FOMA SH903iTVの機能を紹介します。

テレビ電話 ☞P.48

■ サブカメラ使用でフェイスtoフェイスコミュニケーション

お互いの顔を見ながら会話できます。

■ メインカメラ使用でライブ中継

メインカメラとマイクを使うと、周囲の映像＋音声をリアルタイムで相手の方にお届けできます。

ｉチャネル ☞P.208

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。
また、ｉチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。

プッシュトーク ☞P.84

電話帳から相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけの簡単操作で、複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通信することができます。
グループ内での連絡や、短い用件を伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

おサイフケータイ／トルカ ☞P.262

ｉモード FeliCa に対応しているｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使ってショッピングの支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できます。
おサイフケータイ内のＩＣカードに電子マネーをサイトから入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。
さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のｉアプリをプリインストールしており、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。また、機種変更などのFOMA端末お取替え時でもＩＣカード内データを簡単に移行できる「ｉＣお引っこしサービス」にも対応しています。

音楽再生

■ ミュージックプレーヤー☞P.354

サイトやインターネットホームページからダウンロードした着うたフル®をミュージックプレーヤーで再生できます。iモーションの[マルチメディア]フォルダに保存したデータも再生できます。

■ SDオーディオ☞P.358

音楽CDの楽曲などを、SD-Jukeboxとパソコンなどを利用してmicroSDメモリーカードに保存すると、FOMA端末で音楽を再生することができます。

着もじ ☞P.56

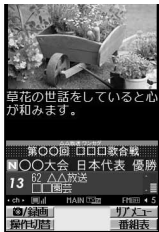
電話の着信画面にメッセージが表示されます。用件や緊急度などをあらかじめ伝えることができます。
また、着信履歴詳細画面でもメッセージの内容を確認できます。

テレビ

■ ワンセグ☞P.275

移動体向け地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」を視聴することができます。

■ マルチウインドウ☞P.278

サイクロイドポジションにすると、マルチウインドウでワンセグを視聴しながら他の機能を利用できます。

■ ビデオ☞P.284、P.296、P.311

ワンセグの視聴中にビデオ録画や静止画録画をすることができます。録画した番組や静止画は、FOMA端末で見ることができます。

■ 視聴予約・録画予約☞P.279

視聴や録画の予約をすることができます。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示内容の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ(充電器含む)・FOMAカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ(充電器含む)は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

- 電池パック SH11
- 卓上ホルダ SH13
- FOMA ACアダプタ01/02
- FOMA DCアダプタ01/02
- FOMA乾電池アダプタ 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
- FOMA 補助充電アダプタ 01

※ その他、互換性のある商品については、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

濡らさないでください。

水ぬれ禁止

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

**分解、改造をしないでください。
また、ハンダ付けしないでください。**

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ＩＣカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

⚠注意

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

⚠注意

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

2004年11月１日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。
ハンズフリーキットをご利用の場合でも自動車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能（自動電源ON）が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については、各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

⚠警告

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作するなどの影響を与える場合があります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

⚠注意

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが他の人に当たり、けがの原因となります。

アンテナが破損したまま使用しないでください。

肌に触れるとやけどなど、けがの原因となります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

使用箇所	素　材	表面処理
マルチガイドボタン	ABS	クロムメッキ
決定ボタン		
TVアンテナの金属部分	黄銅	
背面部の機種名パネル（大）	ニッケル	
背面部の機種名パネル（小）	ステンレス	
メインディスプレイ下部の機種名パネル		塗装
イヤホンマイク端子		すずメッキ
外部接続端子		
充電端子		金メッキ
microSDメモリーカードスロット内部		－

⚠注意

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

指示

けがなどの事故や破損の原因となります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

指示

視力低下につながる可能性があります。

FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

指示

FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

FMトランスミッタは日本国内で使用してください。

指示

FOMA端末のFMトランスミッタは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

禁止

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

火の中に投下しないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠危険

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診療を受けてください。

指示

失明などの原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

指示

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

指示

皮膚に傷害を起こす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

指示

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠警告

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

禁止

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

禁止

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。

禁止

感電の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

禁止

落雷、感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

禁止

感電、発熱、火災の原因となります。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指示

指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

⚠警告

指定の電源、電圧で使用してください。

指示

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、発煙、火災の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

禁止

火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

指示

感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

電源プラグを抜く

感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。

禁止

感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）コードや電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、FOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内ではFOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

⚠警告

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

指示

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード（ＩＣ部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

指示

手や指を傷付ける可能性があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
  FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子はときどき乾いた綿棒で清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると液晶画面、内部基盤などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障・破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだままFOMA端末を折りたたまないでください。故障、破損の原因となります。
- メインディスプレイ面やダイヤルボタンのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。FOMA端末は周囲温度5℃〜35℃、湿度45%〜85%の範囲でご使用ください。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- リアカバーの裏側に、無線対策のためのシートが貼られています。このシートをはがさないでください。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- はじめてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 充電は、適正な周囲温度(5℃〜35℃)の場所で行ってください。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。

アダプタ(充電器含む)についてのお願い

- 充電中、アダプタ(充電器含む)が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- 極端な高温・低温は避けてください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- ＩＣを傷付けたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となります。

カメラについてのお願い

- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

FeliCa リーダー／ライターについて

- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

FMトランスミッタについて

- FOMA端末のFMトランスミッタ機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は77.4～85.0MHz帯です。ご使用の際は、周囲のFMラジオ利用者への影響を避けるため、ご利用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊎」がFOMA端末の銘板シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「mova」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「プッシュトーク」、「プッシュトークプラス」、「ｉメロディ」、「mopera」、「mopera U」、「FirstPass」、「キャラ電」、「デコメール」、「着モーション」、「ｉモーションメール」、「ｉアプリ」、「ｉアプリDX」、「ｉモーション」、「ｉモード」、「ｉチャネル」、「パケ・ホーダイ」、「iD」、「DCMX」、「ショートメール」、「WORLD WING」、「公共モード」、「DoPa」、「WORLD CALL」、「デュアルネットワーク」、「ビジュアルネット」、「Vライブ」、「セキュリティスキャン」、「musea」、「sigmarion」、「メッセージF」、「マルチナンバー」、「おまかせロック」、「電話帳お預かりサービス」、「着もじ」、「ｉCお引っこしサービス」、「ファミリーワイドリミット」、「きせかえツール」、「OFFICEED」、「IMCS」、「ｉエリア」、「i-mode」ロゴ、「FOMA」ロゴ、「i αppli」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはＮＴＴコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- symbian 本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian 関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltd の商標または登録商標です。

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 本製品は、インターネットブラウザとその他のアプリケーションソフトウェアとして、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Client、NetFront Browser DTV Profile Wireless Editionを搭載しています。
- 本製品は放送コンテンツ起動機能として、株式会社ACCESSのMedia:/メディアコロン仕様を採用しています。

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ACCESS、NetFront、Media:/メディアコロンは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。（Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴは商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- picsel ドキュメントビューアはPicsel Technologiesにより実現しています。
  Picsel, Picsel Powered, Picsel Viewer, Picsel Document Viewer and the Picsel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picsel Technologies and/or its affiliates.
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび ® は、シャープ株式会社の登録商標です。
- 「AQUOSケータイ」、「サイクロイド」および「Cycloid」は、シャープ株式会社の商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- マルチタスク／Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。

- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - ・MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
  - ・個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ・ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - ・タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - ・永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。

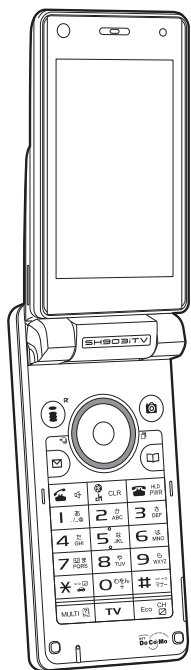
  Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 次の1件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

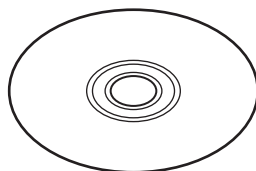
4,901,307	5,490,165	5,056,109
5,504,773	5,101,501	5,506,865
5,109,390	5,511,073	5,228,054
5,535,239	5,267,261	5,544,196
5,267,262	5,568,483	5,337,338
5,600,754	5,414,796	5,657,420
5,416,797	5,659,569	5,710,784
5,778,338		

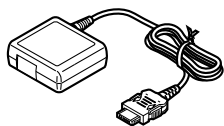
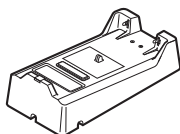
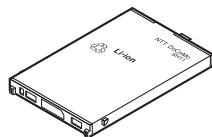
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Reader® テクノロジーを搭載しています。

  AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 「CP8 PATENT」
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

FOMA SH903iTV本体
（保証書・リアカバーSH14含む）

FOMA SH903iTV取扱説明書（本書）
※P.476にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA SH903iTV用CD-ROM
※PDF版「データ通信マニュアル」、「区点コード一覧」を収録しています。

主なオプション品

FOMA ACアダプタ01／02
（保証書・取扱説明書付き）

卓上ホルダ SH13
（取扱説明書付き）

電池パック SH11
（取扱説明書付き）

- その他のオプション品については、P.437を参照してください。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

※ 本書で記載しているボタンは、実際のデザインとは異なる場合があります。

明るさセンサー部分について

省電力設定の明るさ調整（☞P.130、P.132）を［自動］に設定すると、周りの明るさを感知して自動的にディスプレイの照明の明るさやボタンのバックライトの照明を点灯させるかどうかを調整します。センサー部分（12）にシールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

1 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。
- 待受中に伝言メモ／音声メモの録音内容がここから聞こえます。

2 サブカメラ

自分を撮影（☞P.168）したり、テレビ電話時（☞P.48）に自分側の映像を相手に送信するときに使用します。

3 メインディスプレイ（☞P.28）

4 マルチガイドボタン（４方向ボタン◎＆決定ボタン◉）（☞P.27）
- TOPメニュー、リダイヤル、着信履歴、ショートカットメニュー、アクティブマーカー（☞P.365）を表示／選択するときや操作を実行／決定するときに押します。
- 待受画面で◉を１秒以上押すと、まとめて簡単ロックを設定／解除します（☞P.152）。解除するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- 待受画面で◎を１秒以上押すと、ＩＣカードロックを設定／解除します（☞P.270）。解除するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- 待受画面で◎を１秒以上押すと、受話音量を調節できます（☞P.119）。

5 ｉモード／操作ガイダンス用ボタン◎（α）
- テレビ電話をかけたり受けたりするときに押します（☞P.49、P.63）。
- ｉモードを利用するときに押します（☞P.182）。
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します（☞P.27）。
- 待受画面で１秒以上押すと、ｉアプリ画面が表示されます（☞P.249）。

6 メール／操作ガイダンス用ボタン
- メール機能を利用するときに押します（☞P.214）。
- 待受画面で1秒以上押すと、メールの新規作成画面が表示されます（☞P.214）。
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します（☞P.27）。
- 文字を入力中に大文字／小文字を切り替えます（☞P.411）。
- 文字入力画面で1秒以上押すと、定型文挿入画面が表示されます（☞P.412）。
- 2回押すとｉモード問い合わせをします（☞P.201、P.225）。

7 開始／ハンズフリーボタン
- 音声電話をかけるときや受けるときに押します。
- 音声電話の通話中に1秒以上押すとハンズフリーのON／OFFを切り替えます（☞P.51）。
- テレビ電話の通話中に押すとハンズフリーのON／OFFを切り替えます（☞P.80）。
- プッシュトーク通信中に押すとハンズフリーのON／OFFを切り替えます（☞P.86）。

8 ダイヤル／文字入力ボタン1～9、0
- 電話番号を入力するときに押します（☞P.49）。
- 文字を入力するときに押します（☞P.408）。

9 ＊／改行／公共モード（ドライブモード）ボタン＊
- ［＊］や、［゛］（濁点）、［゜］（半濁点）を入力したり改行するときに押します（☞P.409）。
- 待受画面で1秒以上押すと、公共モード（ドライブモード）を設定／解除します（☞P.68）。

10 MULTI／サポートブックボタンMULTI
- マルチアシスタント起動：アプリ実行中に押すと、電話帳やメールなど他の機能を利用することができます（☞P.364）。
- サポートブック表示：待受画面で押すとサポートブック（内蔵）が表示されます（☞P.35）。
- ショートカットメニュー登録：画面に［ ］が表示されているときに1秒以上押すと、ショートカットメニューに登録できます（☞P.380）。

11 送話口
自分の声をここから伝えます。

12 明るさセンサー（☞P.130、P.132）
周囲の明るさを感知して自動的にディスプレイの照明の明るさやボタンのバックライトのON／OFFを調整します。

13 カメラ／操作ガイダンス用ボタン
- カメラモードを利用するときに押します（☞P.166）。
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します（☞P.27）。
- 待受画面で1秒以上押すと、データBOX画面が表示されます（☞P.296、P.305、P.311、P.354）。

14 電話帳／操作ガイダンス用ボタン
- 電話帳を利用するときに押します（☞P.96）。
- 待受画面で1秒以上押すと、電話帳登録画面が表示されます（☞P.98、P.103）。
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します（☞P.27）。
- 入力する文字の種類を変更するときに押します（☞P.410）。
- 文字入力画面で1秒以上押すとインターネットに関連した定型文を利用できます（☞P.412）。

15 ｉチャネル／クリア／ｉアプリ待受画面ボタンCLR（ch）
- チャネル一覧を表示するときに押します（☞P.209）。
- 入力した電話番号や文字などを削除するときに使います（☞P.410）。
- 前のメニューやページに戻るときに押します。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときに押すと、ｉアプリが起動します（☞P.257）。

16 電源／終了／応答保留ボタン
- 電源を入れる／切るときに2秒以上押します（☞P.44）。
- 通話やｉモードを終了するとき、および着信時の応答を保留するときに押します（☞P.67）。
- 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像を設定しているときに押すと、再生／一時停止できます。ｉモーションを設定しているときに押すと、再生／停止できます（☞P.126）。

17 #／マナーモード／カメラ切替ボタン#
- ［#］や［ー］（長音）、［、］（読点）、［。］（句点）、［!］（感嘆符）、［?］（疑問符）、［・］（中点）を入力するときに押します。
- 待受画面で1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除します（☞P.123）。
- 撮影時はメインカメラとサブカメラを切り替えます（☞P.168、P.171）。

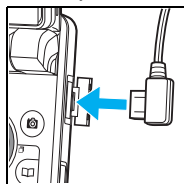
次ページへ続く

⑱ 節電モード(Eco)/プライベートフィルタ/チャンネルボタン[Eco]
- 待受画面で押すと、節電モード(Eco)に設定できます。すでに節電モード(Eco)に設定していた場合は、省電力設定画面が表示されます(☞P.130)。
- 1秒以上押すと、プライベートフィルタの設定/解除を切り替えます(☞P.142)。
- マルチウインドウでワンセグ視聴中は、チャンネルを順送りします(☞P.276)。

⑲ テレビボタン[TV]
- ワンセグを起動するときに押します(☞P.275)。
- 待受画面で1秒以上押すと、ワンセグメニュー画面が表示されます(☞P.274)。
- マルチアシスタントを使ってワンセグと他の機能を同時に利用中に押すと、ワンセグと他の機能の表示を切り替えます(☞P.278)。

⑳ スピーカ
- 着信音などが鳴ります。
- 音声電話/テレビ電話/プッシュトークのハンズフリー通信時に相手の声を聞くことができます。

㉑ イヤホンマイク端子(☞P.386)

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続します。
イヤホンジャック変換アダプタ(別売)を使用すると、従来のスイッチ付イヤホンマイクなども利用できます。

㉒ プッシュトークボタン[P](P)
- プッシュトーク電話帳を利用するときに押します(☞P.89)。
- プッシュトーク発信するときに使用します。プッシュトーク通信中に、話をしたいときに押したまま使用します(☞P.86)。
- 1秒以上押すと、サイドボタン操作をロック/解除できます(☞P.153)。

㉓ 音量UPボタン[▲]
- FOMA端末を閉じた状態でのプッシュトーク通信中に、受話音量を上げることができます(☞P.67)。
- ワンセグ視聴中に音量を上げることができます(☞P.276)。
- FOMA端末を閉じた状態で押すと、サブディスプレイにｉチャネルテロップが表示されます。
- FOMA端末を閉じた状態で音楽再生中に、音量を上げることができます。1秒以上押すと、前の曲に戻す/頭出しができます(☞P.355、P.359)。

㉔ 音量DOWNボタン[▼]
- FOMA端末を閉じた状態でのプッシュトーク通信中に、受話音量を下げることができます(☞P.67)。
- ワンセグ視聴中に音量を下げることができます(☞P.276)。
- FOMA端末を閉じた状態で音楽再生中に、音量を下げることができます。1秒以上押すと、次の曲を再生することができます(☞P.355、P.359)。

㉕ microSDメモリーカードスロット(☞P.319)

microSDメモリーカードを挿入します。

㉖ 着信ランプ/充電ランプ/撮影ランプ
- 電話がかかってくると点滅します(☞P.138)。
- 充電中は点灯します(☞P.40)。
- カメラ起動時や撮影中に点灯します(☞P.166、P.167、P.169)。

㉗ サブディスプレイ(☞P.28)

㉘ TVアンテナ(☞P.273)

ワンセグを受信するときや、FMトランスミッタ機能を利用するときに使います。

㉙ ストラップ取付口

市販のストラップを取り付けるときは、FOMA端末を閉じた状態で取り付けてください。

㉚ 外部接続端子

ACアダプタ/DCアダプタ(☞P.41)、FOMA USB接続ケーブル(別売)など外部機器を接続するための端子です。

㉛ 接写レバー(☞P.170)

カメラ撮影の接写モードと通常モードを切り替えます。

㉜ 赤外線ポート(☞P.335)

赤外線通信や、赤外線リモコンを利用するときに使います。

㉝ FOMAアンテナ

アンテナが内蔵されています。

㉞ メインカメラ

周囲を撮影(☞P.162)したり、テレビ電話時(☞P.48)に周囲の映像を相手に送信するときに使います。

㉟ リアカバー(☞P.39)

㊱ FeliCa マーク(☞P.263)

ＩＣカードが搭載されています(取り外すことはできません)。
FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイとして使います。

㊲ 充電端子(☞P.42)

卓上ホルダで充電するための端子です。

FOMA端末の開きかた

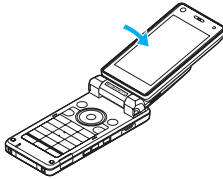
FOMA端末を利用するときは、FOMA端末を開くか(通常ポジション)、サイクロイドポジションにします。

● 携帯するときは、操作1の図のようにFOMA端末を閉じておくことをおすすめします。

通常ポジション

1

両手で持って軽く開く。

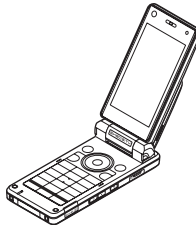
2

ディスプレイを最後まで開く。

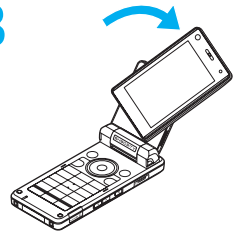
サイクロイドポジション

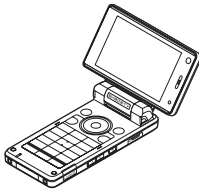
待受画面などでサイクロイドポジションにすると、自動的にワンセグが起動します。

1

両手で持って軽く開く。

2

ディスプレイを途中で止まる位置まで開く。

3

ディスプレイを右に90度回転させる。

4

お知らせ

● FOMA端末のディスプレイを回転させるときは、左回りに回転させたり90度以上回転させないでください。

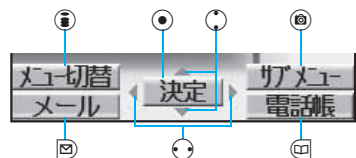
● サイクロイドポジションで通話するときは、必ず平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用するか、ハンズフリーを利用してください。受話口で通話するときは、必ず通常ポジションにしてください。

マルチガイドボタンの操作方法と操作ガイダンスの選択方法

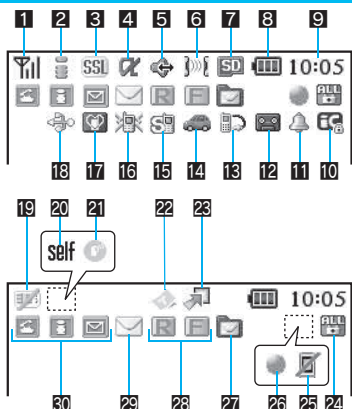
マルチガイドボタンの操作方法

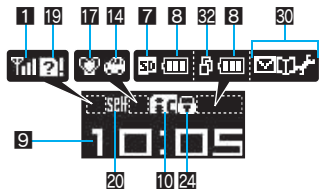
画面に表示されているメニューの選択や決定には、マルチガイドボタン(4方向ボタン&決定ボタン)を使います。でカーソルを移動させ、で決定します。

操作ガイダンスの選択方法

画面下部に表示される操作ガイダンスのメニューはそれぞれに割り当てられたボタンを使って実行することができます(場面によって割り当てられる機能が異なります)。

ディスプレイの見かた

電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認できます(メインディスプレイ表示／サブディスプレイ表示の順で記載しています)。
いずれかのボタンを押すと、一定時間ディスプレイの照明が点灯します。お買い上げ時は、[10秒]に設定されています(☞P.130)。

ディスプレイ上部に表示されるマーク

ディスプレイ下部に表示されるマーク

サブディスプレイに表示されるマーク

1 電波状態表示

電波の強さの目安
強 ←→ 弱

● [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。電波マークは変更できます(☞P.133)。

2 ｉモード／フルブラウザ表示(☞P.182、P.289)

	ｉモード／フルブラウザの状態を表示

3 SSL表示(☞P.183)

(SSL)	SSL対応サイト表示中 SSL対応インターネットホームページ表示中

● マルチアシスタント動作時に表示されている場合は、マルチアシスタントを利用してｉモード／フルブラウザ／ｉアプリ／ソフトウェア更新を実行中です。

4 ｉアプリ表示(☞P.249)

(α)	ｉアプリ実行中 ｉアプリ待受画面実行中
(α反転)	ｉアプリ待受画面設定中※
(dx)	ｉアプリDX起動中 ｉアプリDX待受画面起動中
(dx反転)	ｉアプリDX待受画面設定中※

※ ｉアプリが待受画面として表示されますが操作できない状態です。

5 ハンズフリー表示(☞P.51、P.79)

(赤色)	ハンズフリー通話中
(緑色)	ハンズフリー対応機器接続中

● ハンズフリー表示が表示されているときは、未読トルカがあるときでも、トルカ表示は表示されません。

6 赤外線通信／外部機器通信中表示

	赤外線通信機能で他の機器とデータ通信中(☞P.333) 赤外線リモコン送信中(☞P.337)
(緑色)	外部機器を接続し、パケット通信中
(赤色)	外部機器を接続し、パケットデータ送受信中
	外部機器を接続し、64Kデータ通信中

7 microSDメモリーカード表示(☞P.318)

(グレー)／	microSDメモリーカードを挿入中
(ピンク)／	microSDメモリーカード内のデータを参照中

8 電池残量／充電中表示（☞P.43）

／	電池残量の表示
／	充電時の表示

● 電池マークは変更できます（☞P.133）。

9 時計表示（☞P.45）
設定されている時刻を表示します。

10 ＩＣカードロック表示（☞P.270）

／	ＩＣカードロック中

11 アラーム（アラーム／スケジュール／ToDoリスト／視聴予約／録画予約）表示（☞P.280、P.369、P.373、P.378）

	スケジュールアラーム設定中※ ToDoアラーム設定中※ アラーム設定中 視聴予約アラーム設定中※ 録画予約アラーム設定中※

※ 当日にアラームが設定されている場合のみ表示されます。

12 伝言メモ表示（☞P.71）

	伝言メモ設定中

● 伝言メモが録音／録画されているときは、両方の件数を合わせ、[ ]～[ ]と表示されます。音声伝言メモ３件とテレビ電話伝言メモ２件が録音／録画されると、[ ]と表示されます。

13 イヤホンマイク接続表示（☞P.388）

	平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中（音声電話／テレビ電話のオート着信設定時） プッシュトークのオート着信設定中

● プッシュトークのオート着信設定中はスイッチ付イヤホンマイクを接続していなくても表示されます。

14 公共モード（ドライブモード）表示（☞P.68）

／	公共モード（ドライブモード）設定中

15 サイレント表示（☞P.118）

	音声電話着信音［サイレント］設定中

16 バイブレータ表示（☞P.121）

	着信バイブレータ設定中

17 マナーモード表示（☞P.123）

／	マナーモード設定中

18 USBモード表示（☞P.327）

	FOMA USB接続ケーブル（別売）接続中

19 FOMAカードエラー表示

／	FOMAカードが挿入されていないとき、またはFOMAカードに異常があるときに表示
／	FOMAカード以外のカードを挿入したときに表示

20 セルフモード表示（☞P.150）

self／SELF	セルフモード設定中

● 電話やプッシュトークの発信、着信、ｉモードメール／SMSの送受信、ｉモード、赤外線通信の機能を使えないようにしたときに表示します。

21 プッシュトーク表示（☞P.85）

	プッシュトーク通信中

22 トルカ表示（☞P.266）

	未読トルカあり

23 ショートカットメニュー表示（☞P.380）

	ショートカットメニューに登録できるときに表示

24 制限表示（☞P.148、P.154）

／	シークレットモード
	シークレットデータ編集中
	ダイヤル発信制限中
／	オールロック中
／	機能別ロック中
／	ダイヤル発信制限と機能別ロックを設定中
／	シークレットモードと機能別ロックまたはダイヤル発信制限を設定中
／	ボタン操作無効設定中

25 プライベートフィルタ表示（☞P.142）

	プライベートフィルタ設定中

26 ワンセグ録画中表示（☞P.279、P.284）

	ワンセグ録画中

● ワンセグ録画中表示が表示されているときは、プライベートフィルタが［ON］のときでも、プライベートフィルタ表示は表示されません。

27 ｉモードメールセンター保管状態表示（☞P.223）

	センターにメールを保管中
	センターに保管中のメールがいっぱい

28 メッセージR／Fアイコン表示（☞P.200）

R（緑色）F（緑色） R（黄色）F（黄色）	メッセージR／Fの受信状態を表示
RFRFRF RFRFRF	メッセージR／Fの保管状態を表示

● センター保管中でも表示されないことがあります。

29 ｉモードメール／SMS受信表示（☞P.223）

（緑色） （赤色）	ｉモードメール／SMSの受信状態を表示
SMS（赤文字） SMS（青文字）	受信メールを保存するメモリの状態を表示

30 マルチタスク表示（☞P.364）

起動中の機能を表示します。

● ２つ以上の機能が起動中の場合サブディスプレイにも表示されます。

	４つ以上のアプリが起動中		電話帳
			カメラ（静止画）
	テレビ電話		カメラ（動画）
	音声電話		カメラ（OCR）
	プッシュトーク／プッシュトーク電話帳		バーコードリーダー
			ボイスレコーダー
	モデム通信中（データ通信中に表示）		スケジュール
			ToDo
	ソフトウェア更新中		テキストメモ
			電卓
	赤外線受信		ブックリーダー
	ｉアプリ		トルカ
	ｉモード		アラーム
	フルブラウザ		タイマー
	ｉチャネル		microSD管理
	メール／SMS／ｉモード問い合わせ		各種設定
			伝言メモ・音声メモ
	メール／SMS作成中		リダイヤル表示中
	ワンセグ		ドキュメントビューア
	メッセージR／F		着信履歴表示中
	SDオーディオ		自局電話番号表示中
	データBOX		

31 操作ガイダンス

、、、、、などのボタン操作で利用できる機能を表示します。

32 操作中表示

メインディスプレイに待受画面以外を表示させたままFOMA端末を閉じると、サブディスプレイに表示される場合があります。メインディスプレイに待受画面を表示すると表示は消えます。

	メインディスプレイに待受画面以外を表示中

その他のマークについて

次の機能をご利用時に表示されるマークについては、各機能のページを参照してください。

- テレビ電話（☞P.48）
- リダイヤル／着信履歴（☞P.53〜P.55）
- 電話帳（☞P.97〜P.99）
- カメラモード（☞P.164〜P.166）
- メッセージR／F（☞P.200〜P.202）
- メール／SMS（☞P.229〜P.231）
- メール受信／送信履歴一覧・詳細画面（☞P.235）
- トルカ（☞P.266）
- データBOXのマイピクチャ（☞P.297〜P.298）
- データBOXのｉモーション（☞P.307〜P.308）
- データBOXのメロディ（☞P.317）
- ワンセグ（☞P.276）

お知らせ

- FOMA端末上では、microSDメモリーカードは[microSD]または[SD]と表示されます（☞P.318）。
- 本書で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- サブディスプレイの表示時間は照明時間設定に従います。

ストックアイコンからお知らせの内容を確認する

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、[着信あり]や[新着メールあり]などのメッセージとストックアイコンを表示してお知らせします。待受画面でストックアイコンを選び、お知らせの内容を確認することができます。

■ ストックアイコン

アイコン	メッセージ	内 容
☎	着信あり	かかってきた電話に出られなかったときに表示されます。着信履歴一覧画面が表示されます(☞P.71)。
✉	新着メールあり	新着のｉモードメールやSMSがあるときに表示されます。受信BOX のフォルダ一覧画面が表示されます(☞P.223)。
[トルカアイコン]	新着トルカあり	新着トルカがあるときに表示されます。トルカ一覧画面が表示されます(☞P.266)。
[留守録音アイコン]	留守録音あり	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されたときに表示されます。留守番電話サービスメッセージ確認画面が表示されます(☞P.393)。
[伝言メモアイコン]	伝言メモあり テレビ伝言メモあり	伝言メモが録音されたときに表示されます。伝言メモ一覧画面が表示され、伝言メモを再生できます(☞P.74)。
MENU	TOPメニュー	TOPメニューを表示します(☞P.33)。

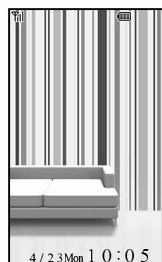
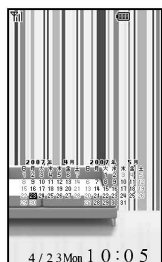
1 待受画面にストックアイコンが表示されているときに、◉を押す。

- ズームメニューにしているときは、表示されるストックアイコンのメッセージが一部異なります。
- 待受画面に設定しているｉモーションの再生中や、ｉアプリ待受画面実行中は、ストックアイコンが表示されません。

2 ◌でストックアイコンを選んで◉を押す。

- お知らせの内容を確認できます。
- 内容を確認するとストックアイコンとメッセージは消えます。

ディスプレイの表示を切り替える

カレンダー表示を設定しているときに待受画面で☎を押すと、待受画面表示とカレンダー表示が切り替わります(☞P.126)。

待受画面表示

カレンダー表示の例
（２ヶ月下表示）

- ［1ヶ月(大)］を設定しているときは、スケジュールが設定されている日付の右側にアイコンが表示されます。

メニューの選択方法

機能の設定や登録は、メニューを表示させてから行います。

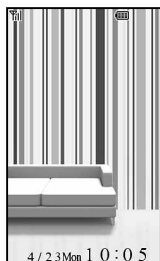
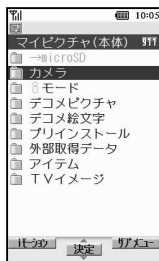
- メニューを表示させるには次の方法があります。
  - ■ 機能番号を入力して機能を呼び出す（☞P.32）。
  - ■ TOPメニューから順に機能を選択する（☞P.33）。
  - ■ ショートカットメニューから機能を選択する（☞P.380）。
  - ■ よく使う機能を大きな文字表示で選択する（ズームメニュー）（☞P.34）。
  - ■ 操作ガイダンスに表示されるサブメニューから機能を選択する（☞P.35）。
- 本書では、メニューを選択する操作は機能番号を入力する方法を基準に説明しています。
- TOPメニュー、ショートカットメニュー、ズームメニューはメニュー表示中に[メニュー切替]を押して順に切り替えることができます。待受画面で◉を押したときは、前回と同じメニューが表示されます。
- 待受画面に[]（MENU）と、[]、[]、[]、[]、[]のいずれかが表示されている場合は、◉を押してからで[]（MENU）を選んで◉を押してください。
- 機能を選び直すときは、CLRを押すと１つ前の画面に戻ります。

機能番号を入力して機能を呼び出す

機能番号を入力すると、すばやく目的の機能を呼び出すことができます。
機能番号の最初の番号は、各種設定が１～８、データBOXが91、LifeKitが92、メディアツールが93となっています。

- ショートカットメニュー、ズームメニューのとき、機能番号を入力して機能を呼び出すことはできません。

待受画面で◉を押し、機能番号を入力します。さらにで機能を選んで◉を押します。

例：機能番号[911]で[マイピクチャ（本体）]を呼び出し、[カメラ]内の静止画を表示する

待受画面　　[マイピクチャ（本体）]を表示　　[カメラ]を表示

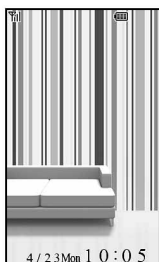
TOPメニューから機能を選択する

９つのアイコンに分類されたメニューから機能の利用や設定を行うことができます。

● メニューを選んで機能を呼び出す場合は、P.418～P.425を参照してください。

● アイコンは変更できます（アイコン画像設定☞P.134）。

待受画面で◉を押し、⊛で目的のメニューやアイコンを選んで◉を押します。さらに⊛で機能を選んで◉を押します。

例：TOPメニューから［マイピクチャ（本体）］を呼び出し、［カメラ］内の静止画を表示する

待受画面　TOPメニューを表示　［データBOX］を表示

［マイピクチャ（本体）］を表示　［カメラ］を表示

お知らせ

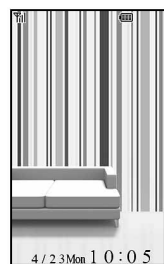
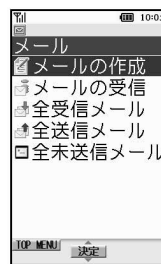
● TOPメニュー、ｉモードメニューやメールメニューのメニュー用画像を変更することができます（☞P.134、P.136）。

ズームメニューから機能を選択する<ズームメニュー>

ズームメニューとは、よく使う機能を見やすく大きい文字で表示したメニューです。ズームメニューを使うと、大きい文字表示で基本的な操作ができます。
お買い上げ時は、待受画面で⊙を押し、ⓘ[メニュー切替]を２回押すとズームメニューが表示されます。◌で機能を選んで⊙を押します。

メニュー	機　能	表示される画面	ページ
電話	電話帳の表示	電話帳検索画面	P.107
	リダイヤル	１件表示画面	P.53
	着信履歴	１件表示画面	P.54
	伝言メモ	録音／再生／機能別ロックの選択画面	P.74
	電話帳の登録	電話帳入力画面	P.102
	自分の電話番号	電話番号表示画面	P.46
メール	メールの作成	メール作成画面	P.214
	メールの受信	ｉモード問い合わせ	P.225
	全受信メール	受信BOX	P.229～P.231
	全送信メール	送信BOX	
	全未送信メール	未送信BOX	
ⓘモード	ⓘMenu	ｉMenu	P.182
	全Bookmark表示	Bookmark一覧画面	P.189
	画面メモの表示	画面メモ一覧画面	P.191
	ラストURL	ラストURL表示画面	P.184
カメラ	写真を撮る	静止画撮影画面	P.167
	写真を見る	データBOXのマイピクチャ（本体）のフォルダ一覧	P.296
	映像を撮る	動画撮影画面	P.169
	映像を見る	データBOXのｉモーション（本体）のフォルダ一覧	P.305
	バーコードリーダー	バーコードリーダーモード	P.176

メニュー	機　能	表示される画面	ページ
設定	着信音の設定	着信音量／着信音／メール着信音量／メール着信音の選択画面	P.116 P.118
	待受画面の設定	待受画面設定画面	P.125
	通話時間／料金	通話時間／料金確認画面	P.384
	留守番電話	留守番電話設定画面	P.392
便利機能	ボイスレコーダー	ボイスレコーダー	P.338
	スケジュール	カレンダー画面	P.371
	電卓	電卓	P.383
	ブックリーダー	ブックリーダーフォルダ一覧画面	P.347
	アラーム	アラーム登録画面	P.369
	テキストメモ	テキストメモ一覧画面	P.385

● ズームメニューにしているときは、待受画面でⓘ、✉、📖を押すとズームメニューのｉモードメニュー、メールメニュー、電話帳検索画面が表示されます。

待受画面　ズームメニュー画面　[メール]を選んだ場合

● 操作ガイダンスに[TOP MENU]が表示されているときに、ⓘを押すとTOPメニューが表示されます。
● ズームメニュー画面で📷[サポート]を押すと、サポートブックが表示されます。

サブメニューから機能を選択する

操作ガイダンスに[サブメニュー]が表示されているときは、を押すと、その画面で使用できる機能(サブメニュー)が表示されます。
サブメニューに複数のページがある場合は、でページを切り替えます。
本書では、サブメニューを選択する操作は機能番号で入力する方法で説明しています。
ただし、機能番号のないサブメニューもあります。そのときは、で機能を選んでを押してください。

例:画像一覧画面の見かたを[16分割]に切り替えた場合

サブメニュー画面
利用できない項目は
選択できません。

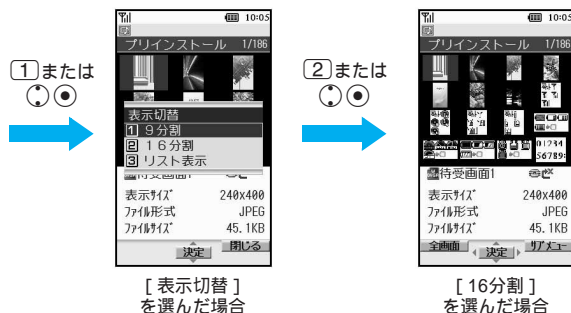
1または

[マイピクチャ設定]
を選んだ場合

1または

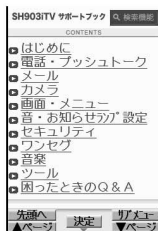
[表示切替]
を選んだ場合

2または

[16分割]
を選んだ場合

サポートブック

便利に使うためのサポート情報を表示する

ブックリーダー機能を利用した、FOMA端末上の簡単な操作ガイドです。FOMA端末の操作方法がわからないときに利用してください(☞P.347)。
マルチアシスタント機能を使ってメールの作成などの操作中にMULTIを押して、サポートブック(内蔵)を呼び出すこともできます(☞P.364)。

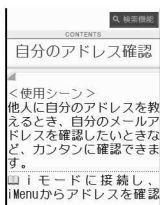
- すばやく使いこなすためのコツや、知っておくと便利な機能の説明が表示されます。
- サポートブックで調べた機能を直接起動することもできます。

例:自分のアドレスを確認するには

1 待受画面でMULTIを押し、[メール]を選んでを押す。

- ズームメニュー画面で[サポート]を押しても、サポートブックが表示されます。

2 ［▶自分のアドレス確認］を選んで◉を押す。

● タイトルの下に説明文が表示されます。

検索機能
CONTENTS
自分のアドレス確認
<使用シーン>
他人に自分のアドレスを教えるとき、自分のメールアドレスを確認したいときなど、カンタンに確認できます。
📖iモードに接続し、iMenuからアドレスを確認

内容表示画面

関連操作

サポートブックから機能を起動する

サポートブックの内容表示画面で起動項目を選ぶ▶◉▶［はい］▶◉

お知らせ

● サポートブック以外の機能を同時に使用している場合、サポートブックから機能を起動することはできません。

FOMAカード

FOMAカードを使う

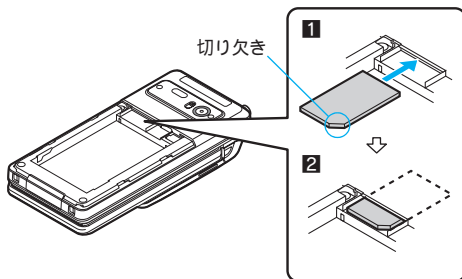
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているＩＣカードです。FOMAカードには、電話帳のデータやSMSを保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

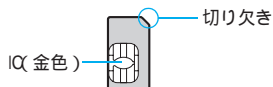
● FOMAカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、プッシュトーク通信、ｉモード、ｉチャネル、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージＲ／Ｆ受信、データ通信などの通信機能を利用できません。また、ワンセグを視聴することもできません。

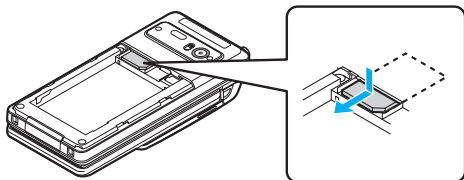
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

※ P.44「電源を切る」の操作１を参照して電源を切ってから背面を上向きにして電池パックを取り外し、FOMAカードの取り付けや取り外しを行ってください。

取り付けかた

FOMAカードを取り付けるときは、FOMA端末を閉じてから両手で持って行ってください。

1 **FOMAカードのIC面を下に向けて左図の向きでセットする（1）。**

● 2の位置まで押し込んでください。

■ 取り外しかた

FOMAカードを取り外すときは、FOMA端末を閉じてから両手で持って行ってください。

1 左図のように**FOMA**カードを上から押しながらまっすぐ引き抜く。

- 取り外す際は、FOMAカードが落ちないようにご注意ください。

お知らせ

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとFOMAカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書を参照してください。
- FOMAカードを他のｉチャネル対応端末に差し替えた場合、**ｉチャネルテロップ**は表示されません。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップが自動的に表示されます。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
- FOMAカードのＩＣ部分が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがありますので、ご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

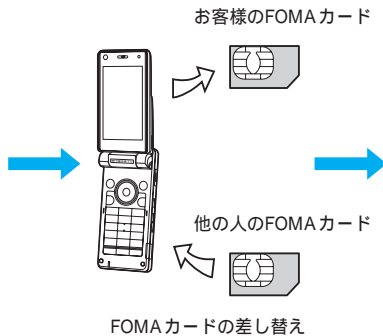
FOMAカードには「PIN1コード」、「PIN2コード」という２つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、４～８桁の任意の数字に変更できます（☞P.147）。

FOMAカード動作制限機能について<FOMAカード動作制限機能>

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、ｉアプリを実行したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
  - ■ サイトやインターネットホームページから画像やメロディ、PDFなどのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ サイトやインターネットホームページを画面メモとして保存したとき
  - ■ ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
  - ■ ｉアプリを実行したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／ｉモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能やｉC通信機能によるデータの送信、microSDメモリーカードへのコピーなどを実行できます。
- FOMAカード動作制限が設定されるデータは次のとおりです。
  - ■ デコメール本文中の画像
  - ■ ｉモードメールに添付されているファイル
  - ■ 画像やメロディ
  - ■ メッセージR／F に添付されているファイル
  - ■ メッセージR／F本文中の画像
  - ■ キャラ電
  - ■ テレビ電話静止画メモ
  - ■ 画面メモ
  - ■ きせかえツール
  - ■ ｉアプリ
  - ■ ダウンロード辞書
  - ■ ｉモーション
- FOMAカードに保存される設定は次のとおりです。
  - ■ 電話番号表示
  - ■ SMSセンター設定
  - ■ PIN設定
  - ■ バイリンガル
  - ■ SMS有効期間設定
  - ■ SSL証明書
- データ、ファイルの取得時やｉアプリの実行時に挿入していたFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。

※ 以降、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

ダウンロードしたデータやメールに添付されているファイル、一度実行したｉアプリには、お客様のFOMAカード動作制限機能が設定され、データの閲覧や再生ができます。

他の人のFOMAカードを挿入しても、お客様のFOMAカード動作制限機能が設定されたデータの閲覧や再生はできません。

お知らせ

- 他の人のFOMAカードに差し替えたときに、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音などに設定できません。
- FOMAカードを他の人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能がはたらき、サイトなどからダウンロードしたデータやファイルを待受画面や着信音などに設定してあった場合、お買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。
  例：**FOMAカード動作制限機能が設定された［メロディA］を着信音に設定したとき**
  お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたりすると、着信音はお買い上げ時に設定されていた着信音になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、［メロディA］の着信音に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画／連続画像／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。
- ｉモードメールのメール表示画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動する場合、FOMAカード動作制限機能が設定されていると、起動や取得ができません。
- ｉアプリ待受画面を設定後、他の人のFOMAカードに差し替えると、設定したｉアプリを待受で起動できないため、メイン画面設定で設定した画像が表示されます。

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	ページ
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.103
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P.203
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	P.38
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P.399

WORLD WINGについて

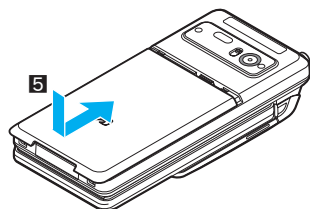
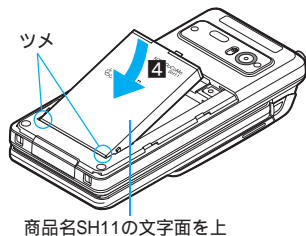
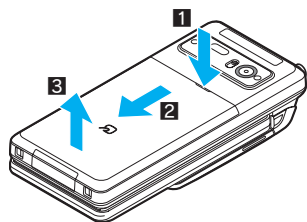
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年９月１日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年８月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万が一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

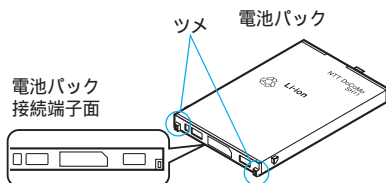
電池パックは、FOMA端末専用の電池パック SH11をご利用ください。

電池パックの取り付けかた

FOMA端末を閉じてから両手で持って行ってください。

1 リアカバーを矢印の方向（❶）に軽く押しながら約2 **mm**スライド（❷）させる。

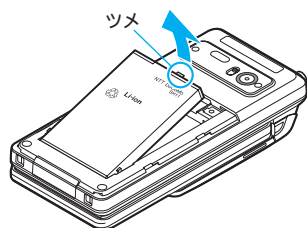
2 矢印の方向（❸）にリアカバーを持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける（❹）。

- 電池パックには取り付け用のツメが付いています。電池パックの商品名SH11の文字面を上に向けて取り付けてください。

4 リアカバーを取り付ける（❺）。

- 本体とリアカバーを図の位置に合わせて、リアカバーを押しながらスライドさせます。

電池パックの取り外しかた

必ず電源を切って、FOMA端末を閉じてから両手で持って行ってください。

1 **P.39**「電池パックの取り付けかた」の操作1～2の手順でリアカバーを取り外す。

2 電池パックを取り外す。

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指などをかけて上方向に取り外してください。

お知らせ

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。
- 詳しくは、電池パック SH11の取扱説明書をご覧ください。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だと、リアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。
- 電池パック接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因ともなりますので、汚れたときは乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- はじめてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず充電してください。お買い上げの際には、電池パックは完全に充電された状態ではありません。

携帯電話を充電する

充電時のご注意

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）で充電してからご使用ください。

充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

充電器名	充電時間
FOMA ACアダプタ01／02	約140分
FOMA DCアダプタ01／02	約140分

- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- 充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は、ディスプレイの[ ]が点滅します）。
  充電が完了すると、充電ランプが消灯し、ディスプレイの[ ]が[ ]に変わります。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。充電停止中は、充電ランプは消灯します（ディスプレイの[ ]は停止中でも点滅します）。

十分に充電したときの利用可能時間（目安）

条　件	電池パック SH11
連続待受時間	約580時間（静止時）／約440時間（移動時）
連続通話（通信）時間	約200分（音声電話）／約130分（テレビ電話）
ワンセグ視聴時間	約320分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を折りたたんで、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、待受画面や省電力モード、不在着信お知らせ、新未読メールお知らせなどの機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないまたは弱い場所）などにより、通話・待受時間は半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。ｉチャネルをご契約の場合は、情報を自動的に受信して更新しますので、通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信を行わなくても、画像の撮影や編集、ワンセグの視聴、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、FMトランスミッタ出力、SDオーディオやミュージックプレーヤーの使用などによって、通話（通信）・待受時間は、短くなります。ｉアプリのソフトによって、ダウンロードしたあとも通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにできます。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- ワンセグ視聴時間は、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境により変わります。

電池パックの寿命は

- 電池パックは消耗品です。充電をくり返すごとに１回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- １回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について

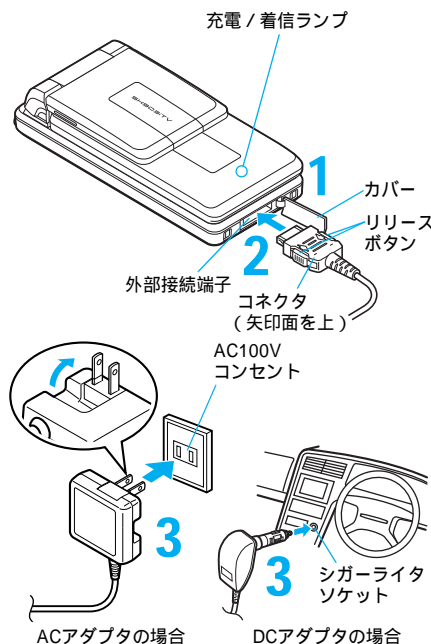
- 詳しくはFOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02はAC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA海外兼用ACアダプタ01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

充電時のご注意

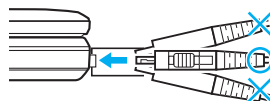
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池警告音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされ、警告音が鳴ってから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電をくり返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめいたします。
- 電池パック単体での充電はできません。

ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

［必ずFOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）の取扱説明書を参照してください］

- FOMA端末を開いた状態やサイクロイドポジションでも充電できます。

1 外部接続端子のカバーを開く。

2 **AC**アダプタまたは**DC**アダプタの向き（裏表）をよく確かめ、外部接続端子に水平に差し込む。

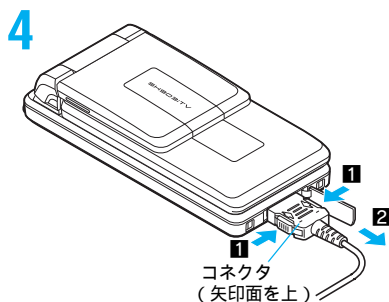
- コネクタの向きを確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

3 **AC**アダプタの場合は、プラグを起こし、**AC100V**コンセントに差し込む。
DCアダプタの場合は、プラグを車のシガーライタソケットに差し込む。

- 充電開始音が鳴り、充電ランプが赤色で点灯します。充電中に着信した場合は、設定した着信ランプの色で点滅します。

4

1

2

1

コネクタ
（矢印面を上）

4 充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する。

- コネクタを取り外す場合は、必ずコネクタの両側にあるリリースボタンを押した状態（1）で、コネクタを水平に抜いてください（2）。無理に引っ張ると故障の原因になります。
  コネクタを取り外したあとは、外部接続端子のカバーを閉じてください。
- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。

次ページへ続く

お知らせ

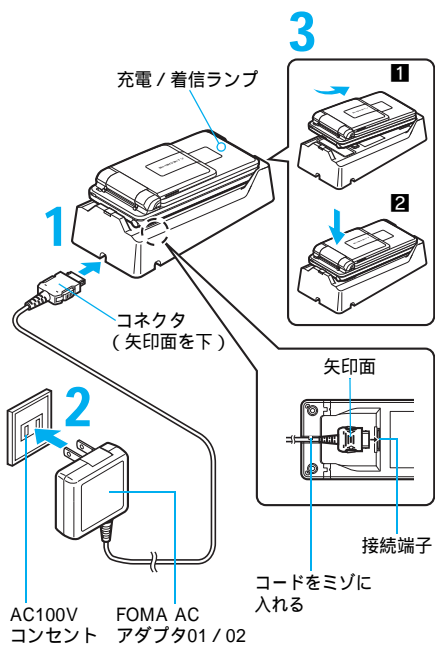
- ACアダプタなどのコネクタは、正しい向き(裏表)や角度で、無理な力がかからないように、ゆっくり確実に接続してください。無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子が破損する場合がありますので、ご注意ください。
- 外部接続端子のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。
- 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。

DCアダプタのとき

- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- DCアダプタの電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- FOMA端末の電源を入れても、イグニッションをOFFにしたり、DCアダプタをシガーライタソケットから抜いたりすると、電源が切れますので注意してください。通話および待受状態を継続したい場合は、FOMA端末に差しているコネクタを先に抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダを使って充電する

[必ず卓上ホルダ SH13(別売)の取扱説明書を参照してください]

- FOMA端末を開いた状態やサイクロイドポジションでも充電できます。

1 **AC**アダプタのコネクタの矢印面を下に向け、卓上ホルダの接続端子に差し込む。

- コネクタが卓上ホルダに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 卓上ホルダの接続端子は裏側にあります。

2 **AC**アダプタのプラグを起こし、**AC100V**コンセントに差し込む。

3 **FOMA**端末を卓上ホルダに置く。

- 左図1のようにFOMA端末を置いたあと、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。
- 充電開始音が鳴り、充電ランプが赤色で点灯します。充電中に着信した場合は、設定した着信ランプの色で点滅します。

4 充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する。

- 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を持ち上げます。
- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- 充電開始音が鳴らないとき(充電開始音量を[サイレント]に設定、またはマナーモードに設定している場合や、電源を切っている場合を除く)や、充電ランプが点灯しないときは、FOMA端末が卓上ホルダに正しく置かれていない場合がありますので、正しく置き直してください。
- FOMA端末を卓上ホルダに置くとき、ストラップを挟まないようにご注意ください。

電池残量の確認のしかた

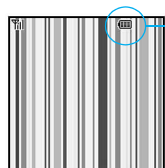
電池残量の目安は、ディスプレイで確認できます。

(アイコン)	電池残量が十分残っています。
(アイコン)	電池残量が少なくなっています。
(アイコン)	電池残量がほとんどありません。充電してください。
(アイコン)	電池残量がありません（しばらくすると電源が切れます）。
(アイコン)	電池パック充電中です。

● マークのデザインを変更（☞P.133）した場合、上記の表示と異なる場合があります。

電池残量を音と表示で確認する

1 待受画面で◉③①③を押す。

● 電池残量のグラフィックが表示されます（残量に応じた音も鳴ります）。
● 電池残量確認音は、ボタン／待受ｉモーション音で設定した音量で鳴ります（☞P.119）。
● 約２秒間経過するか、CLR／◉を押すと、１つ前の画面に戻ります。

グラフィック			
音	ピーピーピー	ピーピー	ピー
状　態	十分残っています。	少なくなっています。	電池残量が ほとんどありません。 充電してください。

電池が切れたら

電源が切れそうになると、［電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します］と表示されます（◉を押すと表示は消えます）。しばらくすると警告音が「ピピピ…」と鳴ります。右の画面が表示され、端末の操作ができなくなり、約60秒後に電源が切れます。

● 音声電話やテレビ電話の通話中は、警告音が「ピピピ…」と鳴り、［電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します］と表示されます。約20秒後に通話が切れると同時に上の画面が表示され、約60秒後に電源が切れます。
● マナーモードを設定しているときは、警告音は鳴りません（通話中を除く）。
● ☎を押すと、通話中の場合は電話が切れます。電源を切って充電してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください（☞P.36）。
- FOMAカードが挿入されていない場合［FOMAカード（UIM）を挿入してください］と表示され、FOMAカードエラーが表示されます（☞P.29）。

1 ☎（電源）を２秒以上押す。

- ウェイクアップ画面が表示されるまで時間がかかることがあります。
- ウェイクアップ画面が表示され、初期設定の画面が表示されます。続けて、初期設定（☞P.44）の操作を行ってください。初期設定が完了していないときは、電源を入れるたびに設定画面が表示されます。
- 初期設定が完了しているときは、電源を入れると、右のような画面が表示されます。この画面を「待受画面」といいます。
- ［PIN1コードを入力してください］と表示されたときは、PIN1コード（☞P.146）を入力します。
- ［圏外］が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。

待受画面

お知らせ

- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと４～８桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しく入力されると待受画面が表示されます。５回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます（ただし再度電源を入れることは可能です）。

電源を切る

1 ☎（電源）を２秒以上押す。

- 電源が切れるまで時間がかかることがあります（電源が切れるまでディスプレイに終了画面が表示されます）。

お知らせ

- 外部機器との接続は、通信が終了していることを確認したうえで、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

初期設定を行う

はじめてFOMA端末の電源を入れると自動的に初期設定画面が表示されます。各設定項目はメニューからも設定できます（初期設定が完了しているときは、待受画面が表示されます）。

- ■ 日時設定
- ■ 端末暗証番号変更
- ■ ボタン／待受ｉモーション音設定
- ■ プッシュトーク番号通知設定
- ■ ソフトウェア更新確認

- 設定されていない項目があるときは、FOMA端末の電源を入れるたびに、設定画面が表示されます。

1 日付・時刻を設定する（☞P.45）。

- 待受画面で◉８を押すと、初期設定をすることができます。
- 日時は、2001年１月１日 00:00から2050年12月31日 23:59まで設定できます。

2 端末暗証番号を登録する(☞P.145)。

● お買い上げ時は、[0000]に設定されています。

3 ボタン/待受ｉモーション音を設定する(☞P.119)。

ボタン/待受ｉモーション音を鳴らす	1
ボタン/待受ｉモーション音を鳴らさない	2

4 プッシュトーク番号通知を設定する(☞P.94)。

● プッシュトーク番号の[通知]/[非通知]を選んで◉を押します。

5 ソフトウェア更新確認を設定する(☞P.453)。

● [はい]を選んで◉を押します。
● ソフトウェア更新が起動し、ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。

お知らせ

初期設定を中止するとき
● 設定中に☎を押します。日時設定は中止しても必ず設定されます。

日時設定

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時 自動時刻補正:ON

FOMA端末の日付と時刻を設定します。自動的に日時を補正するように設定できます。

1 待受画面で◉34を押す。

● 料金上限通知設定が[有効]に設定されている場合は、日時設定の際に端末暗証番号の入力が必要です。
● 時刻は24時間制で表示されます。

2 [自動時刻補正]を選んで◉を押し、[ON]/[OFF]を選ぶ。

自動的に日時を補正するとき	[ON]→◉→◉
日時を入力するとき	[OFF]→◉→[日付]→◉→日付を入力→◉→[時刻]→◉→時刻を入力→◉→◉ ● 24時間制で入力します。また、月日・時刻が1桁(1～9)のときは、01～09のように前に「0」を付けます。 ● ◯で数字を選ぶこともできます。また、入力を間違えたときは、◯でカーソルを移動して、入力し直してください。

お知らせ

● 設定した日付・時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約1週間以上電池パックを外すか、電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。そのときは、充電してから設定し直してください。
● 日付・時刻を正しく設定しないと、リダイヤル、着信履歴、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、カメラ画像のタイトル・撮影日時などで日時が正しく記録されません。また、自動電源ON/OFF、アラーム、スケジュール、ToDoリスト、SSL通信(認証)、ｉアプリ自動起動、ｉアプリDX起動、視聴予約、録画予約など時計を利用する機能が正しくご利用になれません。
● 料金上限通知設定のリセット通知を設定中に日時設定を翌月以降に変更した場合、待受画面に[リセット時刻経過]と表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

自動時刻補正を[**ON**]にしたときについて
- ドコモネットワークの時刻情報をもとに、自動的に時刻を補正します。
- 自動時刻補正を[ON]にしても、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動時刻補正を有効にするには、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話やテレビ電話をかけるときに、相手の電話機(ディスプレイ)に自分の電話番号(発信者番号)を表示させることができます。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。
- 発信者番号通知機能は、相手の電話機が発信者番号表示が可能な場合のみ、利用できます。

お客様の電話番号を通知するかどうかを設定する方法は、次のとおりです。

	設定方法	番号を通知する	番号を通知しない
あらかじめ設定しておく方法	待受画面で⦿④⑤②を押し、ネットワーク暗証番号を入力する(☞P.144)	[はい]に設定する	[いいえ]に設定する
電話をかけるときに指定する方法	電話番号の前に「186」/「184」を付ける	「186」を付ける	「184」を付ける
	電話番号を入力して、サブメニューから選ぶ(☞P.57)	◎②①	◎②②

- 発信者番号通知は、[圏外]で設定することはできません。
- 発信者番号通知の設定を確認するときは、待受画面で⦿④⑤①[設定確認]を押します。
- 発信者番号通知の設定内容より、電話発信するときの指定が優先されます。電話をかけるときに何も指定しないと、発信者番号通知の設定内容に従います。
- 電話をかけるとき指定する方法は、プッシュトーク発信するときにも有効です。ただし、電話番号の前に「186」や「184」を付ける方法では設定できません。プッシュトークの番号通知設定はP.94を参照してください。
- 発信者番号通知設定を「番号を通知する」にしていても、プッシュトークの番号通知設定を[非通知]にしているときのプッシュトーク発信履歴から発信した場合は、発信者番号は通知されません。

電話番号表示

自分の電話番号を確認する

1 待受画面で⦿⓪を押す。

電話番号表示画面

- 音声電話中は◎④、テレビ電話中は◎⑧を押します。
- 電話帳の機能別ロック中は、端末暗証番号を入力して⦿を押します。
- 所有者情報の確認・登録・変更については、P.382を参照してください。

電話／テレビ電話

■電話／テレビ電話のかけかた

■電話／テレビ電話の受けかた

■電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話について

画面に映ったお互いの映像を見ながら通話できます。

- テレビ電話は64K(kbps)でのみ通信できます。
- テレビ電話でも、着もじを送信／受信できます(☞P.56)。
- 自分側のカメラ映像の代わりに代替画像としてキャラ電や静止画を相手に送信して電話をかけたり、受けたりできます(☞P.75、P.77)。
- 自画像の代わりに代替画像としてキャラ電や静止画を送受信して通話する場合も、デジタル通信料がかかりますので、ご注意ください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます(☞P.59)。
- テレビ電話通信機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。
- ドコモのテレビ電話は、「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

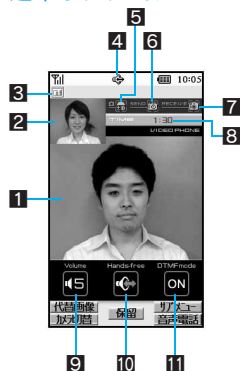
※1 3GPP(3rd Generation Partnership Project):第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2 3G-324M:第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話中の画面の見かた

通常ポジション

サイクロイドポジション

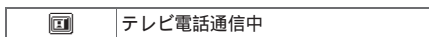
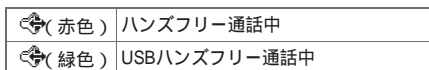
- 画面はイメージで、実際に同じ画面は表示されません。

1 親画面:相手側のカメラ映像(お買い上げ時)

2 子画面:自分側のカメラ映像(お買い上げ時)

3 テレビ電話中表示

	テレビ電話通信中

4 ハンズフリーマーク

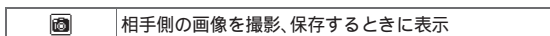
(赤色)	ハンズフリー通話中
(緑色)	USBハンズフリー通話中

5 カメラ映像の明るさ:自分側のカメラ映像の明るさを表示します。

	暗い←　標準　→明るい

6 送信画像マーク

	カメラ映像送信中		カメラ映像の一時停止中
	代替画像として静止画送信中		キャラ電(全体アクションモード)を送信中
	データBOXのマイピクチャの画像を送信中		キャラ電(パーツアクションモード)を送信中

7 受信画像マーク

	相手側の画像を撮影、保存するときに表示

8 通話時間:通話時間を最長9時間59分59秒まで表示します。9時間59分59秒を超えると、0分00秒に戻ってカウントします。

9 受話音量マーク

	(音量1)〜(音量10)

10 ハンズフリーマーク

(赤色)	ハンズフリー通話中
(緑色)	USBハンズフリー通話中

11 DTMF送信モードマーク

	ON
	OFF

お知らせ

- テレビ電話中のディスプレイの明るさは、**省電力設定**のユーザ設定に従います。**照明時間設定**のテレビ電話時を[通常時と同じ]に設定している場合は、**明るさ調整**で設定した明るさに調整されます。[常にON]に設定している場合は、明るさ２に調整されます。

電話／テレビ電話をかける

電池残量および電波状態が十分であることを確認してください。

- [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。
- 電波が強く[Yıll]が表示されていて移動せずに通話をしているときでも、通話が切れることがあります。
- テレビ電話をかけるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク(☞P.386)を利用するか、ハンズフリー(☞P.79)を利用してください。お買い上げ時は、テレビ電話ハンズフリー設定が[ON]に設定されていますので、通話開始時からハンズフリーでお話できます。

1 待受画面で電話番号を市外局番からダイヤルする。

数字キーを入力し、「クイック」を押すとスケジュール、電卓などの機能にジャンプします

090XXXXXXXX

- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

携帯電話にかける	電話番号11桁(090-XXXX-XXXX、080-XXXX-XXXX)を入力
PHSにかける	電話番号11桁(070-XXXX-XXXX)を入力

- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると２行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が２行表示されます。
- ダイヤルを間違えたときは、CLRを押すと、最後の１桁が消去されます。CLRを１秒以上押すと、すべての桁が消去され、待受画面に戻ります。
- 国際電話をかけるときは、P.59を参照してください。

2 [音声電話]／[テレビ電話]を押す。

テレビ電話の発信画面

ﾃﾚﾋﾞ電話発信中

ドコモ太郎

090XXXXXXXX

電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 携帯電話は一般の電話と違い、「ルルル……」という呼出音の前に「プッップッッ」という発信音が入ります。
- 電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。また、画像を設定しているときは、画像もあわせて表示されます。
- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。☎を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、通話先の方が番号通知をお願いする旨のサービスを「開始」に設定しています。発信者番号を通知してかけ直してください(☞P.46、P.57)。

音声電話のとき

- 発信中は[発信中]と表示されます。
- 通話中はディスプレイ上部に[ ]が表示されます。

テレビ電話のとき

- 発信中は[テレビ電話発信中]と表示されます。
- 通話中の表示はP.48「テレビ電話中の画面の見かた」を参照してください。

次ページへ続く▶▶

3 相手が電話に出たら通話する。

テレビ電話

● 音声電話中はⓜ4、テレビ電話中はⓜ8を押すと、自分の電話番号を表示できます。

テレビ電話のとき

● テレビ電話中に次の操作ができます。

通話中に代替画像を送信する		ⓘ ● 代替画像設定で設定した静止画やキャラ電が表示されます(☞P.77)。
プッシュホン信号を送信する<DTMF送信モード>	カメラ映像を送信中	送信する番号を入力
	キャラ電を送信中	ⓜ7→1→送信する番号を入力

4 通話が終わったら☎を押す。

お知らせ

● 通話中は通話時間が表示されますが、通話時間の表示は目安です。通話時間は最長９時間59分59秒まで表示され、これを超えると０分00秒に戻ります。
● 連続通話するとFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。

音声電話のとき

● 操作１と２の手順を逆にしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約５秒間何も操作しないと発信します。
● サイクロイドポジションで通話するときは、必ず平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用するか、ハンズフリーを利用してください。受話口で通話するときは、必ず通常ポジションにしてください。
● 通話中にサイクロイドポジションにすると、[ハンズフリーにしますか？]と表示されます。[はい]を選ぶと、ハンズフリー通話になります。このあと、通常ポジションに戻してもハンズフリーは解除されません。

テレビ電話のとき

● FOMA端末から緊急通報番号(110番、119番、118番)へテレビ電話をかけることはできません。
● 相手がテレビ電話に出ると、[テレビ電話接続　☎を押すとハンズフリーへの切替・解除ができます]と表示されます。この時点からデジタル通信料がかかります。
● テレビ電話に対応していない端末にテレビ電話をかけた場合は接続できません。また、ネットワーク状況によって64Kが利用できないPHSなどの機器と接続する場合も接続できません。音声自動再発信が[ON]に設定されている場合は、自動的に音声電話で発信し直します。その場合、通話料金は音声電話通話料となります。なお、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M(☞P.48)に対応していないISDNのテレビ電話など(2007年８月現在)や間違い電話をかけたときなどは、このような動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。
● 自分側のカメラ映像を送信する場合、光量が少ない場所では映像に白い線などのノイズが増えます。また、太陽やランプなどの強い光源がじかに入る場所では、映像が暗くなったり、乱れることがあります。適切な場所でテレビ電話をご利用ください。
● キャッチホンをご契約いただいている場合、テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信履歴に記憶され、待受画面に[着信あり]と表示されます。
● テレビ電話中は、ｉモードメールやメッセージR／Fは受信されず、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたｉモードメールやメッセージR／Fは、テレビ電話終了後、ｉモード問い合わせを行うと受信できます。ただし、テレビ電話中でも、SMSは自動的に受信します。
● 音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的に復旧しません。もう一度テレビ電話をかけ直してください。
● テレビ電話の通信が開始されると、音声自動再発信は行いません。
● テレビ電話は[テレビ電話通話時間]としてカウントされます(☞P.384)。
● テレビ電話中に音声電話をかけたり、ｉモードを利用することはできません。
● イヤホンマイク接続中は、テレビ電話ハンズフリー設定にかかわらず、イヤホンマイクによる通話となります。
● サイクロイドポジションでのテレビ電話中は、通常ポジションのときに比べて自分側のカメラ映像が拡大されて表示、送信されます。

お知らせ

テレビ電話がつながらなかったとき

- テレビ電話がつながらなかったときは、接続できなかった理由をメッセージで表示します。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とは異なることがあります。

メッセージ	理　由
番号をご確認の上、おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合に表示されます。
お話中です	相手が通話中に表示されます。※
転送致しますのでお待ちください	相手が転送設定している場合に表示されます。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいるか、または電源を入れていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます(Vライブやビジュアルネットなどへの発信時)。
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合表示されます。
パケット通信中です	相手がパケット通信中に表示されます。
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付プラン(タイプリミット、ファミリーワイドリミット)の上限額を超過している場合に表示されます。
ｉモードから接続してください	ｉモードに接続してからアクセスする必要があるVライブに、直接テレビ電話発信したときに表示されます。コンテンツ提供者が公開しているサイトに接続し、リンクからテレビ電話発信して視聴してください。

※ 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

関連操作

ハンズフリーで話す<ハンズフリー>

音声電話通話中のときは☎(1秒以上)
テレビ電話通話中のときは☎

- 音声電話中に解除するとき：☎(1秒以上)
- テレビ電話中に解除するとき：☎

通話中に保留する<通話保留>

1 電話通話中に📷1
- テレビ電話の場合は、◉を押しても通話保留になります。

2 保留中の音声電話に出るときは📷
保留中のテレビ電話に出るときは☎
- テレビ電話の場合は、ⓘを押すと代替画像を送信して電話に出ることができます。

発信番号を選択して電話をかける<マルチナンバー選択>

1 待受画面で相手先電話番号を入力▶📷4

2 発信番号を選ぶ▶◉▶☎[音声電話]／ⓘ[テレビ電話]

お知らせ

ハンズフリーについて

- ハンズフリー中は[ ]が表示されます。
- 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
- 着信中および、音声電話の発信中は操作できません。
- 受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。その場合は、◯を押して音量を下げてください。
- 通話を終了するとハンズフリーは解除されます。

通話保留について

- 保留中は**保留音**が流れます。マナーモード設定中はFOMA端末から保留音は聞こえません。

次ページへ続く

お知らせ

- 相手には保留音が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。テレビ電話の場合、相手には保留画像設定で設定した画像が送信されます。相手には、[保留]という文字が重なって表示されます。
- 保留中にFOMA端末を閉じても、保留状態は続きます。クローズ動作設定とは連動していません。

マルチナンバー選択について

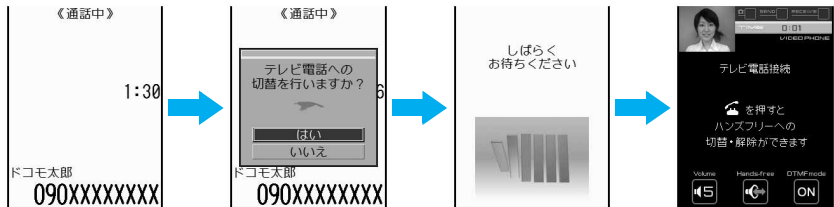
- マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。

音声電話／テレビ電話を切り替える

自分から電話をかけたときに、音声電話⇔テレビ電話を切り替えられます。

- 画面右下の操作ガイダンスに音声電話のときは[テレビ電話]、テレビ電話のときは[音声電話]が表示され、切り替えることができます（音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます）。
- 相手のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知（☞P.82）が「開始」に設定されている必要があります。
- 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。
- 切り替え操作を行っても、相手のFOMA端末の状況によっては[切替できません]と表示され、切り替えできない場合があります（☞P.65）。
- ワンセグ起動中は切り替えできません。

1 音声電話中に□[テレビ電話]を押し、[はい]を選んで●を押す。

- 音声電話中に◎5[テレビ電話切替]を押しても操作できます。
- テレビ電話から音声電話に切り替えるときは、通話中に□[音声電話]または◎6[音声電話切替]を押して操作します。
- [いいえ]を選ぶと、通話中の画面に戻ります。
- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。
- テレビ電話に切り替わり、自分側のカメラ映像が送信されます。また、テレビ電話中の場合は音声電話に切り替わります。

音声電話からテレビ電話へ切り替える場合

- 音声電話⇔テレビ電話の切り替えは、通話中何度でも可能です。切り替えるたびに、通話時間表示が0秒から開始されます。

お知らせ

- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話またはテレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- 切り替え中は、通話時間に含まれず、料金は加算されません。

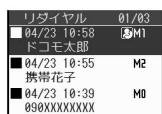
音声電話からテレビ電話へ切り替えるとき

- 相手が映像を表示しないように選択した場合、相手側のカメラ映像は表示されません。
- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- お買い上げ時のテレビ電話ハンズフリー設定は[ON]に設定されています（☞P.79）。切り替え前の通話状態にかかわらず、テレビ電話に切り替えるとハンズフリー通話になります。

お知らせ

- ［しばらくお待ちください］と表示されている間は、ハンズフリーへの切替・解除ができません。
- キャッチホンでの通話中に、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。

テレビ電話から音声電話へ切り替えるとき

- ハンズフリー通話中に音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーは解除されます。

リダイヤル／着信履歴を利用する

前にかけた相手にかけ直す<リダイヤル>

以前にかけた電話番号（リダイヤル）は、最後にかけた電話番号から最大30件（プッシュトークを含む）までFOMA端末に記憶されます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。
- 同じ電話番号に複数回かけたときは、最新の１件だけが記憶されます。ただし、複数の相手にプッシュトーク発信した場合や、プッシュトークプラスを利用して発信した場合は、毎回記憶されます。

1 待受画面で◯（□）を押す。

リダイヤル一覧画面

- 最新のリダイヤルから順に、電話番号と日時が一覧表示されます。
- 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の若い方の名前が表示されます。
- プッシュトークの場合、相手の名前か、プッシュトークグループのグループ名が表示されます。

電話の種類

表示	種類
表示なし	音声電話
	テレビ電話
	国際電話
M0～M2	マルチナンバー発信（マルチナンバー設定時のみ）
	プッシュトーク（相手が１人の場合）
	プッシュトーク（相手が複数の場合）
NW	プッシュトーク（プッシュトークプラス利用）

操作	キー
リダイヤル詳細画面を表示する	電話番号を選ぶ→⦿
着信履歴一覧画面に切り替える	◯

2 電話番号を選んで電話をかける。

種類	キー
音声電話	
テレビ電話	⦿→
プッシュトーク	（）

- 表示されている電話番号に発信します。
- 「184」や「186」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

お知らせ

- リダイヤルの種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、発信時の種類が表示されます。
- リダイヤル／着信履歴表示については、P.153「発着信履歴表示」を参照してください。
- 複数の相手に発信したプッシュトークのリダイヤルを選んだ場合、（）または⦿を押すと全員に発信します。音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
- 発着信履歴表示のリダイヤル表示が［OFF］に設定されているときも履歴は記憶されていますが、リダイヤルは表示されません。
- リダイヤル一覧画面でを押すと、メール送信履歴一覧画面が表示されます（☞P.235）。

次ページへ続く

お知らせ

リダイヤルのサブメニュー

リダイヤル一覧画面でのメニュー項目	リダイヤル詳細画面でのメニュー項目	内　容
1電話帳登録	1電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する。
2削除	2 1件削除	記憶しているリダイヤルを削除する(☞P.54)。
—	3番号通知設定	発信する際の番号の通知／非通知を設定する。
—	4番号付加設定	プレフィックス選択、国際電話発信を行う。
—	5マルチナンバー選択	マルチナンバーに登録している発信番号を選択する(☞P.400)。
—	6テレビ電話画像設定	テレビ電話中に相手に送信する画像を設定する。
—	7着もじ	メッセージ作成、メッセージ選択、送信メッセージ履歴表示を行う。
8メール作成	8メール作成	メールを作成する。電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、発信した電話番号が宛先に入力される。
◯1スケジュール作成	◯1スケジュール作成	電話番号とリダイヤル日時をスケジュールに登録する。

関連操作

リダイヤル／着信履歴を削除する<削除>

1 待受画面で◯(□)(リダイヤル)／◯(➜□)(着信履歴)▶電話番号を選ぶ

2 ◎21[1件削除]▶[はい]▶◉

● すべてのリダイヤル／着信履歴を削除するとき：◎22

お知らせ

● リダイヤルを全件削除すると、着もじの送信メッセージ履歴も削除されます。

着信履歴で電話をかける

かかってきた電話の履歴(着信履歴)は、最後にかかってきた電話番号から最大30件(プッシュトークを含む)までFOMA端末に記憶されます。

● 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。

1 待受画面で◯(➜□)を押す。

着信履歴一覧画面

● 最新の着信履歴から順に、電話番号と日時が一覧表示されます。

● 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の若い方の名前が表示されます。

履歴の種類

✆	電話に出たものや、応答保留したもの
▣	伝言メモで用件録音されたもの
☎	電話に応答しなかったもの、転送先や留守番電話サービスセンターに転送したもの、電話帳指定着信拒否(☞P.156)、電話帳指定着信許可(☞P.155)、電話帳登録外着信拒否(☞P.159)、非通知理由別着信拒否(☞P.157)、公共モード(ドライブモード)(☞P.68)の設定により着信が拒否されたもの

電話の種類

表示なし	音声電話		着もじ
	テレビ電話		プッシュトーク(相手が1人の場合)
	64Kデータ通信		プッシュトーク(相手が複数の場合)
	国際電話		プッシュトーク (プッシュトークプラス利用)
M0～M2	マルチナンバー着信 (マルチナンバー設定時のみ)		

待受画面に[着信あり]と表示されているとき(不在着信)	待受画面で→[着信あり]を選ぶ→ ● 最新の着信履歴が表示されます(P.71)。
着信履歴詳細画面を表示する	電話番号を選ぶ→
リダイヤル一覧画面に切り替える	

2 電話番号を選んで電話をかける。

音声電話	
テレビ電話	→
プッシュトーク	()

お知らせ

- 着信履歴を削除するには、P.54を参照してください。
- 着信履歴の電話の種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、応答時の種類が表示されます。
- ダイヤル発信制限中は、着信履歴から電話をかけることができません。
- 複数の相手に発信されたプッシュトークの着信履歴を選んだ場合、()またはを押すと全員に発信します。音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話番号のみ表示されます。機能別ロックを解除すると、電話帳に登録されている名前が表示されます。
- ダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示される場合があります。
- 発着信履歴表示の着信履歴表示が[OFF]に設定されているときも履歴は記憶されていますが、着信履歴は表示されません。
- 着信履歴一覧画面でを押すと、メール受信履歴一覧画面が表示されます(P.235)。
- 着もじの着信履歴から発信しても、受信した着もじは送信されません。
- 着もじを受信した着信履歴の場合、着信履歴詳細画面にメッセージの内容が表示されます。

着信履歴のサブメニュー

- リダイヤルのサブメニューと同様に次の操作ができます。詳しくは、P.54「リダイヤルのサブメニュー」を参照してください。
  ■ 電話帳登録　■削除　■メール作成　■スケジュール作成
- 呼出動作開始時間設定が[ON]で、不在着信履歴表示が[OFF]に設定されている場合に、電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、次の着信は、着信履歴には表示されません。
  ■ 呼出動作開始時間内に電話が切断された着信
  ■ 電波の状況が悪いために切断された着信
  ただし、次の操作を行うと着信履歴を表示させることができます。

着信履歴一覧画面でのメニュー項目	着信履歴詳細画面でのメニュー項目	内　容
2表示設定	2表示設定	全表示／限定表示、呼出時間表示※を行う。

※ 呼出時間は電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否、非通知理由別着信拒否、公共モード(ドライブモード)の設定により着信が拒否された場合は[0:00]と表示されます。
なお、着信履歴一覧画面から表示設定を選択した場合、または[]が表示されているもの(かかってきた電話に出たものや、応答保留中に切断されたり切断したもの)については呼出時間が表示されません。

着もじを設定する

着もじとは

音声電話やテレビ電話をかけるときに同時にメッセージ(着もじ)を送信して、呼び出し中の相手の電話機に表示し、あらかじめ用件を伝えることができます。
あらかじめ着もじメッセージを登録しておくことができます。また、着もじを受信したときに表示するかどうかを設定できます。

- 全角・半角・絵文字・記号問わず10文字まで送信できます。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 送信画面および受信画面の着もじメッセージの前には、[✐]が表示されます。
- 着もじが表示されるのは着信中(呼出中)のみです。通話を開始したら着もじは消えます。
- 対応機種：902iSシリーズ、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、N902iL、903iシリーズ、904iシリーズ、702iSシリーズ(N702iS、M702iS、M702iGを除く)、703iシリーズ、704iシリーズ、601iシリーズ(L601iを除く)、D800iDS

着もじを受信したときの着信画面

音声電話の場合

メインディスプレイ

サブディスプレイ

テレビ電話の場合

メインディスプレイ　サブディスプレイ

- 受信した着もじは、着信履歴詳細画面でもメッセージの内容を確認できます(☞P.55)。

着もじメッセージの編集や設定をする

■ 着もじメッセージを登録する<メッセージ作成>

着もじメッセージは最大10件まで登録できます。

1 待受画面で◉571を押す。

2 番号を選んで㊂[編集]を押し、メッセージを入力して◉を押す。

- 登録している着もじメッセージを確認するときは、番号を選んで◉を押します。

■ 着もじを表示するかどうかを設定する<メッセージ表示設定>

お買い上げ時　番号通知ありのみ

1 待受画面で◉572を押し、着もじの表示方法を選ぶ。

すべてを表示する	1
電話帳に登録されている相手からのみを表示する	2
発信者番号通知ありの相手からのみを表示する	3
表示しない	4

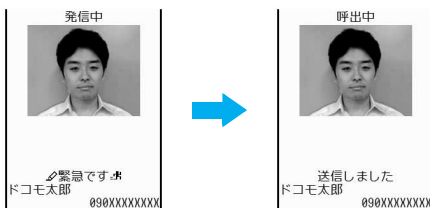
着もじメッセージを付けてダイヤルする<着もじ>

1 待受画面で相手先電話番号を入力し、ⓜ6[着もじ]を押す。

● 電話帳から着もじを付けて発信するときは、P.110を参照してください。

2 着もじメッセージを選ぶ。

新規作成する	1→着もじメッセージを入力する→⦿
登録している着もじメッセージから選択する	2→着もじメッセージを選ぶ→⦿
送信メッセージ履歴から選択する	3→着もじメッセージを選ぶ→⦿ ● 送信メッセージ履歴を1件削除するときは、着もじメッセージを選んでⓜ1を押し、[はい]を選んで⦿を押します。すべての送信メッセージ履歴を削除するときはⓜ2を押し、[はい]を選んで⦿を押します。

3 ☎[音声電話]/ⓘ[テレビ電話]を押す。

● 着もじが相手に届いた場合[送信しました]と表示され、送信料金がかかります。

お知らせ

- 送信メッセージ履歴は、最後に送信したものから最大10件まで記憶されます。
- 呼出動作開始時間設定で設定した時間より呼出時間が短い着信でも、着もじは表示され、送信料金がかかります。
- 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合も、送信料金はかかります。
- 着もじは、海外に送信できません。
- 音声自動再発信時には、テレビ電話発信時の着もじが自動で送信されます。
- 着もじはプッシュトークに対応していません。
- 着信側が以下の状態の場合には、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金はかかりません。
  - ■ 相手が対応端末でないとき
  - ■ メッセージ表示設定で許容している着信以外の着信のときなど

  さらに、着信側が以下の設定・状態の場合には、送信側の画面には送信結果も表示されません(着信側の着信履歴に、着もじは保存されません)。
  - ■ 圏外のときや電源が入っていないとき
  - ■ 公共モード(ドライブモード)を設定しているとき
  - ■ 伝言メモの応答時間を0秒に設定しているときなど

番号通知/非通知

1回の通話ごとに発信者番号を通知/非通知にする

■ 発信者番号を通知しないとき

1 待受画面で相手先電話番号を入力してⓜ22[番号非通知]を押し、☎[音声電話]またはⓘ[テレビ電話]を押す。

発信者番号を通知するとき

1 待受画面で相手先電話番号を入力して◎②①[番号通知]を押し、☎[音声電話]または◉[テレビ電話]を押す。

お知らせ

- 電話帳やリダイヤル、着信履歴の詳細画面で、サブメニューを表示して、番号通知／番号非通知を選び電話をかけることもできます。
- 「186」を入力してから相手先番号を入力して◎②②[番号非通知]を押した場合、発信者番号は通知されます。
- 相手番号を入力し、プレフィックス選択から[186]を付けた場合は発信者番号は通知されます。
- 「184」を入力してから相手先番号を入力して◎②①[番号通知]を押した場合、発信者番号は通知されません。
- 相手番号を入力し、プレフィックス選択から[184]を付けた場合は発信者番号は通知されません。
- 「184」や「186」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

関連操作

「186」を付けてダイヤルする(発信者番号を通知する)
待受画面で①⑧⑥▶電話番号▶☎[音声電話]／◉[テレビ電話]

「184」を付けてダイヤルする(発信者番号を通知しない)
待受画面で①⑧④▶電話番号▶☎[音声電話]／◉[テレビ電話]

お知らせ

通話ごとの発信者番号通知について
- ネットワークサービスの発信者番号通知設定にかかわらず有効です。

ポーズダイヤル

プッシュホン信号を手早く送り出す

チケットの予約や銀行の残高照会サービスの電話番号と送信するメッセージ(番号)などの組み合わせを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で送信できます。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳に電話番号を入力(☞P.98の操作3)し、◔を押して送信する番号を入力する。

- ◔を押すとポーズ[P]が入力されます。
- 番号を入力したあと、◔を押すと続けて番号を入力できます。

2 ◉を押し、電話帳の他の項目を入力する。

- 詳しくは、P.98「基本的な登録のしかた」を参照してください。

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から電話をかける。

- 詳しくは、P.107〜P.110を参照してください。
- 電話がつながると、登録した[P]以降の番号が表示されます。

2 タイミングを合わせて◉[PB送信]を押す。

- [P]以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。
- [P]で区切った複数の番号を登録しているときは、◉[PB送信]を押すたびに送信されます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

通話中にダイヤルボタンで送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュホン信号を1つずつ送信できます。

1 電話をかけ、つながったら送信する番号のダイヤルボタンを押す。

- 押したボタンの番号が、プッシュホン信号として送信されます。
- プッシュホン信号でメッセージを送るときは、80桁以上入力できます(最初に入力した順に消去されます)。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

[通話方法] 009130 ➡010 ➡国番号 ➡地域番号(市外局番) ➡相手先電話番号 ➡☎

- 上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録できます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください(ただし、イタリアの一般電話などにかける場合は、「0」が必要です)。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLをご利用された場合は、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます(☞P.384)。
- 電話帳、着信履歴、リダイヤルを利用するときは、「009130010」を自動的に付加して電話をかけることができます。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順(上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの)ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

テレビ電話対応の海外の特定3G携帯電話をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

国際電話の設定をする

国際アクセス番号の自動付加を設定する<自動国際プレフィックス変換>

お買い上げ時 ON

国際電話をかけるときに、電話番号の先頭に[＋]を入力すると、自動的に国際アクセス番号に変換して発信できます。

1 待受画面で◉6931を押し、1[ON]を押す。

■ [＋]を入力して国際電話をかける

- 0を１秒以上押すと[+]を入力できます。

1 待受画面で[+]、国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力し、☎を押す。

- [＋]を国際アクセス番号に変換して付加した番号が表示されます。

2 [はい]を選んで◉を押す。

- 国際電話を発信します。

WORLD CALL以外の番号を設定する<国際プレフィックス設定>

お買い上げ時 WORLD CALL 009130-010

国際電話をかけるときに利用する国際アクセス番号を最大10件登録できます。

1 待受画面で◉6932を押し、新規に登録する[--------------------]を選んで◉を押す。

すでに登録されている番号を変更する	番号を選ぶ→◉→1
すでに登録されている番号を削除する	番号を選ぶ→◉→2→[はい]→◉
登録した番号を自動付加対象に設定する	番号を選ぶ→◉→3 ● 名称の右に[🌐]が表示されます。 ● 自動付加を解除するときは、再び同様の操作を行います。

2 名称を入力して◉を押す。

- 最大全角７文字（半角14文字）まで入力できます。

3 付加番号を入力して◉を押す。

- 0を１秒以上押すと[+]を入力できます。
- 最大16桁まで入力できます。

■ 国際アクセス番号を選んで国際電話をかける<国際電話発信>

国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号のみを入力して、国際電話をかけることができます。

1 待受画面で国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号を入力し、📷32[国際電話発信]を押す。

2 国際アクセス番号を選んで◉を押し、☎を押す。

関 連 操 作

電話帳から発信する

電話帳の詳細画面で⊡ 4 2 2 ▶ 国際アクセス番号を選ぶ ▶ ⦿ ▶ ☎

着信履歴やリダイヤルから発信する

着信履歴、リダイヤルの詳細画面で⊡ 4 2 ▶ 国際アクセス番号を選ぶ ▶ ⦿ ▶ ☎

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号を設定する

お買い上げ時 009130-010

国際アクセス番号など、電話番号の先頭に付けるプレフィックス番号を最大5件まで登録できます。電話帳、着信履歴、リダイヤルからの発信時にも付加できます。

1 待受画面で⦿ 6 9 1 を押し、新規に登録する[--------------------]を選んで⦿を押す。

すでに登録されている番号を変更する	番号を選ぶ→⦿→1
すでに登録されている番号を削除する	番号を選ぶ→⦿→2→[はい]→⦿

2 プレフィックス番号を入力して⦿を押す。

- 0を1秒以上押すと[+]を入力できます。
- 最大16桁まで入力できます。

プレフィックス番号を付けて電話をかける<プレフィックス選択>

1 待受画面で電話番号を入力し、⊡ 3 1 [プレフィックス選択]を押す。

2 プレフィックス番号を選んで⦿を押し、☎を押す。

関 連 操 作

電話帳から発信する

電話帳の詳細画面で⊡ 4 2 1 ▶ 付加番号を選ぶ ▶ ⦿ ▶ ☎

着信履歴やリダイヤルから発信する

着信履歴、リダイヤルの詳細画面で⊡ 4 1 ▶ 付加番号を選ぶ ▶ ⦿ ▶ ☎

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時 ON

サブアドレスを使用すると、ISDN端末に電話をかけるときに、特定の端末を呼び出すことができます。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。Vライブでコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で⦿ 6 9 2 を押し、1 [ON]を押す。

サブアドレスを指定して電話をかける

● 電話番号とサブアドレスは相手にお問い合わせください。

1 待受画面で電話番号、*、サブアドレスの順にダイヤルし、[発信]を押す。

お知らせ

● 電話番号の先頭に「¥」を入力したり、「184」、「186」、プレフィックス設定で付加された番号のあとに「¥」を入力すると、「¥」以降は電話番号とみなされます。

再接続機能

途切れた通話を自動的に再接続する

お買い上げ時 アラームあり（高音）

● 再接続機能はプッシュトーク通信中も有効です。

1 待受画面で●6 1 2を押し、アラーム音を選ぶ。

アラーム音（高音）を鳴らす	1
アラーム音（低音）を鳴らす	2
アラーム音を鳴らさない	3

お知らせ

● 電波の状態により再接続可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。
● 再接続されるまでの間（最長10秒間）、相手は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時 ON

● 通常は、[ON]でのご使用をおすすめします。

1 待受画面で●6 1 1を押し、1[**ON**]を押す。

お知らせ

● ノイズキャンセラでは、通話を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

- 着信時の画面表示や着信音などの動作、公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合、FOMA端末でマナーモード中や着信音量を[サイレント]に設定していても、電話の着信時にハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりする場合、相手には代替画像が送信されます。
- FOMA端末から音を鳴らすように設定している場合、通話中にFOMA端末を閉じたときはクローズ動作設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合は、クローズ動作設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー対応機器と接続中でも伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作ができないことがあります。

電話／テレビ電話を受ける

電話の着信は、着信音、着信ランプ、バイブレータなどで確認できます。

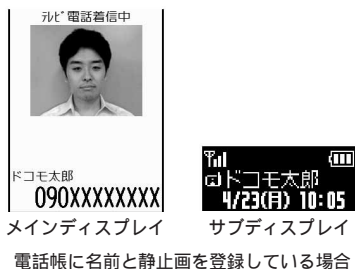
- テレビ電話を受けるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（☞P.386）を利用するか、ハンズフリー（☞P.79）を利用してください。お買い上げ時は、テレビ電話ハンズフリー設定が[ON]に設定されていますので、通話開始時からハンズフリーでお話できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する。

テレビ電話の着信画面

メインディスプレイ

サブディスプレイ

電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 発信者番号が通知されたときは、電話番号が表示されます。電話帳に相手の名前と電話番号が登録されているときは、名前もあわせて表示されます。
- 電話帳にピクチャーコール（静止画または動画／ｉモーション）が設定されているときは（☞P.100）、名前や電話番号に加えて、設定された画像が表示されます（音声電話着信音にｉモーションを設定した場合は、音声電話着信音の画像が優先されます）。
  発信者番号が通知されないときは、表示されません。

音声電話のとき

- 着信中は[着信中]と表示されます。

テレビ電話のとき

- 着信中は[テレビ電話着信中]と表示されます。

テレビ電話の着もじ画面

メインディスプレイ

サブディスプレイ

着もじを受信した場合

- 着もじを受信したときは、メッセージが表示されます（☞P.56）。
- 発信者番号が通知されないときは、非通知理由のメッセージが表示されます。
  [非通知設定]、[公衆電話]、[通知不可能]（☞P.158）

次ページへ続く

2 ☎を押す。

● 着信中は、次のボタンで操作ができます。

	FOMA端末を開いているとき	FOMA端末を閉じているとき
応答保留(☞P.67)	☎	―
クイックサイレント(☞P.124)	#	▼
クイック伝言メモ(☞P.74)	7(1秒以上)	―
マナーモード設定(☞P.123)	#(1秒以上)	▼(1秒以上)
伝言メモ録音※1/着信転送/留守転送/着信拒否※2	📷	―
代替画像で応答(テレビ電話のみ)	i	―

※1 テレビ電話のときは、[テレビ電話伝言メモ]になります。
※2 ワンセグ起動中にテレビ電話を着信した場合は、✉[着信拒否]を押して着信拒否することもできます。

● テレビ電話の場合、エニーキーアンサーを[ON]に設定していても、上記以外のボタン操作は無効です。

音声電話のとき

● エニーキーアンサーで電話を受けることができます(☞P.66)。

テレビ電話のとき

● 自画像で応答します。相手側のカメラ映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。相手側から映像が送信されてこないときには、黒い画面が表示されます。

3 通話が終わったら☎を押す。

お知らせ

● ビル電話などダイヤル市外通話のできない電話機から、FOMA端末へ電話をかけることはできません。
● 電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手から着信があったときに、設定した秒数後に着信音が鳴るようにできる**呼出動作開始時間設定**や、電話帳に登録されていない相手からの電話をつながらないように設定できる**電話帳登録外着信拒否**を設定できます。
● 特定の電話帳をリストに登録して、着信拒否/着信許可を設定できます。
● **留守番電話サービス**の着信通知を利用すると、FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことを知らせるSMSを受信します。その場合は電話帳に登録されている相手からの着信のときは、本文に名前が表示されます。
● **公共モード(ドライブモード)**設定中に電話がかかってきたときは、着信音が鳴らず、着信ランプも点滅しません。**着信履歴**には記憶されます。

音声電話のとき

● サイクロイドポジションで通話するときは、必ず平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用するか、**ハンズフリー**を利用してください。受話口で通話するときは、必ず通常ポジションにしてください。
● 通話中にサイクロイドポジションにすると、[ハンズフリーにしますか?]と表示されます。[はい]を選ぶと、ハンズフリー通話になります。このあと、通常ポジションに戻してもハンズフリーは解除されません。

テレビ電話のとき

● 送信する代替画像の種類は、**代替画像設定**で設定できます。
● **留守番電話サービス**を「開始」に設定しているときにテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、留守番電話サービスに接続し、メッセージ録音/録画が開始されます。また、設定した呼出時間内に応答すると、留守番電話サービスに接続せずに、そのまま通話できます。
● 着信側で**転送でんわサービス**を「開始」に設定しても、転送先が3G-324M(☞P.48)に準拠したテレビ電話対応機種でないと、テレビ電話は転送されません。転送先をあらかじめご確認のうえ、転送設定してください。

編集中に電話がかかってきたとき

● 電話帳やｉモードメール、SMS、着もじメッセージなどの編集中に、電話の着信があると、編集はいったん中断されます。このとき、編集中のデータは自動保存され、通話が終わったあと、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。ただし、変換途中で確定前の文字については、正しく保存されていない場合がありますので、ご注意ください。

登録しているマルチナンバーに着信があると

● 着信した番号に応じて[着信中]/[テレビ電話着信中]の文字の右にマルチナンバーの名称が表示されます。

お知らせ

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用するとき

- 平型スイッチ付イヤホンマイク接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを２秒以上押すと、FOMA端末を開いているときは自画像で、FOMA端末を閉じているときは代替画像でテレビ電話を受けることができます。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます（☞P.77）。
- **オート着信設定**を［ON］に設定すると、平型スイッチ付イヤホンマイク接続中にテレビ電話がかかってきた場合、指定した着信時間後に代替画像を送信して応答します。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます（☞P.77）。

■ 音声電話の通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえたとき

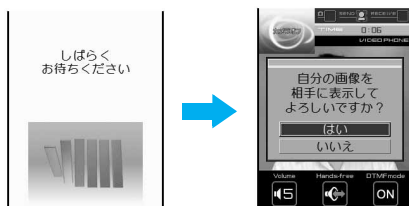
留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただいている場合、通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中着信動作選択を［通常着信］に設定すると、通話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、以下の動作が可能です。

転送でんわサービス	着信中に◎②［着信転送］を押して登録転送先へ転送できます（☞P.395）。
留守番電話サービス	着信中に◎③［留守転送］を押して留守番電話サービスセンターへ転送できます（☞P.392）。
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます（☞P.394）。

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

相手（発信側）の操作で音声電話⇔テレビ電話を切り替えます。

- 自分（着信側）から切り替えることはできません（音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます）。
- 自分のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知（☞P.82）を「開始」に設定しておく必要があります。

1 通話中に相手がテレビ電話／音声電話に切り替える。

音声電話からテレビ電話へ切り替える場合

- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。切り替え中は、［しばらくお待ちください］と表示され、音声ガイダンスが流れます。

音声電話からテレビ電話に切り替えたとき

- 相手がテレビ電話に切り替えたときは、音声ガイダンスが流れたあと、左の画面が表示されます。操作２に進みます。

テレビ電話から音声電話に切り替えたとき

- 相手が音声電話に切り替えたときは、音声ガイダンスが流れたあと、音声電話に切り替わります。そのまま音声電話を始めてください。

2 ［はい］を選んで◉を押す。

音声電話からテレビ電話に切り替えたとき

- 自分側のカメラ映像が送信されます。
- ［いいえ］を選ぶと、自分側のカメラ映像は送信されません。相手側の画面には、［カメラオフ］と表示されます。

お知らせ

- マルチアシスタントから他の画面を表示したときや保留中、パケット通信中、FOMA端末を閉じているときなどは、切り替えられません。また、サブメニューから機能を実行しているときは切り替えられない場合があります。

エニーキーアンサー

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時 ON

エニーキーアンサーを設定すると、通常時のボタン以外でも通話を開始することができます。

	通常時	エニーキーアンサー設定時
音声電話	[発信]	1～9、0、＊、●、[方向]、[i]、[メール]、[本]、CLR、MULTI、Eco※、TV※
テレビ電話	[発信]、[i]	−
プッシュトーク	[発信]、[P]（[P]）	1～9、0、＊、●、[i]、[カメラ]、[メール]、[本]、CLR、MULTI、Eco※、TV※

※ ワンセグ起動中は[Eco]、[TV]での応答はできません。

● 保留中および応答保留中の再開／開始の操作については、P.51、P.67を参照してください。

1 待受画面で●[6][3][1]を押し、[1]［ON］を押す。

回転連動着信応答

ディスプレイを回転して通話を開始する

お買い上げ時 ON

サイクロイドポジションのときに音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信があった場合、通常ポジションに戻すだけで着信応答することができます。

● テレビ電話がかかってきたときは、自画像で応答します。

1 待受画面で●[6][3][3]を押し、[1]［ON］を押す。

クローズ動作設定

FOMA端末を閉じて通話を終了／保留する

お買い上げ時 電話／テレビ電話：終話　プッシュトーク：スピーカ通話

1 待受画面で●[6][7]を押し、クローズ動作を選ぶ。

電話／テレビ電話	[1][1]	閉じたときに保留する（保留音あり）
	[1][2]	閉じたときに通話を終了する
	[1][3]	閉じたときにミュートする（保留音なし）
プッシュトーク	[2][1]	閉じたときに通信を終了する
	[2][2]	閉じたときに相手の声がスピーカから聞こえるようにする

お知らせ

● ［保留］に設定しているときは、**保留音**が流れます。保留音は変更（☞P.68）できます。テレビ電話の場合、相手には**保留画像設定**で設定した画像が送信されます。

● ［ミュート］に設定しているときは、保留音は鳴りません。テレビ電話の場合、**代替画像設定**で静止画を設定したときは、相手には設定した静止画が送信されます。**キャラ電**を設定したときは、相手には現在設定中のキャラ電が送信されます。

● ［保留］または［ミュート］に設定している場合、再び通話するときは、FOMA端末を開きます。

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときは、［保留］、［ミュート］、［終話］の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話が継続されます。

※ テレビ電話の場合、代替画像設定で設定した代替画像が相手に送信されます。そのあと、FOMA端末を開くとカメラ画像が相手側に送信されます（☞P.78）。

お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の場合、FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、[ミュート]、[終話]に設定中はミュート状態になり、[保留]に設定中は保留状態になります。再びイヤホンマイクを接続するか、FOMA端末を開くと、通話できます。プッシュトークの場合、FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、[終話]、[スピーカ通話]の設定にかかわらず、スピーカ通話となります。
- プッシュトークの場合、[スピーカ通話]に設定しているときは、FOMA端末を開くと[PTハンズフリー設定]の通信状態に戻ります。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時 音量5

通話中に相手の声の大きさを10段階で調節できます。

- 受話音量を上げて通話すると、周囲の状況により雑音が発生することがあります。適切な音量でご使用ください。
- 通話中や待受中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

1 通話中に⦿または⦿を押す。

受話音量調節画面

- 待受中の受話音量調節については、P.119を参照してください。
- テレビ電話の通話中は、📷2を押しても操作できます。

2 ⦿（上げる）／⦿（下げる）を押して音量を調節する。

- 音量調節後、⦿／CLRを押す、または、約2秒経過すると元の画面に戻ります。

お知らせ

- プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じているときは、▲（上げる）／▼（下げる）を押して音量を調節することができます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

かかってきた音声電話やテレビ電話にすぐに出られないときは、保留にできます。

- 応答保留中も、相手に通話料金がかかります。

1 着信音が鳴っている間に☎を押す。

- 音声電話をかけてきた相手には、電話はつながった状態のまま、応答保留音（☞P.68）が流れ、保留されます。
- テレビ電話をかけてきた相手には、電話はつながった状態のまま、応答保留音（☞P.68）が流れ、自分のFOMA端末で設定した応答保留画像に[応答保留]という文字が重なって表示されます。
- 応答保留中に電話を切るときは、☎を押します（着信履歴に記憶されます）。
- 応答保留中に相手が電話を切ったときも着信履歴に記憶されます。
- 転送でんわサービスや留守番電話サービスをご契約されている場合は、転送先への転送や留守番電話サービスセンターへの接続ができます（☞P.65）。

2 電話に出られるようになったら、☎を押す。

- テレビ電話の場合は、⦿を押すと代替画像を送信して電話に出ることができます。

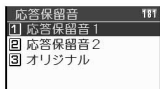
応答保留音

応答保留音を設定する

お買い上げ時 応答保留音１

応答保留中に相手へ流れるガイダンスを設定します。

- ［応答保留音１］（日本語）と［応答保留音２］（英語）、または録音した音声メモを選択できます。
  応答保留音１… ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。
  応答保留音２… I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call me back later, thank you.

1 待受画面で⦿①⑧①を押し、応答保留音を選ぶ。

ガイダンスの言語を設定する	①：日本語／②：英語
音声メモを録音してから設定する	③①→録音する→②［再生］→メモを選ぶ→⦿ ● 録音中に途中で録音を止めるときは⦿を押します。
録音した待受中音声メモを設定する	③②→メモを選ぶ→⦿
音声メモに機能別ロックを設定する	③③→端末暗証番号を入力→⦿→① ● 機能別ロックを解除するとき：②

- ［応答保留音１］または［応答保留音２］を選んで⦿を押すと、応答保留音が再生されます。もう一度⦿を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

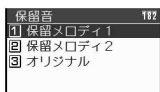
保留音

通話保留音を設定する

お買い上げ時 保留メロディ１

通話を保留中に相手へ流れる保留音を設定します。

- 通話中の保留音は受話音量と同じ音量で流れます。

1 待受画面で⦿①⑧②を押し、保留音を選ぶ。

保留メロディを設定する	①［保留メロディ１］／②［保留メロディ２］
音声メモを録音してから設定する	③①→録音する→②［再生］→メモを選ぶ→⦿ ● 録音中に途中で録音を止めるときは⦿を押します。
録音した待受中音声メモを設定する	③②→メモを選ぶ→⦿
音声メモに機能別ロックを設定する	③③→端末暗証番号を入力→⦿→① ● 機能別ロックを解除するとき：②

- ［保留メロディ１］または［保留メロディ２］を選んで⦿を押すと、保留音が再生されます。もう一度⦿を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受中のみできます（画面に［圏外］が表示されているときでも可能です）。
- 公共モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信時はご利用できません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に［非通知設定］の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

1 待受画面で㊀を１秒以上押す。

- 公共モードが設定され、［🚗］が表示されます。
- 着信時に相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れます。
- マナーモードを同時設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

公共モード（ドライブモード）を解除する

1 待受画面で[*]を１秒以上押す。

- 公共モードが解除され、[ ]が消えます。

公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話、テレビ電話やプッシュトークがかかってきても、着信音は鳴りません。ディスプレイには[着信あり]と表示され、着信履歴に記憶されます（☞P.53）。

- 音声電話をかけてきた相手の方には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手の方には、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。ただし、電源が入っていない場合や電波が届かないところにいる場合は、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- ｉモードメール、SMSやメッセージR／Fは、着信バイブレータを設定しても振動しません。また、着信音も鳴りませんが自動的に受信し着信のマークが表示されます。
- データ通信を着信したときも着信バイブレータ・着信音・着信ランプは動作しません。
- プッシュトーク着信した場合は応答を行わず、発信者のディスプレイには[接続できませんでした]と表示されます。３人以上の会話では、参加メンバーに対して、運転中であることが伝わります。

公共モード（ドライブモード）設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名		音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス（☞P.392）		着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため留守番電話サービスに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴には記憶されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス（☞P.395）		接続されず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。着信履歴には記憶されます。※2	接続されず、すぐに転送されます。ただし、転送先が3G-324M（☞P.48）に準拠したテレビ電話以外の場合は切断されます。着信履歴には記憶されます。
キャッチホン（☞P.394）		着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	着信音は鳴らず、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴には記憶されます。
迷惑電話ストップサービス（拒否登録した電話番号から着信した場合）（☞P.396）		接続されず、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。	相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴にも記憶されません。
番号通知お願いサービス（☞P.397）	電話番号を通知していない場合	接続されず、番号通知お願いのガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴にも記憶されません。	番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴にも記憶されません。
	電話番号を通知している場合	着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴には記憶されます。

※１ 留守番電話サービスの呼出時間を［０秒］に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴にも記憶されません。

※２ 転送でんわサービスの呼出時間を［０秒］に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。着信履歴にも記憶されません。

お知らせ

- 公共モード設定中にアラーム時刻になっても、アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータ、サブディスプレイも動作しません。

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面で[＊][2][5][2][5][1][発信]を押す。

- 公共モード(電源OFF)が設定されます(待受画面上の変化はありません)。
- 公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に、携帯電話の電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れます。

公共モード(電源OFF)を解除する

1 待受画面で[＊][2][5][2][5][0][発信]を押す。

- 公共モード(電源OFF)が解除されます。

公共モード(電源OFF)の設定を確認する

1 待受画面で[＊][2][5][2][5][9][発信]を押す。

- 現在の設定状況を確認できます。

公共モード(電源OFF)を設定すると

公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。プッシュトーク着信した場合は応答を行わず、発信者のディスプレイには[接続できませんでした]と表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、不参加であることが伝わります。

公共モード(電源OFF)に設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名		音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス(☞P.392)		携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス(☞P.395)		携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。公共モード(電源OFF)のガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います(☞P.395)。※2	公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、転送されずに切断されます。
迷惑電話ストップサービス(拒否登録した電話番号から着信した場合)(☞P.396)		相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れたあと、切断されます。	相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
番号通知お願いサービス(☞P.397)	電話番号を通知していない場合	番号通知お願いのガイダンスが流れたあと、切断されます。	番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
	電話番号を通知している場合	公共モード(電源OFF)のガイダンスが流れたあと、切断されます。	公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

※1 留守番電話サービスの呼出時間を[0秒]に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴にも記憶されません。

※2 転送でんわサービスの呼出時間を[0秒]に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。着信履歴にも記憶されません。

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面には[着信あり]と着信件数が表示されます(不在着信表示)。
- 不在着信を確認するか、CLRを1秒以上押すと、[着信あり]の表示が消えます。
- 不在着信をランプでお知らせすることができます(☞P.140)。

メインディスプレイ

サブディスプレイ

1 待受画面に[着信あり]が表示されているときに、●を押す。

- ○(→□)を押しても、着信履歴を確認できます(☞P.54)。

2 [着信あり]を選んで●を押す。

- 不在着信には[☎]が表示されます。

3 電話番号を選んで●を押す。

- 不在着信の内容が表示されます。
- 着信履歴と同様の操作で、電話をかけたり、他の着信履歴を確認できます。

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときにFOMA端末が応答して伝言を預かることができます。音声電話がかかってきた場合は、音声ガイダンスを流して相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は、応答画像で応対して相手の画像と音声を録画します。
- 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときには使用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスをあわせてご利用になると便利です。
- 音声電話伝言メモは3件(1件あたり約15秒)まで録音できます。通話中音声メモや待受中音声メモを録音したときは、それらの件数も含めて3件です。
- テレビ電話伝言メモは2件(1件あたり約15秒)まで録画できます。
- 待受画面に表示される伝言メモの件数は、音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモの合計です。
- マナーモード設定中は、伝言メモの設定／解除はできません。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモを設定する

1 待受画面で●651を押し、1[ON]を押す。

伝言メモ表示

- 伝言メモが設定されます。☎を押すと待受画面に戻り[■]が表示されます。
- 伝言があると、[■1](1件の場合)[■2](2件の場合)…のように件数を表すマークが表示されます。
- 音声電話伝言メモ3件とテレビ電話伝言メモ2件が録音／録画されると、[■]が表示され、それ以降、音声電話やテレビ電話がかかってきても伝言メモで応答しません。不要な用件を削除すると、伝言メモが再び有効になります。

お知らせ

- 留守番電話サービスを利用すると、1件あたり最長3分間、それぞれ20件まで録音／録画できます。設定しているときは、音声電話伝言メモ3件、またはテレビ電話伝言メモ2件が録音／録画されていても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
- 伝言メモの再生と削除については、P.74を参照してください。
- 伝言メモ設定またはマナーモード設定により伝言メモを設定しているときは、伝言メモが自動的に応答します。
- テレビ電話伝言メモの応答画像は、テレビ電話時応答画像で設定できます。

伝言メモを解除する

1 待受画面で◉⑥⑤①を押し、②［OFF］を押す。

- 伝言メモが解除されます。☎を押すと待受画面に戻り［📼］が消えます。

伝言メモ／テレビ電話伝言メモを設定したときは

1 電話がかかってくると、伝言応答時間（☞P.73）のあとに伝言メモが応答する。

音声電話伝言メモ応答中

伝言メモ
応答中
ドコモ太郎
090XXXXXXXX

メインディスプレイ

伝言メモ応答中
4/23(月) 10:05

サブディスプレイ

テレビ電話伝言メモ応答中

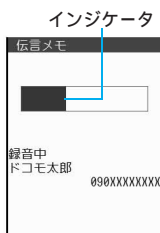
伝言メモ応答中
TIME 0:10
VIDEO PHONE
伝言メモ応答中
Volume Hands-free DTMFmode

メインディスプレイ

サブディスプレイ

- 音声電話をかけてきた相手には、音声ガイダンスが流れます。
- テレビ電話がかかってきたときは、［伝言メモ準備中お待ち下さい］と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。テレビ電話をかけてきた相手には、伝言メモメッセージが流れ、応答画像が送信されます。
- 伝言メモ応答中、録音中、録画中に☎で電話に出ることができます。また、テレビ電話のときは、◉を押すと代替画像を送信できます。

2 相手の用件を録音／録画する。

音声電話伝言メモ録音中

メインディスプレイ

サブディスプレイ

テレビ電話伝言メモ録画中

時間

メインディスプレイ

サブディスプレイ

- インジケータ、時間は目安です。
- 用件の録音／録画が終わると、元の画面に戻ります。
- 音声電話伝言メモのときは、録音中は相手の声が受話口から聞こえます（マナーモード設定時は、受話口から相手の声は聞こえません）。
  録音を開始するときに、相手に「ピー」と発信音が流れます。
- テレビ電話伝言メモのときは、録画中は画面に相手の画像は表示されませんが、実際は相手の画像も録画しています。
- 伝言メモが3秒以下の場合、録音／録画されないことがあります。
- 伝言メモの録音／録画中に電話に出た場合、電話に出るまでの間に録音／録画された内容は記憶されます。

お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音／録画内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- 電波の状態により録音／録画内容が途切れたりすることがあります。
- テレビ電話伝言メモの応答中、相手には、自分のFOMA端末で設定した応答画像に［伝言メモ］という文字が重なって表示されます。
- 伝言メモ録音／録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。
- 圏外通知や番号変更案内、留守番電話開始などのガイダンスは録音／録画できません。

お知らせ

- 公共モード（ドライブモード）を設定しているときは、伝言メモは動作しません。

関連操作

応答メッセージが始まるまでの時間を設定する<伝言応答時間>

待受画面で⦿⑥⑤②▶応答時間（３桁：000〜120秒）を入力▶⦿

- 着信音を鳴らさずに、伝言メモが応答するようにするとき：応答時間に[000秒]を入力

応答メッセージを設定する<応答メッセージ>

1. 待受画面で⦿⑥⑤③
2. メッセージの種類を選ぶ▶⦿
   - オリジナルの応答メッセージを録音するとき：③①▶録音する▶②▶メモを選ぶ▶
   - オリジナルの応答メッセージを設定するとき：③②▶メモを選ぶ▶
   - 応答メッセージを再生／停止するとき：

テレビ電話伝言メモの応答画像を設定する<テレビ電話時応答画像>

待受画面で⦿⑥⑤④▶フォルダを選ぶ▶⦿▶静止画を選ぶ▶

- 静止画を確認するとき：静止画を選ぶ▶⦿

お知らせ

伝言応答時間について

- 伝言応答時間は、音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモに共通の設定です。
- お買い上げ時は、[13秒]に設定されています。
- オート着信の設定と同じ時間には設定できません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。
  伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの応答時間を短く設定してください。

応答メッセージについて

- お買い上げ時は、応答メッセージは[応答メッセージ１]に設定されています。
- お買い上げ時には、[応答メッセージ１]と[応答メッセージ２（英文）]が登録されています。
  応答メッセージ１ .... ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。
  応答メッセージ２（英文）... I can't take your call now. Please leave your message, thank you.
- オリジナルの応答メッセージを削除（☞P.75）すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 録音中に途中で録音を止めるときは⦿を押します。

テレビ電話時応答画像について

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。GIFアニメーションは利用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は利用できません。
- お買い上げ時は、[テレビ電話代替]に設定されています。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録音／録画できます。

1 着信中に7を１秒以上押す。

- 音声電話着信中に◎1[伝言メモ録音]を押しても操作できます。音声ガイダンスが流れたあと、録音が始まります。
- テレビ電話着信中に◎2[テレビ電話伝言メモ]を押しても操作できます。[伝言メモ準備中　お待ち下さい]と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示され、録画が始まります。
- 伝言メモについて、詳しくはP.71を参照してください。

伝言メモ・音声メモ再生／削除

伝言メモ・音声メモを再生／削除する

伝言メモの用件、通話中音声メモや待受中音声メモの内容を再生したり、削除できます。

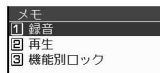
伝言メモ・音声メモを再生する

再生時の音量は、受話音量調節（☞P.67）の設定に従います。

- 音声メモの録音については、P.383を参照してください。

1 待受画面で⦿9285を押し、2[再生]を押す。

メモ
1 録音
2 再生
3 機能別ロック

メモ再生
1 04/23 10:10
携帯花子

メモリスト画面

- 待受画面で7を１秒以上押し、2を押しても操作できます。

[伝言メモあり　○件　テレビ伝言メモあり　○件]と表示されているとき

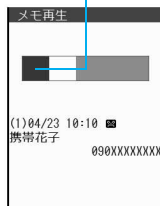
- 待受画面で⦿を押し、[]を選んで⦿を押し、2を押します。
- 未再生のメモには、[]が表示されます。

メモ種別

	通話中音声メモ
	伝言メモ
	待受中音声メモ

電話種別

表示なし	音声電話
	テレビ電話

2 メモを選んで⦿[再生]を押す。

音声電話
伝言メモの場合

- インジケータは目安です。
- 非通知着信および待受中音声メモの場合、電話番号や名前は表示されません。
- 途中で止めるときは、⦿を押します。メモリスト画面が表示されますので、最初から聞くときは再び⦿を押します。他のメモを選んで⦿を押すと選んだメモが再生されます。
- 伝言メモ・音声メモの再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。
- 伝言メモ・音声メモの再生中にアラームの指定時刻になると、再生は自動的に止まり、アラームが動作します。
- 着信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、メモリスト画面は表示されず、伝言メモ・音声メモは再生／削除できません。

伝言メモ・音声メモを削除する

1 メモリスト画面（☞P.74）でメモを選び、削除方法を選ぶ。

1件削除する	Ⓜ1→[はい]→●
すべてを削除する	Ⓜ2→[はい]→●

関連操作

伝言メモ・音声メモを機能別ロックする<機能別ロック>
待受画面で●9285▶3▶端末暗証番号を入力▶●▶1

キャラ電を利用する

● キャラ電については、P.313もあわせて参照してください。

キャラ電を代替画像として送信する<送信画像切替>

お買い上げ時 Dimo

テレビ電話中の操作で、自分のカメラ映像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。

1 テレビ電話中にⓂ33[キャラ電]を押し、フォルダを選んで●を押し、キャラ電を選んで◉[決定]を押す。

● あらかじめ代替画像としてキャラ電を設定（☞P.78）しておくと、テレビ電話中に◉[代替画像]を押すだけでキャラ電を送信できます。テレビ電話がかかってきたときは、◉[代替画像]を押すだけでキャラ電で電話を受けることができます。

お知らせ

● DTMF送信モードを[ON]に設定した場合は、ダイヤルボタンでプッシュホン信号が送出されるため、キャラ電のボタン操作ができません。
● [Dimo]を削除したあとで、設定リセットを行うと[テレビ電話代替]になります。

お買い上げ時に登録されているキャラ電

お買い上げ時には、次のキャラ電が登録されています。

Dimo

Dimoが笑ったり泣いたりなど、体全体のアクションで応対します。

全体アクションモードでのアクション一覧

番号（ボタン操作）	アクション	番号（ボタン操作）	アクション
1	笑う	6	NG
2	泣く	7	サメ
3	怒る	8	博士風メガネ
4	こんにちは	9	ガーン
5	OK		

● アクションを途中で中止するときは、0を押します。
● Dimoは、パーツアクションに対応していません。

■ キャラ(女性)

OL風のキャラクタです。喜びや哀しみの感情を表したり、手を振ったり、頭を傾けるなどのさまざまなアクションで対応します。

全体アクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション
1	喜ぶ
2	怒る
3	哀しむ
4	投げキッス
5	驚く
6	ゴメン
7	恥ずかしー
8	ずっこけ
9	バーン!

● アクションを途中で中止するときは、0を押します。

パーツアクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション
1 1	(右腕)手を振る(ループ)
1 2	(左腕)手を振る(ループ)
1 3	(顔)うなずく
1 4	(右腕)おいでおいで(ループ)
1 5	(左腕)おいでおいで(ループ)
1 6	(顔)左右ブルブル
1 7	(顔)右に傾ける
1 8	(顔)左に傾ける

■ キャラ(男性)

ビジネスマン風のキャラクタです。うなずいたり、笑うなどの感情を表したり、手を上げるなどのアクションで対応します。

全体アクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション
1	うなずく
2	笑う
3	怒る
4	驚く
5	悩む
6	携帯電話
7	決めポーズ

● アクションを途中で中止するときは、0を押します。

パーツアクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション
1 1	右手を上げる
4 4	右手を下げる
3 3	左手を上げる
6 6	左手を下げる
8 8	通常ズーム
9 9	ズームアップ

テレビ電話中にキャラ電を切り替える<キャラ電切替>

テレビ電話中にキャラ電を送信しているとき、別のキャラ電に切り替えることができます。

1 代替画像でキャラ電を送信中に、📷 ◌ 2 1 [キャラ電切替]を押し、フォルダを選んで⊙を押し、キャラ電を選んで⊙[決定]を押す。

全体アクションとパーツアクションを切り替える<アクション切替>

表示中のキャラ電の動作を、全体アクションかパーツアクションに切り替えることができます。

1 代替画像でキャラ電を送信中に、◌を1秒以上または📷 ◌ 2 2 [アクション切替]を押す。

● 全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。

キャラ電にアクションをさせる

キャラ電にアクションをさせることができます。
- アクション一覧を表示せずに、アクションの番号(1～9)を押してアクションをさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.75を参照してください。
- 全体アクションモードにすると、[笑う]や[怒る]などの感情を選ぶことができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたり、ジャンプやダンスなどをさせることができます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かしたりなどアクションの種類は異なります。
- アクションしないものもあります。
- キャラ電によっては、操作しなくてもアクションを行うものがあります。

1 代替画像でキャラ電を送信中に、[アクションリスト]を押すか、を1秒以上または23[アクション一覧]を押す。

アクション一覧
1 笑う
2 泣く
3 怒る
4 こんにちは
5 OK
6 NG
7 サメ
8 博士風メガネ
9 ガーン

開始する	アクションを選ぶ→ ● アクションを中止するとき：0
詳細を表示する	

相手側に送信する映像について設定する

送信する画像を通話中に切り替える<送信画像切替>

テレビ電話中に、相手に送信する画像を変更できます。
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」(横×縦)のサイズの静止画を利用できます。GIFアニメーションは利用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は利用できません。ただし、FOMA端末で撮影した画像はファイル制限設定に関係なく利用できます(静止画メモで撮影した画像は利用できません)。
- microSDメモリーカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末(本体)マイピクチャの[外部取得データ]フォルダにコピーしてご利用ください。

1 テレビ電話中に3[送信画像切替]を押し、送信する画像を選ぶ。

©Disney

- テレビ電話中に[代替画像]を押すと、代替画像設定で設定した代替画像が送信されます。自画像に戻すときは[自画像]を押します。

自画像	1
代替画像	2→フォルダを選ぶ→→静止画を選ぶ→
キャラ電	3→フォルダを選ぶ→→キャラ電を選ぶ→

- ここでの設定は、テレビ電話を終了すると解除されます。

関連操作

自画像のズームアップ／ズームダウンを行う<ズームアップ／ズームダウン>

1 テレビ電話の通話中にまたは
2 (ズームアップ)または(ズームダウン)
- 最大ズーム：／最小ズーム：

次ページへ続く

関連操作

メインカメラとサブカメラを切り替える<カメラ切替>

テレビ電話の通話中に✉または📷◐1

- サブカメラに切り替えるとき:もう一度✉または📷◐1

データBOXの静止画を送信する<ファイル再生>

テレビ電話の通話中に📷34▶フォルダを選ぶ▶⦿▶静止画を選ぶ▶⊜

- 自画像に戻すとき:⊜または 📷31

明るさを調整する<明るさ調整>

テレビ電話の通話中に◠(1秒以上)(明るくする)または◡(1秒以上)(暗くする)

お知らせ

ズームアップ/ズームダウンについて

- 最大20段階(メインカメラ)、2段階(サブカメラ)のズームを設定できます。
- 代替画像を送信しているときは、画像をズームできません。
- 相手の映像はズームできません。
- カメラを切り替えたり、テレビ電話を終了するとズームは解除されます。

カメラ切替について

- テレビ電話を終了すると、サブカメラに戻ります。
- 電池残量が[▭]以下になるか、メインカメラ周辺の温度が高くなると、[ただいまメインカメラを利用できません]と表示され、メインカメラを使用できなくなります。メインカメラ使用中の場合は、代替画像に切り替わります。サブカメラからメインカメラに切り替えようとした場合は、サブカメラのままとなります。
- DTMF送信モードを[OFF]に設定しているときは、#を押しても切り替えられます。

明るさ調整について

- ディスプレイ上部に[-2]、[-1]、[±0]、[+1]、[+2]が表示されます。
- テレビ電話を終了すると、明るさは元に戻ります。
- 代替画像を送信しているときは、明るさを調整できません。

相手に送信する画像を発信時に変更する<テレビ電話画像設定>

1 電話番号を入力して📷5[テレビ電話画像設定]を押し、送信する画像を選ぶ。

- 電話帳内容表示画面やリダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面から発信するときは、📷6を押します。
- ここでの設定は、その発信に限り有効です。

自画像	1
キャラ電	2→フォルダを選ぶ→⦿→キャラ電を選ぶ→⊜ ● キャラ電を確認するときは、キャラ電を選んで⦿を押します。戻るときは、CLRを押します。

代替画像を設定する<代替画像設定>

お買い上げ時 Dimo

テレビ電話中の代替画像に、静止画やキャラ電(☞P.313)を設定できます。

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF:176×144」(横×縦)サイズの静止画を利用できます。GIFアニメーションは利用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は利用できません。

1 待受画面で⦿6421を押し、代替画像を選ぶ。

代替画像設定
1 代替画像
2 キャラ電

代替画像	1→フォルダを選ぶ→⦿→静止画を選ぶ→⊜
キャラ電	2→フォルダを選ぶ→⦿→キャラ電を選ぶ→⊜

- 画像を確認するときは、画像を選んで⦿を押します。戻るときは、CLRを押します。

お知らせ

- テレビ電話中に㊂を押すと、設定した代替画像が送信されます。
- 代替画像として静止画を送信中、相手には、静止画に[カメラオフ]という文字が重なって表示されます。キャラ電を設定している場合、[カメラオフ]は表示されません。
- 代替画像は次の優先順位で送信されます。

	優先順位(高→低)
画像	電話帳の代替画像設定→テレビ電話設定の代替画像設定

関連操作

応答保留や通話保留の画像を変更する<応答保留画像設定/保留画像設定>

1 待受画面で◉6 4 2
2 応答保留画像設定するときは2
   - 保留時の代替画像を設定するとき:3
3 フォルダを選ぶ▶◉▶画像を選ぶ▶㊂

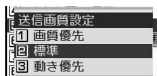
お知らせ

- お買い上げ時は、どちらも[テレビ電話代替]に設定されています。

送信画質を設定する<送信画質設定>

お買い上げ時 標準

テレビ電話中に送信する自画像の画質を設定できます。

1 待受画面で◉6 4 5を押し、画質を選ぶ。

- テレビ電話の通話中に設定するときは、◎5 3を押します。

画質優先	1	撮影対象の形や色などを中心に伝えたいとき
標準	2	画質の美しさと動きのバランスをとるとき
動き優先	3	撮影対象の動きを中心に伝えたいとき

お知らせ

- テレビ電話中の送信画質設定は一時的なものです。テレビ電話を終了すると、待受画面から◉6 4 5[送信画質設定]で設定した画質に戻ります。
- テレビ電話中の送信側と受信側の画質設定は異なります。

テレビ電話ハンズフリー設定

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時 ON

テレビ電話の通話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定できます。ハンズフリーにすると、相手の声をスピーカから流して、映像を見ながら通話できます。

- 他の人の迷惑にならないような場所でご利用ください。
- 送話口から約20〜40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。

1 待受画面で◉6 4 7を押し、1[ON]を押す。

通話中にハンズフリーのON／OFFを切り替える

1 テレビ電話の通話中に[ハンズフリー]を押す。

- [ハンズフリー]を押すたびにハンズフリーのON／OFFが切り替わります。
- ハンズフリー中は[ ]が表示されます。

お知らせ

- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
- ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、受話音量を下げてください。

テレビ電話設定

テレビ電話中の映像を設定する

テレビ電話の通話中にディスプレイの画像表示を変更できます。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	設定内容	お買い上げ時の設定	ページ
明るさ調整	カメラ映像の明るさを５段階で調整できます。	±0	P.78
テレビ電話画面設定	相手側の映像と自分側の映像の表示方法を変更できます。	相手大／自分小	P.80
子画面表示設定	子画面の表示位置を設定できます。	左上	P.80
テレビ電話中照明	テレビ電話中のディスプレイの照明時間を設定できます。	常にON	P.81
自画像設定	自分側の映像を、正像、鏡像、または一時停止に設定できます。	鏡像	P.81

テレビ電話の画面を設定する<テレビ電話画面設定>

- テレビ電話画面設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。
- 次の４種類から選ぶことができます。

相手大／自分小

相手のみ

自分大／相手小

自分のみ

1 テレビ電話の通話中に[メニュー]５１[テレビ電話画面設定]を押す。

- 待受画面で●６４３を押しても操作できます。

2 表示方法を選んで●を押す。

テレビ電話の子画面を設定する<子画面表示設定>

- 子画面を[右下]に設定すると、通話時間や明るさ調整、送信、受信画像マークは左下に表示されます。
- 子画面表示設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。
- 次の２種類から選ぶことができます。

左上

右下

1 テレビ電話の通話中に📷 5 2［子画面表示設定］を押す。

● 待受画面で⦿ 6 4 4を押しても操作できます。

2 表示位置を選んで⦿を押す。

関 連 操 作

照明を設定する<テレビ電話中照明>

1 テレビ電話の通話中に📷 5 4
  ● 待受画面から：⦿ 2 7 4 1 3
2 2［常にON］
  ● 通常時と同じにするとき：1

自分側の画像を静止画にして送信する<一時停止>

テレビ電話の通話中に📷 3 5 1
● 元に戻すとき：📷またはCLR

自分側の画像を正像にする<正像／鏡像切替>

テレビ電話の通話中に📷 3 5 2

お知らせ

テレビ電話中照明について
● ［通常時と同じ］に設定すると、照明時間設定の通常時で設定した点灯時間になります。
● 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
● テレビ電話中照明は、テレビ電話を終了しても保持されます。

自画像設定（一時停止、正像／鏡像切替）について
● 設定にかかわらず相手側には常に正像が表示されます。
● カメラ映像が停止した状態の静止画を送信できます。
● ［正像］は見たとおりの向きに、［鏡像］は左右逆向きに表示されます。
● 代替画像を送信しているときは、自画像設定できません。
● 一時停止中、相手には、自分側の映像に［停止中］という文字が重なって表示されます。
● テレビ電話を終了すると、自画像設定は元に戻ります。
● サイクロイドポジションでのテレビ電話中は、正像／鏡像切替は利用できません。
● 一時停止中に画面を回転した場合、一時停止は解除されます。

テレビ電話の設定を変更する

音声電話で自動的にかけ直す<音声自動再発信>

お買い上げ時 OFF

テレビ電話をかけたときに接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 待受画面で⦿ 6 4 1を押し、1［ON］を押す。

● テレビ電話通信が開始された場合、音声自動再発信は行いません。

お知らせ

● 音声電話で再発信した場合の通話料金は、テレビ電話通話料ではなく、音声電話通話料になります。
● ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（☞P.48）に対応していないISDNのテレビ電話など（2007年８月現在）や間違い電話をかけたときなどは、音声自動再発信を行わないことがあります。また、通信料金が発生することもありますので、ご注意ください。

テレビ電話切替機能通知

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

お買い上げ時 開始

相手に自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能かどうかを通知する設定です。
- テレビ電話切替機能通知を「停止」に設定すると、相手から切り替えることはできません。
- 音声電話中、テレビ電話中、および圏外時にテレビ電話切替機能通知を変更することはできません。

1 待受画面で⦿6 4 6を押し、切替機能通知を選ぶ。

開始する	1→[はい]→⦿
停止する	2→[はい]→⦿
設定を確認する	3

パケット通信中着信設定

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

お買い上げ時 テレビ電話優先

パケット通信中にテレビ電話がかかってきたときの動作を設定します。
- プッシュトーク通信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新中、パケット通信を利用したデータ通信中にテレビ電話がかかってきた場合は、着信拒否されます。

1 待受画面で⦿6 4 8を押し、着信動作を選ぶ。

テレビ電話優先	1	かかってきたテレビ電話に出ることができます。
パケット通信優先	2	テレビ電話着信を拒否します。
留守番電話	3	自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ	4	自動的に転送でんわサービスに接続します。

- [テレビ電話優先]に設定していても、テレビ電話に出ないとパケット通信は継続されます(テレビ電話に出ると、パケット通信は切断されます)。
- [留守番電話]や[転送でんわ]に設定するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。

静止画メモ

相手の画像を静止画として保存する

テレビ電話中に、相手の画像を静止画撮影できます。
- テレビ電話画面設定を[自分のみ]に設定している場合、静止画メモを選択できません。
- 撮影できるサイズは「QCIF:176×144」(横×縦)です。

1 テレビ電話中に📷4[静止画メモ]を押し、⦿[📷]を押す。
- 静止画撮影中、相手には、自分側の映像に[撮影中]という文字が重なって表示されます。
- シャッター音は鳴りません。
- 静止画が撮影され、[保存中]が表示されます。
- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。
- 撮影した静止画はFOMA端末外へ出力できません。

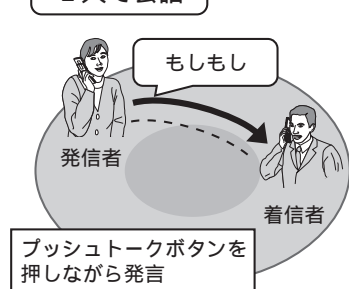
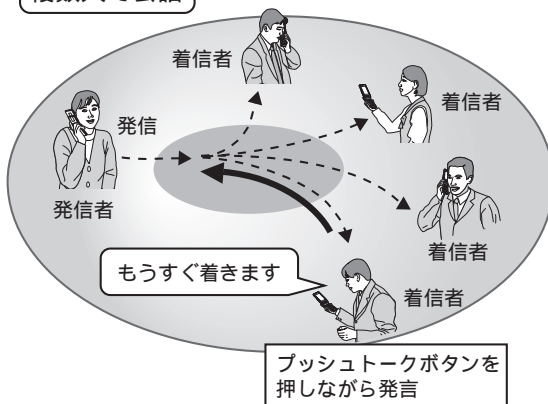
プッシュトーク

プッシュトークとは

プッシュトークボタンを押してプッシュトーク用電話帳を呼び出し、相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけの簡単操作で複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通信することができます。プッシュトークボタンを押す（発言する）ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。
ボタンを押し続けている間だけ発言することができ、発言者以外のメンバーはその間は聞くだけになります。また、画面では誰が発言しているかなどメンバーの状態が確認できます。
グループ内での連絡や短い用件を同時に伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

- 対応機種：902iシリーズ、902iSシリーズ、SO902iWP+、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、N902iL、903iシリーズ、904iシリーズ、P702i、P702iD、SH702iS、P703i、SH703i、SO703i、SO704i

  なお、下記機種※では通信中にメンバーを追加したり、不参加だったメンバーを再度呼び出すことができます。

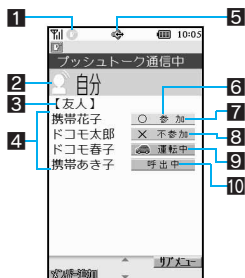
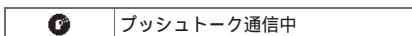
  ※ 903iシリーズ、904iシリーズ、P703i、SH703i、SO703i、SO704i

プッシュトークプラスについて

プッシュトークプラスとは、あらかじめ登録されたネットワーク上の電話帳を利用し、自分も含め最大20人まで通信できるサービスです。さらに、メンバーの状態を確認できるなど、プッシュトークをより便利にご利用いただけます。プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。

- プッシュトークプラスの操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

プッシュトーク通信中の画面の見かた

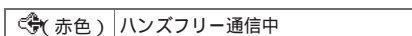
1 プッシュトークマーク

(マーク)	プッシュトーク通信中

2 発言者名欄：現在発言しているメンバーの名前（電話帳に登録されていない場合は電話番号）
自分：自分が話す人のとき（発言可能）
表示なし：話す人がいないとき
？：発言者が特定できなかったとき
FOMA端末（本体）電話帳に登録されているときは、名前が表示されます。電話帳のピクチャーコールを設定しているときは、画像も表示されます。プッシュトークプラスから発信されたときは、ネットワーク上の電話帳の名前で表示され、ピクチャーコールを設定していても画像は表示されません。

3 グループ名：プッシュトーク電話帳のグループ名またはネットワーク上の電話帳に登録されているグループ名が表示されます。

4 参加メンバー：FOMA端末（本体）電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。プッシュトークプラスから発信された場合は、ネットワーク上の電話帳の名前で表示されます。電話帳に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。

5 ハンズフリーマーク

(マーク)（赤色）	ハンズフリー通信中

6 メンバー状態表示：各メンバーの通信状態が表示されます。通信中に通信状態が変わった場合、参加音や信号音（プッシュトークから抜けるとき）が鳴り、表示が変わります。

- メンバーが複数で画面内にすべてを表示できない場合にスクロールバーが表示されます。(キー)でスクロールしてメンバーを確認できます。

7 参加：プッシュトークに参加しています。

8 不参加※：応答がない、相手がプッシュトークを終了している、相手が圏外にいる、または相手が電源を切っています。

9 運転中※：相手が公共モード（ドライブモード）を設定しています。

10 呼出中※：相手を呼び出し中です。

※ 3人以上のプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

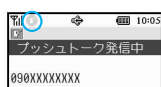
プッシュトーク発信する

パケット通信を利用し、プッシュトークボタンを押すだけの簡単操作で通信することができます。1人または複数の相手との会話が可能です。

- 発言できるのは常に1人です。話すときは(P)を押して発言権を取得する必要があります。
- 発言権を取得している間だけ話すことができます。なお、自分が発言権を取得している間、相手の声は聞こえません。
- (P)を押し発言権を取得すると同時に、発言者に対してプッシュトーク通信料が課金されます。
- プッシュトーク電話帳に登録すると、簡単な操作で登録したメンバーと通信できます。

1 待受画面で電話番号をダイヤルする。

- 次の方法でもプッシュトーク発信できます。
  - ■ プッシュトーク電話帳から(☞P.91) ■ FOMA端末(本体)電話帳から(☞P.107)
  - ■ リダイヤルから(☞P.53) ■ 着信履歴から(☞P.54) ■ Phone to機能を利用(☞P.195)

2 (P)を押す。

プッシュトーク
発信中画面

- 発信中は画面左上の[P]が点滅します。
- 相手が応答すると参加音が鳴って画面左上の[P]が点灯に変わり、プッシュトーク通信中画面が表示されます。
- ハンズフリーのON／OFFを切り替えるときはまたはを押します。なお、(P)を押しているときは切り替えられません。

3 発言者名欄に何も表示されていないときに(P)を押し、[自分]と表示されたら(P)を押したまま話す。

- 発言権を取得すると発言権取得音が鳴り、発言者名欄に[自分]と表示されます。
- 他の人が話している最中に(P)を押すと、エラー音が鳴ります。
- 自分が話し終わったら(P)を離してください。発言権開放音が鳴ります。
- 通信中に音量を調節することができます(☞P.67)。

4 通信を終わるときはを押す。

- 発言権取得回数が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

- サイクロイドポジションで通信するときは、必ず平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用するか、ハンズフリーを利用してください。受話口で通信するときは、必ず通常ポジションにしてください。
- 発信者側で通信を切断した場合、参加者全員が切断されます。
- プッシュトークを使用して緊急通報番号(110番、119番、118番)へ電話をかけることはできません。
- 1回の発言権で、発言できる時間には限りがあります。一定時間発言権を継続して取得し続けた場合は、発言時間満了予告音が鳴り、発言権が解除されます。
- 音声電話中・テレビ電話中・データ通信中にプッシュトーク発信することはできません。
- ｉモード中にプッシュトーク発信すると、ｉモード通信は切断されます。
- PT通信中着信設定を[通常着信]に設定している場合、プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときにを押すと、プッシュトーク通信を終了して音声電話に出ることができます。
- ハンズフリー通信中に音声電話着信があり音声電話に出た場合、ハンズフリーは解除されます。
- プッシュトーク通信中にｉモードはご利用できません。
- 一定時間発言権の取得者がいない場合には、プッシュトーク通信が自動的に終了します。
- プッシュトークの発信者が番号通知設定を[通知]に設定して発信した場合、着信したメンバー全員に発信者や全メンバーの電話番号が通知されます。[非通知]に設定して発信した場合、着信したメンバー全員の発言者や参加メンバーの欄にすべて[非通知]と表示されます。電話番号はお客様の大切な情報です。通知する場合は十分ご注意ください。
- プッシュトーク通信終了時に発言権取得回数が表示されますが、発言権取得回数の表示は目安です。発言権取得回数は最大999回まで表示され、これを超えると[***]と表示されます。

関連操作

着信履歴／リダイヤルを利用してプッシュトーク発信する

待受画面で◯▶着信履歴を選ぶ▶P(P)

待受画面で◯▶リダイヤルを選ぶ▶P(P)

複数メンバーとのプッシュトーク切断後に再参加する

複数メンバー宛のプッシュトークに応答後、自分だけがプッシュトークを切断した場合や、かかってきたプッシュトークに出られなかったときなどは、そのプッシュトーク通信が続いている場合のみ、該当する着信履歴から発信すると、そのメンバーとの通信に途中参加できます。

- プッシュトーク通信が終了している場合は、そのメンバーへの新たな発信となり、自分が発信者になります。

待受画面で◯▶着信履歴を選ぶ▶P(P)

メンバー追加

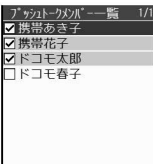
通信中にメンバーを追加する

自分が発信者の場合、プッシュトーク通信中にメンバーを追加することができます。

- プッシュトークプラスからの発信の場合は、メンバー追加できません。
- 通信中にメンバーを追加しても、リダイヤルには反映されません。また、先に通信中の相手の着信履歴にも反映されません。

1 プッシュトーク通信中に、◎1[メンバー追加]を押す。

- プッシュトーク通信中に、◎[メンバー追加]を押してもメンバーを追加することができます。

2 追加方法を選んで発信する。

プッシュトーク電話帳からメンバーを選ぶ場合

FOMA端末(本体)電話帳からメンバーを選ぶとき	1→名前を選ぶ→◉[発信]
プッシュトーク電話帳からメンバーを選ぶとき	2→名前を選んで◉(くり返し可)→◎[発信]
直接入力するとき	3→電話番号を入力→◎[発信]

- 自分を入れて5人までは、何度でもメンバーを追加できます。
- 一度にメンバー追加できる人数は、5人を超えない範囲で、次のとおりです。
  - ■ プッシュトーク電話帳から選ぶとき：3人
  - ■ FOMA端末(本体)電話帳から選ぶとき、または直接入力するとき：1人

お知らせ

- プッシュトーク通信中の相手がメンバー追加機能に対応していない機種のとき、相手側は次のような動作になる場合があります。
  - ■ メンバー追加したときに、追加メンバーは表示されず、参加音も鳴りません。
  - ■ 追加したメンバーが発言したときに、発言者欄に[?]が表示されます。
  - ■ 追加したメンバーがプッシュトークから抜けたときに、信号音は鳴りません。
- プッシュトークの発信者が**番号通知設定**を[通知]に設定して発信した場合、追加したメンバーを含むメンバー全員に発信者を含む全メンバーの電話番号が通知されます。[非通知]に設定して発信した場合、追加したメンバーを含む全メンバーの発言者や参加メンバーの欄にすべて[非通知]と表示されます。ただし、プッシュトーク通信中の相手がメンバー追加機能に対応していない機種のときにメンバーを追加した場合、番号通知設定にかかわらず相手側には追加したメンバーは表示されません。
- 電話帳の**機能別ロック**中は、FOMA端末(本体)電話帳またはプッシュトーク電話帳から追加するメンバーを選択できません。**ダイヤル発信制限**中は、直接入力によるメンバー追加はできません。

プッシュトーク着信する

1 プッシュトークを着信すると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する。

2 [P]（[P]）または[☎]を押す。

- エニーキーアンサーでプッシュトークを受けることもできます（☞P.66）。
- サイクロイドポジションで着信した場合は、通常ポジションに戻すだけでプッシュトークを受けることができます（☞P.66）。
- FOMA端末を閉じているときは、ハンズフリーでの応答になります。FOMA端末を開いているときは、PTハンズフリー設定に従います（☞P.94）。
- 画面左上の［●］が点灯に変わり、プッシュトーク通信中画面が表示されます。
- 通信方法は、P.86「プッシュトーク発信する」と同様です。
- 通信中に音量を調節することができます（☞P.67）。
- 着信中は、次のボタンで操作ができます。

	FOMA端末を開いているとき	FOMA端末を閉じているとき
不参加	[☎]	[▲]
クイックサイレント（☞P.124）	[#]	[▼]
マナーモード設定（☞P.123）	[#]（1秒以上）	[▼]（1秒以上）

3 通信を終わるときは[☎]を押す。

お知らせ

- サイクロイドポジションで通信するときは、必ず平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用するか、ハンズフリーを利用してください。受話口で通信するときは、必ず通常ポジションにしてください。
- オート着信設定を［ON］に設定すると、プッシュトーク着信した場合、自動的にハンズフリーで応答できます。ただし、マナーモード中は、オート着信設定を［ON］に設定していても自動的に応答できません。
- プッシュトークは応答保留できません。
- 指定した相手からの着信を許可／拒否したい場合は、電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否の設定を行ってください。設定は音声電話、テレビ電話と共通です。ただし、プッシュトークプラスからの発信には無効です。
- 音声電話中・テレビ電話中・データ通信中にプッシュトーク着信した場合は接続されません。音声電話中の場合は着信履歴に記憶され、待受画面に［着信あり］と表示されます。テレビ電話中、データ通信中の場合は着信履歴に記憶されません。
- プッシュトーク通信中に、テレビ電話や64Kデータ通信、別のプッシュトークの着信があった場合は着信履歴に記憶され、プッシュトーク通信が継続されます。PT通信中着信設定を［通常着信］に設定している場合、プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときに[☎]を押すと、プッシュトーク通信を終了して音声電話に出ることができます。［通常着信］以外に設定しているときは着信履歴に記憶され、プッシュトーク通信が継続されます。
- ｉモード中にプッシュトーク着信した場合、ｉモード通信中着信設定を［プッシュトーク着信優先］に設定しているときはｉモード通信が切断され、プッシュトークに応答することができます。［ｉモード優先］に設定しているときはプッシュトーク着信しても接続されず、着信履歴にも記憶されません。お買い上げ時は、［プッシュトーク着信優先］に設定されています。
- 公共モード（ドライブモード）設定中で、電源が入っているときにプッシュトーク着信した場合は接続されず、着信履歴に記憶され、待受画面に［着信あり］と表示されます。相手の通信中画面のメンバー状態表示には［運転中］と表示されます。相手が1人の場合は、運転中であることは表示されません。

プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトーク電話帳を登録すると、FOMA端末（本体）電話帳にも登録されます。
FOMA端末（本体）電話帳への登録を行い、そのうち、名前・フリガナ・電話番号１件のみをプッシュトーク電話帳に登録します。FOMA端末（本体）電話帳へ登録済みの電話帳を、プッシュトーク電話帳に登録できます。プッシュトーク電話帳には最大750件まで登録できます（☞P.96）。

■ 登録できる内容

アイコン	項　目	内　容
👤	名前	名前を入力します。最大全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正もできます。最大半角32文字まで入力できます。
👥	プッシュトークグループ	所属するプッシュトークグループを登録できます。1〜9のグループがあり、グループ名の変更もできます。
☎	プッシュトーク電話番号	プッシュトークに使う電話番号を登録できます。

1 待受画面でP（P）を押し、プッシュトークメンバー一覧画面（☞P.89）で📷 1［新規作成］を押す。

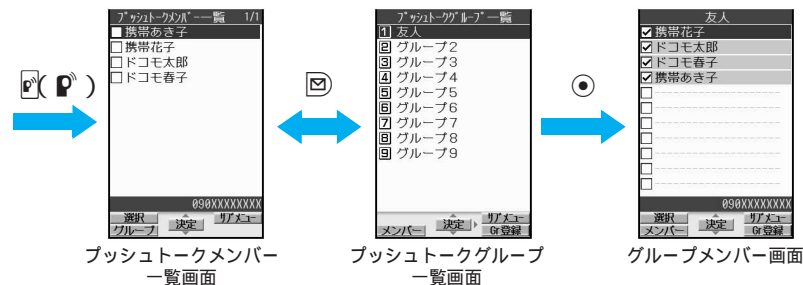
● プッシュトークグループ一覧画面が表示されたときは、✉［メンバー］を押します。

2 登録方法を選び、電話帳を登録する。

電話帳から選ぶ	1→名前を選ぶ→◉ ● 電話番号が複数登録されている場合は、プッシュトークで使用する電話番号を１つ選んで◉を押します。
直接入力する	2→名前を入力→◉→電話番号を入力→◉→電話種別アイコンを選ぶ→◉→◉→◉ ● FOMA端末（本体）電話帳の名前入力画面が表示されます。 ● 登録方法の詳細については、P.96「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」を参照してください。 ● 電話番号を複数登録した場合は、FOMA端末（本体）電話帳への登録後、プッシュトークで使用する電話番号を１つ選んで◉を押します。

■ プッシュトーク電話帳について

プッシュトーク電話帳に登録した相手に発信する場合は、プッシュトークグループ一覧からグループを選択する方法と、プッシュトークメンバー一覧からメンバーを選択する方法があります。✉［メンバー］／✉［グループ］を押すとプッシュトークグループ一覧画面とプッシュトークメンバー一覧画面を切り替えることができます。

プッシュトークメンバー一覧画面　　プッシュトークグループ一覧画面　　グループメンバー画面

プッシュトークグループに登録する<プッシュトークグループ>

プッシュトーク電話帳にプッシュトークグループを設定すると、簡単な操作で同じプッシュトークグループのメンバーと通信することができます。

- 1グループ19人までメンバーの登録が可能です。同時に発信できるのは、4人までとなります。
- 最大9つのグループが登録できます。グループ名は、お買い上げ時に登録されている[グループ1]〜[グループ9]のグループ名を編集できます。

■ プッシュトークグループを新規作成する<グループ新規作成>

グループを新規に作成するには、あらかじめ登録されている[グループ1]〜[グループ9]の中から事前にグループを削除してください(☞P.93)。

1 プッシュトークメンバー一覧画面(☞**P.89**)で📷51[グループ新規作成]を押す。

- プッシュトークグループ一覧画面のときは、📷11を押します。

2 プッシュトークグループ名を入力して⦿を押す。

- プッシュトークグループ名は最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

関連操作

プッシュトークグループ名を編集する<グループ名編集>

1 プッシュトークメンバー一覧画面で📷52▶グループを選ぶ▶⦿
- プッシュトークグループ一覧画面のとき:グループを選ぶ▶📷12

2 グループ名を編集する▶⦿

■ プッシュトークグループに登録する<プッシュトークグループ登録>

登録済みのプッシュトーク電話帳を、プッシュトークグループのメンバーとして登録します。

1 プッシュトークメンバー一覧画面(☞**P.89**)で、名前を選んで◉[選択]を押す。

- チェックを1つも入れないときは、カーソル位置の電話帳を1件だけ選んだことになります。

2 📷4[プッシュトークグループ登録]を押す。

3 プッシュトークグループを選んで⦿を押し、登録位置を選んで⦿を押す。

- 登録済みのメンバーを選ぶと、上書き登録されます。また、グループ内に同じ電話番号が登録されている場合、重複して登録することはできません。
- 操作1で複数のメンバーを選んだ場合は、登録位置を選ぶ必要はありません。

関連操作

プッシュトークグループ一覧画面からプッシュトークグループに登録する <プッシュトークグループ登録>

1 プッシュトークグループ一覧画面でグループを選ぶ▶📖または📷13
- グループメンバー画面のとき:📖または📷23

2 メンバーを選んで⦿(くり返し可)▶◉

プッシュトーク電話帳を修正する<データ編集>

プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号やグループを変更できます。

1 プッシュトークメンバー一覧画面(☞P.89)で、名前を選んで📷2[データ編集]を押す。

2 項目を選んで●を押し、編集する。

- FOMA端末(本体)電話帳に登録されている別の電話番号を選択できます。
- グループ変更のときは変更するグループを選んで●を押し、登録先を確認して●を押します。

3 ⓘ[完了]を押し、[はい]を選んで●を押す。

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳から電話をかけます。あらかじめプッシュトーク電話帳にメンバーを登録しておいてください。

プッシュトークグループから発信する

- 最大4人の相手と通信できます。

1 待受画面でP(P)を押し、相手を選ぶ。

- プッシュトークメンバー一覧画面が表示されたときは、✉[グループ]を押します。

グループを選ぶ(グループのメンバー全員にプッシュトーク発信する場合)	○
グループの一部のメンバーを選ぶ	○でグループを選ぶ→●→名前を選ぶⓘ[選択](くり返し可)(□→☑) ● チェックを1つも入れないと、カーソル位置の相手を1人だけ選んだことになります。

2 P(P)を押す。

- 通信方法は、P.86「プッシュトーク発信する」と同様です。
- 5人以上のメンバーがグループに登録されている状態で発信した場合、[同時に通話できる人数4人を超えています]と表示されます。登録メンバーが5人以上設定されていた場合、4人まで選択して発信してください。

相手を選んで発信する

プッシュトーク電話帳のプッシュトークメンバー一覧画面から相手を選んで通信します。

1 待受画面でP(P)を押す。

- プッシュトークグループ一覧画面が表示されたときは、✉[メンバー]を押します。

2 名前を選んでⓘを押す。

- フリガナを入力して検索することもできます。フリガナを1文字ずつ入力するたびに、入力した文字以降で最も近いフリガナの電話帳にカーソルが移動します。

3 P(P)を押す。

次ページへ続く▶▶

関連操作

自動で着信する<オート着信設定>
プッシュトークメンバー一覧画面で📷 6 1 ▶ 1

着信音の鳴動時間を設定する<着信鳴動時間設定>
1 プッシュトークメンバー一覧画面で📷 6 3
2 着信音を鳴らす時間(2桁:01〜60秒)を入力 ▶ ●

プッシュトーク通信中に折りたたんだときの動作を設定する<クローズ動作設定>
プッシュトークメンバー一覧画面で📷 6 4
- 通信を終了するとき:1
- 相手の声がスピーカから聞こえるようにするとき:2

お知らせ

オート着信設定について
- お買い上げ時は、[OFF]に設定されています。
- オート着信すると自動的にハンズフリーに切り替わります。また、マナーモード設定時はオート着信できません。
- プッシュトーク電話帳のオート着信設定とオート着信設定のプッシュトークは連動しており、どちらかを[ON]にすると同時に設定されます。

着信鳴動時間設定について
- お買い上げ時は、[30秒]に設定されています。
- 複数の相手との通信の場合、設定した時間内に応答しなかったときは、参加メンバーの通信中画面のメンバー状態表示に[不参加]と表示されます。
- オート着信設定を[ON]に設定した場合、着信鳴動時間設定は選択できません。

クローズ動作設定について
- お買い上げ時は、[スピーカ通話]に設定されています。
- FOMA端末を閉じたときに通信を終了するか、相手の声がスピーカから聞こえるようにするか選択できます。
- プッシュトーク電話帳のクローズ動作設定とクローズ動作設定のプッシュトークは連動しており、どちらかを変更すると同時に変更されます。

ネットワーク接続について
- ネットワーク接続をご利用の場合は、プッシュトークプラスのご契約が必要です。

プッシュトーク電話帳を削除する

1 プッシュトークメンバー一覧画面(☞P.89)で、メンバーを選んで📷 3[削除]を押す。
- プッシュトークグループ一覧画面が表示されたときは、✉[メンバー]を押します。
- グループ内全件削除、全件削除をするときは、メンバーを選ぶ必要はありません。

2 削除方法を選ぶ。

データを1件削除する	1
複数のデータをまとめて削除する	2→メンバーを選ぶ●(くり返し可)→📷 ● すべてを選択/解除する場合は、i[全選択]/i[全解除]を押します。
選んだFOMA端末(本体)電話帳グループ内のすべてのデータを削除する	3→グループを選ぶ→●→端末暗証番号を入力→●
プッシュトーク電話帳のすべてのデータを削除する	4→端末暗証番号を入力→●

3 FOMA端末(本体)電話帳の削除方法を選び、[はい]を選んで◉を押す。

プッシュトーク電話帳のみ削除する	1
FOMA端末(本体)電話帳からも削除する	2 ● FOMA端末(本体)電話帳とプッシュトーク電話帳からデータを削除します。

プッシュトークグループを削除する<削除>

1 プッシュトークグループ一覧画面(☞P.89)で、グループを選んで📷2[削除]を押す。

● プッシュトークメンバー一覧画面が表示されたときは、✉[グループ]を押します。

2 削除方法を選び、[はい]を選んで◉を押す。

グループを1件削除する	1
すべてのグループを削除する	2

プッシュトークグループからメンバーを削除する<グループから削除>

1 プッシュトークグループ一覧画面(☞P.89)で、グループを選んで◉を押す。

● プッシュトークメンバー一覧画面が表示されたときは、✉[グループ]を押します。

2 メンバーを選んで📷1[グループから削除]を押し、削除方法を選ぶ。

メンバーを1件削除する	1→[はい]→◉
複数のメンバーをまとめて削除する	2→メンバーを選ぶ◉(くり返し可)→📷→[はい]→◉ ● すべてを選択/解除する場合は、ⓘ[全選択]/ⓘ[全解除]を押します。
グループ内のすべてのメンバーを削除する	3→[はい]→◉

プッシュトーク設定

プッシュトークの発着信について設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	設定内容	ページ
番号通知設定	プッシュトーク発信時、自分やグループのメンバーの電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	P.94
着信鳴動時間設定	プッシュトークの着信音を鳴らす時間を設定します。	P.122
オート着信設定	プッシュトーク着信時、自動応答するかどうかを設定します。	P.388
PT通信中着信設定	プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの動作を設定します。	P.94
iモード通信中着信設定	iモード通信中にプッシュトーク着信を受けるかどうかを設定します。	P.199
PTハンズフリー設定	プッシュトーク通信開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。	P.94
クローズ動作設定	プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を[終話]、[スピーカ通話](相手の声をスピーカから聞こえるようにする)に設定します。	P.66
呼出動作開始時間設定	電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信時、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定します。音声電話・テレビ電話と共通の設定です。	P.158
再接続機能	電波の状態などで通信が途切れたときに自動的に再接続して通信を継続できるようにします。音声電話・テレビ電話と共通の設定です。	P.62

自分やメンバーの電話番号を通知する<番号通知設定>

お買い上げ時 非通知

1 待受画面で● 6 6 1 を押し、1[通知]を押す。

● プッシュトークメンバー一覧画面から◎ 6 5 で選択することもできます。

お知らせ

● 発信者番号通知の設定にかかわらず、プッシュトークの発信者が番号通知設定を[通知]に設定して発信した場合、追加したメンバーを含む全メンバーに発信者や全メンバーの電話番号が通知されます。[非通知]に設定して発信した場合、追加したメンバーを含む全メンバーには発言者やメンバーの欄にすべて[非通知]と表示されます。
ただし、プッシュトーク通信中の相手がメンバー追加機能に対応していない機種のときにメンバーを追加した場合、番号通知設定にかかわらず相手側には追加したメンバーは表示されません。
● プッシュトーク発信する際に、複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。

	優先順位(高→低)
番号通知設定	発信時に発信条件で番号通知方法を設定した場合→ プッシュトーク番号通知設定を設定した場合

通信中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ<PT通信中着信設定>

お買い上げ時 通常着信

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの動作を設定します。

1 待受画面で● 6 6 2 を押し、着信動作を選ぶ。

● プッシュトークメンバー一覧画面から◎ 6 2 で選択することもできます。

留守番電話	1	自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ	2	自動的に転送でんわサービスに接続します。
着信拒否	3	着信を拒否します。
通常着信	4	プッシュトーク通信を続けるか、終了してかかってきた音声電話に出るか選択できます。

● [留守番電話]や[転送でんわ]に設定するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。なお、未契約の場合は、[留守番電話]や[転送でんわ]に設定しても[通常着信]となります。

プッシュトークのハンズフリーについて設定する<PTハンズフリー設定>

お買い上げ時 ON

プッシュトークの通信開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうか設定できます。
● FOMA端末を閉じているときは、PTハンズフリー設定にかかわらずハンズフリーに切り替わります。

1 待受画面で● 6 6 3 を押し、1[ON]を押す。

● プッシュトークメンバー一覧画面から◎ 6 6 で選択することもできます。
● 設定を解除するときは2[OFF]を押します。

お知らせ

● マナーモード設定中は、PTハンズフリー設定を[ON]にしていてもハンズフリーに切り替わりません。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の両方を使用できます。FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳のそれぞれに、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録できます。
プッシュトーク用にプッシュトーク電話帳も利用できます。

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳とプッシュトーク電話帳の違い

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード電話帳のデータを利用できます。複数のFOMA端末で電話帳を共用したい場合は、FOMAカード電話帳に登録しておくと便利です。

	FOMA端末(本体)電話帳	FOMAカード電話帳	プッシュトーク電話帳
件数	750件	ドコモのFOMAカード:50件	750件
名前の登録文字数	最大全角16文字(半角32文字)	半角英数のみ:最大21文字 全角のみ、全角/半角混在、半角カタカナのみ:最大10文字	最大全角16文字(半角32文字)
フリガナ	最大半角32文字	半角英数のみ:最大25文字 全角のみ、全角/半角混在:最大12文字	最大半角32文字
グループの設定	20グループ	11グループ	9グループ(プッシュトークグループ☞P.90)
アイコン	電話番号:7種類 メールアドレス:4種類	−	−
メモリ番号の設定	000〜749	−	−
電話番号	1つの電話帳に3件 (電話帳全体で登録可能な電話番号は2250件まで)	1つの電話帳に1件	1つの電話帳に1件
メールアドレス	1つの電話帳に3件 (電話帳全体で登録可能なメールアドレスは2250件まで)	1つの電話帳に1件	−

−:登録不可

- FOMA端末(本体)電話帳には、その他に下記データがそれぞれ1件登録できます。
  - ■ 郵便番号
  - ■ 住所
  - ■ 誕生日
  - ■ メモ
  - ■ 指定着信音
  - ■ 指定メール着信音
  - ■ 指定着信ランプ色
  - ■ 指定着信ランプパターン
  - ■ 指定メール着信ランプ色
  - ■ 指定メール着信ランプパターン
  - ■ 画像(ピクチャーコール)
  - ■ 代替画像

電話帳登録

FOMA端末(本体)電話帳に登録する

よくかける電話番号を、名前やメールアドレスなどとあわせて電話帳に登録すると、簡単な操作で電話をかけたり、iモードメールやSMSを送信したりできます。

- カメラで撮影した静止画や動画/iモーションなどを、電話帳に登録できます。画像を登録した相手から電話がかかってきたときは、名前や電話番号と登録した画像が表示されます。
- FOMA端末(本体)電話帳への新規登録時、続けてプッシュトーク電話帳にも登録できます。

登録できる内容

FOMA端末（本体）
電話帳入力画面

アイコン	項　目	内　容	ページ
	名前	名前を入力します。	P.98
	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正もできます。	P.98
	グループ	グループに分けて登録できます。	P.99
	電話番号	３件の電話番号を登録できます。それぞれの電話番号を７つのアイコンで分類できます。	P.98
	メールアドレス	３件のメールアドレスを登録できます。それぞれのメールアドレスを４つのアイコンで分類できます。	P.98
	郵便番号	郵便番号を登録できます。	P.99
	住所	住所を登録できます。	P.100
	誕生日	誕生日を登録できます。	P.100
	メモ	メモを登録できます。	P.100
	シークレット登録	電話帳を表示しないようにできます。電話帳を他人に見られたくない場合に設定します。	P.100
	シークレットコード	相手から指定されたシークレットコードを入力します。メールを送信するときに使います。	P.100
	指定着信音選択	電話がかかってきたときに、専用の着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.100
	指定メール着信音選択	メールを受信したときに、専用のメール着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.100
	指定着信ランプ色	電話がかかってきたときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	P.100
	指定着信ランプパターン	指定着信ランプの点滅パターンを設定できます。	P.100
	指定メール着信ランプ色	メールを受信したときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	P.100
	指定メール着信ランプパターン	指定メール着信ランプの点滅パターンを設定できます。	P.100
	ピクチャーコール設定	電話をかけたり、電話がかかってきたときに、画像で相手を識別できます。また、電話帳リストに専用の画像が表示されます。カメラで撮影した静止画や動画／ｉモーションなどを１件登録できます。	P.100
	代替画像設定	テレビ電話中に代替画像を送信する場合の静止画やキャラ電を設定できます。	P.100

お知らせ

- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

電話帳に登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード（**P.318**）やドコモケータイ**datalink**（**P.406**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。また、電話帳お預かりサービス（**P.112、P.114、P.159**）をご契約いただくことで、**FOMA**端末の電話帳をお預かりセンターに保存できます。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、電話帳に登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な登録のしかた

電話帳に相手の名前、電話番号、メールアドレスを登録します。

1 待受画面で□□2を押し、1［本体新規］を押す。

● 音声電話中は□31を押します。

2 名前を入力して◉を押す。

FOMA端末（本体）
電話帳入力画面

● 名前は最大全角16文字（半角32文字）まで入力できます。また、フリガナは最大半角32文字まで入力できます。
● ［ｶﾅ］の行に、入力した名前のフリガナが自動的に入力されます。名前の入力後に修正した場合、フリガナには自動で反映されません。
● 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したときは、フリガナは自動的に入力されません。
● フリガナが違っているときは、［ｶﾅ］を選んで◉を押し、正しいフリガナに修正します。

3 ［☎］を選んで◉を押し、電話番号を入力して◉を押す。

アイコン選択
1 一般電話
2 携帯電話
3 テレビ電話
4 自宅
5 会社
6 自宅FAX
7 会社FAX

● 登録先が一般電話の場合は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
● 電話番号は26桁まで入力できます。
● 電話番号には、［¥］や［#］も入力できますが、正しく発信できない場合があります。
● ［186］を付けて電話帳に登録すると、電話番号をｉモードメールやSMS送信時の宛先に選択した場合、送信できません。
● 国際電話をかける電話番号を登録するときは0を１秒以上押して［+］を入力し、電話番号を入力します。
● ポーズ［P］を入力するときは、□を押します。
● CLRを押すと、最後の１桁またはカーソル位置の文字が消えます。
● CLRを１秒以上押すと、カーソルが最後の位置にあるときは番号がすべて消えます。カーソルがそれ以外の位置にあるときはカーソル以降の番号がすべて消えます。

4 電話種別アイコンを選ぶ。

☎	一般の電話	1		会社の電話	5
	携帯電話	2		自宅のFAX	6
	テレビ電話	3		会社のFAX	7
	自宅の電話	4			

● 電話番号を複数登録するときは、操作３～４をくり返します。

5 ［□］を選んで◉を押し、メールアドレスを入力して◉を押す。

アイコン選択
1 携帯アドレス
2 自宅アドレス
3 会社アドレス
4 メールアドレス

● 半角の英字、数字、一部の記号を最大で半角50文字まで入力できます。
● メールアドレスに、絵文字は入力できません。

［@］や［.］（ピリオド）を入力する	1（数回）
インターネットに関連した定型文を入力する	□（１秒以上） ● メールアドレスの一部を簡単に入力できます（☞P.412）。 ● □（１秒以上）5［インターネット］を押しても操作できます。

6 メールアドレス種別アイコンを選ぶ。

ドコモ太郎
ｶﾅﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
(指定なし)
090XXXXXXXX
(未登録)
(未登録)
docomo.taro.△△@doc‥
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)
(未登録)

	携帯電話のメールアドレス	1		会社のメールアドレス	3
	自宅のメールアドレス	2		メールアドレス	4

- メールアドレスを複数登録するときは、操作5～6をくり返します。

7 [完了]を押し、メモリ番号（3桁：**000～749**）を入力する。

- 操作ガイダンスに[完了]が表示されないときは、名前を入力してください。
- メモリ番号を入力せずに◉を押すと、[010]～[749]の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号に登録されます。空いていないときは、[000]～[009]の中で最も小さい番号に登録されます。
- メモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、ツータッチダイヤルで電話をかけることができます（☞P.113）。
- メモリ番号を登録後、[プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示されます。

8 プッシュトーク電話帳に登録するかどうかを選ぶ。

登録する	[はい]→◉ ● 電話番号が2件以上登録されている場合は、プッシュトークで使用する電話番号を1つ選んで◉を押します。
登録しない	[いいえ]→◉

お知らせ

- シークレット登録を[ON]に設定しているときは、シークレットモードを[ON]に設定しないと電話帳を上書き登録できません。
- すでにFOMA端末（本体）電話帳に750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合、メモリ番号を指定すると、すでに登録されている電話帳に上書き登録されます（FOMAカード電話帳の場合には上書き登録されません）。
- 電話帳の登録および残り件数を確認するには、P.332「メモリの使用状況を確認する」を参照してください。
- FOMAカードへのコピーについては、P.103を参照してください。
- microSDメモリーカードへのコピーについては、P.322を参照してください。
- 赤外線通信については、P.333を参照してください。
- ｉC通信については、P.337を参照してください。

メモリ番号にはこんな指定方法もあります

- 百の位の数字を1桁入力して◉を押します。
  空いているメモリ番号（1の場合、[100]～[199]）の中で、最も小さい番号に登録されます。
- 百の位と十の位の2桁を入力して◉を押します。
  空いているメモリ番号（1 2の場合、[120]～[129]）の中で、最も小さい番号に登録されます。

編集中にｉモードメールや**SMS**、メッセージ**R**／**F**を受信すると

- メール受信表示設定を[操作優先]に設定した場合は、受信結果は表示されず、編集を続けることができます。

記号や絵文字の使用について

- FOMA端末（本体）電話帳の[名前]、[メモ]、[住所]には、記号や絵文字も入力できますが、赤外線通信などでｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

関連操作

グループを設定する＜グループ選択＞
電話帳入力画面で[　]▶◉▶グループを選ぶ▶◉

郵便番号を登録する
電話帳入力画面で[〒]▶◉▶郵便番号を入力▶◉

次ページへ続く▶▶

関連操作

住所を登録する
電話帳入力画面で[▭]▶●▶住所を入力▶●
- 最大全角50文字(半角100文字)まで入力できます。

誕生日を登録する
電話帳入力画面で[🎂]▶●▶誕生日を入力▶●
- 1900年1月1日～2099年12月31日まで入力できます。

メモを登録する
電話帳入力画面で[▭]▶●▶メモを入力▶●
- 最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

シークレット登録する<シークレット登録>
電話帳入力画面で[▭]▶●▶1

メールアドレスにシークレットコードを設定する<シークレットコード>
1 電話帳入力画面で[▭]▶●▶端末暗証番号を入力▶●
2 1[コード設定]
- 設定済みのシークレットコードを確認するとき:2
- シークレットコードを解除するとき:3

3 iモードメールアドレスを選ぶ▶●▶シークレットコード(4桁)を入力▶[はい]▶●

着信音や着モーションを設定する<指定着信音選択/指定メール着信音選択>
1 電話帳入力画面で[♪ 指定着信音選択]▶●
- 指定メール着信音を設定するとき:[▭ 指定メール着信音選択]▶●

2 1[通常着信音]
- 着うたフル®を設定するとき:2
- 着モーションを設定するとき:3
- 設定を解除するとき:4

3 P.116の操作2を参照して着信音を選ぶ

着信ランプの色を設定する<指定着信ランプ色/指定メール着信ランプ色>
1 電話帳入力画面で[▭指定着信ランプ色]▶●
- 指定メール着信ランプ色を設定するとき:[▭指定メール着信ランプ色]▶●

2 着信ランプの色を選ぶ▶●
- 設定を解除するとき:1

着信ランプのパターンを設定する<指定着信ランプパターン/指定メール着信ランプパターン>
1 電話帳入力画面で[▭指定着信ランプパターン]▶●
- 指定メール着信ランプパターンを設定するとき:[▭指定メール着信ランプパターン]▶●

2 ランプパターンを選ぶ▶●
- 設定を解除するとき:1

画像を設定する<ピクチャーコール設定>
1 電話帳入力画面で[▭ ピクチャーコール設定]▶●
2 1[マイピクチャ]
- 動画/iモーションを設定するとき:2
- カメラで静止画を撮影するとき:3▶撮影
- カメラで動画を撮影するとき:4▶撮影
- 画像の設定を解除するとき:5

3 フォルダを選ぶ▶●▶画像を選ぶ▶▭

代替画像を設定する<代替画像設定>
1 電話帳入力画面で[▭ 代替画像設定]▶●
2 1[キャラ電]
- 静止画を設定するとき:2
- 代替画像の設定を解除するとき:3

3 フォルダを選ぶ▶●▶キャラ電を選ぶ▶▭
- キャラ電を確認するとき:キャラ電を選ぶ▶●(CLRで戻る)

お知らせ

シークレットコードについて

- シークレット登録については、P.113を参照してください。
- シークレットコードは、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合のみ有効です。シークレットコードについては、P.213を参照してください。
- シークレットコードに[0000]は設定できません。
- シークレットコードは、電話帳データ1件につき、メールアドレス1～3のうち1つのメールアドレスに対してのみ設定できます。
- メールアドレスにシークレットコードを設定しても、メール作成画面（☞P.214）の宛先欄にシークレットコードは表示されません。
- 自分のシークレットコードの登録については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- メールアドレスにシークレットコードを含めて、「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」の形式で電話帳に登録している場合は、メール送信できないことがあります。メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

- データBOXのメロディやミュージックから着信音、ｉモーションから着モーションを選択できます。
- 映像のみ、またはテロップの付いた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、各種画面カスタマイズ設定で設定されている画像がｉモーション、Flash画像のときは、お買い上げ時に設定されている画像が表示されます。
- 映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションに設定した場合、自動的にピクチャーコールに設定されます。
- 着信音設定が[不可]の動画／ｉモーションや、まるごと着信音設定とオススメ着信音設定が[不可]の着うたフル®は設定できません（☞P.331）。
- microSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、着信音選択の非通知設定着信音で設定した着信音が鳴ります。設定していないときは、通常の着信音が鳴ります。
- 電話帳の機能別ロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。指定着信音選択／指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 指定メール着信音を利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- メール着信音に映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合、待受画面以外でメールを受信したときに音声のみしか再生されない場合があります。
- 複数の着信音が設定されているときの優先順位については、P.117を参照してください。

指定着信ランプ／指定メール着信ランプについて

- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信ランプが点滅します。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプが点滅します。指定着信ランプ／指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 電話帳の機能別ロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプが点滅します。
- 指定メール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 複数の着信ランプが設定されているときの優先順位については、P.138を参照してください。

ピクチャーコール設定について

- ピクチャーコール設定でｉモーションを設定している場合、発信時には発着信画面設定で設定した画像が表示されます。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、またはテロップの付いた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- ピクチャーコールに設定した静止画のデータサイズによっては、画像展開に時間がかかることがあります。

次ページへ続く

関連操作

お知らせ

- ピクチャーコールに動画／iモーションを設定した場合、電話帳リスト画面に画像を表示したときは、最初の1コマ目が表示されます。
- ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合も設定した画像が表示されます。
- microSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたり、赤外線通信やｉC通信、ドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンや他のFOMA端末から転送した動画／iモーションは、ピクチャーコールに設定できません（FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動したものを含む）。
撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- ピクチャーコールに設定した画像をデータBOXから削除するときは、［1件削除］を選択します。削除の確認画面で［はい］を選択すると削除されます。
- カメラ撮影後のプレビュー画面で、◎32［電話帳］を押すと、撮影した静止画をピクチャーコールに設定できます。ただし、保存先がmicroSDメモリーカードに設定されている場合は◉［保存先］を押して保存先をFOMA端末（本体）に変更し、◎32［電話帳］を押してピクチャーコールに設定します。
- 指定着信音に映像と音声を含んだ動画／iモーションを設定している場合、ピクチャーコールに静止画を設定すると、指定着信音の設定は解除されます。また、ピクチャーコールに映像と音声を含んだ動画／iモーションを設定すると、指定着信音の設定にも反映されます。
- 複数のピクチャーコールが設定されているときの優先順位については、P.129を参照してください。

■ズームメニューから登録する

ズームメニューからFOMA端末（本体）電話帳に登録できます。

- 登録できる内容は次のとおりです。
■名前　■フリガナ　■電話番号：1件　■メールアドレス：1件
- 登録後の電話帳をズームメニューの［電話帳の表示］で表示させたり、サブメニューから電話帳のすべての項目を編集（☞P.111）できます。

1 待受画面で◉を押し、［電話］を選んで◉を押す。

- TOPメニューやショートカットメニューが表示されたときは、◉［メニュー切替］を押してズームメニューに切り替えます。

2 ［電話帳の登録］を選んで◉を押す。

3 名前を入力して◉を押し、フリガナを確認して◉を押す。

- フリガナは自動的に入力されます。フリガナが違っているときは、正しいフリガナに修正してください。

4 電話番号を入力して◉を押す。

5 ［✉］を選んで◉を押し、メールアドレスを入力して◉を押す。

6 ◉［完了］を押す。

- メモリ番号は、［010］～［749］の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号に登録されます。空いていないときは、［000］～［009］の中で最も小さい番号に登録されます。
- 電話種別アイコンは［☎］、メールアドレス種別アイコンは［✉］が自動的に登録されます。

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード内の電話帳にも登録できます。FOMA端末(本体)電話帳と登録できる項目が一部異なります。

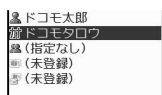
- FOMAカード電話帳には、最大50件まで登録できます。

登録できる内容

アイコン	項　目	内　容
	名前	名前を入力します。
	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正もできます。
	グループ	グループに分けて登録できます。11のグループがあり、グループ名の変更もできます。
	電話番号	1件の電話帳に電話番号を1件登録できます。
	メールアドレス	1件の電話帳にメールアドレスを1件登録できます。

基本的な登録のしかた

1 待受画面で[電話帳][メニュー][2]を押し、[2][FOMAカード(UIM)新規]を押す。

2 名前を入力して[決定]を押す。

- 名前の入力については、P.98の操作2を参照してください。半角英数のみの場合は最大21文字まで、全角のみや全角／半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は最大10文字まで入力できます。
  半角英数のみで10文字以上入力してから全角／半角カタカナを入力した場合、全角／半角カタカナ以降に入力した文字は登録されません。また、全角／半角混在で10文字以上入力した場合、11文字目以降の文字は登録されません。
- フリガナの入力については、全角カタカナのみで最大12文字、半角英数のみで最大25文字まで入力できます。全角／半角が混在している場合は最大12文字まで入力できます。半角で12文字以上入力してから全角カタカナを入力した場合、全角カタカナ以降に入力した文字は登録されません。

3 [グループ]を選んで[決定]を押し、設定するグループを選んで[決定]を押す。

4 [電話番号]を選んで[決定]を押し、電話番号を入力して[決定]を押す。

- FOMAカード(緑色／白色)をご使用のときは26桁、FOMAカード(青色)をご使用のときは20桁まで入力できます。
- 電話番号の入力については、P.98の操作3を参照してください。

5 [メールアドレス]を選んで[決定]を押し、メールアドレスを入力して[決定]を押す。

- メールアドレスの入力については、P.98の操作5を参照してください。

6 [i][完了]を押す。

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の間でコピーする

FOMA端末(本体)電話帳をFOMAカード内の電話帳にコピー、またはFOMAカード内の電話帳をFOMA端末(本体)電話帳にコピーできます。

1 待受画面で[電話帳]を押し、FOMA端末(本体)電話帳の名前を選んで[メニュー][5][1][FOMAカードへコピー]を押す。

- FOMAカード電話帳をFOMA端末(本体)電話帳にコピーするときは、FOMAカード電話帳の名前を選んで[メニュー][5][1][本体へコピー]を押します。

次ページへ続く

2 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	1→[はい]→●
選択してコピーする	2→名前を選ぶ●(くり返し可)→📷→[はい]→● ● すべてを選択／解除する場合は、[全選択]／[全解除]を押します。
電話帳の内容を確認してコピーする	操作1で名前を選んで●→📷32→[はい]→●

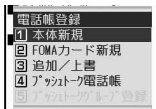
お知らせ

● FOMAカードが挿入されていない場合は、この機能を利用できません。
● シークレット登録した電話帳は、シークレットモードを[ON]に設定しないとコピーできません。
● FOMA端末(本体)に登録した電話帳をFOMAカードにコピーすると、各項目は次のように登録されます。
 ■ 名前は全角10文字(半角21文字)を超えた文字は破棄されます。
 ■ フリガナは全角カタカナで登録され、12文字を超えた文字は破棄されます。さらに、FOMAカードにコピーした電話帳をFOMA端末(本体)にコピーすると、フリガナは半角カタカナで登録されます。
 ■ 名前が英数字の場合、フリガナは半角で登録され、25文字を超えた文字は破棄されます。
 ■ FOMA端末(本体)電話帳のグループ名と同じグループ名がFOMAカード電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは[(指定なし)]となります。なお、全角と半角は別の文字として扱われます。
● FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末(本体)にコピーすると、各項目は次のように登録されます。
 ■ フリガナは半角で登録されます。
 ■ FOMAカード電話帳の電話番号、メールアドレスは、FOMA端末(本体)電話帳のそれぞれ1件目に保存されます。
 ■ FOMAカード電話帳のグループ名と同じグループ名がFOMA端末(本体)電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは、[(指定なし)]となります。なお、全角と半角は別の文字として扱われます。
 ■ メモリ番号は[010]～[749]→[000]～[009]の順で、使用していないメモリ番号が割り当てられます。
● FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の利用できない文字がスペースに変換される場合があります。
● 電話帳データをコピーしてもコピー元のデータは残ります。
● 他のFOMA端末で登録したFOMAカードのデータを自分のFOMA端末にコピーする場合、半角英数記号以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースで表示されます。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

リダイヤルや着信履歴、カメラのバーコードリーダーや文字読み取り、メールなどからも電話帳に登録できます。

例:着信履歴から登録する場合

1 待受画面で○(→□)を押し、電話番号を選んで📷1[電話帳登録]を押す。

2 登録方法を選ぶ。

FOMA端末(本体)電話帳に登録する	1	プッシュトーク電話帳に登録する	4
FOMAカード電話帳に登録する	2	プッシュトークグループに登録する	5
追加／上書き登録する	3		

● 電話帳入力画面に、選択した電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます(☞P.98、P.103)。
● [プッシュトークグループ登録]は、プッシュトーク発着信履歴のみ選択可能です。複数の相手に対してプッシュトーク通信が行われた履歴が対象になります。また、相手側の電話番号がプッシュトーク電話帳に登録されているときにプッシュトークグループに登録できます。

グループを設定する

電話帳にグループを設定して、グループごとの名前、着信音、着信ランプや電話がかかってきたときの画像を設定することができます。

- FOMAカード電話帳の場合、グループ名編集のみできます。

グループ名を変更する<グループ名編集>

お買い上げ時	FOMA端末(本体)電話帳:(指定なし)、グループ1～グループ19 FOMAカード電話帳:(指定なし)、グループ1～グループ10

- [1(指定なし)]は変更できません。

1 待受画面で📖を押し、設定するグループを選ぶ。

グループ設定
1 グループ名編集
2 指定着信音選グループ1
3 指定メール着信音選択
4 指定着信ランプ色
5 指定着信ﾗﾝﾌﾟﾊﾟﾀｰﾝ
6 指定ﾒｰﾙ着信ランプ色
7 指定ﾒｰﾙ着信ﾗﾝﾌﾟﾊﾟﾀｰﾝ
8 ピクチャーコール設定

グループ設定画面

電話帳リスト画面のとき	📷8→グループを選ぶ→●
グループリスト画面のとき	グループを選ぶ→📷3

- グループ選択ではFOMA端末(本体)電話帳(19グループ)のあとに、FOMAカード電話帳(10グループ)が表示されます。

2 1[グループ名編集]を押し、グループ名を入力／修正して●を押す。

- グループ名の入力文字数は次のとおりです。
  - ■ FOMA端末(本体)電話帳:最大全角10文字(半角20文字)
  - ■ FOMAカード電話帳: 半角英数のみの場合は最大21文字
    全角のみや全角／半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は最大10文字
- お買い上げ時のグループ名に戻すときは、CLRを1秒以上押して●を押します。

3 📷[完了]を押す。

関 連 操 作

グループごとの着信音や着モーションを設定する<指定着信音選択／指定メール着信音選択>

1 グループ設定画面で2
- グループ指定メール着信音を設定するとき:グループ設定画面で3

2 1[通常着信音]
- 着うたフル®を設定するとき:2
- 着モーションを設定するとき:3
- 設定を解除するとき:4

3 P.116の操作2を参照して着信音を選ぶ

グループごとの着信ランプの色を設定する<指定着信ランプ色／指定メール着信ランプ色>

1 グループ設定画面で4
- 指定メール着信ランプ色を設定するとき:グループ設定画面で6

2 着信ランプの色を選ぶ▶●
- 設定を解除するとき:1

グループごとの着信ランプのパターンを設定する<指定着信ランプパターン／指定メール着信ランプパターン>

1 グループ設定画面で5
- 指定メール着信ランプパターンを設定するとき:グループ設定画面で7

2 ランプパターンを選ぶ▶●
- 設定を解除するとき:1

次ページへ続く▶▶

関連操作

グループごとの画像を設定する<ピクチャーコール設定>

1 グループ設定画面で8

2 1[マイピクチャ]

- 動画／ｉモーションを設定するとき：2
- カメラで静止画を撮影するとき：3▶撮影
- カメラで動画を撮影するとき：4▶撮影
- 画像の設定を解除するとき：5

3 フォルダを選ぶ▶●▶画像を選ぶ▶●

お知らせ

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

- 映像のみ、またはテロップの付いた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。
- 音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)を設定した場合、各種画面カスタマイズ設定で設定されている画像がｉモーション、Flash画像のときは、お買い上げ時に設定されている画像が表示されます。
- 着信音設定が[不可]の動画／ｉモーションや、まるごと着信音設定とオススメ着信音設定が[不可]の着うたフル®は設定できません(☞P.331)。
- microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーした動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末(本体)に録画してください。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。
- グループ内のシークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。グループ指定着信音選択／グループ指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- グループ指定メール着信音を設定するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 映像と音声を含む動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合は、グループのピクチャーコール設定もそのｉモーションが自動的に設定されます。
- 複数の着信音が設定されているときの優先順位については、P.117を参照してください。

指定着信ランプ／指定メール着信ランプについて

- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信ランプが点滅します。
- グループ内のシークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプが点滅します。グループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- グループ指定メール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 複数の着信ランプが設定されているときの優先順位については、P.138を参照してください。

ピクチャーコール設定について

- グループピクチャーコールを設定すると、グループ選択画面に[ ]が表示されます。
- ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合も設定した画像が表示されます。
- 音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)、またはテロップの付いた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーした動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末(本体)に録画してください。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の電話着信画面が表示されます。
- グループ内のシークレット登録した相手から電話がかかってくると、通常の電話着信画面が表示されます。グループピクチャーコールの設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 複数のピクチャーコールが設定されているときの優先順位については、P.129を参照してください。

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信できます。

電話帳の検索方法を選択する<検索方法選択>

電話帳の検索のしかたには、フリガナ検索、グループ検索、メモリ番号検索があります。
- FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、メモリ番号では検索できません。
- 待受画面で□を押すと、前回選択した検索方法で表示されます。

1 待受画面で□を押し、◎1［検索方法選択］を押して検索方法を選ぶ。

フリガナ検索	1	FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の両方がフリガナ順に表示されます。
グループ検索	2	FOMA端末（本体）電話帳のあとにFOMAカード電話帳が表示されます。
メモリ番号検索	3	FOMA端末（本体）電話帳のみが表示されます。

- 選んだ検索方法で、電話帳が表示されます。

関連操作

音声電話中に電話帳を表示する
音声電話中にMULTI▶□（電話帳）▶◉

microSDメモリーカード内の電話帳を表示する<microSDデータ参照>
待受画面で□▶◎◯4
- グループ検索のとき：待受画面で□▶グループを選ぶ▶◉▶◎◯4

microSDメモリーカード内の電話帳の内容を所有者情報にコピーする<所有者情報へコピー>
待受画面で□▶◎◯4▶名前を選ぶ▶◉▶◎34▶端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］▶◉

電話帳をｉモードメールに添付して送信する<メール添付>
待受画面で□▶名前を選ぶ▶◎◯1▶ｉモードメール作成・送信

電話帳を機能別ロックする<機能別ロック>
1 待受画面で□▶◎◯6
- グループ検索のとき：待受画面で□▶グループを選ぶ▶◉▶◎◯6

2 端末暗証番号を入力▶◉▶1

お知らせ

microSDメモリーカードの電話帳データ参照について
- microSDメモリーカード内の電話帳データの検索方法は、選択できません。

所有者情報へコピーについて
- microSDメモリーカード内の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合、1件目の電話番号は所有者情報にコピーされません。
- 画像転送設定を［する］に設定している場合、microSDメモリーカード内の電話帳の画像が所有者画像に設定されます。

メール添付について
- FOMAカード電話帳やmicroSDメモリーカード内の電話帳は添付できません。
- ｉモードメールの作成・送信については、P.214を参照してください。

名前で検索する<フリガナ検索>

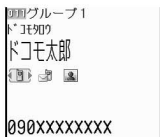
1 待受画面で📖を押す。

電話帳リスト画面
（カ～コ行）

- フリガナ検索の電話帳リスト画面が表示されないときは、ⓜ①①を押します。
- フリガナ検索は次の順番で表示されます。
  カタカナ（五十音→濁点・半濁点）→英字→数字→スペース※→記号→フリガナなし
  ※ フリガナの１文字目にスペースが入力されている場合は、数字のあと、記号より前に表示されます。

2 名前を選ぶ。

五十音順の前の行／次の行を表示する	⊙
１件ずつ選択する	⊙
ページ単位でスクロールする	下：📖［▼ページ］／上：✉［▲ページ］
フリガナを入力する（スピーディーサーチ）	フリガナを１文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

3 ⦿を押す。

電話帳
内容表示画面

- ⊙で各アイコンを選んで⦿を押すと、次の動作を行います。

	登録している電話番号に発信します。※
	登録しているメールアドレス宛のメール作成画面が表示されます。※
	登録している住所を確認できます。
	登録しているメモの内容を確認できます。
	設定している着信音または着モーションを再生します。
	設定している着信ランプ色と着信ランプパターンで点滅します。
	設定している静止画、動画／ｉモーションを表示します。
	設定している静止画やキャラ電を表示します。

※ 電話番号やメールアドレスを複数登録している場合は、登録した数だけアイコンが表示されます。利用する電話番号またはメールアドレスのアイコンを選んでください。

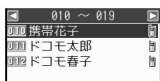
4 電話をかける。

音声電話	📞または⦿
テレビ電話	ⓘ
プッシュトーク	P（P）または✉

- 表示されている電話番号に発信します。

メモリ番号で検索する<メモリ番号検索>

- メモリ番号［000］～［099］に登録した相手には、ツータッチダイヤルで電話をかけることができます（☞P.113）。

1 待受画面で📖を押す。

FOMA端末（本体）
電話帳リスト画面
（メモリ番号010～019）

- メモリ番号検索の電話帳リスト画面が表示されないときは、ⓜ①③を押します。

2 メモリ番号を選ぶ。

前の10番台／次の10番台を表示する	● 表示されている電話帳の前後10番台の先頭から表示されます。
１件ずつ選択する	
メモリ番号を入力する（スピーディーサーチ）	● メモリ番号を１桁ずつ入力するたびに、該当する電話帳が順次表示されます。たとえば、「085」を入力すると次のようになります。 ■ １桁目「０」を入力：メモリ番号［000］〜［009］の電話帳が表示されます。 ■ ２桁目「８」を入力：メモリ番号［080］〜［089］の電話帳が表示されます。 ■ ３桁目「５」を入力：メモリ番号［085］の電話帳が選択されます。 ● 入力したメモリ番号が登録されていない場合は、入力したメモリ番号より大きくて一番近いメモリ番号の電話帳が表示されます。ただし、入力したメモリ番号より大きいメモリ番号の電話帳が登録されていない場合は、メモリ番号「000」から順次検索し、最も小さいメモリ番号の電話帳を表示します。

● 引き続き、P.108「名前で検索する」の操作３以降を参照してください。

グループで検索する<グループ検索>

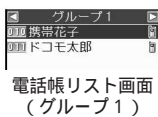
1 待受画面でを押す。

グループ選択
1 （指定なし）
2 グループ1
3 グループ2
4 グループ3
5 グループ4
6 グループ5
7 グループ6
8 グループ7

グループ選択画面

● グループ選択画面が表示されないときは、1 2を押します。

2 グループを選んでを押す。

電話帳リスト画面（グループ１）

● フリガナ順（カタカナ（五十音→濁点・半濁点）→英字→数字→スペース→記号→フリガナなし）に表示されます。
● グループ設定していない電話帳は［（指定なし）］にグループ分けされています。

3 名前を選ぶ。

前のグループ／次のグループを表示する	
１件ずつ選択する	（現在のグループ内）
フリガナを入力する（スピーディーサーチ）	フリガナを１文字ずつ入力するたびに、現在のグループ内で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

● 引き続き、P.108「名前で検索する」の操作３以降を参照してください。

関連操作

発信方法を選択して電話をかける

1 待受画面で▶名前を選ぶ▶
● グループ検索のとき：待受画面で▶グループを選ぶ▶▶名前を選ぶ▶

2 テレビ電話をかけるときは
● 音声電話をかけるとき：または
● プッシュトーク発信するとき：（）または
● 国際電話をかけるとき：4 2 2▶国際アクセス番号を選ぶ▶▶または
● プレフィックス番号を付けるとき：4 2 1▶プレフィックス番号を選ぶ▶▶または
● 発信者番号非通知でかけるとき：4 1 2▶または
● 発信者番号通知でかけるとき：4 1 1▶または
● マルチナンバーを選択するとき：5▶マルチナンバーを選ぶ▶▶または

関連操作

画像を指定してテレビ電話をかける<テレビ電話画像設定>

1 待受画面で📖▶名前を選ぶ▶◉
- グループ検索のとき：待受画面で📖▶グループを選ぶ▶◉▶名前を選ぶ▶◉

2 📷⑥②▶フォルダを選ぶ▶◉▶キャラ電を選ぶ▶📹▶📹
- 自分側のカメラ映像を送信するとき：📷⑥①▶📹

着もじメッセージを付けて電話をかける<着もじ>

1 待受画面で📖▶名前を選ぶ▶◉▶📷⑧
- グループ検索のとき：待受画面で📖▶グループを選ぶ▶◉▶名前を選ぶ▶◉▶📷⑧

2 ①[メッセージ作成]▶着もじメッセージを入力▶◉
- 登録している着もじメッセージから選ぶとき：②▶着もじメッセージを選ぶ▶◉
- 送信メッセージ履歴から選ぶとき：③▶着もじメッセージを選ぶ▶◉

3 音声電話をかけるときは📞または◉
- テレビ電話をかけるとき：📹

お知らせ

テレビ電話画像設定について
- 静止画は設定できません。
- テレビ電話を終了すると、テレビ電話画像設定は元に戻ります。

着もじについて詳しくは、**P.56**を参照してください。

電話帳リスト画面の表示を変更する<画像表示切替>

電話帳のピクチャーコールに設定した画像を、電話帳リスト画面に表示できます。
- microSDメモリーカード内のデータを表示している場合は、表示を切り替えられません。

1 待受画面で📖を押し、📷◔②[画像表示切替]を押す。

グループ検索のとき	📖→グループを選ぶ→◉→📷◔②
電話帳内容表示画面の表示を切り替えるとき	📖→名前を選ぶ→◉→📷◔②

お知らせ

- 電話帳リスト画面に静止画を表示している場合、1件目の電話番号とメールアドレスが表示され、電話をかけることはできますがメールアドレスは選択できません。登録されている他の電話番号やメールアドレスを選択するときは、電話帳内容表示画面から選択してください。
- グループ設定のピクチャーコールを設定した場合、設定した画像が、グループ内のメンバー全員の画像として表示されます。ただし、個人ごとに設定した画像があるときは、その画像が表示されます。

画像を転送しないように設定する<画像転送設定>

お買い上げ時　転送する

電話帳をmicroSDメモリーカードにコピーしたり、赤外線送信やｉＣ通信するときに、ピクチャーコールに設定した画像を転送しないように設定できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.318）。
- 画像転送設定を[する]に設定している場合、電話帳をmicroSDメモリーカードにコピーしたり、赤外線送信やｉＣ通信するときに時間がかかることがあります。
- 画像転送設定を[する]に設定しても、次の場合は転送できません。
  - ■ お買い上げ時に登録されている画像
  - ■ 取得元がｉモードでファイル制限ありの画像
  - ■ 取得元がテレビ電話の画像

1 待受画面で📖を押し、📷◯3[画像転送設定]を押す。

● グループ検索のときは、グループを選んで◉を押し、📷◯3を押します。

2 2[しない]を押す。

● 画像を転送するときは、1[する]を押し、[はい]を選んで◉を押します。

電話帳編集

電話帳を修正する

電話帳に登録・設定した内容を、項目ごとに編集できます。

● オールロック、ダイヤル発信制限を設定しているときは、編集できません。
● 指定着信許可/指定着信拒否に設定されている電話帳は編集できません。

1 待受画面で📖を押し、名前を選んで📷31[修正]を押す。

● 電話帳内容表示画面から編集するときは、📷11を押します。
● 修正できる内容については、P.97、P.103を参照してください。

2 項目を選んで◉を押し、編集する。

● 編集方法は、新規登録時と同様です。
● 名前を修正してもフリガナは自動で反映されません。
● 複数の電話番号を登録している場合、1件目の電話番号を削除したときは[(未登録)]となりますが、他の電話番号は変更されません。

3 ⓘ[完了]を押し、登録する。

FOMA端末(本体)電話帳のとき	上書き登録する	◉→[はい]→◉
	別のメモリ番号に登録する	メモリ番号を入力 ● CLR(1秒以上)を押し、メモリ番号を消去して◉を押すと、空いているメモリ番号に登録できます(☞P.99)。
FOMAカード電話帳のとき		[はい]→◉

● プッシュトーク電話帳に電話番号が登録されている電話帳を編集して上書き登録するときは、プッシュトーク電話帳の内容も変更される旨のメッセージが表示されます。[はい]を選んで◉を押すと、上書き登録されます。

関連操作

登録内容をコピーする<項目コピー>
待受画面で📖▶名前を選ぶ▶◉▶項目を選ぶ▶📷31

プッシュトーク電話帳に登録する<プッシュトーク電話帳登録>
待受画面で📖▶名前を選ぶ▶📷32

● 電話帳内容表示画面から登録するとき:📷12

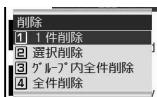
お知らせ

登録内容のコピーについて

● コピーできる項目は、FOMA端末(本体)電話帳内の、[名前]、[電話番号1〜3]、[メールアドレス1〜3]、[メモ]、[住所]とFOMAカード電話帳内の、[名前]、[電話番号]、[メールアドレス]です。
● 電話帳からコピーした内容の貼り付け方法については、P.414「文字を貼り付ける」を参照してください。

電話帳を削除する

● FOMA端末(本体)電話帳に登録されている電話帳データを削除すると、プッシュトーク電話帳からも削除されます。

1 待受画面で📖を押し、名前を選んで📷 4 [削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→[はい]→●
複数をまとめて削除する	2→名前を選ぶ●(くり返し可)→📷→[はい]→● ● すべてを選択/解除する場合は、Ⓘ[全選択]/Ⓘ[全解除]を押します。
選んだグループ内のすべてを削除する	3→グループを選ぶ→●→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●
FOMA端末(本体)電話帳のすべてを削除する	4 1→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●
FOMAカード電話帳のすべてを削除する	4 2→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●

● プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号があるときは、プッシュトーク電話帳の削除確認画面で[はい]を選んで●を押すと、プッシュトーク電話帳とFOMA端末(本体)電話帳のデータが削除されます。

電話帳の内容表示画面から削除する<1件削除>
電話帳の内容表示画面で📷 2 ▶ [はい] ▶ ●

電話帳をお預かりセンターに保存(復元・更新)する

● FOMAカード電話帳やmicroSDメモリーカード内の電話帳は保存できません。

1 待受画面で📖を押し、電話帳リスト画面(☞P.108)で📷 ◐ 5 [お預かりセンターに接続]を押す。

2 [はい]を選んで●を押し、端末暗証番号を入力して●を押す。
● 保存が完了すると、完了お知らせ画面が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

自動更新について
● お預かりセンターのサイトで、定期的にお預かりセンターへ更新・保存するように設定できます。
● 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合は自動更新されません。電話帳の自動更新が起動されなかった場合は、待受画面に[電話帳お預かりセンター　更新通知あり]を表示してお知らせします。

シークレット登録

知られたくない電話帳を守る

電話帳をシークレット登録すると、そのデータはFOMA端末のシークレットモードを[ON]に設定しない限り呼び出せなくなり、他の人に見られるのを防ぐことができます。
- FOMAカード電話帳には、シークレット登録することができません。

電話帳にシークレット登録する<シークレット登録>

1 電話帳入力画面(☞P.97)で[🔑]を選んで◉を押し、1[ON]を押す。

2 ⓘ[完了]を押し、登録する。

新規に登録する(☞P.98)	メモリ番号を入力
上書き登録する	◉→[はい]→◉

- [プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示された場合、登録するときは[はい]を選んで◉を押します。

お知らせ

- メモリ番号[000]～[099]に登録した電話帳をシークレット登録した場合、シークレットモードを[ON]に設定しないとツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。
- シークレット登録した電話帳のメールアドレスも、シークレットモードを[ON]に設定しないと呼び出せません。

シークレットデータを呼び出すとき
- シークレットモードを[ON]に設定した状態で、通常の電話帳と同様の操作で呼び出します(電話帳リスト画面でシークレットデータを選ぶと、[🔑]が点滅します)。
- 呼び出したあとは、発信や編集など、通常の電話帳と同様の操作ができます。

リダイヤル、着信履歴、送信メッセージ履歴、メール受信履歴、メール送信履歴、スケジュールでの表示について
- シークレット登録した電話帳の電話番号やメールアドレスの場合、名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。名前を表示させるには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音と着信ランプでお知らせします。電話帳で設定した着信音と着信ランプを有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。

ツータッチダイヤル／ツータッチメール

少ないボタン操作で電話発信やメール送信をする

FOMA端末(本体)電話帳のメモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、簡単な操作で電話をかけたり、i モードメールを作成して送信することができます。
- 電話帳に複数の電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号／メールアドレスに発信／送信します。
- 電話帳の機能別ロック中は、ツータッチダイヤルやツータッチメールを利用することはできません(☞P.151)。

1 待受画面で、メモリ番号の下1桁または下2桁の数字を押す。

- メモリ番号000～009:下1桁の数字に対応する0～9を押します。
- メモリ番号010～099:下2桁の数字に対応する10～99を押します。

2 機能を選ぶ。

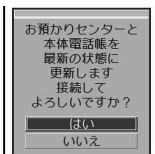
音声電話をかける	📞
テレビ電話をかける	ⓘ
メールを作成する	✉

- 指定したメモリ番号に登録されている相手に発信、またはメール作成画面が表示されます。
- メールの作成および送信方法は、P.214の操作2～4を参照してください。

電話帳お預かりサービスを利用する

FOMA端末(本体)電話帳をお預かりセンターに保存する<お預かりセンターに接続>

FOMA端末(本体)電話帳をお預かりセンターに保存します。
- すでに電話帳を保存している場合は、最新の内容に更新されます。
- 所有者情報もお預かりセンターへ保存されます。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。

1 待受画面で⦿⑨②⑧⑦①を押す。

2 [はい]を選んで⦿を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。
- 保存が完了すると、完了お知らせ画面が表示され、待受画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

お預かりセンターへ保存できる電話帳のピクチャーコール設定画像の制限について
- 画像種別はGIF、JPEGのみです。
- 1枚あたり最大300Kバイトまでの画像を保存できます(300Kバイトを超える画像はお預かりセンターへ保存されません)。
- 再配布不可の画像はお預かりセンターへ保存されません。

電話帳の更新履歴を表示する<電話帳通信履歴表示>

電話帳やメール、静止画を保存/更新した通信履歴を、最新のものから最大30件まで確認できます。
通信履歴が30件を超えた場合は、最も古い履歴から順に削除されます。

1 待受画面で⦿⑨②⑧⑦②を押し、履歴を選んで⦿を押す。

電話帳の画像を送信するかどうかを設定する<電話帳内画像送信>

お買い上げ時 OFF

電話帳をお預かりセンターに保存するときに、ピクチャーコールに設定した画像も送信するかどうかを設定できます。
- 電話帳内画像送信を[ON]に設定している場合、送信に時間がかかることがあります。

1 待受画面で⦿⑨②⑧⑦③を押し、[ON]/[OFF]を選ぶ。

画像を送信する	①→[はい]→⦿
画像を送信しない	②

音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

携帯電話から鳴る音を変える

音声電話、テレビ電話やプッシュトークの着信、ｉモードメール、SMSやメッセージR／Fの受信を知らせる着信音を変更したり、音にステレオ効果(P.120)を設定することができます。また、タイマー音も変更できます。

- 着信ランプが動作するように設定されているメロディを着信音に設定しているときは、メロディと連動して着信ランプを点滅させること(メロディ連動)ができます。
- 着信音には、内蔵されているメロディのほかに、ｉモードで取得したメロディや動画／ｉモーション、着うたフル®、FOMA端末で撮影した動画などを設定できます。
- 動画／ｉモーションを着信音に設定すると、着信時に映像や音声が再生されます(着モーション)。

着信音や着モーションを変更する<着信音選択>

お買い上げ時	音声電話着信音：着信音１　テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音：音声電話着信音に従う　メール着信音：着信音２　メッセージR／F着信音、SMS着信音：メール着信音に従う　プッシュトーク着信音：着信音１

1 待受画面で◉1 2 1を押し、項目を選ぶ。

テレビ電話着信音
1 メロディ
2 ｉモーション
3 ミュージック
4 音声電話着信音に従う

テレビ電話着信音を変更する場合

音声電話着信音	1	非通知設定着信音	4
テレビ電話着信音	2	通知不可能着信音	5
公衆電話着信音	3		

2 着信音を選ぶ。

メロディを設定する		1→フォルダを選ぶ→◉→着信音を選ぶ→◉ ● 着信音を確認するときは、着信音を選んで◉を押します。戻るときは◉を押します。
ｉモーションを設定する		2→フォルダを選ぶ→◉→着モーションを選ぶ→◉ ● 動画／ｉモーションを確認するときは、動画／ｉモーションを選んで◉を押します。戻るときは、□を押します。 ● 映像のみ、またはテロップの付いた動画／ｉモーションは設定できません。 ● microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーしたｉモーションは設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末(本体)に保存してください。microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のｉモーションは直接設定できます。設定された動画／ｉモーションはFOMA端末(本体)のデータBOXの[ｉモード]フォルダに移動されます。 ● 着信音・着信画面の組み合わせについては、P.206を参照してください。
着うたフル®を設定する	１曲全部を設定する	3→フォルダを選ぶ→◉→着うたフル®を選ぶ→◉→1[まるごと設定] ● 着うたフル®を確認するときは、着うたフル®を選んで◉を押します。戻るときは、CLRを押します。 ● microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の着うたフル®を選んだときは、FOMA端末(本体)への移動確認画面が表示されます。[はい]を選んで◉を押すと、データBOXのミュージックの[ｉモード]フォルダに保存され、着信音に設定されます。
	曲の一部を設定する	3→フォルダを選ぶ→◉→着うたフル®を選ぶ→◉→2[オススメ設定]→範囲を選ぶ→◉→[はい]→◉ ● 選択できる範囲は、着うたフル®ごとにあらかじめ決められています。 ● 選択した範囲を確認するときは、範囲を選んで◉を押します。戻るときは、CLRを押します。 ● オススメ設定の場合、選択した範囲がｉモーションとしてデータBOXのｉモーションの[ｉモード]フォルダに保存され、着信音に設定されます。
音声電話着信音と同じ音に設定する		4 ● テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を音声電話着信音と同じ音にします。

お知らせ

- 着信音を変更した場合、着信画面も変更されることがあります(P.206)。

お知らせ

- 複数の着信音が設定されているとき、着信音やメール着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位（高→低）
着信音	マルチナンバー着信音→電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音
メール着信音	電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→通常のメール着信音

- 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、[非通知設定着信音]よりも[テレビ電話着信音]が優先されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着モーションとして設定した場合、着信画面は電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。
- データ通信時の着信音は、音声電話着信音で設定した音と同じです。着信画面は、音声電話着信音で設定した画面と同じです。動画／ｉモーションが設定されているときは動画／ｉモーション画面となります。
- 再生制限のあるｉモーションや着うたフル®は設定できません。
- 着信音設定が[不可]のｉモーションや、まるごと着信音設定とオススメ着信音設定が[不可]の着うたフル®は設定できません（☞P.331）。

関連操作

ｉモードメール、SMS、メッセージR／F、プッシュトークの着信音を変更する

＜メール着信音選択／プッシュトーク着信音選択＞

1 待受画面で●1221[メール着信音]

- メッセージRのとき：待受画面で●1222
- メッセージFのとき：待受画面で●1223
- SMSのとき：待受画面で●1224
- プッシュトークのとき：待受画面で●123

2 1[メロディ]

- 動画／ｉモーションを設定するとき：2
- 着うたフル®を設定するとき：3
- SMS、メッセージR／Fの着信音をメール着信音と同じにするとき：4

3 P.116の操作２を参照して着信音を選ぶ

お知らせ

プッシュトーク着信音について

- プッシュトーク着信音に設定できる動画／ｉモーションは、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）です。

お買い上げ時に内蔵されているメロディ

曲　名	作曲者名	3D情報	曲　名	作曲者名	3D情報
着信音１	－	－	Beat On Motion	－	有
着信音２	－	－	My Journey	－	有
水槽	－	有	Ride on	－	有
バー	－	有	Skyscraper	－	有
マウス＆キーボード	－	有	モンスターハンターB（目覚め）	CAPCOM	－
海辺の街	－	－			
Sunset	－	－	ラヴァーズコンツェルト	J.S.BACH	有
モンスターハンターA（上手に焼けました～！）	CAPCOM	－	Siesta	－	有
			G線上のアリア	J.S.BACH	有
Smily Tap	－	有	サイレント	－	－
Classy Room	－	有	TI（標準音）	－	－
Groove	－	有	TI（時間です）	－	－
夏	VIVALDI ANTONIO LUCIO	有	TI（It's time）	－	－

お知らせ

- 指定着信音を設定すると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきたときに、設定した指定着信音が鳴ります。また、指定メール着信音を設定すると、電話帳に登録したメールアドレスからのメールを受信したときに、設定した指定着信音が鳴ります。
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、非通知設定着信音が鳴ります。
- メロディごとのアイコンについては、P.317「メロディの種類とマークについて」を参照してください。

登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード（☞**P.318**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。ファイル制限ありのメロディは転送できません。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

タイマーの音を変更する<タイマー音>

お買い上げ時　タイマー音：TI（標準音）　鳴動時間：15秒

- タイマー音はデータBOXのメロディから選択できます。

1 待受画面で◉1242を押し、音色を選ぶ。

標準音を設定する	1 ● 標準音を確認するときは、Ⓘを押します。停止するときはⒾを押します。
メロディを設定する	2→フォルダを選ぶ→◉→メロディを選ぶ→Ⓘ ● メロディを確認するときは、メロディを選んで◉を押します。停止するときはⒾを押します。
設定しない	3

2 タイマー音を鳴らす時間（**00**～**99**秒）を入力して◉を押す。

お知らせ

- 動画／ｉモーションは、タイマー音に設定できません。
- シャッター音の設定については、P.175を参照してください。
- 設定時に標準音またはメロディを確認するときは、各種設定音量選択で設定した音量で再生されます。音量設定が［サイレント］のときは［音量１］で再生されます。メロディの場合、再生中に◌を押して調整できます。

音量調節

携帯電話から鳴る音の音量を変える

音声電話、テレビ電話やプッシュトークの着信、ｉモードメール、SMSやメッセージR／Fの受信を知らせる着信音量を変更できます。また、ボタンを押したときや待受ｉモーション再生時の音量、タイマー音や充電開始／完了の音量も変更できます。

- 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
- データ通信時の着信音量は、音声電話着信音で設定した音量と同じです。

着信音の音量を調節する<着信音量選択>

お買い上げ時　音量５

- ［音量１］～［音量10］、［サイレント］（音を鳴らさない）、［ステップトーン］（だんだん大きな音になる）に調節できます。

1 待受画面で◉111を押し、項目を選ぶ。

音声電話着信音量	1	非通知設定着信音量	4
テレビ電話着信音量	2	通知不可能着信音量	5
公衆電話着信音量	3		

2 ○(上げる)/○(下げる)を押して音量を調節し、◉を押す。

- [ステップトーン]に設定するときは、[音量10]のときに○を押します。設定すると、[音量2]から鳴り始め、[音量10]まで3秒ごとに2段階ずつ上がり、以降は[音量10]で鳴ります。
  着モーションを設定しているときもステップトーンで再生されます。
- [サイレント]に設定するときは、[音量1]のときに○を押します。音声電話着信音を[サイレント]に設定したときは、待受画面に[]が表示されます。

関連操作

iモードメール、SMS、メッセージR/F、プッシュトークの着信音量を調節する<メール着信音量選択/プッシュトーク着信音量選択>

1 待受画面で◉1121[メール着信音]
- メッセージRのとき:待受画面で◉1122
- メッセージFのとき:待受画面で◉1123
- SMSのとき:待受画面で◉1124
- プッシュトークのとき:待受画面で◉113

2 ○(上げる)/○(下げる)▶◉

受話音量を調節する<受話音量>

お買い上げ時 音量5

受話音量を10段階で調節できます。

1 待受画面で○または○を1秒以上押す。

- カレンダーが表示されているときは、☎を押しカレンダー表示を解除してから操作してください。

2 ○(上げる)/○(下げる)を押して音量を調節する。

- 音量調節後、◉/CLRを押す、または、約2秒経過すると待受画面に戻ります。

ボタンを押したときや待受iモーション再生時の音量を調節する<ボタン/待受iモーション音>

お買い上げ時 音量5

FOMA端末のボタンを押したときの音(ボタン確認音)や待受画面に設定しているiモーションを再生するときの音(待受iモーション音)の音量を調節します。また、充電開始/完了音、タイマー音の音量を調節できます。

- [音量1]〜[音量10]、[サイレント](音を鳴らさない)に調節できます。
- 電池残量確認音(☞P.43)はボタン/待受iモーション音で設定した音量で鳴ります。[サイレント]に設定すると、電池残量確認音も鳴りません。
- キャラ電発信中、キャラ電再生中のキャラクタ操作では、ボタンを押しても音が鳴りません。
- マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、音は鳴りません。

1 待受画面で◉1141を押す。

2 ○(上げる)/○(下げる)を押して音量を調節し、◉を押す。

- [サイレント]に設定するときは、[音量1]のときに○を押します。

次ページへ続く

関連操作

充電開始音／完了音の音量を調節する<充電開始音／充電完了音>

1 待受画面で◉11142［充電開始音］
- 充電完了時の音量を調節するとき：待受画面で◉1143

2 ◌（上げる）／◌（下げる）▶◉

タイマー音の音量を調節する<タイマー音>

1 待受画面で◉1144
2 ◌（上げる）／◌（下げる）▶◉

音再生設定

3Dサウンドを設定する

メロディなどを再生するときのステレオ効果や優先する再生音を設定できます。

3Dサウンド／サラウンドを設定する<ステレオ効果設定>

お買い上げ時 ステレオ／3DサウンドON

設定した着信音などを、次のとおり設定できます。

ステレオ／3DサウンドON	3Dサウンドを3次元の立体音響でステレオスピーカから再生できます。3D情報が含まれていない着信音はステレオサウンドで鳴ります。
サラウンド※1	3D情報が含まれていてもこの情報を無視して、着信音がサラウンドで鳴ります。3D情報が含まれていない場合も着信音がサラウンドで鳴ります。
OFF	着信音の種類にかかわらず、モノラル※2で再生されます。

※1 音に臨場感・立体感を出す再生方式
※2 立体感を出さない再生方式
- ［OFF］に設定すると立体的な音で再生されません。
- ｉモーションを設定した場合、サラウンド効果は無効となります。

3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカ（またはステレオイヤホンセット）を使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応のｉアプリによるゲームや着信音を臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。
- 迫力ある3Dサウンドを最も効果的にお楽しみいただくには、FOMA端末をおよそ40cm離し、正面に向けてお持ちください。
- 正面から左右にずらした位置で聞く場合や、正面でも近すぎたり遠すぎたりした場合には効果が薄れてしまいますのでご注意ください。
- 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感がある場合は、ステレオ効果設定を［OFF］にしてください。

1 待受画面で◉191を押し、ステレオ効果を選ぶ。

ステレオ効果設定
1 ｽﾃﾚｵ/3DｻｳﾝﾄﾞON
2 サラウンド
3 OFF

ステレオ／3Dサウンドを設定する	1
サラウンドを設定する	2
ステレオ効果を設定しない	3

優先する再生音を設定する<再生音優先設定>

お買い上げ時 音楽プレイヤー優先

マルチアシスタント(マルチタスク)を使ってSDオーディオとｉアプリを同時に起動した場合、優先させる再生音を設定できます。

1 待受画面で◉1 9 2を押し、項目を選ぶ。

音楽プレイヤーを優先する	1
ｉアプリを優先する	2

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時 着信バイブレータ、メール着信バイブレータ、ＩＣカードバイブレータ:OFF

電話やプッシュトーク着信、メール受信、アラームを振動でお知らせできます。また、ＩＣカード利用時に振動させることができます。

- アラーム動作時のバイブレータは、ここで設定した着信バイブレータの設定に従います。
- バイブレータと音量の設定は連動していません。着信音やアラーム音を鳴らしたくないときは、音量を[サイレント]に設定してください。バイブレータ設定中でも音量は別途設定できます(☞P.118、P.370)。
- メロディに設定されているバイブレータを利用できます(メロディ連動)。

1 待受画面で◉1 3を押し、項目を選ぶ。

電話やプッシュトークの着信バイブレータ	1
メールの着信バイブレータ	2
ＩＣカード利用時のバイブレータ	3

2 バイブレータの種類を選ぶ。

OFF	1	バイブレータは動作しません。
パターン1	2	約0.8秒振動→約0.8秒停止のくり返し
パターン2	3	約0.3秒振動→約0.3秒停止→約0.3秒振動→約１秒停止のくり返し
パターン3	4	連続振動
メロディ連動	5	● バイブレータが動作するように作成されているメロディを着信音に設定しているとき、メロディと連動させる(メロディ連動)ことができます。 ● バイブレータが動作するように作成されていないメロディを着信音に設定すると、[パターン１]で振動します。

- バイブレータが設定されます。電話やプッシュトークの着信バイブレータを設定したときは、待受画面に[ ]が表示されます。
- ◌でパターン１～３を選ぶと、バイブレータの振動を確認することができます。
- ＩＣカード利用時のバイブレータには[メロディ連動]を選択できません。

お知らせ

- バイブレータを設定した場合、机の上などにFOMA端末を置いておくと、着信があったときに落下するおそれがありますので、ご注意ください。
- バイブレータを設定しても、Flash画像からのバイブレータ動作には反映されません。
- メロディ連動に設定しても、主旋律と連動していません。

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時　アラームあり（高音）

電波状態が悪いなど通話が途中で切れそうなとき、直前にアラーム音でお知らせします。

● 通話品質アラームは音声電話のみに対応しています。

1 待受画面で◉6 1 3を押し、アラーム音を選ぶ。

アラーム音（高音）を鳴らす	1
アラーム音（低音）を鳴らす	2
アラーム音を鳴らさない	3

お知らせ

● 電波が強く［Yıll］が表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも、通話品質アラームが鳴ることがあります。

● 急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうこともあります。

着信鳴動時間設定

メールやプッシュトークの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時　メール鳴動時間設定：ON（３秒）　プッシュトーク鳴動時間設定：30秒

● 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中、パターンデータ更新中にメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。

1 待受画面で◉1 6を押し、項目を選ぶ。

メール鳴動時間設定
鳴動時間
(01～30)
03　秒

メール着信音の鳴動時間	1→1［ON］
プッシュトーク着信音の鳴動時間	2

● ［OFF］に設定すると音は鳴りません。プッシュトークは［OFF］に設定できません。

2 着信音を鳴らす時間を入力して◉を押す。

● メール着信音は01～30秒、プッシュトーク着信音は01～60秒の間で入力できます。

お知らせ

● プッシュトークの**オート着信設定**を［ON］にした場合、プッシュトーク着信鳴動時間は選択できません。

着信音出力切替

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時　イヤホン＋スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続したとき、FOMA端末のスピーカから着信音を出さず、イヤホンだけから聞こえるように設定できます。

● 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、［イヤホンのみ］に設定していても、スピーカから着信音が鳴ります。

1 待受画面で◉1 5を押し、着信音の出力先を選ぶ。

イヤホン	1
イヤホンとスピーカ	2

お知らせ

- イヤホンマイクからの着信音量は**着信音量選択**で設定されている音量で聞こえます。着信音量を[サイレント]に設定している場合、着信音はイヤホンから聞こえません。
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しく働かないことがあります。
- イヤホンマイクのプラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると、音が途切れたり、雑音や大きな音がすることがあります。
- 次の場合は故障ではありません。
  - ■ 通話中にイヤホンマイクのプラグの差し込みが不完全で、音が途切れたり雑音がすることがある。
  - ■ 電源を入れた瞬間に、「パチッ」という音がする。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時 OFF

公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。FOMA端末から音を出さないように、簡単に切り替えることができます。

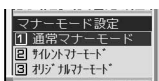
- マナーモードの種類によって、各機能の設定内容が以下の表のように異なります。

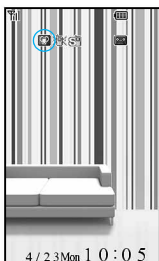
機　能	通常マナーモード	サイレントマナーモード	オリジナルマナーモード※1
伝言メモ、バイブレータ	ON	OFF	ON
着信音、メール着信音	サイレント	サイレント	サイレント
アラーム音、ボタン／待受ｉモーション音、電池残量警告音	OFF	OFF	OFF
マイク感度アップ※2	ON	ON	ON

※1 オリジナルマナーモードの設定は変更できます（☞P.124）。
※2 マイク感度アップを[ON]に設定している場合は、通話中にマイクの感度が高くなり、小さな声で通話できます。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マイク感度は変わりません。

- マナーモード設定中も、カメラのシャッター音、動画の撮影開始音／停止音は鳴ります。

マナーモードを設定する

1 待受中に[#]を1秒以上押す。

- 着信中にマナーモードを設定するときは、着信中に[#]を1秒以上押します。前回と同じマナーモードが設定されます（FOMA端末を閉じているときは、着信中に[▼]を1秒以上押します）。
  お買い上げ時は、[通常マナーモード]が設定されています。
- 着信中に通常マナーモード、サイレントマナーモードを設定した場合は着信音が止まります。オリジナルマナーモードの場合は設定した音量に変わります。通話が終了してもこの設定は有効です。電話に出られなかったときは、相手の用件が録音されます。ただし、すでに3件の伝言メモ／音声メモ、2件のテレビ電話伝言メモが録音されている場合、伝言メモは設定されません。[☎]を押すと電話に出ることができます。
- 待受画面で[●][1][4]を押して[1][ON]を押し、マナーモードの種類を変更できます。マナーモード中に操作した場合は、設定中のマナーモードの種類が変更されます。マナーモード解除中に操作した場合は、マナーモードが設定されます。

2 マナーモードの種類を選んで◉を押す。

- [通常マナーモード設定しました]、[サイレントマナーモード設定しました]、または[オリジナルマナーモード設定しました]と表示され、マナーモードが設定されます([ ]表示)。
- 操作1のあと、約2秒間何も操作しないでそのままにしておくと、選択中のマナーモードで設定されます。

マナーモード設定時の待受中や着信中は(通常マナーモード)

- ボタン／待受iモーション音、警告音、メロディ再生音(確認画面を表示)、iアプリのメロディ／効果音、充電開始／完了音、電池残量確認音、通話保留音、バーコード認識音、料金上限通知アラーム音などの音は鳴りません。
- 各種着信音、アラーム音、タイマー音などはバイブレータによるお知らせに変わります。
- 伝言メモが自動的に設定されます。また、メニュー操作による伝言メモの設定／解除(☞P.71)はできません。

マナーモードを解除する

1 待受中や着信中に#を1秒以上押す。

- [ ]が消え、マナーモードが解除されます。

関連操作

指定した時刻にマナーモードを自動的に解除する<マナーモード自動解除>

待受画面で解除時刻(4桁:24時間制)を入力▶#(1秒以上)または◉5

マナーモードを設定していないときに着信音を止める<クイックサイレント>

着信中に#

- FOMA端末を閉じているとき:着信中に▼

お知らせ

マナーモード自動解除について

- 解除時刻は、設定した時刻から24時間以内です。解除時刻に待受画面以外の画面を表示していたり、電源が入っていない場合は、待受画面に戻ったときにマナーモードが解除されます。

クイックサイレントについて

- クイックサイレントは、その着信に限り、着信音を止めることができます。

オリジナルマナーモード

マナーモードを変更する

お買い上げ時	伝言メモ:ON　着信音:サイレント　メール着信音:サイレント アラーム音:OFF　バイブレータ:ON　ボタン／待受iモーション音:OFF マイク感度アップ:ON　電池残量警告音:OFF

オリジナルマナーモード選択時に設定される各機能の設定内容を変更できます。

1 待受画面で◉14を押し、1[**ON**]を押す。

2 3[オリジナルマナーモード]を押す。

3 機能と設定内容を選び、[1][ON]／[2][OFF]を選ぶ。

伝言メモ	1	アラーム音	4	マイク感度アップ	7
着信音量※	2	バイブレータ	5	電池残量警告音	8
メール着信音量※	3	ボタン／待受ｉモーション音	6		

※ 音量の設定のときは、◯(上げる)／◯(下げる)で音量を調節し、◉を押します。
● 設定が終わったら☎を押します。待受画面に戻り、オリジナルマナーモードが設定されます。

お知らせ

● オリジナルマナーモードの伝言メモを[OFF]に設定していても、伝言メモを[ON]に設定していると、伝言メモが動作します。
● 電池残量警告音を[ON]に設定した場合、電池残量が少なくなると、警告音が「ピピピ…」と鳴ります。
● マナーモード設定中でも、オリジナルマナーモードの設定内容を変更できます。
● 外部機器接続中に外部機器から音を鳴らすように設定したときは、マナーモードを設定していても外部機器から音が鳴ります。

メイン画面設定

メインディスプレイの待受画面の表示を変える

画像を表示する<待受画面設定>

お買い上げ時 待受画面１

あらかじめ登録されている静止画やカメラで撮影した静止画、動画、サイトでダウンロードした静止画やFlash画像、ｉモーション、ｉモードメールで受信した画像など、データBOXに保存されている画像を、待受画面に表示できます。

● FOMA端末にはあらかじめ待受画面が登録されています(☞P.425)。
● データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、ｉモーション内の動画／ｉモーションを利用できます。ただし音声のあるFlash画像を利用しても、音はなりません。
● 音声のみの動画／ｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)、再生制限のある動画／ｉモーションは待受画面に設定できません。ASFファイルも設定できません。

1 待受画面で◉[2][1][1]を押し、画像を選ぶ。

画像を設定する	[1]→フォルダを選ぶ→◉→画像を選ぶ→◉→[はい]→◉ ● 画像を確認するときは、画像を選んで◉を押します。戻るときは、CLRを押します。 ● 上記操作で[はい]を選んで◉を押すと設定確認画面が表示されます。JPEG画像のときは[等倍]／[拡大／縮小(全画面)]／[拡大／縮小(ワイド)]から表示サイズを選択します。GIF画像、GIFアニメーションのときは[等倍]／[拡大／縮小(全画面)]から表示サイズを選択します。「待受:240×400」より大きいサイズの場合、[等倍]は選択できません。Flash画像の場合、表示サイズを選択できません。
動画／ｉモーションを設定する	[2]→フォルダを選ぶ→◉→動画／ｉモーションを選ぶ→◉→[はい]→◉ ● 動画／ｉモーションを確認するときは、動画／ｉモーションを選んで◉を押します。戻るときは、◫を押します。 ● 再生を一時停止するときは◉[ポーズ]を押します。続きを再生するときは、◉を押します。 ● 「sQCIF:128×96」、「QCIF:176×144」、「hQVGA:240×176」、「QVGA:320×240」サイズの動画／ｉモーションを設定できます。「sQCIF:128×96」、「QCIF:176×144」(横×縦)サイズの動画／ｉモーションの場合、[等倍]または[拡大]から表示サイズを選択します。 ● 動画／ｉモーションの音量は、ボタン／待受ｉモーション音の音量に従います(１回再生すると停止します)。 待受画面でｉモーションを再生中にMULTI(１秒以上)を押すと、音声の有無を切り替えることができます。
ｉアプリを設定する	[3] ● ｉアプリの設定方法については、P.257を参照してください。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- microSDメモリーカード内の画像や動画／ｉモーションは直接、待受画面に設定できません。FOMA端末（本体）にコピー／移動してから設定してください。microSDメモリーカードの［移行可能コンテンツ］フォルダ内の動画／ｉモーションは直接設定できます。
- Flash画像やGIFアニメーション、動画／ｉモーションを待受画面に設定した場合は下記のように動作します。

Flash画像やGIFアニメーション	最初の１コマ目から再生され、再生終了後は停止したコマが待受画面として表示されます。再生中に☎を押すと、一時停止し、再度☎を押すと再生が再開されます。
動画／ｉモーション	最初の１コマ目から再生され、再生終了後は１コマ目が待受画面として表示されます。再生中に☎を押すと、１コマ目に戻り停止し、再度☎を押すと再生が再開されます。

- 待受画面に設定している画像を削除した場合、お買い上げ時の画像に戻ります。
- ｉモーション待受画面から、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能はご利用になれません。
- 設定したGIFアニメーションまたは設定したFlash画像は、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- ディスプレイが消灯しているときに、いずれかのボタンを押すと画面が表示されます（押したボタンの機能は実行されません）。その後、ボタン操作を行うことができます。

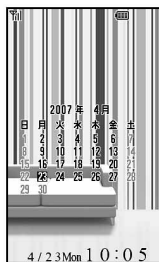
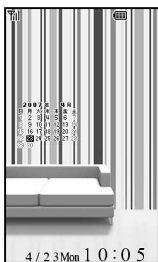
カレンダーを表示する<カレンダー表示設定>

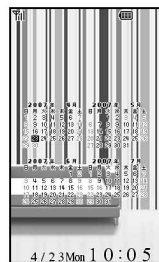
お買い上げ時 OFF

ディスプレイの待受画像に重ねて、今月または、今月と次月の２ヶ月分、今月を先頭に４ヶ月分のカレンダーを表示できます。休日設定日、祝日（☞P.375）は赤色で表示されます。スケジュールが設定されている日付には、アンダーラインが表示されます。また、［１ヶ月（大）］のときは、スケジュールが設定されている日付の右側にアイコンが表示されます。

- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号）」に基づいた祝日が登録されています（2007年８月現在）。春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なる場合があります。
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像およびｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- Bilingual設定を［English］に設定したときは、カレンダー表示も英語表示になります。

1 待受画面で●２１３を押し、表示方法を選ぶ。

１ヶ月（大）	１
１ヶ月	２→１［左上］／２［右上］／３［左下］／４［右下］
２ヶ月	３→１［上］／２［下］
４ヶ月	４
OFF	５

１ヶ月（大）表示

１ヶ月表示（左上）

２ヶ月表示（下）

４ヶ月表示

- ◯を押すと、前後の月のカレンダーが表示されます。［４ヶ月］の場合は、前後２ヶ月分のカレンダーが表示されます。
- カレンダー表示を設定しているときに、待受画面で☎を押すと、カレンダー表示の有無が切り替わります。
- カレンダー表示と、ｉチャネルテロップ設定を［ON］に設定している場合、待受画面で☎を押すと、カレンダー表示とｉチャネルテロップ表示が切り替わります。

時計を表示する<待受時計表示設定>

お買い上げ時　時計表示：ON（大）　時計グラフィック設定：待受時計１　表示位置設定：下

待受画像に重ねて、日時を表示できます。

- 時計表示を［ON（大）］や［OFF］に設定すると、待受画面右上の時計は表示されません（待受画面以外では表示されます）。［ON（小）］に設定すると、待受画面右上の時計が表示されます。
- マイピクチャから画像を選択するときは、横160×縦160ドットのGIF画像を利用できます（Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません）。
- Bilingual設定を［English］に設定したときは、日時も英語表示になります。ただし、画像によっては、Bilingualで日本語表示／英語表示を切り替えたときに正しく表示されない場合があります。
- サイクロイドポジションの場合は、［ON（大）］に設定していても［ON（小）］の表示になります。

1 待受画面で⦿２１２を押す。

2 ［時計表示］を選んで⦿を押し、時計の種類を選ぶ。

時計（大）を表示する	１
時計（小）を表示する	２→操作５に進む ● 待受画面以外でディスプレイ上部に表示される時計の画像は変更できます（☞P.133「マークのデザインを変更する」）。
時計を表示しない	３→操作５に進む

3 ［時計グラフィック設定］を選んで⦿を押し、フォルダを選んで⦿を押し、画像を選んで⊜［決定］を押す。

- 画面に時計の見本が表示されます。

4 ［表示位置設定］を選んで⦿を押し、表示位置を選ぶ。

上に表示する	１
下に表示する	２

5 ⊜［完了］を押す。

発着信画面設定

発着信時の画像を変更する

お買い上げ時	電話発信画面：電話発信１ 音声電話着信画面、テレビ電話着信画面、公衆電話着信画面、非通知設定着信画面、通知不可能着信画面：電話着信１

電話をかけるときや、電話がかかってきたときに表示される画像を変更できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を利用できます。着信画面にはｉモーションも利用できます（音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を除く）。
- 設定可能な動画／ｉモーションの画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」です。
- 横240ドット×縦144ドットより横または縦が大きいサイズの画像は、縮小して表示されます。

1 待受画面で● 2 4 1 を押し、項目を選び、● [画像選択]を押す。

電話発信画面	2	公衆電話着信画面	5
音声電話着信画面	3	非通知設定着信画面	6
テレビ電話着信画面	4	通知不可能着信画面	7

- 項目を選択すると、設定されている画像のプレビュー画面が表示されますが、動画／ｉモーションを設定している場合は表示されません。

2 フォルダを選んで●を押し、画像を選んで● [決定]を押す。

- 着信画面を設定するときは、フォルダを選ぶ前に 1 [マイピクチャ]／ 2 [ｉモーション]を選びます。
- 画像を確認するときは、画像を選んで●を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、●を押すと再生され、約15〜30秒経過すると、自動的に停止します。
- 動画／ｉモーションの場合、再生を一時停止するときは● [ポーズ]を押します。続きを再生するときは●を押します。元の画面に戻るときは、□を押します。
- 着信画面にｉモーションを設定する場合については、P.205を参照してください。

お知らせ

- 着信画面を変更した場合、着信音も変更されることがあります（☞P.206）。
- 発信画面・着信画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 発信画面・着信画面に設定できない画像は表示されません。
- 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、[非通知設定着信画面]よりも[テレビ電話着信画面]が優先されます。
- microSDメモリーカード内の画像は、発信画面・着信画面には設定できません。FOMA端末（本体）にコピー／移動してから設定してください。microSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは着信画面に設定できません。撮影した動画を設定する場合は、FOMA端末（本体）に保存してください。microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画／ｉモーションは直接設定できます。
- ピクチャーコール設定を[ON]に設定している場合は、着信画面の設定よりもピクチャーコール設定が優先される場合があります。

メール送受信画面設定

メール送受信時の画像を変更する

お買い上げ時	メール送信画面設定：メール送信１　メール受信画面設定：メール受信１ メール受信完了画面：メール受信結果１

メール送信時、メール受信時、メール受信完了時の画像を変更できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を利用できます。メール受信完了画面にはｉモーションも利用できます（音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を除く）。

1 待受画面で● 2 4 2 を押し、項目を選び、● [画像選択]を押す。

メール送信画面を設定する	1
メール受信画面を設定する	2
メール受信完了画面を設定する	3

- 項目を選択すると、設定されている画像のプレビュー画面が表示されますが、動画／ｉモーションを設定している場合は表示されません。

2 フォルダを選んで●を押し、画像を選んで● [決定]を押す。

- メール受信完了画面を設定するときは、フォルダを選ぶ前に 1 [マイピクチャ]／ 2 [ｉモーション]を選びます。
- 画像を確認するときは、画像を選んで●を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、●を押すと再生され、15〜30秒経過すると、自動的に停止します。
- 動画／ｉモーションの場合、再生を一時停止するときは● [ポーズ]を押します。続きを再生するときは●を押します。元の画面に戻るときは、□を押します。

お知らせ

- メール受信完了画面を変更した場合、メール着信音も変更されることがあります。
- メール送信画面・メール受信画面・メール受信完了画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- メール送信画面・メール受信画面・メール受信完了画面に設定できない画像は表示されません。
- microSDメモリーカード内の画像は、メール送信画面・メール受信画面・メール受信完了画面には設定できません。FOMA端末(本体)にコピー／移動してから設定してください。microSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーした動画／iモーションはメール受信完了画面に設定できません。撮影した動画を設定する場合は、FOMA端末(本体)に保存してください。microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の動画／iモーションは直接設定できます。
- SMSとメッセージR／Fの受信完了画面は、お買い上げ時の[メール受信結果1]から変更できません。

ピクチャーコール設定

電話帳に登録した画像を着信時に表示するかどうかを設定する

お買い上げ時 ON

ピクチャーコール設定(☞P.100、P.106)されている電話番号からの着信があったとき、ピクチャーコールの画像を表示するかどうかを設定できます。

- 相手の発信者番号が通知されない場合や、電話帳にピクチャーコール(画像)を設定していないときは、ピクチャーコール設定を[ON]に設定してもピクチャーコールの画像は表示されません(☞P.101)。

1 待受画面で⦿2411を押し、1[**ON**]を押す。

お知らせ

- 画像は次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定 ● iモーションを設定している場合は、設定しているiモーションが優先される場合があります。

サブ画面設定

サブディスプレイを設定する

着信時に相手の名前などを表示する<相手表示設定>

お買い上げ時 ON

電話がかかってきたとき、相手の電話番号や名前をサブディスプレイに表示できます。

- 電話帳の機能別ロック中、相手の名前は表示されません。ただし、プッシュトークプラスから番号通知で着信した場合はネットワーク上の電話帳の名前が表示されます。

1 待受画面で⦿221を押し、1[**ON**]を押す。

サブディスプレイの時計のデザインを変更する<時計表示設定>

お買い上げ時 待受時計(大)

1 待受画面で◉②②②を押し、時計の種類を選ぶ。

待受時計(大)	1
待受時計(小)	2

● 待受時計(大)は時刻のみ、待受時計(小)は日付、曜日、時刻が表示されます。

省電力設定

バッテリーを節約する

お買い上げ時 通常(明るさ自動)

ディスプレイの表示時間などを調整してバッテリーの消耗を抑えることができます。
省電力設定の種類によって、表示時間などが以下の表のように異なります。

	通常(明るさ自動)	通常(明るさ固定)	節電モード(Eco)	ユーザ設定※1
照明時間設定	約10秒	約10秒	約5秒	約10秒
画面表示時間設定	約1分	約1分	約30秒	約1分
明るさ調整※2	自動	6	1	自動
ボタン照明設定	点灯	点灯	消灯	点灯

※1 ユーザ設定の設定は変更できます(☞P.130)。
※2 [自動]に設定すると、明るさセンサー(☞P.25)が周囲の明るさによって自動的にディスプレイの照明の明るさやボタンのバックライトの照明を点灯させるかどうかを調整します。携帯電話を開いた直後、急に暗いところや明るいところに移動した場合などは、明るさの調整に時間がかかることがあります。明るさセンサーにはシールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

1 待受画面で◉②⑦を押し、省電力設定の種類を選ぶ。

通常(明るさ自動)	1	節電モード(Eco)	3
通常(明るさ固定)	2	ユーザ設定	4

ワンタッチで節電モード(Eco)に設定する

1 待受画面でEcoを押し、[はい]を選んで◉を押す。

● 節電モード(Eco)に設定されます。すでに節電モード(Eco)に設定していた場合は、省電力設定画面が表示されます。

お知らせ

● 設定を解除するときは、もう一度Ecoを押すと省電力設定画面が表示されますので、[節電モード(Eco)]以外の省電力設定を選んでください。

ユーザ設定

オリジナルの省電力モードを設定する

省電力設定の[ユーザ設定]には、照明時間設定、画面表示時間設定、明るさ調整、ボタン照明設定をそれぞれ設定できます。

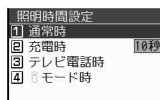
ディスプレイとボタンの照明時間を設定する<照明時間設定>

お買い上げ時 通常時:10秒　充電時、iモード時:通常時と同じ
テレビ電話時:常にON

ディスプレイとボタンのバックライトの照明が点灯している時間を、以下の場合についてそれぞれ設定できます。設定した時間を過ぎると、微灯になります。

● ユーザ設定で設定した照明時間設定、画面表示時間設定、明るさ調整、ボタン照明設定は、[省電力設定]の種類を[通常(明るさ自動)]、[通常(明るさ固定)]、[節電モード(Eco)]に設定すると無効になります。

通常時	電源を入れたとき、ボタンを押したとき、FOMA端末を開閉したとき、電話がかかってきたときなどに照明が点灯する時間を、1～99秒の間で設定できます。
充電時	ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)を接続しているときに照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[表示時間設定に従う]に設定できます。
テレビ電話時	テレビ電話の通話中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[常にON]に設定できます。
ｉモード時	ｉモード中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[表示時間設定に従う]に設定できます。

1 待受画面で⦿[2][7][4][1]を押し、項目を選ぶ。

通常時の照明	[1]	テレビ電話時の照明	[3]
充電時の照明	[2]	ｉモード時の照明	[4]

2 点灯時間(**01**～**99**秒)を入力して⦿を押す。

● 充電時、ｉモード時の照明設定のときは、[1][通常時と同じ]／[2][表示時間設定に従う]を選びます。テレビ電話時の照明設定のときは、[1][通常時と同じ]／[2][常にON]を選びます。

お知らせ

● 点灯時間(秒数)は[通常時]のみに設定できます。
● 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
● 通常時の照明時間設定と画面表示時間設定を同じ時間に設定している場合は、画面表示時間設定が優先されます。
● テレビ電話中のディスプレイの明るさは、省電力設定のユーザ設定に従います。照明時間設定のテレビ電話時を[通常時と同じ]に設定している場合は、明るさ調整で設定した明るさに調整されます。[常にON]に設定している場合は、明るさ２に調整されます。
● Flash画像、動画の再生時の照明時間は、イメージビューア、ｉモーションプレーヤーのバックライト点灯時間の設定に従います。
● Flash画像やGIFアニメーションを待受画面に設定している場合、省電力モードから復帰したときは先頭から再生されます。
● イメージビューア、ｉモーションプレーヤー、キャラ電プレーヤーでバックライト点灯時間を[照明設定に従う]に設定した場合、照明時間設定の[通常時]の設定が反映されます。
● スライドショー、静止画撮影、文字読み取り、バーコードリーダーでは、ここでの設定にかかわらず、常に点灯します。
● 複数の照明時間が設定されているとき、次の優先順位で点灯します。ただし、テレビ電話時の照明時間設定を[常にON]に設定すると、充電しながらテレビ電話を利用する場合、充電時の設定にかかわらず、[常にON]になります。

	優先順位(高→低)
照明時間	充電時→テレビ電話時／ｉモード時→通常時

ボタンの照明を点灯させる<ボタン照明設定>

お買い上げ時 点灯

ボタンのバックライトの照明を点灯させるかどうかの設定をすることができます。

● [点灯]に設定したときの点灯時間は、照明時間設定に従います。
● 点灯にすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

1 待受画面で⦿[2][7][4][4]を押し、[1][点灯]を押す。

画面表示時間を設定する<画面表示時間設定>

お買い上げ時　1分

一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、ディスプレイの表示を消してバッテリーの消費を抑えます。

1 待受画面で⦿2742を押し、省電力モードになるまでの時間を選ぶ。

30秒	1	2分	3	5分	5	15分	7
1分	2	3分	4	10分	6	20分	8

お知らせ

- 省電力モードになっているときに、いずれかのボタンを押すとディスプレイ表示が点灯します。
- 音声電話中は、画面表示時間設定の設定時間にかかわらず、照明時間設定（通常時）に従ってディスプレイのバックライトが消灯します。
- ｉチャネルテロップ再生中は画面表示時間設定に従って省電力モードになりますが、画面表示時間設定が30秒に設定されている場合は、ｉチャネルテロップ再生開始から60秒間は省電力モードになりません。
- 次の場合は、画面表示時間設定で設定した時間が経過しても省電力モードになりません。
  - ■テレビ電話中
  - ■メール通信中
  - ■スライドショー再生中
  - ■ワンセグ録画中
  - ■プッシュトーク通信中
  - ■カメラ起動中
  - ■外部機器とのデータ転送中
  - ■ビデオ再生中
  - ■ｉモード通信中
  - ■ｉモーション再生中
  - ■ワンセグ視聴中

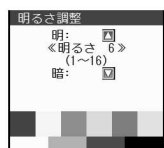
  ただし、待受ｉモーション再生中は画面表示時間設定に従います。

ディスプレイの明るさを調整する<明るさ調整>

お買い上げ時　自動

ディスプレイの明るさを調整できます。明るさ調整を［自動］に設定すると、周囲の明るさによって自動的にディスプレイの明るさが調整されます。さらにボタン照明設定を［点灯］に設定しているときは、周囲の明るさによって自動的にボタンの照明の［点灯］／［消灯］も調整されます。

- 明るくすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

1 待受画面で⦿2743を押し、明るさを選ぶ。

明るさを手動で調整する場合

明るさを自動で調整する	1
明るさを手動で調整する	2→（明るくする）／（暗くする）→⦿ ● 明るさを16段階に調整できます。調整するたびに設定した明るさで画面が表示されます。

各種画面カスタマイズ設定

ディスプレイをアレンジする

サブメニュー枠のデザインを変更する<サブメニュー画像設定>

お買い上げ時　上画像：メニュー枠１（上）　下画像：メニュー枠１（下）

サブメニューの上下の枠のデザインを変更できます。

- 利用できるサブメニュー枠のデザインは［プリインストール］フォルダ内の画像のみです。

1 待受画面で⦿243を押し、［画像選択］を押す。

- ✉を押すと、上枠と下枠の画像設定画面を切り替えられます。

2 ⊙を押し、画像を選んでⓂ[決定]を押す。

- 画像を確認するときは、画像を選んで⊙を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。
- 上枠用の画像を設定すると、下枠用の画像設定画面が表示されます。画像を設定するときは、Ⓜ[画像選択]を押し、操作2をくり返します。

お知らせウィンドウのアニメーションを設定する<お知らせウィンドウアニメ>

お買い上げ時 お知らせアニメ1

確認メッセージやエラーメッセージを表示するお知らせウィンドウの画像を設定できます。

- 横212×縦42ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。Flash画像は利用できません。

1 待受画面で⊙[2][4][4]を押し、Ⓜ[画像選択]を押す。

2 フォルダを選んで⊙を押し、画像を選んでⓂ[決定]を押す。

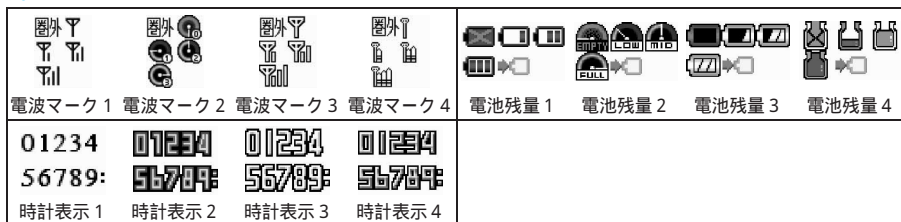
- 画像を確認するときは、画像を選んで⊙を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

マークのデザインを変更する<電波/電池/小時計マーク>

お買い上げ時 電波マーク:電波マーク1 電池マーク:電池残量1 小時計マーク:時計表示1

ディスプレイに表示される電波状態表示マーク、電池残量表示マーク、時計表示マークを変更できます。

登録されているマーク

電波マーク1	電波マーク2	電波マーク3	電波マーク4	電池残量1	電池残量2	電池残量3	電池残量4
時計表示1	時計表示2	時計表示3	時計表示4				

- マイピクチャから画像を選択するときは、電波状態表示マークが横48×縦60ドット、電池残量表示マークが横72×縦40ドット、時計表示マークが横49×縦40ドットのGIF画像を利用できます(Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません)。

1 待受画面で⊙[2][4][5]を押し、マークの種類を選ぶ。

電波状態表示マーク	[1]
電池残量表示マーク	[2]
時計表示マーク	[3]

2 Ⓜ[画像選択]を押し、フォルダを選んで⊙を押し、画像を選んでⓂ[決定]を押す。

- 画像を確認するときは、画像を選んで⊙を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

画面の配色を変更する<テーマカラー設定>

お買い上げ時 ModernWhite

1 待受画面で⊙[2][4][6]を押し、テーマカラーを選ぶ。

ModernWhite	[1]	StreetBrown	[3]	PrismRed	[5]	HoneyYellow	[7]
MidnightBlack	[2]	SilverLine	[4]	Intelligence	[6]	CassisPink	[8]

- テーマカラーを選んで⊙を押すと、画面が選択中の配色パターンで表示されます。

次ページへ続く▶▶

2 [はい]を選んで◉を押す。

ユーザカスタマイズメニュー

TOPメニューのデザインを変更する

TOPメニューのアイコンや順番、背景画像、アイコン名の有無を変更できます。

- 設定しているTOPメニューによっては、個別アイコン設定（アイコン画像設定、アイコン移動、アイコン名表示）、アクションフォーカス、背景設定を利用できない場合があります。

TOPメニューをカスタマイズして登録する

アイコン画像設定や背景設定でTOPメニューに表示した画像を、最大２件まで登録できます。

1 **TOP**メニューで📷11[カスタマイズ用]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

2 アイコン画像設定（☞**P.134**）や背景設定（☞**P.135**）を行い、📷1[ユーザカスタマイズメニュー]を押す。

3 登録先を選んで✉[一括保存]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

- [ユーザ設定１]または[ユーザ設定２]に登録できます。
- 登録済みのユーザ設定をTOPメニューに設定するときは、ユーザ設定を選んで◉を押し、[はい]を選んで◉を押します。
- 登録したユーザ設定を削除するときは、ユーザ設定を選んでⓘを押し、[はい]を選んで◉を押します。

お知らせ

- お買い上げ時にカスタマイズ用として登録されているTOPメニューは削除できません。
- 電源を切るなどして設定を途中で終了させると、変更が途中まで反映された状態で設定されます。この場合は再び設定をやり直してください。

TOPメニューのアイコンを設定する<アイコン画像設定>

- 横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。サイトでダウンロードした画像も利用できます。
- １つのアイコンに対して非選択時用、選択時用の２枚の画像を設定できます。
- GIFアニメーションの場合は最大３シーンが切り替わります。選択時用の画像は設定できません。
- データBOXのマイピクチャの画像をメニューアイコンに設定した場合、元の画像を削除しても、メニューアイコンの設定を変更するまで画面は保持されます。

1 **P.134**「**TOP**メニューをカスタマイズして登録する」の操作２で、アイコンを選んで📷141[アイコン画像設定]を押す。

2 フォルダを選んで◉を押し、非選択時用の画像を選んでⓘ[決定]を押す。

- メニューアイコンに設定できない画像は表示されません。
- GIFアニメーションを選択したときは、TOPメニュー画面に戻ります。
- 画像を確認するときは、画像を選んで◉を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

3 選択時用の画像を選ぶ。

選択時用の画像を別に設定する	[はい]→◉→フォルダを選ぶ→◉→画像を選ぶ→ⓘ
非選択時用と同じ画像を設定する	[いいえ]→◉

関連操作

TOPメニューのアイコンを移動する<アイコン移動>

TOPメニューでアイコンを選ぶ▶📷142▶移動先の位置を選ぶ▶●

アイコン名を表示する<アイコン名表示>

TOPメニューで📷143▶1

お知らせ

アイコン名表示について

- お買い上げ時は、[OFF]に設定されています。
- お買い上げ時に登録されているアイコン画像の場合、画像の中にアイコン名が入っているため、アイコン名表示を[ON]に設定すると、文字が二重に表示されます。

TOPメニューのアイコンにアクションフォーカスを設定する<アクションフォーカス>

お買い上げ時 OFF

- アクションフォーカスを設定すると、TOPメニューで選択したアイコンのみアクションが実行されます。
- GIFアニメーションが設定されている場合は、最後に表示される画像にアクションフォーカスを設定します。

1 P.134「TOPメニューをカスタマイズして登録する」の操作2で、📷15[アクションフォーカス]を押し、アクションフォーカスの種類を選ぶ。

グローブ	1	円が速度を変えながら回転します。
ターゲット	2	大きい四角形から小さい四角形になります。
ミスト	3	霧のような光の幕がかかります。
スターダスト	4	光がきらきら輝きます。
ウインドミル	5	3本の棒が次々に現れ、アイコンの下で回転します。
リップル	6	丸い枠が広がっていきます。
OFF	7	設定しません。

TOPメニューの背景を設定する<背景設定>

お買い上げ時 メニュー背景

- JPEG画像、GIF画像を利用できます(Flash画像、GIFアニメーションは利用できません)。
 サイトでダウンロードした画像も利用できます。
- データBOXのマイピクチャの静止画を背景画像に設定した場合、元の静止画を削除しても、背景画像の設定を変更するまで画面は保持されます。

1 P.134「TOPメニューをカスタマイズして登録する」の操作2で、📷16[背景設定]を押す。

2 フォルダを選んで●を押し、静止画を選んで☰[決定]を押す。

- 背景画像に設定できない静止画は表示されません。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで●を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

TOPメニューをお買い上げ時の状態に戻す<メニューリセット>

TOPメニューのアイコン画像設定、移動させたアイコン位置、アイコン名表示、アクションフォーカス、および背景設定をお買い上げ時の状態に戻します。

● きせかえツールを利用して、TOPメニュー、ｉモードメニューとメールメニューを変更している場合は、これらのメニューは本体色にかかわらず、プリインストールフォルダ内のきせかえツール[White]（本体色White用）の設定となります。

1 TOPメニューで📷2[メニューリセット]を押し、端末暗証番号を入力して●を押し、[はい]を選んで●を押す。

操作ガイドを表示する<操作ガイド>

操作ガイドブックを呼び出して、TOPメニューのアイコンや、待受画面でのボタンの操作方法を調べることができます。

1 TOPメニューで📷3[操作ガイド]を押し、確認したい機能を選ぶ。

アイコンの操作方法	1
待受画面でのボタンの操作方法	2

● 選択した機能の操作ガイドブックが表示されます。

きせかえツール

きせかえツールを利用する

サイトからダウンロードしたきせかえツールを利用すると、着信音、待受画面やメニューアイコンなどをまとめて変更できます。

● きせかえツールをダウンロードする方法については、P.194「きせかえツールをダウンロードする」を参照してください。

● 設定できる項目は次のとおりです。

画面	待受画面、電話発信画面、電話着信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信画面、メール受信完了画面、電波マーク、電池マーク、お知らせアニメ、TOPメニュー画像、ｉモードメニュー画像、メールメニュー画像
着信音	音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、プッシュトーク着信音

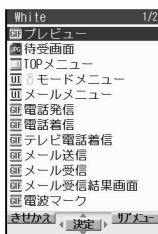
● 設定できる項目は、設定するきせかえツールによって異なります。

● プリインストールフォルダ内のきせかえツールは、画面のみのきせかえツールです。着信音は変更されません。

1 待受画面で●918を押す。

2 フォルダを選んで●を押す。

プリインストールフォルダを選んだ場合

3 きせかえツールを選んで◉を押す。

きせかえツール内
データ一覧画面

- データを確認するときは、データを選んで◉を押します。ただし、サイクロイドポジションではTOPメニュー、i モードメニュー、メールメニューは確認できません。通常ポジションに戻してご利用ください。

4 ⓘ[きせかえ]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

お知らせ

- microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のきせかえツールはデータの確認はできますが、直接きせかえツールの設定をすることはできません。FOMA端末(本体)に移動してから設定してください。
- サイクロイドポジションのときは、TOPメニューやｉモードメニュー、メールメニューはリスト表示され、きせかえツールの設定は反映されません。

関連操作

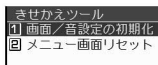
データ確認時の音量を設定する<音量設定>

1. きせかえツール内データ一覧画面で📷1
2. ◯(上げる)／◯(下げる)▶◉

待受画面にｉモーションを設定するときの表示サイズを設定する<待受ｉモーション設定>

1. きせかえツール内データ一覧画面で📷2
2. 等倍表示するときは1
   - 拡大表示するとき：2

きせかえツール設定を初期状態に戻す

1 待受画面で9を１秒以上押す。

2 リセットする項目を選ぶ。

画面設定と音設定をリセットする	1→端末暗証番号を入力→◉→◉[確認]
メニュー画面をリセットする	2→端末暗証番号を入力→◉→◉[確認]

イルミネーションを設定する

着信時や通話中などに点滅するランプの色や点滅パターンを設定します。

ランプ色の種類

レインボー、オーロラ、サンセット、リーフ、アクア、サンシャイン、プラズマ、スカイから選択できます。

ランプパターンの種類

ランプの点滅パターンと設定項目の組み合わせは次のとおりです。

ランプパターン	着信ランプ／メール受信ランプ	メール送受信中ランプ	通話中ランプ	アラーム／タイマーランプ	開閉／回転連動ランプ
クラシック	○	○	○	○	○
ブレス	○	○	○	○	○
ディープブレス	○	○	○	○	○
ライトブレス	○	○	○	○	○
ノーティス	○	○	○	○	○
エキサイト	○	○	○	○	○
モールス	○	○	○	○	○
メロディ連動	○	×	×	○	×

● ＩＣカードランプは[ブレス]で点滅します。ランプパターンの変更はできません。

着信ランプの色を設定する<ランプ色設定>

お買い上げ時	音声電話:アクア　テレビ電話:アクア プッシュトーク:サンセット　メール受信ランプ:リーフ

音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信、メールの受信を知らせる着信ランプの色を設定します。

1 待受画面で◉ 2 5 を押し、項目を選ぶ。

音声電話着信時のランプの色を設定する	1 1 1
テレビ電話着信時のランプの色を設定する	1 2 1
プッシュトーク着信時のランプの色を設定する	1 3 1
メール受信時のランプの色を設定する	2 1 1

2 着信ランプの色を選ぶ。

● 色を選ぶたびに、ランプの色が変わります。

お知らせ

● データ通信時の着信ランプは、音声電話着信ランプで設定したランプ色と同じです。
● 複数の着信ランプが設定されているとき、着信ランプやメール着信ランプは次の優先順位で点滅します。

	優先順位(高→低)
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール着信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール着信ランプ

着信ランプのパターンを設定する<ランプパターン設定>

お買い上げ時	音声電話:エキサイト　テレビ電話:ノーティス プッシュトーク:モールス　メール受信ランプ:ブレス

着信ランプの点滅パターンを設定します。着信ランプが動作するように設定されているメロディを着信音に設定しているときは、メロディと連動させる(メロディ連動)こともできます。

1 待受画面で●25を押し、項目を選ぶ。

音声電話着信時のランプのパターンを設定する	112
テレビ電話着信時のランプのパターンを設定する	122
プッシュトーク着信時のランプのパターンを設定する	132
メール受信時のランプのパターンを設定する	212

2 ランプパターンを選ぶ。

- パターンを選ぶたびに、ランプの点滅パターンが変わります。

メール送受信中にランプを点滅させる<メール送受信中ランプ>

お買い上げ時	ランプ色設定:スカイ　ランプパターン設定:ブレス

1 待受画面で●2522を押し、1[ON]を押す。

2 1[ランプ色設定]を押し、ランプ色を選ぶ。

- 色を選ぶたびに、ランプの色が変わります。

3 2[ランプパターン設定]を押し、ランプパターンを選ぶ。

- パターンを選ぶたびに、ランプの点滅パターンが変わります。

通話中にランプを点滅させる<通話中ランプ>

お買い上げ時	OFF

音声電話/テレビ電話の通話中や、プッシュトーク通信中に発言権を取得しているときにランプを点滅できます。

1 待受画面で●253を押し、1[ON]を押す。

2 1[ランプ色設定]を押し、ランプ色を選ぶ。

- 色を選ぶたびに、ランプの色が変わります。

3 2[ランプパターン設定]を押し、ランプパターンを選ぶ。

- パターンを選ぶたびに、ランプの点滅パターンが変わります。

アラーム動作時にランプを点滅させる<アラーム／タイマーランプ>

お買い上げ時 ランプ色設定：オーロラ　ランプパターン設定：モールス

タイマーやアラーム、スケジュール、ToDoリスト、視聴予約、録画予約で設定したアラームが動作しているときにランプを点滅できます。

1 待受画面で◉②⑤④を押し、①[ON]を押す。

2 ①[ランプ色設定]を押し、ランプ色を選ぶ。
- 色を選ぶたびに、ランプの色が変わります。

3 ②[ランプパターン設定]を押し、ランプパターンを選ぶ。
- パターンを選ぶたびに、ランプの点滅パターンが変わります。

ＩＣカード利用時にランプを点滅させる<ＩＣカードランプ>

お買い上げ時 ON

- ランプ色は[プラズマ]、ランプパターンは[ブレス]で点滅します。ランプ色およびランプパターンの変更はできません。

1 待受画面で◉②⑤⑤を押し、①[ON]を押す。

FOMA端末を開閉したときやディスプレイを回転したときにランプを点滅させる<開閉／回転連動ランプ>

お買い上げ時 ランプ色設定：アクア　ランプパターン設定：ノーティス

1 待受画面で◉②⑤⑥を押し、①[ON]を押す。

2 ①[ランプ色設定]を押し、ランプ色を選ぶ。
- 色を選ぶたびに、ランプの色が変わります。

3 ②[ランプパターン設定]を押し、ランプパターンを選ぶ。
- パターンを選ぶたびに、ランプの点滅パターンが変わります。

不在着信お知らせ／新未読メールお知らせ

電話やメールがあったことをランプで知らせる

お買い上げ時 ON

不在着信や新着メールがあるときにランプを点滅してお知らせします。
- 不在着信はランプ色[アクア]、新着メールはランプ色[リーフ]で約８秒間隔で点滅します。ランプ色の変更はできません。

1 待受画面で◉②⑤を押し、項目を選ぶ。

不在着信お知らせ	①④
新未読メールお知らせ	②①③

2 ①[ON]を押す。

お知らせ

- [不在着信お知らせ]と[新未読メールお知らせ]の両方を設定した場合、不在着信と新着メールの両方があるときは、不在着信お知らせランプが点滅します。

鮮やか画質モード設定

画質を変更する

お買い上げ時 ダイナミック

ディスプレイの表示をくっきり鮮やかな画質に設定できます。

1 待受画面で⦿2 6を押し、画質を選ぶ。

ノーマル	1	通常の画質です。
ダイナミック	2	彩度をアップし、エッジを強調した画質です。
ビビッド	3	彩度をアップした画質です。
シャープネス	4	エッジを強調した画質です。

2 画質を確認して⦿を押す。

文字表示設定

文字の表示(太さ)を変更する

お買い上げ時 太字

表示される文字をお好みの太さに変更することができます。

1 待受画面で⦿2 3を押し、文字の太さを選ぶ。

細字	1
太字	2
極太字	3

- で選ぶと、見本の文字の太さが変わります。

お知らせ

- 文字の太さを変更すると、操作ガイダンスの文字も変更されます。ただし、[極太字]を選んだときは、[太字]を選んだ場合と同じ太さになります。

Bilingual

画面を英語表示に切り替える

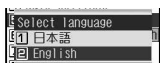
お買い上げ時 日本語

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージ、およびメニュー項目名などを日本語表示／英語表示に切り替えます。

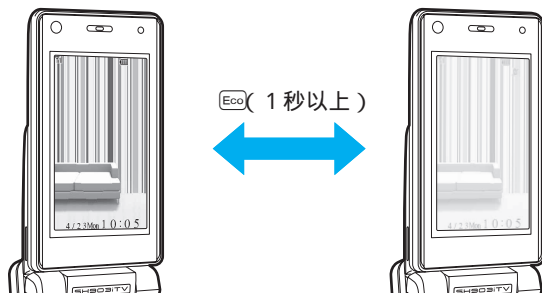
1 待受画面で⦿3 5を押し、1[日本語]／2[**English**]を押す。

日本語表示

英語表示

次ページへ続く

お知らせ

- FOMAカードを挿入している場合、FOMAカードに保存されます。Bilingual設定は、FOMA端末（本体）と挿入されたFOMAカードに保存されますが、それぞれの設定が異なる場合は、FOMAカードの設定が優先されます。

プライベートフィルタ設定
ディスプレイをまわりの人から見えにくくする

- ディスプレイの濃淡を変えることにより、まわりの人から見えにくくします。

1 待受中や操作中にEcoを1秒以上押す。

- プライベートフィルタが設定され、待受画面に[ ]が表示されます。
- 設定を解除するときは、もう一度Ecoを1秒以上押します。

お知らせ

- オールロック中、おまかせロック中、電池残量警告中およびユーザデータ削除中はプライベートフィルタのボタン操作はできません。
- FOMA端末を閉じたり、電源を切るとプライベートフィルタは解除されます。ただし、マナーモード連動が[ON]でマナーモードに設定している場合は、FOMA端末を閉じたり、電源を切ってもプライベートフィルタは設定されたままです。
- 画面表示時間設定により、ディスプレイ表示が消えている間はプライベートフィルタは解除されます。

マナーモードに連動してプライベートフィルタを設定する ＜マナーモード連動＞

お買い上げ時 OFF

マナーモードを設定したときに、自動的にプライベートフィルタも設定されるようにします。

1 待受画面で●281を押し、1[ON]を押す。

- マナーモード中でも、プライベートフィルタを設定／解除することができます。

プライベートフィルタ濃度を変更する＜フィルタ濃度設定＞

お買い上げ時 標準

1 待受画面で●282を押し、プライベートフィルタ濃度を選ぶ。

濃い	1
標準	2
薄い	3

- [濃い]、[標準]、[薄い]の順でまわりの人から見えにくくする効果があります。

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 端末暗証番号(各種機能用の暗証番号)、ｉモードパスワード、PIN1コード・PIN2コード入力時は、[ｷ]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- 詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号(各種機能用の暗証番号)

端末暗証番号は、お買い上げ時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(☞P.145)。

端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、⦿を押します。

- 間違った端末暗証番号を入力した場合は、[端末暗証番号が違います]が表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してから、もう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモｅサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID/パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、ｉモードからは、ドコモｅサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My DoCoMo」、「ドコモｅサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります(この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります)。

- ｉモードパスワードは、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
- ｉモードから変更される場合は、[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[オプション設定]→[ｉモードパスワード変更]から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

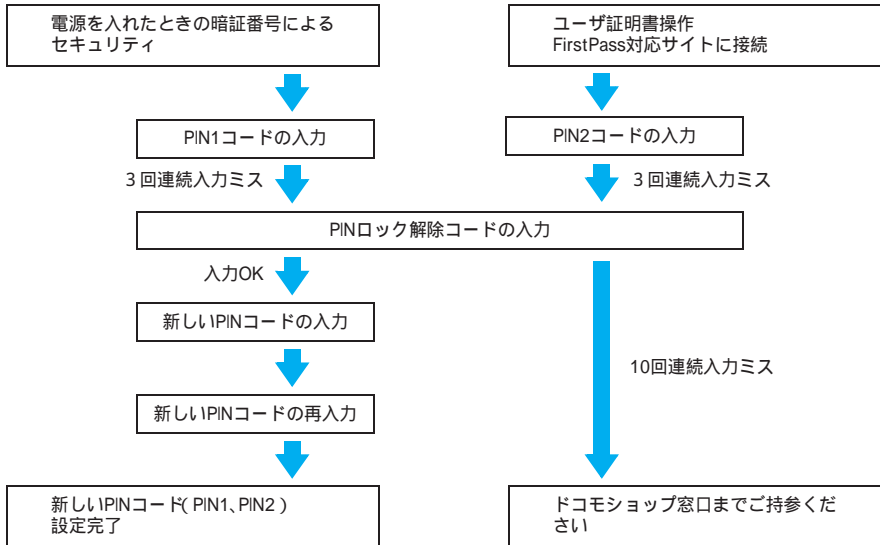
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(☞P.147)。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号(コード)です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号(コード)です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PINロック解除コード

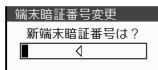
PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。PINロック解除コードを入力することによりロック状態を解除できます。なお、お客様ご自身では変更することはできません。PINコードやPINロック解除コードは、控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

- PIN1コード、PIN2コードの入力を、３回連続して間違えると自動的にロックされます。
- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとFOMAカードが完全にロックされます。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時 0000

お客様自身の端末暗証番号（４～８桁の数字）に変更してください。

1 待受画面で◉７７を押し、現在の端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 新しい端末暗証番号を入力して◉を押し、もう一度、新しい端末暗証番号を入力して◉を押す。

PINコードを設定する

お買い上げ時 PIN1コード:0000　PIN2コード:0000

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを変更できます。PIN1コード、PIN2コードは、FOMAカードに保存されます。

- PIN 1コードは、FOMAカードを不正に使用されないための、4～8桁の暗証番号です。PIN2コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。ユーザ証明書操作時(FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行)や、FirstPass対応サイトに接続(☞P.203)するときに入力します。
- PIN1コード・PIN2コードは4～8桁の数字を入力してください(☞P.144)。

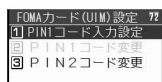
お知らせ

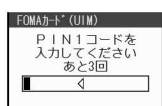
- PIN1コード／PIN2コード入力画面で入力を3回間違えると、PIN1コード／PIN2コードがロックされます。PINロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コード／PIN2コードを入力する必要があります(☞P.147)。
- PIN2コードの3回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などの通信は可能ですが、PIN1コードの3回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合には、通信が必要な機能の操作はできなくなります。

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定する <PIN1コード入力設定>

お買い上げ時 OFF

FOMA端末を不正に使用されないために、電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと使えないように設定します。

1 待受画面で◉[7][2]を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

FOMAカード設定画面

2 [1][PIN1コード入力設定]を押し、[ON]／[OFF]を選ぶ。

設定する	[1]→PIN1コードを入力→◉
解除する	[2]→PIN1コードを入力→◉

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には残存入力回数が表示されます。

電源を入れたときにPIN1コードを入力する

PIN1コード入力設定を[ON]に設定すると、電源を入れたときに、PIN1コードの入力画面が表示されます。

- PIN1コードを入力しないとFOMA端末を操作できません。FOMA端末が無断で使用されるのを防ぐことができます。

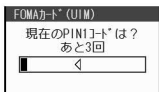
1 [☎](電源)を2秒以上押して電源を入れ、PIN1コードを入力して◉を押す。

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には残存入力回数が表示されます。
- PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

PIN1コード／PIN2コードを変更する<PIN1コード変更／PIN2コード変更>

1 待受画面で⊙⑦②を押し、端末暗証番号を入力して⊙を押す。

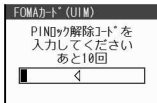
- PIN1コード入力設定が[OFF]に設定されている場合、PIN1コードは変更できません。

2 変更するPINコードを選び、現在のPINコードを入力して⊙を押す。

PIN１コード	②
PIN２コード	③

- PINコードは３回まで入力できます。PINコード入力画面には残存入力回数が表示されます。
- 間違ったPIN１コード／PIN２コードを入力すると、操作３のあと[PIN１/PIN２コードが認識できませんでした]と表示され、操作２の画面に戻ります。

3 新しいPINコードを入力して⊙を押し、もう一度、新しいPINコードを入力して⊙を押す。

PINロックを解除する

PIN1／PIN2がロックされた画面

- PINロック解除コードは10回まで入力できます。PINロック解除画面には残存入力回数が表示されます。
- PIN1コード・PIN2コードは４～８桁の数字を入力してください(☞P.144)。

PIN1ロックを解除するとき

- PIN2コードのロックを解除するときも、同様の操作で解除します。

1 PINロック中にPINロック解除コード入力画面で、PINロック解除コード（８桁の数字）を入力して⊙を押す。

2 新しいPIN1コードを入力して⊙を押し、もう一度、新しいPIN1コードを入力して⊙を押す。

- [変更しました]と表示されます。

各種ロック機能について

電話帳の呼び出し、登録、削除やダイヤルボタンでの発信などの機能を制限できます。
- ロックの設定／解除には、端末暗証番号が必要です。
- 設定できる項目は次のとおりです。

ロック機能	動作・制限内容	ページ
オールロック	電源のON／OFFと音声電話／テレビ電話に応答する以外の操作ができないようにして、FOMA端末の無断使用を防ぎます。	P.148
おまかせロック	FOMA端末内のすべてのデータにアクセスできないように、遠隔操作でロックします。	P.149
セルフモード※	音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信、iモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、iモードの機能を使えないように設定します。	P.150
機能別ロック	マルチメディア、メール、電話帳（プッシュトーク電話帳含む）やスケジュールなどの表示や編集・操作ができないようにして、個人情報の閲覧や書換えを防止します。機能ごとに設定が可能です。	P.151
ダイヤル発信制限	ダイヤル入力による発信や電話帳の編集ができないようにします。電話帳かリダイヤルを使った発信だけが可能です。	P.152
まとめて簡単ロック	ダイヤル発信制限・機能別ロック・ＩＣカードロックをワンタッチ操作で設定します。	P.152
まとめて自動ロック	ディスプレイの表示がOFFになったときに、ダイヤル発信制限・機能別ロック・ＩＣカードロックが自動で設定されるようにします。	P.153
ＩＣカードロック	ＩＣカード機能を利用できないようにロックします。	P.270
ボタン操作無効※	サイドボタンを操作できないようにして、誤動作を防ぎます。	P.153

※ 端末暗証番号の入力は不要です。

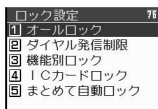
オールロック

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時 解除

電源ON／OFFと音声電話／テレビ電話に応答する以外の操作ができないようにします。

オールロックを設定する

1 待受画面で⦿⑦⑥を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

ロック設定画面

2 ①［オールロック］を押し、［はい］を選んで⦿を押す。

- オールロックが設定され、待受画面に［オールロック］と表示されます（［🔒］表示）。

オールロックを解除する

1 オールロック中に、待受画面で端末暗証番号を入力して◉を押す。
- 待受画面の[オールロック]の文字と[🔒]が消え、オールロックが解除されます。

お知らせ

- オールロック中は待受画面には[待受画面１]の画像が表示され、カレンダー表示設定は[OFF]になります。オールロックを解除すると元の設定に戻ります。
- オールロックを設定しても、FeliCa のＩＣカード機能はロックされません。
- オールロック中に不在着信があっても画面には表示されません。オールロックを解除すると[着信あり]が表示されます。
- オールロック中は音声電話やテレビ電話をかけることはできません。ただし、緊急通報番号（110番、119番、118番）には発信できます。発信する場合は、端末暗証番号入力画面で電話番号を入力して☎を押します。電話番号は＊＊＊で表示されます。
- オールロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- オールロック中も、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fの自動受信ができますが、画面には表示されません。オールロックを解除すると、ｉモードメールやSMS、メッセージR／Fのアイコンが表示されます。
- オールロックの解除に５回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

お買い上げ時 解除

おまかせロックとは

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。
※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間
※ パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧ください。

おまかせロックを設定すると

- [おまかせロック中です]と表示され、おまかせロックが設定されます。
- おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロック中は、音声／テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ＩＣカード機能を含む）を使用することができなくなります。
- 音声／テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている氏名、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- 他の機能が起動中の場合でも、当該機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- 圏外、セルフモード中や電源OFF中の場合はロックがかかりません。
- 公共モード（ドライブモード）を設定した状態でおまかせロックをかけると、公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時 OFF

音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、ｉモードなど、通信が必要なすべての機能を使えないように設定できます。

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス（☞P.392）、転送でんわサービス（☞P.395）をご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- セルフモード中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）へはダイヤルできます。発信後にセルフモードの設定は解除されます。
- 赤外線通信、赤外線リモコン操作もできません。

1 待受画面で◉⑥⑧を押し、セルフモードの［**ON**］／［**OFF**］を選ぶ。

設定する	①→［はい］→◉
解除する	②→［はい］→◉

- セルフモードを設定すると、ディスプレイ上部の［Yıll］が消え［self］が表示されます。

お知らせ

- ｉモード待機中（［ ］点滅）は、セルフモードを設定できません。

セルフモード中は

- セルフモード設定前に送受信したｉモードメールやSMS、メッセージR／Fを読んだり、新規作成や編集して保存することはできますが、送信はできません。
- 送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターで、お預かりします。受信する場合はセルフモードを解除して、ｉモード問い合わせ、SMS問い合わせを行ってください。

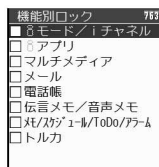
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時 OFF

個人情報を他の人が見たり、無断で書換えられたりするのを防ぐため、メール、電話帳などへのアクセスを機能ごとに制限します。

- 以下の項目ごとにロックできます。
  iモード／iチャネル、iアプリ、マルチメディア、メール、電話帳、伝言メモ／音声メモ、メモ／スケジュール／ToDo／アラーム、トルカ
- マルチメディアをロックするとカメラ機能、ワンセグ機能、SDオーディオ機能、ボイスレコーダー機能、ブックリーダー機能（microSDメモリーカード挿入時のみ）、ドキュメントビューア機能、PDF対応ビューア機能もロックされます。

1 待受画面で◉⑦⑥を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 ③[機能別ロック]を押し、ロックまたは解除する項目を選んで◉を押し、📷[完了]を押す。

- ☑はロック、□は解除の状態です。
- ◉を押すと、ロックと解除を交互に切り替えることができます。
- 機能別ロックが設定されると、ディスプレイ上部に[🔒]が表示されます。
- ⓘ[全選択]を押すとすべての項目をロックできます。また、チェックがすべての項目に入っている場合は、ⓘ[全解除]を押すとすべての項目を解除できます。
- 各機能のメニュー（マルチメディア、アラームは除く）から機能別ロックを設定してもチェックボックスに反映されます。

お知らせ

- 機能別ロック中は、ロックがかかっている項目の赤外線受信はできません。
- 電話帳登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳を機能別ロックできません。
- 電話帳の機能別ロックを行うと、電話帳に登録されている相手から着信があっても、名前や画像は表示されません。
- 電話帳の機能別ロックを設定すると、次の機能も禁止されます。
  - ■ ツータッチダイヤル、ツータッチメール、イヤホン発信
  - ■ 指定着信音、指定メール着信音
  - ■ 指定着信ランプ、指定メール着信ランプ
  - ■ iモードメールやSMS送信時の電話帳を利用した宛先入力※
  - ■ 電話帳指定着信許可・拒否の[OFF]以外の設定
  - ■ アラーム、スケジュール、ToDoリストの電話帳を利用した連絡先設定※
  - ■ スケジュールの連絡先別表示※
  - ■ 電話帳登録外着信拒否
  - ■ プッシュトーク通信中の電話帳（プッシュトーク電話帳含む）からのメンバー追加

  ※端末暗証番号を入力すると、機能別ロックは一時的に解除されます。
- メモ／スケジュール／ToDo／アラームの機能別ロック中は、設定時刻になってもアラームやスケジュールアラーム、ToDoアラーム、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。
- テレビ電話時にキャラ電などの代替画像を送信する場合は、マルチメディアが機能別ロック中でも、設定したテレビ電話代替画像を送信できます。
- 機能別ロック中の機能を利用しようとすると、端末暗証番号入力画面が表示されます。正しい端末暗証番号を入力すると、機能別ロックは一時解除され、機能操作を終了すると再びロックされます。microSDメモリーカードのPIMデータ（電話帳、テキストメモ、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、メール）は各機能の[microSDデータ参照]から参照できます。PIMとは「個人情報管理プログラム」を意味します。
- マルチメディアの機能別ロックを設定すると電話帳の指定着信音、指定メール着信音は鳴らず、音選択で設定している着信音が鳴ります。ピクチャーコール設定した画像は表示されません。カメラの起動には、端末暗証番号の入力が必要です。アラームやスケジュールアラーム、ToDoアラームは、デフォルト画像を表示し、[着信音1]が鳴ります。

ダイヤル発信制限

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

お買い上げ時 OFF

電話帳(microSDメモリーカード内の電話帳を除く)、リダイヤル(電話帳に登録されている電話番号のみ)以外で電話をかけられないように制限します。

- ダイヤル発信制限を設定していても、緊急通報番号(110番、119番、118番)へはダイヤルできます。

1 待受画面で⦿76を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 2[ダイヤル発信制限]を押し、[ON]/[OFF]を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

- ダイヤル発信制限を設定すると、ディスプレイ上部に[Dial]が表示されます。

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定すると、次の機能も禁止されます。
  - ■ 直接アドレス入力によるSMSおよびｉモードメールの送信(電話帳からのアドレス入力の場合は可能)
  - ■ 電話帳の登録/修正/削除
  - ■ アラームからの発信(電話帳に登録されている場合は可能)
  - ■ 電話帳データの赤外線送受信
  - ■ プレフィックス設定
  - ■ 国際プレフィックス設定
  - ■ Phone To(AV Phone To)機能
  - ■ Mail To機能
  - ■ 電話帳データのFOMA端末(本体)⇔FOMAカード間データ転送(もしくは、コピー)
  - ■ バーコードリーダー、文字読み取りでの発信
  - ■ 電話帳データのFOMA端末(本体)⇔microSDメモリーカード間データ転送(もしくは、コピー)
  - ■ 電話帳(プッシュトーク電話帳、ネットワーク上の電話帳を含む)とリダイヤル(電話帳に登録されている電話番号のみ)以外からのプッシュトーク発信

まとめて簡単ロック

ダイヤル発信制限・機能別ロック・ＩＣカードロックをワンタッチで設定する

ダイヤル発信制限・機能別ロック・ＩＣカードロックの３つのロックを一度に設定できます。

- 各ロック機能の詳細については、それぞれダイヤル発信制限(☞P.152)、機能別ロック(☞P.151)、ＩＣカードロック(☞P.270)を参照してください。

1 待受画面で⦿を１秒以上押し、[はい]を選んで⦿を押す。

- ダイヤル発信制限・機能別ロック・ＩＣカードロックが設定され、[Dial]と[IC]が表示されます。

お知らせ

- **電話帳登録外着信拒否**が設定中の場合、まとめて簡単ロックを設定しても電話帳の**機能別ロック**は設定されません。

まとめて簡単ロックを解除する

1 待受画面で⦿を１秒以上押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

お知らせ

- ロック設定画面(☞P.148)から各ロック機能を選択して、個別にロックを解除できます。

まとめて自動ロック

自動的にまとめて簡単ロックを設定する

お買い上げ時 OFF

待受中に省電力モードになったときや、FOMA端末を閉じたときに、ダイヤル発信制限・機能別ロック・ＩＣカードロックの３つのロックが自動的に設定されるようにします。

1 待受画面で◉ 7 6 を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 5 [まとめて自動ロック]を押し、[**ON**]／[**OFF**]を選んで◉を押す。

3 ◉を押す。

お知らせ

- まとめて自動ロックでロックした場合、P.152「まとめて簡単ロックを解除する」と同じ動作で解除できます。
- まとめて簡単ロックを解除しても、まとめて自動ロックは[OFF]になりません。FOMA端末を閉じたり、省電力モードになった場合は、再度まとめて簡単ロックが設定されます。

ボタン操作無効

サイドボタンの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときに、サイドボタンを操作できないようにして、誤動作を防ぎます。

- プッシュトーク通信中など、サイドボタン操作無効の設定ができない場合があります。

1 P（P）を１秒以上押す。
- ボタン操作無効を設定すると、[ ]が表示されます。
- 電源を切ると、ボタン操作無効は解除されます。
- プッシュトーク着信時は、P（P）を押して応答することができます。

お知らせ

- 解除するときは、同じ操作を行います。
- ボタン操作無効を設定していても、着信中のマナーモード設定やクイックサイレントは利用できます。

発着信履歴表示

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時 ON

着信履歴とリダイヤルを表示しないように設定できます。

- 発着信履歴表示を[OFF]に設定している間も、着信履歴、リダイヤルは記憶されます。[ON]に設定したときに、[OFF]に設定していた間の履歴も確認できます。

1 待受画面で◉ 7 4 を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 発着信履歴表示の[**ON**]／[**OFF**]を選ぶ。

着信履歴を表示する	1 1	リダイヤルを表示する	2 1
着信履歴を表示しない	1 2	リダイヤルを表示しない	2 2

次ページへ続く

お知らせ

- 着信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、伝言メモを再生できません。
- リダイヤル表示を[OFF]に設定しているときは、着もじの送信メッセージ履歴(☞P.57)も表示されません。

メール履歴の表示を設定する<メール履歴表示>

お買い上げ時 ON

メール受信履歴、メール送信履歴(☞P.234)を表示しないように設定できます。

- メール履歴表示を[OFF]に設定している間も、メール受信履歴、メール送信履歴は記憶されます。[ON]に設定したときに、[OFF]に設定していた間の履歴も確認できます。

1 待受画面で⦿75を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 メール履歴表示の[**ON**]/[**OFF**]を選ぶ。

メール送信履歴を表示する	11	メール受信履歴を表示する	21
メール送信履歴を表示しない	12	メール受信履歴を表示しない	22

シークレットモード

シークレット登録されている情報を表示する

お買い上げ時 OFF

シークレットモードを設定すると、電話帳、スケジュール、ToDoリストを表示したときに、通常のデータとシークレットデータとして登録したデータの両方が表示されます。

- シークレットモードを解除すると、通常の電話帳、スケジュール、ToDoリストだけが表示されます。
- 待受中に省電力モードになったときや、待受中にFOMA端末を閉じたときに、シークレットモードが自動的に解除されるように設定できます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- シークレットデータの登録方法については、電話帳はP.113、スケジュールはP.374、ToDoリストはP.378を参照してください。

1 待受画面で⦿71を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 シークレットモードの[**ON**]/[**OFF**]を選ぶ。

設定する	自動解除しない	11
	自動解除する	12→⦿
解除する		2

- シークレットモードに設定すると、ディスプレイ上部に[🔑]が表示されます。

指定した電話番号からの電話だけを受ける

指定した相手からの電話だけをつながるようにできます。それ以外の電話番号からの電話（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながらなくなります。
電話帳指定着信許可を設定するには、登録されている電話帳から着信許可するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。リストはあとから追加・修正できます。

- 電話帳指定着信許可に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながりませんので、番号通知お願いサービス（☞P.397）もあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否を設定しているときは、電話帳指定着信許可は設定できません。
- 着信許可以外の相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに［着信あり］と表示され、着信履歴に名前または電話番号が記憶されます。
- 電話帳の機能別ロック中は電話帳指定着信許可の設定は無効となるため、許可していない相手からの電話もつながります。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。
- プッシュトーク着信のときも電話帳指定着信許可設定に従って動作します。ただし、プッシュトークプラスご利用時、ネットワーク上の電話帳からのプッシュトーク着信は電話帳指定着信許可設定には従いません。

着信を許可する電話番号を登録する

電話帳指定着信許可の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

1 待受画面で⦿ 7 3を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押し、1［電話帳指定着信許可］を押す。

- ［電話帳指定拒否を解除してください］と表示されたときは、電話帳指定着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください（☞P.157）。
- ［着信拒否設定を解除してください］と表示されたときは、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否のいずれかの着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。

2 3［リスト登録］を押す。

- すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。

3 リストの番号を選んで⦿を押し、名前を選んで⦿を押す。

リスト登録画面

- 電話帳指定着信許可のリストには、電話帳の名前と電話番号が登録されます。
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作3をくり返します。
- 電話帳指定着信許可を利用するには、このあと、電話帳指定着信許可を設定します（☞P.156）。
- 相手先に2つ以上の電話番号があるときは、それぞれ登録してください。

お知らせ

- 電話帳指定着信許可のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信許可に設定している場合は、電話帳を修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）できません。

電話帳から登録する<着信許可リスト登録>
待受画面で📖▶名前を選ぶ▶📷 3 3 1▶端末暗証番号を入力▶⦿▶リスト番号を選ぶ▶⦿

関連操作

リストの電話番号を削除する<削除>
リスト登録画面で名前を選ぶ▶◉▶2▶[はい]▶◉
● 電話帳指定着信許可を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

リストの電話番号を変更する<変更>
リスト登録画面で名前を選ぶ▶◉▶1▶名前を選ぶ▶◉

指定した番号からの着信を許可する

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で◉73を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 1[電話帳指定着信許可]を押し、1[**ON**]を押す。
● リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信許可が設定されます。
● 解除するときは、2[OFF]を押します。

電話帳指定着信拒否

指定した電話番号からの電話を受けない

指定した相手からの電話をつながらないようにできます。それ以外の電話番号からの電話(相手が電話番号を通知してこない場合も含む)はつながります。
電話帳指定着信拒否を設定するには、登録されている電話帳から着信拒否するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。リストはあとから追加・修正できます。
● 電話帳指定着信拒否に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながります。番号通知お願いサービス(☞P.397)や非通知理由別着信拒否もあわせて設定することをおすすめします。
● 電話帳指定着信許可を設定しているとき、電話帳指定着信拒否は設定できません。
● 拒否した相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに[着信あり]と表示され、着信履歴に名前が記憶されます。
● 電話帳の機能別ロック中は電話帳指定着信拒否の設定は無効となるため、拒否している相手からの電話もつながります。
● SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
● FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末(本体)電話帳に登録された電話番号のみを設定できます。
● プッシュトーク着信のときも電話帳指定着信拒否設定に従って動作します。ただし、プッシュトークプラスご利用時、ネットワーク上の電話帳からのプッシュトーク着信は電話帳指定着信拒否設定には従いません。

着信を拒否する電話番号を登録する

電話帳指定着信拒否の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。
● 非通知理由別着信拒否については、P.157を参照してください。

1 待受画面で◉73を押し、端末暗証番号を入力して◉を押し、2[電話帳指定着信拒否]を押す。
● [電話帳指定許可を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください(☞P.156)。

2 3[リスト登録]を押す。
● すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。

3 リストの番号を選んで◉を押し、名前を選んで◉を押す。

リスト登録画面

- 電話帳指定着信拒否のリストには、電話帳の名前と電話番号が登録されます。
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作3をくり返します。
- 電話帳指定着信拒否を利用するには、このあと、電話帳指定着信拒否を設定します（☞P.157）。
- 相手先に2つ以上の電話番号があるときは、それぞれ登録してください。

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信拒否に設定している場合は、電話帳を修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）できません。

関連操作

電話帳から登録する<着信拒否リスト登録>
待受画面で📖▶名前を選ぶ▶📷 3 3 2▶端末暗証番号を入力▶◉▶リスト番号を選ぶ▶◉

リストの電話番号を削除する<削除>
リスト登録画面で名前を選ぶ▶◉▶2▶［はい］▶◉
- 電話帳指定着信拒否を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

リストの電話番号を変更する<変更>
リスト登録画面で名前を選ぶ▶◉▶1▶名前を選ぶ▶◉

指定した番号からの着信を拒否する

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で◉ 7 3 を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 2［電話帳指定着信拒否］を押し、1［**ON**］を押す。

- リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信拒否が設定されます。
- 解除するときは、2［OFF］を押します。

非通知理由別着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時 すべて許可

発信者番号が通知されない着信があった場合、電話番号が通知されない理由（非通知理由）が通知されます。非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手から電話がかかってきた場合、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由の場合はつながります。着信拒否の相手へは、話中音が流れます。このとき、［着信あり］と表示され、着信履歴に非通知理由が記憶されます。
- 番号通知お願いサービス（☞P.397）もあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、非通知理由別着信拒否は設定できません。
- SMS、iモードメールは、この機能に関係なく受信されます。プッシュトークはこの機能の設定に従います。
- 電話帳登録外着信を拒否に設定している場合も、発信者番号のわからない電話は非通知理由別着信拒否が優先されます。
- 非通知理由別着信拒否と公共モード（ドライブモード）を同時に設定した場合、非通知理由別着信拒否が優先されます。

非通知理由別の種類

非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合(ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります)

1 待受画面で⦿7 3を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 非通知理由の種類を選び、[許可]/[拒否]を選ぶ。

非通知設定	4→1[許可]/2[拒否]
公衆電話	5→1[許可]/2[拒否]
通知不可能	6→1[許可]/2[拒否]

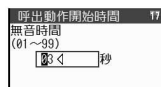
呼出動作開始時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時 OFF

電話帳に登録されていない相手(相手が電話番号を通知してこない場合も含む)から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。

- 呼出動作開始時間設定と電話帳登録外着信拒否を同時に設定することはできません。
- 迷惑電話を防ぐ対策の1つです。
- 呼出動作開始時間を設定した場合、呼出開始前に切れた電話を着信履歴に表示するかどうかも設定できます。

1 待受画面で⦿1 7を押し、1[ON]を押す。

- 解除するときは、2[OFF]を押します。

2 呼出動作開始時間(2桁:01～99秒)を入力して⦿を押し、不在着信履歴表示を設定する。

着信履歴に表示する	1
着信履歴に表示しない	2 ● 着信履歴で📷◯2 1(表示する着信履歴がない場合は📷2 1)を押すとすべての履歴を確認できます。📷◯2 1を押すと元の表示に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモや留守番電話サービスを設定しているとき、呼出動作開始時間設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービスの呼出時間より短く設定してください。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話帳登録している相手からの電話でも呼出動作開始時間設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間設定と公共モード(ドライブモード)を同時に設定した場合は、公共モード(ドライブモード)が優先されます。
- 呼出動作開始時間設定とマナーモードを同時に設定した場合は、設定した時間が経過したあとにマナーモードの設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間設定は、プッシュトーク着信のときも呼出動作開始時間設定に従って動作します。ただし、プッシュトークプラスご利用時、ネットワーク上の電話帳からのプッシュトーク着信は呼出動作開始時間設定には従いません。

電話帳登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時 許可

電話帳に登録されていない相手からの電話がつながらないように設定します。

- 相手には、話中音が流れます。このとき、[着信あり]と表示され、着信履歴に記憶されます。
- 相手が発信者番号を通知している場合のみ有効です。番号通知お願いサービス(☞P.397)もあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳登録外着信拒否と公共モード(ドライブモード)を同時に設定した場合、電話帳登録外着信拒否が優先されます。
- 電話帳登録外着信を拒否に設定している場合も、発信者番号のわからない電話は非通知理由別着信拒否が優先されます。
- SMS、i モードメールやプッシュトークプラスは、この機能に関係なく受信されます。ただし、プッシュトークはこの機能の設定に従います。
- 電話帳登録外着信拒否と呼出動作開始時間設定を同時に設定することはできません。呼出動作開始時間を解除してからやり直してください(☞P.158)。

1 待受画面で◉ 7 3 を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 3 [電話帳登録外]を押し、[許可]／[拒否]を選ぶ。

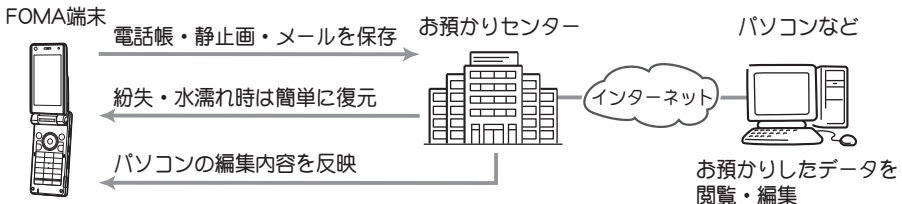
許可する	1
拒否する	2

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用する

FOMA端末に保存されている電話帳やメール、静止画はお預かりセンターに保存できます。

電話帳お預かりサービスとは

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール(以下「保存データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万が一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、i モードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元させることができます。また、FOMA端末の電話帳データとお預かりセンターの電話帳データを、定期的に自動で最新の状態にすることができます。
さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。
※ 電話帳お預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック(i モード<FOMA>編)』をご覧ください。

※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはi モード契約が必要です)。

- FOMAカードの電話帳は保存できません。
- 圏外の場合はお預かりセンターと接続できません。
- 電話帳の保存方法についてはP.112、P.114、メールの保存方法についてはP.231、静止画の保存方法についてはP.304を参照してください。
- 電話帳お預かりサービスをご契約いただいていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用できます。

目　的	機能／サービス名称	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい。	メール選択受信	P.224
メールアドレスを変更／確認したい。	アドレス変更／確認	『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
URLが記載されたメールを受信したくない。	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい。	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい。		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい。		
SMSを受信したくない。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
災害時にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい。	「ｉモード災害用伝言板」サービス	
１日１台のｉモード対応携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否したい。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない。	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールのサイズを制限したい。	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい。	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止したい。	メール機能停止	
FeliCa のＩＣカード機能を利用できないようにしたい。	ＩＣカードロック	P.270
特定の相手からの電話を着信しないように、電話番号を登録したい。	迷惑電話ストップサービス（ドコモのネットワークサービス）	P.396
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない。	番号通知お願いサービス	P.397
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合はダウンロードしてソフトウェアを更新したい。	ソフトウェア更新	P.452
外部からFOMA端末にデータやプログラムを取り込む際に、問題を引き起こす可能性がないかどうかを調べたい。	スキャン機能	P.458
SMSを受信したときに、URLが記載された迷惑SMSかどうかを調べたい。		
ユーザ証明書を利用して、SSLに対応したサイトに接続したい（FirstPass対応のサイトに限ります）。	FirstPass（ドコモの電子認証サービス）	P.203

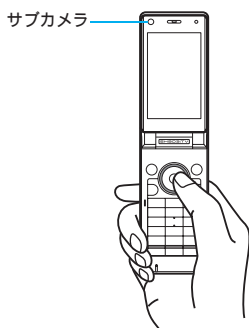
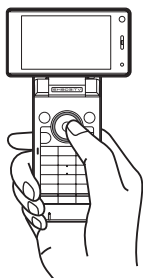
カメラ

カメラをご利用になる前に

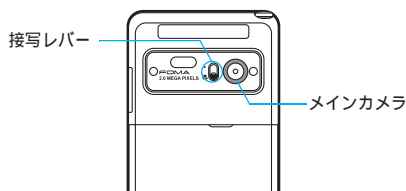
カメラのはたらき

FOMA端末はメインカメラ(外部)とサブカメラ(内部)の2つのカメラを搭載しています。カメラを利用すると、静止画や動画を撮影できます。また、テレビ電話時に、サブカメラを利用して自分側の映像を送信したり、メインカメラに切り替えてFOMA端末の外側の状況などを送信できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 自分側を撮影するときはサブカメラを、他の人や風景を撮影するときは、メインカメラを利用すると便利です。

通常ポジション

サイクロイドポジション

多彩な撮影方法について

- 画像の利用方法に応じた、画質の設定(☞P.171)やサイズの設定(☞P.171)
- 多彩な連続撮影(☞P.168)
- フレーム付き(☞P.173)や色あいやタッチを変えた撮影(☞P.173)
- 撮影した画像をメールに添付して送信(☞P.176)
- セルフタイマーで撮影(☞P.172)

カメラのご使用について

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- FOMA端末を閉じるときなど、取り扱い時にはレンズ部に力がかからないように注意してください。故障の原因となります。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源をじかに撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なう場合がありますので、ご注意ください。
- 画質を最優先して撮影したいときには、[SUPER FINE]に設定して撮影してください。データ量は多くなりますが画質がよくなります。
  画質を優先すると保存枚数は減り、i モードメールに添付して送信する場合の送信時間が長くなることがあります。用途に合わせて設定してください(☞P.171)。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影することによりFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- メインカメラを使用中に、メインカメラの周辺の温度が高くなると[ただいまカメラを利用できません]と表示され、カメラが終了します。
- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面で、着信やアラームが動作すると、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。そのあと、切り替わった画面を終了させるとカメラの画面に戻り、着信前に撮影したデータを保存できます。
- 静止画モード、動画モード起動時はボタンを押しても音は鳴りません。
- 近距離(約10cm)での撮影時には、接写レバーを🌷に合わせてください。近距離でも鮮明に撮影できます。

撮影時の留意事項

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費が早いため、撮影が終わったら☎を押してカメラモードを終了させることをおすすめします。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生する場合があります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。

著作権・肖像権について

- お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。
  なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影サイズについて

FOMA SH903iTVで撮影（保存）できる静止画と動画の撮影サイズ（画像サイズ）は次のとおりです。

- 本書でのサイズ表記はすべて横×縦です。

サイズ	静止画	動画	説明
sQCIF：128×96	○	○	QCIFよりひと回り小さいサイズで、メール添付などに適したサイズです。
QCIF：176×144	○	○	テレビ電話の親画面のサイズです。代替画像用の静止画を撮影するときなどに便利です。お買い上げ時、サブカメラ静止画撮影サイズは「QCIF：176×144」に設定されています。
QVGA：240×320	○	－	ｉモード端末に送信するのに適したサイズです。
待受：240×400	○※	－	FOMA SH903iTVのディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画を撮影するときなどに便利です。お買い上げ時、通常ポジションのメインカメラ静止画撮影サイズは「待受：240×400」に設定されています。
QVGA：320×240	－	○	パソコンでの再生に適したサイズです。お買い上げ時、動画撮影サイズは「QVGA：320×240」に設定されています。
横ワイド小：400×240	○※	－	サイクロイドポジションで撮影できるサイズです。お買い上げ時、サイクロイドポジションの静止画撮影サイズは「横ワイド小：400 x 240」に設定されています。
CIF：352×288	○	－	パソコンでの表示に適したサイズです。
VGA：480×640	○※	－	パソコンでの表示に適したサイズです。
VGA：640×480	－	○※	FOMA SH903iTVで動画撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの再生に適したサイズです。
横ワイド大：1200×720	○※	－	サイクロイドポジションで撮影できるサイズです。パソコンでの表示に適したサイズです。
1.2M：1280×960	○※	－	パソコンでの表示に適したサイズです。
UXGA：1600×1200	○※	－	FOMA SH903iTVで静止画撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの表示に適したサイズです。

※ サブカメラ撮影時は、設定できません。

- 「横ワイド小：400×240」、「横ワイド大：1200×720」は、サイクロイドポジションでのみ設定できます。また、サイクロイドポジションではこれら以外の撮影サイズは設定できません。

お知らせ

タイトルについて

- 撮影（保存）した静止画／動画には、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2007年４月23日午後１時５分７秒に撮影した場合
  →[070423_130507]
- 連続撮影を行った場合、末尾に連番（[_01]、[_02]…）が付きます。データBOXに保存されると、画像一覧画面でのタイトル表示で、半角14文字を超える場合、12文字目以降が「…」の表示となり末尾の連番は表示されません。タイトルは、[情報表示]のファイル名で確認することができます（☞P.331）。
- タイトルの編集については、P.330を参照してください。

撮影／保存できる目安

- FOMA端末（本体）に保存した静止画や動画は、パソコンをお持ちの場合はmicroSDメモリーカード（☞P.318）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

静止画モード

- 撮影枚数は、同じ撮影サイズ、画質で撮影して、FOMA端末（本体）に保存したときの目安です。FOMA端末（本体）に他の画像やｉアプリのソフトなどが保存されている場合、撮影できる静止画枚数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる静止画枚数が少なくなることがあります。
  FOMA端末（本体）への各画質別の撮影枚数の目安は、次のとおりです。64MバイトのmicroSDメモリーカードへの各画質別の撮影枚数の目安については、P.463を参照してください。

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
sQCIF：128×96	約1000枚	約1000枚	約1000枚
QCIF：176×144	約1000枚	約1000枚	約1000枚
QVGA：240×320	約1000枚	約1000枚	約430枚
待受：240×400	約1000枚	約1000枚	約430枚
横ワイド小：400×240	約1000枚	約1000枚	約430枚
CIF：352×288	約1000枚	約1000枚	約430枚
VGA：480×640	約1000枚	約670枚	約430枚
横ワイド大：1200×720	約490枚	約300枚	約190枚
1.2M：1280×960	約430枚	約220枚	約130枚
UXGA：1600×1200	約220枚	約130枚	約80枚

動画モード

- 撮影時間は、FOMA端末（本体）へ保存するとき、１回に撮影できる目安です。FOMA端末（本体）に他の画像やｉアプリのソフトなどが保存されている場合、撮影できる時間や件数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる時間が少なくなることがあります。
  FOMA端末（本体）への各画質別の撮影時間の目安は、次のとおりです（映像＋音声の場合）。
  64MバイトのmicroSDメモリーカードへの各画質別の撮影時間の目安については、P.463を参照してください。

		ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用（短）	約155秒	約105秒	約52秒	－
	メール用（長）	約10分	約434秒	約215秒	－
QCIF：176×144	メール用（短）	約134秒	約78秒	約28秒	約19秒
	メール用（長）	約552秒	約323秒	約117秒	約79秒
QVGA：320×240	メール用（短）	－	－	－	約10秒
	メール用（長）	－	－	－	約41秒
VGA：640×480	メール用（短）	－	－	－	－
	メール用（長）	－	－	－	約16秒

※ FOMA端末（本体）に動画を保存する場合、ファイルサイズ制限（☞P.172）を［制限なし］に設定できません。

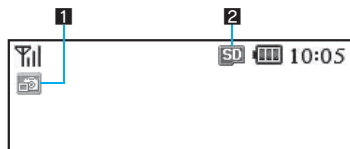
お知らせ

- 静止画および動画の撮影サイズの設定方法については、P.171を参照してください。

撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

- 全画面モード（☞P.175）にするとマークは表示されません。

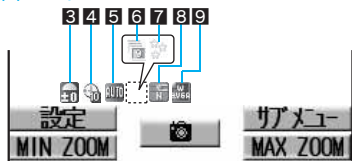
ディスプレイ上部に表示されるマーク（全モード共通）

1 モード表示（☞P.170）

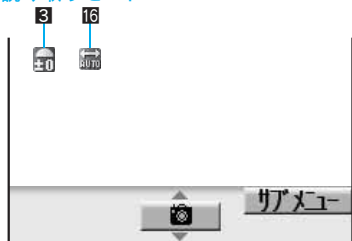
[アイコン]	静止画モード
[アイコン]	動画モード
[アイコン]	文字読み取りモード
[アイコン]	バーコードリーダーモード

2 microSDメモリーカード表示

(グレー)	FOMA端末(本体)へ保存
(ピンク)	microSDメモリーカードへ保存

ディスプレイ下部に表示されるマーク

静止画モード

動画モード

文字読み取りモード

バーコードリーダーモード

3 画像の明るさ表示(☞P.170)

±0	-2 -1 ±0 +1 +2 暗い← 標準 →明るい

4 セルフタイマー表示(☞P.172)

	2秒
	5秒
	10秒

5 静止画シーン別撮影表示(☞P.174)

	オート		スポーツ
	夜景		文字

6 連続撮影表示(☞P.168)

	高速、標準、マニュアル(25枚用)
	高速、標準、マニュアル(9枚用)
	標準、マニュアル(6枚用)
～	連写枚数共通(2～25枚)

7 静止画エフェクト撮影表示(☞P.173)

	モノクロ		波紋
	セピア		万華鏡(大)
	きらきら		万華鏡(小)
	色えんぴつ		魚眼
	円ソフトフレーム		

8 画質表示(☞P.171)

	ECONOMY		SUPER FINE
	NORMAL		FINE (動画モードのみ)

9 静止画撮影サイズ表示(☞P.171)

通常ポジション

	sQCIF:128×96		CIF:352×288
	QCIF:176×144		VGA:480×640
	QVGA:240×320		1.2M:1280×960
	待受:240×400		UXGA:1600×1200

サイクロイドポジション

	横ワイド小:400×240
	横ワイド大:1200×720

10 動画手ぶれ補正撮影表示(☞P.174)

	手ぶれ補正[ON]

11 動画シーン別撮影表示(☞P.174)

	オート		風景(ソフト)
	人物		風景(シャープ)

12 動画エフェクト撮影表示(☞P.173)

	モノクロ		波紋
	セピア		万華鏡(大)
	きらきら		万華鏡(小)
	色えんぴつ		魚眼
	残像		

13 動画撮影サイズ表示(☞P.171)

	sQCIF:128×96		QVGA:320×240
	QCIF:176×144		VGA:640×480

14 動画ファイルサイズ制限表示(☞P.172)

	メール用(短)(500Kバイト)
	メール用(長)(2Mバイト)

次ページへ続く

⑮ 映像・音声切替表示（☞P.172）

アイコン	説明
[icon]	映像のみ
[icon]	音声のみ
[icon]	映像＋音声

⑯ 反転モード表示（☞P.179）

アイコン	説明
[icon]	自動
[icon]	通常文字
[icon]	反転文字

⑰ QRコード連結番号表示（☞P.177）

アイコン	説明
1～16	分割されたデータを読み取るときに、何枚目を読み取っているかを表示

サイクロイドポジションのとき

- 撮影方法は、通常ポジションのときと同じです。
- サブカメラでは撮影できません。通常ポジションでサブカメラに設定しているときにサイクロイドポジションにすると、メインカメラに切り替わります。このあと、通常ポジションに戻すとサブカメラに戻ります。

静止画モード

サイクロイドポジションにするとサイクロイドポジション用の撮影サイズに切り替わり、横画面で撮影できます。このあと、通常ポジションに戻すと、サイクロイドポジションにする前の撮影サイズに戻ります。

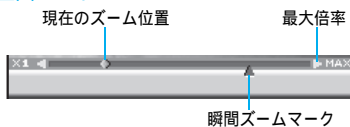
- サイクロイドポジションで撮影できるサイズは、「横ワイド小：400×240」、「横ワイド大：1200×720」です。お買い上げ時は「横ワイド小：400×240」に設定されています。
- 通常ポジションに戻すと、撮影サイズと画質はサイクロイドポジションにする前の設定に戻ります。

動画モード

サイクロイドポジションにすると横画面で撮影できます。ただし、撮影サイズは切り替わりません。

ズーム利用時（静止画モード、動画モード）

静止画モードで⊙を押すと下の画面が表示され、ズームを調整できます。動画モードの場合はすでに表示されています（☞P.170）。

静止画モード

動画モード

一括設定変更時

撮影画面で[設定]を押すと下の画面が表示され、現在の設定内容を確認しながら変更することができます（☞P.174）。

カメラを起動する／終了する

1 待受画面で📷を押す。

- 撮影ランプが緑色で点灯して、静止画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。
- 終了するときはFOMA端末を閉じるか、☎またはCLRを押します。

動画モードを起動するとき

1 静止画撮影画面で📷①②［動画］を押す。

- 撮影ランプが緑色で点灯して、動画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。
- 終了するときはFOMA端末を閉じるか、☎またはCLRを押します。

お好みのカメラモードで起動する

1 **TOP**メニューで[カメラ]を選んで⦿を押し、カメラモードを選んで⦿を押す。

静止画撮影

動画撮影

文字読み取り

バーコードリーダー

- カメラを起動したあと、カメラモードを切り替えるとき：☞P.170

お知らせ

静止画保存中や動画撮影中、動画撮影確認メニュー画面表示中に着信があると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。
  - 静止画撮影の場合、撮影した静止画は保持されます。
  - 動画撮影の場合、通話終了後、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。1[保存]を押すと動画が保存され、動画撮影画面に戻ります。4[取消]を押すと動画が削除され、動画撮影画面に戻ります。

自動終了について

- 静止画撮影の場合、カメラモードで、撮影前のファインダーが表示されている状態で約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。未保存の静止画がある場合、または、サブメニューや一括設定変更画面を表示している場合、カメラモードは終了しません。
- 動画撮影の場合、動画撮影画面で、約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し、待受画面に戻ります。

ショートカットキーについて

各モードでよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

- 静止画や動画の撮影、文字読み取り、バーコードリーダーは、カメラモードを切り替えて操作します。

ボタン	静止画モード	動画モード	文字読み取りモード	バーコードリーダーモード
◯(右)	ズームアップ		－	－
◯(左)	ズームダウン		－	－
(iモード)	瞬間ズームアップ		－	－
(メール)	瞬間ズームダウン		－	－
◯(上)	明るさアップ			
◯(下)	明るさダウン			
#	カメラ切替		－	－
*	本体⇔microSD切替		－	－
1	カメラモード切替			
2	データBOX表示		読み取り対象選択	保存データ
3	セルフタイマー		反転モード切替	－
4	サイズ選択		－	－
5	画質		－	－
6	シーン別撮影		－	－
7	全画面モード切替	手ぶれ補正	－	－
0	操作ガイド		－	－

操作ガイドについて

撮影時に操作ガイドブックを呼び出して、操作方法を調べることができます。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)または動画撮影画面(☞**P.167**)で📷を押し、[操作ガイド]を選んで⦿を押す。

静止画撮影

静止画を撮影する

FOMA端末で静止画を撮影します。

- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダか、microSDメモリーカード(☞P.318)に保存されます(☞P.175)。静止画の保存には時間がかかる場合があります。
- 撮影をするときは、シャッター音が鳴り、撮影ランプが青色で1回点滅し、静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- シャッター音は、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中でも鳴ります。
- シャッター音の音量は変更できません。
- FOMA端末(本体)のメモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます(☞P.333)。
- microSDメモリーカードのメモリの空き容量がない場合は、保存先をmicroSDメモリーカードに設定しても、自動的に保存先がFOMA端末(本体)内の、データBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに切り替わります。

1 カメラを起動する(☞P.166)。

- ズームを利用したり、メニュー画面を表示できます(☞P.170)。

2 ◉[📷]を押す。

3 保存する。

保存する		◉
サブカメラで撮影したとき	正像(見たとおりの向き)で保存する	◉ ● ディスプレイには鏡像(左右逆向き)で表示されますが、正像(見たとおりの向き)で保存されます。
	正像を確認してから保存する	📷4→◉
	鏡像(左右逆向き)で保存する	📷5 ● フレームを設定して撮影(☞P.173)した場合は、鏡像のまま保存することはできません。
保存先を変更する		◉ ● 保存先をFOMA端末(本体)またはmicroSDメモリーカードに切り替えます。
撮影した静止画を削除して撮影し直す		CLR
iモードメールで送信する(☞P.176)		✉
撮影した画像を編集/利用する		📷 ● 撮影した静止画を利用して、画像編集、プチエステ、画面設定や全画面モード切替ができます。 画像編集:☞P.300〜P.304 プチエステ:☞P.304 画面設定:☞P.299 全画面モード切替:☞P.175

自分を撮影するとき

サブカメラで自分を撮影することができます。

1 静止画撮影画面(☞P.167)で#を押す。

- 📷61を押しても切り替わります。

2 カメラを自分に向け、◉[📷]を押す。

3 ◉[保存]を押す。

- 保存については、P.168「静止画を撮影する」の操作3を参照してください。

お知らせ

- 撮影前のファインダーが表示されている状態でFOMA端末を閉じると、カメラモードが終了します。

連続撮影する<連続撮影>

複数の静止画を連続して撮影できます。
連続撮影できる撮影サイズは次のとおりです。

	標準連続撮影	高速連続撮影	マニュアル連続撮影	フレーム撮影との組み合わせ
sQCIF:128×96	○	○	○	○
QCIF:176×144	○	○	○	○
QVGA:240×320	○	○	○	○
待受:240×400	○	○	○	○
横ワイド小:400×240	○	×	○	○※
CIF:352×288	○	×	○	○※
VGA:480×640	○	×	○	×

※ 高速連続撮影はできません。

- 「横ワイド大:1200×720」、「1.2M:1280×960」、「UXGA:1600×1200」での連続撮影はできません。

高速、標準、マニュアル

高速連続撮影では約0.1秒間隔、標準連続撮影では約0.2秒間隔で、静止画を連続して自動的に撮影します。マニュアル連続撮影では、自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影します。

- 最大連続撮影枚数は撮影サイズにより異なります。

sQCIF:128×96	QCIF:176×144	QVGA:240×320	待受:240×400	横ワイド小:400×240	CIF:352×288	VGA:480×640
25枚	25枚	9枚	9枚	9枚	9枚	6枚

連続撮影をする

- 撮影サイズによって、[連続撮影]や[高速]が選択できなかったり、連続撮影最大枚数が異なります。

1 静止画撮影画面(☞P.167)で📷43[連続撮影]を押し、連続撮影の種類を選ぶ。

OFF(連続撮影を解除する)	1
高速	2
標準	3
マニュアル	4

2 ◉[📷]を押す。

- 1枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。最後の撮影時に撮影ランプが青色で1回点滅します。
- マニュアル撮影のときは、連続撮影最大枚数まで◉[📷]を押します。
- 全枚数撮影すると、撮影画像一覧画面が表示されます。
- 撮影中に中断するときは、📷を押します。それまで撮影した画像が表示されます。📷1[全件保存]または📷3[1件保存]を押すと画像が保存できます。

3 保存する。

撮影した静止画をすべて保存する	◎1
撮影した静止画をすべて削除する	◎2
撮影した静止画の中から1件選んで保存する	静止画を選ぶ→◎3 ● 他の静止画を追加保存するときは、同様の操作をくり返します。 ● 静止画を確認してから保存するときは、静止画を選んで⊙を押し、⊙を押します。
選択している静止画を一覧から削除する	静止画を選ぶ→◎4 ● 静止画を確認してから削除するときは、静止画を選んで⊙を押し、◎を押します。
ｉモードメールで送信する（☞P.176）	静止画を選ぶ→ⓘ ● 静止画を確認してからｉモードメールで送信するときは、静止画を選んで⊙を押し、✉を押します。

- 自動保存モード（☞P.176）が［ON］のときは、自動的に一括保存されます。
- 連続撮影した静止画の保存と削除が終わると、静止画撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 連続撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更したり、エフェクト撮影を設定したり、サブカメラに切り替えると、連続撮影は解除されます。
- 連続撮影を設定すると、エフェクト撮影は解除されます。

連続撮影時のご注意

- オートでの連続撮影中は、⊖によるズームの利用や、⊕による明るさを調整できません。
- 連続撮影中に着信やアラームが動作すると、撮影中の静止画は保持され、連続撮影は中止されます。
- 連続撮影中にFOMA端末を閉じたり、☎を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。また、サイクロイドポジションにした場合は、撮影を中止して静止画撮影画面が表示されます。

動画撮影

動画を撮影する

FOMA端末で動画を撮影（録画）します。

- 撮影した動画はデータBOXのｉモーションの［カメラ］フォルダか、microSDメモリーカード（☞P.318）に保存されます。
- 電池残量が少ない場合は撮影できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- FOMA端末で撮影した動画（Mobile MP4）は、メール送信できます（☞P.176）。
- 撮影した動画を着モーション（☞P.116）に使用する場合は、FOMA端末（本体）に保存してください。
- カメラ撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます（ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります）。
- 撮影中は撮影ランプが青色で点灯しています。
- カメラ撮影開始音、終了音は、マナーモードや公共モード（ドライブモード）設定中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも鳴ります。
- カメラ撮影開始音、終了音の音量は変更できません。
- 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になったとき（撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、microSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に撮影が停止しますが、撮影した動画は保存／再生／取り消し／メール添付はできます。

1 動画モードを起動（☞**P.166**）する。

- メインカメラとサブカメラを切り替えるときは、◎51または#を押します。

2 ⊙［録画］を押す。

3 撮影を止めるときは、⊙［停止］を押す。

4 保存する。

保存する	1
ｉモーションメールで送信する（☞P.176）	2
撮影した動画を再生する	3
撮影した動画を取り消す	4→［はい］→⊙

- FOMA端末（本体）に保存するときに、メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます（☞P.333）。

お知らせ

- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じたり、ポジションを変えると撮影が自動的に停止し、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。撮影開始から1秒未満の場合は、撮影を停止し、カメラモードを終了します。ただし、映像・音声切替が［音声のみ］のときにFOMA端末を閉じた場合は、録音を継続し、サブディスプレイに［ボイス録音中］と表示されます。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合がありますので、ご注意ください。

撮影時の設定を変える

接写モードにする

近距離(約10cm)の撮影や、文字読み取り(☞P.178)やバーコードリーダー(☞P.176)を利用するときは、接写モードにしてください。

1 接写レバーを🌷に合わせる。

- 通常モード撮影にするときは、接写レバーを元の位置に戻します。

カメラを切り替える<カメラモード切替>

静止画、動画、文字読み取り、バーコードリーダーの各モードを切り替えます。

- [電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します]と表示されたときに充電を開始してすぐカメラモードを切り替えようとすると[電池残量が足りません]と表示され、カメラモードを起動できません。

1 撮影画面で📷1[カメラモード切替]を押し、カメラモードを選ぶ。

静止画モード	1
動画モード	2
文字読み取りモード	3
バーコードリーダーモード	4

明るさを設定する<明るさ調整>

お買い上げ時　明るさ０

明るさを５段階で調整できます。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)または動画撮影画面(☞**P.167**)で◌(明るくなる)／◌(暗くなる)を押して調整する。

- バーコードリーダー(☞P.176)、文字読み取り(☞P.178)でも◌で明るさを調整できます。
- ディスプレイのマークで確認できます(☞P.165)。
- カメラモードを終了すると、[±0](標準)に戻ります。
- サブカメラも同様の方法で調整できます。

デジタルズームを利用する<ズーム切替>

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)で◌または◌を押し、ズームを切り替える。

- ズームバーが表示されます。
- 動画撮影画面(☞P.167)の場合は、すでにズームバーが表示されています。

ズームアップ(被写体が大きくなる)する	◌ ● ボタンを押し続けると、徐々にズームアップします。
ズームダウン(被写体が小さくなる)する	◌ ● ボタンを押し続けると、徐々にズームダウンします。
瞬間ズームアップする	▣ ● 瞬間ズームマーク位置になります。静止画の場合は、さらに▣や◌を押すと２倍に拡大されます(エフェクト撮影を設定している場合を除く)。画像は少し粗くなります。
等倍(元の大きさ)に戻す	▣

- ズームできる範囲(倍率)は撮影サイズによって異なります。

カメラモード	撮影サイズ		ズームの段数(最大倍率)	
	メインカメラ	サブカメラ	メインカメラ	サブカメラ
静止画	sQCIF:128×96		24段階(約19倍)	３段階(約４倍)
	QCIF:176×144		21段階(約14倍)	
	QVGA:240×320		18段階(約10倍)	−
	待受:240×400	−	16段階(約8.1倍)	−
	横ワイド小:400×240	−	６段階(約3.0倍)	−
	CIF:352×288		14段階(約6.9倍)	−
	VGA:480×640	−	11段階(約5.1倍)	−
	横ワイド大:1200×720	−	−(等倍)	−
	1.2M:1280×960	−	４段階(約2.5倍)	−
	UXGA:1600×1200	−	−(等倍)	−
動画	sQCIF:128×96		23段階(約９倍)※	２段階(約２倍)
	QCIF:176×144		20段階(約6.9倍)※	
	QVGA:320×240		14段階(約3.8倍)※	−
	VGA:640X480	−	８段階(約1.9倍)※	−

※ 手ぶれ補正が[OFF]の場合

- 撮影サイズ変更、メイン／サブカメラ切替の設定変更、手ぶれ補正の設定変更、エフェクト撮影の設定変更、映像・音声切替を行ったり、カメラモードを終了すると、等倍に戻ります。

お知らせ

撮影時のご注意
- 手ぶれに注意してください。撮影サイズが大きくなったり、撮影画質が高画質になるほど、手ぶれしやすくなります。撮影するときにFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。FOMA端末が動かないようしっかり持って撮影してください。動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください(☞P.174)。

メインカメラとサブカメラを切り替える<カメラ切替>

- ボイスレコーダーとして起動、または映像・音声切替が[音声のみ]の場合は切り替えられません。
- サイクロイドポジションのときは、サブカメラに切り替えできません。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)で
📷6 1[カメラ切替]を押す。
- 動画撮影画面(☞P.167)のときは、📷5 1を押します。
- #を押して、切り替えることもできます。

お知らせ

- メインカメラからサブカメラに切り替えた直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

メインカメラ
- 静止画撮影、動画撮影で他の人や風景を撮影するときに使うと便利です。また、文字読み取り(OCR)やバーコードリーダーを利用するときに使います。ディスプレイには、正像(見たとおりの向き)で表示されます。表示どおり撮影されます。

サブカメラ
- 静止画撮影、動画撮影で自分を撮影するときに使うと便利です。ディスプレイには鏡像(左右逆向き)で表示されます。ディスプレイ表示とは左右が逆に撮影されます。

撮影サイズを設定する<サイズ選択>

お買い上げ時	静止画: メインカメラ(通常ポジション) 「待受:240×400」 メインカメラ(サイクロイドポジション) 「横ワイド小:400×240」 サブカメラ「QCIF:176×144」 動画: メインカメラ「QVGA:320×240」 サブカメラ「QVGA:320×240」

静止画や動画の撮影サイズを設定できます。
- メインカメラとサブカメラについてそれぞれ設定できます。また、通常ポジションとサイクロイドポジションについてもそれぞれ設定できます。
- 静止画撮影の場合、撮影サイズを変更すると、フレーム撮影、エフェクト撮影、連続撮影の設定は解除されます。
- 各サイズについては、P.163を参照してください。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)で📷5
[サイズ選択]を押し、サイズを選ぶ。
- 動画撮影画面(☞P.167)のときは、📷4を押します。

サイズ	静止画撮影		動画撮影
	通常ポジション	サイクロイドポジション	
sQCIF: 128×96	1	−	1
QCIF: 176×144	2	−	2
QVGA: 240×320	3	−	−
待受: 240×400	4※	−	−
QVGA: 320×240	−	−	3
横ワイド小: 400×240	−	5※	−
CIF: 352×288	6	−	−
VGA: 480×640	7※	−	−
VGA: 640×480	−	−	4※
横ワイド大: 1200×720	−	8※	−
1.2M: 1280×960	◯1※	−	−
UXGA: 1600×1200	◯2※	−	−

※ サブカメラは設定できません。
- 設定したサイズに応じたマークが表示されます(☞P.165)。

お知らせ

- 画像をｉモードメールに添付して送信する場合、サイズ選択や画質により通信料金は異なります。
- ボイスレコーダーとして起動、または映像・音声切替が[音声のみ]の場合、撮影サイズを選択できません。
- 動画撮影時、サイズ選択を「QVGA:320×240」または「VGA:640×480」にすると、画質は[SUPER FINE]に設定されます。

画質を設定する<画質>

お買い上げ時	静止画:NORMAL 動画:SUPER FINE

静止画や動画の画質を設定できます。
[ECONOMY]→[NORMAL]→[FINE]…の順に画質がきれいになりますが、データ量が多くなり登録できる枚数、撮影できる時間は少なくなります。
- メインカメラとサブカメラについてそれぞれ設定できます。また、通常ポジションとサイクロイドポジションについてもそれぞれ設定できます。
- 各画質の撮影枚数、撮影時間の目安については、P.164、P.463を参照してください。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)で
📷4 1[画質]を押し、画質を選ぶ。
- 動画撮影画面(☞P.167)のときは、📷3 1を押します。

	静止画撮影	動画撮影※
ECONOMY	1	1
NORMAL	2	2
FINE	—	3
SUPER FINE	3	4

※「sQCIF:128×96」の場合は、[SUPER FINE]に設定できません。また、「QVGA:320×240」と「VGA:640×480」の場合は、[SUPER FINE]のみ設定できます。

- 設定した画質に応じてマークが表示されます(☞P.165)。

お知らせ

- 画質を優先して撮影したいときは、[FINE]または[SUPER FINE]に設定してください。
- ボイスレコーダーとして起動、または映像・音声切替が[音声のみ]の場合、画質を選択できません。
- 動画モードの場合、エフェクト撮影を設定しているときは画質を選択できません。

ファイルサイズ制限を設定する <ファイルサイズ制限>

お買い上げ時 メール用(長)

動画を撮影する前に、保存するファイルサイズを制限できます。

- iモーションメールで送信する場合は、[メール用(短)]、[メール用(長)]を選択してください。メール添付可能なサイズで撮影できます。[メール用(短)]を選ぶとファイルサイズを500Kバイトに制限します。[メール用(長)]を選ぶとファイルサイズを2Mバイトに制限します。

1 動画撮影画面(☞P.167)で[MENU]33[ファイルサイズ制限]を押し、ファイルサイズを選ぶ。

500Kバイトに制限する※1	1
2Mバイトに制限する	2
制限なし※2	3

※1 撮影サイズが「VGA:640×480」に設定されている場合は、設定できません。
※2 保存先がFOMA端末(本体)に設定されている場合は、設定できません。

お知らせ

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定し、ファイルサイズ制限を[制限なし]に設定した場合、撮影時間は最長約1時間になります(映像・音声切替が[音声のみ]の場合を除く)。また、撮影直後にメール送信を実行すると、先頭から約2Mバイト以内のデータを切り出して送信します。
- 保存先をFOMA端末(本体)に変更した場合、ファイルサイズ制限は[メール用(長)]に設定されます。保存先をmicroSDメモリーカードに変更した場合、ファイルサイズ制限は[制限なし]に設定されます。
- 被写体の動きによっては、ファイルサイズ制限値に満たない場合があります。

セルフタイマーを使って撮影する <セルフタイマー>

お買い上げ時 OFF

セルフタイマーを使って撮影できます。自分も入った画像を撮影するときなどに便利です。

1 静止画撮影画面(☞P.167)で[MENU]47[セルフタイマー]を押し、セルフタイマーを設定する。

- 動画撮影画面(☞P.167)のときは、[MENU]37を押します。

解除する	1	5秒にする	3
2秒にする	2	10秒にする	4

- [2]、[5]または[10]が表示されます。

2 ●を押す。

- タイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間(約2秒/約5秒/約10秒)が経過すると、撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます([2]、[5]または[10]と撮影ランプが白色で点滅)。
- 撮影を中止するときは、[CLR]を押します。このとき、セルフタイマーは設定されたままです。
- 撮影後もセルフタイマーは解除されません。

お知らせ

セルフタイマー動作中のご注意

- ●を押すと、その時点で撮影されます。
- 着信やアラームが動作すると、撮影は中止されます。
- 静止画モードでは、セルフタイマー動作中は、◯によるズームの利用や、◯による明るさの調整はできません。
- メインカメラとサブカメラを切り替えると、セルフタイマーは解除されます。
- FOMA端末を開閉したり、[☎]を押すと、撮影を中断してカメラモードを終了します。

映像と音声の組み合わせを設定する <映像・音声切替>

お買い上げ時 映像+音声

動画撮影の種類を[映像+音声]、[映像のみ]、[音声のみ]に設定できます。

1 動画撮影画面(☞P.167)で[MENU]34[映像・音声切替]を押し、映像と音声の組み合わせを選ぶ。

映像+音声を撮影する	1
映像のみを撮影する	2
音声のみを録音する	3

フレームを重ねて撮影する ＜フレーム撮影＞

お買い上げ時 OFF

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

- FOMA端末にはあらかじめフレームが登録されています(☞P.426)。
- 連続撮影ではそれぞれの静止画にフレームが付きます(☞P.168)。
- 撮影サイズが「横ワイド大:1200×720」、「1.2M:1280×960」、「UXGA:1600×1200」の場合、または「VGA:480×640」で連続撮影設定時はフレーム撮影できません。
- サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。
- 撮影サイズを変更すると、フレーム撮影が解除されます。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)で📷 4 6 [フレーム撮影]を押し、フレームを選ぶ。

あらかじめ登録されているフレームの場合

フレームを利用する	1→フォルダを選ぶ→●→フレームを選ぶ→● ● フレームを確認するときは、フレームを選んで●を押します。戻るときは、CLRを押します。
フレームを解除する	2

- 選択したフレームと被写体の合成された画面が表示されます。

2 ●[📷]を押す。

いろいろな効果を付けて撮影する ＜エフェクト撮影＞

お買い上げ時 OFF

撮影する静止画や動画にエフェクトを設定し、色あいやタッチを変えて撮影できます。

- エフェクト撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更したり、連続撮影を設定すると、エフェクト撮影は解除されます。
- 静止画撮影サイズが「VGA:480×640」、「横ワイド大:1200×720」、「1.2M:1280×960」、「UXGA:1600×1200」の場合、または動画撮影サイズが「VGA:640×480」の場合は、エフェクト撮影はできません。
- サブカメラ使用時、エフェクト撮影はできません。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)で📷 4 5 [エフェクト撮影]を押し、エフェクトの種類を選ぶ。

- 動画撮影画面(☞P.167)のときは、📷 3 5 を押します。
- ◐を押すと前後の画面を表示できます。

エフェクトの種類

OFF	1	エフェクトを解除する
モノクロ	2	モノトーンで濃淡を表現
セピア	3	セピア色で濃淡を表現
きらきら	4	光輝部をさらに輝かせる効果を表現
色えんぴつ	5	色つきの線画で表現
円ソフトフレーム※1	6	画面の周りにぼかしの効果を付ける
残像※2	6	動きの残像を表現
波紋	7	波紋効果を付ける
万華鏡(大)	8	万華鏡の効果を表現(模様が大きい)
万華鏡(小)	◐ 1	万華鏡の効果を表現(模様が小さい)
魚眼	◐ 2	魚眼レンズでの効果を表現

※1 静止画のみに設定できます。
※2 動画のみに設定できます。

2 ●を押す。

お知らせ

- 動画撮影の場合、画質を変更することはできません。撮影サイズが「QVGA:320×240」、「QCIF:176×144」の場合は[SUPER FINE]、「sQCIF:128×96」の場合は[FINE]に自動的に設定されます。
- 動画撮影時にエフェクト撮影を設定すると、手ぶれ補正が自動的に[OFF]になります。このあと、エフェクト撮影を解除すると、エフェクト撮影設定前の手ぶれ補正の設定になります。

手ぶれを補正して撮影する＜手ぶれ補正＞

お買い上げ時 ON

動画撮影時に手ぶれを補正できます。

- 撮影サイズが「VGA：640×480」の場合、手ぶれ補正撮影できません。
- サブカメラ使用時、エフェクト撮影時は、手ぶれ補正撮影できません。
- 手ぶれ補正の効果は、被写体や撮影時の条件によって異なります。

1 動画撮影画面（☞**P.167**）で📷 5 2［手ぶれ補正］を押し、1［**ON**］を押す。

撮影環境や被写体に応じた設定を行う＜シーン別撮影＞

お買い上げ時 オート

自然な色あいやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。

- サブカメラ使用時、シーン別撮影はできません。

1 静止画撮影画面（☞**P.167**）で📷 4 4［シーン別撮影］を押し、シーンを選ぶ。

- 動画撮影画面（☞P.167）のときは、📷 3 6 を押します。

静止画撮影時のシーンの種類

オート	1	通常の撮影に適しています。
夜景	2	夜景など光の少ない場所を撮影する場合に適した設定です。
スポーツ	3	屋外でのスポーツなど動きの多い被写体を撮影する場合に適した設定です。
文字	4	白と黒などコントラストのはっきりした被写体を撮影する場合に適した設定です。

動画撮影時のシーンの種類

オート	1	通常の撮影に適しています。
人物	2	人物を撮影する場合に適した設定です。
風景（ソフト）	3	自然や街並みなどの風景をソフトなイメージで撮影する場合に適した設定です。
風景（シャープ）	4	自然や街並みなどの風景をシャープなイメージで撮影する場合に適した設定です。

- 設定したシーンに応じてマークが表示されます（☞P.165）。

お知らせ

- カメラモードを終了すると、［オート］に戻ります。

撮影時のバックライトの点灯時間を設定する＜バックライト点灯時間＞

お買い上げ時 照明設定に従う

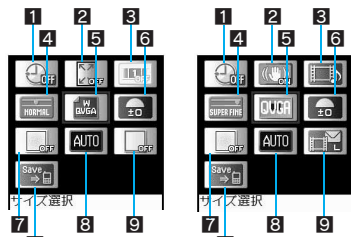
動画撮影時、バックライトの点灯時間を設定できます。

1 動画撮影画面（☞**P.167**）で📷 5 3［バックライト点灯時間］を押し、点灯時間を選ぶ。

照明設定に従う	1 ● 照明時間設定に従ってバックライトが点灯します（☞P.130）。
常に点灯する	2 ● 常時点灯します（ただし、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います）。

撮影時の設定を一括変更する＜一括設定変更＞

撮影時によく使う機能の設定内容を一覧表示したり、一括して変更することができます。

1 静止画撮影画面（☞**P.167**）または動画撮影画面（☞**P.167**）で☰［設定］を押す。

静止画の場合　動画の場合

- 設定を変更するときは✥で項目を選び、●［変更］を押します。

静止画撮影		動画撮影	
1	セルフタイマー	1	セルフタイマー
2	全画面モード切替	2	手ぶれ補正
3	連続撮影	3	映像・音声切替
4	画質	4	画質
5	サイズ選択	5	サイズ選択
6	明るさ調整	6	明るさ調整
7	エフェクト撮影	7	エフェクト撮影
8	シーン別撮影	8	シーン別撮影
9	フレーム撮影	9	ファイルサイズ制限
10	本体⇔microSD切替	10	本体⇔microSD切替

カメラの設定を変える

カメラのシャッター音を変える
<シャッター音>

お買い上げ時 標準音

シャッター音を、4種類のパターンから選択できます。

- シャッター音の音量は変更できません。また、マナーモードや公共モード（ドライブモード）設定中や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも鳴ります。

1 待受画面で●1241を押し、シャッター音を選ぶ。

標準音	1	ピンポーン	3
デジタルカメラ	2	トゥインクル	4

- シャッター音を確認するときは、シャッター音を選んで[再生]を押します。止めるときは[停止]を押します。

画像をディスプレイいっぱいに表示する
<全画面モード切替>

カメラモードで表示されるマークを消し、静止画をディスプレイいっぱいに表示できます。

- 撮影サイズが「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「CIF：352×288」の場合、全画面モードにできません。
- カメラモードを終了すると、全画面モードは解除されます。

1 静止画撮影画面（☞P.167）で3［全画面モード切替］を押す。

- もう一度操作すると、全画面モードを解除できます。

microSDメモリーカードに保存する
<本体⇔microSD切替>

お買い上げ時 FOMA端末（本体）

撮影した画像をmicroSDメモリーカードに保存できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.318）。

1 静止画撮影画面（☞P.167）で7［本体⇔microSD切替］を押す。

- 動画撮影画面（☞P.167）のときは、6を押します。
- 保存先が変更され、静止画撮影画面に戻ります。
- 静止画撮影のときは、撮影後に[保存先]を押して切り替えることもできます。
- 設定内容に応じてmicroSDメモリーカードマークの色が変わります。

SD（グレー）	保存先がFOMA端末（本体）のとき
SD（ピンク）	保存先がmicroSDメモリーカードのとき

- microSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間はmicroSDメモリーカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画の場合、最長約1時間です。

お知らせ

- 静止画モードでは、保存先がmicroSDメモリーカードに設定されていても、microSDメモリーカードの空き容量が不足した場合、保存先がFOMA端末（本体）に切り替わります。動画モードでは、microSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をmicroSDメモリーカードに設定して撮影を開始するとカメラモードは終了し待受画面に戻ります。
- microSDメモリーカードに保存した静止画の確認については、P.324を参照してください。
- 保存先フォルダの静止画が400枚より多くなると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画が保存されます。
- 保存先がmicroSDメモリーカードに設定されている場合、撮影画像は[カメラフォルダxxx]（フォルダが複数ある場合は「xxx」の数字が最も大きなフォルダ）に保存されます。
- 撮影画像をmicroSDメモリーカードに保存するときは、DCF1.0準拠（ExifVer.2.2、JPEG準拠）の形式で保存されます。
- 「DCF」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- 「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。

自動保存モードを設定する
＜自動保存モード＞

お買い上げ時 OFF

撮影した静止画を自動的に保存するように設定できます。

- 自動保存モードを[ON]に設定すると、撮影直後の画像編集や画面設定などの操作はできなくなります。
- 撮影した静止画はmicroSDメモリーカードか、FOMA端末(本体)に自動的に保存されます。
- microSDメモリーカードに保存するときは、撮影前に保存先を切り替えておきます(☞P.175)。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)で 62[自動保存モード]を押し、1[**ON**]を押す。

静止画撮影／動画撮影の設定をお買い上げ時の状態に戻さないようにする
＜カメラ設定保持＞

お買い上げ時 ON

カメラモードを終了したときに各設定を記憶しておくことができ、次回静止画や動画のカメラモードにしたときも同じ状態で利用できます。

- 設定を保持できる項目は、次のとおりです。

静止画	サイズ選択、画質、本体⇔microSD切替、自動保存モード
動画	サイズ選択、画質、ファイルサイズ制限、バックライト点灯時間、本体⇔microSD切替、手ぶれ補正

- 静止画の場合、[サイズ選択]、[画質]はメインカメラとサブカメラおよび通常ポジションとサイクロイドポジションについてそれぞれの設定を保持します。

1 静止画撮影画面(☞**P.167**)で 63[カメラ設定保持]を押す。

- 動画撮影画面(☞P.167)のときは54を押します。

2 1[**ON**]を押す。

メール送信

撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画または動画撮影後、保存前のプレビュー画面から、撮影した静止画や動画を添付したｉモードメールを送信できます。

- 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定していた場合、撮影した画像はmicroSDメモリーカードに保存され、メール作成画面が表示されます。

1 静止画プレビュー画面(☞**P.168**)で [メール]を押す。

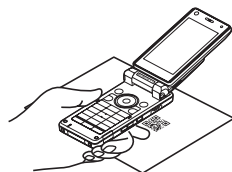
静止画の場合

- 動画のときは、撮影終了後の画面で2[メール作成]を押します。
- 撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトを超えている場合、メールに添付するために切り出すかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選んで◉を押すと、2Mバイト以下になるように先頭から切り出して添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.214の操作2～4を参照してください。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、ｉアプリToを利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像またはトルカの表示や保存を行うこともできます。

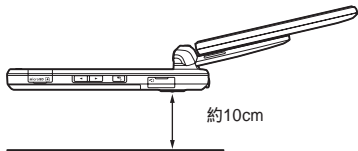
- 読み取り結果をmicroSDメモリーカードに保存することはできません。
- JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取りできません。
- 分割されたQRコードも読み取りできます。

バーコード（JANコード、QRコード）から文字を読み取って利用する

バーコード（JANコード、QRコード）から読み取った文字を利用して、iモード接続、iモードメール作成、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、iアプリの起動などを行うことができます。

- 接写モードにしてから撮影してください（☞P.170）。接写撮影の焦点距離は約10cmです。
- サイトを表示中に、バーコードリーダーを利用してJANコード、QRコードの情報をテキストボックスに入力できます（☞P.185）。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

1 待受画面で⊙ 9 2 1 を押す。

- 静止画撮影画面（☞P.167）で📷 1 4 を押しても切り替えられます。

- バーコード（JAN コード、QR コード）の真正面からカメラまでを約10cm離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- ピントが合わない場合は、接写レバーの位置を切り替えることでピントが合うことがあります。

2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード（JANコード、QRコード）を表示する。

- 被写体がJANコードかQRコードかは、FOMA端末が自動的に判断します。
- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。
- 保存データを見るときは、📷 2 を押します。

3 ⊙［読取］を押す。

- バーコード（JANコード、QRコード）の読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- 読み取りを開始してから1分経過しても読み取れなかったときは、［読み取りできませんでした］と表示され、操作2の画面に戻ります。
- 読み取りを中止するときは、Ⓘ［中断］またはCLRを押します。読み取りを中断して操作2の画面に戻ります。

4 読み取った文字を選んで⊙を押す。

- 読み取った文字や数字に下線が付いている場合は、その部分を選択できます。
- 読み取った文字の内容に応じて、iモード接続確認画面（URLのとき）、メール作成確認画面（メールアドレスのとき）、電話（テレビ電話）発信確認画面（電話番号のとき）が表示されます。
- 電話帳データやメールデータ、ブックマークデータ、iアプリデータの場合は、電話帳登録確認画面やメール作成確認画面、Bookmark登録確認画面、iアプリ起動確認画面が表示されます。
- 読み取った文字や数字に下線が付いていない場合は、⊙を押しても表示が変わりません。

読み取った文字をすべてコピーする	Ⓘ
読み取った文字の一部をコピーする	📷 3 →始点を選ぶ→⊙［開始］→終点を選ぶ→⊙
読み取ったデータを保存する	📷 4 →保存先を選ぶ→⊙ ● 5件まで保存できます。

お知らせ

- URL入力画面や、サイトを表示中（☞P.182の操作1～3）の文字入力画面で、📷 6 3［バーコードリーダー］を押してもバーコードリーダーを起動できます。
- 電話帳の**機能別ロック**中は、**端末暗証番号**を入力すると機能別ロックが一時的に解除され、読み取った結果から電話帳登録できます。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
- 読み取り完了音は、**マナーモード**や**公共モード（ドライブモード）**設定中は鳴りません。

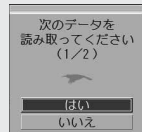
JANコードとは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- 右図を読み取ると［4942857119022］と表示されます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。データとは、文字列（英数字・漢字・カナ・絵文字）や画像データ、メロディデータなどを含みます。
- 右図を読み取ると［株式会社NTTドコモ］と表示されます。

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ（最大16個）を読み取って1つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取った場合、操作3のあとで右の画面が表示されます。（ ）には残り個数／全連結数が表示されています。
  ［はい］を選択すると次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作をくり返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

QRコードから画像、トルカやメロディを読み取って利用する

1 QRコードを読み取る（☞P.177の操作1～3）。

- 読み取り結果が画像データの場合は結果画面に[画像]、メロディの場合は結果画面に[メロディ]、トルカの場合は[トルカ]と表示されます。

2 ⦿を押し、表示・再生する。

画像を表示する	1 ● ファイル形式によっては表示できないものもあります。
メロディを再生する	1 ● ファイル形式によっては再生できないものもあります。 ● 再生を中止するときは⦿またはCLRを押します。
トルカを表示する	1 ● 複数のトルカが含まれている場合は先頭のトルカのみ取得します。
画像、メロディやトルカを保存する	2 ● 画像はデータBOXのマイピクチャの[外部取得データ]フォルダに保存されます。 ● メロディはデータBOXのメロディの[外部取得データ]フォルダに保存されます。 ● トルカは[LifeKit]メニューの[トルカ]内に保存されます。
画像、メロディやトルカを保存しない	3

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

- 読み取ったメールアドレスや電話番号、URLを電話帳やブックマークに登録できます。

1 バーコードを読み取り（☞P.177の操作1～3）、読み取り結果画面で📷を押す。

2 読み取り結果を利用する。

電話帳に登録する	FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	1 1→[はい]→⦿ ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます（☞P.98）。 ● あらかじめテレビ電話用電話番号としてバーコードに設定されているときは、テレビ電話用電話番号として登録されます。
	FOMAカード電話帳に新規登録する	1 2→[はい]→⦿ ● 読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます（☞P.103）。
電話帳に登録する	電話帳に追加／上書き登録する	1 3→[はい]→⦿→名前を選ぶ→⦿ ● 読み取った文字は対応した項目に上書き登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます（☞P.98）。ただし、URLの場合は、メモの項目（☞P.97）に上書き登録されます。
ブックマークに登録する（URLのみ）（☞P.188）		2→[はい]→⦿→フォルダを選ぶ→⦿→[OK]→⦿

保存データを利用するとき

1 読み取り開始画面（☞P.177の操作2）で📷2[保存データ]を押し、保存データを選んで⦿を押す。

- このあと、P.178「読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する」の操作1～2に進みます。
- 保存データは再保存できません。

文字読み取り（OCR）

文字を読み取る

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号、英単語をFOMA端末で撮影し、FOMA端末で扱える文字に変換します。
読み取った文字を利用して、サイトやインターネットホームページに接続したり、iモードメールを送信したりできます。音声電話やテレビ電話、プッシュトーク発信や、辞書検索できます。また、電話帳やブックマークに登録できます。

- 読み取れる文字は、次のものです。URL、メールアドレス、電話番号、英単語などのカテゴリは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

URL	半角英字、半角数字、半角記号[. -（ハイフン）_ : / ~]
メールアドレス	半角英字、半角数字、半角記号[. @ -（ハイフン）_ .]
電話番号	半角数字、半角記号[-（ハイフン）+ P # ＊]
英単語	半角英字、半角数字、半角記号[-（ハイフン）/ ? ! @ + * ' ( ) , . &]

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れない場合があります。

文字を読み取って利用する

カテゴリ(URL、メールアドレス、電話番号、英単語)を自動的に識別して、文字を読み取り、i モード接続、i モードメール作成、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、辞書検索、電話帳の登録、ブックマーク登録などを行うことができます。

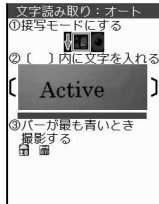
- 接写モードにしてから撮影してください(☞P.170)。

1 待受画面で⦿ 9 2 8 6 を押す。

- 静止画撮影画面(☞P.167)で📷 1 3 を押しても切り替えることができます。

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示する。

- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。
- ディスプレイの〔 〕枠内の中央に入るように調整してください。〔 〕の端の文字は読み取りにくい場合があります。

- 読み取り文字の真正面からカメラまでの距離を約10cmにして、文字やFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。表示される文字は小さくて見づらくなりますが、被写体表示の下にあるバーが最も青い色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。

読み取り対象のカテゴリを選ぶ	📷 2 →カテゴリを選ぶ→⦿ ● 文字読み取り起動時は、[オート]に設定されています。
反転文字(黒地に白の文字)を読み取る	📷 3 →反転モードの種類を選ぶ→⦿ ● 文字読み取り起動時は、[自動]に設定されています。うまく読み取れないときは、[通常文字]または[反転文字]に設定してください。

3 ⦿[📷]を押す。

- 複数の行を撮影したときは、⬍で読み取る行を指定します(文字の読み取りは、1行単位で行います)。

4 ⦿[読取]を押す。

- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

読み取り結果を修正する	⬌で修正する文字を選ぶ→⬍で候補を選ぶ ● 1文字ずつの修正候補が、画面下部に表示されます。修正候補がない場合はダイヤルボタンで入力します。 ● 1文字ずつ削除するときは、CLRを押します。
読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	ⓘ→[はい]→⦿

5 ⦿を押す。

読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	ⓘ→[はい]→⦿
続けて文字を読み取る	📷 1 ● 文字読み取り画面が表示されます。 ● 先に読み取った文字につなげて、1つの文として利用できます。数行に分かれているURLやメールアドレスを読み取るときなどに便利です。最大256文字まで読み取りできます。
読み取りを追加する	📷 2 ● 文字読み取り画面が表示されます。 ● 最大3回に分けて読み取った文字を、1つのグループとして関連づけます。電話帳の項目を続けて読み取り、まとめて電話帳に登録するときなどに便利です。
読み取った文字を編集する	📷 6
読み取った文字をすべてコピーする	📷 7 ● 他の画面に貼り付けて使用できます。
読み取った文字を削除する	📷 8 →[はい]→⦿
読み取り結果のカテゴリを変更する	⬌ ● 読み取り結果が電話番号のときは、カテゴリを変更できません。

6 ⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

- 読み取った文字のカテゴリに応じて、i モード接続確認画面(URLのとき)、メール作成確認画面(メールアドレスのとき)、電話(テレビ電話)発信確認画面(電話番号のとき)、辞書検索確認画面(英単語のとき)が表示されます。

お知らせ

- 電話帳の**機能別ロック**中は、**端末暗証番号**を入力すると機能別ロックが一時的に解除され、電話番号、URL、メールアドレス、英単語を電話帳登録できるようになります。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
- 読み取る文字のカテゴリが、電話番号の場合、( )は-(ハイフン)となります。
  また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、-(ハイフン)は削除されます。
- 読み取る文字のカテゴリがURLの場合、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

読み取った文字は、認識したカテゴリに応じて、電話帳の各項目やブックマークに登録できます。

- 電話帳には認識したカテゴリに応じて、以下の項目に登録されます。

URL※1	[URL]	メールアドレス	[Mail]
電話番号	[Tel]	英単語※2	[Word]

※1　URLはメモに登録されます。
※2　英単語は名前／フリガナに登録されます。

- ブックマークにはURLのみ登録できます。

1 文字の読み取り後の画面(☞**P.179**の操作5)で📷を押す。

2 読み取り結果を利用する。

電話帳に登録する	FOMA端末(本体)電話帳に新規登録する	3 1→[はい]→◉ ● 電話帳入力画面に読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.98)。
	FOMAカード電話帳に新規登録する	3 2→[はい]→◉ ● 電話帳入力画面に読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.103)。
	電話帳に追加／上書き登録する	3 3→[はい]→◉→名前を選ぶ→◉ ● 読み取った文字は対応した項目に上書き登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます(☞P.98)。ただし、URLの場合は、メモの項目(☞P.97)に上書き登録されます。
URLをブックマークに登録する(☞P.188)		4→[はい]→◉→フォルダを選ぶ→◉→[OK]→◉

読み取った文字を辞書で検索する

読み取った文字を辞書で検索できます。

- あらかじめ電子辞書が入っているmicroSDメモリーカードを挿入してください。

1 文字の読み取り後の画面(☞**P.179**の操作5)で📷 5[辞書検索]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

2 フォルダを選んで◉を押し、辞書を選んで◉を押す。

- 辞書の検索方法については、P.349の操作2以降を参照してください。
- 検索終了後、☎または、CLRを数回押すと、文字読み取り後の画面に戻ります。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

※ 掲載している画面はイメージのため、実際の画面とは異なる場合があります。

iモード

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末(以下iモード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。
- iモードのサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

iモードのご使用にあたって

- サイト(番組)やインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト(番組)やインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- iモード端末に保存されている内容(メール、メッセージ、画面メモ、iアプリ、iモーション)やブックマークなどの登録内容は、iモード端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万が一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画・動画・メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルが待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

サイト表示

サイトを表示する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスをご利用いただけます。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。サイトによりサービス内容は異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。

1 待受画面で(i)を押す。

2 [1][iMenu]を押す。

- 接続を中止するときは、接続中([接続中マーク]点滅)に、(i)[中止]を押します。

iモード中に表示されるマーク

マーク	説明
[待機中マーク]	iモード待機中(点滅)
[接続中マーク]	iモード接続中(点滅)
[SSL]	SSLページ表示中
[画像読み込みマーク]	画像読み込み中に表示 画像表示設定が[OFF]の場合に表示
[画像失敗マーク]	画像読み込みに失敗した場合に表示 表示できない形式の画像の場合に表示
[×]	URLが正しくないため画像が読み込めない場合に表示
[iアプリマーク]	iアプリダウンロード中

3 項目を選んで(●)を押す。

- この操作をくり返し、目的のサイトを表示します。

画面を上下にスクロールする	下:(▽) 上:(△)
1画面単位でスクロールする	下:(メール)[▼ページ] 上:(メール)[▲ページ]

4 終了するときは(電話)を押し、[はい]を選んで(●)を押す。

お知らせ

- サイクロイドポジションでサイトを表示しようとすると[縦に戻してご利用下さい]と表示されます。サイトを表示する場合は、通常ポジションに戻してご利用ください。
- 文字が正しく表示されない場合は、文字コード変換を行うと正しい文字に変換して表示できることがあります(☞P.188)。
- サイトなどからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数で表示できない場合があります。
- サイト表示中に(i)[iモードメニュー]を押すと、iモード終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、iモードメニュー画面が表示されます。
- 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否、非通知理由別着信拒否、電話帳登録外着信拒否を設定している場合、着信を許可しない相手からiモード中やiモード待機中に電話がかかってきたときも、着信音が鳴りません。相手の電話番号や電話帳に登録した名前が着信履歴に残ります。相手には話中音が聞こえます。

関連操作

Flash画像やGIFアニメーションを再び再生する<リトライ>
サイト表示中に[MENU]74

ｉモードを機能別ロックする<機能別ロック>
待受画面で[MENU]76▶端末暗証番号を入力▶●▶1

携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号送信について

サイトやインターネットホームページを表示するときに、携帯電話情報通知画面が表示されることがあります。［携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信します］と表示された場合、携帯電話情報を送信するときは［はい］を選んで●を押します。送信しないときは［いいえ］を選んで●を押します。送信せずに元の画面に戻るには、CLRを押すか、［戻る］を選んで●を押します。

お知らせ

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前に必ず、送信確認画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。
- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

サイトなどでの画像表示について

サイトやインターネットホームページ、画像メールやメッセージR／Fの画面には、画像が表示されることがあります。

我が家の姫
タマです。
ひなたぼっこしています。

- FOMA端末では、GIF形式やJPEG形式の画像、Flash画像を表示できます（ただし、これらの形式でも表示できない画像もあります）。
- 画像を受信中は、［🔍］が表示され、受信が終わると画像を表示します。
- 画像を表示するかしないかを画像表示設定（☞P.199）で設定できます。［OFF］に設定すると、画像の代わりに［🔍］が表示されます。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

お知らせ

- インターネット接続でGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像も表示できます。ただし、受信したｉモードメールにGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像のURLが記載されていても、画像メールとしては表示できません。この場合は、対象のURLを選択するとWeb To機能を利用してGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像が表示されます。
- 画像を取得できなかったときは、［✕］が表示されます。再読み込みを行うと、取得可能な場合があります。
- GIF形式、JPEG形式、Flash画像以外の画像を受信したときは、画像の代わりに［✕］が表示され、画像は表示できません。

SSL対応のページを表示するとき

FOMA端末では、SSL通信に対応したサイトや「https://」から始まるインターネットホームページ（SSLページ）を表示できます。SSL対応のページを表示しようとしているときは、右のような画面が表示されます。
SSL通信を中止するときは[MENU]［中止］を押します。
SSL対応のページを表示するときは、以下のいずれかの証明書が使用されます（☞P.203）。

■ CA証明書　■ ドコモ証明書　■ ユーザ証明書

- SSL対応のページを表示しているときは、［SSL］が表示されます。

SSL対応のページから通常のページへ移動するときは、SSLを終了するかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- ［このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？］などと表示されたときは、ページのSSL証明書が不正、または期限切れになっているか、FOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信できませんので、ご注意ください。
続けてページを表示させるときは［はい］を選択します。
ページを表示させないときは［いいえ］を選択します。

関連操作

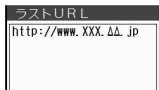
サイトのサーバー証明書を参照する<証明書参照>
サイト表示中に[MENU]72

最後に表示したページに再接続する ＜ラストURL＞

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLがラストURLとして記憶されます。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に接続できます。

1 待受画面でⓜ61を押す。

ラストURL
http://www.XXX.△△.jp

- 最後に表示したページのURLが表示されます。
- URLが半角2000文字を超えるページは表示できない場合があります。メロディのダウンロード完了の画面など、ページによってはラストURLに記憶されない場合があります。

2 ◉[接続]を押す。

関連操作

ラストURLを削除する＜削除＞
　「最後に表示したページに再接続する」の操作１の画面でⓐ1▶[はい]▶◉

ラストURLをブックマークに登録する
＜Bookmark登録＞
　「最後に表示したページに再接続する」の操作１の画面でⓐ2▶フォルダを選ぶ▶◉▶[OK]▶◉

ラストURLをコピーする＜コピー＞
　「最後に表示したページに再接続する」の操作１の画面でⓐ3

関連操作のお知らせ

ブックマーク登録について
- ブックマークの登録方法については、P.188を参照してください。

コピーについて
- コピーは最大半角2000文字まで可能です。

文字サイズを変更する＜文字サイズ設定＞

お買い上げ時　標準

サイトやインターネットホームページ、画面メモの文字サイズを設定できます。
- サイトによっては、[文字サイズ設定]を変更すると正しく表示されない場合があります。

1 待受画面でⓜ732を押し、文字サイズを選ぶ。

大きい文字	1
標準	2
小さい文字	3

メロディの再生音量を設定する ＜効果音設定＞

お買い上げ時　音量５

サイトやインターネットホームページ、画面メモのメロディの再生音量を設定できます。

1 待受画面でⓜ737を押す。
- サイトやインターネットホームページを表示中にⓐ75で音量変更することができます。

2 ◠(上げる)／◡(下げる)を押して音量を調節し、◉を押す。

サイトの見かたと操作

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から他の画面に移動したり、情報をもう一度読み込むことができます。表示中のURLを確認したり、電話番号などを電話帳に登録できます。

Flash画像を表示する＜Flash画像表示＞

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flashとは絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。また、Flash画像をデータBOXのマイピクチャに保存し、待受画面に設定できます（☞P.125、P.299）。

1 **Flash画像のあるサイト（☞P.182の操作１～３）、インターネットホームページ（☞P.187の操作１～２）や保存している画面メモ（☞P.191の操作１～２）を表示する。**
- Flash画像が自動的に再生されます。

Flash画像内にリンクなどが設定されているとき	◠、◡、◉、0～9、＊、＃で、Flash画像内のリンクなどを選ぶことができます。 ● [⇕]が表示されていない場合でも、操作できることがあります。
Flash画像の効果音の音量を設定する（☞P.197）	Flash画像を表示中にⓐ→[表示／設定]→◉→[効果音設定]→◉→◠(上げる)／◡(下げる)→◉
Flash画像を再び再生する	Flash画像を表示中にⓐ→[表示／設定]→◉→[リトライ]→◉

お知らせ

- 画像表示設定を[OFF]に設定しているときは、Flash画像は表示されません。
- 待受画面や発着信画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。
- Flash画像によっては、画面メモとして保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。

お知らせ

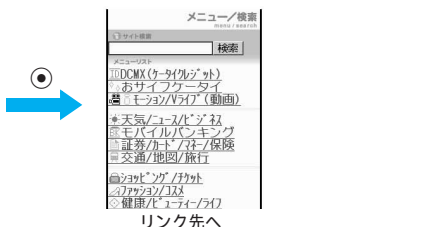
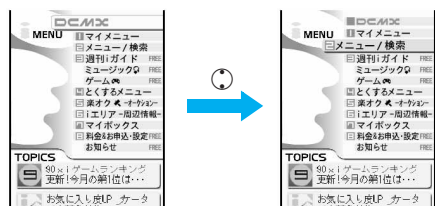
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを[OFF]に設定していても振動しますので、ご注意ください。
- Flash画像が表示されていても、通常のサイト表示とは異なる動作をする場合があります。
- Flash画像の保存については、P.192の操作1～3を参照してください。

リンク先や項目を選択する

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から、他の画面に移動できる場合があります。これを「リンク」といいます。リンク設定されている文字列は通常、青色で表示されます。選択されているリンクは、反転表示されます。

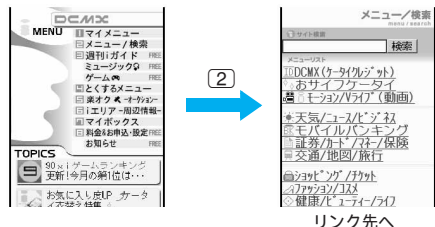
- リンクは画像に設定されていることもあります。選択すると、画像が実線で囲まれます。

リンクを選んで画面を移動する

リンク先へ

- ◯を押すと、次のリンクが反転され、◯を押すと、前のリンクが反転表示されます。

番号をダイヤルボタンで指定して画面を移動する

選択できるリンクの先頭に[1]、[2]、[3]などの番号が付いていることがあります。先頭に付いている番号と同じダイヤルボタン(1～9、0、*、#)を押すと、移動できます。

リンク先へ

※ 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページもあります。

サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力

サイトやインターネットホームページ内で、次の方法で項目を選択したり、文字入力を行う場合があります。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○：非選択状態 ◉：選択状態	項目などの選択に使用します。1つの項目のみ選択できます。
チェックボックス	□：未選択状態 ☑：選択状態	項目などの選択に使用します。複数の項目を選択できます。
プルダウンメニュー	東　京 足立区 北　区	項目などの選択に使用します。プルダウンメニューを選ぶと、選択できる項目の一覧が表示されます。
テキストボックス	ID パスワード	文字を入力できます。文字入力画面で、サブメニューから「バーコードリーダー」を利用してJANコード／QRコードの文字情報を読み取ってテキストボックスに入力できます。メロディと画像は入力できません。文字情報として表示されます。また、テキストボックスに入力できない文字を読み取っても表示されません。

前のページに戻る／次のページに進む（キャッシュ、履歴について）

FOMA端末はサイトやインターネットホームページの画面と表示してきた経路を記憶しています。これを「キャッシュ」といいます。◯を押すと、キャッシュとして記憶されたページを最大10ページまで通信を行わずに表示できます。

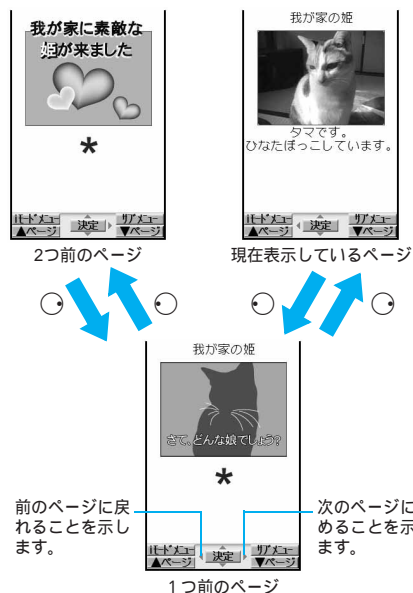
2つ前のページ

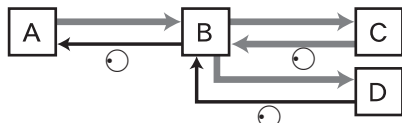
現在表示しているページ

前のページに戻れることを示します。

次のページに進めることを示します。

1つ前のページ

次ページへ続く

- ◯を押して前のページを表示したあとは、◯を押して次のページを表示できます。
- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- ◯を押して前、または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたサイトのページを表示する場合は、サイトからダウンロードして表示します。
- キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。
- 履歴とキャッシュの情報は、iモードを終了するとリセットされます。
- ◯を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で◯を押して前のページを表示させ(「C」から「B」に戻る)、そのページから他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」から◯を２回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。

〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき〉

━━ … ページの表示の順
━━ … 前のページを表示させたときの順番

情報を再読み込みする＜再読み込み＞

サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できなかったとき([✖]が表示されたとき)などに、もう一度そのサイトやインターネットホームページに接続して、情報を読み込むことができます。

- この操作はサイトやインターネットホームページの情報のダウンロードが完全に終わってから行ってください。
- 再読み込みを行っても、サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できない場合もあります。
- 画面メモは、再読み込みできません。

1 サイト(☞**P.182**の操作１～３)やインターネットホームページ(☞**P.187**の操作１～２)を表示中に、📷1[再読み込み]を押す。

- 再読み込みを開始します。
- 再読み込みを中止するときは、接続中([↯]点滅)に、ⓘ[中止]を押します。

URLを参照する＜URL表示＞

表示中のサイトやインターネットホームページのURLを確認できます。
URLとは、「http://www.xxx.△△.jp」などで表示されるアドレスです。URLは最大半角2048文字(http://などを含む)まで表示できます。

- 表示したURLを編集することはできません。

1 サイト(☞**P.182**の操作１～３)やインターネットホームページ(☞**P.187**の操作１～２)を表示中に、📷71[**URL**表示]を押す。

- 画面メモ(☞P.191)のURLを表示するときは、画面メモ一覧画面で📷4を押します。
- ブックマーク(☞P.188)のURLを表示するときは、ブックマーク一覧画面で📷3を押します。

URLをコピーする	📷
画面を上下にスクロールする	下:◯　上:◯

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

サイトやインターネットホームページで反転表示された電話番号やメールアドレスを、電話帳に登録できます。

- 画面メモで反転表示される電話番号やメールアドレスも、電話帳に登録できます(☞P.191)。
- 反転表示される電話番号やメールアドレスでも、電話帳に登録できないことがあります。

1 サイト(☞**P.182**の操作１～３)やインターネットホームページ(☞**P.187**の操作１～２)を表示中に、電話番号やメールアドレスを選んで📷34[電話帳登録]を押し、登録方法を選ぶ。

FOMA端末(本体)電話帳に新規登録する	1
FOMAカード電話帳に新規登録する	2
電話帳に追加／上書き登録する	3

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます(☞P.98、P.103)。

マイメニュー

マイメニューに登録する

i Menuの中のよく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは最大45件まで登録できます。マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページは登録できません。簡単に接続するにはブックマークをご利用ください(☞P.188)。

マイメニューに登録する

1 登録したいサイトを表示(☞**P.182**の操作１～３)し、マイメニュー登録用のメニュー(例:[1マイメニュー登録])を選んで◉を押す。

2 ［ｉモードパスワード入力］の入力欄を選んで⦿を押し、ｉモードパスワードを入力して⦿を押す。

3 ［決定］を選んで⦿を押す。

お知らせ

- 各サイトによってページ構成が異なります。
- 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。
- 詳しくは最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 待受画面でⓘ［1］を押し、［マイメニュー］を選んで⦿を押す。

2 サイトを選んで⦿を押す。

お知らせ

- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

ｉモードパスワード変更

ｉモードパスワードを変更する

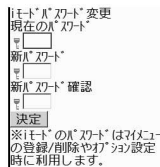
お買い上げ時 0000

マイメニューの登録／削除、メッセージR／Fやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときには、4桁のｉモードパスワード（☞P.144）が必要です。

- ｉモードパスワードの変更は、ｉモードをご契約後に可能となります。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- ｉモードパスワードをお忘れのときは、ご契約いただいたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口にご持参いただき、ｉモードパスワードを［0000］にリセットさせていただきます。

1 待受画面でⓘ［1］を押し、［料金＆お申込・設定］を選んで⦿を押し、［オプション設定］を選んで⦿を押す。

2 ［ｉモードパスワード変更］を選んで⦿を押す。

ｉﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定
※ｉﾓｰﾄﾞのﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはﾏｲﾒﾆｭｰの登録/削除やｵﾌﾟｼｮﾝ設定時に利用します。

3 ［現在のパスワード］の入力欄を選んで⦿を押し、現在のｉモードパスワードを入力して⦿を押す。

4 ［新パスワード］の入力欄を選んで⦿を押し、新しいｉモードパスワードを入力して⦿を押す。

5 ［新パスワード確認］の入力欄を選んで⦿を押し、もう一度新しいｉモードパスワードを入力して⦿を押す。

6 ［決定］を選んで⦿を押す。

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットホームページのアドレス（URL：http://などで始まるアドレス）を入力して、接続できます。

- ｉモードに対応していないインターネットホームページや、情報量の多いインターネットホームページは正しく表示されないことがあります。

1 待受画面でⓘ［6］［3］を押す。

- URLの入力画面が表示されます（「http://」が入力されています）。
- 以前にURLを入力したことがある場合には、そのURLが表示されます。
- サイト表示中に◎［5］［2］を押しても操作できます。

2 URLを入力して⦿を押す。

- 最大半角512文字まで入力できます（「http://」などを含む）。
- 表示中の操作はサイトの場合と同様です。
- 接続を中止するときは、接続中（［↯］点滅）に、ⓘ［中止］を押します。

バーコードリーダーでURLを読み取るとき(☞P.176)	URLの入力画面で Ⓜ6 3
URLを間違えたとき	URLの入力画面でCLR ● 最後の一文字またはカーソルのあたっている文字が消えます。 ● すべての文字を消すときは、カーソルが最初の1文字、または最後の1文字のあとにあるときにCLR(1秒以上)を押します。

3 終了するときは☎を押し、[はい]を選んで●を押す。

お知らせ

- 文字が何も入力されていない状態でCLRを2回押すと、iモードメニューに戻ります。
- 受信したデータが、1ページの最大サイズを超えた場合、[最大サイズを超えたので中断しました]と表示され、受信を中断し取得したところまでのデータを表示します。

関連操作

フルブラウザ表示に切り替える<フルブラウザ切替>
サイト表示中にⓂ8 ▶[はい]▶●

インターネットホームページを正しい文字で表示し直す<文字コード変換>

インターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。

1 サイト(☞**P.182**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.187**の操作1～2)を表示中に、Ⓜ7 3 [文字コード変換]を押す。
- インターネットホームページを正しい文字に変換して再表示します。
- 正しく表示されないときは、同じ操作をくり返します。

お知らせ

- 正しく表示されているときに文字コードを変換すると、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換をくり返しても、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換を4回くり返すと、元の表示に戻ります。
- 正しい文字で表示し直したあと、ページの更新、進む、戻るなどの操作を行った場合、文字表示は元に戻ります。

URL履歴を使ってページを表示する<URL履歴>

FOMA端末には、iモードメニューの[Internet]から接続したインターネットホームページの履歴を最大9件まで記憶しています。
この履歴を利用して、インターネットホームページへ再接続できます。

1 待受画面で◉6 2を押す。
- サイト表示中にⓂ5 1を押しても操作できます。

2 URLを選んで●を押す。

お知らせ

- URL履歴が9件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

関連操作

URL履歴を削除する<1件削除>
1 「URL履歴を使ってページを表示する」の操作1のURL履歴一覧画面でⓂ1
- すべてのURL履歴を削除するとき:Ⓜ2 ▶端末暗証番号を入力▶●

2 [はい]▶●

URL履歴のURLを表示する<URL表示>
「URL履歴を使ってページを表示する」の操作1のURL履歴一覧画面でⓂ3
- URLをコピーするとき:Ⓜ

ブックマーク

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録しておくと、すぐに見たいページを表示できます。
- フォルダを追加して、ブックマークを種類ごとに分けて管理できます(☞P.190)。
- 画像やメロディが保存されているサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録したとき、サイトやインターネットホームページによってはブックマークから表示できない場合もあります。

ブックマークに登録する

ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録できます。
- 1件あたりのURLの文字数は、最大半角256文字までです。URLの文字数が256文字を超えるときは登録できません。

1 サイト(☞P.182の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.187の操作1～2)を表示中に、ⓜ21[Bookmark登録]を押す。

- タイトルまたはURLの先頭から全角12文字分(半角24文字分)までが登録されます。タイトルの文字数が全角12文字(半角24文字)を超えるときは、超えた部分が削除されて登録されます。タイトルがないときは、先頭から24文字のURLが登録されます。

すでにブックマークが100件登録されているとき	[Bookmarkがいっぱいです。他のBookmarkを上書きしますか?]→[はい]→●→フォルダを選ぶ→●→上書きするブックマークを選ぶ→●
すでに同じURLが登録されているとき	[同じURLが登録されています。上書きしますか?]→[はい]→● ● [いいえ]を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。
URLが長すぎるとき	[URLが長すぎて登録できません]と表示され、登録できません。

2 フォルダを選んで●を押し、登録する。

登録する	[OK]→●
タイトルを変えて登録する	[タイトル編集]→●→タイトルを編集→● ● 全角12文字(半角24文字)まで入力できます。
保存するフォルダを変更して登録する	[フォルダ変更]→●→フォルダを選ぶ→●→[OK]→●

お知らせ

- サイトやインターネットホームページ上で、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態でブックマークに登録しても、選択した項目や入力した文字はブックマークに登録されません。
- サイトやインターネットホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。
- microSDメモリーカードのコピーについては、P.322を参照してください。
- 赤外線通信については、P.333を参照してください。
- iC通信については、P.337を参照してください。

ブックマークに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード(☞**P.318**)やドコモケータイ**datalink**(☞**P.406**)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ブックマークからサイトやインターネットホームページを表示する

1 待受画面でⓘ3を押す。

- サイト表示中にⓜ22を押しても操作できます。

Bookmarkフォルダ一覧画面

登録しているすべてのブックマーク一覧を表示する	ⓜ3[全Bookmark表示]
microSDメモリーカード内のブックマークを表示する	ⓜ6[microSDデータ参照] ● 再びFOMA端末(本体)のブックマークを表示するときは、CLRを2回押します。

2 フォルダを選んで●を押し、ブックマークを選んで●を押す。

- ブックマークのURLを確認するときは、ブックマークを選んでⓜ3を押します。ブックマークのURLをコピーするときは、URL確認中にⓜ[コピー]を押します。
- 接続を中止するときは、接続中([↯]点滅)にⓘ[中止]を押します。

お知らせ

- Bookmark一覧は利用した順に表示されます。
- FOMA端末(本体)内のiモードのBookmark一覧では、フルブラウザブックマークは表示されません。

microSDメモリーカード内のブックマーク一覧画面では、iモードのブックマークとフルブラウザのブックマークが混在して表示されます。iモードのブックマークには[ ]が、フルブラウザのブックマークには[ ]が表示されます。

- コピーしたURLはメールやテキストメモの本文などに貼り付けることができます。

ブックマークをiモードメールに添付する<メール添付>

1 **Bookmark**フォルダ一覧画面(☞**P.189**)で、フォルダを選んで●を押す。

2 ブックマークを選んでⓜ5[メール添付]を押す。

3 iモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.214の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- 相手の機種が対応していない場合、添付ファイルは削除されます。

フォルダを管理する

ブックマークを最大20個([Bookmark]フォルダ含む)のフォルダに分けて管理できます。
作成したフォルダはフォルダ名を編集したり、削除できます(ただし、あらかじめ登録されている[Bookmark]フォルダは、フォルダ名を編集したり、削除することはできません)。

■ フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 **Bookmark**フォルダ一覧画面(☞**P.189**)で Ⓜ 1 1 [フォルダ新規作成]を押す。

2 フォルダ名を入力して ● を押す。

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLR を1秒以上押します。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 **Bookmark**フォルダ一覧画面(☞**P.189**)で、フォルダを選んで Ⓜ 1 2 [フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して ● を押す。

- 最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- フォルダ名を削除するときは、CLR を1秒以上押します。

■ フォルダを削除する<削除>

1 **Bookmark**フォルダ一覧画面(☞**P.189**)で、フォルダを選んで Ⓜ 2 [削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●
複数のフォルダをまとめて削除する	2→端末暗証番号を入力→●→フォルダを選ぶ●(くり返し可)→Ⓜ→[はい]→● ● すべてを選択/解除する場合は、Ⓘ[全選択]/Ⓘ[全解除]を押します。
フォルダ内に限らず、すべてのブックマークを削除する(フォルダは残す)	3→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●

ブックマークを管理する

■ ブックマークのタイトルを変更する<タイトル編集>

1 **Bookmark**フォルダ一覧画面(☞**P.189**)で、フォルダを選んで ● を押す。

2 ブックマークを選んで Ⓜ 1 [タイトル編集]を押す。

3 タイトルを編集して ● を押す。

- 最大全角12文字(半角24文字)まで入力できます。
- タイトルを削除するときは、CLR を1秒以上押します。

■ ブックマークを別のフォルダに移動する<移動>

1 **Bookmark**フォルダ一覧画面(☞**P.189**)で、フォルダを選んで ● を押す。

2 ブックマークを選んで Ⓜ 4 [移動]を押す。

3 移動方法を選ぶ。

ブックマークを1件移動する	1→フォルダを選ぶ→●
フォルダ内のすべてのブックマークを移動する	2→フォルダを選ぶ→●
複数のブックマークをまとめて移動する	3→ブックマークを選ぶ●(くり返し可)→Ⓜ→フォルダを選ぶ→● ● すべてを選択/解除する場合は、Ⓘ[全選択]/Ⓘ[全解除]を押します。

■ ブックマークを削除する<削除>

1 **Bookmark**フォルダ一覧画面(☞**P.189**)で、フォルダを選んで ● を押す。

2 ブックマークを選んで Ⓜ 2 [削除]を押す。

3 削除方法を選ぶ。

ブックマークを1件削除する	1→[はい]→●
フォルダ内のすべてのブックマークを削除する	2→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●
複数のブックマークをまとめて削除する	3→ブックマークを選ぶ●(くり返し可)→Ⓜ→[はい]→● ● すべてを選択/解除する場合は、Ⓘ[全選択]/Ⓘ[全解除]を押します。

画面メモ

サイトの内容を保存する

お好きなサイトやインターネットホームページの画面を、画面メモとして保存しておくことができます。

- 画面メモ内の画像を、データBOXのマイピクチャに保存し直すと待受画面に設定できます(☞P.125)。
- 画面メモは最大400件まで保存できます。保存できる最大件数はデータ量によって変わります。保存した画面メモのデータ量が大きいときは、保存できる最大件数は少なくなります。
- 保存できる容量分の保護設定ができます。保護した画面メモは、全削除時に削除されません。

画面メモを保存する

1 サイト(☞**P.182**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.187**の操作1～2)を表示中に、Ⓜ3 1[画面メモ保存]を押す。

- タイトルの全角12文字分(半角24文字分)までが登録されます。タイトルが設定されていないときは、[無題]と表示されます。

2 保存する。

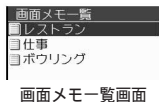
保存する	[OK]→◉
タイトルを変えて保存する	[タイトル編集]→◉→タイトルを編集→◉ ● 全角12文字(半角24文字)まで入力できます。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページ上で、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態で画面メモを保存しても、選択した項目や入力した文字は画面メモに保存されません。
- 画面メモ保存時に、最大保存件数分(400件)または1件あたりの最大サイズ分(100Kバイト)の空き容量がない場合、他の画面メモを上書きするメッセージが表示されます。

画面メモを表示する

1 待受画面で◉ 5を押す。

画面メモ一覧画面

画面メモマークの意味

(画面メモ)	通常の状態です。
(画面メモ)	保護されています。
(画面メモ)	FOMAカード動作制限(☞P.37)が設定されています。

2 画面メモを選んで◉を押す。

画面を上下にスクロールする	下:◯ 上:◯
1画面単位でスクロールする	下:[▼ページ] 上:[▲ページ]
前後の画面メモを表示する	次:◯ 前:◯
画面メモ一覧画面に戻るとき	◉[リスト]

お知らせ

- 画面メモに表示される情報は保存した時点の情報です。最新のサイトやインターネットホームページの情報と異なる場合があります。

関連操作

画面メモのURLを確認する<URL表示>
画面メモ表示画面でⓂ6 1
- 画面メモ一覧画面から:画面メモを選ぶ▶Ⓜ4
- URLをコピーするとき:Ⓜ

画面メモの詳細な情報を確認する<情報表示>
画面メモ表示画面でⓂ6 2
- 画面メモ一覧画面から:画面メモを選ぶ▶Ⓜ5
- 確認を終わるとき:◉またはCLR

画面メモ内の画像をデータBOXのマイピクチャに保存する<画像保存>
画面メモ表示画面でⓂ4 1
- 背景画像を保存するとき:Ⓜ4 2

画面メモのURLを記載したｉモードメールを作成する<メール作成>
画面メモ表示画面でⓂ5 1

画面メモ内の画像を添付したｉモードメールを作成する<画像メール作成>
画面メモ表示画面でⓂ5 2▶◉▶1[URL貼り付け]／2[画像添付]

画面メモ内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>
画面メモ表示画面でⓂ4 3

画面メモ内のFlash画像の効果音量を調節するとき<効果音設定>
画面メモ表示画面でⓂ6 6▶◯(上げる)／◯(下げる)▶◉

画面メモ内のFlash画像を再び再生する<リトライ>
画面メモ表示画面でⓂ6 5

関連操作のお知らせ

画像の取得については、**P.192**を参照してください。
画像メール作成について
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、送信できません。
- 画像メール作成については、P.196を参照してください。

電話帳登録については、**P.186**「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」を参照してください。

画面メモを管理する

画面メモを保護／削除したり、タイトルを変更できます。

画面メモのタイトルを変更する
＜タイトル編集＞

1 画面メモ一覧画面（☞P.191）で、画面メモを選んでⓜ2［タイトル編集］を押す。

- 画面メモ表示画面のときは、ⓜ2を押します。

2 タイトルを編集して⦿を押す。

- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- タイトルを削除するときは、CLRを１秒以上押します。

画面メモを保護する＜保護設定＞

- 保護された画面メモには、［保護］が表示されます。

1 画面メモ一覧画面（☞P.191）で、画面メモを選んでⓜ3［保護設定］を押す。

- 画面メモ表示画面のときは、ⓜ3を押します。

2 ［ON］／［OFF］を選ぶ。

保護する	1
解除する	2

画面メモを削除する＜削除＞

1 画面メモ一覧画面（☞P.191）で、画面メモを選んでⓜ1［削除］を押す。

- 画面メモ表示画面のときは、ⓜ1を押します。

2 削除方法を選ぶ。

画面メモを１件削除する	1→［はい］→⦿
すべての画面メモを削除する※	2→端末暗証番号を入力→⦿→［はい］→⦿
複数の画面メモをまとめて削除する	3→画面メモを選ぶ⦿（くり返し可）→ⓜ→［はい］→⦿ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ［全選択］／ⓘ［全解除］を押します。

※保護されている画面メモは削除されません。

画像保存

サイトやメッセージから画像を取得する

サイト、インターネットホームページやメッセージR／Fのお好みの画像やFlash画像、フレームやスタンプを取得して保存できます。保存した画像は待受画面などに設定できます（☞P.125）。また、デコメールのテンプレートを提供しているサイトからデコメールテンプレートをダウンロードし、メール作成に利用することもできます。

- 取得した画像はデータBOXのマイピクチャの［iモード］、［アイテム］、［デコメピクチャ］または作成したフォルダに保存できます。画像の種別やサイズによって、保存先として選択できるフォルダが変わります。デコメールテンプレートはメールメニューの［テンプレート］に保存されます（☞P.219）。
- 画像サイズが20×20ドットでファイル制限なしのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションは、デコメ絵文字として［デコメ絵文字］フォルダに保存されます。
- 画像の保存件数は、FOMA端末（本体）に保存する場合は最大1000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- 最大100KバイトのGIF画像、JPEG画像、SWF画像（Flash）を保存できます。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画を、microSDメモリーカードに直接保存することができます（コンテンツ移行対応）。

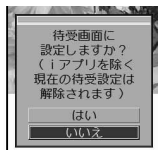
例：サイトやインターネットホームページの場合

1 サイト（☞P.182の操作１～３）やインターネットホームページ（☞P.187の操作１～２）を表示中に、ⓜ32［画像保存］を押す。

2 画像を選んで⦿を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

- ［表示画面に設定しますか？（現在の表示設定は解除されます）］と表示され、［いいえ］を選んで⦿を押すと画像が保存され操作を終了します。

3 ［はい］を選んで⦿を押し、設定先の画面を選んで⦿を押す。

- 画像のファイル形式によって、設定できる項目が異なります。設定できない項目は選択できません。
- 待受画面に設定するときは、右の画面が表示されます。［はい］を選んで⦿を押します。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- ダウンロードした画像のサイズによっては、待受画面などに設定した場合、すべて表示できない場合があります。

関連操作

デコメールのテンプレートをダウンロードしてデコメールを作成する

1 サイトやインターネットホームページを表示中に、デコメールテンプレートを選ぶ▶⦿

2 2［保存］を押す
- プレビューするとき：1
- 保存しないとき：4

3 3［メール作成］▶メール作成

関連操作

サイトや画面メモの背景画像を保存する
＜背景画像保存＞

1 サイトやインターネットホームページを表示中に、📷3 3
● 画面メモのとき：画面メモ表示画面で📷4 2

2 フォルダを選ぶ▶⦿

関連操作のお知らせ

デコメールテンプレートについて
● テンプレートを保存しないと、メール作成を選択できません。
● メモリの空き容量がない場合は、テンプレートを保存できません。不要なテンプレートを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください（☞P.220）。

iメロディ

サイトからｉメロディをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからメロディをダウンロードして保存できます。ｉメロディは最大500件まで保存できます（メロディのサイズによって、保存できる件数が変わります）。
保存したメロディは着信音に設定したり、ｉモードメールに添付したりできます。
● 最大100KバイトのSMF、MFiを保存できます。
● FOMA端末外への出力が禁止されているメロディを、microSDメモリーカードに直接保存することができます（コンテンツ移行対応）。

1 サイト（☞**P.182**の操作１～３）やインターネットホームページ（☞**P.187**の操作１～２）を表示中に、メロディを選んで⦿を押す。

2 保存する。

メロディを再生する	1 ● 再生を中止するときは、⦿またはCLRを押します。 ● 音声電話着信音（☞P.118）の音量で再生されます。音声電話着信音が［サイレント］、［ステップトーン］のときは、［音量１］で再生されます。
メロディを保存する	2→［本体］／［microSD］→⦿
保存しない	3
すでにメロディが500件保存されているとき	上書きするメロディのメロディマークを選ぶ→⦿→［はい］→⦿

お知らせ

登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード（☞**P.318**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。
● FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください（ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディは転送できません）。

PDFダウンロード

サイトからPDFデータをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからPDFデータをダウンロードして、表示・保存できます。
● ダウンロードできるPDFデータのファイルサイズは、最大２Ｍバイトまでです。２Ｍバイト以上のファイルをダウンロードすることはできません。また、ダウンロードしたPDFデータが表示できない場合もあります。
● 500Kバイト以上のPDFデータをダウンロードする場合には、［500KBを超えるデータです　ダウンロードしますか？］の確認画面が表示されます。
● FOMA端末（本体）には最大50件まで保存できます（PDFデータのサイズによって、保存できる件数が変わります）。
● ファイルサイズが不明のPDFデータは、ダウンロードできません。
● ワンセグ起動中は、PDFデータをダウンロードできません。ただし、PDFデータのダウンロード中にワンセグを起動した場合は、PDFデータの表示画面に切り替えて続きのページをダウンロードすることができます。
● ダウンロードしたPDFデータをmicroSDメモリーカードに保存したときは、\PRIVATE\DOCOMO\DOCUMENT￥PUDxxxフォルダに保存されます（☞P.321）。フォルダ名の「xxx」は、001～999の３桁の半角数字です。

1 サイト（☞**P.182**の操作１～３）やインターネットホームページ（☞**P.187**の操作１～２）を表示中に、**PDF**データを選んで⦿を押す。

分割ダウンロードに対応しているPDFデータのとき	● １ページ目がダウンロードされるとPDF対応ビューアが起動し、PDFデータが表示されます。残りのページのダウンロードも継続されます。 ● リンクを選んで他のページに移動することもできます。このとき、［続きのページをダウンロードしますか？］と表示されたら［はい］を選んで⦿を押します。
保存してから表示するタイプのPDFデータのとき	［ダウンロード保存しますか？］→［はい］→⦿ ● PDFデータを表示する前にファイル全体をダウンロードします。 ● このあと、操作３に進みます。

● PDFデータに表示されるマークの見かたについては、P.339を参照してください。

次ページへ続く▶▶

- ダウンロードに失敗したPDFデータでも再度ダウンロードすると表示できます。ただし、再度ダウンロードしても表示できない場合もあります。
- ページ単位でダウンロードしたPDFデータは、microSDメモリーカードに保存できません。

2 ダウンロードが完了したら📷◯2[保存]を押す。

3 保存する。

FOMA端末(本体)に保存する	フォルダを選ぶ→◉
microSDメモリーカードに保存する	[→microSD]→フォルダを選ぶ→◉ ● あらかじめmicroSDメモリーカードを挿入してください。 ● ファイル制限のあるPDFデータはmicroSDメモリーカードに保存できません。

- 保存が完了すると、PDFデータが表示されます。
- パスワードが設定されているときは、パスワードを入力して◉を押すと、PDFデータが表示されます。
- FOMA端末(本体)のメモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを選択削除して、メモリの空き容量を増やしてから保存します。

お知らせ

- 保存や終了の際に、しおりやマークがそれぞれ10件を超える場合、[しおり情報が10件を超えました　削除しますか？]または[マーク情報が10件を超えました　削除しますか？]と表示されます。しおりやマークを選択して削除すると、PDFデータの保存や終了ができます。

きせかえツール

きせかえツールをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからきせかえツールをダウンロードして保存できます。

- FOMA端末(本体)には最大50件まで保存できます。
- ダウンロードしたきせかえツールは、データBOXのきせかえツールの[ｉモード]フォルダまたはmicroSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダに保存されます。

1 サイト(☞P.182の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.187の操作1～2)を表示中に、きせかえツールを選んで◉を押す。

2 保存する。

きせかえツールを確認する	1
きせかえツールを保存する	2→[本体]／[microSD]→◉
保存しない	3

- 保存先がFOMA端末(本体)の場合、保存が完了すると、きせかえするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選んで◉を押すと、きせかえが実行されます。

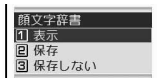
ダウンロード辞書

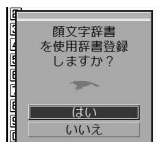
サイトから辞書をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからダウンロード辞書をダウンロードし、FOMA端末に登録して利用できます。

- ダウンロード辞書ファイルは最大10件まで登録できます(ただし、使用できる辞書は最大5件です)。
- 保存できるダウンロード辞書のファイルサイズは、最大6Kバイトです。
- FOMA端末で利用できるダウンロード辞書は、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

1 サイト(☞P.182の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.187の操作1～2)を表示中に、ダウンロード辞書を選んで◉を押す。

2 保存する。

ダウンロード辞書を表示する	1
ダウンロード辞書を保存する	2→保存先番号を選ぶ→◉ ● すでに登録されている番号を選んだときは、上書きするかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。[はい]を選んで◉を押します。
ダウンロード辞書を保存しない	3

3 辞書の使用を設定する。

ダウンロード辞書を使用する	[はい]→◉
ダウンロード辞書を使用しない	[いいえ]→◉

- すでに使用辞書設定に5件登録されているときは、使用辞書登録の確認画面は表示されません。現在設定されている辞書を解除してから、やり直してください。解除方法については、P.415「使用辞書を設定／解除する」の操作1～2を参照してください。

キャラ電ダウンロード

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからキャラ電をダウンロードし、FOMA端末に保存できます。

- ダウンロードできるキャラ電は最大100Kバイトです。
- キャラ電は最大50件まで保存できます(メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります)。
- ダウンロードしたキャラ電は、データBOXのキャラ電の[ｉモード]フォルダに保存されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電は、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用
QRコード

1 サイト(☞**P.182**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.187**の操作1～2)を表示中に、キャラ電を選んで⊙を押す。

2 保存する。

データを表示する	1 ● キャラ電プレーヤーが表示されます。
データを保存する	2
データを保存しない	3

トルカダウンロード

サイトからトルカをダウンロードする

1 サイト(☞**P.182**の操作1～3)やインターネットホームページ(☞**P.187**の操作1～2)を表示中に、トルカを選んで⊙を押す。

- サイトからダウンロードできるトルカは最大1Kバイト、トルカ(詳細)は最大100Kバイトです。

2 保存する。

トルカを保存する	[はい]→⊙
トルカを保存しない	[いいえ]→⊙
プレビュー画面を表示する	[プレビュー]→⊙

Phone To(AV Phone To)･Mail To･Web To･Media To機能

Phone To(AV Phone To)･Mail To･Web To･Media To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカ内で反転表示された情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示できます。また、ワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約を行うこともできます。

- パソコンなどから装飾されたメールを受信すると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、Media To機能が使用できない場合があります。

Phone To(AV Phone To)機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカの中に表示されている電話番号に、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信を行うことができます。

- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- ダイヤル発信制限中は、Phone To(AV Phone To)機能を使って電話をかけることはできません。

1 サイト(☞**P.182**の操作1～3)、インターネットホームページ(☞**P.187**の操作1～2)、メッセージ**R／F**(☞**P.201**)、メール(☞**P.228**)やトルカ(☞**P.265**)表示中に、電話番号を選んで⊙を押し、[はい]を選んで⊙を押す。

2 電話をかける。

音声電話	📞／⊙
テレビ電話	📹
プッシュトーク	📖／P(P)

- 電話帳に登録されている電話番号の場合、電話番号と登録されている名前が表示されます。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページの場合、電話番号自体は表示されず、[電話番号はこちら]などの文字が反転表示されることがあります。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

● メールの本文中に次の条件を満たす数字列が表示されている場合は、電話番号として認識されてPhone To（AV Phone To）機能を利用できます。
 ■ ［0］または［+］で始まる［0］と［+］を含めて10〜26桁の数字列
 ■ ［#］または［¥］で始まる［#］と［¥］を含めて5〜26桁の数字列
 ■ 「tel:」または「TEL:」で始まる3〜26桁の数字列
 ■ 「tel-av:」または「TEL-AV:」で始まる3〜26桁の数字列（テレビ電話）
 ※ 上記の数字列内に「-」（ハイフン）、「(」、「)」が含まれているときも、電話番号として認識されます（ただし、これらの記号が連続した場合は、連続した記号の前までが、電話番号として認識されます）。

Mail To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカ内に表示されているメールアドレスに、iモードメールを送ることができます。

● 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
● サイトやインターネットホームページの場合、メールアドレス自体は表示されず、［メールはこちら］などの文字が反転表示されることがあります。
● メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
● メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。51文字以上のアドレスを選択した場合は、50文字で削除されます。
● ダイヤル発信制限中は、Mail To機能を使ってiモードメールを送ることはできません。

1 サイト（☞**P.182**の操作1〜3）、インターネットホームページ（☞**P.187**の操作1〜2）、メッセージ**R／F**（☞**P.201**）、メール（☞**P.228**）やトルカ（☞**P.265**）表示中に、メールアドレスを選んで◉を押す。

● メール作成画面が表示されます。選択したメールアドレスが入力されています。
● サイトやインターネットホームページから操作したときは、題名や本文が入力されていることもあります。

2 iモードメールを作成し、送信する。

● 詳しくは、P.214の操作2〜4を参照してください。

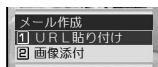
画像メールを作成する

サイトやインターネットホームページで表示されている画像のURLを貼り付けたり、画像を添付したiモードメールを作成できます。

● 送信できるのは、GIF形式またはJPEG形式の画像ファイルです。Flash画像は送信できません。
● iモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。

1 サイト（☞**P.182**の操作1〜3）やインターネットホームページ（☞**P.187**の操作1〜2）を表示中に、📷［4］［2］［画像メール作成］を押す。

2 画像を選んで◉を押し、メールの作成方法を選ぶ。

メール作成
1 URL貼り付け
2 画像添付

URLを貼り付けたiモードメールを作成する	1
画像を添付したiモードメールを作成する	2→◉

3 iモードメールを作成し、送信する。

● 詳しくは、P.214の操作2〜4を参照してください。

iアプリTo機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メールや画面メモの中に表示されているURLから、iアプリを起動します。

● iアプリTo設定が［許可する］に設定されているときに、iアプリを起動できます。
● URLが半角512文字を超える場合は、iアプリを起動できません。

1 サイト（☞**P.182**の操作1〜3）、インターネットホームページ（☞**P.187**の操作1〜2）、メール（☞**P.228**）や画面メモ（☞**P.191**）表示中に、iアプリのアドレス（**URL**）を選んで◉を押し、［はい］を選んで◉を押す。

● iアプリを起動します。

Web To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカ内に表示されているURLからiモード接続でインターネットホームページを表示できます。iモードメールの場合は、フルブラウザ接続できます。

● 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
● メール本文に静止画のURLが記載されているときは、静止画を保存できます。
● メール本文にiモーションのURLが記載されているときは、iモーションを取得することができます。
● URLが半角2048文字を超える場合は、インターネットホームページを表示できません。
● サイトやインターネットホームページの場合、URL自体は表示されず、インターネットホームページの名称などの文字が反転表示されることがあります。
● サイクロイドポジションのときは、Web To機能を利用できません。

1 サイト（☞P.182の操作1～3）、インターネットホームページ（☞P.187の操作1～2）、メッセージR／F（☞P.201）、メール（☞P.228）やトルカ（☞P.265）表示中に、アドレス（URL）を選んで◉を押す。

- 以降は、iモードのインターネット接続と同様です（☞P.187）。
- トルカ表示中は上記の手順に加えて、[はい]を選んで◉を押します。

■ iモードメール表示中にWeb To機能を使う

メール本文のURLを選択したときは、iモード接続とフルブラウザ接続を選択できます。

1 iモードメール本文のアドレス（URL）を選んで◉を押し、接続方法を選ぶ。

iモード接続する	ⓘ
フルブラウザ接続する	📖

関連操作

メール本文のURLから静止画を保存する
＜画像保存＞
URLを選ぶ ▶ ◉ ▶ ⓘ ▶ 📷 3 2 ▶ ◉ ▶ フォルダを選ぶ ▶ ◉

関連操作のお知らせ

- 静止画は、データBOXのマイピクチャの[iモード]、[デコメピクチャ]または作成したフォルダに保存できます。

Media To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールに表示されている番組情報のリンクからワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約を行うことができます。

1 サイト（☞P.182の操作1～3）、インターネットホームページ（☞P.187の操作1～2）、メッセージR／F（☞P.201）やメール（☞P.228）表示中に、番組情報のリンクを選んで◉を押す。

- ワンセグが起動したり、視聴予約／録画予約画面になります。
- 視聴予約や録画予約の場合、番組情報によっては登録項目が入力されているものがあります。
- チャンネル設定（☞P.274）をしていない状態でMedia To機能からワンセグを起動しようとすると、チャンネル設定が起動します。チャンネルリスト設定後にワンセグが起動するときは、設定したチャンネルリストの中で、一番小さい番号に設定されたチャンネルが選局されます。
- ワンセグの視聴についてはP.275、視聴予約や録画予約についてはP.279を参照してください。
- 反転表示されていてもMedia To機能が利用できない場合があります。

サイト、トルカやメッセージR／Fの位置情報を利用する

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、メールやトルカ内に表示されている位置情報を利用して、地図でその位置を確認したり、位置情報を利用するiアプリを利用したり、メールに貼り付け送信することができます。

例：サイトの場合

1 サイトを表示中（☞P.182の操作1～3）に、位置情報を選んで◉を押す。

2 利用方法を選ぶ。

位置情報を利用するiアプリを利用する	[対応iアプリを利用]→◉→iアプリを選ぶ→◉
位置情報から地図を表示する	[地図を見る]→◉
位置情報URLをiモードメールに貼り付ける	[メール貼り付け]→◉→iモードメール作成・送信（☞P.214）
位置情報を確認する	[対応iアプリを利用]／[地図を見る]／[メール貼り付け]→◉→📷 ● 戻るときはCLRを押します。

iモードの設定を行う

iモード接続に関する各種の機能を設定します。

Flash画像の効果音量を調節する ＜効果音設定＞

お買い上げ時 音量5

Flash画像の効果音量を設定できます。

- マナーモード設定中は、効果音を設定しても効果音は鳴りません。
- Flashによっては効果音の鳴らないものもあります。

1 サイト（☞P.182の操作1～3）やインターネットホームページ（☞P.187の操作1～2）を表示中に、📷 7 5［効果音設定］を押す。

- 待受画面でⓘ 7 3 7を押しても操作できます。

次ページへ続く▶▶

2 ◯(上げる)／◯(下げる)を押して音量を調節し、◉を押す。

- 効果音を鳴らさないときは、[サイレント]を選んで◉を押します。

接続待ち時間を設定する ＜接続待ち時間設定＞

お買い上げ時 60秒間

サイトやインターネットホームページが混みあっていてデータの送受信ができなかったときに、自動的にデータの送受信を中止するまでの時間を[60秒間]、[90秒間]、[無制限(設定なし)]のいずれかに設定できます。

1 待受画面で◉7 1 1を押し、接続待ち時間を選ぶ。

60秒間	1
90秒間	2
無制限(設定なし)	3 ● ｉモードセンターとの切断時間を設定しません(ただし、電波状況などにより切断される場合があります)。

お知らせ

- 設定されている接続待ち時間が経過した場合、[設定時間内に接続できませんでした]と表示され、元の画面に戻ります。

ｉモードから接続先を変更する(ISP接続通信)＜ｉモード接続先選択＞

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。

■ ISP接続通信とは

ドコモのFOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ(ISP)への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申し込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。

※ ｉモードをご契約しているお客様はお申し込み不要です。

- ドコモ以外の接続先を選択した際のパケット通信はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

■ プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容(サイト接続、インターネット接続、メール機能など)、お申し込み方法については、各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合があります。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダにお客様の電話番号や位置情報が通知される場合があります。
- FOMA端末(本体)に登録できる接続先は、最大10件です(「ｉモード(FOMAカード)」を含まず)。
- 「ｉモード(FOMAカード)」以外の接続先にすると、ｉモードをご利用できなくなります。

■ 接続先を登録する

最大10件(「ｉモード(FOMAカード)」を含まず)まで登録できます。

1 待受画面で◉7 1 2を押す。

2 登録する番号を選んで◉を押し、2[編集]を押す。

3 端末暗証番号を入力して◉を押す。

4 接続先名称を入力して◉を押す。

- 新規登録のときは[接続先○]と表示されます(○には操作2で選択した接続先の番号が表示されます)。
- 表示されている接続先名称を消すときは、CLRを1秒以上押します。
- 最大全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

5 接続先番号を入力して◉を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

6 接続先アドレスを入力して◉を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。

7 ｉチャネルの接続先アドレスを入力して◉を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。

■ 接続先を変更する

あらかじめ、接続先を登録しておく必要があります。

1 待受画面で◉7 1 2を押す。

2 接続先の番号を選んで◉を押し、1[設定]を押す。

- [ｉモード(FOMAカード)]を選んで◉を押した場合は、[ｉモード(FOMAカード)を選択しました]と表示され、接続先が変更されます。

お知らせ

- ドコモのｉモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。
- お買い上げ時の接続の情報を変更することはできません。

関連操作

登録内容をリセットする<リセット>

「接続先を変更する」の操作1の画面で、接続先の番号を選ぶ▶●▶[3]▶端末暗証番号を入力▶●

関連操作のお知らせ

- 現在設定されている接続先をリセットすると、接続先は「ｉモード（FOMAカード）」になります。

Flash再生時に端末情報を利用するかどうかを設定する<端末情報データ利用設定>

お買い上げ時　利用する

1 待受画面で(i)[7][3][6]を押し、[1][利用する]を押す。

画像を表示しないようにする<画像表示設定>

お買い上げ時　ON（表示する）

サイト、インターネットホームページの画像や画面メモの画像を表示しないように設定できます。

1 待受画面で(i)[7][3][1]を押し、[2][**OFF**]を押す。

- サイト表示中に(MENU)[7][6]を押しても操作できます。

お知らせ

- 画像表示設定を、[OFF]に設定すると、画像の表示位置に[🔍]が表示されます。
  この場合、表示されている[🔍]を画面メモに登録しても、画像は保存されません（☞P.191）。
- 画像表示設定を、[OFF]に設定すると、Flash画像も表示されません。
- ｉモードメールやメッセージR／Fの添付画像は、画像表示設定を[OFF]に設定していても表示されます。

ｉモード通信中にプッシュトーク着信を受けるかどうかを設定する<ｉモード通信中着信設定>

お買い上げ時　プッシュトーク着信優先

1 待受画面で(i)[7][4]を押し、優先順位を選ぶ。

プッシュトークを優先する	[1]
ｉモードを優先する	[2]

ｉモード機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す<ｉモード設定リセット>

ｉモードに関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。リセットされる項目と、お買い上げ時の状態は次のとおりです。

設定項目			お買い上げ時の設定
共通設定	接続待ち時間設定		60秒間
	接続先選択		ｉモード（FOMAカード）
Internet設定	画像表示設定		ON
	文字サイズ設定		標準
	証明書設定		ドコモ証明書1～2、ユーザ証明書、CA証明書すべて有効
	ｉモーション設定	自動再生設定	する
		ｉモーションタイプ設定	標準タイプ
	セキュア通信サービス設定	センター接続先設定	ドコモ
	端末情報データ利用設定		利用する
	効果音設定		音量5
ｉモード通信中着信設定			プッシュトーク着信優先

- ｉチャネル初期化も行われます（☞P.210）。

1 待受画面で(i)[7][5]を押し、端末暗証番号を入力して●を押す。

2 [はい]を選んで●を押す。

メッセージR／F

メッセージR／Fとは

メッセージサービスを提供するサイトにお申し込みいただくことにより、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
メッセージにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

- メッセージR／Fの受信方法はP.200「メッセージR／Fを受信したときは」を参照してください。
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどで受信できないときは、メッセージR／Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードパスワードは４桁の数字を入力してください（☞P.144）。

■ メッセージR（リクエスト）

メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。

■ メッセージF（フリー）

パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

メッセージF（フリー）の設定方法

［ｉMenu］→［料金＆お申込・設定］→［オプション設定］→［メッセージF設定］→［受信する］を選択後、ｉモードパスワードを入力し［決定］

メッセージR／F受信

メッセージR／Fを受信したときは

FOMA端末がｉモード圏内にあるときは、ｉモードセンターからメッセージR／Fを自動的に受信します。

- メッセージR／Fは、それぞれ最大50件までFOMA端末に保存できます（メッセージのサイズによって、保存できる件数が変わります）。
- FOMA端末が以下のようなときに送られてきたメッセージR／Fは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ 圏外
  - ■ テレビ電話の通話中
  - ■ プッシュトーク通信中
  - ■ おまかせロック中
  - ■ 赤外線通信中
  - ■ FirstPassセンター接続中
  - ■ 保護や未読のメッセージR／Fがいっぱいで空き容量がないとき
  - ■ ｉC通信中

お知らせ

- FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいのときは、未読メッセージの確認（☞P.201）、メッセージR／Fの保護解除（☞P.203）、不要なメッセージR／Fの削除（☞P.203）を行ってください。ｉモードセンターでお預かりしているメッセージがあるときは、ｉモード問い合わせ（☞P.201）を行ってください。
- メッセージR／Fを受信したときに、メモリの空き容量がない場合、保護されていない一番古い既読のメッセージR／Fから順に自動的に上書きされます。上書きされたくないメッセージR／Fを保護できます（☞P.203）。

お知らせ

- 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中、パターンデータ更新中、通常ポジションおよびサイクロイドポジションの全画面表示でワンセグを視聴中や録画中にメッセージを受信した場合、メッセージ着信音は鳴りません。

マークの意味

マーク	意　味
R／F（緑色）	未読メッセージR／Fがあります。
R／F（黄色）	FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいです。
R／F	センターでメッセージR／Fをお預かりしています。
R／F	センターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。
R／F	未読メッセージR／Fとセンターでお預かりしているメッセージR／Fがあります。
R／F	未読メッセージR／Fがあります。また、センターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。
R／F	FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいです。また、センターでメッセージR／Fをお預かりしています。
R／F	FOMA端末の受信メッセージR／Fと、センターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。

R（緑色）R（黄色）RRRRRR：リクエスト、
F（緑色）F（黄色）FFFFFF：フリーの意味です。

- ｉモードセンターでメッセージR／Fが保存されていても、［R］／［F］、［R］／［F］、［R］／［F］、［R］／［F］、［R］／［F］、［R］／［F］が表示されない場合があります。
- ［R］／［F］、［R］／［F］、［R］／［F］が表示された場合、ｉモードセンターのメッセージR／Fが上書きされることがあります。

新着メッセージR／Fを表示する

メッセージR／Fが届くと、最新の１件が自動的に表示されます。
ただし、メッセージ自動表示設定を［自動表示なし］に設定している場合、受信したメッセージR／Fは表示されません。

- 自動表示を行うメッセージの種類や、別の種類のメッセージR／Fを同時に受信したときの優先順位を設定できます。

1 メッセージR／Fが届くと自動的に受信する。

- メッセージR受信中は［R］（緑色）が、メッセージF受信中は［F］（緑色）が点滅します。
- 受信終了後、メッセージR／Fの受信結果が表示され、メッセージ着信音が鳴ります（［R］（緑色）／［F］（緑色）表示）。

すぐにメッセージR／Fの内容を確認する	受信完了画面で［メッセージR］／［メッセージF］を選ぶ→◉→メッセージR／Fを選ぶ→◉
着信音を止める	CLRまたは☎ ● 着信音が止まり、受信完了画面が消えます。○を押すと、受信完了画面のまま着信音が止まります。

2 受信したメッセージR／Fを約15秒間表示し、自動的に待受画面に戻る（自動表示するように設定している場合）。

- メッセージR／Fの表示を続けるときは、メッセージR／Fを表示中に◯を押して、スクロールなどの操作を行います。

メッセージR／Fを自動的に表示する ＜メッセージ自動表示設定＞

お買い上げ時 メッセージR優先

自動表示を行うメッセージの種類と、優先順位を設定できます。

1 待受画面で✉9 7を押し、表示方法を選ぶ。

メッセージR優先	1	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
メッセージF優先	2	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。
メッセージRのみ	3	未読のメッセージRのみ自動表示します。
メッセージFのみ	4	未読のメッセージFのみ自動表示します。
自動表示なし	5	自動表示しません。

お知らせ

- 自動表示を行うように設定しているときは、次の場合に最新の未読メッセージR／Fを約15秒間表示します。
  - ■ 受信完了画面から待受画面に戻るとき
- 次の場合は、メッセージ自動表示の設定にかかわらず、自動表示されません。
  - ■ オールロック中　■ おまかせロック中
  - ■ メールの機能別ロック中

iモード問い合わせ

メッセージR／Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたメッセージR／F（☞P.200）はiモードセンターに保管されています。
iモードセンターに問い合わせて受信できます。

- iモード問い合わせを行う種類（iモードメール、メッセージR／F）を設定できます（☞P.238）。
- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときも、iモード問い合わせをすると、iモードメールやメッセージR／Fを受信します。
- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせをするように設定されています。
- SMSの問い合わせについては、P.242を参照してください。

1 待受画面で(i)4または✉6 1を押す。

- 待受画面で✉を2回押しても問い合わせできます。
- iモード問い合わせ設定（☞P.238）の設定に従い、［iモードメール］→［メッセージR］→［メッセージF］の順でiモード問い合わせを行います（問い合わせをしているマーク（［✉］、［R］（緑色）、［F］（緑色））が順次表示されます）。
- 受信を中止するときは、受信中に◉を押します。
- 受信を中止したメッセージR／Fは、iモードセンターに保管されます（［R］／［F］表示）。
- 受信を中止するタイミングにより、メッセージR／Fを受信してしまう場合もあります。

2 新しく届いたメッセージR／Fがある場合は、メッセージR／F着信音が鳴る。

- センターにメッセージR／Fが保管されていないときは、件数が［0］と表示されます。
- iモードメールとメッセージR／Fを同時に受信した場合は、最後に受信したメールまたはメッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。
- 着信音を途中で止めるときは、CLRを押します。他のボタンでも止めることができます（☞P.224）。

3 受信完了画面で、［メッセージR］または［メッセージF］を選んで◉を押す。

- すぐに表示しないときは、受信完了画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後に待受画面に戻ります。
- iモード問い合わせで受信したメッセージR／Fは、自動表示されません。

4 表示したいメッセージR／Fを選んで◉を押す。

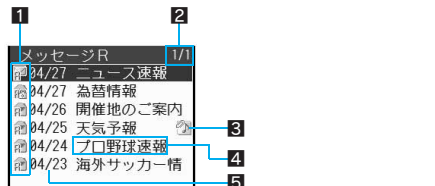
メッセージR／F表示

メッセージBOXのメッセージR／Fを表示する

1 待受画面で(i)2を押し、メッセージR／Fを選ぶ。

メッセージRを表示する	1→メッセージRを選ぶ→◉
メッセージFを表示する	2→メッセージFを選ぶ→◉

メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

■ メッセージ一覧画面の見かた

1 未読／既読／保護マーク

／	未読メッセージR／F
／	既読メッセージR／F
／	既読メッセージR／F（保護有）

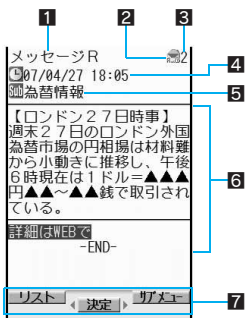
2 メッセージR／F一覧画面のページ番号／総ページ数

3 メロディ／画像／トルカの有無

	メロディが添付されています。
	GIF画像が添付されています。
	JPEG画像が添付されています。
	トルカが添付されています。
	複数のファイルが添付されています。

4 題名
メッセージR／Fの題名が表示されます。

5 受信日時
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ メッセージ表示画面の見かた

1 メッセージの種別

2 保護マーク
保護されているときに表示されます。

	メッセージR（保護有）
	メッセージF（保護有）

3 メッセージ番号

4 受信日時

5 題名

6 本文
文末には[-END-]が表示されます。

7 画面操作

画面を上下にスクロールする	下：	上：
１画面単位でスクロールする	下：	上：
前後のメッセージ内容を表示する	次：	前：

- メッセージR／Fにメロディが添付されているときは、本文の上の行に[ ]とメロディのファイル名が表示されます。
- メロディ自動再生を[自動再生する]に設定しているときは、メロディが自動再生されます。
- メッセージR／Fに画像が添付されているときは、本文の上に画像と種別マーク、ファイル名が表示されます。

関連操作

メッセージR／F内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞
メッセージ表示画面で 5

関連操作のお知らせ

- 以降の操作については、P.186「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」を参照してください。

添付ファイルを確認・保存する ＜添付ファイル確認＞

メッセージR／Fに添付されている画像やメロディファイルを、確認・保存することができます。添付ファイルは、それぞれのカテゴリの選択した保存先に保存されます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.202）で、メッセージR／Fを選んで を押し、 2 [添付ファイル確認]を押す。

2 添付ファイルを選んで確認する。

確認する		
保存する	画像	→[はい]→ →フォルダを選ぶ→
	メロディ	→[はい]→ →[本体]／[microSD]→
	トルカ	→[はい]→ →[本体]／[microSD]→

挿入された画像を確認・保存する ＜本文中画像確認＞

メッセージR／Fの本文に挿入されているGIF画像・JPEG画像や、背景画像を確認・保存することができます。挿入ファイルは、それぞれのカテゴリの選択した保存先に保存されます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.202）で、メッセージR／Fを選んで を押し、 3 [本文中画像確認]を押す。

2 画像を選んで確認する。

確認する	⦿
保存する	≣→[はい]→⦿→フォルダを選ぶ→⦿

お知らせ

- 添付された画像については、**添付ファイル確認**で確認・保存を行ってください。

メッセージR／Fを管理する

メッセージR／Fを上書きできないように保護したり、削除できます。

■ メッセージR／Fを保護する＜保護＞

受信したメッセージR／Fを保護したり、保護されているメッセージR／Fの保護を解除できます。保護すると上書きできません。

- 保存するメモリの空き容量がない場合、すでに読んだ同じ種類のメッセージのうち、古いものから順に自動的に削除されます。
- メッセージR／Fはそれぞれ25件まで保護できます（ただし、メッセージのサイズによって、保護できる件数が少なくなります）。
- 未読のメッセージR／Fは保護できません。

1 メッセージ一覧画面（☞**P.202**）またはメッセージ表示画面（☞**P.202**）で、メッセージ**R**／**F**を選んでⓘ①[保護]を押す。

2 [**ON**]／[**OFF**]を選ぶ。

保護する	①
解除する	②

■ メッセージR／Fを削除する＜削除＞

1 メッセージ一覧画面（☞**P.202**）で、メッセージ**R**／**F**を選んでⓘ②[削除]を押す。

- メッセージ表示画面から削除するときは、メッセージ表示画面でⓘ④を押し、[はい]を選んで⦿を押します。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	①→[はい]→⦿
複数をまとめて削除する	②→メッセージR／Fを選ぶ⦿（繰り返し可）→ⓘ→[はい]→⦿ ● すべてを選択／解除する場合は、≣[全選択]／≣[全解除]を押します。
すべてを削除する	③→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿ ● 未読または保護されているメッセージR／Fは削除されません。

SSL証明書を操作する

CA証明書の有効／無効を設定する ＜証明書設定＞

お買い上げ時　すべて有効

SSLページを表示する際は以下の証明書が必要です。

- CA証明書…認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されています。
- ユーザ証明書…FOMA端末内のFirstPassセンターのメニュー（☞P.204）を選択してFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色／白色）内に保存されます。

各証明書の内容は、表示できます。また、万が一、CA証明書自体の安全性に問題が生じた場合は、CA証明書を無効にできます。

- CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSLページは表示できません。

1 待受画面で≣⑦③③を押し、証明書を選んでⓘ[有効／無効]を押す。

- 有効な証明書には[☑]が、無効な証明書には[☐]が表示されます。
- 有効／無効が切り替わります。
- 証明書の内容を表示するときは、証明書を選んで⦿[表示]を押します。

FirstPassの設定を行う ＜ユーザ証明書操作＞

FirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続する際は、ユーザ証明書が必要です。ユーザ証明書は、お客様がFOMAと契約されていることを証明するもので、FirstPassセンターからユーザ証明書の発行を申請したり、ダウンロードしたりできます。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカード（緑色／白色）に保存され、クライアント認証に対応しているサイトやインターネットホームページで利用できます。

- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FOMAデータプランではｉモードブラウザからのSSLクライアント認証の機能はご利用になれません（ISP接続通信でご利用の場合は料金プランにかかわらずご利用いただけます）。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻を正しく設定してください（☞P.45）。
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

次ページへ続く

お知らせ

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。
  FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意のうえ、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です（☞P.146）。
  PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分にご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。
- ｉモード通信によるFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルに含まれます。

クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバー認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。

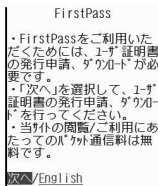
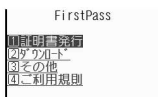
■ FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は変更されることがあります。

1 待受画面で(i)7351を押す。

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。
次へ/English

2 [次へ]を選んで⦿を押す。

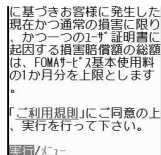
FirstPass
1証明書発行
2ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ
3その他
4ご利用規則

お知らせ

- FirstPassを利用する前には、操作２の画面で、[ご利用規則]を選択し、記載内容をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターへ接続中は、次の機能を利用できません。
  - ｉモードメールの送受信（SMSの受信／返信は利用可）
  - ｉモード問い合わせ（SMS問い合わせ）
  - メッセージR／Fの受信
  - ｉモーションの取得
  - Web To機能
  - プッシュトーク

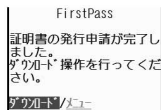
■ ユーザ証明書の発行を申請して、ダウンロードする

ユーザ証明書のダウンロードを行う前に必ずユーザ証明書の発行を申請し、ユーザ証明書をダウンロードします。

1 **FirstPassセンターに接続（☞P.204「FirstPassセンターに接続する」）し、**[証明書発行]を選んで⦿を押す。

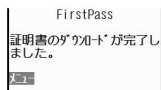
に基づきお客様に発生した現在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。
「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。
実行/ﾒﾆｭｰ

2 [実行]を選んで⦿を押す。

3 **PIN2コードを入力して**⦿を押す。

FirstPass
証明書の発行申請が完了しました。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ操作を行ってください。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ/ﾒﾆｭｰ

4 [ダウンロード]を選んで⦿を押す。

5 [実行]を選んで⦿を押す。

- 終了するときは、☎を押し[はい]を選んで⦿を押します。

FirstPass
証明書のﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが完了しました。
ﾒﾆｭｰ

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続します。

- ダウンロードしたユーザ証明書を見る方法については、P.203を参照してください。

1 サイト（☞P.182の操作1～3）やインターネットホームページ（☞P.187の操作1～2）に接続し、FirstPass対応のサイトを表示する。

- サイト表示中にサーバー証明書を参照するときは、ⓜ7 2を押します。

2 [はい]を選んで●を押し、PIN2コードを入力して●を押す。

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続した場合、[ユーザ証明書がありません　継続しますか？]と表示されます。[いいえ]を選ぶとSSL通信が切断されます。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再び接続してください。
- ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、[ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？]と表示されます。[NO]を選択すると元のページに戻ります。FirstPassセンターでユーザ証明書を更新してから再び接続してください。

ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターに接続（☞P.204「FirstPassセンターに接続する」）し、[その他]を選んで●を押し、[証明書失効]を選んで●を押す。

2 [はい]を選んで●を押し、PIN2コードを入力して●を押す。

3 [実行]を選んで●を押し、[次へ]を選んで●を押す。

4 [実行]を選んで●を押す。

- [証明書の失効申請が完了しました。]の画面が表示されます。
- 終了するときは、☎を押し[はい]を選んで●を押します。

お知らせ

- 失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトは表示できなくなります。
- 失効が完了したユーザ証明書を有効にする場合には、再びユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。

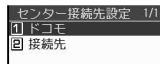
証明書発行接続先を変更する
<センター接続先設定>

お買い上げ時　ドコモ

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面でⓜ7 3 5 2を押す。

センター接続先設定　1/1
1 ドコモ
2 接続先

2 2[接続先]を押す。

- 接続先をドコモにするとき：1

3 2[編集]を押し、端末暗証番号を入力して●を押す。

- リセットするときは、3を押し、端末暗証番号を入力して●を押します。お買い上げ時の設定に戻ります。

4 接続先情報を入力して●を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

5 接続先アドレスを入力して●を押す。

- 半角英数字と記号を、最大半角100文字まで入力できます。

ｉモーション

ｉモーションとは

ｉモーションとは、映像や音声、音楽のデータです。ｉモーション対応サイトやインターネットホームページから、FOMA端末に取得することができます。取得したｉモーションは、その場で再生したり、FOMA端末に保存して楽しむことができます。
ｉモーション対応サイトは、ｉMenuの[メニュー／検索]から探すこともできます。

- ｉモーションには、標準タイプとストリーミングタイプがあります。
  - ■ 標準タイプ（最大500Kバイト）
    FOMA端末に保存できます。次の２つのタイプがあります。
    - 取得したあとで再生するタイプ
    - 取得しながら再生可能なタイプ

    ｉモーションによっては、標準タイプでも保存できないものがあります。
  - ■ ストリーミングタイプ（最大２Mバイト）
    ストリーミングタイプとは、データを取得しながら同時に再生する方式で、再生し終わったデータは破棄され、くり返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。なお、自動再生設定（☞P.207）を[しない]に設定しても、ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生されます。
- 取得したｉモーションがどちらのタイプであるかは、サイトやインターネットホームページによって異なります。

- ｉモーションは最大100件まで保存できます（ｉモーションのサイズによって、保存できる件数が変わります）。
- サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションを、microSDメモリーカードに移動できます。ただし、取得元のサイトによっては移動できない場合もあります。

着信音・着信画面の組み合わせ

着信音・着信画面にｉモーションを設定した場合の組み合わせと動作は次のとおりです。

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は着信画像に設定できません。
- 音声のないｉモーションは着信音に設定できません。

設定した着信音の種類	設定した着信画面の種類	着信したときに動作する着信音と着信画面の種類
メロディ	JPEG画像、GIF画像、音声のないｉモーション、Flash画像	着信音：メロディ 着信画像：設定した着信画像※
映像と音声を含むｉモーション	映像と音声を含むｉモーション	着信音：映像と音声を含むｉモーション 着信画像：映像と音声を含むｉモーション
音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）	JPEG画像、GIF画像	着信音：音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション） 着信画像：設定した着信画像
着信音量サイレント	JPEG画像、GIF画像、音声のないｉモーション、Flash画像	着信音：サイレント 着信画像：設定した着信画像※

※ Flash画像の効果音は再生されません。

お知らせ

- 着信音に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信画像もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、着信画像は変更されず、設定した画像が表示されます。
- 着信画像に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信音もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、映像のみのｉモーションの場合は、次の優先順位に設定した着信音が再生されます。
- 着信音は、電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音の優先順位で鳴ります。
- 設定した画像は、電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、お買い上げ時に設定されている画像が表示されます。

お知らせ

- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定していた場合の動作は次のとおりです。
  - 着信音にメロディ、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると着信画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 着信画面にJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、映像のみのｉモーションを設定すると着信音は［着信音1］に戻ります。
  - 着信画面も音声電話着信画面に従って表示されます。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。

ｉモーション取得

サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得し再生する

サイトやインターネットホームページからｉモーションを取得して再生します。

- ワンセグ起動中は、ｉモーションをダウンロードできません。

1 サイト（☞P.182の操作1～3）やインターネットホームページ（☞P.187の操作1～2）を表示中に、ｉモーションを選んで⦿を押す。

ストリーミングタイプのとき		［はい］→⦿ ● 取得しながら再生されます。
標準タイプのとき	自動再生設定［する］	ｉモーションを取得し、準備ができたら再生します。
	自動再生設定［しない］	再生・保存などの選択画面が表示されます。1を押すと再生し、2を押すと保存し、3を押すと情報が表示されます。 ● ｉモーションが保存されていない場合に4［戻る］を押すと［このｉモーションを保存しますか？］と表示されます。［はい］を選んで⦿を押すと保存されます。

- 取得を中止するときは、取得中にCLRまたは⦿を押します。
- 再生を中止するときは、📖を押します。
- 再生中に一時停止するときは、⦿［ポーズ］を押します。

お知らせ

- ｉモーションによっては、データ取得中の再生ができないものもあります。
- ｉモーションタイプ設定が［標準タイプ］に設定されているとき、ストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとすると、［このｉモーションを再生するためには、ｉモーションタイプ設定を変更してください。変更しますか？］と表示されます。［はい］を選択すると、ｉモーションタイプ設定が変更され、取得することができます。

お知らせ

- データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生できなくなったときでも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。
- ｉモーションのデータ取得中に、電波状況により再生が停止したり、画像が乱れたりすることもあります。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末の日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限／再生期間が決められているｉモーションは、再生できません。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。
- ｉモーションは着モーション（☞P.116）、待受画面（☞P.125）に設定できます。設定できないｉモーションもあります。

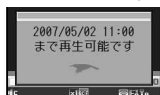
再生期間が設定されたｉモーション

再生期間が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、右の画面が表示されます。

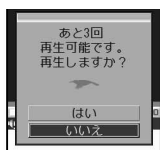
- 再生期間前および再生期間後には再生できません。
- 再生期間が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、[再生制限データに誤りがあるため、取得できません]と表示されます。

再生期限が設定されたｉモーション

再生期限が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、右の画面が表示されます。

- 再生期限が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、[再生制限データに誤りがあるため、取得できません]と表示されます。

再生回数が設定されたｉモーション

再生回数が設定されているｉモーションを取得し、FOMA端末（本体）に保存してから再生しようとすると、右の画面が表示されます。

- 再生回数が0回のｉモーションを取得しようとしたときは、[このデータは保存できません。取得しますか？]と表示されます。取得するときは[はい]を選んで◉を押します。

ｉモーションを保存する

取得したｉモーションを保存しておくことができます。

- ｉモーションはデータBOXのｉモーションの[ｉモード]フォルダに保存されます。microSDメモリーカードに保存できるｉモーションは、[移行可能コンテンツ]フォルダ内の[ｉモーション]フォルダに保存できます（コンテンツ移行対応）。
- 保存したｉモーションは、ｉモーションプレーヤーで再生できます。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。

1 取得したｉモーションの再生または停止（一時停止）中に、📷1[保存]を押す。

2 [本体]／[**microSD**]を選んで◉を押す。

テロップ中にリンクが設定されていたとき

ｉモーション再生中のテロップにリンクが設定されていた場合、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能を利用できることがあります。また、表示される電話番号、メールアドレスは電話帳に登録できます。

1 取得したｉモーションを再生後、ダイヤル発信画面（**Phone To**（**AV Phone To**）の場合）、メール作成画面（**Mail To**の場合）、サイト接続画面（**Web To**の場合）が表示される。

2 操作を選んで◉を押す。
- 以降の操作については、P.195～P.197を参照してください。
- 元の画面に戻るときは、CLRを押します。

ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションの詳細情報を表示できます。

1 取得したｉモーションの再生または停止（一時停止）中に、📷3[情報表示]を押す。
- データBOXからｉモーションを再生したときは、📷4を押します。
- ストリーミングタイプのｉモーションのときは、取得中または一時停止中に、📷2を押します。
- 確認を終わるときは、◉またはCLRを押します。

自動再生設定

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時 する

ｉモーションを取得した際に、自動再生するかどうかを設定できます。

1 待受画面で🄼7341を押し、1[する]を押す。

お知らせ

- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生の設定にかかわらず、常に自動再生されます。
- 自動再生を[する]に設定しても、ｉモーションによっては自動再生されない場合があります。
- 自動再生を[しない]に設定すると、ｉモーションの取得完了後、再生や保存操作を選択する画面が表示されます。

iモーションタイプ設定

取得するiモーションのタイプを設定する

お買い上げ時　標準タイプ

iモーションを取得するときに、標準タイプのiモーションのみを取得するか、標準タイプとストリーミングタイプ両方のiモーションを取得するかを設定できます。

1 待受画面で(i)7342を押し、iモーションのタイプを選ぶ。

標準タイプのみを取得する	1
標準タイプとストリーミングタイプを取得する	2

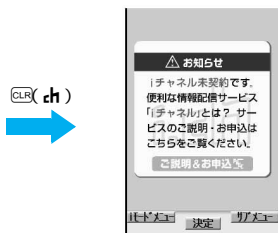
お知らせ

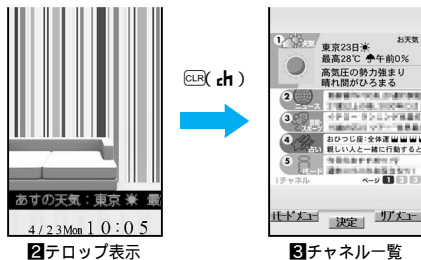
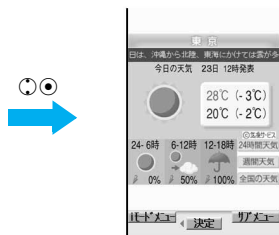
- ストリーミングタイプのiモーションを取得する場合は、iモーションタイプ設定を[標準／ストリーミングタイプ]に設定する必要があります。
- [標準タイプ]に設定したまま、ストリーミングタイプのiモーションを取得しようとすると、[このiモーションを再生するためには、iモーションタイプ設定を変更してください。変更しますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、iモーションタイプ設定が変更され、取得することができます。

iチャネル

iチャネルとは

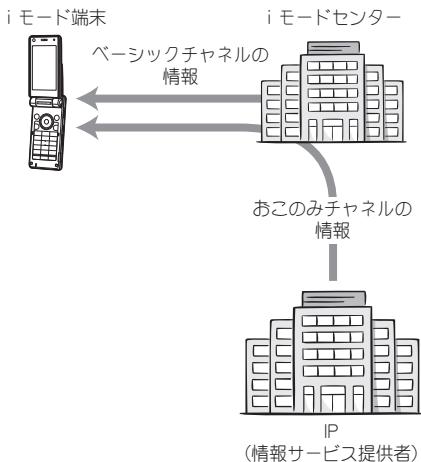
ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧が表示されます（チャネル一覧の表示方法は☞P.209）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
iチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

未契約

1未契約時

契約後

2テロップ表示　3チャネル一覧

4詳細情報画面

1 iチャネルをご契約いただいていない場合。
2 iチャネルをご契約いただいたあと、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
3「ch」ボタンを押下するとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
4 各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。
※ 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

iチャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでiチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はiチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。なお、「ベーシックチャネル」、「おこのみチャネル」の情報ともに、待受画面にテロップとして流すことができます。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約が必要です。

- 操作方法は☞P.209

おためしサービス

ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。
おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ｉチャネル対応ボタンを押下することで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、１つのご契約者回線につき１回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』を参照してください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約し、ｉチャネル情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。詳しい情報を見たいときは、チャネル一覧からサイトに接続して詳細情報を入手できます。

1 待受画面でCLR（ch）を押す。

- チャネル一覧が表示されます。
- 待受画面にｉアプリを設定しているときは、CLR（ch）を１秒以上押します。
- 待受画面でⓘ８１を押してもチャネル一覧を表示できます。
- 最初にｉチャネル情報を取得する際は、情報をすべて受信するまで、☎を押しても中止できません。

2 チャネルを選んで◉を押す。

お知らせ

最新情報の受信について

- 電源が入っていないときや圏外など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。チャネル一覧を表示したときに情報を受信すると、待受画面でテロップが流れます。
- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。ただし、情報を受信中は、メール送受信中ランプが点滅します。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したときに情報を受信することがあります。
- オールロック中は、チャネル一覧を表示できません。
  ｉモード／ｉチャネルの機能別ロック中は、端末暗証番号の入力が必要です。

ｉチャネルの接続先変更について

- ｉモードの接続先選択でｉチャネルの接続先を設定できます。通常は設定を変更する必要はありません。
- ｉチャネルの接続先を変更すると、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。ただし、チャネル一覧を表示すると最新の情報を受信し、ｉチャネルテロップが表示されます。
- ｉチャネルの接続先変更後、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、チャネル一覧を表示してください。

サイクロイドポジションでのご利用について

- サイクロイドポジションでチャネル一覧を表示しようとすると［縦に戻してご利用下さい］と表示されます。チャネル一覧を表示する場合は、通常ポジションに戻してご利用ください。

効果音の音量を調節する<効果音設定>
チャネル一覧で⑩７５▶◌（上げる）／◌（下げる）▶◉

関連操作のお知らせ

- ｉチャネルの音量は、ｉモードの効果音設定と共通の設定です。

ｉチャネルテロップ設定

ｉチャネルの設定を行う

メインディスプレイに表示する

お買い上げ時	ON テロップ文字サイズ:大(標準) テロップ色:パターン1 (文字色:緑、背景色:黒) テロップ速度:標準

メインディスプレイにｉチャネルテロップを表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で🅜8 2 1を押し、1[ON]を押す。
- 表示させないときは、2[OFF]を押します。

2 [テロップ文字サイズ設定]を選んで⦿を押し、文字サイズを選ぶ。

小	1
中	2
大(標準)	3

- 画面下部にテロップの見本が表示されます。

3 [テロップ色設定]を選んで⦿を押し、テロップの色を選んで⦿を押す。
- [パターン1]～[パターン9]から選択します。

4 [テロップ速度設定]を選んで⦿を押し、速度を選ぶ。

遅い	1
標準	2
速い	3

5 🅜[完了]を押す。

サブディスプレイに表示する

お買い上げ時	OFF

サブディスプレイにｉチャネルテロップを表示するかどうかを設定します。
- [ON]に設定している場合に、FOMA端末を閉じた状態で、▲を押すと、ｉチャネルテロップが先頭からスクロール表示されます。

1 待受画面で🅜8 2 2を押し、1[ON]を押す。
- 表示させないときは、2[OFF]を押します。

お知らせ
- お客様の操作によりｉチャネルテロップ設定を[OFF]にした場合、ｉチャネルテロップは表示されません。
- テロップ表示のON／OFFやメインディスプレイのテロップの速度は、ｉチャネルテロップ設定で設定できます。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約すると、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。

お知らせ
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービスを解約した場合、ｉチャネルテロップ設定は[ON]に設定されたままとなります。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービス未契約時は、ｉチャネルテロップは表示されません。
- **オールロック**中、ｉモード／ｉチャネルの**機能別ロック**中、**公共モード(ドライブモード)**中は、ｉチャネルテロップは表示されません。
- **カレンダー表示設定**とメインディスプレイのｉチャネルテロップ設定がどちらも設定されているときは、待受画面で☎を押すと、カレンダー表示とｉチャネルテロップ表示が切り替わります。

ｉチャネル初期化

ｉチャネルの設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 待受画面で🅜8 3を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 [はい]を選んで⦿を押す。

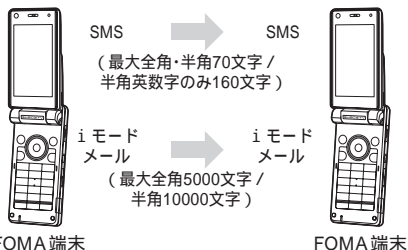
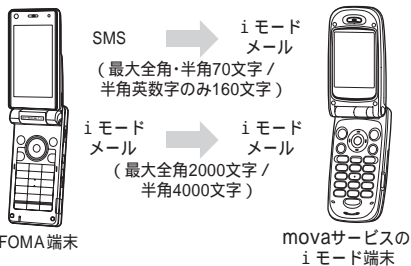
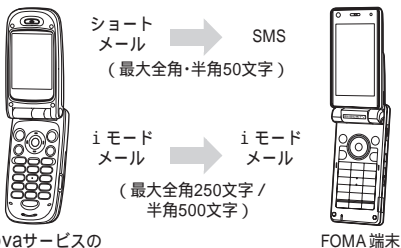
メール

FOMA端末のメール機能について

- FOMA端末はｉモードメールとSMS（ショートメッセージ）を送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
  ｉモードメールの送信、受信方法については、P.214、P.222を参照してください。
- ｉモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法については、P.240、P.241を参照してください。

メール機能の送受信について

３種類のメール機能で送受信できる相手は次のとおりです。

- FOMA端末→FOMA端末へ

- FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ
  FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末ではｉモードメールとして受信されます。
  SMS送達通知設定（☞P.243）が［要求する］に設定されている場合には、mova端末へ送ることはできません。

- movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ
  movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。

※ ショートメールとは、ドコモのmovaサービスの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

お知らせ

ｉモードメールや**SMS**の内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード（☞**P.318**）やドコモケータイ**datalink**（☞**P.406**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

ｉモードメール

ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計２Mバイト以内で10個までファイル（JPEG、トルカ、PDFなど）を添付することができます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

> 新規にｉモードをご契約の場合
> @マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
> （例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
> <お客様のメールアドレスの確認方法>
> ｉMenu ➡ 料金＆お申込・設定 ➡ メール設定 ➡ アドレス確認

- ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。
- メールの送信方法は☞P.214
- メールの受信方法は☞P.222
- ｉモードのサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。☞P.224

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

> <設定方法>
> ｉMenu ➡ 料金＆お申込・設定 ➡ メール設定 ➡【各設定】

- 詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ メールアドレス変更
【メールアドレス設定（アドレス変更）】

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

■ メールアドレス確認
【メールアドレス設定（アドレス確認）】

現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

■ シークレットコード登録
【メールアドレス設定（その他設定）➡シークレットコード登録】

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて４桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスリセット
【メールアドレス設定（その他設定）➡アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

■ 迷惑メール対策

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

① URL付きメール拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）➡URL付きメール拒否設定】
- ｉモードメールのうち出会い・アダルト・不法・セキュリティなどのカテゴリに該当するとネットスター株式会社が判断したサイトのURLが記載されているメールを受信しないように設定できます。

② 受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）➡受信／拒否設定】
- ドコモ・au・ソフトバンク・ツーカー・ウィルコムのうち、メールを受信したい会社を指定することができます。
- また指定するドメインまたはアドレスからのメールのみ受信することもできます。受信設定した会社やドメインであっても、個別に拒否したいメールアドレスを指定して拒否することもできます。なお、上記の会社以外（インターネット）からのメールのうち、携帯・PHSドメインになりすましたメールのみを拒否することもできます。

③ SMS拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）➡SMS拒否設定】
- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の４つの中からいずれか１つを選択いただけます。また設定の状況を確認することができます。

④ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）➡ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
- １日に１台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）➡未承諾広告※メール拒否】
- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、「未承諾広告※」メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に「未承諾広告※」（全角６文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

■ メールサイズ制限
【メール受信設定（メールサイズ制限）】

あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。

■ 設定状況確認
【メール受信設定（設定状況確認）】

現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】

メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないときは、メールが保存されている720時間は届くまで再送いたします。

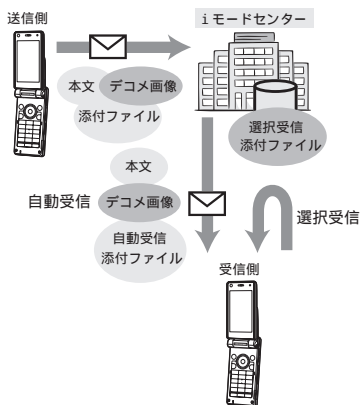
※ 受信されない場合は720時間ｉモードセンターで保存されます。

※ 受信できない条件により再送条件が変わります。

また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選んで受信することができます。

こんなこともできます

■ ファイル送受信

ｉモードメール（２Mバイト対応）では、添付可能なファイル種別に制限はありません。最大10個、合計２Mバイトまでのファイルをメールに添付し、送信することができます。ｉモードメール（２Mバイト対応）として受信する場合は、すべてのファイルを受け取ることが可能で、100Kバイトまで自動受信し（自動受信添付ファイル）、100Kバイトを超えた２Mバイトまでの添付ファイルは必要なものを選択して受信することができます（選択受信添付ファイル）。
また、端末の添付ファイル受信設定により、100Kバイト以下の添付ファイルでも、サイズによらず選択して受信することができます。その他の機種で受信する場合は、その端末のメール受信容量内で対応ファイル種別のみを受信します。

■ デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付ける事によって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。また、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末および10000バイトまでのデコメール対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信される場合があります。その場合、受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法☞P.216
- デコメール送信方法☞P.216
- 対応機種：デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

メールメニュー

メールメニューを表示する

ｉモードメールの作成、受信メールや送信メールの表示などは、メールメニューから行います。

1 待受画面で✉を押す。

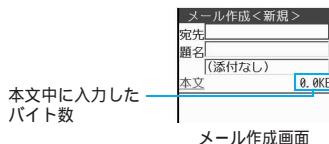
メニュー	機　能	ページ
受信BOX	受信したメールの表示や返信、転送などを行います。	P.222 P.228
送信BOX	送信したメールの表示や再送信などを行います。	P.222 P.228
未送信BOX	未送信メールの編集や送信を行います。	P.222 P.228
新規メール作成	新規にメールを作成して送信や保存を行います。	P.214
新規SMS作成	新規にSMSを作成して送信や保存を行います。	P.240 P.241
問い合わせ	ｉモードセンターにメールやメッセージR／Fが保管されていないか問い合わせます。または、SMSセンターにSMSが保管されていないか問い合わせます。	P.225 P.242
テンプレート	デコメールテンプレートの表示や編集などを行います。	P.219
メール選択受信	ｉモードセンターで保管されているメールのうち、受信したいメールのみを選んで受信します。	P.224
メール設定	ｉモードメールやSMSに関係する各種機能を設定します。	P.236

ｉモードメール作成・送信

ｉモードメールを作成して送信する

- ｉモード端末以外の相手にｉモードメールを送信する場合は、題名や本文に半角カタカナ、絵文字を入力しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。
- 他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）に絵文字入りのｉモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。
  ※ 送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
  ※ 送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「＝」に変換されます。
- ｉモードメールの送信先を[To]、[Cc]、[Bcc]に分けて送信できます。[宛先]に入力したアドレスへは[To]で送信されます。
- 表示される文字サイズは、文字サイズ設定（☞P.236）で変更できます。

1 待受画面で✉4を押す。

メール作成画面

2 [宛先]を選んで◉を押し、入力方法を選ぶ。

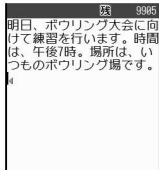
電話帳から選択する	1→相手を選ぶ→◉ ● 登録されている他のメールアドレスを選ぶときは、相手を選んで◉を押し、メールアドレスを選んで◉を押します。 ● [✉]、[ ]、[ ]、[ ]のいずれも表示されない場合、メールアドレスは登録されていません。 FOMAカード電話帳の場合は、メールアドレスが登録されていなくても[ ]が表示されます。
直接入力する	2→宛先を入力→◉ ● 半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。 ● ｉモード端末にｉモードメールを送信する場合は、「@docomo.ne.jp」を省略できます。 ● 記号入力（☞P.412）、インターネットに関連した定型文（☞P.412）を利用できます。
メール送信履歴から選択する	3→相手を選ぶ→◉→◉ ● ｉモードメールのメール送信履歴がある場合に選択できます。
メール受信履歴から選択する	4→相手を選ぶ→◉→◉ ● ｉモードメールのメール受信履歴がある場合に選択できます。
メールメンバーから選択する	5→メールメンバーを選ぶ→◉ ● あらかじめメールメンバーを登録しておいてください（☞P.238）。

複数に送信する（☞P.216）	● [宛先]を入力すると「同報」の入力欄が追加されます。 ●「同報」の入力欄を選ぶ→◉→送信種別を選ぶ→◉→入力方法を選ぶ→◉ ● メールメンバーを設定した場合はメンバー全員が必ず[To]で入力されます。 ● 最大４件まで宛先を追加できます。
宛先を変更する	宛先を選ぶ→◉→入力方法を選ぶ→◉ ● [電話帳検索]、[メール送信履歴]、[メール受信履歴]を選んだときは、[アドレスを上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選んで◉を押すと、メールアドレスを選択できます。 ● [メールメンバー]を選んだときは、[アドレスを全件上書きします　よろしいですか？]と表示されます。[はい]を選んで◉を押すと、メールメンバーを選択できます。 ● [直接入力]を選んだときは、アドレス入力画面が表示されます。
宛先を削除する	宛先を選ぶ→◎5[アドレス削除]→[はい]→◉

3 [題名]や[本文]を選んで◉を押し、入力して◉を押す。

● メール本文入力画面では、画面中央の文字入力エリアで文字を決定したあと、◉を押して本文のカーソル位置に入力します。

本文入力画面

● 以下の場合は、本文入力画面において全角5000文字（半角10000文字）以上のサイズとなり、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。マイナス表示となった場合は、10000バイト以下（残バイト数が０以上）になるように編集してください。
  ■ 貼り付けした文字数と、すでに入力されているメール本文の合計サイズが10001バイト以上になる場合
  ■ 本文入力済みのｉモードメールを、装飾操作によりデコメールに変更した場合
● 改行[↲]は全角１文字としてカウントします。全角、半角のスペース（空白）もそれぞれ全角１文字、半角１文字としてカウントします（題名に改行[↲]は入力できません）。
● 絵文字入力モード（☞P.412）にすると、◎を押すたびに、絵文字１→絵文字２→絵文字D（デコメ絵文字）→絵文字１…に切り替わります。絵文字D（デコメ絵文字）に切り替えると、デコメ絵文字を入力できます。デコメ絵文字と挿入画像合わせて最大20種類、合計90Kバイトまで入力できます。デコメ絵文字を入力すると、デコメールになります。
● 本文入力画面の文末で○を押すと[↲]（改行）されます。また、CLRを押すと[↲]は削除されます。本文に何も入力されていない状態でCLRを押すと、メール作成画面に戻ります。

定型文を利用する	本文入力画面で◎7→分類を選ぶ→◉→定型文を選ぶ→◉→◉ ● 定型文については、P.433を参照してください。
署名を貼り付ける	メール作成画面で◎8または本文入力画面で◎○2 ● あらかじめ署名を登録しておきます（☞P.237）。 ● 自動署名貼付が[ON]に設定されている場合、署名は自動的に貼り付けられます。 ● 署名は、本文サイズに含まれます。本文と署名の合計サイズが送信できるサイズを超える場合、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。残バイト数が０以上になるように編集してください。
デコメールを作成する（☞P.216）	本文入力画面で◎1または✉[デコレーション]

4 ◎[送信]を押す。

● 送信が完了すると、[ｉモードメール送信しました]と表示され、メール作成前の画面に戻ります。

● 送信を中止するときは、送信中の画面で◉[中止]を押します。
☎またはCLRを押しても中止できます。
ただし、タイミングによってはｉモードメールが送信される場合があります。
送信を中止したｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。

お知らせ

● 宛先や同報が入力されている状態でメールメンバーから宛先を指定すると上書きされます。
● 宛先にメールメンバーを設定すると、１人目のアドレスは[宛先]に入力され、２人目以降は同報の入力欄に[To]で入力されます（[Cc]、[Bcc]への変更も可能です）。
● 宛先を削除した場合、同報欄の一番上に表示されているアドレスの送信種別が[To]の場合は、[宛先]に入力されます。
● 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。
● 送信できていても、電波状況などによっては、[送信できませんでした]と表示される場合があります。
● 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
● 送信メールは送信SMSと合わせて最大500件まで保存できます。送信メールが500件保存されている状態で新しいｉモードメールを送信すると、保護されていない一番古い送信メールから順に自動的に上書きされます（上書き確認のメッセージは表示されません）。
必要なｉモードメールは保護することをおすすめします。特に２Mバイトなどサイズが大きい添付ファイルを送信する場合は削除される送信メールが多くなりますのでご注意ください。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- メール履歴表示を［OFF］に設定（☞P.154）しているときは、宛先入力で［メール送信履歴］、［メール受信履歴］を選択できません。
- メールの機能別ロック中は、端末暗証番号を入力するとｉモードメールを作成し、送信できます。

編集中に電話がかかってくると

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

相手がシークレットコードを登録しているとき

- 「@」の前に、相手のシークレットコード（４桁の数字）を入力します。電話帳に相手のシークレットコードを登録しているときは、入力する必要はありません（☞P.100）。
- 宛先が「携帯電話番号」または「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳にシークレットコードが設定されているかどうかを自動的に調べ、シークレットコードが設定されているときは、シークレットコードを付けて送信します（☞P.100）。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、ｉモードメール送信や返信ができないことがあります。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

同報送信について

FOMA端末では同じ内容のｉモードメールを複数の宛先に同時に送信できます。最大５人の相手に送信できます。

- 「同報」の入力欄では送信種別（To／Cc／Bcc）を選択できます。
  - ■ To ： 送信相手の宛先です。［To］で指定したアドレスは他の送信相手に表示されます。
  - ■ Cc ： ［To］宛に送信したメールを第三者に知らせるときに使います。
  - ■ Bcc ： ［Cc］と同じように第三者に知らせるときに使いますが、［Bcc］で指定したアドレスは、［To］や［Cc］の相手には表示されません。
- 最大５人までのアドレスをメールメンバーに登録しておくと、複数のアドレスを簡単に指定することができます（☞P.238）。
- 宛先に入力したアドレスは［Bcc］にしたものを除き、受信した相手に表示されます。ただし、相手の機種によっては表示されない場合もあります。
- 複数の宛先に送信しても、１件の送信メールとして保存されます。送信メール表示画面では、送信に成功した宛先がすべて表示されます。
- 送信に失敗した宛先があったときは、送信メール１件と未送信メール１件が保存されます。未送信メールには、送信されていない宛先がすべて表示されます。
- 同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定すると、重複するアドレスは削除されます。

送信種別を変更する

入力した宛先や同報の送信種別を変更できます。

1 ｉモードメールの作成中（☞**P.214**の操作１～３）に、２件目以降の宛先の入力欄を選んで◉⑥［送信種別変更］を押し、送信種別を選ぶ。

［To］	①
［Cc］	②
［Bcc］	③

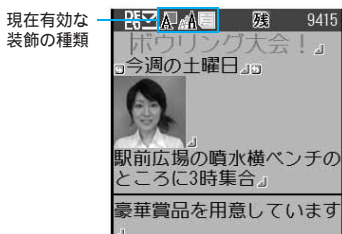
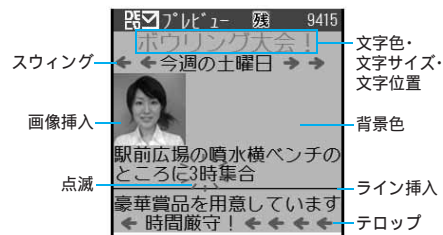
デコメール

デコメールを作成して送信する

ｉモードメール作成時、本文の色や文字サイズを変更したり、画像を挿入する、背景に色を付けるなどの装飾を行うことができます。

- 作成できるデコメールの本文は最大10000バイトまでです。挿入画像またはデコメ絵文字は、本文のサイズとは別に最大20個、合計90Kバイトまで挿入できます。

装飾の種類と効果

- 残バイト数が０またはマイナス表示されている場合、本文に装飾できません。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

本文入力画面

プレビュー画面

パレットについて

● 本文入力画面で、✉[デコレーション]を押すとパレットが表示されます。✥で装飾の種類を選んで◉を押すか、⊚を押してサブメニューから装飾の種類を選択できます（☞P.218）。

サブメニューの番号	装飾の種類
①	文字色 装飾内容：文字に色を付けます。なお、絵文字に対して文字の色を設定すると、設定した色で表示されます。通常の絵文字色にしたいときは、[指定なし]に設定してください。 装飾指定：色→◉ ● [その他の色]を選択したときは、さらに色を選んで◉を押します。
②	文字サイズ 装飾内容：文字の大きさを、[大]、[標準]、[小]のいずれかに変更します。 装飾指定：①(大)／②(標準)／③(小) ● デコメ絵文字のサイズは変更できません。
③	画像挿入 装飾内容：本文中に画像を表示します。GIFアニメーションなど動きがある画像は、一定時間たつと止まります。文字位置が画像の位置に反映されます。画像や文字の位置は変更できます。なお、デコレーション変更時は、画像挿入できません。 装飾指定：挿入する位置で◉→フォルダを選ぶ→◉→画像を選ぶ→◉ ● デコメ絵文字を選んで、挿入することもできます。
④	点滅 装飾内容：文字を点滅させます。一定時間がたつと、点滅が自動的に止まります。 装飾指定：①(設定)／②(解除)
⑤	テロップ 装飾内容：文字を流して表示（テロップ表示）します。一定時間がたつと、文字の流れが止まります。 装飾指定：①(設定)／②(解除)
⑥	スウィング 装飾内容：文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。一定時間がたつと、文字の揺れが止まります。 装飾指定：①(設定)／②(解除)
⑦	文字位置 装飾内容：文字の配置を、左寄せ、センタリング、右寄せのいずれかに変更します。 装飾指定：①(左寄せ)／②(センタリング)／③(右寄せ)
⑧	ライン挿入 装飾内容：本文中にライン（罫線）を挿入して表示します。1行分のラインが挿入されます。挿入した位置の文字色がラインの色に反映されます。ラインの色（文字色）は変更できます。なお、デコレーション変更時は、ライン挿入できません。 装飾指定：挿入する位置で◉
⊙①	背景色 装飾内容：メール本文の背景に色を付けます。なお、デコレーション変更時は、背景色を変更できません。 装飾指定：背景の色→◉ ● [その他の色]を選択したときは、さらに色を選んで◉を押します。
⊙②	デコレーション変更 装飾内容：範囲を指定して装飾を行います。 装飾指定：開始位置で◉→終了位置で◉→装飾を指定 ● [画像挿入]、[ライン挿入]、[背景色]は選択できません。
⊙③	元に戻す 装飾内容：直前に行った編集を取り消します。
⊙④	デコレーションなし 装飾内容：装飾されていない通常の文字を入力します。すでに挿入しているすべての装飾は解除されません。
⊙⑤	全解除 装飾内容：すべての装飾を解除します。挿入した画像も削除され、テキストメールに戻ります。

ボタン操作	装飾の種類	装飾の内容
✉	文字入力	文字入力するときに押します。
⊡	カーソル切替／装飾選択	本文中のカーソル移動とパレット選択中のカーソル移動を切り替えます。
◉	装飾範囲	装飾する範囲を選択するときに押します。
◉（1秒以上）	プレビュー	装飾を確認するときに押します。

お知らせ

● 下記機種※以外のデコメール対応機種に10000バイトを超えるデコメールを送信した場合、またはデコメール非対応機種（movaおよび900iシリーズより前のFOMA）にデコメールを送信した場合、メール本文にデコメール参照用URLを付けて送信し、受信者はURLを選択することによってWeb上でデコメールを閲覧することができます。ただし、非対応機種によってはデコメールのサイズが10000バイトを超えるときは本文のみ受信し、デコメール参照用URLがないメールを受信する場合があります。
対応機種：デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
※ 903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）、704iシリーズ（P704iμを除く）

画像挿入について

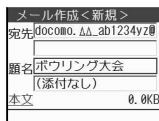
● FOMA端末にはあらかじめ画像（デコメピクチャ）が登録されています（☞P.427）。

お知らせ

- 同一画像を続けて挿入した場合は20個以上の入力も可能です。ただし、次の場合は同一画像とはみなされません。
  - ■ いったん作成中のメールを保存してから同一画像を挿入／貼り付けした場合
  - ■ 同一画像を含む署名を挿入した場合
- 他のアプリケーションがすでに起動している場合(例えば、音声電話中)のメール作成においては、画像選択時の画像プレビューができない場合があります。[決定]による画像選択確定のみとなります。
- 挿入した画像の情報を表示させるには、カーソルを画像の直前に移動して、サブメニューから[情報表示]を選択すると、挿入画像の情報が表示できます。

■ 装飾しながら本文を作成する

装飾方法を指定してから文字を入力したり、指定した装飾方法で入力済みの文字を装飾できます。

1 メール作成画面で宛先、題名を入力する(☞P.214の操作1～3)。

2 [本文]を選んで⊙を押す。

- 装飾方法を指定してから文字を入力する場合は操作3に進みます。文字を入力してから装飾する場合は、本文を入力します。

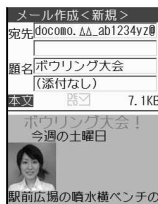
3 ✉[デコレーション]を押し、✥でパレットを選んで⊙を押し、装飾を指定する。

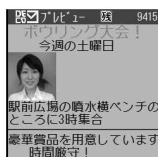
- パレットを表示しているときに本文中のカーソルを移動する場合は、▣[カーソル切替]を押します。もう一度▣[装飾選択]を押すと、パレットの選択に戻ります。
- パレット設定が[OFF]のときは、✉[デコレーション]を押し、サブメニューから装飾の種類を選んで⊙を押し、装飾を指定します。

パレット表示画面

点滅を指定する	[点滅]→⊙→1→文字を入力
テロップを指定する	[テロップ]→⊙→1→文字を入力
スウィングを指定する	[スウィング]→⊙→1→文字を入力
プレビュー画面を表示する	📷◯7 ● ⊙を押すと元の画面に戻ります。

4 装飾の指定が終わったら、本文を入力する。

- 入力しているバイト数が表示されます。
- すでに入力している文字を装飾するときは、P.219「範囲を指定して装飾する」を参照してください。
- パレット設定が[OFF]の場合は、装飾の指定が終わったら✉[文字入力]を押し、本文を入力します。
- 本文を入力すると、装飾が反映されます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾した文字を削除するときは、装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押して文字を削除した場合は、文字と文字にかかっている装飾データが削除されます。
- 本文の変更を1つ前の状態に戻すときは、📷◯1を押します。連続して複数の装飾を指定したあとで、装飾範囲を指定した場合、元に戻すことはできません。

5 📷◯7[プレビュー]を押す。

- ⓘを1秒以上押してもプレビュー画面が表示されます。
- 続けて装飾をするときは、⊙を押してプレビュー画面を閉じたあと、操作3～4をくり返します。

6 ⊙[確認]を押す。

- 装飾を全解除するときは、✉[デコレーション]📷◯5を押します。パレット設定が[OFF]のときは、📷1◯5を押します。挿入した画像も削除されます。

7 ⊙を押し、ⓘ[送信]を押す。

お知らせ

- 受信したデコメールを引用返信、または転送した場合、装飾や挿入した画像も引用されます。
- デコメール対応FOMA端末以外から送信された装飾メールは装飾が正しく表示されないことがあります。
- 装飾決定すると、状態アイコンが[✉]に変わります。
- デコメール非対応機種からデコメール閲覧用のURL付きメールを転送されても閲覧できません。

パレットを表示しないように設定する
<パレット設定>

1 P.218「装飾しながら本文を作成する」の操作2のあと📷◯4

2 2

- パレットを表示させるとき：1

■ 範囲を指定して装飾する

1 パレット表示画面(☞P.218)で▣[装飾範囲]を押す。

- パレット表示画面で📷◐2を押しても操作できます。

2 装飾開始位置にカーソルを移動して●を押す。

- すべての文章を選択するときは、▣を押します。
- 選択を取り消すときは、✉を押します。

3 装飾終了位置にカーソルを移動して●を押す。

4 ✣でパレットを選んで●を押し、装飾を指定する。

- 指定した範囲が装飾されます。
- 1つ前の状態に戻すときは📷◐3[元に戻す]を押します。
- [画像挿入]、[ライン挿入]、[背景色]、[デコレーション変更]、[デコレーションなし]は選ぶことができません。
- 同じ範囲を続けて装飾するときは、操作4をくり返します。

5 装飾の指定が終わったら✉[文字入力]を押す。

- 以降の操作については、P.218の操作5~7を参照してください。

お知らせ

- パレット設定が[OFF]のときは、サブメニューから装飾の種類を選んで●を押し、装飾を指定してから範囲を選択します。
- 連続して複数の装飾を指定したあとで、装飾範囲を指定した場合、元に戻すことはできません。

テンプレートを利用して送信する

テンプレートを利用してデコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成/送信できます。
また、作成したデコメールをテンプレートとして保存したり、テンプレートをサイトからダウンロード(☞P.192)できます。

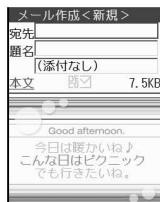
- テンプレートは最大10~100件まで保存できます。
- お買い上げ時、27件のテンプレートが登録されています。

テンプレートを利用してデコメールを作成する<テンプレート>

1 待受画面で✉7を押す。

- テンプレート一覧が表示されます。

2 テンプレートを選んで●[確認]を押し、▣[メール]を押す。

- テンプレートが本文入力画面に反映されます。
- デコメール作成と同様に編集できます。詳しくは、P.216を参照してください。

■ メール作成中にテンプレートを呼び出す

1 メール本文入力画面(☞P.215の操作3)で📷2[テンプレート呼出]を押す。

- メール作成画面でテンプレートを呼び出すときは、📷3を押します。
- 装飾した本文が入力されているときや、すでに本文が入力されているメール作成画面のときは、[編集中の内容が失われます　テンプレートを呼び出しますか?]と表示されます。[はい]を選んで●を押すとテンプレート一覧が表示されます。

2 テンプレートを選んで●[確認]を押し、▣[決定]を押す。

- テンプレート選択前に本文が入力されているとき(装飾なし)は、[本文をコピーして貼り付けますか?]と表示されます。[はい]を選んで●を押すとテンプレートが本文入力画面に反映され、貼り付ける位置を選んで●を押すと本文の内容が貼り付けられます。
- 装飾した本文が入力されていたときや、すでに本文が入力されているメール作成画面のときは、テンプレート選択前の本文の内容が削除され、テンプレートが本文入力画面に反映されます。

お知らせ

- 本文サイズが10000バイト、または挿入画像の合計が90Kバイトを超えているテンプレートは呼び出しできません。

作成したメールをテンプレートとして保存する<テンプレート保存>

1 デコメールの作成が終了(☞P.218の操作1~6)したら、●を押しメール作成画面で📷4[テンプレート保存]を押す。

2 [はい]を選んで●を押す。

- メールメニューの[テンプレート]に保存されます。
- テンプレートを呼び出して作成したデコメールの場合は、[新規保存]または[上書き保存]を選んで●を押します。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2007年４月23日午後１時５分７秒に保存した場合→[070423_130507]
- 作成したデコメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
- メモリが不足している場合、テンプレートを保存できません。不要なテンプレートを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください（☞P.220）。

テンプレートを編集する<編集>

1 待受画面で✉7を押し、テンプレートを選んで📷1［編集］を押す。

2 デコメールを編集して（☞**P.218**の操作３～６）⦿を押し、［新規保存］または［上書き保存］を選んで⦿を押す。

関連操作

テンプレートのタイトルを編集する<タイトル編集>

1 待受画面で✉7▶テンプレートを選ぶ▶📷2
2 タイトルを編集▶⦿

テンプレートを削除する<削除>

1 待受画面で✉7▶テンプレートを選ぶ▶📷3
2 1［1件削除］
- 複数のテンプレートをまとめて削除するとき：2▶テンプレートを選ぶ⦿（くり返し可）▶📷
- すべてのテンプレートを削除するとき：3▶端末暗証番号を入力▶⦿

3 ［はい］▶⦿

テンプレートの詳細情報を表示する<情報表示>

待受画面で✉7▶テンプレートを選ぶ▶📷4
- 確認を終わるとき：⦿またはCLR

関連操作のお知らせ

テンプレートの削除について
- 選択削除の場合、すべてを選択／解除するときは、📱［全選択］／📱［全解除］を押します。

テンプレートの情報表示について
- タイトル名、ファイル名、ファイル形式、ファイル制限が表示されます。

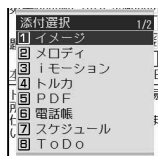
添付ファイル

ファイルを添付する

ｉモードメールに静止画や動画／ｉモーションなどを添付して送信できます。

添付できるファイルについて

- 次のデータを添付することができます。
  - 静止画／イメージ（JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション）
  - メロディ（SMF、MFi）
  - 動画／ｉモーション（MP4）
  - トルカ（トルカ、トルカ（詳細））
  - PDFデータ
  - 電話帳（vCard）
  - スケジュール（vCalendar）
  - ToDo（vCalendar）
  - ブックマーク（vBookmark）
  - ドキュメントファイル（BMP、PNG、Word、Excel、PowerPoint、Text）
  - その他のファイル
- データは合計で最大２Mバイト、10個まで添付できます。
- GIF画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
- SMF形式のメロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
- １Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は添付できません。
- ダウンロード中およびページ単位で部分的にダウンロードしたPDFは添付できません。
- 添付ファイルのサイズによっては送信に時間がかかります。

1 ｉモードメールを作成（☞**P.214**の操作１～３）し、◯で添付の入力欄を選んで⦿を押す。

2 添付するファイルを選ぶ。

静止画／イメージを添付する	1→フォルダを選ぶ→⦿→画像を選ぶ→📱 ● 画像を確認するときは、画像を選んで⦿を押します。
メロディを添付する	2→フォルダを選ぶ→⦿→メロディを選ぶ→📱 ● メロディを再生するときは、メロディを選んで⦿を押します。再生を止めるときは、📱を押します（100Kバイトを超えるメロディは再生できません）。

動画／iモーションを添付する	3→フォルダを選ぶ→●→動画／iモーションを選ぶ→(i) ● 動画／iモーションを再生するときは、動画／iモーションを選んで●を押します。再生を止めるときは、□を押します。
トルカを添付する	4→フォルダを選ぶ→●→トルカを選ぶ→(i) ● トルカを確認するときは、トルカを選んで●を押します。
PDFデータを添付する	5→フォルダを選ぶ→●→PDFデータを選ぶ→(i) ● PDFデータを確認するときは、PDFデータを選んで●を押します。
電話帳を添付する	6→1［本体］／2［microSD］→名前を選ぶ→● ● 電話帳を確認するときは、名前を選んで(i)を押します。 ● ［microSD］を選んだ場合、電話帳の確認はできません。
スケジュールを添付する	7→1［本体］→日を選ぶ→(i)→スケジュールを選ぶ→● ● スケジュールを確認するときは、スケジュールを選んで(i)を押します。 ● microSDメモリーカードから選ぶときは、2［microSD］を押し、スケジュールを選んで●を押します。スケジュールの確認はできません。
ToDoを添付する	8→1［本体］／2［microSD］→行動予定を選ぶ→● ● 行動予定を確認するときは、行動予定を選んで(i)を押します。 ● ［microSD］を選んだ場合、ToDoの確認はできません。
ブックマークを添付する	○1→1［iモード］／2［フルブラウザ］→フォルダを選ぶ→●→ブックマークを選ぶ→● ● microSDメモリーカードから選ぶときは、3［microSD］を押し、ブックマークを選んで●を押します。
ドキュメントファイルを添付する	○2→ファイルを選ぶ→(i) ● ファイルを確認するときは、ファイルを選んで●を押します。
microSDメモリーカード内のその他のファイルを添付する	○3→ファイルを選ぶ→● ● ファイルの確認はできません。
撮影した静止画を添付する	○4→●［📷］→● ● 撮影した静止画は、［カメラ］フォルダに保存されます。 ● 撮影サイズは自動的に「待受：240×400」になります。
撮影した動画を添付する	○5→●［録画］→●→1 ● 撮影した動画は、［カメラ］フォルダに保存されます。 ● 500Kバイトを超える動画／iモーションの場合、下記機種※以外の機種に送るときは、［メール用（短）］を選択してください。 ※ 903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）、704iシリーズ（P704iμを除く）
	● 撮影サイズは自動的に「QCIF：176×144」になります。

- メール作成画面に戻ります。添付欄に選択したファイル名とファイルサイズが表示されます。
- 添付ファイルを解除するときは、添付欄のファイルを選んで●7または📷7を押します。
- 添付ファイルを確認するときは、添付欄のファイルを選んで●6または📷6を押します。

3 (i)［送信］を押す。

お知らせ

- Flash画像、フレーム、スタンプ、FOMA端末にあらかじめ内蔵されているメロディは添付できません。
- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- FOMA SH903iより前に発売された機種に送信した場合、添付ファイルの種類やファイルサイズによっては、添付ファイルを受信できない場合があります。
- iモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。
- FOMA端末で撮影した画像にファイル制限を設定している場合、添付して送信できますが、受け取った方はそのファイルを外部へ送信できません。
- 受信側の端末によっては、正しく受信や表示ができない場合、動画が粗くなったり連続静止画に変換される場合があります。iモードメール（2Mバイト対応）機種※以外に動画を送信する場合には、ファイルサイズ制限：メール用（短）、画像サイズ：QCIF、画質：FINE以上の設定で撮影した動画がおすすめです。
  ※ 903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）、704iシリーズ（P704iμを除く）
- 相手の機種が対応していないファイルは削除されます。

撮影した静止画の添付について

- 自動保存モードを［ON］に設定している場合、撮影後のプレビュー画面は表示されません。
- すでに添付できる最大件数分のファイルが添付されている場合、または2Mバイトまで添付されている場合は、添付できません（添付欄が表示されません）。

貼り付けられたデータについて

- メールに貼り付けられたメロディ（MFi）は、メールの返信や転送をする際に引用できません。

トルカについて

- トルカのデータサイズによっては、メールに添付して送信することができない場合があります。

iモードメール保存

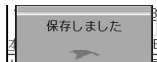
iモードメールを保存しておき、あとで送信する

iモードメールの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したiモードメールを保存しておきたいときは、FOMA端末に一時保存しておくことができます。また、保存したiモードメールを編集して送信できます。

iモードメールを保存する

1 iモードメールの作成中（☞P.214の操作1～3）に、📷2［保存］を押す。

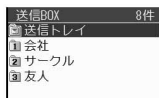
- 作成中のiモードメールが、未送信メールとして保存されます。

次ページへ続く

お知らせ

- メール作成中で宛先、題名、本文、添付ファイルのいずれかが入力されている場合、☎を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、メールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したメールは保存されません。

送信／保存したｉモードメールを編集・送信する

■ 送信したｉモードメールを編集・再送する

1 待受画面で✉2を押す。

2 フォルダを選んで◉を押し、ｉモードメールを選んで◉を押す。

- ⊙を押すと、前または次のメール表示画面が表示されます。
- CLRを押すと、送信メール一覧画面に戻ります。メール一覧画面で、メールを選んでⓘを押しても編集できます。✉を押すと、再送できます。
- 添付ファイルを確認するときは、ファイル名を選んで◉を押します。
- メロディが添付されているときは、メロディが自動再生されます。他の画面に移動するとメロディは止まります。メロディ自動再生（☞P.239）を[自動再生しない]に設定しているときは、自動再生されません。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます（☞P.230）。

3 編集・再送する。

編集する	ⓘまたは📷1→メールを編集→ⓘ ● 新規作成時と同様に編集できます。P.214の操作２～３を参照してください。
再送する	📷2

■ 保存したｉモードメールを編集・送信する

1 待受画面で✉3を押す。

2 フォルダを選んで◉を押し、ｉモードメールを選んで◉を押す。

3 項目を選んで◉を押し、編集してⓘ[送信]を押す。

- 新規作成時と同様に編集できます。P.214の操作２～３を参照してください。
- 未送信メールは１件ずつ選択して、送信します。
- 送信したｉモードメールは[送信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.237）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

メール選択受信設定（☞P.238）が[OFF]に設定されている場合、ｉモードメールを自動的に受信します。

- 受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて４～1000件まで保存できます（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります）。
- 保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない保存日時の一番古い既読メールに上書きされます。必要なｉモードメールは保護することをおすすめします（上書き確認のメッセージは表示されません）。
特に２Mバイトなどサイズが大きい添付ファイルを受信する場合は削除される受信メールが多くなりますのでご注意ください。
- FOMA端末が次のいずれかの状態のとき、送信されてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。

■ 電源が入っていないとき
■ セルフモード中
■ 圏外
■ テレビ電話の通話中
■ 赤外線通信中
■ ｉＣ通信中
■ メール選択受信設定が[ON]のとき
■ 保護や未読のｉモードメールがいっぱいで空き容量がないとき
■ FirstPassセンター接続中
■ プッシュトーク通信中
■ おまかせロック中

お知らせ

- ｉモードメール１件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます（☞P.227）。
- 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中、パターンデータ更新中、通常ポジションおよびサイクロイドポジションの全画面表示でワンセグを視聴中や録画中にメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。
- メールテロップ表示を[差出人＋題名]または[お知らせのみ]に設定している場合、ワンセグ視聴中にメールを受信するとメールテロップが表示されます（☞P.279）。
- FOMA端末（本体）のメールをmicroSDメモリーカードにコピー、またはmicroSDメモリーカード内のメールをFOMA端末（本体）にコピーできます。
- 文字サイズの設定によって、画面に表示される文字数が変わります。

お知らせ

マークの意味

マーク	意　味
✉(緑色)	未読ｉモードメールがあります(☞P.223)。
✉SMS	未読ｉモードメールと未読SMSの両方があります(☞P.223、P.241)。
✉	FOMA端末内の受信ｉモードメールやSMSがいっぱいです。未読メールの確認(☞P.223、P.242)、保護解除(☞P.234)、不要なメールの削除(☞P.234)を行ってください。
✉(赤色)	FOMA端末内の受信ｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSがいっぱいです。未読メールの確認(☞P.223、P.242)、保護解除(☞P.234)、不要なメールの削除(☞P.234)を行ってください。
SMS(赤文字)	未読SMSがあります(☞P.241)。
SMS(青文字)	FOMAカード内のSMSがいっぱいです。不要なメールの削除(☞P.234)を行ってください。
📂(青色)	センターでメールをお預かりしています(メール選択受信設定が[OFF]のとき)。ｉモードメールを受信したいときは、ｉモード問い合わせ(☞P.225)を行ってください。
📂	センターでお預かりしているｉモードメールがいっぱいです。ｉモード問い合わせ(☞P.225)を行ってください。
🔒	機能別ロックが設定されています。メールの機能別ロック中にｉモードメールを確認したいときは、端末暗証番号の入力が必要です(☞P.144)。

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていても、[📂](青色)が表示されない場合があります。
- メール選択受信設定を[ON]に設定しているときは、[📂](青色)や[📂]は表示されません。

新着ｉモードメールを表示する

1 ｉモードメールが届くと、自動的に受信する([✉]点滅)。

- 受信を中止するときは、受信中に◉を押します。
- 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます([📂](青色)表示)。
- 受信を中止するタイミングにより、ｉモードメールを受信してしまう場合もあります。

メール受信画面

2 受信終了後、ｉモードメールの受信結果が表示され、ｉモードメール着信音が鳴る([✉]表示)。

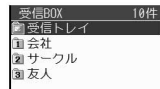
メインディスプレイ
受信完了画面

サブディスプレイ
受信完了画面

- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに[受信完了]と表示されたあと、ｉモードメールとSMSの合計の件数が表示されます。
- 受信したｉモードメールは、[受信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定(☞P.237)の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- 複数のｉモードメール、メッセージR／Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、または設定されているメッセージR／Fの着信音がなります。

3 受信完了画面で、[メール]を選んで◉を押す。

- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。
- SMSを受信したときも、受信BOXに保存されます。

- 受信完了画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ると[新着メールあり　○件]と表示されます。

4 フォルダを選んで◉を押し、ｉモードメールを選んで◉を押す。

- 受信メールの見かたについては、P.230を参照してください。
- 添付ファイルの確認については、P.227を参照してください。

お知らせ

- メロディ自動再生が[自動再生する]に設定されているときは、メロディが再生されます。他の画面に移動すると、メロディが止まります。100Kバイトを超えるメロディは再生できません。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。
- メロディとｉアプリToの両方が貼り付けられている場合は、両方のデータが無効となります。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- あらかじめ受信するｉモードメールのサイズ(本文+添付ファイルまたは貼付データ)を制限できます(ｉモードメニューから[ｉMenu]→[料金＆お申込･設定]→[メール設定]→[メールサイズ制限])。
  設定した文字数(データ量)を超えた場合、添付ファイルは選択受信添付ファイルとして受信します。貼付データはｉモードセンターで削除され、再度受信することはできません。
- 画像が挿入されているデコメールの場合、添付ファイル受信設定で画像を受信しないように設定していても、挿入画像は表示されます。
- To、Cc、Bccを設定できるFOMA端末やパソコンなどから送信されたｉモードメールは、自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるかを、FOMA端末で確認できます(☞P.230)。
- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。

着信音を止めるとき

- 次のボタンを押します。
  - ■ ⦿ . . . . .着信音が止まり、受信BOX一覧画面が表示されます。
  - ■ CLR、☎ . . . . . .着信音が止まり、待受画面または受信前の画面に戻ります。
  - ■ ◌ . . . . .受信完了画面のまま着信音が止まります。

待受中以外の状態で受信したとき

- メール受信表示設定を[通知優先]に設定している場合、メール着信音が鳴り、ディスプレイに[✉]と受信完了画面が表示されます。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ[メール選択受信設定]を[ON]に設定します(☞P.238)。
なお、[ON]に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

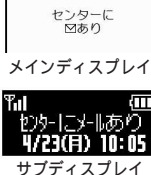
ｉモードメールが届いたときは

メール選択受信設定を[ON]に設定しているときにｉモードセンターにｉモードメールが届くと、待受画面には右の画面が表示されます(メール選択受信通知)。
⦿、☎またはCLRを押すと、表示が消えます。ｉモードメールを選択受信するときは、表示を消してから行ってください。

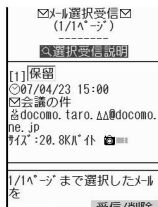
センターに
✉あり

メインディスプレイ

サブディスプレイ

- 右上の画面が表示されているときに、電話がかかってきて☎や☎を押しても、通話終了後、再び右上の画面に戻ります。
- 右上の画面が表示されるときは、メール着信音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

ｉモードメールを選択受信する ＜メール選択受信＞

1 待受画面で✉8を押す。

- ｉモードセンターに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが表示されます。
- メール選択受信設定を[OFF]に設定しているときは、[メール選択受信をご利用になる場合は「メール設定」から「メール選択受信設定」をONにしてください]と表示されます。⦿を押すと、メール選択受信設定画面が表示されます。1[ON]を押し、[はい]を選んで⦿を押してから、操作1を行ってください。

2 ｉモードメールごとに[受信]、[削除]または[保留]を選んで⦿を押す。

- 表示されていない部分を確認するときは、◌を押します。
- ファイルが添付されているときはサイズの右側に次のマークが表示されます。

マークの意味

マーク	意味
📷	画像ファイルが添付されています。
♪	メロディファイルが添付されています。
🎥	ｉモーションが添付されています。
▬	トルカが添付されています。
📄	その他のファイルが添付されています。

- ｉモードセンターのｉモードメールをすべて削除するときは、メール選択受信画面の最下部にある[削除]を選んで⦿を押します。確認画面で[決定]を選んで⦿を押すと、ｉモードセンターのｉモードメールがすべて削除されます。

3 [受信／削除]を選んで⦿を押し、[決定]を選んで⦿を押す。

- 受信／削除したいｉモードメールを選び直すときは、[ｷｬﾝｾﾙ]を選んで⦿を押します。

4 受信したｉモードメールを表示する(☞P.223の操作3～4)。

関連操作

ｉモードから選択受信する＜メール選択受信＞
待受画面でⓘ▶1[ｉMenu]▶[メニュー／検索]▶⦿▶[メール選択受信]▶⦿

iモード問い合わせ

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管されています(☞P.222)。iモードセンターに問い合わせて受信できます。

- iモードセンターには、約10Mバイト、最大1000件のiモードメールが保管できます。
- iモード問い合わせをする種類(iモードメール、メッセージR/F)を設定できます(☞P.238)。
- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせをするように設定されています(☞P.238)。
- メール選択受信設定を[ON]に設定していても、iモード問い合わせをすると、すべてのiモードメールを受信します。
- iモード問い合わせをしたあと、[ ]が点滅している間に再びiモード問い合わせの操作をしても、実際には問い合わせを行いません。すべての種類について[0件]と表示されます。
- SMSの問い合わせについては、P.242を参照してください。
- 複数のiモードメール、メッセージR/Fを受信したときは、最後に受信したiモードメール、メッセージR/Fに設定されている着信音が鳴ります。

1 待受画面で✉6 1または⦿4を押す。

- 待受画面で✉を2回押しても、iモード問い合わせを行います。
- iモード問い合わせ設定(☞P.238)の設定に従い[iモードメール]→[メッセージR]→[メッセージF]の順でiモード問い合わせを行います(問い合わせをしているマーク([✉]、[R](緑色)、[F](緑色))が順次表示されます)。
- 受信を中止するときは、受信中に⦿を押します。
- 受信を中止したiモードメールは、iモードセンターに保管されます([ ](青色)表示)。
- 受信を中止するタイミングにより、iモードメールを受信してしまう場合もあります。

2 問い合わせ結果が表示され、iモードメールがある場合は、iモードメール着信音が鳴る。

- センターにiモードメールが保管されていないときは、件数が[0]と表示されます。

3 受信したiモードメールを表示する(☞**P.223**の操作3~4)。

お知らせ

- 電波状況などにより、エラーメッセージが表示され、問い合わせできない場合や中断される場合があります。

iモードメール返信

iモードメールに返信する

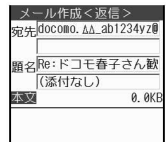
iモードメールの返信方法には、受信メールの本文を引用して返信する方法と、本文を引用しないで返信する方法があります。

- 未送信BOXのメモリの空き容量がない場合は、iモードメールを返信できません。
- SMSの返信については、P.242を参照してください。

1 iモードメールを表示(☞**P.223**の操作1~4)し、⦿1[返信/転送]を押して返信方法を選ぶ。

返信する	1 ● 受信メールの題名の先頭に[Re:]が付いた題名が入力されています。
受信メールの本文を引用して返信する	3 ● 本文の先頭に[>]が挿入され、受信メールの内容が引用されます。 ● デコメールのときは、装飾と挿入した画像が引用されます。

- メール一覧画面で⦿または、メール表示画面で⦿を押してもメールを返信できます。
- 返信できないiモードメールを選んだときは、[返信先が無効です]と表示されます。

- 引用返信するときに[>]と本文を合わせて10000バイトを超える場合、[ ]が表示されます。10000バイト以内になるように編集してください。
- 同報があるiモードメールを選んだときは、返信先の選択画面が表示されます。1[差出人に返信]または2[全員に返信]を押します。

2 iモードメールを作成し、送信する。

- 題名や本文を編集できます。詳しくは、P.214の操作2~3を参照してください。

お知らせ

- iモードメール作成中に☎を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、iモードメールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したiモードメールは保存されません。
- iモードメールの返信画面で未編集のまま☎を押すと、終了確認画面は表示されません。
- 送信元のメールアドレスが50文字を超えているときは返信できません。返信できないiモードメールには受信メール表示画面で[ ]が表示されます。
- 相手がシークレットコードを登録している場合、iモードメール送信時にメールアドレスにシークレットコードを付加する必要があります(☞P.216)。
- 本文にiアプリToが貼り付けられている場合、引用返信してもiアプリToは引用できません。また、ドコモケータイdatalinkや赤外線通信を利用しても、iアプリToの情報は送信できません。

手早く返信する<クイック返信>

受信メール表示画面から簡単に返信メールを送信できます。

- あらかじめクイック返信メール設定（☞P.239）で本文を登録しておきます。10件まで登録できます。

1 ｉモードメールを表示（☞**P.223**の操作1～4）し、Ⓜ①②［クイック返信］を押す。

2 本文を選んで◉を押す。
- 本文を確認するときは、本文を選んでⓂ［確認］を押します。
- 宛先、題名、本文を確認します。

3 Ⓜ［送信］を押す。

ｉモードメール転送

ｉモードメールを他の宛先に転送する

- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、ｉモードメールを転送できません。

1 ｉモードメールを表示（☞**P.223**の操作1～4）し、Ⓜ①④［転送］を押す。
- 受信メールの題名の先頭に［Fw:］が付いた題名が入力されています。
- デコメールのときは、装飾と挿入した画像が転送されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。
- 題名や本文を編集できます。詳しくは、P.214の操作2～3を参照してください。

お知らせ

- ｉモードメール作成中に☎を押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、ｉモードメールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したｉモードメールは保存されません。
- ｉモードメールの転送画面で未編集のまま☎を押すと、終了確認画面は表示されません。

転送するｉモードメールに添付ファイルがあるとき
- 取得が完了した添付ファイルのみ転送されます。取得していない選択受信添付ファイルは転送されません。
- メロディ添付のｉモードメールを転送した機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- 転送するｉモードメールに、ｉアプリToやｉモードメール添付、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているとき、それらのファイルは削除されます。

メールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

受信メールや送信メールの送信元や宛先、またはメール本文に書かれたメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

- SMSの場合、送信元／宛先の電話番号が電話帳の電話番号欄に登録されます。
- 次の場合は、電話帳に登録できません。
  - ■ メールアドレスが半角50文字を超える受信メールの送信元
  - ■ ダイヤル発信制限中
  - ■ FOMA端末（本体）電話帳の場合は750件、FOMAカード電話帳の場合は50件がすでに登録されているとき

送信元／宛先のメールアドレスを電話帳に登録する<アドレス登録>

1 受信メール表示画面（☞**P.230**）でⓂ⑦①［アドレス登録］を押し、登録方法を選ぶ。
- 送信メールのときは、送信メール表示画面でⓂ⑧①を押します。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	①
FOMAカード電話帳に新規登録する	②
電話帳に追加／上書き登録する	③→名前を選ぶ→◉

- 電話帳入力画面に、送信元または宛先のメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます（☞P.98、P.103）。

お知らせ

- 電話帳の機能別ロック中は、端末暗証番号を入力すると電話帳に登録できます。
- 宛先が複数存在する場合は、操作1のあとアドレス選択画面が表示されます。宛先を選んで◉を押します。

メール本文の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

1 受信メール表示画面（☞**P.230**）で、電話番号やメールアドレスを選んでⓂ⑦②［電話帳登録］を押し、登録方法を選ぶ。
- 送信メールのときは、送信メール表示画面でⓂ⑧②を押します。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	①
FOMAカード電話帳に新規登録する	②
電話帳に追加／上書き登録する	③→名前を選ぶ→◉

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます（☞P.98、P.103）。

選択受信添付ファイルを取得する

- メールBOXに保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない受信メールが添付ファイルのサイズに応じて削除されます。

1 選択受信添付ファイルが添付されている受信メールを表示（☞P.223の操作1～4）し、ファイル名を選んで⦿を押す。

- ファイルが取得され、メールBOXに保存されます。
- 未取得の選択受信添付ファイルがある場合、メール表示画面の一番下に保存期限が表示されます。すべてのファイルを取得すると、保存期限の表示が消えます。

添付ファイル確認

添付ファイルを確認・保存・削除する

ｉモードメールに添付されているファイルを確認・保存・削除できます。

- 添付ファイルはそれぞれのカテゴリの選択した保存先に保存されます。
- FOMA端末で識別できないファイル（その他のファイル）は、microSDメモリーカードの［その他］フォルダに保存されます。

1 ファイルが添付されている受信メールを表示する（☞P.223の操作1～4）。

2 ✥でファイルを選び、確認する。

確認する		⦿ ● 添付ファイルが表示または再生されます。
保存する	データBOXのファイル	📷④①（送信メールのときは📷⑤①）→［はい］→⦿→フォルダを選ぶ→⦿
	電話帳	📷④①（送信メールのときは📷⑤①）→［はい］→⦿ ● microSDメモリーカードに保存されます。 ● 電話帳を表示してから保存するとき：⦿→⦿［登録］→［本体へ登録］／［microSDへ保存］→⦿
	スケジュール／ToDo／ブックマーク	📷④①（送信メールのときは📷⑤①）→［はい］→⦿ ● microSDメモリーカードに保存されます。 ● 添付ファイルを表示してから保存するとき：⦿→⦿［登録］→［本体へ登録］／［microSDへ保存］→⦿
	トルカ	📷④①（送信メールのときは📷⑤①）→［はい］→⦿→［本体］／［microSD］→⦿ ● トルカを表示してから保存するとき：⦿→ⓘ［保存］（トルカの場合）／⦿［保存］（トルカ（詳細）の場合）→［はい］→⦿→［本体］／［microSD］→⦿
	ドキュメントファイル	📷④①（送信メールのときは📷⑤①）→［はい］→⦿ ● microSDメモリーカードに保存されます。
	その他のファイル	📷④①（送信メールのときは📷⑤①）→［はい］→⦿ ● microSDメモリーカードに保存されます。
削除する		📷④②（送信メールのときは📷⑤②）→［はい］→⦿

- 複数件1ファイル形式の電話帳／スケジュール／ToDoリスト／ブックマークの場合や、FOMA端末で識別できないその他のファイルの場合、添付ファイルの確認およびFOMA端末（本体）への登録はできません。microSDメモリーカードへの保存は可能です。

お知らせ

- ｉモードメールに添付された画像は、正しく表示されないことがあります。また、縦横ともに2048ドット以下、画像面積が縦2048×横2048ドット以下のサイズの画像は表示されますが、そのサイズを超えた場合、受信しても表示されない場合があります。画像については、P.296「保存した画像を表示する」を参照してください。
- メモリが不足している場合、残容量より大きい添付ファイルを取得すると、保護されていないメールが削除される場合があります。
- ｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です（☞P.438「動画再生ソフトのご紹介」）。詳しくは、ドコモのホームページを参照してください。
- 100Kバイトを超えるメロディは再生できません。
- その他のファイルをmicroSDメモリーカードに保存した場合、ファイル名は「OTHER001」～「OTHER999」に変更されます。

本文中画像確認

デコメールに挿入された画像を確認・保存する

- デコメ絵文字も確認・保存できます。
- 画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード］フォルダまたは［デコメピクチャ］フォルダに保存できます。デコメ絵文字は、データBOXのマイピクチャの［デコメ絵文字］フォルダに保存されます。

1 画像が挿入されている受信メールを表示（☞P.223の操作1～4）し、📷⑤［本文中画像確認］を押す。

- 送信メールのときは、📷⑥を押します。

次ページへ続く

2 ◎で画像を選び、確認する。

確認する	◉
保存する	◉→[はい]→◉→フォルダを選ぶ→◉ ● デコメ絵文字のとき：◉→[はい]→◉

お知らせ

● 添付された画像は、添付ファイルで確認・保存を行ってください。

テンプレート保存

デコメールをテンプレートとして保存する

● メモリが不足している場合、テンプレートを保存できません。不要なテンプレートを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください（☞P.220）。
● 保存したテンプレートは、メールメニューの[テンプレート]に保存されます。

1 受信したデコメールを表示（☞**P.223**の操作1～4）し、◎7 3[テンプレート保存]を押し、[はい]を選んで◉を押す。
● 送信メールのときは、◎8 3を押します。

お知らせ

● 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
例：2007年4月23日午後1時5分7秒に保存した場合→[070423_130507]
● 受信したデコメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
● 挿入画像がファイル制限されている場合、画像は削除して保存されます。

受信BOX／送信BOX／未送信BOX

受信／送信メール**BOX**のメールを表示する

受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。
● ｉモードメールとSMSの両方が、受信BOXや送信BOXに保存されます。
● 受信メール、送信メール、未送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて下記件数まで保存されます（メールのサイズによって、保存できる件数が異なります）。

受信メール	最大1000件
送信メール	最大500件
未送信メール	最大500件

● 受信／送信／未送信のｉモードメールとSMSは、フォルダで管理できます。FOMA端末（本体）には、自分でフォルダを作成できます。
● FOMA端末（本体）とFOMAカードのそれぞれに[送信トレイ]、[受信トレイ]フォルダがあります。[送信トレイ]フォルダには、FOMA端末（本体）とFOMAカードの[送信トレイ]の送信メールが混在して表示されます。[受信トレイ]フォルダも同様です。
● あらかじめ電話帳にメールを送信された相手のメールアドレスと電話番号が登録されている場合、発信することができます。

例：受信メールの場合

1 待受画面で✉1を押す。
● 未読のｉモードメールまたはSMSがある場合、そのフォルダはピンク色で表示されます。
● 送信メールを確認するときは、待受画面で✉2を押します。
● 未送信メールを確認するときは、待受画面で✉3を押します。
● すべての受信／送信／未送信メールを一覧表示するときは、受信／送信／未送信BOX一覧画面で◉[全表示]を押します。

2 フォルダを選んで◉を押し、ｉモードメールや**SMS**を選んで◉を押す。
● メール連動型ｉアプリフォルダのメールを表示するときは、フォルダを選んで◎を押し、[ｉモードメール閲覧]を選んで◉を押してから、ｉモードメールを選んで◉を押します。

受信トレイ To 8
07/04/23 15:05
携帯花子
すい星が来ます
すい星は明日12時ごろ地球へ接近する予定です。
きっときれいですよ。
-END-

メール表示画面

表示を終了する	☎
他のメールを確認する	CLR→メール一覧画面でメールを選び直す
表示中の受信／送信メールのアドレスや題名、本文をコピーする	◎6 2（送信メールのときは◎7 2）→項目を選ぶ→◉
全画面表示する	◎○4（送信メールのときは◎○5）または◉（1秒以上） ● 戻るとき：◎☎MULTI✉📖☎TVEco以外のいずれかのボタン

お知らせ

メール表示画面での画面操作

下スクロール	◎
上スクロール	◎
画面単位下スクロール	📖
画面単位上スクロール	✉
次メール表示	◎
前メール表示	◎

関連操作

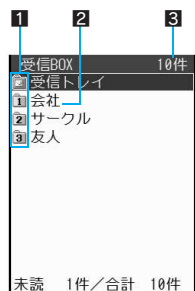
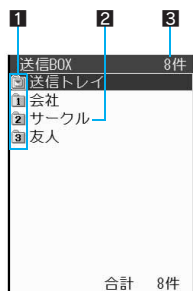
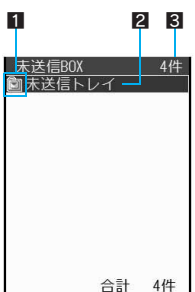
メール表示画面から電話をかける<電話発信>

1 受信メール表示画面で ⓜ 8
- 送信メール表示画面のとき：ⓜ ◯ 1

2 ［はい］▶ ◉

3 音声電話をかけるときは◉
- テレビ電話をかけるとき：ⓘ
- プッシュトーク発信するとき：✉

BOX一覧画面の見かた

受信BOX一覧

送信BOX一覧

未送信BOX一覧

1 フォルダマーク
受信BOX一覧の場合、未読メールが保存されると、ピンク色で表示されます。

	作成されたフォルダ ● 0～9のフォルダの場合、0～9を押すと、対応するフォルダのメール一覧画面が表示されます。
	メール連動型ｉアプリのフォルダ

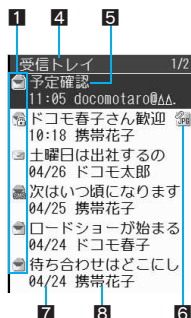
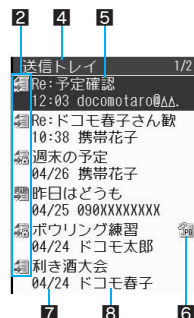
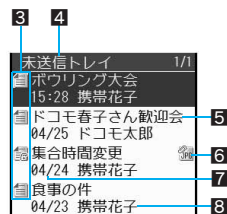
2 フォルダ名
フォルダ名が表示されます。

3 ｉモードメール、SMSの総件数
画面右上に、すべてのメールの件数が表示されます。画面右下には、選択したフォルダ内のメールの件数が表示されます。受信BOXでは、画面左下に、選択したフォルダ内の未読メールの件数も表示されます。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。
- FOMAカードへのコピーについては、P.243を参照してください。
- microSDメモリーカードへのコピーについては、P.322を参照してください。
- FOMA端末（本体）のｉモードメールやSMSのデータを赤外線通信やｉC通信で送受信できます。

メール一覧画面／表示画面の見かた

受信メール一覧

送信メール一覧

未送信メール一覧

1 受信メールの種類
［受信トレイ］フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の［受信トレイ］内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

	未読ｉモードメール		未読ｉモードメール（保護有）
	既読ｉモードメール		既読ｉモードメール（保護有）
	未読SMS		未読SMS（保護有）
	既読SMS		既読SMS（保護有）
	メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール（保護有）
	メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール（保護有）
	返信済みｉモードメール		返信済みｉモードメール（保護有）

次ページへ続く

	転送済みｉモードメール		転送済みｉモードメール（保護有）
	FOMAカード未読SMS		FOMAカード既読SMS

2 送信メールの種類
[送信トレイ]フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の[送信トレイ]内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

	送信済みｉモードメール		送信済みｉモードメール（保護有）
	送信済みSMS		送信済みSMS（保護有）
	メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール（保護有）
	FOMAカード送信済みSMS		

3 未送信メールの種類
未送信メールの種類が表示されます。

	未送信ｉモードメール		未送信ｉモードメール（保護有）
	未送信SMS		未送信SMS（保護有）

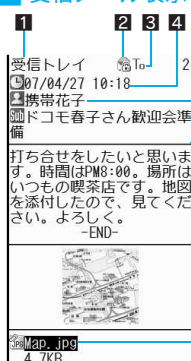
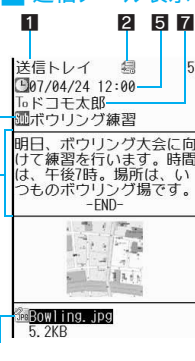
4 フォルダ名
フォルダ名が表示されます。

5 題名
題名のないメールは[無題]と表示されます。
先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

6 データが付いているとき
添付ファイルの種類が表示されます。

	GIF画像		未取得のvCalendar
	JPEG画像		Bookmark
	メロディ		Wordファイル
	ｉアプリToの情報		Excelファイル
	動画／ｉモーション		PowerPointファイル
	トルカ・トルカ（詳細）		Textファイル
	PDFデータ		BMPファイル
	電話帳		PNGファイル
	スケジュール		表示できないデータ
	ToDo		添付ファイル複数あり

7 受信日時（受信メール）※／送信日時（送信メール）／保存日時（未送信メール）
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。
※ お買い上げ時は、ｉモードセンターで受信した日時の新しい順に表示されます。表示方法を変更できます（☞P.233）。

8 宛先（送信先）
受信SMSの場合は、相手によって、次のように表示されます。
- 相手の電話番号が通知され、かつ電話帳に登録されている場合..............電話帳に登録されている名前
- 相手の電話番号が通知され、電話帳に登録されていない場合.........［090（または080など）XXXXXXXX］
- 相手の電話番号が非通知の場合 ....［非通知設定］
- 相手が公衆電話を利用して送信した場合 ....［公衆電話］

1 フォルダ名
文字サイズ設定により表示文字数が異なります。
大きい文字：全角５文字（半角11文字）
標準　　　：全角７文字（半角14文字）
小さい文字：全角９文字（半角18文字）

2 保護マーク
保護されているときに表示されます。

3 受信種別
受信種別（To／Cc／Bcc）が表示されます。

4 受信日時
ｉモードセンターまたはSMSセンターで受信した日時が表示されます。

5 送信日時
メールを送信した日時が表示されます。

6 送信元
送信元が表示されます。
送信種別（To／Cc）は同報が設定されている場合に表示されます。

	Toに指定されていたアドレスが返信不可の場合（50文字を超える場合など）
	Ccに指定されていたアドレスが返信不可の場合（50文字を超える場合など）

7 宛先（送信先）
メールの宛先（送信先）と送信種別（To／Cc／Bcc）が表示されます。

8 題名
メールの題名が表示されます。

9 本文
文末には[- END -]が表示されます。また、受信可能文字数を超えた場合、[/]または[//]が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。

10 添付種別マーク／ファイル名
添付ファイルの種類が表示されます。

	GIF画像		BMPファイル
	JPEG画像		PNGファイル
	メロディ		表示できないデータ

	動画／ｉモーション		未取得の選択受信添付ファイル
	トルカ・トルカ(詳細)		
	PDFデータ		取得途中の選択受信添付ファイル
	電話帳		取得不可の選択受信添付ファイル
	スケジュール		
	ToDo		貼り付けデータ不正／削除済みの添付ファイル
	Bookmark		
	Wordファイル		
	Excelファイル		FOMAカード動作制限機能が設定されているファイル
	PowerPointファイル		
	Textファイル		

画面操作については、P.228「メール表示画面での画面操作」を参照してください。

- 宛先または送信元のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の名前が宛先または送信元の欄に表示されます。電話帳に登録されていない場合、電話番号またはメールアドレスが表示されます。ただし、電話帳の機能別ロック中や、電話帳がシークレット登録(☞P.113)されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード(☞P.154)を[ON]に設定してください。
- 受信メールまたは送信メールの場合、画像が添付されているときは、画像が表示されます。

メールをお預かりセンターに保存する <お預かりセンターに保存>

- FOMA端末に保存されているｉモードメールやSMSを保存できます。
- 本文サイズが10000バイト、または挿入画像の合計が90Kバイトを超えるメールは、保存／更新できません。
- 選択保存するときは、最大10件まで選択できます。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 保存したメールの復元などの利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

1 受信／送信／未送信メール一覧画面(☞**P.229**)でメールを選んで⑥5[お預かりセンターに保存]を押す。

- 受信メール表示画面のときは、⑥◯2を押し、送信メール表示画面のときは、⑥◯3を押したあと、[はい]を選んで⦿を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押します。

2 メールを保存する。

1件保存する	1→[はい]→⦿→端末暗証番号を入力→⦿
複数のメールをまとめて保存する	2→メールを選ぶ⦿(くり返し可)→⑥→[はい]→⦿→端末暗証番号を入力→⦿ ● フォルダ内のメール件数が10件以下のときは、ⓘ[全選択]／ⓘ[全解除]を押して、すべてを選択／解除できます。

お知らせ

- 添付ファイルは保存できません。
- SMS送達通知は保存できません。
- お預かりセンターへ保存したときの通信履歴は、電話帳通信履歴表示で確認できます(☞P.114)。

フォルダを管理する

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSは、フォルダに分けて管理したり、削除や表示順番を並べ替えることができます。

- フォルダは、それぞれ最大20個([受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]、メール連動型ｉアプリフォルダを含まず)作成することができ、フォルダ名を編集したり、削除できます(ただし、[受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]、メール連動型ｉアプリは名前を編集したり、削除したりできません)。

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 受信／送信／未送信**BOX**一覧画面(☞**P.229**)で⑥11[フォルダ新規作成]を押す。

2 フォルダ名を入力して⦿を押す。

- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLRを1秒以上押します。

お知らせ

- FOMAカードにはフォルダを作成できません。
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 受信／送信／未送信**BOX**一覧画面(☞**P.229**)でフォルダを選んで⑥12[フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して⦿を押す。

- フォルダ名を削除するときは、CLRを1秒以上押します。

お知らせ

- [受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]、メール連動型ｉアプリのフォルダ名は編集できません。

フォルダの表示順を1つ上に移動する <フォルダ移動(↑)>

1 受信／送信／未送信**BOX**一覧画面(☞**P.229**)でフォルダを選んで⑥13[フォルダ移動(↑)]を押す。

お知らせ

- [受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]、メール連動型ｉアプリフォルダの位置は変更できません。

■ フォルダのセキュリティを設定する <フォルダセキュリティ>

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面（☞P.229）でフォルダを選んで📷 1 4［フォルダセキュリティ］を押す。

2 端末暗証番号を入力して⦿を押す。

3［ON］／［OFF］を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

お知らせ

- フォルダセキュリティを［ON］に設定すると、フォルダのマークが［🗀］に変わります。
  また、メール一覧を表示するときに端末暗証番号の入力が必要になります。
- フォルダセキュリティを設定した場合、受信／送信／未送信BOX一覧画面でⓘ［全表示］を押してすべてのメール一覧を表示するときに端末暗証番号の入力が必要になります。

■ フォルダを削除する

削除方法	説　明	操作できる画面
フォルダ1件削除	フォルダを1件ずつ削除します。	受信／送信／未送信BOX一覧画面
フォルダ選択削除	複数のフォルダをまとめて削除します。	
既読全件削除（受信メール）	［受信トレイ］を含む全フォルダ内の保護されていないすべての既読ｉモードメール／SMSを削除します。	受信BOX一覧画面
未読全件削除（受信メール）	［受信トレイ］を含む全フォルダ内の保護されていないすべての未読ｉモードメール／SMSを削除します。	
全削除（フォルダ残）	保護されていないすべてのｉモードメール／SMSを削除します。フォルダは残します。	受信／送信／未送信BOX一覧画面
全削除（フォルダ消）	すべてのフォルダと、保護されていないすべてのｉモードメール／SMSを削除します。	

作成したフォルダを削除する<削除>

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面でフォルダを選ぶ▶📷 2

2 1［フォルダ1件削除］
- フォルダを選んで削除するとき：2▶フォルダを選ぶ⦿（くり返し可）▶📷

3 端末暗証番号を入力▶⦿▶［はい］▶⦿

すべてのメールを削除する<全件削除>

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面で📷 2

2 5［全削除（フォルダ残）］
- 既読メールを全件削除するとき：3
- 未読メールを全件削除するとき：4
- フォルダごと全件削除するとき：6
- 送信BOX一覧画面／未送信BOX一覧画面のとき：3
- 送信BOX一覧画面／未送信BOX一覧画面でフォルダごと全件削除するとき：4

3 端末暗証番号を入力▶⦿▶［はい］▶⦿

お知らせ

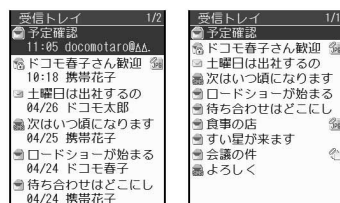
- ［受信トレイ］、［送信トレイ］、［未送信トレイ］は削除できません。
- FOMAカード内のSMSは削除されません。
- メールが保存されているフォルダも削除できます。
- 保護されているメールは削除できません。
- ［フォルダ1件削除］または［フォルダ選択削除］を行った場合、フォルダに保存されているメールも削除されます。ただし、保護されているメールがあるときは、フォルダおよびフォルダに保存されているメールは削除できません。
- ［全削除（フォルダ消）］を選択した場合、保護されていないｉモードメールやSMSは削除されますが、保護されているｉモードメールやSMSは削除されません。保護されているｉモードメールやSMSが保存されているフォルダは残ります。
- メール連動型ｉアプリフォルダに対応したソフトがある場合、フォルダを削除できません。ソフトを削除してからフォルダを削除してください。また、対応したソフトがない場合、フォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOX一覧内に作成されたメール連動型ｉアプリフォルダのうち、いずれかを削除すると、他のメール連動型ｉアプリフォルダもすべて削除されます。
- フォルダ選択削除の場合、すべてを選択／解除するときは、ⓘ［全選択］／ⓘ［全解除］を押します。

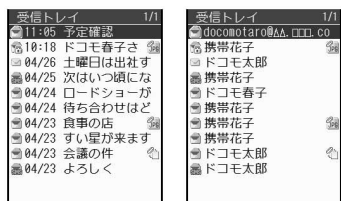
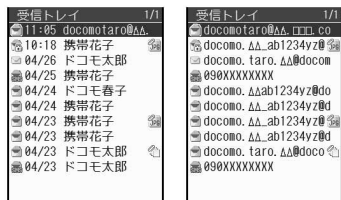
メールを管理する

■ メールの表示を切り替える<表示切替>

お買い上げ時　2行表示

メール一覧画面で以下の6通りの表示に切り替えることができます。

- 受信BOX、送信BOX、未送信BOXについて、それぞれの表示方法を設定できます。

2行表示

題名表示※1

日時＋題名表示※1　　名前表示※2

日時＋名前表示※2　　アドレス表示※3

※1　SMSは本文先頭文字を表示します。
※2　電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスまたは電話番号を表示します。
※3　SMSは電話番号を表示します。

1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.229）でⓜ61［表示切替］を押す。

2 表示方法を選ぶ。

2行表示	1	名前表示	4
題名表示	2	日時＋名前表示	5
日時＋題名表示	3	アドレス表示	6

受信メールの差出人のアドレスを表示する<アドレス確認>

1 受信メール一覧画面（☞P.229）でメールを選んでⓜ63［アドレス確認］を押す。

メールを並べ替える<ソート>

メールの表示方法

日付順（新→旧）	受信／送信／保存した日時が新しい順
日付順（旧→新）	受信／送信／保存した日時が古い順
アドレス順	相手のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順
題名順	題名によって、半角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字）→全角文字（ひらがな→カタカナ→漢字→絵文字→数字→英字大文字→英字小文字）→半角カタカナの順（各文字種類内では、文字コード順）
保護メール優先※	保護メール→通常のメールの順
添付ありメール優先※	添付ありメール→添付なしメールの順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

※ 各項目内は「日付（新→旧）」の順で表示されます。

1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.229）でⓜ62［ソート］を押す。

2 ソート方法を選んで◉を押す。

お知らせ

- ［受信トレイ］、［送信トレイ］の場合、iモードメール、FOMA端末（本体）のSMS、FOMAカードのSMSのすべてがソートされます。
- サイズ順でのソートの場合、先にiモードメールとFOMA端末（本体）内のSMSの並べ替えを行い、その次にFOMAカード内のSMSのみで並べ替えを行います。
- お買い上げ時は、受信／送信／未送信メールのいずれも、送信／保存（または受信）した日時が新しい順（［日付順（新→旧）］）に設定されています。
- メール一覧以外の画面を表示すると、変更した表示方法は、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、表示方法を変更した状態でメール表示画面を確認したあと、CLRを押したり、［1件移動］または［1件削除］してメール一覧画面に戻った場合は、変更した状態が保持されます。

メールを別のフォルダに移動する<移動>

1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.229）でメールを選んでⓜ31［移動］を押す。

2 移動方法を選ぶ。

1件移動する	1→フォルダを選ぶ→◉
フォルダ内で複数をまとめて移動する	2→メールを選ぶ◉（くり返し可）→ⓜ→フォルダを選ぶ→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ［全選択］／ⓘ［全解除］を押します。
フォルダ内のすべてを移動する	3→フォルダを選ぶ→◉

メール表示画面で別のフォルダに移動する<1件移動>

1 受信メール表示画面（☞P.230）でⓜ61［1件移動］を押す。
- 送信メール表示画面のときは、ⓜ71を押します。

2 フォルダを選んで◉を押す。

お知らせ

- FOMAカード内のSMSはFOMAカード内では移動できません。
- メール連動型iアプリをダウンロードするときに自動的に作成されるフォルダに、すでに受信しているiアプリメールを手動で振り分けることもできます。

メールを保護する<保護>

1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.229）でメールを選んで◎1［保護］を押す。

- 受信メール表示画面のときは、◎21を押し、表示しているメールを保護します。
- 送信メール表示画面のときは、◎31を押し、表示しているメールを保護します。

2 保護／解除方法を選ぶ。

1件保護する	11
複数をまとめて保護する	12→メールを選ぶ◉（くり返し可）→◎ ● すべてを選択／解除する場合は、Ⓘ［全選択］／Ⓘ［全解除］を押します。
フォルダ内のすべてを保護する	13
1件解除する	21
複数をまとめて解除する	22→メールを選ぶ◉（くり返し可）→◎ ● すべてを選択／解除する場合は、Ⓘ［全選択］／Ⓘ［全解除］を押します。
フォルダ内のすべてを解除する	23

お知らせ

- FOMAカード内のSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードにコピーすると、保護は解除されます。
- 複数をまとめて保護する場合、選択できるのは最大50件までです。

メールを削除する<削除>

メールの削除方法

削除方法	説　明	操作できる画面
1件削除	iモードメール／SMSを1件ずつ削除します。	受信／送信／未送信メール一覧画面 受信／送信メール表示画面
選択削除	保護されていない複数のiモードメール／SMSをまとめて削除します。	受信／送信／未送信メール一覧画面
フォルダ内全件削除	フォルダ内の保護されていないすべてのiモードメール／SMSを削除します。	
フォルダ内既読削除（受信メール）	フォルダ内の保護されていないすべての既読iモードメール／SMSを削除します。	受信メール一覧画面
フォルダ内未読削除（受信メール）	フォルダ内の保護されていないすべての未読iモードメール／SMSを削除します。	

メールを1件ずつ削除する<1件削除>

1 受信メール表示画面で◎3
- 送信メールを削除するとき：送信メール表示画面で◎4

2 ［はい］▶◉

メール一覧画面から1件ずつ削除する<1件削除>

受信／送信／未送信メール一覧画面で◎21▶［はい］▶◉

メール一覧画面からすべてのメールを削除する<フォルダ内全件削除>

1 受信／送信／未送信メール一覧画面で◎2

2 5［フォルダ内全件削除］
- 既読メールを全件削除するとき：3
- 未読メールを全件削除するとき：4
- 送信／未送信メールのとき：3

3 端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］▶◉

メールを選んで削除する<選択削除>

1 受信／送信／未送信メール一覧画面で◎2

2 2［選択削除］

3 メールを選ぶ◉（くり返し可）▶◎▶［はい］▶◉

iアプリフォルダ内のメールを削除する<削除>

1 受信／送信BOX一覧画面でiアプリフォルダを選ぶ▶◎4［iモードメール閲覧］
- 未送信BOX一覧画面のとき：iアプリフォルダを選ぶ▶◎3

2 1件削除のときは、メールを選ぶ▶◎21▶［はい］▶◉
- フォルダ内の受信メールをすべて削除するとき：◎25▶端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］▶◉
- フォルダ内の送信／未送信メールをすべて削除するとき：◎23▶端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］▶◉
- 既読メールを削除するとき：◎23▶端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］▶◉
- 未読メールを削除するとき：◎24▶端末暗証番号を入力▶◉▶［はい］▶◉
- メールを選んで削除するとき：◎22▶メールを選ぶ◉（くり返し可）▶◎▶［はい］▶◉

お知らせ

- メール一覧画面からは、FOMAカード内のメールを選択して削除できます。
- 選択削除の場合、選択できるのは最大50件までです。フォルダ内のメール件数が50件以下のときは、Ⓘ［全選択］／Ⓘ［全解除］を押して、すべてを選択／解除できます。
- iアプリのソフトによっては、フォルダ内からiアプリメールが自動的に削除されることがあります。

メール受信履歴・メール送信履歴

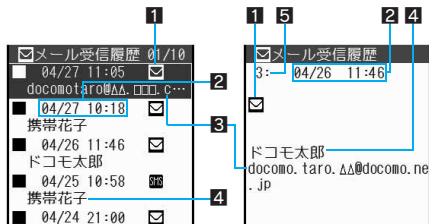
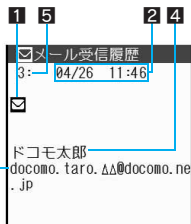
メールの履歴を利用する

FOMA端末は、送受信したメール（iモードメール、SMS）の履歴を、最新のものから受信／送信それぞれ30件まで記憶しています。これらの履歴を利用して、メールを送信したり、音声電話や、テレビ電話をかけたり、相手のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 同じ相手と複数回送受信したときは、それぞれ別の履歴として記憶されます。

- 同報送信したメールアドレスは履歴に記憶されません。送信メール表示画面で、送信に成功した宛先を確認することができます（☞P.230）。
- メールアドレスは最大半角50文字まで表示されます。

メール受信／送信履歴一覧・詳細画面の見かた

ここでは、受信メールで説明しています。

履歴一覧画面　　履歴詳細画面

1 履歴の種類

✉	ｉモードメール
SMS	SMS
✉×	返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS（メール受信履歴）／送信を失敗したメール（メール送信履歴）

2 受信日時（メール受信履歴）／送信日時（メール送信履歴）
メールの受信日時／送信日時が表示されます。

3 相手のメールアドレスまたは電話番号
相手のメールアドレスや電話番号が表示されます。

4 相手の名前
電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。

5 履歴番号
受信日時／送信日時が新しい順に番号が表示されます。

お知らせ

- メール受信履歴、メール送信履歴を表示しないように設定できます（☞P.154）。

メール受信履歴／メール送信履歴を利用してメールを送信する

1 待受画面で◯（✉）◉［受信履歴］を押す。

- 画面右上に表示される数字が小さいほど、新しく受信したものです。
- メール受信履歴表示を［OFF］に設定しているときには、［メール受信履歴表示OFF設定中］と表示されます。
- メール送信履歴を利用してメールを送信するときは、待受画面で◯（□）◉［送信履歴］を押します。メール送信履歴表示を［OFF］に設定しているときには、［メール送信履歴表示OFF設定中］と表示されます。

2 履歴を選んで◉を押す。

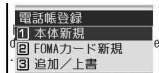
- 確認を終わるときは、☎を押します。

3 ◉［メール］を押す。

- ｉモードメールの履歴を選んで操作した場合は、ｉモードメール作成画面が表示されます。宛先欄には、相手のメールアドレスが入力されています。以降の操作については、P.215の操作３～４を参照してください。
- SMSの履歴を選んで操作した場合は、SMS作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の電話番号が入力されています。以降の操作については、P.240の操作３～４を参照してください。

メール受信履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

1 待受画面で◯（✉）◉［受信履歴］を押し、履歴を選んで◉を押し、📷1［電話帳登録］を押す。

- メール受信履歴一覧画面で、履歴を選んで📷1を押しても登録できます。
- ｉモードメールの履歴を選んで操作を行うと、電話帳にメールアドレスが登録されます。
- SMSの履歴を選んで操作を行うと、電話帳に電話番号が登録されます。

2 登録方法を選ぶ。

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録する	1
FOMAカード電話帳に新規登録する	2
電話帳に追加／上書き登録する	3→名前を選ぶ→◉

- 電話帳入力画面に、メールアドレスまたは電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます（☞P.98、P.103）。

お知らせ

- メール送信履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。操作方法は、メール受信履歴の場合と同様です。

メールの履歴を削除する<削除>

1 メール受信／メール送信履歴一覧画面（☞**P.235**）で、履歴を選んで📷2［削除］を押す。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→[はい]→●
すべてを削除する	2→[はい]→●

関連操作

メールの履歴から電話をかける<電話発信>

1 メール受信／メール送信履歴一覧画面で履歴を選ぶ▶ 3▶[はい]▶●

2 音声電話をかけるときは●

- テレビ電話をかけるとき：
- プッシュトーク発信するとき：

関連操作のお知らせ

電話発信について

- あらかじめ電話帳にメールを送信された相手のメールアドレスと電話番号が登録されている場合、発信することができます。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

メールの文字サイズを切り替える <文字サイズ設定>

お買い上げ時 標準

ディスプレイに表示されるｉモードメールやSMSの文字の大きさを設定できます。

- テンプレートリスト画面や、メール作成時のテンプレートから呼び出したデコメールのプレビュー画面では文字サイズは変わりません。

1 待受画面で 9 4を押し、文字サイズを選ぶ。

大きい文字	1
標準	2
小さい文字	3

メール表示画面でワンタッチで文字サイズを切り替える

文字を小さくするときは1
文字を大きくするときは3

メール表示画面でサブメニューから文字サイズを切り替える<文字サイズ設定>

1 受信メール表示画面で 3

- 送信メール表示画面のとき： 4

2 文字サイズを選ぶ▶●

メールを自動的にフォルダに振り分ける<振分け条件設定>

フォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったｉモードメールやSMSを自動的に振り分けることができます。

- [受信トレイ]や[送信トレイ]、[未送信BOX]のフォルダに振分け条件を設定することはできません。
- SMSをFOMAカードへ振り分けることはできません。
- 受信／送信BOXで、それぞれ最大25個（ｉアプリフォルダを含む）まで振り分けができ、1つのフォルダに最大10件まで振分け条件を設定できます。
- 通常のメールを、メール連動型ｉアプリフォルダに振り分けることもできます。このとき、メール連動型ｉアプリの振分け条件が優先されます。

振分け条件について

振分け条件として設定できるのは、次の6つです。

アドレス（差出人）	差出人のメールアドレスで振り分けます（受信メールのみ）。
アドレス（差出人／同報）／アドレス（送信先／同報）	受信メールはFrom、To、Cc、送信メールはTo、Cc、Bccのアドレスが振分け条件の対象となり、画面上で上にあるフォルダから優先的に振り分けられます。
グループ	FOMA端末（本体）電話帳に設定されているグループで振り分けます。
題名	題名に含まれている文字列で振り分けます。
電話帳登録なし	FOMA端末（本体）電話帳に登録されていない相手からのメールを振り分けます。送信メールの場合、電話帳未登録のアドレスが送信先／同報に1件でも存在すれば指定フォルダに振り分けます。
すべての受信（送信）メール	すべての受信メール（または送信メール）を振り分けます。

- 複数のフォルダの振分け条件に合致した場合、[フォルダ1]が最も優先順位が高く、一番下に表示されているフォルダが最も優先順位が低くなります。
- シークレット登録した電話帳データは、登録されていないのと同じ扱いになります。[グループ]では振分け対象外になり、[電話帳登録なし]では振分け対象になりますので、ご注意ください。[グループ]の対象にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 指定したメールアドレスのメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（最大半角50文字）。ただし、送信元がｉモード端末（mova含む）のアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」は省略できます。また、電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。
- 電話帳の機能別ロック中は、[グループ]と[電話帳登録なし]は振り分け対象外となりますので、ご注意ください。
- FOMAカード電話帳に登録してある相手からのメールは、[電話帳登録なし]のメールとして振り分けられます。
- ｉアプリメールは振分け条件に関係なく、対応するメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられます。

■フォルダに振分け条件を設定する

1 受信／送信BOX一覧画面（☞P.229）でフォルダを選んで⊚3［振分け条件設定］を押す。

- 上にあるフォルダに設定されている条件ほど優先度が高くなります。

2 登録先番号を選んで⊙を押し、振分け条件を設定する。

- 設定済みの番号を選ぶと、振分け条件を編集できます。振分け条件を選び直して⊙を押し、［はい］を選んで⊙を押します。
- メール連動型ｉアプリフォルダに設定するときは、［メールはソフトで利用されます　設定しますか？］と表示されます。［はい］を選んで⊙を押し、振分け条件を設定します。［いいえ］を選んで⊙を押すと、操作1の画面に戻ります。

受信メールを差出人のメールアドレスで振り分ける	［アドレス（差出人）］→⊙→入力方法を選ぶ→⊙→メールアドレスを選ぶ（または入力）→⊙ ● 半角20文字分まで表示されます。
差出人または宛先と同報のメールアドレスで振り分ける	［アドレス（差出人／同報）］または［アドレス（送信先／同報）］→⊙→入力方法を選ぶ→⊙→メールアドレスを選ぶ（または入力）→⊙ ● 半角20文字分まで表示されます。
グループで振り分ける	［グループ］→⊙→グループ名を選ぶ→⊙ ● グループ名が表示されます。
題名に含まれる文字列で振り分ける	［題名］→⊙→文字列を入力→⊙ ● 最大全角15文字（半角30文字）まで入力でき、入力した文字列の先頭から全角10文字分（半角20文字分）が表示されます。
FOMA端末（本体）の電話帳に登録していない相手からのメールを振り分ける	［電話帳登録なし］→⊙
すべての受信（送信）メールを振り分ける	［全ての受信メール］または［全ての送信メール］→⊙→［はい］→⊙ ● ［全ての受信（送信）メール］が［1］に設定されます。 ● ［いいえ］を選んで⊙を押すと、指定した番号に設定されます。

3 複数の振分け条件を設定するときは、操作2をくり返す。

4 ⓘ［完了］を押す。

■設定した振分け条件を削除する

振分け条件を削除できます。

1 受信／送信BOX一覧画面（☞P.229）でフォルダを選んで⊚3［振分け条件設定］を押す。

2 振分け条件を選んで⊚を押し、削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→［はい］→⊙→ⓘ
全件削除する	2→［はい］→⊙→ⓘ

ｉモードメールに署名を付ける
＜署名登録＞

お買い上げ時　ON

署名を利用して自分の名前や電話番号、メールアドレスなどを伝えることができます。また、署名を装飾できます。

- ｉモードメール作成時に、自動的にあらかじめ署名を本文に貼り付ける（入力される）ように設定できます。
- 署名は1件のみ登録できます。
- SMSには署名を貼り付けることができません。

1 待受画面で✉90を押す。

- サイクロイドポジションのときは、✉9○1を押します。
- すでに署名が登録されているときは、現在登録されている署名が表示されます。

2 署名を入力して⊙を押し、1［ON］を押す。

- 本文は全角5000文字（半角10000文字）まで、挿入画像は最大90Kバイトまで入力できます。改行［↲］も入力できます。

関連操作

署名を装飾する

1 待受画面で✉90
- サイクロイドポジションのとき：待受画面で✉9○1

2 P.218「装飾しながら本文を作成する」の操作3～6を参照して署名を装飾

署名を削除する

1 待受画面で✉90
- サイクロイドポジションのとき：待受画面で✉9○1

2 CLR（1秒以上）▶⊙▶2

ｉモード問い合わせの内容を設定する ＜ｉモード問い合わせ設定＞

お買い上げ時	ｉモードメール：ON メッセージR：ON　メッセージF：ON

ｉモード問い合わせをするかどうかを種類別(ｉモードメール、メッセージR／F)に設定できます。

1 待受画面で✉９６を押し、種類と[ON]／[OFF]を選ぶ。

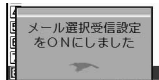
ｉモードメール	１→１[ON]／２[OFF]
メッセージR	２→１[ON]／２[OFF]
メッセージF	３→１[ON]／２[OFF]

2 ⓘ[完了]を押す。

ｉモードメールを選択して受信できるようにする＜メール選択受信設定＞

お買い上げ時 OFF

- メール選択受信設定を[ON]に設定した場合でも、ｉモード問い合わせを行うとすべてのメールを受信します。受信したくない場合には、お問い合わせしたい項目からｉモードメールを外してご利用ください(☞P.225)。

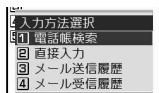
1 待受画面で✉９８を押し、１[ON]を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

メールメンバーリストを作成する ＜メールメンバー設定＞

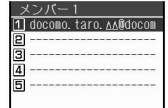
複数の宛先をメールメンバーに登録しておくと、簡単な操作で複数の宛先を指定できます。宛先を１件ずつ指定する同報送信の操作とは異なり、一度に複数の宛先を指定できます。

- １つのメールメンバーにつき、最大５件のメールアドレスを登録できます。
- メールメンバーは、最大10件まで登録できます。
- 通信料は、１通のみ送信した場合と同じです(ただし、追加した宛先の情報量については、通信料が増えます)。

■ メールメンバーにアドレスを登録する

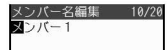
1 待受画面で✉９９を押す。

2 登録先のメールメンバーの番号を選んで⦿を押し、登録先を選んで⦿を押す。

3 入力方法を選んで⦿を押し、メールアドレスを選択(または入力)して⦿を押す。

- すでに登録されている番号を選んだときは、入力方法選択画面で２[直接入力]以外を押すと、[上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選んで⦿を押すと、メールアドレスを選択できます。[いいえ]を選んで⦿を押すと、操作３の画面に戻ります。２[直接入力]を押したときは、アドレス入力画面が表示されます。
- メールアドレスを追加して登録するときは、登録先を選んで⦿を押し、操作３をくり返します。

4 ⓘ[完了]を押す。

■ メールメンバーのメンバー名を編集する

1 待受画面で✉９９を押し、メールメンバーを選んで📷１[メンバー名編集]を押す。

- メンバー名をリセットするときは、メールメンバーを選んで、📷２[メンバー名１件リセット]を押します。[はい]を選んで⦿を押すと、メンバー名がお買い上げ時のメンバー名([メンバー1]～[メンバー10])に戻ります。

2 メンバー名を編集して⦿を押す。

- 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- メンバー名を削除するときはCLRを１秒以上押します。

■ メールメンバーに登録されているメールアドレスを削除する

1 待受画面で✉９９を押し、メールメンバーを選んで⦿を押す。

2 メールアドレスを選んで📷を押し、削除方法を選ぶ。

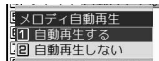
１件削除する	１→[はい]→⦿→ⓘ
すべてを削除する	２→[はい]→⦿→ⓘ ● 選んだメールメンバー内のすべてのメールアドレスを削除します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する<メロディ自動再生>

お買い上げ時 自動再生する

メッセージR／Fや受信したｉモードメールに添付または貼り付けられているメロディを、自動再生するかどうかを設定できます。

- 100Kバイトを超えるメロディは自動再生されません。

1 待受画面で✉93を押し、自動再生するかどうかを選ぶ。

自動再生する	1	開封時に自動的に再生します。
自動再生しない	2	開封時に自動的に再生しません。

お知らせ

- [自動再生する]に設定した場合、マナーモード設定中は、メロディを再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。
- マルチウインドウでワンセグを視聴している場合には、[自動再生する]に設定していてもメロディは自動再生されません。

クイック返信メールの本文を設定する<クイック返信メール設定>

クイック返信(☞P.226)するときは、送信する本文をあらかじめ設定しておきます。

- 本文は全角250文字(半角500文字)以内で10件まで登録できます。
- お買い上げ時に登録されている本文は次のとおりです。

1	また後でかけ直します	6	よろしくお願い致します
2	OKです	7	キャンセルです
3	NGです	8	今忙しい
4	ありがとうございます	9	了解しました
5	ごめんなさい	0	ちょっと待ってください ● サイクロイドポジションのとき：○1

1 待受画面で✉91を押し、登録または編集する本文の番号を選んで⦿を押す。

2 本文を編集して⦿を押す。

添付ファイルを受信するかどうかを設定する<添付ファイル受信設定>

お買い上げ時 すべて受信する

受信する添付ファイルの種類を設定できます。受信しないように設定した添付ファイルは選択受信添付ファイルになり、メール受信時には取得されません。

- 選択受信添付ファイルの取得方法については、P.227を参照してください。

1 待受画面で✉92を押す。

2 添付ファイルの種類を選んで⦿を押し、📷を押す。

- [☑]が選択、[□]が解除の状態です。⦿を押すと交互に切り替えることができます。
- すべてを選択／解除する場合は、ⓘ[全選択]／ⓘ[全解除]を押します。

お知らせ

- メッセージR／Fの場合、設定にかかわらず、すべての添付ファイルを受信します。
- メール本文中に貼り付けられたMFi形式のメロディは設定にかかわらず受信します。

操作中のメール受信の通知方法を設定する<メール受信表示設定>

お買い上げ時 通知優先

操作中にメールを受信した場合の通知方法を設定できます。

- 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中、パターンデータ更新中、ストリーミングタイプのｉモーションの取得中は、メール受信画面と受信完了画面は表示されません。また、通常ポジションおよびサイクロイドポジションの全画面表示でワンセグを視聴中、録画中のときも、メール受信画面と受信完了画面は表示されません。

1 待受画面で✉95を押し、通知方法を選ぶ。

通知優先	1	メール受信時に、メール受信画面と受信した[✉]、[R]、[F]、[SMS]が表示されます。着信ランプなどが点滅し、メール着信音が鳴り、受信完了画面が表示されます。
操作優先	2	メール受信時に、受信した[✉]、[R]、[F]、[SMS]などが表示されます。メール着信音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。また、メール受信画面と受信完了画面は表示されません。

メールの設定状況を確認する
＜メール設定確認＞

1 待受画面で✉9○3を押す。

- サイクロイドポジションのときは、✉9○6を押します。
- ✥でページを切り替えられます。
- 確認を終わるときは、⦿を押します。

メール設定確認
添付ファイル受信設定
イメージ ON
メロディ ON
ｉモーション ON
トルカ ON
PDF ON
ツールデータ ON
その他 ON

メール機能の設定をリセットする
＜メール設定リセット＞

メールの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 待受画面で✉9○4を押す。

- サイクロイドポジションのときは、✉9○7を押します。

2 端末暗証番号を入力して⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

お知らせ

- 内容がリセットされない設定は次のとおりです。
  - ■ 署名登録　■SMSセンター設定
  - ■ クイック返信メール設定　■SMS有効期間設定
  - ■ メールメンバー設定　■SMS本文入力設定

関連操作

メールを機能別ロックする＜機能別ロック＞

1 待受画面で✉9○5
- サイクロイドポジションのとき：待受画面で✉9○8

2 端末暗証番号を入力▶⦿▶1

SMS作成・送信

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

SMSを新規に作成して、送信します。

- SMSの宛先には電話番号を入力します。
- SMSの本文に入力できる文字数は、SMS本文入力設定により異なります。
- SMSの本文に半角カタカナや絵文字を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で✉5を押す。

2 [宛先]を選んで⦿を押し、入力方法を選ぶ。

電話帳から選択する	1→相手を選ぶ→⦿ ● 電話番号が20桁を超える場合、超えた部分は削除されます。
直接入力する	2→宛先を入力→⦿ ● 電話番号（最大20桁まで）を入力します。 ● 0（1秒以上）を押すと[+]を入力できます。[+]を入力した場合は、合計21桁まで入力できます。 ● 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、[+]（0（1秒以上）を押す）、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また、「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。
メール送信履歴から選択する	3→相手を選ぶ→⦿→⦿ ● SMSのメール送信履歴がある場合に選択できます。
メール受信履歴から選択する	4→相手を選ぶ→⦿→⦿ ● SMSのメール受信履歴がある場合に選択できます。

3 [本文]を選んで⦿を押し、本文を入力して⦿を押す。

- SMS本文入力設定を[日本語（70文字）]に設定している場合は、全角・半角を問わず最大70文字まで入力できます。
  [英語（160文字）]に設定している場合は、半角英数字のみを最大160文字まで入力できます。
- 改行[↵]は、[日本語（70文字）]に設定している場合は1文字、[英語（160文字）]に設定している場合は2文字としてカウントされます。スペース（空白）は1文字としてカウントされます。
- [英語（160文字）]に設定している場合、[ ] ^ ¦ { } ~ は、本文入力画面では半角1文字としてカウントされますが、送信するときに全角1文字としてカウントされるため、本文入力画面で160文字以内でも[送信できませんでした]と表示され、送信されないことがあります。

4 🅘[送信]を押す。

- 送信が完了すると、[送信完了しました]と表示されます。
- 送達通知を設定するときは、📷3を押し、1[要求する]または2[要求しない]を押します。
- 有効期間を設定するときは、📷4を押し、有効期間を選んで⦿を押します。

お知らせ

- 宛先入力では、[+]は先頭でのみ有効となります。
- 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
- SMSはｉモード契約をしていなくても送信できます。

お知らせ

- FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末からのショートメールをSMSとして受信できます。
- 受信SMSと送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存できます。未送信SMSをFOMAカードに保存することはできません。
- 送信時に設定した送達通知や有効期間は、メール設定のSMS送達通知設定やSMS有効期間設定には反映されません。

編集中に電話がかかってくると

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

「184」／「186」を付けたとき（☞P.46）

- 宛先の先頭に「186」を付けると、SMSを送信できません。「184」を付けた場合は、SMSが送信されますが、発信者番号も通知されます。

SMS（ショートメッセージ）を保存しておき、あとで送信する<SMS保存>

SMSの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したSMSを保存しておきたいときは、FOMA端末（本体）に一時保存できます。また、保存したSMSを編集して送信できます。

- SMSの作成については、P.240を参照してください。
- 未送信SMSと送信SMSはｉモードメールと合わせて、それぞれ最大500件まで、FOMA端末（本体）に保存できます。

未送信SMSを保存する

1 SMSの作成中（☞P.240の操作1～3）に📷2［保存］を押す。

- 作成中のSMSが、未送信SMSとして保存されます。

お知らせ

- SMS作成中に☎を押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、SMSの作成を中止できます。ただし、作成を中止したSMSは保存されません。
- 未送信SMSはFOMAカードにコピー（保存）できません。

保存したSMSを編集・送信する

1 未送信メール一覧画面（☞P.229）でSMSを選んで⦿を押す。

2 項目を選んで⦿を押し、編集して🄸［送信］を押す。

- 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.240の操作2～3を参照してください。

送信したSMSを編集・再送する

1 送信メール一覧画面（☞P.229）でSMSを選んで⦿を押す。

2 編集・再送する。

編集する	🄸または📷1→SMS編集→🄸 ● 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは、P.240の操作2～3を参照してください。
再送する	📷2

SMS受信

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信します。

- 受信SMSはｉモードメールと合わせて最大1000件までFOMA端末（本体）に保存できます（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります）。

1 SMSが届くと、自動的に受信する。

2 受信終了後、SMSの受信結果が表示され、SMS着信音が鳴る（［SMS］表示）。

メインディスプレイ受信完了画面

サブディスプレイ受信完了画面

- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに［受信完了］と表示されたあと、ｉモードメールとSMSの合計の件数が表示されます。

待受画面に表示されるマークの意味

マーク	意味
SMS（赤文字）	未読SMSがあります。
✉SMS	未読ｉモードメールと未読SMSの両方があります。
✉	FOMA端末（本体）内のｉモードメールやSMSがいっぱいです。
SMS（青文字）	FOMAカード内のSMSがいっぱいです。
✉（赤色）	FOMA端末（本体）内のｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSがいっぱいです。

3 受信完了画面で、［メール］を選んで⦿を押す。

- 受信完了画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ると［新着メールあり　〇件］と表示されます。

4 フォルダを選んで◉を押し、SMSを選んで◉を押す。

- 受信SMSの見かたについては、P.242「受信したSMS（ショートメッセージ）を見る」を参照してください。

お知らせ

- SMS着信音は変更できます（☞P.117）。
- FOMAカード内のSMSは上書きされません。
- FOMA端末（本体）に保存された受信SMSをFOMAカードにコピーできます。ただし、SMS送達通知はコピーできません。
- 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。

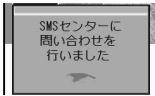
待受中以外の状態で受信したとき

- メール受信表示設定を［通知優先］に設定している場合、SMS着信音が鳴り、ディスプレイにマーク（☞P.241）と受信完了画面が表示されます。

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる<SMS問い合わせ>

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたSMSはSMSセンターに保管されています。SMSセンターに問い合わせて受信できます。

1 待受画面で✉⑥②を押す。

- 右の画面が表示されたあと、センターにSMSが保管されていると、自動受信が始まります。

お知らせ

- FOMA端末（本体）とFOMAカードの容量がいっぱいの場合は、それ以上SMSを受信できません。未読SMSを確認／削除するか、保護を解除してください（☞P.234）。読んだり、保護を解除したSMSは、受信時に古いものから上書きされます。
- 問い合わせをしたあと、自動受信がすぐに始まらない場合があります。

受信したSMS（ショートメッセージ）を見る<受信SMS表示>

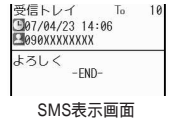
受信したSMSを表示します。

- 受信したSMSは［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.237）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- FOMAカードにコピーした受信SMSも［受信トレイ］に保存されます。

1 待受画面で✉①を押す。

- BOX一覧画面の見かた（☞P.229）
- 送信SMSを表示するときは、待受画面で✉②を押します。
- 未送信SMSを表示するときは、待受画面で✉③を押します。

2 フォルダを選んで◉を押し、SMSを選んで◉を押す。

- メール一覧画面／表示画面の見かた（☞P.229）
- FOMAカード内の受信SMSを表示するときは、［受信トレイ］を選んで◉を押し、SMSを選んで◉を押します。［受信トレイ］には、FOMA端末（本体）内とFOMAカード内の両方の受信SMSが一覧表示されます。
  マークで区別してください（☞P.229）。
- FOMAカード内の送信SMSを表示するときは、［送信トレイ］を選んで◉を押し、SMSを選んで◉を押します。
- 表示を終わるときは、☎を押します。

SMS表示画面

お知らせ

- 受信SMSはｉモードメールと合わせて、最大1000件までFOMA端末（本体）に保存できます。

受信したSMS（ショートメッセージ）に返信する<SMS返信>

SMSに返信できます。

1 SMS表示画面（☞P.242「受信したSMS（ショートメッセージ）を見る」の操作2）で📷①①［返信］を押し、SMSを作成して◉［送信］を押す。

- 受信SMSの本文を引用して返信するときは、SMS表示画面で📷①③［引用返信］を押し、SMSを作成します。
- 本文の文字数は、送ってきた相手のSMS本文入力設定により入力できます。
- 詳しくは、P.240の操作2～3を参照してください。

お知らせ

- SMSはクイック返信できません。
- 送信元が非通知設定、公衆電話、通知不可のSMSには返信できません。
- FOMAカード内のSMSへの返信SMSを作成中に保存した場合、未送信SMSはFOMA端末（本体）に保存されます。
- 送信元がドコモ以外の海外通信事業者の場合、宛先の先頭に［+］が自動的に入力されます。

受信したSMS（ショートメッセージ）を転送する<SMS転送>

1 SMS表示画面（☞P.242「受信したSMS（ショートメッセージ）を見る」の操作2）で📷①④［転送］を押し、SMSを作成して◉［送信］を押す。

- 詳しくは、P.240の操作2～3を参照してください。

SMS設定

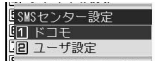
SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMS（ショートメッセージ）センターの設定をする＜SMSセンター設定＞

お買い上げ時　ドコモ（ドコモのSMSセンター）

SMSセンターの接続先を変更できます。
- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

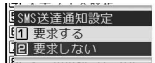
1 待受画面で✉9＊を押す。
- サイクロイドポジションのときは、✉9○2を押します。

2 2［ユーザ設定］を押し、SMSセンターのアドレスを入力して●を押す。
- アドレスは最大20桁まで入力できます。

3 1［International］／2［Unknown］を押す。

相手に届いたら通知を受け取る＜SMS送達通知設定＞

お買い上げ時　要求しない

送信するSMSの送達通知を受け取るかどうかを設定できます。
- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 待受画面で✉9＃を押す。
- サイクロイドポジションのときは、✉9○3を押します。

2 送達通知を受け取るかどうかを選ぶ。

受け取る	1
受け取らない	2

お知らせ

- SMS送達通知はSMSで届きます。
- SMS送達通知は、SMS作成時にも設定できます。
- SMS送達通知単独ではFOMAカードへコピー、microSDメモリーカードへコピー、赤外線送信することはできません。

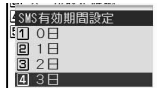
SMS（ショートメッセージ）に有効期間を設定する＜SMS有効期間設定＞

お買い上げ時　3日

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管する期間を設定します。0日〜3日を選択できます。

0日を設定すると一定時間後、再送したのちにSMSセンターから削除されます。
- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 待受画面で✉9○1を押し、期間を選ぶ。
- サイクロイドポジションのときは、✉9○4を押します。

0日	1	1日	2	2日	3	3日	4

お知らせ

- 有効期間設定は、SMS作成時にも設定できます。

本文に入力できる文字を設定する＜SMS本文入力設定＞

お買い上げ時　日本語（70文字）

SMSの本文に入力できる文字の種類を設定できます。
- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 待受画面で✉9○2を押す。
- サイクロイドポジションのときは、✉9○5を押します。

2 入力する文字の種類を選ぶ。

日本語	1
半角英数字	2

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードにコピーできます。FOMAカードには、受信SMS、送信SMS合わせて最大20件まで保存できます。
- あらかじめFOMAカードを挿入しておいてください。

FOMA端末（本体）のSMS（ショートメッセージ）をFOMAカードにコピーする

例：受信SMSの場合

1 待受画面で✉1を押し、フォルダを選んで●を押す。
- 受信メール一覧画面が表示されます。
- 送信SMSのときは、待受画面で✉2を押し、フォルダを選んで●を押します。
- SMS表示画面からコピーするときは、SMS表示画面で◎64（送信SMSのときは◎74）を押します。［はい］を選んで●を押すと、コピーされます。

次ページへ続く▶▶

2 FOMA端末（本体）内のSMSを選んでⓜ33［FOMAカードへコピー］を押す。

● FOMA端末（本体）のSMSを選んだ場合、サブメニューに［FOMAカードへコピー］が表示されます。

マークの意味

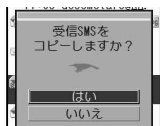
■ FOMA端末（本体）内

	未読SMS
	既読SMS
	送信済みSMS
	未読SMS（保護有）
	既読SMS（保護有）
	送信済みSMS（保護有）

■ FOMAカード内

	未読SMS
	既読SMS
	送信済みSMS

3 コピー方法を選ぶ。

● 受信SMSは［受信トレイ］に、送信SMSは［送信トレイ］にコピーされます。

1件コピーする	1→［はい］→◉
選択してコピーする	2→SMSを選ぶ◉（くり返し可）→ⓜ→［はい］→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ［全選択］／ⓘ［全解除］を押します。

お知らせ

● 未送信SMSはFOMAカードにコピーできません。
● SMS送達通知はコピーできません。
● 上書きコピーはできません。
● FOMAカードの最大保存件数を超えると、コピーが中止されます。
● 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。ただし、送信日時はコピーされません。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末（本体）にコピーする

例：受信SMSの場合

1 受信BOX一覧画面（☞P.229）で［受信トレイ］フォルダを選び、◉を押す。

● 送信SMSのときは、待受画面で✉2を押し、［送信トレイ］フォルダを選んで◉を押します。

● SMS表示画面からコピーするときは、SMS表示画面で、ⓜ64（送信SMSのときはⓜ74）を押します。［はい］を選んで◉を押すと、コピーされます。

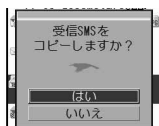
2 FOMAカード内のSMSを選んでⓜ33［本体へコピー］を押す。

● FOMAカードのSMSを選んだ場合、サブメニューに［本体へコピー］が表示されます。

マークの意味

	FOMAカードの未読SMS
	FOMAカードの既読SMS
	FOMAカードの送信済みSMS

3 コピー方法を選ぶ。

● 受信SMSは［受信トレイ］に、送信SMSは［送信トレイ］にコピーされます。

1件コピーする	1→［はい］→◉
選択してコピーする	2→SMSを選ぶ◉（くり返し可）→ⓜ→［はい］→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ［全選択］／ⓘ［全解除］を押します。

お知らせ

● 上書きコピーはできません。
● FOMA端末（本体）の最大保存件数（受信SMSはｉモードメールと合わせて最大1000件、送信SMSは最大500件）を超えると、コピーが中止されます。

SMS削除

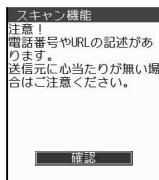
SMS（ショートメッセージ）を削除する

SMSは、P.234「メールを削除する」と同じ方法で削除できます。

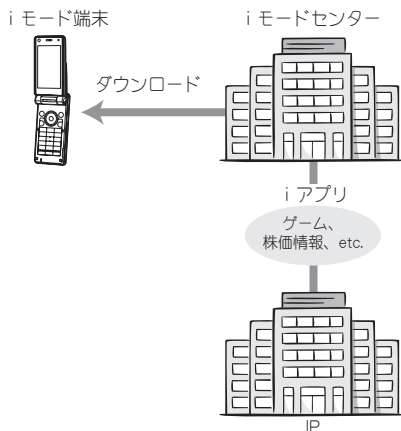
メッセージスキャン

迷惑SMS（ショートメッセージ）対策

受信したSMSに電話番号やURLが含まれる場合、SMSを確認する前に確認画面を表示するように設定できます。

● moperaメールで受信したとき、または留守番電話の着信通知SMSを受信したときは、確認画面は表示されません。
● 設定方法はP.458を参照してください。
● 受信したSMSを表示するときは、右の画面で◉を押します。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末(以下、ｉモード端末)をより便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。
さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリをダウンロードするには☞P.247
- ｉアプリを実行するには☞P.249
- ｉアプリを自動実行するには☞P.255
- ソフトによっては、ｉモード端末の携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を利用する場合があります。
- ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報、トルカ)を参照、登録、操作ができるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- ブックマーク登録
- データBOXからの画像取得
- トルカの新規登録
- アイコン情報利用
- スケジュール登録
- データBOXへの画像保存
- microSDメモリーカードの利用

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報(メールや発着信履歴、電話帳データなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報、トルカ)に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- スケジュール登録
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新の着信履歴参照
- 着信音保存
- データBOXからの画像取得
- 画面設定の変更(待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR／F受信)
- ブックマーク登録
- メールメニューの利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更(電話、メール、メッセージR／F)
- データBOXへの画像保存
- トルカの新規登録、選択・取得
- microSDメモリーカードの利用

- ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- ｉアプリDXを起動するには日付・時刻設定が必要です。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応ｉアプリとは

おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ＩＣカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP(情報サービス提供者)などにＩＣカード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイとは☞P.262

こんなこともできます

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です（☞P.257）。

- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります（☞P.255）。

カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます（☞P.260）。

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動して、より広がった使いかたができます（☞P.260）。

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます（☞P.337）。

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

バーコードリーダー

ソフトからｉモード端末のカメラを使ってバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ることができます（☞P.260）。

ダウンロード

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからｉアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で実行できます。

- ソフトは最大100件まで保存できます（ソフトのサイズによって、保存できる件数が変わります）。ただし、メール連動型ｉアプリのソフトは５件まで保存できます。

1 サイト（☞**P.182**の操作１～３）やインターネットホームページ（☞**P.187**の操作１～２）を表示中に、ソフトを選んで◉を押す。

- ｉアプリダウンロード中画面が表示され、ダウンロードが開始されます。

登録データ、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号やmicroSDメモリーカードを利用するソフトのとき	ダウンロードの確認画面で［はい］→◉ ● 登録データの一覧を確認するときは㊣［登録データ］を押します。
［ソフトを起動しますか？］が表示されたとき	［はい］→◉ ● ダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトは、ダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては、保存するかどうかを選択できます。
FOMA端末（本体）のメモリの空き容量が不足しているとき	［メモリが不足しているか保存可能件数を超えました　上書きしますか？］→［はい］→◉→ソフトを選ぶ◉（くり返し可）→㊣
ダウンロードを中止するとき	［ダウンロード中］表示中に、㊣

- 別のFOMAカードを使用してダウンロード済みのときは、［異なるFOMAカード（UIM）でダウンロード済みです　ソフトを上書きしますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと、上書きされます。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトの場合は、上書きできません。
- ソフトによっては、ダウンロード完了後にｉアプリ設定（待受画面設定、通信設定、番組表ボタン設定）の画面が表示されることがあります。必要な項目の設定が終わったら、㊣［完了］を押します。

お知らせ

- 電波状況などによりダウンロードが失敗した場合、途中までダウンロードしたデータを保存しておき、ソフト一覧から残りのデータをダウンロードすることができます（☞P.249）。
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- 通信設定を[通信しない]に設定すると、情報提供できない場合がありますので、ご注意ください。
- SSL対応のページからｉアプリの情報やｉアプリをダウンロード中は、[SSL]が表示されます。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードをしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。
- ｉアプリの機能別ロック中に、ｉアプリダウンロードを行うと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックは一時解除され、ダウンロードできます。

選択したソフトがすでに**FOMA**端末に保存されているとき

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ダウンロード（バージョンアップ）が開始されます。

おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードができないとき

- ＩＣカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください（ダウンロードするソフトによって一部のソフトが削除対象とならない場合があります）。ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ＩＣカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- ＩＣカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。

メモリエリアについて

- データBOXとｉアプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、ｉアプリのソフトが保存できない場合があります。

■ メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

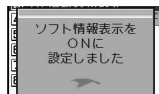
メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、最大５個保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、フォルダを利用できます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しない場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。ソフトがない場合はフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたフォルダを同時に削除するかどうかを選択することができます。ただし、フォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダを削除できません。フォルダのみを残した場合は、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダにカーソルを合わせて◎を押し、[ｉモードメール閲覧]を選んで◉を押すと、メール本文を確認することができます。
- メールの機能別ロック中（☞P.151）は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メールの機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリは、ダウンロードしたりバージョンアップできません。
- メールの機能別ロック中、新規メールフォルダを作成するメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で(i)（ｉα）を１秒以上押して③[ソフト情報表示設定]を押し、①[**ON**]を押す。

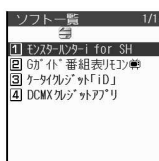
- ダウンロードを開始すると、ソフト情報が表示されます。

ｉアプリを実行する

- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定（☞P.250）で通信しないようにしたり、起動するたびに接続するかどうかを確認するよう設定できます。

1 待受画面で◉（ｉα）を１秒以上押す。

- 待受画面で◉（ｉα）を２回押してもｉアプリ画面が表示されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトのみを表示するときは、待受画面で◉⑨②④を押してＩＣカード一覧を選択します。

2 ①［ソフト一覧］を押す。

- FOMA端末に保存されているソフトのタイトルが表示されます。
- 選択しているソフトの設定状態によって、次のマークが表示されます。

ソフト一覧画面

マークの意味

	ｉアプリ待受画面の機能を持ったソフト
	自動起動の機能を持ったソフト
	SSL通信でダウンロードしたソフト
	ｉアプリDXのソフト
	メール連動型ｉアプリのソフト
	ｉアプリ待受画面に設定されているソフト
	自動起動が設定されているソフト
	通信する機能を持ったソフト
	ｉアプリ使用データをmicroSDメモリーカードに保存できるソフト
	FOMAカード動作制限が設定されているソフト
	おサイフケータイ対応ｉアプリのソフト
	途中までダウンロードしたソフト
	ｉＣお引っこしサービスを利用して移し替えたあとのソフト（☞P.262）

3 実行するソフトを選んで◉を押す。

- ｉアプリ起動中画面が表示され、ソフトが起動します。
- 途中までダウンロードしたソフトの場合、［データが不足しています　残り全てをダウンロードしますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すと、ダウンロードを開始します。

- ソフトを終了するときは、ソフト実行中に☎を押し、［はい］を選んで◉を押します。

- ｉＣお引っこしサービスを利用して移し替えたソフトをＩＣカード一覧から選んだ場合、［ソフトをダウンロードしますか？］、または［ソフトをダウンロードするためにサイト接続しますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押すとソフトのダウンロードを開始、またはサイトに接続します。

お知らせ

- ｉアプリのダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行（起動）できないｉアプリがあります。
- ソフト実行中にアラーム（アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム／視聴予約アラーム／録画予約アラーム）で設定した時刻になると、ソフトは中断され、アラーム画面が表示されます。アラーム画面を終了すると再開されます。ｉアプリのソフトによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール連動型ｉアプリは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXからも起動できます。各フォルダ一覧からメール連動型ｉアプリフォルダを選択してください。
- ｉアプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていた場合に、確認画面が表示されバージョンアップできます。
- 3Dポリゴンエンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  3Dポリゴンは、多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ソフト実行中に通信回数が多くなると、［ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？］と表示され、通信を行うかどうかを選択できます。
- ソフトで利用する画面サイズが「240×240」を超える場合、サイクロイドポジションにすると［縦に戻してご利用下さい］と表示され、ソフトは中断されます。通常ポジションに戻すとソフトが再開されます。
- ｉアプリのソフトによっては、ｉアプリ使用データをmicroSDメモリーカードに保存できるものがあります。保存したｉアプリ使用データは、ｉアプリ使用データ一覧で確認できます。また、ｉアプリ使用データを利用するソフトは、ｉアプリ使用データの情報表示で確認できます（☞P.259）。
- ｉアプリ使用データの保存・削除中に、microSDメモリーカードや電池パックを抜くと、ｉアプリ使用データを参照できなくなる場合があります。その場合は、microSDメモリーカードをFOMA SH903iTVでフォーマットしてください（フォーマットを行うと、microSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます）。
- microSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できない場合があります。
- 同時に起動している他の機能がmicroSDメモリーカードを使用している場合は、ｉアプリからmicroSDメモリーカードの読み書きをすることができない場合があります。

ｉアプリ**DX**を起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために通信設定にかかわらず通信するものがあります（通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります）。
- 日付・時刻を正しく設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
- ソフトが無効になった場合、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

次ページへ続く▶▶

関連操作

ショートカットメニューから起動する
待受画面で◯▶ソフトを選ぶ▶◉

音量を調節する＜ｉアプリ音量設定＞
待受画面で(i)（iα）（1秒以上）▶2▶◯（上げる）／◯（下げる）▶◉

ソフトの情報を表示する＜ソフト情報表示＞
ソフト一覧画面でソフトを選ぶ▶ 📷1

関連操作のお知らせ

ショートカットメニューについて
- よく使うｉアプリのソフトなどを、あらかじめ登録しておく必要があります（☞P.380）。
- 待受画面にカレンダーが表示されているときは、☎を押しカレンダー表示を解除してから操作してください。

ｉアプリ音量設定について
- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。

ソフト情報表示について
- 表示される情報はソフト名、バージョン、ソフト提供、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、自動起動の時間間隔、SSL接続などです。
- 表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

通信を行うかどうかを設定する＜通信設定＞

ｉアプリ実行中に通信を行ってもよいかどうかを、ソフトごとに設定します。
- ここでの設定は通信を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[通信する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面（☞**P.249**）で、ソフトを選んで📷6[ソフト利用設定]を押す。

2 [通信設定]を選んで◉を押し、通信するかどうかを選ぶ。

通信する	1
通信しない	2
ｉアプリが起動するたびに確認する	3

3 (i)[完了]を押す。

お知らせ
- 通信設定を[通信しない]に設定すると、動作しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合があります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります（「ｉアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のｉアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照して取得した画像です）。

アイコン情報通知を許可するかどうかを設定する＜アイコン情報設定＞

ｉアプリ実行中に未読のメール・メッセージR／Fの有無、電池残量、圏内・圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかをソフトごとに設定します。
- ここでの設定はアイコン情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[利用する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面（☞**P.249**）で、ソフトを選んで📷6[ソフト利用設定]を押す。

2 [アイコン情報設定]を選んで◉を押し、1[利用する]を押す。

3 (i)[完了]を押す。

お知らせ
- アイコン情報が必要なソフトの場合、[利用しない]に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を[利用する]に設定すると、未読のメール・メッセージR／F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する＜電話帳／履歴参照＞

ｉアプリには、電話帳、リダイヤルや着信履歴の参照を許可するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、ｉアプリから電話帳、リダイヤルや着信履歴を自動的に参照できます。

- ここでの設定は電話帳や履歴情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[許可する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んでⓜ6[ソフト利用設定]を押す。

2 [ソフトからの電話帳／履歴参照を]を選んで⦿を押し、1[許可する]を押す。

3 ⓘ[完了]を押す。

お知らせ

- [許可しない]に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

着信音や画面の変更を許可するかどうかを設定する＜着信音／画像変更＞

ｉアプリには、着信音や画面の変更を許可するかどうか、また、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、ｉアプリから着信音や画面を自動的に変更できます。

- ソフトのダウンロード時は、[許可する]・[表示しない]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んでⓜ6[ソフト利用設定]を押す。

2 [ソフトからの着信音／画像／メニューアイコン変更を]を選んで⦿を押し、1[許可する]を押す。

- 変更を許可しないときは、2を押し、操作4に進みます。

3 [変更ごとに確認画面を]を選んで⦿を押し、1[表示する]を押す。

- 確認画面を表示しないときは、2を押します。

4 ⓘ[完了]を押す。

ワンセグから起動する番組表ｉアプリを設定する＜番組表ボタン設定＞

ワンセグで利用できる番組表ｉアプリを設定します。

- ソフトのダウンロード時は[設定しない]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んでⓜ7[番組表ボタン設定]を押す。

2 1[設定する]を押す。

ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、以下のソフトが登録されています。

- ■ モンスターハンターｉ for SH
- ■ Gガイド番組表リモコン
- ■ ケータイクレジット「iD(アイディ)」
- ■ DCMXクレジットアプリ

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。

[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

■ モンスターハンターｉ for SH

大画面(QVGA対応)で独創的で完成度の高いグラフィック、また自由度のあるゲームデザインが好評のハンティングアクションゲームです。
モンスターを狩る「ハンター」として、ココット村の村長や村人から依頼されるクエストに従って、ゲームを進めて行きます。

※ サイクロイドポジションではご利用できません。通常ポジションでご利用下さい。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、[モンスターハンターｉ for SH]を選んで⦿を押す。

- ソフトが起動し、タイトル画面が表示されます。

2 [ゲームスタート]を選んで⦿を押す。

- [オプション]を選ぶと、ゲーム中の音、振動、セーブ機能、ボタンの操作設定などを行うことができます。

次ページへ続く▶▶

ココット村画面について

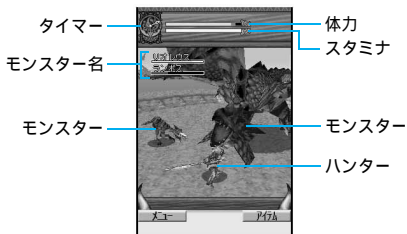
村長や村人のクエストに従って、クエストレベルからクエストを選択する。

- 受注できるクエストは、ハンターランク（ＨＲ）で決められています。
- ハンターランクが高いほど、より難度が高いクエストが受注可能です。
- 緊急クエストが表示されたときは、緊急クエストをクリアすることで、次のランクのクエストを受注することができます。

フィールド画面について

選択したクエストによりフィールド画面に移動します。クエストの内容は、キノコの調達などの「採集クエスト」、モンスターを狩る「討伐クエスト」、モンスターを捕獲する「捕獲クエスト」があります。

- フィールドを進みながら、いろいろな素材を入手します。
- モンスターとの戦いで、倒したモンスターに応じて素材が入手できます。

戦闘中の画面について

©CAPCOM 2007

タイマー　　：残り時間。白い針が橙の針に来るとタイムオーバーです。
モンスター名：モンスター名、モンスターの体力。すべてのモンスターの体力がなくなると戦闘が終了します。
体力　　　　：ハンターの体力。体力がなくなると戦闘が終了します。
スタミナ　　：ハンターのスタミナ。ガードや緊急回避、ダッシュを行うと減少します。

メニューの内容

マップ　　　　　：フィールド画面での地図を表示
クエスト確認　　：進行中のクエストを確認
調合リスト　　　：調合に成功したアイテムを確認できます。
ステータス　　　：ハンターの詳細を表示
装備確認　　　　：所持している装備の詳細を表示
オプション　　　：ゲーム中の音、振動、セーブ機能、ボタンの操作設定などを設定
クエストリタイア：現在進行中のクエストを中止
セーブ　　　　　：現在進行中のクエストを保存

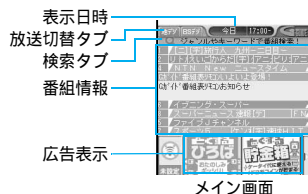
ボタン操作について

ボタン	ココット村画面	フィールド画面	戦闘画面
✣	カーソル、キャラクタの移動 ● ボタンを押した方向に、カーソルやキャラクタが移動します。 ● フィールド画面と戦闘画面で、✣を同方向に２回連続して押すと、ボタンを押した方向に緊急回避をします。		
◉	各施設のメニューを開く	アクションの実行	攻撃
i	メニュー画面を開く／閉じる アイテム画面を閉じる		
📷	アイテム画面を開く		
4	－	カメラ左回転	
5	－	カメラ正面合わせ	
6	－	カメラ右回転	
8	－	－	攻撃
9	－	－	特殊攻撃
0	－	－	ガード
#	－	ダッシュ	

お知らせ

- 武器や防具の変更などの操作を行った場合、パケット通信料がかかります。

■ Gガイド番組表リモコン

メイン画面

テレビ番組表とAVリモコン機能が１つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタル、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動することができます。ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。）。
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

※ リモコンの操作時の注意事項については、P.337「赤外線リモコン機能を利用する」を参照してください。
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。
※ はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
※ 別途パケット通信料がかかります。
※ 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で、[Gガイド番組表リモコン]を選んで◉を押す。
- ソフトが起動し、メイン画面が表示されます。
- 初回起動時は、初期設定画面が表示されます。

2 郵便番号、生まれた年、性別を入力する。

3 📷[設定]を押す。
- 利用規約画面が表示されます。

4 規約に同意するときは、[はい]を選んで◉を押す。
- 通信後、メイン画面とお知らせが表示されます。

番組情報の表示

● 地上デジタルとBSデジタルを切り替える

メイン画面で◯を押し最上位の放送切替タブを選び、◯で放送波を切り替えます。
- BSデジタルに切り替えた場合に、視聴チャンネルを設定していないときは、お知らせが表示されます。📷[設定]を押し、視聴チャンネルを設定してください。

● 番組情報を切り替える

メイン画面には番組情報や広告が表示されます。番組情報の部分を選択しているときに、◯を押すとチャンネルを選択できます。◯を押すと、時間帯を切り替えられます。◉を押すと番組情報が表示されます。このとき、リモコン登録およびリモコンチャンネル設定がされている場合は、赤外線送信されます。

● メイン画面での共通操作

ワンセグを起動する（地上デジタルのみ）	📺
メニューを表示する	📷
ワンセグを録画予約する（地上デジタルのみ）	#
リモコンを切り替える（TV1→TV2→ビデオ→DVDの順）	0
リモート録画予約する	*

● 広告表示での操作

広告部分を選択すると、登録されている文字情報が吹き出しで表示されます。◉を押すと、広告に設定されている機能（Phone To機能、Mail To機能、Web To機能）を起動できる場合があります。

日時を指定して番組表を表示する

1 メイン画面で📷[メニュー]を押し、[日時指定]を選んで◉を押す。

2 表示日を選んで◉を押し、表示時刻を選んで◉を押す。

3 📷[表示]を押す。
- 番組表が表示されます。
  [サーバから番組データを取得します]と表示されたときは、[YES]を選んで◉を押すと、番組情報を取得します。

キーワードで番組を検索する

1 メイン画面で◯を押し検索タブを選ぶ。

2 ◯で[キーワード]を選んで◉を押し、検索する日付を選んで、キーワードを入力するか、検索履歴から選んで◉を押す。
- ジャンルで検索するときは、◯で[ジャンル]を選んで◉を押し、検索する日付を選んだあと、ジャンルを選んで◯を押し、サブジャンルを選んで◉を押します。

3 ◯で[検索]を選んで◉を押し、[YES]を選んで◉を押す。
- 検索結果画面で◉を押して番組情報を表示することができます。

録画予約機能について

本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

● 録画予約の方法

メイン画面で録画予約したい番組を選び、メニューの[#ワンセグ録画予約]から[予約実行]を選択すると録画予約画面が表示されますので、画面に従って録画予約を行ってください。
- メイン画面で録画予約したい番組を選び、#を押しても録画予約をすることができます。

視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

● 視聴予約の方法

メイン画面で視聴予約したい番組を選び、メニューの[視聴予約]から[予約実行]を選択すると視聴予約画面が表示されますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

次ページへ続く▶▶

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

● 初期設定の方法

1 **DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をする。**

- ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

2 **メイン画面でⓜ[メニュー]を押し、[リモート録画予約]を選んで⦿を押す。**

- ガイダンスに従って初期設定を進めてください。

● 番組予約の方法

初期設定が完了したあと、お好きな番組を指定してメニューから[リモート録画予約]を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDハードディスクレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。

※ ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

関 連 操 作

番組詳細情報を表示する
メイン画面でⓜ▶[番組詳細]▶⦿

視聴チャンネルの設定を行う
メイン画面でⓜ▶[更新・設定]▶⦿▶[視聴チャンネル]▶⦿▶チャンネルを選ぶ⦿(くり返し可)▶ⓜ▶⦿

リモコン登録を行う
メイン画面でⓜ▶[更新・設定]▶⦿▶[リモコン登録]▶⦿▶登録する機器を選ぶ⦿登録機器のメーカーを選ぶⓜ⦿(くり返し可)

リセットする
メイン画面でⓜ▶[更新・設定]▶⦿▶[リセット]▶⦿▶⦿▶[YES]▶⦿▶⦿

リモコンチャンネルの設定を行う
メイン画面でⓜ▶[更新・設定]▶⦿▶[リモコンチャンネル設定]▶⦿▶チャンネルを選ぶ▶ⓜ▶⦿

ジャンル色分設定を行う
メイン画面でⓜ▶[更新・設定]▶⦿▶[ジャンル色分設定]▶⦿▶ジャンルを選ぶ▶⦿▶サブジャンルを選ぶ▶⦿▶色を選ぶ▶⦿▶ⓜ▶⦿

最新の番組表に更新する
メイン画面でⓜ▶[更新・設定]▶⦿▶[最新に更新]▶⦿▶[YES]▶⦿▶⦿

■ ケータイクレジット「iD(アイディ)」

ケータイクレジット「iD(アイディ)」とは、おサイフケータイをかざすだけで買い物やキャッシングのできるクレジットサービスです。今までのようにカードを財布から出したり、サインしたりすることなく、カンタン便利にショッピングができます。

- iDのご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みとiDアプリ、各カード発行会社提供のカードアプリが必要になります。
- iDアプリをはじめて起動される際は、「ご利用上の注意」に同意し、ご利用の準備を行ったあと、カードアプリのダウンロードを行う必要があります。
- iD対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよび各カード発行会社のカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。

ｉモードサイト:[ｉMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイクレジット「iD」]
ホームページ:http://id-credit.com

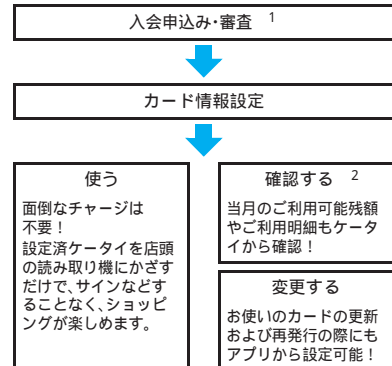
サイト接続用 QRコード

■ DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD(アイディ)」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモ・グループが提供するクレジットサービスです。

DCMXには、月額1万円まで利用できるDCMX miniと、キャッシングやリボなどのサービスも充実し、クレジットカードも同時発行するDCMX、DCMX goldの各サービスがございます。

DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

アプリの機能

※1 お申し込み時にオンラインで簡単な入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2 ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については下記を参照してください。

  ｉモードサイト：[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[DCMX（ケータイクレジット）]
  ホームページ：http://www.dcmx.jp

サイト接続用QRコード

- 本サービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 本アプリの利用にともないｉモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
- 申し込み・設定完了後は、本アプリからは起動できません。ご利用状況の確認や設定の変更などをご利用になる場合は、iDアプリを起動し、DCMXアプリを選択して連携起動してください。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お知らせ

- お買い上げ時、内蔵ｉアプリの各機能は次のように設定されています。
- ソフト一覧のサブメニューから設定を変更できます。

設定項目	お買い上げ時の設定			
	モンスターハンターｉ for SH	Gガイド番組表リモコン	ケータイクレジット「iD（アイディ）」	DCMXクレジットアプリ
待受画面設定	－	－	－	－
通信設定	通信する			
ｉアプリTo設定	－	許可する		
アイコン情報設定	－	－	－	－
着信音／画像変更	－	－	－	－
電話帳／履歴参照	－	－	－	－
番組表ボタン設定	－	設定する	－	－

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ＩＣカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動起動設定

ｉアプリを自動実行する

ｉアプリを自動起動する方法は３通りあります。

- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください（☞P.45）。

ｉアプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、自動起動するソフトを登録します。最大９件まで登録できます。
FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末に保存されているｉアプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、スケジュールを設定します。最大９件まで登録できます。

自動起動するかどうかを設定する ＜自動起動設定＞

お買い上げ時　OFF

1 待受画面で(i)（アプリ）を１秒以上押して[4][自動起動設定]を押す。

自動起動設定画面

2 [1][ON]を押す。

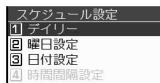
FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する

1 自動起動設定画面で[3][詳細設定]を押し、番号を選ぶ。

新規登録する	番号を選ぶ→(●) ● 新規に登録するときは[-------------------]が表示されている番号を選びます。
変更する	変更する番号を選ぶ→(●)→[1]
削除する	削除する番号を選ぶ→(●)→[2]

- 自動起動設定ソフト一覧画面が表示されます。

2 ソフトを選んで(●)を押し、起動日時を設定する。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは(方向キー)で移動できます。

スケジュール設定画面

毎日起動する	[1]→時刻を入力→(●)
曜日を指定して起動する	[2]→曜日を選ぶ(●)（くり返し可）→(📷)→時刻を入力→(●) ● すべての曜日を選択／解除する場合は、(i)[全選択]／(i)[全解除]を押します。
日付を指定して起動する	[3]→日付・時刻を入力→(●)

自動起動対応のソフトの設定を有効にする

1 スケジュール設定画面で4[時間間隔設定]を押す。

- 無効にするには、自動起動の設定を削除します(「FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」の操作1「削除する」)。
- 自動起動設定がないソフトの場合、[時間間隔設定]は選択できません。

お知らせ

- 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - 電源が入っていないとき
  - 他の機能が起動している場合
  - ｉアプリが起動中の場合
  - 通話中
  - スケジュール、ToDoリストのアラーム時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - ｉアプリの機能別ロック中
- 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
機能	自動電源OFF→自動電源ON→アラーム→ToDoリスト→ｉアプリ自動起動

- 設定リセットを行うと、ｉアプリ自動起動失敗履歴は削除され、ｉアプリの自動起動設定は解除されます。
- 自動起動設定したソフトの通信設定が[起動ごとに確認]となっている場合、自動起動したときに通信するかどうかの確認画面が表示されます。そのまま操作せずに5秒間経過すると自動的に確認画面で[いいえ]を選択した設定で起動します。
- 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満の場合、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には[起動エラー]と表示されます。

ｉアプリTo機能

サイトやｉモードメールからｉアプリを実行する

ｉアプリTo(ｉアプリ起動設定)が設定されている場合、サイト、インターネットホームページ、ｉモードメール、メッセージR/F、画面メモ、トルカやデータ放送からｉアプリを起動できます。

- 下記の方法でもｉアプリを起動できます。
  - 赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信したとき
  - バーコードリーダーでｉアプリの起動情報を読み取ったとき
  - FeliCa マークを読み取り機にかざしてｉアプリの起動情報を読み取ったとき
- ｉアプリToを許可するかどうかは、ｉアプリTo設定で設定します。

ｉアプリToでの起動を設定する <ｉアプリTo設定>

お買い上げ時 許可する

ｉアプリToで起動させるかどうかを、ソフトごとに設定できます。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んでⓂ6[ソフト利用設定]を押す。

2 [ｉアプリTo設定]を選んで◉を押し、1[許可する]を押す。

3 Ⓘ[完了]を押す。

お知らせ

- 起動するソフトは、サイト、インターネットホームページ、ｉモードメール、メッセージR/F、画面メモ、トルカやデータ放送によって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

サイトやｉモードメールからｉアプリを起動する<ｉアプリTo機能>

- ｉアプリTo設定が[許可しない]に設定されている場合、ｉアプリToでは起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。
- フルブラウザでは起動できません。

1 サイト、インターネットホームページ、ｉモードメール、メッセージR/F、画面メモ、トルカやデータ放送に表示されているｉアプリを選んで◉を押し、[はい]を選んで◉を押す。

- 起動を中止するときは、[ｉアプリ起動中]と表示されているときに☎を押し、[はい]を選んで◉を押します。

お知らせ

- ｉアプリを終了すると、元のサイトやインターネットホームページ、受信メール表示画面、画面メモ、トルカ詳細画面やワンセグ視聴画面に戻ります。
- ｉアプリの起動指定に該当するソフトがない場合は、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- サイトから起動するソフトによっては、FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていないときや、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古いときに、ソフトをダウンロードまたはバージョンアップできる場合があります。
- ソフトによってはダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトはダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては保存するかどうかを選択できます。
- 実行中に通信設定(☞P.250)が必要な場合もあります。

お知らせ

● ｉモードメールからのｉアプリToは、IP（情報サービス提供者）からのｉモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

ｉアプリ待受設定

ｉアプリ待受画面を設定する

● 待受画面に設定したｉアプリは、CLRを押すと操作できるようになります。

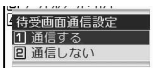
ｉアプリ待受画面を設定する <待受画面設定>

● ｉアプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、待受画面通信設定（☞P.257）で設定できます。

1 ソフト一覧画面（☞**P.249**）で、ソフトを選んで📷4［待受画面設定］を押し、［はい］を選んで⦿を押す。

● ｉアプリ待受画面に設定され、待受画面に戻ると、ソフトが起動します。

● 通信を利用するソフトのときは、右の画面が表示されます。［通信する］を選択すると通信が許可されます。

［通信しない］を選択すると通信されず、情報提供ができない場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

● ｉアプリ待受画面に設定できるソフトは１つのみです。
● ｉアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
● ｉアプリ待受画面を設定している場合、待受画面にはｉアプリが表示されます。メイン画面設定の**待受画面設定**で設定した画像は表示されません。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、メイン画面設定の待受画面設定で設定した画像が表示されます。
● ｉアプリ待受画面からのWeb To機能はご利用になれません。
● 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
● ｉアプリ待受画面表示中に**オールロック**を設定すると、ｉアプリ画面は終了し、［待受画面１］の画像が表示されます。また、ｉアプリ待受画面表示中にｉアプリの**機能別ロック**を設定すると、ｉアプリ画面は終了し、メイン画面設定の待受画面設定で設定した待受画面が表示されます。オールロックまたはｉアプリの機能別ロックを解除するとｉアプリ待受画面が再表示されます。
● ｉアプリ待受画面に設定したソフトの画面サイズが「240×240」を超える場合、サイクロイドポジションにすると［横表示できないソフトです］と表示され、ソフトは中断されます。通常ポジションに戻すとソフトが再開されます。
● ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。

お知らせ

● ｉアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。［はい］を選択するか、約５秒そのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。［いいえ］を選択すると、通常の待受画面になり、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、**自動電源ON**で電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
● ｉアプリ待受画面を設定すると、電池の利用可能時間が短くなります。
● 次の操作を行うと待受画面のｉアプリはいったん終了します。

- カメラ機能
- データBOX機能
- ｉモード機能
- メール機能
- テレビ電話
- 電話帳お預かりサービス
- SDオーディオ
- ｉアプリの設定の変更
- ｉモーションの再生
- トルカ機能
- ワンセグ
- 赤外線通信
- ｉアプリのソフトのダウンロード
- ｉアプリの起動
- ブックリーダー
- ドキュメントビューア
- PDF対応ビューア
- パターンデータの更新
- ソフトウェアの更新
- ｉC送信

セキュリティエラーについて

● ｉアプリ待受画面を設定している場合、ｉアプリが不正な動作をしようとしたり、ｉアプリのソフトが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、ｉアプリ待受画面は解除されます。
● ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。待受画面に［セキュリティエラー］と表示されているときは、⦿を押すと、エラー履歴が表示されます。

関連操作

ｉアプリ待受画面から通信するかどうかを設定する <待受画面通信設定>

1 ソフト一覧画面で、待受画面に設定されているソフトを選ぶ▶📷5
2 1

メニューからｉアプリ待受画面を設定する <待受画面設定>

1 待受画面で⦿2113
2 ソフトを選ぶ▶⦿
● 待受画面に設定しているｉアプリを設定し直すとき：1［設定］▶ソフトを選ぶ▶⦿▶［はい］▶⦿
● 待受画面に設定しているｉアプリを終了するとき：2［終了］
● 待受画面に設定しているｉアプリを解除するとき：3［解除］

ｉアプリ待受画面を解除する

ｉアプリ待受画面を解除すると、メイン画面設定で設定した画像が表示されます。

- ｉアプリ待受画面を終了しても、ｉアプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときにｉアプリ待受画面が再起動します。

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で、待受画面に設定されているソフトを選んで ⊡ 4 [待受画面設定]を押す。

2 [はい]を選んで ⊙ を押す。

ｉアプリを管理する

FOMA端末に保存したｉアプリのバージョンアップを行ったり、削除やソート、実行時のエラー情報やトレース情報の表示などを行うことができます。

- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合は、そのソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみが可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- このようにIP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、ｉモードアイコンが点滅します。この際通信料はかかりません。

ｉアプリをバージョンアップする <バージョンアップ>

FOMA端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されている場合に、バージョンアップできます。
ソフトによっては、実行時に更新情報を自動確認し、自動的にバージョンアップできるものもあります。

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で、ソフトを選んで ⊡ 2 [バージョンアップ]を押す。

2 [はい]を選んで ⊙ を押す。
- ソフトの情報が表示されたときは、⊙ を押します。

お知らせ

- FOMA端末（本体）のメモリの空き容量がない場合は、バージョンアップできません。他のソフトまたはｉアプリとメモリエリアを共有しているデータBOXのデータを削除してください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ＩＣカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができない場合があります。

関連操作

ソフト実行時に自動バージョンアップする
[最新ソフトにバージョンアップしますか？]の確認画面で、[はい] ▶ ⊙

関連操作のお知らせ

- メールの機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

ｉアプリを並べ替える <ソート>

お買い上げ時　ダウンロード（新→旧）

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

ダウンロード（新→旧）	ダウンロードした日付の新しい順
ダウンロード（旧→新）	ダウンロードした日付の古い順
使用順	最近使用されたソフトの順
ソフトサイズ順	プログラムサイズの大きいもの順

1 ソフト一覧画面（☞P.249）で ⊡ 8 [ソート]を押し、ソート方法を選んで ⊙ を押す。

エラー表示を確認する <エラー表示>

ソフト実行時のエラー情報（[自動起動失敗履歴]、[待受画面エラー履歴]、[セキュリティエラー履歴]）やトレース情報を確認できます。

1 待受画面で ⓘ（ᎥᏆ）を１秒以上押して 6 [エラー表示]を押す。

2 エラー履歴を選んで ⊙ を押す。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。

関連操作

トレース情報を表示する <トレース表示>
1 待受画面で ⓘ（ᎥᏆ）（１秒以上）▶ 7
2 確認を終わるときは ⊙
- トレース情報を削除するとき：ⓘ ▶ [はい] ▶ ⊙

関連操作のお知らせ

- トレース情報がない場合は、[トレース情報がありません]と表示されます。

ｉアプリ作成者の方へ
- 作成したｉアプリが正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。
- トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

ｉアプリを機能別ロックする
＜機能別ロック＞

1 待受画面で◉(ℹ)を１秒以上押して⑧[機能別ロック]を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 [ON]／[OFF]を選ぶ。

ロックする	1
ロックを解除する	2

ｉアプリを削除する＜削除＞

● Gガイド番組表リモコンは削除できません。

1 ソフト一覧画面(☞P.249)で、ソフトを選んで📷③[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→[はい]→◉
複数をまとめて削除する	2→ソフトを選ぶ◉(くり返し可)→📷→[はい]→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、◉[全選択]／◉[全解除]を押します。
すべてを削除する	3→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉

お知らせ

● メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。
● 削除するソフトのｉアプリ使用データがmicroSDメモリーカードに保存されている場合、ｉアプリ使用データを同時に削除するかどうかを選択できます。
● フォルダを残してメール連動型ｉアプリのソフトを削除した場合、フォルダ内のｉモードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXで📷を押し、[ｉモードメール閲覧]を選択します。メール連動型ｉアプリを起動せずにフォルダ内のｉモードメールを表示できます。

おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトを削除するとき
● ソフトによっては、お客様がソフトを起動してＩＣカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。
● おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。
● ＩＣカードロック中、おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトは削除できない場合があります。

メール連動型ｉアプリを含むソフトを全件削除するとき
● メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。

ｉアプリ使用データ(コンテンツ移行対応)

microSDメモリーカード内のｉアプリ使用データを表示する

● ｉアプリ使用データフォルダを削除したり、選択したフォルダの詳細情報を表示することができます。
● 詳細情報には、利用可能ソフト／CP名、フォルダ利用可／不可、利用不可原因が表示されます。
● フォルダの利用不可原因は次のとおりです。
  ■ ソフト動作制限[あり]：保存されたデータを使用するソフトがないため利用できません。
  ■ FOMAカード動作制限[あり]：保存したときと異なるFOMAカードが挿入されているため利用できません。
  ■ 機種制限[あり]：保存したときと異なる機種のため利用できません。
  ■ シリーズ制限[あり]：ソフトのシリーズが異なるため利用できません。

1 待受画面で◉(ℹ)を１秒以上押して⑤[ｉアプリ使用データ]を押す。

フォルダを１件削除する	フォルダを選ぶ→📷→[はい]→◉
情報を表示する	◉ ● 確認を終わるときは◉を押します。

お知らせ

● 同時に起動している他の機能がmicroSDメモリーカードを使用している場合は、ｉアプリ使用データのフォルダを表示できません。他の機能を終了してから操作してください。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

● 利用する機能によっては、同時に起動している他の機能を終了してから利用できるものがあります。

ｉアプリからサイトを表示する

● サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

1 ソフト実行中にURLの項目を選んで◉を押し、[はい]を選んで◉を押す。
● サイトやインターネットホームページを表示する方法は、ソフトによって異なります。

ｉアプリから電話をかける

実行中のソフトから、音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用することができます。

- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

1 ソフト実行中に電話番号の項目を選んで⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用する方法は、ソフトによって異なります。
- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用する電話番号が表示されます。

2 電話をかける。

音声電話	／⦿
テレビ電話	
プッシュトーク	／（）

ｉアプリからカメラ機能を利用する

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト実行中にカメラの起動項目を選んで⦿を押す。

- カメラモード（静止画撮影画面）になります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用できます。
- ソフトから[画像サイズ]や[連続撮影]、[画質]、[フレーム]などの設定ができるものもあります。設定できる項目や設定方法、カメラ起動方法はソフトによって異なります。

2 ⦿[]を押す。

- 撮影した画像を保存するときは、⦿を押します。

お知らせ

- ソフトによってはｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、データBOXのマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 ソフト実行中にバーコードリーダーの起動項目を選んで⦿を押す。

- カメラモード（バーコードリーダー）になります。
- バーコードリーダーの起動方法は、ソフトによって異なります。

2 バーコード（**JAN**コード、**QR**コード）が表示されるようにカメラを合わせ、⦿[読取]を押す。

- バーコード（JANコード、QRコード）が撮影されます。

お知らせ

- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

ｉアプリからトルカを保存する

1 ソフト実行中にトルカの保存項目を選んで⦿を押す。

- トルカの登録方法は、ソフトによって異なります。

2 プレビュー表示または保存を行う。

トルカをプレビュー表示する	[プレビュー]→⦿
新規保存する	[新規保存]→⦿→フォルダを選ぶ→⦿
上書き保存する	[上書き保存]→⦿→フォルダを選ぶ→⦿→データを選ぶ→⦿→

ｉアプリからアラームを登録する

- [時刻入力]と[繰り返し設定]は、ｉアプリにより入力されています。

1 ソフト実行中にアラーム登録項目を選んで⦿を押し、⦿[**OK**]を押す。

2 登録番号を押し、アラームを登録する。

- 詳しくは、P.369の操作2～4を参照してください。

ｉアプリから赤外線通信機能を利用する

- セルフモード中は、赤外線通信機能（☞P.333）を利用することはできません。

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動し、[はい]を選んで⦿を押す。

- 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
- 赤外線通信を中止するときは、を押します。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のＩＣカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa）やＩＣカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCa とは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ＩＣカードの技術方式の１つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話がますます便利な道具になります。
また従来の FeliCa に対応した非接触ＩＣカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のＩＣカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ＩＣカード機能に対応したｉアプリ（ＩＣアプリ）により設定を行う必要があります（詳細はIP（情報サービス提供者）にご確認ください）。
※ ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ＩＣカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉＣお引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）やｉＣお引っこしサービスへの対応の有無はサービス毎に異なりますので、事前にIP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内のデータの消失・変化その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック、ＩＣカードロック、まとめて簡単ロック、まとめて自動ロックを利用できます（☞P.149、P.152、P.153、P.270）。

ｉＣお引っこしサービスとは

ｉＣお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取替え時に、ＩＣカード内のデータを一括※2でお取替え先のおサイフケータイ※3に移すサービスです。ＩＣカード内データを移し替えたあとは、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。
ｉＣお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※１ ｉＣお引っこしサービスご利用には手数料がかかります（一部手数料がかからない場合もあります）。また、ＩＣアプリのダウンロード・各種設定にはパケット通信料がかかります。
※２ おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはｉＣお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。
※３ ｉＣお引っこしサービスは、お取替え先のおサイフケータイがｉＣお引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

おサイフケータイの利用方法

おサイフケータイのご利用手順は次のようになります。

- おサイフケータイ対応ｉアプリをはじめて起動する際やダウンロードする際は、「FOMAカード情報とＩＣカードの対応付けを行います。」と表示されます。
  それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとＩＣカード機能を利用することはできません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入し一度おサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとＩＣカード機能を利用することはできません。

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする　☞P.247

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータの読み書きを行う　☞P.263

FeliCa マークを読み取り機にかざす　☞P.263

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータの読み書きを行う

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して、電子マネーや乗車券にチャージ（入金）したり、残高や利用履歴を参照するなど、便利な機能をご利用いただくことができます。

1 待受画面で⦿９２４を押す。

2 おサイフケータイ対応ｉアプリを選んで⦿を押す。

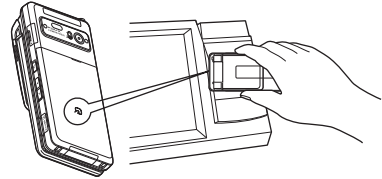
- おサイフケータイ対応ｉアプリが起動します。

FeliCa マークを読み取り機にかざす

FOMA端末の FeliCa マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとしてご利用することなどができます。

- ソフトを起動せずご利用いただくことができますが、サービスによってはソフトの起動が必要な場合があります。
- FOMA端末を読み取り機にぶつけないようにご注意ください。
- FeliCa マーク面以外は、読み取れません。
- FeliCa マークと読み取り機は、平行にかざしてください。
- FOMA端末は、できるだけ読み取り機の中心位置にかざしてください。
- FOMA端末の FeliCa マークを読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCa マーク面に金属物などがあると、読み取れない場合があります。

1 読み取り機に**FOMA**端末の **FeliCa** マークをかざす。

- 読み取り機がFOMA端末を認識すると、FOMA端末の着信ランプが点滅したり、バイブレータが動作するように設定できます（☞P.121、P.140）。

FeliCa
マーク

2 読み取ったことを確認する。

- 読み取り機のディスプレイなどで読み取り結果を確認します。

おサイフケータイをお使いになるときのご注意

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。
- 電源OFF時も FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただくことができますが、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません。また、着信ランプやバイブレータは動作しません。
- 通話中やｉモード接続中は、FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただくことができますが、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません。
- 読み取り機から起動情報を読み取ってｉアプリを起動したり、サイトに接続することもできます。
- 電池が切れた場合は、FeliCa マークを読み取り機にかざしても、利用できない場合があります。
- ＩＣカードロック中（☞P.270）は、FeliCa のＩＣカード機能を使用できません。
- オールロック（☞P.148）を設定しても、FeliCa のＩＣカード機能はロックされません。
- おまかせロック（☞P.149）を設定すると、FeliCa のＩＣカード機能の使用も停止できます。おまかせロックを解除すると、ＩＣカードロック（☞P.270）の設定に従います。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリソフトもご利用いただけます。
- 以下の場合は、ソフトからのＩＣカード内へのデータの読み書きが中断されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ソフト実行中に電話がかかってくるとソフトは中断され、電話を切ると再開します。
  - ソフト実行中にアラーム（アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム／視聴予約アラーム／録画予約アラーム）で設定した時刻になると、ソフトの実行は中断され、アラーム画面が表示されます。アラーム画面を終了すると再開します。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - 電源OFF時
  - 他の機能が起動している場合
  - 通話中
  - ｉアプリが起動中の場合
  - ｉアプリの機能別ロック中
- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。

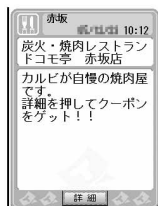
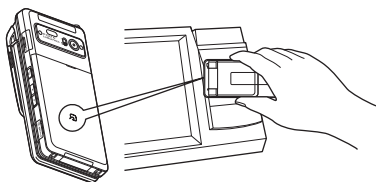
トルカ

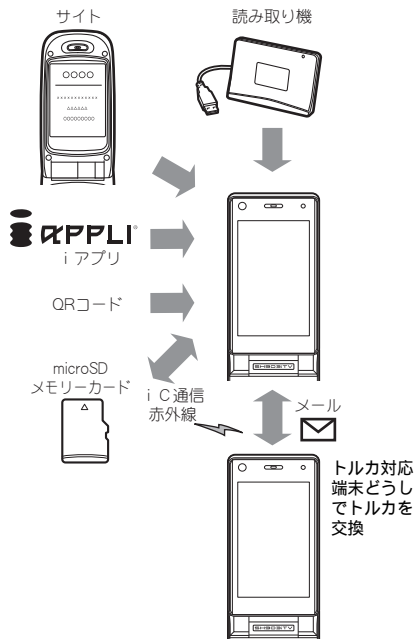
トルカとは

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイト、QRコードなどから取得が可能で、メールや赤外線、ｉＣ通信、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは［LifeKit］メニューの［トルカ］内に保存されます。

- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得。

取得したトルカを表示。［詳細］ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカの取得手段

お知らせ

- ｉモード通信でトルカをやりとりする場合は、通常のパケット料金がかかります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などで送信できないトルカがあります。

トルカ取得

トルカを取得する

トルカは、ＩＣカード機能を利用して、読み取り機から取得したり、ｉモードメールの添付ファイル、ｉアプリ、ｉモードからのダウンロード、microSDメモリーカード、ｉC通信、赤外線通信、QRコードのいずれかの方法で取得することができます。トルカは最大1000件まで保存できます（トルカのサイズによって、保存できる件数が変わります）。

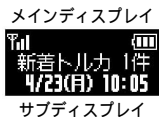
- 読み取り機にかざすと、自動読取機能によりトルカを利用することができます。なお、利用されたトルカは［利用済みトルカ］フォルダに移動されます。
- トルカの機能別ロック中は、ＩＣカード機能を利用しての取得を除き、機能別ロックを解除する必要があります。

読み取り機から取得する

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカ／トルカ（詳細）を取得します。

- 取得できるトルカは最大1024バイト、トルカ（詳細）は100Kバイトです。
- ＩＣカード機能を利用して新しいトルカを取得すると、待受画面に［新着トルカあり　○件］が表示されます。また、FOMA端末（本体）に未読トルカがあると、［◆］が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、新着トルカの件数がサブディスプレイに表示されます。

メインディスプレイ

サブディスプレイ

1 トルカ／トルカ（詳細）を取得すると、取得完了音が鳴り、着信ランプが点滅し、トルカ／トルカ（詳細）が表示される。

- 約15秒間何も操作せずにそのままにしておくと、元の画面に戻り、待受画面には［新着トルカあり　○件］が表示されます。このときは、待受画面で⦿を押し、［新着トルカあり　○件］を選んで⦿を押すと、トルカ一覧画面が表示されます。
- 取得完了時にトルカ／トルカ（詳細）が表示されないように設定することもできます（☞P.270）。
- 詳細情報があるトルカの場合は、取得完了時に、サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選んで⦿を押すと、トルカ（詳細）を取得します。

お知らせ

- ＩＣカードロック中またはＩＣカードから取得を［OFF］に設定している場合は、読み取り機を利用してトルカを取得できません。

ｉモードメールの添付ファイルから取得する

ｉモードメールの添付ファイルとしてトルカを取得することができます。

1 トルカが添付されている受信メールを表示し、保存するファイルを選ぶ。

2 ⦿を押す。

- トルカ／トルカ（詳細）のプレビュー画面が表示されます。

3 保存方法を選ぶ。

トルカ	そのまま保存する	ⓘ［保存］→［はい］→⦿
	トルカ（詳細）を取得して保存する	［詳細］→⦿→［はい］→⦿→⦿［保存］→［はい］→⦿
トルカ（詳細）	そのまま保存する	⦿［保存］→［はい］→⦿
	トルカ（詳細）を更新して保存する	ⓘ［更新］→［はい］→⦿→⦿［保存］→［はい］→⦿

- トルカ（詳細）を取得／更新する場合は、ｉモード通信を行います（通常のパケット料金がかかります）。

4 ［本体］または［**microSD**］を選んで⦿を押す。

お知らせ

- メモリが不足している場合、トルカを保存できません。不要なトルカを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてください（☞P.269）。

microSDメモリーカードについて

- microSDメモリーカード内のトルカからは詳細を取得することができません。
- microSDメモリーカードに保存されているトルカを、FOMA端末（本体）にコピー（☞P.325）できます。

ｉモードやｉアプリから取得したトルカについて

- トルカによっては、ｉアプリから取得できない場合があります。
- トルカによっては、メールに添付して送信したり、赤外線通信／ｉC通信で送信したり、microSDメモリーカードにコピーできない場合があります。

トルカビューア

トルカを表示する

取得したトルカやトルカ（詳細）を表示します。

1 待受画面で⦿⑨②③を押す。

- microSDメモリーカード内のトルカ情報を表示するときは、［→microSD切替］を選択します。

2 フォルダを選んで⦿を押す。

- 全フォルダのトルカ一覧を表示するときは、ⓘを押します（microSDメモリーカードの場合は表示されません）。

次ページへ続く▶▶

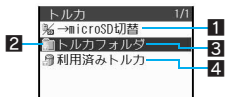
3 データを選んで◉を押す。

- トルカまたはトルカ（詳細）の詳細画面からWeb To、Mail To、Phone To（AV Phone To）などを利用できます（ただし、microSDメモリーカード内のトルカからは利用できません）。

お知らせ

- トルカの**機能別ロック**中にトルカの一覧や詳細画面の表示を行うと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックが一時解除され、表示できます。
- サイクロイドポジションで、トルカとワンセグを同時に起動している場合、**マルチウインドウ**には代替画像が表示され、音声のみの放送となります。

トルカ一覧画面・詳細画面の見かた

フォルダ一覧画面の見かた

1 →microSD切替
選択すると、microSDメモリーカード内のトルカのフォルダ一覧画面が表示されます（microSDメモリーカードの場合は［→本体切替］が表示されます）。

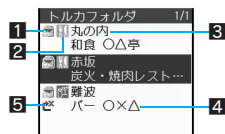
2 フォルダマーク

（アイコン）	未読トルカが存在するフォルダ
（アイコン）	未読トルカが存在しないフォルダ

3 フォルダ名
先頭から全角9文字（半角18文字）まで表示されます。

4 利用済みトルカ
利用済みのトルカが保存されます。最大20件まで保存できます。最大保存件数を超えた場合は、取得日時の古いトルカから順に削除されます。

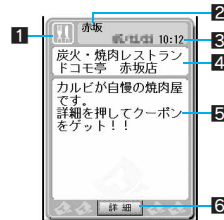
トルカ一覧画面の見かた

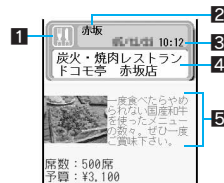
1 トルカの種類

（アイコン）	未読トルカ※1
（アイコン）（グレー）	未読トルカ（有効期限切れ）※2
（アイコン）	既読トルカ
（アイコン）（グレー）	既読トルカ（有効期限切れ）※2

※1　サイトやｉモードメールから取得したトルカは未読になりません。

※2　トルカに有効期限が設定されている場合、有効期限が過ぎたトルカに表示されます。

2 カテゴリ
3 インデックス
4 タイトル
5 再配布不可トルカ

トルカ詳細画面の見かた

1 カテゴリ
2 インデックス
3 取得日時
4 タイトル
5 説明文
6 詳細ボタン
選択すると、トルカ（詳細）を取得します。

トルカ（詳細）詳細画面の見かた

1 カテゴリ
2 インデックス
3 取得日時
4 タイトル
5 トルカ（詳細）詳細情報

トルカからトルカ（詳細）を取得する

1 トルカ詳細画面（☞P.266）で［詳細］を選んで◉を押す。

2 ［はい］を選んで◉を押す。

- ｉモードサイトに接続され、トルカ（詳細）が取得されます。

お知らせ

- メモリが不足している場合、トルカ（詳細）を保存できません。不要なトルカを選択削除し、メモリの空き容量を増やしてください（☞P.269）。

関連操作

トルカの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

1 トルカ(詳細)詳細画面またはトルカ詳細画面で📷6

2 FOMA端末(本体)電話帳に新規登録するときは1
- FOMAカード電話帳に新規登録するとき:2
- 電話帳に追加／上書き登録するとき:3▶名前を選ぶ▶●

3 電話帳登録(☞P.98、P.103)

トルカ(詳細)の画像を保存する＜画像保存＞

1 トルカ(詳細)詳細画面で📷5

2 画像を選ぶ▶●▶[はい]▶●

関連操作のお知らせ

- 利用済みトルカおよびmicroSDメモリーカード内のトルカは、電話帳登録や本文中画像の保存をすることができません。

トルカを自動的にフォルダに振り分ける＜振分け条件設定＞

フォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったトルカを自動的に振り分けることができます。

- 1つのフォルダに最大10件まで振分け条件を設定できます。
- 複数のフォルダの振分け条件に合致した場合、リストの一番上に表示されているフォルダが最も優先順位が高く、一番下に表示されているフォルダが最も優先順位が低くなります。
- [トルカフォルダ]、[利用済みトルカ]フォルダに振分け条件を設定することはできません。
- 自動的に振り分けられるのは、読み取り機から取得したトルカのみです。

フォルダに振分け条件を設定する

1 待受画面で●9 2 3を押し、フォルダを選んで📷4[振分け条件設定]を押す。

2 登録先番号を選んで●を押し、振分け条件を設定する。
- 設定済みの番号を選ぶと、振分け条件を編集できます。

カテゴリで振分ける	1→カテゴリを選ぶ→● ● カテゴリ選択画面で⊜を押すと選んだカテゴリのアイコン一覧が表示されます。●で元の画面に戻ります。
インデックスに含まれる文字列で振分ける	2→文字列を入力→● ● 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
タイトルに含まれる文字列で振分ける	3→文字列を入力→● ● 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
すべてのトルカを振分ける	4→[はい]→● ● [全てのトルカ]が[1]に設定されます。 ● [いいえ]を選んで●を押すと、指定した番号に設定されます。

3 複数の振分け条件を設定するときは、操作2をくり返す。

4 ⊜[完了]を押す。

設定した振分け条件を削除する

1 待受画面で●9 2 3を押し、フォルダを選んで📷4[振分け条件設定]を押す。

2 登録先番号を選んで📷を押し、削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→[はい]→●→⊜
全件削除する	2→[はい]→●→⊜

フォルダを管理する

最大20個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

フォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞

1 待受画面で●9 2 3を押す。

2 📷1 1[フォルダ新規作成]を押し、フォルダ名を入力して●を押す。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLRを1秒以上押します。

お知らせ

- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

フォルダ名を編集する＜フォルダ名編集＞

1 待受画面で●9 2 3を押す。

2 フォルダを選んで📷1 2[フォルダ名編集]を押す。

3 フォルダ名を編集して●を押す。
- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

フォルダの表示順を1つ上に移動する <フォルダ移動(↑)>

1 待受画面で◉9 2 3を押す。

2 フォルダを選んで📷1 3[フォルダ移動(↑)]を押す。

- トルカフォルダ、利用済みトルカフォルダ、一番上のユーザ作成フォルダおよびmicroSDメモリーカード内のフォルダは移動できません。

トルカを機能別ロックする<機能別ロック>

1 待受画面で◉9 2 3を押す。

2 📷◌1[機能別ロック]を押す。

3 端末暗証番号を入力して◉を押す。

4 [ON]/[OFF]を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で◉9 2 3を押し、フォルダを選んで📷2[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉
複数のフォルダをまとめて削除する	2→フォルダを選ぶ◉(くり返し可)→📷→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉ ● すべてを選択/解除する場合は、🅘[全選択]/🅘[全解除]を押します。
すべてのトルカを削除する(フォルダは残す)	3→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉
すべてのフォルダおよびトルカを削除する	4→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉

お知らせ

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

トルカを管理する

FOMA端末(本体)内やmicroSDメモリーカード内のトルカやトルカ(詳細)の削除、移動、コピー、並べ替えを行うことができます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。

トルカを並べ替える<ソート>

お買い上げ時 日付順(新→旧)

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

- ソート対象はFOMA端末(本体)内のトルカのみです。
- ソートを実行したあと、トルカ画面を終了しても、その設定は継続されます。

日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)	保存した日付の古い順
カテゴリ順	カテゴリアイコンのジャンル順
インデックス順	インデックスによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順 ● 各文字種類内では、文字コード順
かな順	トルカに設定されているかなの順

1 待受画面で◉9 2 3を押す。

2 フォルダを選んで◉を押し、📷3[ソート]を押す。

3 ソート方法を選んで◉を押す。

トルカを移動またはコピーする<移動/コピー/microSDへコピー/本体へコピー>

1 待受画面で◉9 2 3を押す。

2 フォルダを選んで◉を押し、トルカを選んで📷4[移動/コピー]を押す。

3 移動またはコピーを選ぶ。

トルカを移動する	1
トルカをコピーする	2
トルカをmicroSDメモリーカード/FOMA端末(本体)にコピーする	3

4 移動またはコピー方法を選ぶ。

トルカを1件ずつ移動またはコピーする	1
複数のトルカを選んで移動またはコピーする	2→トルカを選ぶ●(くり返し可)→◎ ● すべてを選択/解除する場合は、◎[全選択]/◎[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのトルカを移動またはコピーする	3→端末暗証番号を入力→●

5 フォルダを選んで●を押す。

- FOMA端末(本体)とmicroSDメモリーカード間でコピーする場合は[はい]を選んで●を押します。
- [ファイル制限のある画像を含むトルカは詳細を除いてコピーします]と表示された場合は、●[確認]を押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダがないときは、移動できません。
- 利用済みフォルダには移動/コピーできません。
- FOMA端末(本体)とmicroSDメモリーカード間の移動は行えません。
- FOMA端末(本体)とmicroSDメモリーカード間でコピーする場合は、フォルダの選択は不要です。

トルカを削除する<削除>

1 待受画面で● 9 2 3を押す。

2 フォルダを選んで●を押し、トルカを選んで◎ 1 [削除]を押す。

3 削除方法を選ぶ。

トルカを1件削除する	1→[はい]→●
複数のトルカをまとめて削除する	2→トルカを選ぶ●(くり返し可)→◎→[はい]→● ● すべてを選択/解除する場合は、◎[全選択]/◎[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのトルカを削除する	3→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●

トルカを検索する

トルカをカテゴリアイコンのジャンル、インデックス、タイトルで検索することができます。

- 検索対象はFOMA端末(本体)内のトルカのみです。
- 利用済みフォルダ内は検索できません。

1 待受画面で● 9 2 3を押し、フォルダを選んで◎ 3 [検索]を押す。

- フォルダを選んで●を押し、◎ 2を押すと、該当フォルダ内の検索になります。

2 検索範囲を選ぶ。

選択したフォルダ内を検索する	1
すべてのフォルダを検索する	2

3 検索方法を選び、キーワードを指定する。

カテゴリアイコンのジャンルで検索する	1→カテゴリを選ぶ→●
インデックスで検索する	2→インデックスの一部を入力→●
タイトルで検索する	3→タイトルの一部を入力→●

- 検索結果の一覧画面が表示されます。
- インデックスやタイトルなどキーワードは最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

4 絞り込み検索するときは、検索結果画面で◎ 2 [絞り込み検索]を押す。

iモードメールにトルカを添付する

- 1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ(詳細)、再配布不可のトルカおよび利用済みトルカはメールに添付できません。

1 トルカ(詳細)詳細画面(☞P.266)やトルカ詳細画面(☞P.266)で◎ 3 [メール添付]を押す。

- トルカ一覧画面で✉を押すこともできます。

2 iモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.214の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- トルカに対応していない機種には送信できません。
- トルカ(詳細)をメールに添付して送信するときにファイル制限されている画像が含まれている場合は、トルカ(詳細)取得前の状態で送信されます。ただし、送信された先で再度詳細を取得することが可能です。

トルカ設定

トルカについて設定する

FOMA端末を読み取り機にかざしてトルカを利用するときの設定を行います。

● 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	設定内容	お買い上げ時の設定
ＩＣカードから取得	読み取り機やｉＣ通信を利用してトルカを取得するかどうかを設定します。	ON
重複チェック	トルカ取得時に、同じトルカが保存されていないかチェックし、重複して取得しないように設定できます。	ON
自動読取チェック	読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動読取させるかどうかを設定します。[ON]に設定すると、利用可能なトルカが自動的に認識され、[利用済みトルカ]フォルダに移動されます。	OFF
自動表示	トルカ取得完了時に自動的に表示するかどうかを設定できます。	ON

● 自動読取チェックを[OFF]に設定している場合、トルカの一部機能を利用できないことがあります。

● 自動読取チェックを[OFF]に設定している状態で読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は、[はい]を選んで⦿を押し、もう一度⦿を押して本機能を[ON]にしてください。

1 待受画面で⦿9 2 3を押す。

2 📷8[トルカ設定]を押し、設定項目を選ぶ。

読み取り機から取得可能に設定する	1→1[ON]／2[OFF]
重複チェックを設定する	2→1[ON]／2[OFF]
自動読取を設定する	3→1[ON]→[はい]→⦿→⦿ ● 解除するとき：2[OFF]
自動表示を設定する	4→1[ON]／2[OFF]

ＩＣカードロック

ＩＣカード機能をロックする

FeliCa のＩＣカード機能を利用できないように、ＩＣカードロックを設定できます。

電源を入れたときにＩＣカード機能をロックする<電源ON時ＩＣロック設定>

お買い上げ時 OFF

電源が入っているときにＩＣカード機能を自動的にロックするように設定できます。

1 待受画面で⦿7 6を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 4 1[電源ON時ＩＣロック設定]を押し、[ON]／[OFF]を選ぶ。

設定する	1
解除する	2

● 待受画面で◯を１秒以上押し、[はい]を選んで⦿を押してもＩＣカードロックを設定できます。また、解除するときは、待受画面で◯を１秒以上押し、端末暗証番号を入力して⦿を押しても解除できます。

電源を切ったときにＩＣカード機能をロックする<電源OFF時ＩＣロック設定>

お買い上げ時 電源ON時設定に従う

電源が切れているときにＩＣカード機能を自動的にロックするように設定できます。

1 待受画面で⦿7 6を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 4 2[電源OFF時ＩＣロック設定]を押し、電源OFF時にＩＣカードロックを設定するかどうかを選ぶ。

電源ON時の設定に従う	1
設定する	2

お知らせ

● おまかせロックを設定した場合も、ＩＣカードロックが自動的に設定されます。

● ＩＣカードロック中は、読み取り機を利用したトルカの取得や、自動読取機能は利用できません。

● 電池パックを取り外すとＩＣカードロックが自動的に設定されます。再度、電池パックを取り付け、電源を入れるとＩＣカードロックは解除されます。ただし、電源ON時ＩＣロック設定を設定している場合、電池パックを取り外し再度電池パックを取り付け電源を入れたときは、ＩＣカードロックが保持されます。

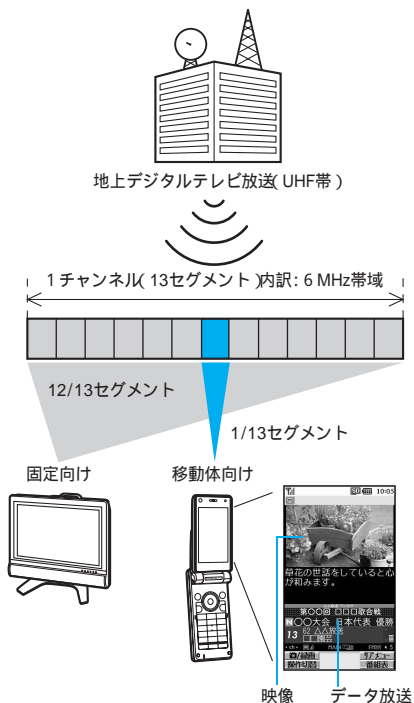
● ＩＣカードロックまたはおまかせロックでＩＣカードロックを設定しているときに電池残量がなくなり、電源が切れてもＩＣカードロックは保持されます。

● おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ＩＣカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができない場合があります。

テレビを見る

テレビについて

ワンセグとは

ワンセグは、移動体向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル（6 MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを移動体向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。
ワンセグでは映像音声と共にデータ放送が放送されますが、より詳細な情報は通信（データ放送サイトやｉモードサイトなど）にて提供されるため、放送を通信で補完することが前提となる放送サービスです。なお、通信を使用する際には、パケット通信料がかかります。
また、携帯電話の通信機能を利用して、テレビ放送事業者（放送局）などと双方向に情報のやりとりができるようになります。これを利用してクイズ番組へ参加したり、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

ワンセグのご利用について

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で放送され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードなどのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する際は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp/
- ワンセグは放送波を受信して表示されるため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や時間帯（放送圏外／放送休止中）では受信できません。

放送用保存領域とは

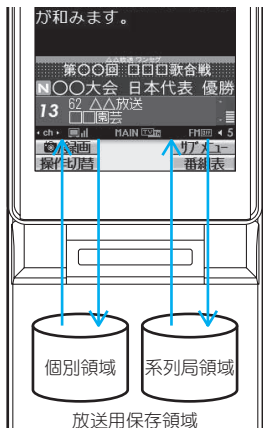
放送用保存領域とは、ARIB※1の放送技術仕様で規定されているワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、視聴中の番組内のデータ放送の指示に従いお客様が入力された情報などが、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。
放送用保存領域には、各放送局個別領域と、系列局※2共通領域があります。放送局個別領域に保存された情報は、同一放送局の番組視聴中にのみ利用することが可能です。また、系列局共通領域に保存された情報は、同一の放送局と系列内の他の放送局の番組視聴中のみ利用することが可能です。
放送用保存領域を消去するには、P.286を参照してください。
別のFOMAカードに差し替えたときは、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。[いいえ]を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

※1　ARIB：社団法人電波産業会
※2　系列局　例：フジテレビ、東海テレビ、関西テレビなど同一系列のテレビ局

放送用保存領域がいっぱいになった場合の画面表示

放送用保存領域内の放送局個別領域がすでに８つ使用されているときに、新たな放送局が放送局個別領域に書き込みを行おうとした場合、保存されている項目を削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると削除する項目を選択する画面が表示されます。項目を選択し、[はい]を選択すると新しい項目を保存できます。

放送用保存領域の読み出し時の画面表示

ある番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、[放送用保存領域内の情報を利用しますか？　同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります]と表示されます。[はい]を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、[はい(以後非表示)]を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

こんなこともできます

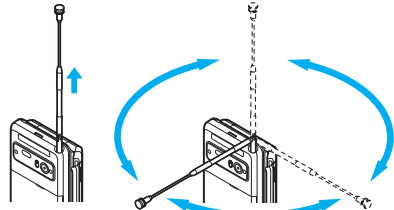
- サイクロイドポジションやマルチウインドウでの視聴
- ディスプレイ回転による起動
- リモコン番号によるダイレクト選局
- 主音声／副音声の切り替え
- 視聴予約、録画予約
- ビデオや静止画の録画
- 番組表ｉアプリの利用
- データ放送の表示と利用
- テレビリンクの利用

テレビをご利用になる前に

- 電池パックの寿命が短くなりますので、充電しながらワンセグを長時間視聴しないようにしてください。

TVアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、TVアンテナをご利用ください。TVアンテナは十分伸ばして視聴してください。

- ワンセグの映りが悪いときは、FOMA端末を体から離したり引き寄せたり、または場所を移動したりすると映りが良くなることがあります。また、TVアンテナを倒したり方向を変えたりすると映りが良くなることがあります。
- TVアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。
- TVアンテナを収納するときは、先端を持って無理に収納しようとしないでください。破損の原因となります。下の方を持ってまっすぐに下ろし、先端まで完全に収納してください。

はじめてワンセグを利用する場合の画面表示について

- はじめてワンセグを起動したときは、ご利用確認画面が表示されます。内容を確認して、◉[確認]を２回押してください。

お知らせ

- 次の場合は、ご利用確認画面が再度表示されるようになります。
  - ■ 設定リセットをした場合
  - ■ ユーザデータ削除をした場合
  - ■ 別のFOMAカードに差し替えた場合

視聴中に着信などがあったときは

ワンセグ視聴中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します。

- 終了後にワンセグを再開する機能
  - ■ 音声電話着信
  - ■ プッシュトーク着信
  - ■ アラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約、録画予約の通知
- 応答するとワンセグを終了する機能
  - ■ テレビ電話着信

お知らせ

- 通話を終了すると、自動的にワンセグの視聴を開始する場合があります。その際、ワンセグ用の音量で音声が鳴りますので耳元でご使用の際はご注意ください。
- FOMA端末をサイクロイドポジションで利用している場合、映像は中断せず画面右側に表示されます(マルチウインドウ機能)。
- 着信音にｉモーションまたは着うたフル®を設定していても、ワンセグ視聴中に着信した場合は、お買い上げ時に設定されている着信音が鳴ります。また、プッシュトーク着信音、アラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約の通知、録画予約の通知についても同様にお買い上げ時に設定されている音が鳴ります。
- サイクロイドポジションで通話するときは、必ず平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用するか、ハンズフリーを利用してください。受話口で通話するときは、必ず通常ポジションにしてください。

次ページへ続く

テレビのご利用にあたって

- はじめてワンセグを起動するときは、通信ができない状態では起動できません。
- FOMAカードが挿入されていない場合、ドコモとのご契約を解約されている場合、またはFOMAサービスを利用休止されている場合はワンセグを視聴することはできません。
- ドコモとご契約中のFOMAカードを挿入していても、セルフモード中やFOMAサービスエリア外である場合など通信ができない状態でワンセグ視聴をくり返すと、ワンセグを起動できなくなる場合があります。
  その場合は、FOMAサービスエリア内に移動するなど、通信ができる状態で再度ワンセグを起動してください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報（ワンセグから録画した静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできませんので、万が一に備え、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

チャンネル設定
チャンネルを設定する

テレビを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを選択しておく必要があります。

- 1つのチャンネルリストには放送局を62件まで登録できます。チャンネルリストはご利用地域などに応じて9つまで登録できますが、利用するチャンネルリスト1つを選択する必要があります。
- チャンネルリストの登録は、通常ポジションで行ってください。

チャンネルリストに自動で登録する ＜自動チャンネル設定＞

ご利用になる都道府県／地区を選び、自動的に放送局を検索してチャンネルリストに登録します。

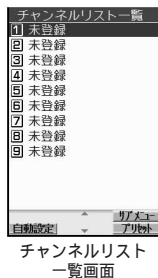
1 待受画面で◉931を押す。

- 待受画面でTVを1秒以上上押してもワンセグメニュー画面を表示できます。

ワンセグ
1 ワンセグ視聴
2 番組表
3 予約リスト
4 予約録画履歴
5 テレビリンク
6 チャンネル設定
7 ワンセグ設定

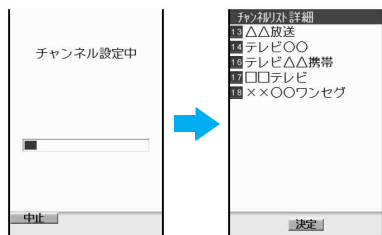
ワンセグメニュー画面

2 6［チャンネル設定］を押す。

チャンネルリスト一覧画面

3 登録先番号を選んで📷1［自動チャンネル設定］を押し、［はい］を選んで◉を押す。

- 登録先番号を選んで✉［自動設定］を押しても操作できます。

4 地域を選んで◉を押し、都道府県／地区を選んで◉を押す。

- 放送局の検索が開始されます。検索が終了するには、約60秒かかります。終了するとチャンネルリスト詳細画面が表示されます。

5 ◉を押し、［はい］を選んで◉を押す。

- チャンネルリストに登録されます。登録したチャンネルリストを利用するには、P.275「利用するチャンネルリストを選択する」を参照してください。

お知らせ

- 放送局の検索中にサイクロイドポジションにすると、検索が中断されます。

用意されているチャンネルリストを登録する＜プリセットチャンネル設定＞

あらかじめFOMA端末に用意されている各地域の放送局の情報から、ご利用になる都道府県／地区を選んでチャンネルリストに登録します。

1 チャンネルリスト一覧画面で、登録先番号を選んで📷2［プリセットチャンネル設定］を押す。

- チャンネルリスト一覧画面で、登録先番号を選んで📖［プリセット］を押しても操作できます。

2 地域を選んで⊙を押し、都道府県／地区を選んで⊙を押す。

3 ⊙を押し、[はい]を選んで⊙を押す。

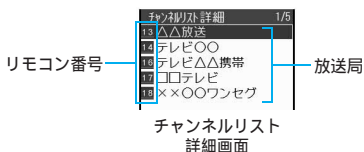
- チャンネルリストに登録されます。登録したチャンネルリストを利用するには、P.275「利用するチャンネルリストを選択する」を参照してください。

お知らせ

- プリセットチャンネル設定は、都道府県／地区によっては正しく設定できないことがあります。その場合は、自動チャンネル設定を行ってください。

利用するチャンネルリストを選択する

1 チャンネルリスト一覧画面で、チャンネルリストを選んでⓘ[詳細]を押す。

チャンネルリスト詳細画面

- リモコン番号1～12に割り当てられているチャンネルは、ワンタッチ選局で簡単に選局できます（☞P.275）。リモコン番号は変更することができます。
- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。

2 ⊙[設定]を押す。

- 設定したチャンネルリストには、[✔]が表示されます。
- チャンネルリスト一覧画面で、チャンネルリストを選んで⊙[設定]を押しても設定できます。

関連操作

チャンネルリストのタイトルを変更する＜タイトル編集＞

チャンネルリスト一覧画面でチャンネルリストを選ぶ▶Ⓜ3▶タイトルを編集▶⊙

チャンネルリストを削除する＜削除＞

1 チャンネルリスト一覧画面でチャンネルリストを選ぶ▶Ⓜ4
2 1[1件削除]
- すべてのチャンネルリストを削除するとき：2▶端末暗証番号を入力▶⊙

3 [はい]▶⊙

チャンネルリスト内の放送局を削除する＜削除＞

1 チャンネルリスト一覧画面でチャンネルリストを選ぶ▶ⓘ▶放送局を選ぶ▶Ⓜ1
2 [はい]▶⊙

リモコン番号を変更する＜リモコン番号変更＞

1 チャンネルリスト一覧画面でチャンネルリストを選ぶ▶ⓘ▶Ⓜ2
2 変更する放送局を選ぶ▶⊙▶変更先のリモコン番号を選ぶ▶⊙

関連操作

チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻す＜初期化＞

チャンネルリスト一覧画面でⓂ5▶端末暗証番号を入力▶⊙▶[はい]▶⊙

関連操作のお知らせ

タイトル編集について
- タイトルは最大全角・半角20文字まで入力できます。

削除について
- 利用中のチャンネルリストは削除できません。

放送局の削除について
- 放送局が1件しか登録されていないときは削除できません。

初期化について
- ワンセグ視聴中は初期化できません。

ワンセグ視聴

テレビを見る

サイクロイドポジションにするとワンセグが起動し、横画面で視聴できます（回転連動テレビ起動機能）。また、マルチウインドウでテレビを見ながら他の機能を利用することもできます。

- 番組表ｉアプリや視聴・録画予約機能から起動したり、サイトやインターネットホームページ、メール、ｉチャネルに表示されている番組情報から起動することもできます。
- FMトランスミッタ機能を利用して、FMラジオなどで音声を再生することもできます（☞P.361）。

1 待受画面で⊙9311を押す。

- 待受画面でTVを押すか、サイクロイドポジションにしてもワンセグを起動できます。
- 前回視聴したチャンネルが表示されます。
- 次の場合は、[登録されていないFOMAカード(UIM)です　放送用保存領域を初期化しますか？]と表示されます。内容を確認して⊙を押してください。
  - ■ はじめてワンセグを起動する場合
  - ■ 別のFOMAカードに差し替えた場合

ワンセグ視聴画面

2 ◯でチャンネルを選ぶ。

- リモコン番号1～62に割り当てられているチャンネルが順に表示されます。

お知らせ

- マナーモード設定中にワンセグを起動すると、[マナーモード中です　音を再生しますか？]と表示されます。[はい]を選択すると音声が鳴ります。
- ワンセグ視聴時には、テーマカラーなどの色が多少変わることがあります。
- 起動している機能によっては、サイクロイドポジションにしてもワンセグが起動しない場合があります。

ワンセグ視聴画面の見かた

通常ポジション

サイクロイドポジション

1 映像

2 字幕

3 データ放送

- サイクロイドポジションではデータ放送を表示できません。

4 放送局・番組名

- サイクロイドポジションの場合は、字幕表示が[OFF]のとき、**2**に表示されます。

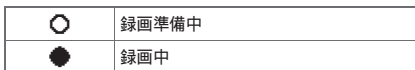
5 チャンネル番号

6 放送電波受信状態マーク

(アイコン)	(アイコン) 強 ←→ (アイコン) 弱

- [(アイコン)]が表示されているときは、放送電波の届かない場所にいます。

7 録画状態マーク

○	録画準備中
●	録画中

8 主／副音声設定マーク

MAIN	主音声
SUB	副音声
MAIN+SUB	主音声＋副音声

9 操作モードマーク

TV TA	映像モード（通常ポジション）
DATA TV	データ放送モード（通常ポジション）
TV	映像モード（サイクロイドポジション）

10 オフタイマー

⏲OFF	オフタイマー設定中

11 FMトランスミッタ設定マーク

FM ON	ON
FM OFF	OFF

12 音量マーク

◀5	◀0（音量0）～◀10（音量10）

- ミュート状態の場合は、[◀M]が表示されます。

お知らせ

- マルチウインドウ表示では、ワンセグ視聴画面に表示している各種マークや放送局・番組名は表示されません。

■ 視聴中のボタン操作

映像モード

	通常ポジション	サイクロイドポジション 全画面表示	マルチウインドウ
UP／DOWN選局	◯／◯ ● リモコン番号1～62を順送り／逆送りで選局します。		Eco ● 順送りで選局します。
ワンタッチ選局	リモコン番号1～9：1～9 リモコン番号10：＊ リモコン番号11：0 リモコン番号12：#		－
サーチ選局	◯（1秒以上）／◯（1秒以上） ● 受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替えます。		－
音量調節※（音量0～10）	◯（下げる）／◯（上げる）または▼（下げる）／▲（上げる）		▼（下げる）／▲（上げる）
ミュート／解除	(ボタン)		－
字幕表示ON／OFF	(ボタン)（1秒以上）		－
番組表ｉアプリ起動	(ボタン)		－
ビデオ録画	(ボタン)（1秒以上） ● 停止するときは(ボタン)を押します。		－
静止画録画	(ボタン)		－
サブメニュー表示	(ボタン)		－
メールメニュー表示	(ボタン)（1秒以上） ● 受信メールテロップ表示中は、受信BOXが表示されます。		－
映像モード／データ放送モードの切替	(ボタン)	－	－
ワンセグ視聴画面の各種マークや放送局・番組名の一時表示	－	＊（1秒以上）または◉	－
ワンセグと、同時に起動中の機能の切替	TV ● 起動している機能の状態によっては切り替えできない場合があります。		
ワンセグ終了	(ボタン)またはCLR→[はい]→◉		－

※ ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。

データ放送モード

	通常ポジション
データ放送項目選択	⊙／⊙
選択したサイトに接続	⊙
前のページに戻る／次のページに進む	⊙／⊙
ビデオ録画	ⓘ(1秒以上) ● 停止するときはⓘを押します。
静止画録画	ⓘ
データ放送の操作	CLR、1～9、0、＊、＃ ● 操作内容はデータ放送によって異なります。

関連操作

サイクロイドポジションでの映像の表示サイズを切り替える<表示モード切替(横)>

1 ワンセグ視聴画面で◎2
2 等倍表示するときは1
　● 拡大表示するとき:2

サイクロイドポジションで映像の拡大表示中にマークを表示するかどうかを設定する<マーク表示設定(横)>

1 ワンセグ視聴画面で◎3
2 一時的に表示するときは1
　● 常に表示するとき:2

ワンセグ視聴中に字幕の表示を設定する<字幕表示>

1 ワンセグ視聴画面で◎4
2 字幕を表示するときは1
　● 字幕を表示しないとき:2

ワンセグを起動した時の字幕表示について設定する<起動時設定>

1 ワンセグ視聴画面で◎43
2 ワンセグ起動時に字幕を表示するときは1
　● ワンセグ起動時のマナーモード設定に連動して字幕を表示するとき:2
　● ワンセグ起動時に字幕を表示しないとき:3

ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定する<オフタイマー>

1 ワンセグ視聴画面で◎5
2 1[30分後]／2[60分後]／3[90分後]／4[120分後]
　● 終了時間を設定しないとき:5

FMトランスミッタ機能を利用する<FMトランスミッタ出力>

ワンセグ視聴画面で◎7▶1

操作ガイドを表示する<操作ガイド>

ワンセグ視聴画面で◎⊙1

チャンネル設定を行う<チャンネル設定>

1 ワンセグ視聴画面で◎⊙2
2 P.274「チャンネルを設定する」を参照して設定する

視聴中の放送局をチャンネルリストに登録する<チャンネル追加登録>

ワンセグ視聴画面で◎⊙3

関連操作

番組情報を記載したメールを作成する<紹介メール作成>

ワンセグ視聴画面で◎⊙5▶ｉモードメール作成・送信

視聴可能な放送局を確認する<チャンネル情報>

ワンセグ視聴画面で◎⊙6
● 確認を終わるとき:⊙またはCLR

番組情報を表示する<番組情報>

ワンセグ視聴画面で◎⊙7
● 確認を終わるとき:⊙またはCLR

関連操作のお知らせ

表示モード切替(横)について
● お買い上げ時は、[映像(拡大)]に設定されています。

マーク表示設定(横)について
● ディスプレイ右側に表示されるマーク(時計表示や電波状態表示など)を表示するかどうかを設定できます。お買い上げ時は、[常時表示]に設定されています。
[一時表示]に設定すると、チャンネルや音量などを操作するたびに約2秒間表示されます。表示モード切替(横)を[映像(等倍)]に設定しているときは、この設定にかかわらず常に表示されます。

字幕表示について
● ワンセグ起動時の字幕の有無については、起動時設定に従います。
● 番組によって字幕の有無は異なります。字幕が表示される設定のときは、番組に字幕がない場合でも字幕領域が表示されます。

起動時設定について
● お買い上げ時は、[マナーモード連動]に設定されています。
● [マナーモード連動]に設定している場合は、マナーモード設定中にワンセグを起動すると字幕が表示されます。

オフタイマーについて
● お買い上げ時は、[OFF]に設定されています。オフタイマーを設定しても、ワンセグを終了すると次回起動時は[OFF]に戻ります。

FMトランスミッタ出力について
● FMトランスミッタの操作方法については、P.361を参照してください。

チャンネル追加登録について
● 設定しているチャンネルリストと異なる地域の番組を視聴している場合は、視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録できないことがあります。

ワンセグの映像や音声について設定する＜ワンセグ設定＞

お買い上げ時	鮮やか画質モード設定：ダイナミック 明るさ調整：自動 主／副音声切替：主音声 音声切替：第１音声 クローズ動作設定：継続 メールテロップ表示：お知らせのみ

1 ワンセグ視聴画面で[MENU][→][→]2[ワンセグ設定]を押し、設定項目を選ぶ。

鮮やか画質モードを設定する	1→1[ノーマル]／2[ダイナミック]／3[映画]
ディスプレイの明るさを調整する	2→2[手動]→[↑](明るくなる)／[↓](暗くなる)→[●] ● 周囲の明るさによって自動的に調整するとき：2→1[自動]
主／副音声を切り替える	3→1[主音声]／2[副音声]／3[主音声＋副音声] ● ワンセグを終了すると、[主音声]に戻ります。
第１音声／第２音声を切り替える	4→1[第１音声]／2[第２音声] ● ワンセグを終了すると、[第１音声]に戻ります。
FOMA端末を閉じたときの動作を設定する※	5→1[継続]／2[ミュート]／3[終了] ● 録画中は、[終了]に設定していてもミュート状態になり、録画が継続されます。
メールテロップ表示を設定する	6→1[差出人＋題名]／2[お知らせのみ]／3[OFF]
ワンセグ設定、画像表示設定(☞P.286)、効果音鳴動設定(☞P.286)の設定内容を表示する	7 ● 確認を終わるとき：[●]または[CLR]
ワンセグ設定、画像表示設定(☞P.286)、効果音鳴動設定(☞P.286)、確認表示設定リセット(☞P.286)をお買い上げ時の状態に戻す	8→端末暗証番号を入力→[●]→[はい]→[●]

※ クローズ動作設定を[継続]または[ミュート]に設定してワンセグを起動しているときは、端末を閉じていてもワンセグ起動状態となるため、データ放送・データ放送サイトの情報が自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

メールテロップ表示について
- メールテロップ表示を[差出人＋題名]に設定した場合、差出人が電話帳に登録されていないとき、および電話帳の機能別ロックが設定されているときは、メールアドレスが表示されます。
- メールテロップ表示を[差出人＋題名]または[お知らせのみ]に設定している場合、メール受信表示設定にかかわらずテロップが表示されます(映像と音声は継続します)。
- メールテロップ表示を[差出人+題名]に設定していても、メールの機能別ロックが設定されている場合、または受信メールの保存先フォルダのフォルダセキュリティが[ON]に設定されている場合は、お知らせのみが表示されます。

テレビを見ながら他の機能を利用する

サイクロイドポジションにすると、マルチウインドウでワンセグを視聴しながら他の機能を利用できます。

例：ワンセグを視聴しながらメールを作成する場合

マルチウインドウ

- 同時に起動可能な機能については、P.436「ワンセグのマルチウインドウ表示について」を参照してください。
- マルチウインドウでワンセグを視聴している場合、データ放送を利用することはできません。
- サイクロイドポジションでテレビを終了した場合、マルチウインドウの表示位置には代替画像が表示されます。

1 他の機能を起動中にサイクロイドポジションにする。
- ワンセグが起動し、全画面表示されます。

2 [TV]を押す。
- テレビ映像がマルチウインドウに表示され、利用中の機能が左側に表示されます。
- [TV]を押すたびに、テレビの全画面表示とマルチウインドウ表示が切り替わります。
  起動している機能の状態によっては切り替えできない場合があります。
- サイクロイドポジションでテレビを視聴中に、マルチアシスタントを使用して他の機能を起動してもマルチウインドウでテレビが表示されます。

ワンセグ視聴中に電話がかかってきたとき

- テレビ電話の場合は、応答するとワンセグが終了します。
- 通常ポジションのときは、ワンセグが中断し、着信画面が表示され、電話に出ることができます。音声電話やプッシュトークの場合は、終了後にワンセグを再開します。
- サイクロイドポジションのときは、マルチウインドウ表示に切り替わり、左側に着信画面が表示され、電話に出ることができます。音声電話やプッシュトークの場合は、マルチウインドウでテレビを見ながら通話することができますが、テレビの音は鳴りません。
- サイクロイドポジションのときは、回転連動着信応答(☞P.66)を[ON]に設定している場合に、着信中に通常ポジションにするだけで電話に出ることができます。

お知らせ

- ワンセグ起動中に電話がかかってきた場合、着信音・着信画面にｉモーションを設定しているときは、お買い上げ時に設定されている着信音・着信画面で動作します。

ワンセグ視聴中にメールを受信したとき

テロップ表示

通常ポジションおよびサイクロイドポジション（全画面表示）でワンセグを視聴中にメールを受信すると、画面にメールテロップが表示されます。このとき、メール着信音・メール受信画面・メール受信完了画面は動作しません。メールテロップ表示中に✉を１秒以上押すと、受信BOXが表示されます。

- サイクロイドポジションの場合は、表示モード切替（横）を［映像（拡大）］に設定しているときは画面の下側に、［映像（等倍）］に設定しているときは画面の左側に表示されます。
- メールテロップ表示中にCLRを押すと、テロップ表示を消すことができます。また、メールテロップに差出人や題名を表示するように設定したり、メールテロップが表示されないように設定することもできます（☞P.278）。
- マルチウインドウでワンセグを視聴しながら、受信メールを表示することができます。ただし、差出人が電話帳に登録されていない場合は、［差出人アドレスが電話帳登録外のためワンセグ映像をOFFします］と表示され、テレビ映像は代替画像に切り替わります。

お知らせ

- 次の場合は、メール着信音・メール受信画面・メール受信完了画面が動作します。
  - ■ 通常ポジションでワンセグを起動しているときに、マルチアシスタントを使って起動中の他の機能を表示している場合
  - ■ マルチウインドウでワンセグを視聴している場合

  ただし、メール着信音・メール受信完了画面にｉモーションを設定しているときは、お買い上げ時の設定で動作します。

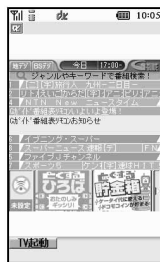
番組表

番組表ｉアプリを利用する

番組表ｉアプリを利用すると、テレビ番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約をすることができます。

- お買い上げ時は、番組表ｉアプリは「Gガイド番組表リモコン」に設定されています。「Gガイド番組表リモコン」の操作方法については、P.252を参照してください。
  他のソフトを番組表ｉアプリに設定するときは、P.251を参照してください。
- チャンネル設定（☞P.274）をしていない状態で番組表ｉアプリからワンセグを起動しようとすると、チャンネル設定が起動します。チャンネルリスト設定後にワンセグが起動するときは、設定したチャンネルリストの中で、一番小さい番号に設定されたチャンネルが選局されます。

1 待受画面で●９３１２を押す。

- ワンセグ視聴画面で📺［番組表］または📷◐◐１を押しても表示できます。
- 番組表ｉアプリ画面で📱［TV起動］を押すと、選択している番組を視聴できます。

予約リスト

テレビの視聴や録画を予約する

テレビ番組の視聴や録画を予約できます。予約した番組の開始時刻の１分前にアラームでお知らせ（開始アナウンス）します。録画予約の場合は自動的に録画を開始します。視聴予約の場合は、連携起動設定を［ON］に設定しておくと、アラーム画面からワンセグを起動できます。

- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください（☞P.45）。
- チャンネル設定を行っていない場合は視聴予約や録画予約を行うことはできません。
- はじめてワンセグを起動したときなど、ご利用確認画面が表示される状態では、録画予約を行っても録画はできません。
- ビデオ録画した映像は、microSDメモリーカードに保存されます。録画予約をする場合は、あらかじめmicroSDメモリーカードを挿入しておいてください。
- ワンセグには、コピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「１回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。
- コピー制御信号が「１回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」の番組は録画できます。
- 録画中にコピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」に変わった場合、録画を終了し、それまで録画した映像が保存されます。
- 視聴予約と録画予約を合わせて最大50件まで登録できます。
- 番組表ｉアプリ、サイトやメールなどに表示されている番組情報から、視聴予約や録画予約を行うこともできます。
- TVアンテナの方向などを調整し、テレビが良好に受信できているかを確認してください。
- FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。

保存件数と録画時間の目安

- ビデオ録画した映像を２Gバイトのmicro SDメモリーカードに保存する場合は最長約640分、最大99件保存できます（録画時間により保存件数は変わります）。

視聴予約・録画予約を行う

■ 番組表ｉアプリを利用して予約する
＜電子番組表＞

1 待受画面で◉ 9 3 1 3 を押し、[新規]または 1 [新規作成]を押す。

2 1 [電子番組表]を押す。
- お買い上げ時は、番組表ｉアプリは「Gガイド番組表リモコン」に設定されています。「Gガイド番組表リモコン」の操作方法については、P.252を参照してください。

■ 日時やチャンネルを指定して予約する
＜手動入力＞

1 待受画面で◉ 9 3 1 3 を押し、[新規]または 1 [新規作成]を押す。

2 2 [手動入力]を押し、予約種別を選ぶ。

視聴予約画面

録画予約画面

視聴予約を登録する	1
録画予約を登録する	2→[はい]→◉ ● 録画予約確認画面の記載内容をよくお読みください。[はい(以後非表示)]を選択すると、次回から録画予約確認画面は表示されません。

3 [開始日]・[終了日](録画予約のみ)を選んで◉を押し、開始日時・終了日時(録画予約のみ)を入力する。
- 日付の入力方法については、P.372「スケジュールを登録する」の操作２を参照してください。
- 時刻は24時間制で入力します。

4 くり返し方法を選ぶ。

１回のみの予約を登録する	1
毎日くり返す予約を登録する	2→くり返しの回数(00〜99)を入力→◉
毎週１回の予約を登録する	3→くり返しの回数(00〜99)を入力→◉

- くり返しの回数に「00」を入力したときは、くり返し回数が制限なしの予約が登録されます。

5 [チャンネル]を選んで◉を押し、チャンネルを選んで◉を押す。

6 [番組名]を選んで◉を押し、番組名を入力して◉を押す。
- 最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

7 [完了]を押す。

■ アラームを設定する

お買い上げ時　視聴予約：ON　録画予約：ON固定

開始アナウンスのアラーム音や音量を設定できます。
- 録画予約は[OFF]に設定できません。
- アラーム鳴動時間は15秒です。鳴動時間の変更はできません。
- アラーム機能の優先順位については、P.369を参照してください。

項　目	設定内容	お買い上げ時
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。	着信音１
アラーム音量選択	アラーム音量を変更できます。	音量５
連携起動設定(視聴予約のみ)	アラーム画面表示後にワンセグ起動確認画面を表示するかどうかを設定できます。	ON

1 視聴予約画面／録画予約画面で、[開始アナウンス]を選んで◉を押す。
- 録画予約の場合は操作３に進みます。

2 1 [**ON**]を押す。

3 1 [アラーム音選択]を押し、アラーム音の種類を選ぶ。

メロディを設定する	1
着うたフル®を設定する	2
音声のみのｉモーションを設定する	3
設定しない	4

4 **P.116**の操作２を参照してアラーム音を選ぶ。

5 2 [アラーム音量選択]を押し、(上げる)／(下げる)を押して音量を調節し、◉を押す。

6 3 [連携起動設定]を押し、1 [**ON**]／2 [**OFF**]を選ぶ。

7 [完了]を押す。

お知らせ
- 視聴予約と録画予約の開始日時を同じ日時に設定した場合、録画予約が優先されます。

お知らせ

視聴予約について

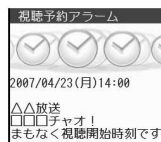
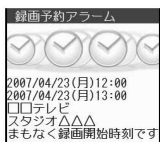
- すでに登録されている視聴予約と新たに登録する視聴予約の開始日時が同じ場合は、確認画面が表示されます。登録する場合は[はい]を選択します。先に登録されている視聴予約(くり返し設定の予約も含む)の開始アナウンスは[OFF]に変更されます。

録画予約について

- すでに登録されている録画予約の終了日時と、新たに登録する録画予約の開始日時が同じ場合は、確認画面が表示されます。登録する場合は[はい]を選択します。先に開始される録画は、最大1分程度早く終了します。
- 複数の番組を同時に録画することはできないため、すでに登録されている録画予約と新たに登録する録画予約の日時が重複した場合は、確認画面が表示されます。登録する場合は[はい]を選択します。先に登録されている録画予約(くり返し設定の予約も含む)は削除されます。

予約開始時刻になると

開始時刻の1分前に、設定した内容でアラームが動作します。15秒経過するとアラームは止まります。手動でアラームを止めるときは、TV、Eco以外のいずれかのボタンを押します。

- アラーム音量がステップトーン以外のときは、(上げる)／(下げる)を押して音量を調節できます。
- 視聴予約の場合、連携起動設定を[ON]に設定しているときは、アラームが止まるとワンセグ起動確認画面が表示され、[はい]を選んで⦿を押すとワンセグが起動します。
  ワンセグ起動中にアラームが動作した場合、ワンセグ起動確認画面は表示されません。予約と異なるチャンネルを視聴していた場合は、チャンネル変更確認画面が表示され、[はい]を選んで⦿を押すと予約したチャンネルに切り替わります。
- 録画予約の場合、アラームが止まるとワンセグがミュート状態で起動し、ワンセグ視聴画面に[○]が表示されます。録画時刻になると録画が開始され、表示が[●]に変わります。
  ワンセグ起動中にアラームが動作した場合、アラームが止まるとメッセージが表示されます。ワンセグはミュート状態になり、録画が開始されます。
  録画した映像は、microSDメモリーカード(データBOXの[ビデオ(microSD)]フォルダ)に保存されます。
  microSDメモリーカードの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画した映像が保存されます。
- FMトランスミッタの[起動時自動出力設定]を[ON]に設定し、公共モード(ドライブモード)を設定している場合、視聴時刻または録画時刻になるとワンセグが起動しますが、FM電波は送信されません。
  このとき、ワンセグはミュート状態で起動しています。FOMA端末から音を出すには、[FMトランスミッタ出力]を[OFF]に設定してください(☞P.361)。

視聴予約アラーム画面

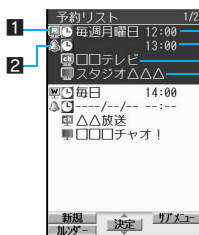
録画予約アラーム画面

お知らせ

- 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の[ON]／[OFF]を設定できます。
- 公共モード(ドライブモード)設定中に予約開始時刻になったときは、アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータも動作しません。
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに[視聴アラーム鳴動中]／[録画アラーム鳴動中]と表示されます。
- 次の場合などは、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しますが、録画は開始されません。
  - マルチアシスタントを使ってワンセグと同時に起動できない機能を利用中
  - 録画予約したあとに、FOMAカードを取り外したり、別のFOMAカードに差し替えた場合
  - 電池残量が不足している場合
  - microSDメモリーカードが挿入されていない場合
  - マルチメディアの機能別ロック中
- 次の場合などは、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、録画も開始されません。
  - 音声電話またはテレビ電話の発着信中および通話中
  - プッシュトークの発着信中および通信中
  - 赤外線通信中、赤外線リモコン送信中
  - オールロック中
  - 電源が切れているとき、電源ON／OFF時のウェイクアップ画面または終了画面表示中、自動電源OFF時の確認画面表示中
  - 電池切れ画面の表示中
  - ソフトウェア更新中
  - ユーザデータ一括削除中
  - USB通信中
  - パケット通信中

視聴予約・録画予約を確認する

1 待受画面で⦿ 9 3 1 3 を押す。

- [カレンダー]を押すとカレンダー画面が表示され、他のスケジュールと合わせて確認できます。

予約リスト画面

1 予約種別

(視聴アイコン)	視聴予約
(録画アイコン)	録画予約

2 アラーム
3 開始日時
4 終了日時
5 チャンネル名
6 番組名

2 予約を選んで◉を押す。

予約リスト 2/2
視聴予約
ON 1分前
2007/04/23(月) 14:00
----/--/--(ー) --:--
毎日 14:00 1 回
△△放送
□□□チャオ！

予約リスト 1/2
録画予約
ON 1分前
2007/04/23(月) 12:00
2007/04/23(月) 13:00
毎週 月曜日 1 回
□□テレビ
スタジオ△△△

視聴予約詳細画面　録画予約詳細画面

1 予約種別
2 開始アナウンス設定
3 開始日時
4 終了日時
5 繰り返し設定
6 チャンネル名
7 番組名

視聴予約・録画予約を修正する<編集>

1 予約リスト画面で、予約を選んで ⓜ[2][編集]を押す。

- 予約詳細画面のときは、ⓜ[1]を押します。

2 予約を修正し、ⓘ[完了]を押して登録方法を選ぶ。

- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.280)。

新規に登録する	[1]
上書き登録する	[2]→[はい]→◉

視聴予約・録画予約を管理する

予約を削除したり、並べ替えたりできます。

予約を削除する<削除>

1 待受画面で◉[9][3][1][3]を押し、予約を選んでⓜ[3][削除]を押す。

- 予約詳細画面のときは、ⓜ[2]を押し、[はい]を選んで◉を押すと予約を削除できます。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	[1]→[はい]→◉
複数をまとめて削除する	[2]→予約を選ぶ◉(くり返し可)→ⓜ→[はい]→◉
指定した日の前日までのすべての予約を削除する	[3]→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉
すべてを削除する	[4]→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉

予約を並べ替える<ソート>

お買い上げ時　放送日時順(旧→新)

放送日時順(旧→新)	予約日時の古い順
放送日時順(新→旧)	予約日時の新しい順
視聴予約優先	視聴予約の予約日時の古い順→録画予約の予約日時の古い順
録画予約優先	録画予約の予約日時の古い順→視聴予約の予約日時の古い順

- 予約リストを終了しても、表示順番は変更されたままです。

1 待受画面で◉[9][3][1][3]を押し、ⓜ[4][ソート]を押す。

2 ソート方法を選んで◉を押す。

予約録画履歴を表示する<予約録画履歴>

予約した録画が終了すると、予約録画履歴として最大50件まで記憶され、録画結果を確認できます。

1 待受画面で◉[9][3][1][4]を押す。

- 待受画面に[ワンセグ録画あり]と表示されているときに◉を押しても表示できます。

1 件数／総件数
2 録画結果マーク

(icon)	録画成功
(icon)	録画失敗

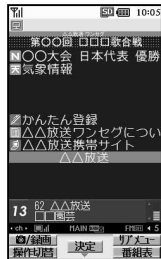
3 録画開始日時
4 録画結果
- 録画失敗時には失敗した理由が表示されます。

5 放送局名
6 番組名

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、番組に関連したサイトに接続したり、投票などで番組に参加するなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。
また、番組によっては、Phone To機能やMail To機能、ｉアプリTo機能の利用や、電話帳登録やスケジュール登録などができます。
- データ放送・データ放送サイトによっては表示中に音声が鳴ることがあります。
- サイクロイドポジションではデータ放送を表示できません。

1 ワンセグ視聴画面で✉[操作切替]を押す。
- [DATA]が表示され、データ放送モードに切り替わります。
- データ放送モード中の操作については、P.277を参照してください。
- ✉を押すたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
- ワンセグ視聴画面で📷◯4を押しても操作できます。

分割表示

全画面表示

2 ◯で項目を選んで◉[決定]を押す。
- 接続確認画面が表示された場合は、[はい]を選んで◉を押すと、ｉモードに接続します。[はい(以後非表示)]を選択すると、次回から確認画面は表示されず、データ放送・データ放送サイトの情報は自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますので、ご注意ください。
- データ放送・データ放送サイトからｉモードサイトへ接続を行った場合、サイトは全画面で表示され、ワンセグの映像は表示されません。
- サイト表示中の操作については、P.184「サイトの見かたと操作」を参照してください。

お知らせ

- 接続確認画面を再度表示するには、確認表示設定リセットを行います。
- データ放送・データ放送サイトを利用中に以下のようなメッセージが表示されることがあります。[はい]を選択すると操作を実行します。

メッセージ	理　由
[放送用保存領域がいっぱいです　削除しますか？]	放送用保存領域の放送局個別領域がすでに８つ使用されているときに、新たな放送局が放送局個別領域に書き込みを行おうとすると表示されます。
[放送用保存領域内の情報を利用しますか？　同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります]※	チャンネルの変更時、初回放送番組の放送時、視聴番組終了後の次番組の開始時などに表示されます。
[データ放送サイトに情報送信しますか？　ｉモード通信を行います]※	データ放送を表示中に、視聴中の番組からの情報送信指示が発生した場合に表示されます。
[サイト接続しますか？]※	データ放送・データ放送サイトやテレビリンクから、ｉモードサイトに接続するときに表示されます。
[データ放送サイト接続しますか？　ｉモード通信を行います]※	データ放送・データ放送サイトから、ｉモードサイトに接続するときに表示されます。
[電話帳登録しますか？]※ [スケジュール登録しますか？]※ [テレビリンク登録しますか？]※	データ放送より取得した各情報登録時に表示されます。

※ [はい(以後非表示)]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

関連操作

データ放送の表示サイズを切り替える<表示モード切替(縦)>
1 ワンセグ視聴画面で📷1
2 データ放送を全画面表示するときは2
- 映像とデータ放送を分割して表示するとき：1

データ放送サイトを再読み込みする<再読込み>
ワンセグ視聴画面で📷81

証明書を表示する<証明書表示>
ワンセグ視聴画面で📷82

データ放送サイトからデータ放送に戻る<データ放送に戻る>
ワンセグ視聴画面で📷83

関連操作のお知らせ

表示モード切替(縦)について
- お買い上げ時は、[映像＋データ放送]に設定されています。設定を変更しても、ワンセグを終了すると次回起動時は[映像＋データ放送]に戻ります。

テレビリンク

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク一覧画面から簡単にメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは100件まで登録できます。

テレビリンクに登録する

1 テレビリンク登録可能な項目を選んで⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。
- すでに登録されているメモ情報やサイトを選んだときは、上書き確認画面が表示されます。登録するときは、[はい]を選んで⦿を押します。

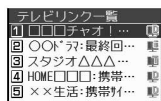
登録したテレビリンクを表示する <テレビリンク>

1 待受画面で⦿9315を押す。

- ワンセグ視聴画面で📷○8を押しても表示できます。

テレビリンク一覧
1 □□□チャオ！…
2 ○○ドラマ：最終回…
3 スタジオ△△△…
4 HOME□□□：携帯…
5 ××生活：携帯サイ…

テレビリンク一覧画面

マークの意味

(メモ情報アイコン)	メモ情報
(データ放送サイトアイコン)	データ放送サイト
(iモードサイトアイコン)	iモードサイト

2 テレビリンクを選んで表示する。

メモ情報を表示する	⦿ ● 確認を終わるときは、⦿またはCLRを押します。
データ放送サイトを表示する	⦿→[はい]→⦿ ● データ放送サイトが全画面表示されます。ワンセグ視聴画面から操作した場合はワンセグが終了します。
iモードサイトを表示する	⦿→[はい]→⦿

- 有効期限が切れているテレビリンクを表示することはできませんが、削除することはできます。

関連操作

詳細情報を表示する<詳細情報表示>

テレビリンク一覧画面でテレビリンクを選ぶ▶📷1

- 確認を終わるとき：⦿

テレビリンクを削除する<削除>

1 テレビリンク一覧画面でテレビリンクを選ぶ▶📷2

2 1[1件削除]

- 複数のテレビリンクをまとめて削除するとき：2▶テレビリンクを選ぶ⦿（くり返し可）▶📷
- すべてのテレビリンクを削除するとき：3▶端末暗証番号を入力▶⦿

3 [はい]▶⦿

関連操作のお知らせ

テレビリンクの削除について

- 選択削除の場合、すべてを選択／解除するときは、(i)[全選択]／(i)[全解除]を押します。

視聴中にワンセグを録画する

ワンセグ視聴中に、放送中の番組をビデオ録画したり、番組の一場面を静止画として録画することができます。

- ワンセグには、コピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「1回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。
- コピー制御信号が「1回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」の番組は録画できます。
- 録画中にコピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」に変わった場合、録画を終了し、それまで録画した映像が保存されます。
- マルチウインドウ利用中は録画を開始できません。

保存件数と録画時間の目安

- ビデオ録画した映像を2GバイトのmicroSDメモリーカードに保存する場合は最長約640分、最大99件保存できます（録画時間により保存件数は変わります）。

ビデオ録画する

ビデオ録画した映像は、microSDメモリーカードに保存されます。ビデオ録画をする場合は、あらかじめmicroSDメモリーカードを挿入しておいてください。microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。

- 録画したビデオの再生については、P.311「ビデオを再生する」を参照してください。

1 ワンセグ視聴画面で◉[📷/録画]を1秒以上押す。

- ワンセグ視聴画面に[○]が表示され、録画が開始されると表示が[●]に変わります。録画が開始されるまで、時間がかかる場合があります。
- 録画中は着信ランプが紫色で点滅します。
- 録画中はチャンネル変更やチャンネル設定、静止画録画はできません。テレビリンクや番組表ｉアプリも利用できません。

2 録画を止めるときは◉[停止]を押す。

- 録画を終了し、自動的に保存されます。
- microSDメモリーカードの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画した映像が保存されます。

ビデオ録画を終了する時間を設定する ＜録画終了時間＞

お買い上げ時　制限なし

1 ビデオ録画中に📷 6 を押し、録画終了時間を選ぶ。

15分後	1	90分後	4
30分後	2	120分後	5
60分後	3	制限なし※	6

※ microSDメモリーカードの空き容量がなくなるまで録画します。

2 録画終了後の動作を選ぶ。

ワンセグの視聴を終了する	[はい]→◉
ワンセグの視聴を継続する	[いいえ]→◉

静止画を録画する

静止画録画した画像は、FOMA端末(本体)のデータBOXのマイピクチャの[TVイメージ]フォルダに保存されます。最大1000件保存できます。

- 静止画録画した画像の表示については、P.296「保存した画像を表示する」を参照してください。

1 ワンセグ視聴画面で◉[📷/録画]を押す。

- 静止画が録画され、自動的に保存されます。保存するまでに時間がかかる場合があります。

お知らせ

- 録画したビデオには、自動的に[PRGxxx](「xxx」は半角数字)というファイル名が付けられます。
  ビデオファイル一覧画面(☞P.311)では、ビデオファイルは番組名で表示されます。
- 録画した静止画には、自動的に録画日時をもとにしたファイル名が付けられます。
  例:2007年4月23日午後1時5分に撮影した場合→[200704231305xxx](「xxx」は半角数字)
- 録画したビデオ/静止画は、待受画面設定や発着信画面設定などの画面設定はできません。
- 録画したビデオ/静止画は、メール添付や**赤外線通信**/**ｉC通信**で送信することはできません。
- 録画したビデオ/静止画は、**映像編集**や**画像編集**をすることはできません。
- ビデオ録画中にFOMA端末を閉じても録画は継続されます。
- テレビ電話着信に応答するとワンセグが終了します。ビデオ録画も終了し、それまで録画した映像が保存されます。
- ビデオ録画中に録画予約を設定した時刻になると、予約していた方の録画が開始されます。それまでのビデオ録画は終了し、映像が保存されます。
- 放送電波が圏外のときは、録画を開始できません。
- ビデオ録画中に放送電波が圏外になっても、録画は継続されますが、放送電波圏外中はワンセグを受信できません。
- 静止画録画の場合、映像部分のみ録画され、データ放送部分は録画されません。
- データ放送を全画面表示しているときは、静止画は録画できません。

ワンセグ設定

ワンセグの設定を行う

● サイクロイドポジションのとき、放送用保存領域消去、ワンセグ設定確認、確認表示設定リセット、ワンセグ設定リセットはできません。

データ放送の保存データを削除する＜放送用保存領域消去＞

データ放送の保存データ（放送用保存領域のデータ）を削除します。

1 待受画面で⦿ 9 3 1 7 1 を押す。

2 系列放送局を選んで📷を押し、削除方法を選ぶ。

1件削除する	1
全件削除する	2→端末暗証番号を入力→⦿

● 系列内の放送事業者を確認するときは、📖［詳細］を押します。確認を終わるときは⦿またはCLRを押します。
● 放送事業者別に消去するときは、系列放送局を選んで⦿を押し、放送事業者を選んで📷を押し、削除方法を選びます。

3 ［はい］を選んで⦿を押す。

データ放送サイトの画像を表示しないようにする＜画像表示設定＞

お買い上げ時 ON

1 待受画面で⦿ 9 3 1 7 2 を押し、2［OFF］を押す。

● ワンセグ視聴画面で📷 8 4 を押しても操作できます。

データ放送サイトの効果音を鳴らさないようにする＜効果音鳴動設定＞

お買い上げ時 ON

1 待受画面で⦿ 9 3 1 7 3 を押し、2［OFF］を押す。

● ワンセグ視聴画面で📷 8 5 を押しても操作できます。

設定内容を確認する＜ワンセグ設定確認＞

画像表示設定や効果音鳴動設定、ワンセグ視聴画面のワンセグ設定（☞P.278）の設定内容を表示します。

1 待受画面で⦿ 9 3 1 7 4 を押す。

● 確認を終わるときは、⦿またはCLRを押します。

データ放送の確認画面を再表示する＜確認表示設定リセット＞

データ放送やデータ放送サイトの接続確認画面で［はい（以後非表示）］を選択すると以後同様の確認画面は表示されなくなります。確認表示設定リセットを行うと、それらの確認画面が再度表示されます。

1 待受画面で⦿ 9 3 1 7 5 を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

● ワンセグ視聴画面で📷 8 6 を押しても操作できます。

2 ［はい］を選んで⦿を押す。

ワンセグ設定をお買い上げ時の状態に戻す＜ワンセグ設定リセット＞

ワンセグの映像や音声に関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。リセットされる設定項目と、お買い上げ時の状態は次のとおりです。

● 放送用保存領域は消去されません。
● ワンセグ設定リセットを行うと、確認表示設定リセットも同時に行われます。

設定項目		お買い上げ時の設定
ワンセグ視聴画面からのワンセグ設定（☞P.278）	鮮やか画質モード設定	ダイナミック
	明るさ調整	自動
	主／副音声切替	主音声
	音声切替	第１音声
	クローズ動作設定	継続
	メールテロップ表示	お知らせのみ
ワンセグメニューからのワンセグ設定	画像表示設定	ON
	効果音鳴動設定	ON

1 待受画面で⦿ 9 3 1 7 6 を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 ［はい］を選んで⦿を押す。

フルブラウザ

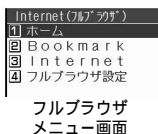
パソコン向けのホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、ｉモードに対応していないインターネットホームページをパソコンと同じようにFOMA端末で表示することができます。

- 情報量の多いインターネットホームページは正しく表示されないことがあります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 画面メモの保存はできません。
- 着信メロディ、ｉアプリ、トルカ、ｉモーション、Flashの再生、ダウンロードや保存はできません。

1 待受画面で ⓘ 9 を押す。

Internet（ﾌﾙﾌﾞﾗｳｻﾞ）
1 ホーム
2 Bookmark
3 Internet
4 フルブラウザ設定

フルブラウザ
メニュー画面

2 表示するインターネットホームページを指定する。

登録済みのホームページ（ポータルサイト）を表示する	1
ブックマークから表示する	2→フォルダを選ぶ→◉→ブックマークを選ぶ→◉
URLを入力して表示する	3→3→URLを入力→◉ ● 最大半角512文字まで入力できます（「http://」などを含む）。

- ページによっては表示に時間がかかる場合があります。

■ フルブラウザの利用確認画面について

- フルブラウザのアクセス設定が［OFF］に設定されている場合、フルブラウザ起動時に、フルブラウザを利用するかどうかを確認するアクセス設定画面が表示されます。［利用する］を選択すると、アクセス設定が［ON］に設定変更され、フルブラウザでインターネットホームページが表示されます。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。

お知らせ

- サイクロイドポジションでインターネットホームページを表示しようとすると［縦に戻してご利用下さい］と表示されます。インターネットホームページを表示する場合は、通常ポジションに戻してご利用ください。

お知らせ

フルブラウザ中のボタン操作

ボタン操作	動　作
1	ウィンドウリスト画面を表示し、ウィンドウを切り替える
2	画面の最上部へ移動
3	リンクを新ウィンドウで開く
4	前のページへ戻る
5	登録しているホームページを新ウィンドウで開く
6	次のページへ進む
7	登録している検索サイトでウェブ検索を行う
8	ページ内の文字列を検索する
9	ブックマーク機能を利用する

関連操作

ホームページ（ポータルサイト）を登録する<ホーム登録>

フルブラウザで登録したいインターネットホームページを表示中（☞P.288の操作1～2）に ⓜ 7 2 2

- URLを入力してホームページ（ポータルサイト）を登録するとき：フルブラウザメニュー画面（☞P.288の操作1）で 4 1 ▶ URLを入力 ▶ ◉

URL履歴を使ってページを表示する<URL履歴>

フルブラウザメニュー画面で 3 2 ▶ URLを選ぶ ▶ ◉

最後に表示したページを表示する<ラストURL>

フルブラウザメニュー画面で 3 1 ▶ ◉

アクティブマーカーを使ってページを表示する<アクティブマーカー>

待受画面で ◯ ▶ ◯（フルブラウザ履歴）▶ ◉ ▶ 履歴を選ぶ ▶ ◉

関連操作のお知らせ

- ｉモードのブックマークとフルブラウザのブックマークは別に管理されます。
- フルブラウザのブックマークには、お買い上げ時、［Bookmark］フォルダ、［検索］フォルダが登録されています。［Bookmark］フォルダ、［検索］フォルダを合わせて最大20個のフォルダを登録できます。
- ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録できます。
- URLの文字数は最大半角512文字までです（「http://」などを含む）。
- ウェブ検索時、ブックマークの［検索］フォルダの一番上に登録されたサイトを利用します（☞P.291）。

フルブラウザの表示について

フルブラウザでの表示中の操作は、iモードのInternetメニューからのサイト表示操作と基本的な部分は共通です(☞P.187)。ここでは、異なる部分を中心に説明します。

フルブラウザ画面

Internet(フルブラウザ)中に表示されるマーク

マーク	説明
FB	フルブラウザ起動中(通信中は が点滅)
FB	フルブラウザアクセス中 (データ受信中は[ ]が点滅)
W FB	裏ウィンドウアクセス中 (通信中は[ ]が点滅)
f FB	別フレームアクセス中 (通信中は[ ]が点滅)
SSL	SSLページ表示中
	横スクロールモード中
	フレーム拡大表示中
1/1	マルチウィンドウ表示 (ウィンドウ/全ウィンドウ数)
(青色)	未読iモードメール、SMS、またはメッセージR/Fがある場合

表示モードを切り替える

1 フルブラウザ画面で 1 5[表示モード設定]を押し、表示モードを選ぶ。

通常モード	1	ディスプレイの横幅に合わせて縮小表示します。上下にスクロールできます。
横スクロールモード	2	縮小表示しません。上下左右にスクロールできます。

画面の上下スクロール

上下にスクロールするときは、 で行います。

- 通常モードの場合は、 [▼ページ]/ [▲ページ]で1画面単位でスクロールできます。

画面の横スクロール(横スクロールモード)

横スクロールモードのときは、 でページの横幅の範囲内を左右にスクロールできます。

- 横スクロールモードの場合は、 [頁移動]を押すと横ページスクロールモードになり、 で1画面単位でスクロールできます。 [通常移動]を押すと横スクロールモードに戻ります。

一番上に移動する(ホームポジション)

- 2または 7 4を押すと、表示中のページの一番上に移動できます。

前のページに戻る/次のページに進む(キャッシュについて)

FOMA端末はインターネットホームページの画面と表示してきた経路を、合計900Kバイトまで記憶しています。これを「キャッシュ」と呼び、簡単に表示できます。

- 通常モードの場合、 を押して前のページを表示したあとは、 を押して次のページを表示できます。
- 横スクロールモードの場合、 [戻る]を押して前のページを表示したあとは、 [進む]を押して次のページを表示できます。
- 前のページに戻るときに4、次のページに進めるときに6を使うこともできます。
- または [戻る]を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で または [戻る]を押して前のページを表示させ(「C」から「B」に戻る)、そのページから他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」から または [戻る]を2回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。
〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき〉(☞P.186)
- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- キャッシュがいっぱいになった状態で、新たなページを表示すると、古い履歴から順に削除されます。
- 前または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、また必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、インターネットホームページからダウンロードして表示します。
- キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
- キャッシュの情報は、フルブラウザを終了するとリセットされます。

フレームページを表示する

複数のフレームで構成されたインターネットホームページを表示できます。
フレーム選択画面でフレームを選択すると、フレームごとにページを表示できます。

- フレーム選択画面で を押してフレームを選んで を押すと、フレーム詳細画面が表示されます。
- フレームごとのインターネットホームページからフレーム選択画面に戻るときは、 7 5[全体表示]を押します。

お知らせ

- インターネットホームページ表示時に、画像を読み込まないように設定できます(☞P.292)。
- インターネットホームページによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のインターネットホームページの画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、文字コード変換を行うと正しい文字に変換して表示できることがあります。文字コード変換を4回くり返すと、元の表示に戻ります。
- インターネットホームページからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数で表示できない場合があります。
- インターネットホームページ表示中に を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、フルブラウザを終了します。

次ページへ続く

お知らせ

- **電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否、非通知理由別着信拒否、電話帳登録外着信拒否**を設定している場合、着信を許可しない相手からインターネットホームページ表示中に電話がかかってきたときも、着信音が鳴りません。相手の電話番号や電話帳に登録した名前が着信履歴に残ります。相手には話中音が聞こえます。
- インターネットホームページ表示時に、通信エラーなどで画面に表示できるデータが何も取得できなかった場合、画面に[☒]が表示されることがあります。この場合は、インターネットホームページの再読み込みを行うことで、正しく表示される場合があります。

関連操作

インターネットホームページを再読み込みする<再読み込み>
フルブラウザ画面で📷1

URLを参照する<URL表示>
フルブラウザ画面で📷◯11

文字コードを変換する<文字コード変換>
フルブラウザ画面で📷◯13

GIFアニメーションを再び再生する<リトライ>
フルブラウザ画面で📷◯14

ブックマークに登録する<Bookmark登録>
1 フルブラウザ画面で📷21
2 フォルダを選ぶ▶⊙
3 登録するときは[OK]▶⊙
- タイトルを変えて登録するとき：[タイトル編集]▶⊙▶タイトルを編集▶⊙
- 保存するフォルダを変更して登録するとき：[フォルダ変更]▶⊙▶フォルダを選ぶ▶⊙▶[OK]▶⊙

画像を保存する<画像保存>
1 フルブラウザ画面で📷3
2 画像を選ぶ▶⊙▶フォルダを選ぶ▶⊙

インターネットホームページのURLをメール送信する<メール作成>
フルブラウザ画面で📷4

関連操作のお知らせ

画像保存について
- 最大300KバイトのGIF画像、JPEG画像、BMP画像、PNG画像を保存できます。ただし、BMP画像とPNG画像の場合、microSDメモリーカードに保存できますが、FOMA端末（本体）には保存できません。

■ SSL対応のページを表示するとき

フルブラウザでは、「https://」から始まるインターネットホームページ（SSLページ）を表示できます。また、ユーザ証明書が必要な場合は、確認画面が表示されます。送信してよい場合は、[はい]を選んで⊙を押し、PIN2コードを入力してください。
- SSL対応のページを表示しているときは、[SSL]が表示されます。
- マルチウィンドウのとき、裏ウィンドウのみでSSLページを表示している場合、[SSL]は表示されません。
- SSL対応のページから通常のページへ移動するときは、SSLを終了するかどうかの確認画面が表示されます。

関連操作

インターネットホームページのサーバー証明書を参照する<証明書参照>
フルブラウザ画面で📷◯12

関連操作のお知らせ

- [このサイトは安全でない可能性があります。 接続しますか？]などと表示されたときは、ページのSSL証明書が不正、または期限切れになっているか、FOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信できませんので、ご注意ください。
続けてページを表示させるときは[はい]を選択します。
ページを表示させないときは[いいえ]を選択します。

マルチウィンドウを使う

フルブラウザのウィンドウは最大５枚開くことができます。

■ URLを入力して新しいウィンドウで表示する

フルブラウザでインターネットホームページ表示中に、新しいウィンドウで別のインターネットホームページを表示することができます。

1 フルブラウザ画面（☞P.289）で📷5[Internet]を押す。

2 表示するインターネットホームページを指定する。

URL履歴から表示する	1→URL履歴を選ぶ→⊙
URLを入力して表示する	2→URLを入力→⊙ ● 最大半角512文字まで入力できます（「http://」などを含む）。

3 [新ウィンドウで開く]を選んで⊙を押す。
- 新しいウィンドウでインターネットホームページが表示されます。

お知らせ

- 表示可能なフレーム数を超えた場合やメモリ不足により、新ウィンドウで開くことができない場合があります。

選択しているリンクを新しいウィンドウで表示する

リンクを選択してリンク先のページを表示するときに、現在のウィンドウはそのままにして新しいウィンドウで表示できます。

1 フルブラウザ画面（☞P.289）でリンクを選び、3または📷81［新ウィンドウで開く］を押す。

開いているウィンドウの一覧を表示する

最大５件のウィンドウが一覧表示されます。

1 フルブラウザ画面（☞P.289）で1または📷82［ウィンドウリスト表示］を押す。

2 次の操作を選ぶ。

手前に表示するウィンドウを切り替える	ウィンドウを選ぶ→●
選択したウィンドウを閉じる	ウィンドウを選ぶ→✉
一番手前のウィンドウを残してすべてのウィンドウを閉じる	📖

ウィンドウを閉じる

現在一番手前に表示しているウィンドウを閉じます。

1 フルブラウザ画面（☞P.289）で📷83［ウィンドウを閉じる］を押す。

2 ［はい］を選んで●を押す。

関連操作

ブックマークを選んで新しいウィンドウで表示する＜Bookmark一覧＞

1 フルブラウザ画面で📷22
2 フォルダを選ぶ▶●▶ブックマークを選ぶ▶📱［新ウィンドウ］

登録しているホームページ（ポータルサイト）を新しいウィンドウで表示する＜ホーム表示＞

フルブラウザ画面で5または📷721

ファイルをアップロードする

フォームからのファイルアップロードに対応しているインターネットホームページでは、画像をアップロードすることができます。

- アップロードできる画像のファイルの種類は、GIF画像、JPEG画像で、それぞれ80Kバイトまでです。

1 フルブラウザ画面（☞P.289）でファイル選択用の［参照］ボタンを選んで●を押す。

2 フォルダを選んで●を押し、画像を選んで●を押す。

3 インターネットホームページ上の送信用のボタンを選んで●を押す。

ファイルをダウンロードする

インターネットホームページから文書ファイル、PDFデータや電子書籍をダウンロードできます。

- ダウンロードしたファイルはmicroSDメモリーカードに保存されます。
- ダウンロードできるファイルの種類（拡張子）
  Microsoft Word（.doc）、Microsoft Excel（.xls）、Microsoft PowerPoint（.ppt）、PDF（.pdf）、XMDF（.zbf）、Text形式の電子書籍（.zbk）
- ダウンロードできるファイルサイズは500Kバイトまでで、分割しないでダウンロードされます。

1 フルブラウザ画面（☞P.289）でダウンロードするデータを選んで●を押す。

2 ［はい］を選んで●を押す。
- ［ファイルをダウンロードしますか？］と表示されます。［はい］を選んで●を押します。

3 ダウンロードが完了したら［外部メモリに保存］を選んで●を押す。

ウェブ検索を行う

検索サイトを利用してウェブ検索を行います。

1 フルブラウザ画面（☞P.289）で7または📷61［ウェブ検索］を押す。
- ブックマークの［検索］フォルダに登録された最上位のインターネットホームページに接続されます。［検索］フォルダに登録されていない場合は［Bookmarkの登録はありません］と表示されます。
- 検索方法については、各検索サイトの指示に従ってください。

ページ内検索を行う

表示中のページから特定の文字列を検索します。

1 フルブラウザ画面（☞P.289）で 6 2［ページ内検索］を押す。

2 検索キーワードを入力してを押す。

操作ガイドを表示する

1 フルブラウザ画面（☞P.289）で 2［操作ガイド］を押す。

iモードからフルブラウザに切り替える

iモードから表示したインターネットホームページが正しく表示されない場合、フルブラウザでの表示に切り替えることができます。

1 iモードからのインターネットホームページ表示中に 8［フルブラウザ切替］を押し、［はい］を選んでを押す。

フルブラウザの設定をする

フルブラウザに関する各種の機能を設定します。

Cookieについて設定する

Cookieとは、インターネットホームページに接続したときに、FOMA端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に記録するしくみです。次回同じインターネットホームページに接続したときにその情報が参照されます。

- Cookieを有効にすることで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Cookieの有効／無効を設定する

お買い上げ時 有効

Cookieの記録を有効にするかどうかを設定できます。

1 待受画面で 9 4 2 1 を押す。

2 有効／無効を選ぶ。

有効	1 ● ［無効］から［有効］に切り替える場合は、端末暗証番号の入力が必要となる場合があります。
有効（毎回確認）	2→1［送信時のみ］／2［受信時のみ］／3［送受信時］ ● ［無効］から［有効（毎回確認）］に切り替える場合は、端末暗証番号の入力が必要となる場合があります。
無効	3

お知らせ

- Cookieを［有効］に設定したときに挿入していたFOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookieが［無効］になります。
- Cookieを［無効］から［有効］または［有効（毎回確認）］に切り替えたとき、以前のCookie情報が残っていると、Cookie情報をすべて削除する確認画面が表示されることがあります。［はい］を選択してCookie情報を削除してください。

Cookieを削除する

FOMA端末に保存されているCookie情報をすべて削除します。

1 待受画面で 9 4 2 2 を押し、端末暗証番号を入力してを押す。

2 ［はい］を選んでを押す。

JavaScriptの有効／無効を設定する

お買い上げ時 有効

インターネットホームページにJavaScriptが記載されているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定できます。

1 待受画面で 9 4 3 を押し、1［有効］を押す。
- ［無効］を設定するとき：2

画像を表示しないようにする ＜画像表示設定＞

お買い上げ時 ON（表示する）

フルブラウザからインターネットホームページを表示したときに画像を表示しないように設定できます。

1 待受画面で 9 4 4 2 を押し、2［OFF］を押す。

文字サイズを変更する＜文字サイズ設定＞

お買い上げ時 標準

フルブラウザからインターネットホームページを表示したときの文字サイズを設定できます。

1 待受画面で 9 4 4 3 を押し、文字サイズを選ぶ。

大きい文字	1	小さい文字	3
標準	2	最小	4

お知らせ

- インターネットホームページによっては［文字サイズ設定］を変更すると正しく表示されない場合があります。

新しいウィンドウを自動で開かないようにする<ウィンドウオープンガード設定>

お買い上げ時 無効（ガードしない）

インターネットホームページのJavaScriptに新規ウィンドウを開く操作があっても、フルブラウザがこれを実行しないように設定できます。

1 待受画面でⓜ9 4 5を押し、1［有効］を押す。

Refererについて設定する

お買い上げ時 送信する

リンクをたどりながらインターネットホームページを見ていったとき、ブラウザは、Refererと呼ぶフィールドを使って、リンク先のサーバーに対して参照元のURL（どこのサーバーから来たか）を送信します。FOMA端末のフルブラウザも参照元のURLを送信することができますが、送信するのか、確認後に送信するのか、送信しないのかを設定できます。

- Refererを使用することで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 待受画面でⓜ9 4 6を押す。

2 送信する／しないを選ぶ。

送信する	1
送信しない	2
毎回確認する	3

お知らせ

- インターネットホームページによっては、Refererを送信しないと正しく表示されない場合があります。

フルブラウザ機能を利用するかどうかを設定する<アクセス設定>

お買い上げ時 OFF

フルブラウザ機能を利用するかどうかを設定します。

- ［利用する］を選択すると、アクセス設定が［ON］になり、フルブラウザ起動が可能になります。［利用しない］を選択すると、アクセス設定が［OFF］になり、フルブラウザ起動時にアクセス設定画面が表示されます（☞P.288）。
- 設定を変更してフルブラウザ機能を利用する場合は、アクセス設定画面内の［注意事項の詳細］を必ずお読みください。

1 待受画面でⓜ9 4 7を押し、［利用する］を選んで●を押す。

フルブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻す<フルブラウザ設定リセット>

- フルブラウザ設定リセットを行うと、ホーム登録も解除されます。

1 待受画面でⓜ9 4 8を押し、端末暗証番号を入力して●を押す。

2 ［はい］を選んで●を押す。

データ表示／編集／管理

イメージビューア

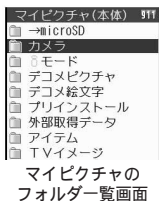
保存した画像を表示する

FOMA端末で撮影した静止画や、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像、ワンセグを静止画録画した画像は、データBOXのマイピクチャに保存され、イメージビューアで再生できます。

- FOMA端末（本体）のデータBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像、GIF画像は、お預かりセンターに保存できます（☞P.304）。

1 待受画面で⦿[9][1][1]を押す。

- 静止画撮影画面（☞P.167）で✉[2]を押しても表示できます。
- microSDメモリーカード内の静止画を確認するときは、［→microSD］を選択します。
  再びFOMA端末（本体）の静止画を確認するときは、［→本体］を選択します。

マイピクチャのフォルダ一覧画面

2 フォルダを選んで⦿を押す。

- 画像一覧表示を切り替えるときは、P.297「表示方法を変更する」を参照してください。

画像一覧画面

3 静止画を選んで⦿を押す。

- ⊙を押すと、前後の画像を表示します。
- 静止画のサイズが「240未満×320未満」の場合、［等倍］、［拡大］表示を切り替えることができます。
- 静止画のサイズが横サイズ「240」または縦サイズ「320」より大きい場合、［等倍］、［縮小］表示を切り替えることができます。

画像表示画面

- 静止画のサイズが「240×320以下」または「240以下×320」の場合、表示サイズの変更はできません。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズで横長のJPEG画像は、時計回りに90度回転して表示されます。
- GIFアニメーションやFlash画像は拡大表示／縮小表示の変更はできません。
- サイクロイドポジションにすると、全画面モードになります。

お知らせ

- メモリの空き容量がなくなると、データをそれ以上保存できなくなります。ただし、カメラで撮影した静止画や、画像編集した静止画、ダウンロードした画像をFOMA端末（本体）に保存するときは、不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます（☞P.333）。撮影や静止画の編集、サイトから画像をダウンロードする前に、メモリの使用状況を確認してください。
- 画像の保存件数が多くなると、画像の表示、保存が遅くなる場合があります。
- 保存したGIFアニメーションやFlash画像は、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- 現在の画像の参照先（FOMA端末（本体）またはmicroSDメモリーカード）は、イメージビューアをいったん終了しても記録され、次回イメージビューアを起動したときにも同じ参照先となります。

データ**BOX**のマイピクチャに保存した静止画は、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード（**☞P.318**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのマイピクチャに登録してある静止画が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

関連操作

全画面モードで表示する<全画面モード／ワイドモード>

1. 画像表示画面で✉⊙[1]［マイピクチャ設定］
2. 全画面モード（ディスプレイ内に納まるサイズ）で表示するときは[3]
   - ワイドモード（余白が付かないサイズ）で表示するとき：[4]
   - 画像表示画面／画像一覧画面でワンタッチで全画面モードにするとき：⊡
   - 戻るとき：⊙以外のいずれかのボタン

ズームを利用する（JPEG画像のみ）<ズーム>

画像表示画面で✉[4]▶✉
- 他の部分を表示するとき：⊙
- 元の表示に戻すとき：⦿
- 拡大した静止画表示を縮小（ズームダウン）するとき：⊡

ライトアップする<ライトアップ>

画像表示画面で✉⊙[1][5]
- または[#]（1秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする、または他の画像を表示する

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1. マイピクチャのフォルダ一覧画面で✉[4]
2. [2]［常にON］
   - 照明設定に従うとき：[1]

関連操作のお知らせ

照明について

- バックライト点灯時間を［照明設定に従う］に設定しているときは、照明時間設定で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- バックライト点灯時間を［常にON］に設定しているときは、Flash画像やGIFアニメーションの再生時、画像の表示を終了するまで照明時間設定で設定した時間が経過してもバックライトは消灯しません。

関連操作

関連操作のお知らせ

- ライトアップ時は、明るさ調整の設定にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

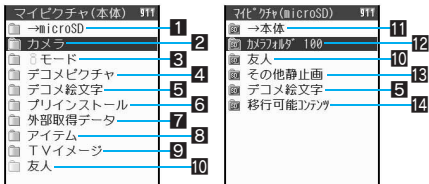
バックライト点灯時間について

- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています(☞P.130)。

マイピクチャのフォルダ一覧画面／画像一覧画面の見かた

microSDメモリーカードを挿入しているとき、マイピクチャフォルダ一覧画面で[→microSD]を選択するか ⓜ 7 [本体⇔microSD切替]を押すと、microSDメモリーカード内のフォルダが表示されます(☞P.321)。

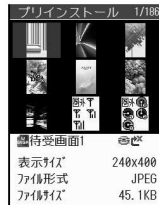
マイピクチャのフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末(本体)　　microSDメモリーカード

1 microSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
2 FOMA端末で撮影した静止画フォルダ
3 サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した静止画フォルダ
4 デコメール画像用フォルダ
- あらかじめデコメール画像が内蔵されています。
- サイトやインターネットホームページ、メールから入手したデコメール画像を保存します。

5 デコメ絵文字用フォルダ
- 画像サイズが20×20ドットでファイル制限なしのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションが保存されます。

6 あらかじめFOMA端末(本体)に内蔵されている静止画用フォルダ
7 バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉＣ通信、FOMA USB接続ケーブル(別売)、IrSS通信を利用して入手した画像用フォルダ
8 サイトやインターネットホームページから入手したフレームやスタンプの画像用フォルダ
9 ワンセグを静止画録画した画像用フォルダ
10 お客様が作成できるフォルダ(☞P.326、P.329)
11 FOMA端末(本体)のフォルダ一覧画面を表示
12 FOMA端末で撮影した静止画や、DCF準拠のJPEG、GIFアニメーション以外のGIF画像フォルダ。静止画撮影やFOMA端末(本体)から静止画をコピーするとカメラフォルダ100が自動的に作成され、ファイル数が400件になると、カメラフォルダXXX(「XXX」は100～999の３桁の半角数字)という名前のフォルダが自動的に作成されます(カメラフォルダの「XXX」は変更できますが、000～099に変更しても認識されません)。
13 FOMA端末(本体)からコピーしたGIFアニメーションやDCFに準拠していないJPEG画像用フォルダ
14 サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像用フォルダ

画像一覧画面の見かた

表示方法は次の３種類から選ぶことができます。

９分割

16分割

リスト表示

- ９分割や16分割では、画面下部に選択している静止画のファイル情報が表示されます。ただし、FOMAカード動作制限機能が設定されている場合は、表示サイズ、ファイル形式、ファイルサイズが[不明]と表示されます。
- 画面右上に表示される件数表示は最大３桁です。そのため、１つのフォルダに1000件の画像を保存した場合の件数は[xxx/999]と表示されます(「xxx」は選択している画像の数字です)。また、1000件目の表示は[０/999]と表示されます。

表示方法を変更する<表示切替>

お買い上げ時　９分割

1 待受画面で ● 9 1 1 を押し、フォルダを選んで ● を押し、ⓜ ○ 1 1 [表示切替]を押す。

2 表示方法を選ぶ。

９分割	1
16分割	2
リスト表示	3

- リスト表示中は、○を押すと次のページ、○を押すと前のページが表示されます。

お知らせ

- 静止画のタイトル名は、最大全角25文字(半角50文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字(半角14文字)です。全角７文字(半角14文字)を超える場合は、全角６文字(半角12文字)まで表示され、以降は「…」の表示となります。

静止画の種類とマークについて

静止画の種類

JPEG					
アイコン：76×76	sQCIF：128×96	QCIF：176×144	ワンセグ：320×180	QVGA：240×320	待受：240×400

JPEG				
CIF：352×288	VGA：480×640	横ワイド大：1200×720	1.2M：1280×960	UXGA：1600×1200

JPEG			GIF画像 GIFアニメーション	Flash画像
フルHD：1920×1080	3M：2048×1536	その他		

マークの種類

マーク	説明
	FOMAカード動作制限機能が設定された静止画
	待受画面やピクチャーコール、所有者画像、スケジュールなどに設定した静止画
	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている静止画
	フレーム画像、またはスタンプ画像
	ｉモードなどでダウンロードした静止画（フレーム画像、またはスタンプ画像以外）
	バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA USB接続ケーブル（別売）、IrSS通信を利用して取得した静止画（フレーム画像、またはスタンプ画像以外）
	カメラ撮影した静止画
	テレビ電話中に撮影した静止画メモ
	電子書籍／電子辞書で保存した静止画
	PDF対応ビューアの表示画面を切り出して保存した静止画
	ワンセグで静止画録画した画像
	画像サイズが該当しない場合

- 画像サイズは［情報表示］の表示サイズで確認することができます（☞P.331）。
- FOMA端末で撮影できる撮影サイズ、撮影枚数などについては、P.164を参照してください。

Flash画像を再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたFlash画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード］フォルダに保存され、再生できます。

1 待受画面で⦿⑨①①を押し、フォルダを選んで⦿を押し、Flash画像を選んで⦿を押す。
- 画像一覧画面でFlash画像には、［▣］が表示されます。
- 再生を始めからやり直すときは、⦿を押し、再生を停止させたあと、📷①［リトライ］を押します。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

関連操作

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 Flash画像の停止（一時停止）中に📷⑧
2 ②［常にON］
- 照明設定に従うとき：①

再生時の音量を調節する<音量設定>

待受画面で⦿⑨①①▶フォルダを選ぶ▶⦿▶📷◯①④▶◯（上げる）／◯（下げる）▶⦿

関連操作のお知らせ

バックライト点灯時間について
- お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています（☞P.130）。

音量設定について
- お買い上げ時は、［音量５］に設定されています。

スライドショーを見る<スライドショー>

指定したフォルダ内の、再生可能なすべての画像を、連続表示できます。

1 待受画面で⦿⑨①①を押し、フォルダを選んで📷③①［スライドショー開始］を押す。
- 再生を中止するときは、CLR、☎、またはMULTIを押します。

スライドショー動作時にBGMを流す

お買い上げ時	音色：G線上のアリア 音量：サイレント

スライドショー動作時にBGMを流すことができます。BGMの音色や音量も設定できます。
- マナーモード設定中はBGMを流すことはできません。
- BGMの音色は、データBOXのメロディから選択できます。

1 待受画面で⦿⑨①①を押し、フォルダを選んで📷③［スライドショー］を押す。

スライドショー
1 ｽﾗｲﾄﾞｼｮｰ開始
2 BGM音色
3 BGM音量
4 再生間隔
5 効果設定

2 BGMの音色や音量を選ぶ。

音色を設定する	②→フォルダを選ぶ→⦿→メロディを選ぶ→⦿ ● メロディを確認するときは、メロディを選んで⦿を押します。停止するときは⦿を押します。
音量を変更する	③→音量を選ぶ→⦿

スライドショーの再生間隔や効果を変更する

お買い上げ時 再生間隔：普通　効果：ランダム

マイピクチャフォルダ内のスライドショー動作時の再生間隔（スピード）や効果を設定できます。

1 待受画面で◉ 9 1 1 を押し、フォルダを選んで📷 3［スライドショー］を押す。

2 4［再生間隔］を押し、再生間隔を選ぶ。

もっと速く	1	画像を表示後、すぐに次の画像を再生します。
速く	2	画像を約３秒間表示してから次の画像を再生します。
普通	3	画像を約５秒間表示してから次の画像を再生します。
ゆっくり	4	画像を約10秒間表示してから次の画像を再生します。

※ 再生間隔は、画像の大きさにより表示時間が異なる場合があります。

3 5［効果設定］を押し、効果を選ぶ。

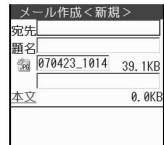
ひし形	1	次の画像が中から外へ、ひし形が大きくなるようにして切り替わります。
ピンウィール	2	次の画像が回転しながら大きくなって切り替わります。
ホイール	3	次の画像が中心から回転するように広がって切り替わります。
ディゾルブ	4	次の画像が細かい粒子状に浮かび上がって切り替わります。
ストレッチ	5	次の画像が中心から縦方向に広がりながら切り替わります。
ランダム	6	効果の種類がランダムに選択されて切り替わります。
OFF	7	効果を設定しません。

静止画を添付してｉモードメールを送信する

データBOXのマイピクチャから静止画を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できる静止画のファイルサイズは、最大２Mバイトです。
- 送信できる静止画は、ｉモードメールに添付されてきた静止画、FOMA端末で撮影した静止画、サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画のうちメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されていないものです。
- ファイル制限されている静止画でも、FOMA端末で撮影した静止画やmicroSDメモリーカードで取得した静止画は送信できます。

1 待受画面で◉ 9 1 1 を押し、フォルダを選んで◉を押し、静止画を選んで✉［メール］を押す。

- 「QVGA：240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

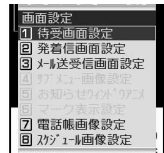
- 詳しくは、P.214の操作２～４を参照してください。

画像を待受画面などに設定する<画面設定>

データBOXのマイピクチャに保存されている静止画を、待受画面や電話発着信、メール送受信画面、マーク表示などに設定できます。

- フレームやスタンプ、ワンセグで静止画録画した画像は画面設定できません。
- Flash画像は、待受画面、発着信画面、メール送受信画面に設定できます。
- 一部のJPEG画像とGIFアニメーション、GIF画像は、お知らせウィンドウアニメに設定できません。

1 待受画面で◉ 9 1 1 を押し、フォルダを選んで◉を押し、静止画を選んで📷 4［画面設定］を押す。

- 画像表示画面（☞P.296の操作３）で📷 3、Flash画像の場合は、停止中に📷 4を押しても表示できます。

2 画面設定の種類を選んで◉を押す。

- 待受画面に設定するときは、［はい］を選んで◉を押します。
- 画面の種類によっては、さらに項目を選びます。

静止画を高速赤外線通信で送信する（IrSS機能）

データBOXのマイピクチャのJPEG画像を、高速赤外線通信を利用してIrSS対応機器に送信できます。

- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は送信できません。
- IrSSとは、IrSimple1.0準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）です。
- IrSSは、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

1 待受画面で◉ 9 1 1 を押し、フォルダを選んで◉を押し、静止画を選んで🗔を押す。

2 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にする。

次ページへ続く

3 [はい]を選んで●を押す。

- 通信を中止するときは、◎を押します。
- 送信が終了すると、受信側の端末に保存されなかった場合でも[送信終了しました]と表示されます。

画像編集

静止画を編集する(スピーディラボ)

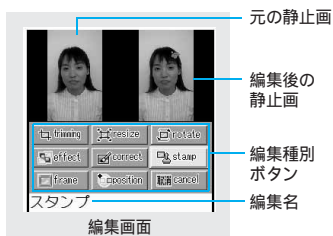
画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- FOMA端末で撮影した静止画のサイズによっては、編集できない場合があります。
- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、ドコモケータイdatalinkからインポートした静止画でも、画像によっては編集できない場合があります。
- 静止画にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集をくり返し行う場合、保存してから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。
- 画像を編集することによって、データの容量が増減する場合があります。
- 編集後の画像をｉモードメールに添付して送信できます(☞P.302)。
- Flash画像やGIFアニメーション、ワンセグを静止画録画した画像は編集できません。

編集画面を表示する<画像編集>

1 待受画面で●⑨①①を押し、フォルダを選んで●を押し、静止画を選んで◎①①[画像編集]を押す。

- 画像表示画面(☞P.296の操作3)で◎①①を押しても表示できます。
- カメラ撮影後の静止画プレビュー画面(☞P.168の操作3)で◎①を押しても表示できます。

編集画面

編集種別ボタンの見かた

編集種別ボタンを使うと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

trimming	resize	rotate
画像切り出し(☞P.300)	サイズ変更(☞P.301)	画像回転(☞P.301)
effect	correct	stamp
エフェクト(☞P.302)	画像補正(☞P.302)	スタンプ(☞P.303)
frame	position	cancel
フレーム(☞P.303)	顔検出位置修正(☞P.304)	元に戻す(☞P.300)

※ 編集種別ボタンは機能や画面によって異なります。

編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の3通りの方法があります。

- ◎を押し、編集種別を選択する。
- ✣で編集種別ボタンを選択する。
- ダイヤルボタン(①～⑨)を押して選択する。編集種別ボタンの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。
  - ■ 画像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ静止画を連続で編集できます。
  - ■ 編集名が選択できない場合は、操作できません。

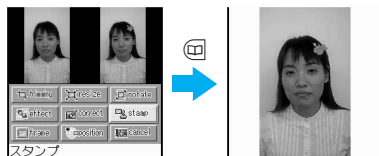
直前の操作を取り消す<元に戻す>

1 ◎○①[元に戻す]を押し、[はい]を選んで●を押す。

- 直前に編集した静止画が編集前に戻ります(何も編集していないときは操作できません)。
- 取り消しは1回のみ可能です。続けて取り消し操作を行うと、静止画が未編集状態に戻ります。

1画面で表示する

編集した静止画を1画面で表示できます。編集を開始する前には、元の画像を1画面で表示します。

1 ▣[画像確認]を押す。

お知らせ

- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、静止画を再び表示したときに、編集中の静止画と異なって見える場合があります。

静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

アイコン画像設定用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを修正したり、切り出したりできます。

修正前の静止画サイズ	修正可能な静止画サイズ
アイコン:76×76	アイコン:76×76
sQCIF:128×96	アイコン:76×76、sQCIF:128×96
QCIF:176×144	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、QCIF:176×144
待受:240×400 横ワイド小:400×240	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、QVGA:240×320、待受:240×400、アイコン(9分割)
QVGA:240×320 CIF:352×288 VGA:480×640 横ワイド大:1200×720 1.2M:1280×960 UXGA:1600×1200 フルHD:1920×1080 3M:2048×1536	アイコン:76×76、sQCIF:128×96、QCIF:176×144、QVGA:240×320、待受:240×400

● カメラ撮影サイズ以外に、microSDメモリーカードや赤外線通信、ドコモケータイdatalinkを利用して取り込んだ、任意サイズの静止画も修正できますが、サイズによっては、修正できない場合もあります。

1 編集画面（☞P.300）で◎1［画像切り出し］を押し、画像サイズを選ぶ。

● 元の静止画サイズによっては、修正できないサイズもあります。修正できないサイズは、選択できません。

アイコン（76×76）	1
sQCIF（128×96）	2
QCIF（176×144）	3
QVGA（240×320）	4
待受（240×400）	5
アイコン（9分割）	6

● ［画像展開中］と表示され、修正後の静止画が表示されます。
● 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。
● 「sQCIF：128×96」の画像を編集（90度回転）すると、「sQCIF：128×96」に切り出すことができません。また、「待受：240×400」の画像を編集（90度回転）すると、アイコン（9分割）に切り出すことができません。

2 ◎で切り出し部分を指定して◉を押す。

● ◎を押して拡大したり、◎を押して縮小してから◎で切り出し部分を指定できます。［アイコン（9分割）］のときは拡大・縮小できません。

3 静止画を保存する。

● 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

静止画のサイズを変更する<サイズ変更>

デコメール用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを変更できます。

● サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。
● 画像サイズが、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QVGA：240×320」で、ファイルサイズ（映像部）が9Kバイト以下の場合は、デコメール用にサイズ変更はできません。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン：76×76	sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、待受：240×400
sQCIF：128×96	アイコン：76×76、QCIF：176×144、QVGA：240×320、待受：240×400、デコメール用
QCIF：176×144	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QVGA：240×320、待受：240×400、デコメール用
QVGA：240×320	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、デコメール用
待受：240×400 横ワイド小：400×240	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、デコメール用
CIF：352×288 VGA：480×640 横ワイド大：1200×720 1.2M：1280×960 UXGA：1600×1200 フルHD：1920×1080 3M：2048×1536	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、QVGA：240×320、待受：240×400、デコメール用

1 編集画面（☞P.300）で◎2［サイズ変更］を押し、画像サイズを選ぶ。

アイコン（76×76）	1
sQCIF（128×96）	2
QCIF（176×144）	3
QVGA（240×320）	4
待受（240×400）	5
デコメール用	6 ● 静止画は9Kバイト以下に圧縮されます。「QVGA：240×320」サイズより大きい静止画は、「QVGA：240×320」サイズ以下に縮小されます。

● ［サイズ変更中］と表示され、修正後の静止画が右画面に表示されます。
● 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

2 静止画を保存する。

● 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

静止画を回転する<画像回転>

静止画を左右に90度ずつ回転したり、上下、左右に反転できます。

● 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は回転できません。

1 編集画面（☞P.300）で◎3［画像回転］を押し、回転の種類を選ぶ。

右回転（90度）	1	上下反転	3
左回転（90度）	2	左右反転	4

2 静止画を保存する。

保存する	ⓘ→[はい]→◉→[OK]→◉
タイトルを変更して保存する	ⓘ→[はい]→◉→[タイトル編集]→◉→タイトルを編集→◉→[OK]→◉ ● 最大全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
フォルダを変更して保存する	ⓘ→[はい]→◉→[フォルダ変更]→◉→フォルダを選ぶ→◉→[OK]→◉
iモードメールに添付して作成する	ⓘ→[はい]→◉→[メール作成]→◉→iモードメール作成・送信 ● 静止画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.214の操作2～4を参照してください。
保存せずに別の編集をする	📷→編集種別番号
保存後に続けて編集する	✉→[OK]→◉→📷→編集種別番号

お知らせ

- **画像切り出し**や**サイズ変更**した静止画は回転できますが、画質が劣化することがあります。
  サイズ変更した静止画によっては、撮影サイズ(☞P.163)以外のサイズに変更される場合があります。この場合、回転などの編集ができません。
- 静止画を右回転または左回転すると、「アイコン:76×76」以外は縦横比が変わります。
- 画像によっては、保存先フォルダを指定できない場合があります。

いろいろな効果をかける<画像エフェクト>

静止画の色あいやタッチを変えることができます。

- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画に画像エフェクトを行うことはできません。
- 静止画によって効果に差があります。

1 編集画面(☞**P.300**)で📷[4][1][画像エフェクト]を押し、エフェクトの種類を選ぶ。

モノクロ	[1]	波紋	[6]
セピア	[2]	万華鏡(大)	[7]
きらきら	[3]	万華鏡(小)	[8]
色えんぴつ	[4]	魚眼	◌[1]
円ソフトフレーム	[5]		

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

顔を装飾する<フェイスエフェクト>

人物の顔の静止画に喜怒哀楽の表情の効果を付けることができます。

- フェイスエフェクトを使っての画像編集、または編集後の静止画をiモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイスエフェクトは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報をもとにエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。
  ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど。
- フェイスエフェクトには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画にはフェイスエフェクトをかけられません。

1 編集画面(☞**P.300**)で📷[4][2][フェイスエフェクト]を押し、エフェクトの種類を選ぶ。

ほっそり	[1]	シワ隠し	[7]
ふっくら	[2]	色白	[8]
目ぱっちり	[3]	くしゃ顔	◌[1]
微笑む	[4]	左右対称顔(右)	◌[2]
怒る	[5]	左右対称顔(左)	◌[3]
悲しむ	[6]		

- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、📷◌[1][元に戻す]を押し、[はい]を選んで◉を押すと、編集前の画像に戻ります。📷[8][顔検出位置修正]を押し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、P.304「各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

静止画を補正する<画像補正>

静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。

- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画は補正できません。
- 色の変化が少ないものなど、静止画によっては効果が表れにくいものもあります。

1 編集画面(☞**P.300**)で📷[5][画像補正]を押し、補正の種類を選ぶ。

シャープネス	[1]	エッジを強調する
ソフト	[2]	エッジをぼかす
感度アップ	[3]	明るさ、およびコントラストをアップする
鮮やか	[4]	色彩度をアップする

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

画像スタンプを貼り付ける<画像スタンプ>

静止画に星や花、キスマークなど、あらかじめ登録されている画像スタンプやダウンロードした画像スタンプを貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は画像スタンプを貼り付けできません。
- 画像切り出しやサイズ変更した静止画に画像スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

1 編集画面（☞P.300）で📷61[画像スタンプ]を押し、フォルダを選んで◉を押し、画像スタンプを選んで📖[決定]を押す。

- スタンプを確認するときは、画像スタンプを選んで◉を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。
- ✥を押すと、画像スタンプの貼り付け位置を調整できます。
- 画像スタンプを選び直すときは、CLRを押します。選んでいたスタンプは削除され、編集画面に戻ります。

2 ◉を押す。

- 続けて同じ画像スタンプを貼り付けるときは、貼り付け位置を調整して◉を押します。

3 📖[完了]を押し、静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

顔スタンプを貼り付ける<フェイススタンプ>

顔の各部に涙やサングラス、うずまきほっぺなど、装飾用の静止画を貼り付けることができます。

- フェイススタンプを使っての画像編集、または編集後の画像をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイススタンプは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報をもとにエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置情報や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画はフェイススタンプを貼り付けできません。
- 画像切り出しやサイズ変更した静止画にフェイススタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

1 編集画面（☞P.300）で📷62[フェイススタンプ]を押し、スタンプの種類を選ぶ。

怒り	1	サングラス	5
涙	2	真面目メガネ	6
うずまきほっぺ	3	モザイク（目）	7
きらきら目	4	モザイク（顔）	8

- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できないときは、📷◌1[元に戻す]を押し、[はい]を選んで◉を押すと、編集前の画像に戻ります。📷8[顔検出位置修正]を押し、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、P.304「各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

文字スタンプを貼り付ける<文字スタンプ>

静止画に入力した文字や日付を貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は文字スタンプを貼り付けできません。
- 画像切り出しやサイズ変更した静止画に文字スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

1 編集画面（☞P.300）で📷63[文字スタンプ]を押し、文字スタンプを選ぶ。

フリーワード	1→文字を入力→◉ ● 全角11文字（半角22文字）まで入力できます。文字が画面の幅を超える場合は、途中まで入力されます（改行できません）。
日付	2

- ✥を押すと、文字の貼り付け位置を調節できます。
- 文字サイズを変更するときは、✉[▼サイズ]／📖[▲サイズ]を押します。文字サイズは、20ドット⇔24ドット⇔30ドット⇔40ドット（縦倍角）⇔12ドット⇔16ドット⇔20ドットに変更されます。

2 📷を押し、文字色を選ぶ。

オレンジ	1	イエロー	5
ブラック	2	グリーン	6
ホワイト	3	ブルー	7
レッド	4		

3 ◉を押し、静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

フレームを重ねる<フレーム>

1 編集画面（☞P.300）で📷7[フレーム]を押し、フォルダを選んで◉を押し、フレームを選んで📖[決定]を押す。

- フレームを確認するときは、フレームを選んで◉を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

2 静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画にフレームを付けると、画質が劣化することがあります。

各部の輪郭情報を手動で設定する
＜顔検出位置修正＞

フェイスエフェクトまたはフェイススタンプで利用する顔の各部の輪郭情報を、顔の輪郭、画面上の右の目の輪郭、画面上の左の目の輪郭、口の輪郭の順番に手動で設定できます。

- [+]カーソルは画像エリア内のみで移動します。
- 顔の輪郭は赤色、画面上の右の目の輪郭は青色、画面上の左の目の輪郭は緑色、口の輪郭は黄色の枠で示されます。
- 輪郭情報は、プチエステ(☞P.304)でも利用されます。

1 編集画面(☞**P.300**)でⓜ8[顔検出位置修正]を押し、顔の輪郭を指定する。

1. ✥で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、◉を押す。

2. ✥で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、◉を押す。

2 画面上の右の目の輪郭を指定する。

1. ✥で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、◉を押す。
2. ✥で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、◉を押す。

3 画面上の左の目の輪郭を指定する。

1. ✥で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、◉を押す。
2. ✥で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせ、◉を押す。

4 口の輪郭を指定する。

1. ✥で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせ、◉を押す。
2. ✥で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる。

5 ⓜ[完了]を押し、静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- ✥を押し続けると[+]カーソルを連続して移動させることができます。
- 輪郭を指定中にCLRを押すと、1つ前の操作に戻ります。
- 設定した顔の輪郭情報は、編集した画像を保存したときに、保存されます。画像を保存しないと、輪郭情報の設定は元に戻ります。次回画像編集を行うときは、この輪郭情報をもとに画像編集が行われます。

人物の顔をメークアップする＜プチエステ＞

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画は効果をかけられません。
- 静止画によって効果に差があります。

1 待受画面で◉911を押し、フォルダを選んで◉を押し、静止画を選んでⓜ12[プチエステ]を押す。

2 ⓜを押し、効果の種類を選ぶ。

美白	1	肌を白く美しくします。
ナチュラル	2	肌を自然に、健康的にします。
元に戻す	3	直前の操作を取り消します。

3 静止画を保存する。

- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

静止画をお預かりセンターに保存する
＜お預かりセンターに保存＞

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、100Kバイト以下の静止画を保存できます。
- 選択保存するときは、最大10件まで選択できます。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 保存した静止画の復元などの利用方法については、『ご利用ガイドブック(iモード＜FOMA＞編)』をご覧ください。

1 画像一覧画面(☞**P.296**)で、静止画を選んでⓜ8[お預かりセンターに保存]を押す。

2 画像を保存する。

1件保存する	1→[はい]→◉→端末暗証番号を入力→◉
複数のファイルをまとめて保存する	2→静止画を選ぶ◉(くり返し可)→ⓜ→[はい]→◉→端末暗証番号を入力→◉

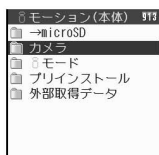
お知らせ

- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は保存できません。
- microSDメモリーカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末(本体)マイピクチャの[外部取得データ]フォルダにコピーしてご利用ください。
- お預かりセンターへ保存したときの通信履歴は、電話帳通信履歴表示で確認できます(☞P.114)。

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末で撮影した動画、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションは、データBOXのｉモーションに保存され、ｉモーションプレーヤーで再生できます。

1 待受画面で⦿ 9 1 3を押す。

- 動画撮影画面（☞P.167）などで、📷 2を押しても表示できます。
- microSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを確認するときは、[→microSD]を選択します。再びFOMA端末（本体）の動画／ｉモーションを確認するときは、[→本体]を選択します。

ｉモーションのフォルダ一覧画面

2 フォルダを選んで⦿を押す。

- 映像一覧表示を切り替えるときは、P.308「表示方法を変更する」を参照してください。

映像一覧画面

3 動画／ｉモーションを選んで⦿を押す。

再生状態のマーク

動画再生画面

- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- サイクロイドポジションにすると、全画面モードになります。

音量を調節する※1	再生中、一時停止中、停止中に◯（下げる）または◯（上げる）
早送りする※1	再生中または一時停止中に◯を押し続ける。 ● 再生中の場合、ボタンから指を離した時点で、再生します。一時停止中の場合は再生せず、一時停止のままとなります。
早戻しする※1	再生中または一時停止中に◯を押し続ける。 ● 再生中の場合、ボタンから指を離した時点で、再生します。一時停止中の場合は再生せず、一時停止のままとなります。
一時停止する	⦿［ポーズ］ ● もう一度⦿を押すと、続きを再生します。 ● 一時停止中に◯を押すとコマ送り、◯を押すとコマ戻しできます。
停止する	⊡ ● 停止中に⦿［再生］を押すと先頭から再生します。
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプする	1～9 ● 一時停止中に押すと、ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。 再生中に押すと、ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプして、再生を開始します。※2
次の動画／ｉモーションを再生する※1	再生中または停止中に◯
前の動画／ｉモーションを再生する※1	再生中または停止中に◯

※1 通常ポジションの場合、全画面モード／ワイドモードで表示中は上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。

※2 1を押すと再生中の動画／ｉモーションの先頭に戻ります。2～9を押すと録画時間の約1/8ずつ先の位置にジャンプします。ただし、録画時間が短い場合は、ジャンプしないときがあります。

- 再生可能な動画／ｉモーションの種類は次のとおりです。動画／ｉモーションの種類は［情報表示］のファイル形式で確認することができます（☞P.331）。

ファイル形式		符号化方式
MP4（拡張子：「.mp4」「.3gp」「.m4a」）	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（拡張子：「.asf」）	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 再生可能な動画／ｉモーションの画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QQVGA：160×120」、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」、「WQVGA：400×240」、「VGA：640×480」です。
- ファイル形式がASFの動画／ｉモーションは、FOMA端末（本体）への保存、コピーはできません。
- 符号化方式がH.263の動画は、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」が再生可能です。
- 符号化方式がHE-AAC、Enhanced aacPlusの音声は、Explicit形式のみ再生可能です。
- 符号化方式がH.264の動画は、Baseline Profileのみ再生可能です。

次ページへ続く

再生状態のマークの見かた

再生状態	音量	0～10
	サラウンド設定ON	
	サラウンド設定OFF	
	バッファリング中表示（標準タイプ・ストリーミングタイプ）	
	ダウンロード未完了	
	リピート再生	
	バックライト点灯時間［常にON］	
	拡大再生中表示	
	等倍再生中表示	
	画像サイズ	S QCIF / Q QVGA / QCIF / H QVGA / QVGA / W QVGA / VGA
サラウンド再生可ファイル		
ステレオ		
モノラル		
再生種別	音声あり	
	映像あり	
	テロップあり	
	音声再生不可	
	映像再生不可	

お知らせ

- 再生中にサブメニューを選ぶと再生が一時停止されます。再生を再開する場合、再生中のデータや選択したサブメニューによっては少し戻った位置から再生を開始することがあります。再生中にアラーム動作やマルチアシスタントを使って他の機能を起動すると再生は中止され動画／ｉモーションの停止画面に戻ります。
- データによっては1～9を押しても指定した位置にジャンプできないデータや位置があります。また、コマ送り／コマ戻しで、一部画像を表示できない場合があります。
- 外部機器でmicroSDメモリーカードに保存した動画もFOMA端末で再生できます（☞P.438）。
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。
- 現在の動画／ｉモーションの参照先（FOMA端末（本体）またはmicroSDメモリーカード）は、ｉモーションプレーヤーをいったん終了しても記録され、次回、ｉモーションプレーヤーを起動したときにも同じ参照先となります。

データ**BOX**のｉモーションに保存した動画／ｉモーションは、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード（☞**P.318**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのｉモーションに登録してある動画／ｉモーションが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

動画／ｉモーションを再生中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。再生は中止され、通話終了後に、動画／ｉモーションの停止画面に戻ります。FOMA端末（本体）に保存されたMP4ファイルの場合は、microSDメモリーカード側でレジューム再生を［ON］に設定しても、再生を中止したところから再生できません。

関連操作

全画面モードで表示する<全画面モード切替／ワイドモード切替>

1 停止中（一時停止中）／再生中にⓜ6［ｉモーション設定］

2 全画面モード（ディスプレイ内に納まるサイズ）で表示するときは◯1
- ワイドモード（余白が付かないサイズ）で表示するとき：◯2
- 再生中または映像一覧画面でワンタッチで全画面モードにするとき：Ⓘ
- 戻るとき：Ⓘ
- ワイドモードから全画面モードにするとき：Ⓘ

リピート再生する<リピート再生>

停止中（一時停止中）／再生中にⓜ61
- 通常の再生に戻すとき：ⓜ61
- 再生を中止するとき：CLR

再生サイズを切り替える<表示サイズ切替>

1 停止中（一時停止中）／再生中にⓜ62

2 1［等倍］／2［拡大］

ライトアップする<ライトアップ>

停止中（一時停止中）／再生中にⓜ63
- または#（1秒以上）
- 消すとき：同じ操作をする

コマ送りの幅を設定する<送り幅指定>

1 停止中（一時停止中）／再生中にⓜ68
- 映像編集画面で設定するとき：ⓜ61

2 送り幅を大まか（高速）にするときは1
- 送り幅を細かくするとき：2

音声のサラウンドを設定する<サラウンド設定>

1 停止中（一時停止中）／再生中にⓜ64

2 1［ON］

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 動画／ｉモーションのフォルダ一覧画面でⓜ41
- 映像一覧画面で設定するとき：ⓜ83

2 2［常にON］
- 照明設定に従うとき：1

再生時の音量を調節する<音量設定>

1 動画／ｉモーションのフォルダ一覧画面でⓜ42
- 映像一覧画面で設定するとき：ⓜ84

2 ◯（上げる）／◯（下げる）▶◉

関連操作

レジューム再生するかどうかを設定する
<レジューム再生設定>

1 動画／ｉモーションのフォルダ一覧画面で[→microSD]▶⦿▶フォルダを選ぶ▶⦿▶映像一覧画面で ⓜ8 5

2 レジューム再生するときは1

関連操作のお知らせ

全画面モード切替／ワイドモード切替について
- ワイドモード切替できる画像サイズは、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」、「WQVGA：400×240」、「VGA：640×480」です。
- 全画面モード／ワイドモードで表示中は横方向の全画面表示になります。
- 画像サイズが「WQVGA：400×240」の場合、全画面モードとワイドモードは同じ表示となります。

リピート再生について
- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。
- リピート再生が開始される前の３秒間にCLR、☎以外のボタンを押すと、リピート再生は停止します。ただし、MULTIを１秒以上押すと再生は継続されます。また、⦿を押すと全画面モードで再生され、✉を押すとメール送信画面に切り替わります。
- リピート再生を終了するときは、CLRまたは☎を押します。

表示サイズ切替について
- 画像サイズが「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」（テロップなし）、「QQVGA：160×120」（テロップなし）の場合、表示サイズを［拡大］に切り替えることができます。
- お買い上げ時は、［等倍］に設定されています。

照明について
- バックライト点灯時間を［照明設定に従う］に設定しているときは、照明時間設定で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- バックライト点灯時間を［常にON］に設定しているときは、動画／ｉモーションを終了するまで照明時間設定で設定した時間が経過してもバックライトは消灯しません。
- ライトアップ時は、明るさ調整の設定にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

コマ送りの幅の設定について
- お買い上げ時は、［大まか（高速）］に設定されています。
- 映像のない動画は、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされます。
- 一部、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされる動画があります。
- 映像編集画面で、画像サイズが「hQVGA：240×176」、「WQVGA：400×240」の場合、または編集中のデータサイズが500Kバイトを超える場合、コマ送り幅は［大まか（高速）］となります。

サラウンド設定について
- ｉモーションプレーヤーを起動すると、ステレオ効果設定を［サラウンド］に設定している場合は［ON］、［サラウンド］以外に設定している場合は［OFF］で再生されます。再生中にサラウンド設定で、サラウンドの［ON］／［OFF］を切り替えると、ステレオ効果設定にも反映されます。
- サラウンド再生できるのは、音声の符号化方式がAACでチャンネル数が2chの動画／ｉモーションです。

関連操作

関連操作のお知らせ

- サラウンドが設定できる動画／ｉモーションは、各ファイルの情報表示のサラウンド再生の項目で確認してください。

バックライト点灯時間について
- お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています（☞P.130）。

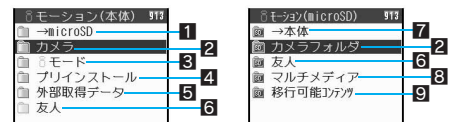
音量設定について
- お買い上げ時は、［音量５］に設定されています。

レジューム再生について
- お買い上げ時は、［ON］に設定されています。
- レジューム再生は、microSDメモリーカードに保存されている動画／ｉモーションが対象となります。ただし、［移行可能コンテンツ］フォルダ、および［マルチメディア］フォルダの動画／ｉモーションは対象となりません。
- レジューム再生を［ON］に設定すると、microSDメモリーカードに保存された動画／ｉモーションを再生中に着信などで中断した場合、再生を中止したところから再生を開始できます。
- microSDメモリーカードに、動画／ｉモーションが保存されていない場合、レジューム再生設定はできません。

ｉモーションフォルダ一覧画面／映像一覧画面の見かた

ｉモーションフォルダ一覧画面の見かた

microSDメモリーカードを挿入しているとき、ｉモーションフォルダ一覧画面で［→microSD］を選択するかⓜ7［本体⇔microSD切替］を押すと、microSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。

FOMA端末（本体）

microSDメモリーカード

1 microSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
2 FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
3 サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した動画／ｉモーション用フォルダ
4 あらかじめFOMA端末（本体）に内蔵されている動画／ｉモーション用フォルダ
5 バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA USB接続ケーブル（別売）で入手した動画／ｉモーション用フォルダ
6 お客様が作成できるフォルダ（☞P.326、P.329）
7 FOMA端末（本体）のフォルダ一覧画面を表示
8 映像・音声切替を音声のみ、保存先をmicroSDメモリーカードに設定して撮影した動画用フォルダおよびボイスレコーダーで録音した音声用フォルダ
   - ■［マルチメディア］フォルダのフォルダ名変更、フォルダ削除はできません。
   - ■［マルチメディア］フォルダには、お客様が撮影・録音したデータを最大400件まで保存できます。ファイル形式はMP4です。

次ページへ続く▶▶

■ [マルチメディア]フォルダには、お客様が撮影・録音したもの以外のデータも、パソコンを経由して保存することができます。ファイル形式はMP4、ASF、3GPPで、MMF0001～MMF9999までのファイル名が付きます。FOMA端末では、最大400件まで参照することができます。再生できないデータがある場合や、401件以上データが存在する場合には、データが表示されない場合があります。ファイル名を「MMFxxxx」(「xxxx」は数字)にしないと表示されません。

9 サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている動画／ｉモーションを保存することができるフォルダ(コンテンツ移行対応)

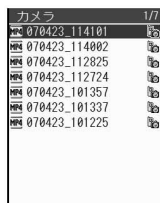
■ [移行可能コンテンツ]フォルダに保存する場合、データはFOMA端末(本体)からmicroSDメモリーカードに移動されます。FOMA端末(本体)にデータが必要な場合は、FOMA端末(本体)に移動してください(☞P.322)。

映像一覧画面の見かた

表示方法は次の３種類から選ぶことができます。

９分割

16分割

カメラ 1/7
070423_114101
070423_114002
070423_112825
070423_112724
070423_101357
070423_101337
070423_101225

リスト表示

- ９分割や16分割では、動画／ｉモーションの種類が次のいずれかに該当する場合は、画像の代わりに[♪]、[■]が表示されます。
  - ■ [♪]が表示されるデータ
    - ・音声のみのデータ
    - ・画像サイズが非対応のデータ
    - ・画像ファイル形式が非対応のデータ
  - ■ [■]が表示されるデータ
    - ・テキストのみのデータ
    - ・画像が表示できない(壊れている)データ
    - ・[移行可能コンテンツ]フォルダ内のFOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
- ９分割や16分割では、画面下部に選択している動画／ｉモーションのファイル情報が表示されます。ただし、FOMAカード動作制限機能が設定されている場合は、表示サイズ、ファイル形式、ファイルサイズが[不明]と表示されます。

表示方法を変更する<表示切替>

お買い上げ時 ９分割

1 待受画面で⊙[9][1][3]を押し、フォルダを選んで⊙を押し、📷[8][1][表示切替]を押す。

2 表示方法を選ぶ。

９分割	[1]
16分割	[2]
リスト表示	[3]

- リスト表示中は、○を押すと次のページ、○を押すと前のページが表示されます。

お知らせ

- 動画／ｉモーションのタイトル名は、最大全角18文字(半角36文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字(半角14文字)です(タイトル名が最大全角７文字(半角14文字)を超えると、表示されるタイトル名は、最大全角６文字(半角12文字)までです)。

動画／ｉモーションの種類とマークについて

動画／ｉモーションの種類

MP4(Mobile MP4)		ASF
再生制限なし	再生制限あり	－
MP4	MP4	ASF

マークの種類

	FOMAカード動作制限機能が設定された動画／ｉモーション
	待受画面、ピクチャーコールや着信音、指定着信音、アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラームに設定した動画／ｉモーション
	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている動画／ｉモーション
	ｉモードなどで取得した動画／ｉモーション
	microSDメモリーカードや赤外線通信、ｉC通信、FOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して取得した動画／ｉモーション
	カメラ撮影した動画／ｉモーション

動画を連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべての動画／ｉモーションを連続して再生できます。

1 待受画面で⊙[9][1][3]を押し、フォルダを選んで📷[3][1][連続再生開始]を押す。

- 再生中に⊙を押すと、一時停止します。
- 再生中に[CLR]を押すと、停止します。⊙を押すと、停止した動画／ｉモーションの先頭から再生し、連続再生は継続されます。
- 再生回数、再生期間の制限を超えた動画／ｉモーションの場合、[再生できないデータをスキップしました]と表示され、次の動画／ｉモーションを再生します。

■ 連続再生の設定をする

お買い上げ時	リピート再生設定：しない ダイジェスト再生設定：しない

動画／ｉモーションを連続再生するときの設定を行います。

設 定	内 容
リピート再生設定	くり返し再生するかどうかを設定します。設定内容はすべてのフォルダに反映されます。
ダイジェスト再生設定	それぞれの動画の最長再生時間を設定します（つなぎ目の時間は含みません）。 設定内容はすべてのフォルダに反映されます。

■ リピート再生する

1 待受画面で◉913を押し、フォルダを選んで📷32［リピート再生設定］を押し、1［する］を押す。

■ ダイジェスト再生する

1 待受画面で◉913を押し、フォルダを選んで📷33［ダイジェスト再生設定］を押す。

2 再生時間を選ぶ。

5秒にする	1
15秒にする	2
ダイジェスト再生しない	3

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する<ｉモーションメール>

動画／ｉモーションを、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できる動画／ｉモーションのファイルサイズは、最大２Ｍバイト、ファイル形式はMP4です。

1 待受画面で◉913を押し、フォルダを選んで◉を押し、動画／ｉモーションを選んで✉［メール］を押す。

- 選択した動画／ｉモーションが添付されます。
- 500Kバイトを超える動画／ｉモーションのときは、［メール用（短）］と［メール用（長）］の選択画面が表示されます。
- ［メール用（短）］を選んで◉を押すと、先頭から約500Kバイトが自動的に切り出されます。
- ［メール用（長）］を選んで◉を押すと、２Ｍバイトを超える場合は先頭から約２Ｍバイトが自動的に切り出されます。500Kバイトを超え、２Ｍバイト以下の動画／ｉモーションはそのまま添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.214の操作２～４を参照してください。

動画／ｉモーションを待受画面などに設定する<音・映像設定>

動画／ｉモーションを、待受画面に設定できます。

- 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像やｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- 画像サイズが「QQVGA：160×120」、「WQVGA：400×240」、「VGA：640×480」の動画／ｉモーションは、待受画面に設定できません。
- microSDメモリーカードの［移行可能コンテンツ］フォルダ内の動画／ｉモーションは、待受画面や着信音などに設定できます。設定された動画／ｉモーションは、FOMA端末（本体）のデータBOXの［ｉモード］フォルダに移動されます。

1 待受画面で◉913を押し、フォルダを選んで◉を押し、動画／ｉモーションを選んで📷4［音・映像設定］を押す。

- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）やファイル形式がASFの動画／ｉモーションは、待受画面に設定できません。

2 項目を選ぶ。

待受画面	1	メッセージR着信音	6
音声電話着信音	2		
テレビ電話着信音	3	メッセージF着信音	7
非通知着信音	4	SMS着信音	8
メール着信音	5	プッシュトーク着信音	○1

3 待受画面を選んだ場合、［はい］を選んで◉を押し、1［等倍］／2［拡大］を押す。

- 画像サイズが「sQCIF：128×96」と「QCIF：176×144」以外のときは、拡大表示できません。

お知らせ

- ｉモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- ｉモーション待受画面から、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能はご利用になれません。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションの音量は、ボタン／待受ｉモーション音の音量で設定できます。
- プッシュトーク着信音に設定できる動画／ｉモーションは、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）です。

映像編集

動画を編集する（スピーディラボ）

撮影した動画を編集できます。

- FOMA SH903iTV以外で撮影した動画は、編集できない場合があります。
- ワンセグをビデオ録画した動画は編集できません。

映像編集画面を表示する＜映像編集＞

1 待受画面で◉９１３を押し、フォルダを選んで◉を押し、動画を選んで📷１１［映像編集］を押す。

- 動画再生中（☞P.305）に📷１１を押しても、動画が停止して映像編集画面が表示されます。
- ◎を押して、コマ送り／コマ戻しできます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。このとき、音声は再生されません。

編集種別マーク

映像編集画面

- １～９を押すと、指定した位置にジャンプします。動画によっては指定位置にジャンプできない場合もあります。

編集種別マークの見かた

[静止画キャプチャアイコン]	静止画キャプチャ（☞P.311）
[映像カッターアイコン]	映像カッター（☞P.310）
[情報表示アイコン]	情報表示（☞P.310）
Save	保存（☞P.310）
FINISH	終了

■ 映像編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の方法があります。

- 📷を押し、編集種別を選択する。
- ◎で編集種別マークを選択する。

関連操作

テロップを表示しないようにする＜テロップ表示＞

1 映像編集画面で📷６２
2 ２［OFF］

詳細情報を表示する＜情報表示＞

映像編集画面で📷３

- 確認を終わるとき：◉またはCLR

関連操作のお知らせ

テロップ表示について

- お買い上げ時は、［ON］に設定されています。
- テロップが付いた動画のテロップを表示させないときに設定します。プレビューのときはテロップが表示されます。

動画を切り取る＜映像カッター＞

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

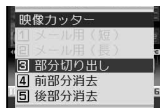
- テロップが付いている場合、テロップの始点から終点までが切り取る範囲に含まれていないと、テロップは削除されます。

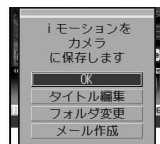
■ 動画の始点と終点を指定して切り取る

始点と終点を指定して切り取ります。

- ３秒未満の動画は切り取りできません。

1 映像編集画面（☞**P.310**）で📷２［映像カッター］を押し、切り取り方法を選ぶ。

- ◎を押してコマ送り／コマ戻しできます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。このとき、音声は再生されません。
- 終点を始点と同じ位置、または始点より前の位置に指定することはできません。
- 切り取る範囲を選択すると、切り出した動画のサイズ確認画面が表示されます。

始点と終点を指定して切り取る	３［部分切り出し］→◉［始点］→◉［終点］→◉
始点からファイルの最後までを切り取る	４［前部分消去］→◉［始点］→◉
ファイルの最初から終点までを切り取る	５［後部分消去］→◉［終点］→◉

2 動画を保存する。

編集した動画を保存する	📷４→［OK］→◉
タイトルを変更して保存する	📷４→［タイトル編集］→◉→タイトルを編集→◉→［OK］→◉ ● 静止画キャプチャの場合、最大全角25文字（半角50文字）、その他の場合、最大全角18文字（半角36文字）まで入力できます。
保存するフォルダを変更して保存する	📷４→［フォルダ変更］→◉→フォルダを選ぶ→◉→［OK］→◉ ● microSDメモリーカード内の動画の場合、フォルダを変更できないことがあります。
ｉモードメールに添付して送信する	📷４→［メール作成］→◉→ｉモードメール作成・送信 ● 動画は自動的に保存されます。 ● 詳しくは、P.214の操作２～４を参照してください。
編集した動画を保存しない	📷５→［はい］→◉
編集した動画を再生する	◉

- 編集した動画のファイルサイズが500Kバイトを超えるときは、メール添付用に変換するかどうかの選択画面が表示されます。[メール用(短)]を選んで◉を押すと、先頭から約500Kバイトが自動的に切り出されます。[メール用(長)]を選んで◉を押すと、先頭から約２Mバイトが自動的に切り出されます。そのまま保存するときは、[何もしない]を選んで◉を押します。
- 保存を実行するまでは連続して切り取りはできません。

動画からメール用に切り出す

ｉモードメール添付用に、動画を切り出します。

- 約500Kバイト以下の動画は切り出しができません。

1 映像編集画面(☞**P.310**)で📷２[映像カッター]を押し、切り出し方法を選ぶ。

メール用(短)	１ ● 指定した位置から約500Kバイトまでを自動的に切り出します。
メール用(長)	２ ● 指定した位置から約２Mバイトまでを自動的に切り出します。

- ◌を押してコマ送り／コマ戻しできます。１秒以上押すと、早送り／早戻しします。

2 切り取る始点で◙[始点]を押し、◉を押す。

3 動画を保存する。

- 保存については、P.310「動画の始点と終点を指定して切り取る」の操作２を参照してください。

動画を静止画として保存する
<静止画キャプチャ>

動画の一場面を、静止画として保存できます。保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。また、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 映像のないデータは、静止画キャプチャできません。

1 映像編集画面(☞**P.310**)で◌を押し、静止画として保存したい場面を選んで📷１[静止画キャプチャ]を押す。

2 [**OK**]を選んで◉を押す。

- 動画の一場面が静止画として保存されます。
- 保存については、P.302「静止画を回転する」の操作２を参照してください。

ビデオプレーヤー

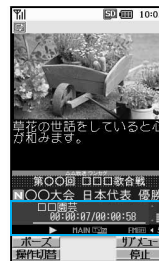
ビデオを再生する

FOMA端末でワンセグをビデオ録画すると、microSDメモリーカードのビデオフォルダに保存され、ビデオプレーヤーで再生できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。

- ビデオ再生中もデータ放送を表示できます。ただし、データ放送サイトやｉモードサイト、ｉアプリTo機能、テレビリンク一覧画面の表示、トルカダウンロードは利用できません。
- FMトランスミッタ機能を利用して、FMラジオなどで音声を再生することもできます(☞P.361)。

1 待受画面で◉９１４を押す。

ビデオファイル一覧画面

2 ビデオファイルを選んで◉を押す。

ビデオ再生画面

- サイクロイドポジションにすると、全画面表示されます。
- ビデオ再生時には、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。
- 前回再生時に途中で終了したビデオの場合は、停止した位置から再生されます。

再生中のボタン操作

早送り(▶▶♪、▶▶×1、▶▶×2、▶▶×3、▶▶×4)	◌ ● 早送りの速度を上げるとき：◌(くり返し) ● [▶▶×2]で早送りするとき：◌(１秒以上)
早戻し(◀◀×1、◀◀×2、◀◀×3、◀◀×4)	◌ ● 早戻しの速度を上げるとき：◌(くり返し) ● [◀◀×2]で早戻しするとき：◌(１秒以上)

次ページへ続く▶▶

一時停止	[ポーズ] ● もう一度を押すと、続きを再生します。
停止	 ● 停止中に[再生]を押すと、先頭から再生します。
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ	1～9 ● 再生中に押すと、ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプして、再生を開始します。※
ミュート／解除	
字幕表示ON／OFF	(1秒以上)
音量調節(音量0～10)	(下げる)／(上げる)または(下げる)／(上げる)
サブメニュー表示	
映像モード／データ放送モードの操作モード切替(通常ポジションのみ)	
ビデオ再生画面のマークや放送局・番組名の一時表示(サイクロイドポジションのみ)	(1秒以上)

※ 1を押すと再生中のビデオの先頭に戻ります。2～9を押すと録画時間の約1/9ずつ先の位置にジャンプします。ただし、録画時間が短い場合は、ジャンプしないときがあります。

お知らせ

● ビデオ再生中の速度が通常もしくは[]のとき以外は、音声の再生やデータ放送の表示はできません。

関連操作

データ放送の表示サイズを切り替える<表示モード切替(縦)>

1 ビデオ再生画面で1
2 データ放送を全画面表示するときは2
● 映像とデータ放送を分割して表示するとき:1

映像の表示サイズを切り替える<表示モード切替(横)>

1 ビデオ再生画面で2
2 等倍表示するときは1
● 拡大表示するとき:2

サイクロイドポジションで映像の拡大表示中にマークを表示するかどうかを設定する<マーク表示設定(横)>

1 ビデオ再生画面で3
2 一時的に表示するときは1
● 常に表示するとき:2

ビデオ再生中に字幕の表示を設定する<字幕表示>

1 ビデオ再生画面で4
2 字幕を表示するときは1
● 字幕を表示しないとき:2

ビデオプレーヤーを起動した時の字幕表示について設定する<起動時設定>

1 ビデオ再生画面で43
2 ビデオプレーヤー起動時に字幕を表示するときは1
● ビデオプレーヤー起動時のマナーモード設定に連動して字幕を表示するとき:2
● ビデオプレーヤー起動時に字幕を表示しないとき:3

関連操作

FMトランスミッタ機能を利用する<FMトランスミッタ出力>

ビデオ再生画面で5▶1

データ放送の効果音を鳴らさないようにする<効果音鳴動設定>

ビデオ再生画面で65▶2
● 効果音を鳴らすとき:1

接続確認画面を表示する<確認表示設定リセット>

ビデオ再生画面で66▶端末暗証番号を入力▶▶[はい]▶

映像モードとデータ放送モードを切り替える<操作切替>

ビデオ再生画面で7

詳細情報を表示する<情報表示>

ビデオ再生画面で8
● 確認を終わるとき:または

操作ガイドを表示する<操作ガイド>

ビデオ再生画面で1

関連操作のお知らせ

表示モード切替(縦)について
● 通常ポジションの場合に有効です。
● お買い上げ時は、[映像+データ放送]に設定されています。ビデオプレーヤーを終了すると、[映像+データ放送]に戻ります。

表示モード切替(横)について
● サイクロイドポジションの場合に有効です。
● お買い上げ時は、[映像(拡大)]に設定されています。

字幕表示について
● お買い上げ時は、[OFF]に設定されています。ビデオプレーヤー起動時の字幕の有無については、起動時設定に従います。
● 番組によって字幕の有無は異なります。

起動時設定について
● お買い上げ時は、[マナーモード連動]に設定されています。
● [マナーモード連動]に設定している場合、マナーモード設定中にビデオプレーヤーを起動すると字幕が表示されます。

FMトランスミッタ出力について
● FMトランスミッタの操作方法については、P.361を参照してください。

再生中の映像や音声について設定する<ワンセグ設定>

お買い上げ時	鮮やか画質モード設定:ダイナミック 明るさ調整:自動　主／副音声切替:主音声 音声切替:第1音声

1 ビデオ再生画面で2[ワンセグ設定]を押し、設定項目を選ぶ。

鮮やか画質モードを設定する	①→①[ノーマル]／②[ダイナミック]／③[映画]
ディスプレイの明るさを調整する	②→②[手動]→⌃(明るくなる)／⌄(暗くなる)→◉ ● 周囲の明るさによって自動的に調整するとき：②→①[自動]
主／副音声を切り替える	③→①[主音声]／②[副音声]／③[主音声＋副音声] ● ビデオプレーヤーを終了すると、[主音声]に戻ります。
第１音声／第２音声を切り替える	④→①[第１音声]／②[第２音声] ● ビデオプレーヤーを終了すると、[第１音声]に戻ります。

ビデオファイルを管理する

ビデオファイルの削除や並べ替えなどができます。

タイトルを変更する<タイトル編集>

1 ビデオファイル一覧画面でビデオファイルを選んでⓜ①[タイトル編集]を押す。

2 タイトルを編集して◉を押す。
- 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
- タイトルを削除するときは、CLRを１秒以上押します。

ビデオを削除する<削除>

1 ビデオファイル一覧画面でビデオファイルを選んでⓜ②[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

ビデオファイルを１件削除する	①→[はい]→◉
複数のビデオファイルをまとめて削除する	②→ビデオファイルを選ぶ◉（くり返し可）→ⓜ→[はい]→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ[全選択]／ⓘ[全解除]を押します。
フォルダ内すべてのビデオファイルを削除する	③→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉

詳細情報を表示する<情報表示>

- 表示される情報については、P.331を参照してください。

1 ビデオファイル一覧画面でビデオファイルを選んでⓜ③[情報表示]を押す。
- ビデオ再生画面のときは、ⓜ⑧を押します。
- 確認を終わるときは、◉またはCLRを押します。

ビデオを並び替える<ソート>

お買い上げ時　放送日時順（新→旧）

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

放送日時順（新→旧）	放送した日付の新しい順
放送日時順（旧→新）	放送した日付の古い順
番組名順	番組名の五十音順
チャンネル名順	チャンネル名の五十音順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

1 ビデオファイル一覧画面でⓜ④①[ソート]を押す。

2 ソート方法を選んで◉を押す。

キャラ電プレーヤー

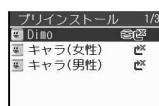
キャラ電とは

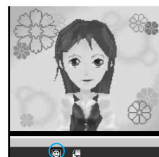
テレビ電話中、自分のカメラ映像の代わりにキャラクタを相手へ送信できます。さらに、キャラクタが音に反応して口を動かしたり（リップシンク対応データ）、お客様のボタン操作に従ってキャラクタの手足を上げたり、ダンスをするなど、さまざまなアクションをさせることができます。
キャラ電やアクションは、キャラ電プレーヤーでいつでも確認することが可能です。
- キャラ電はサイトやインターネットホームページからダウンロードできます（☞P.195）。
- テレビ電話中（☞P.75）、キャラ電再生中のキャラクタ操作では、ボタンを押しても音は鳴りません。

キャラ電を再生する<キャラ電プレーヤー>

データBOXのキャラ電に保存されているキャラ電を再生できます。またアクションを実行できます。

1 待受画面で◉⑨①⑦を押す。

2 フォルダを選んで◉を押す。
- 次のページを表示するときは▷、前のページを表示するときは◁を押します。

キャラ電一覧画面

3 キャラ電を選んで◉を押す。
- キャラ電が再生されます。
- アクションモードを切り替えるときは、ⓘまたは⌃を押します。全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。
- アクションをさせるときは、✉または⌄を押し、アクションを選んで◉を押すか、表示されているアクションの番号（①～⑨）を押します。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションをさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.75を参照してください。

アクションモードマーク

アクションモードマークの見かた

☻	全体アクションモード
☻	パーツアクションモード

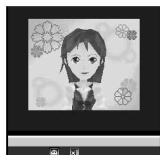
お知らせ

キャラ電プレーヤーでキャラ電を表示中のボタン操作

ⓘ／◯	⊡	✉／◯
アクションモード切替	画面サイズ切替（☞P.314）	アクション一覧（☞P.314）
◎	1～9	0
サブメニュー表示	アクション操作（☞P.314）	アクション中止（☞P.314）

■ 画面サイズを変更する<画面サイズ切替>

キャラ電を表示する画面サイズを変更できます。

● お買い上げ時は、[拡大]に設定されています。

等倍

拡大

1 キャラ電再生中（☞**P.313**の操作３）に⊡[等倍]を押す。

● 拡大サイズに戻すときは、⊡[拡大]を押します。

関連操作

再生時の照明を設定する<バックライト点灯時間>

1 キャラ電再生中に◎◯1

● キャラ電一覧画面から設定するとき：◎72

2 2[常にON]

● 照明設定に従うとき：1

キャラ電をテレビ電話代替画像に設定する<テレビ電話代替画像>

キャラ電再生中に◉1または◎31

● キャラ電一覧画面から設定するとき：キャラ電を選ぶ▶◎31

電話帳に設定する<電話帳代替画像>

1 キャラ電再生中に◉2または◎32

● キャラ電一覧画面から設定するとき：キャラ電を選ぶ▶◎32

2 1[本体新規登録]／2[本体上書登録]

関連操作のお知らせ

バックライト点灯時間について

● お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています（☞P.130）。

代替画像設定について

● 設定されたキャラ電には、[☺]が表示されます。

■ キャラ電を代替画像として電話をかける <キャラ電発信>

お好みのキャラ電を選んで代替画像としてテレビ電話をかけることができます。

1 待受画面で◉917を押し、フォルダを選んで◉を押し、キャラ電を選んで◎6[キャラ電発信]を押す。

● 再生中に発信するときは、◎5[キャラ電発信]を押します。

2 入力方法を選び、テレビ電話をかける。

電話帳を利用してかける	1→相手を選ぶ→◉→ⓘ
電話番号を直接入力してかける	2→電話番号を入力→ⓘ

キャラ電を操作する

■ キャラ電にアクションをさせる

テレビ電話中やキャラ電再生中に、キャラ電にアクションをさせることができます。

● 全体アクションモードにすると、喜ぶや怒るなどの感情を選ぶことができます。
● パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたりできます。
● パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
● キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かすことができます。
● アクションの種類は、キャラ電により異なります。
● キャラ電によっては、アクションしないものがあります。

1 待受画面で◉917を押し、フォルダを選んで◉を押し、キャラ電を選んで◉を押す。

2 ✉[アクションリスト]または◯を押し、アクションを選んで◉を押す。

● アクションリストの詳細を表示するときは、ⓘを押します。
● 表示されているアクションの番号（1～9）を押すこともできます。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションさせることもできます。
● あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.75を参照してください。
● アクションを中止するときは、0を押します。

お知らせ

● キャラ電の種類によっては、操作しなくてもアクションを行う場合があります。

フォルダを管理する

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 待受画面で⦿⑨①⑦を押し、📷①①[フォルダ新規作成]を押す。

2 フォルダ名を入力して⦿を押す。
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLRを1秒以上押します。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>
- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

1 待受画面で⦿⑨①⑦を押し、フォルダを選んで📷①②[フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して⦿を押す。
- フォルダ名を削除するときはフォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

フォルダを削除する<削除>
- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

1 待受画面で⦿⑨①⑦を押し、フォルダを選んで📷②[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	①→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿
複数のフォルダをまとめて削除する	②→フォルダを選ぶ⦿(くり返し可)→📷→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿ ● すべてを選択/解除する場合は、Ⓘ[全選択]/Ⓘ[全解除]を押します。
すべてのキャラ電を削除する(フォルダは残す)	③→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿
すべてのフォルダとキャラ電を削除する	④→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿

キャラ電を管理する

キャラ電のタイトル編集や削除、並べ替えなどができます。

タイトルを変更する<タイトル編集>

1 待受画面で⦿⑨①⑦を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

2 キャラ電を選んで📷①①[直接入力]を押す。
- 元のタイトルに戻すときは、📷①②[オリジナルタイトルに戻す]を押します。

3 タイトルを編集して⦿を押す。
- 最大全角25文字(半角50文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字(半角14文字)です。全角7文字(半角14文字)を超える場合は、全角6文字(半角12文字)まで表示され、以降は「…」の表示となります。
- タイトルを削除するときは、CLRを1秒以上押します。

キャラ電を並べ替える<ソート>

お買い上げ時　日付順(新→旧)

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順
ファイル取得元順	取得元によって、空白→iモードの順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

1 待受画面で⦿⑨①⑦を押し、フォルダを選んで⦿を押し、📷⑦①[ソート]を押す。

2 ソート方法を選んで⦿を押す。

キャラ電を別のフォルダへ移動する<移動>

1 待受画面で⦿⑨①⑦を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

2 キャラ電を選んで📷⑤[移動]を押す。

3 移動方法を選ぶ。

キャラ電を1件移動する	①→フォルダを選ぶ→⦿
複数のキャラ電をまとめて移動する	②→キャラ電を選ぶ⦿(くり返し可)→📷→フォルダを選ぶ→⦿ ● すべてを選択/解除する場合は、Ⓘ[全選択]/Ⓘ[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのキャラ電を移動する	③→端末暗証番号を入力→⦿→フォルダを選ぶ→⦿

詳細情報を表示する<情報表示>

表示される情報は次のとおりです。

- 保存日時
- 表示サイズ
- ファイルサイズ
- ファイル制限[あり/なし]
- 電話帳設定[ON/OFF]
- テレビ電話設定[ON/OFF]
- ファイル名
- オリジナルタイトル
- 取得元
- microSDへの移動[不可]

次ページへ続く▶▶

1 待受画面で⦿ 9 1 7 を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

2 キャラ電を選んでⓜ 4 [情報表示]を押す。

- 確認を終わるときは、⦿またはCLRを押します。

■ キャラ電を削除する<削除>

1 待受画面で⦿ 9 1 7 を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

2 キャラ電を選んでⓜ 2 [削除]を押す。

3 削除方法を選ぶ。

キャラ電を1件削除する	1→[はい]→⦿
複数のキャラ電をまとめて削除する	2→キャラ電を選ぶ⦿(くり返し可)→ⓜ→[はい]→⦿ ● すべてを選択/解除する場合は、ⓘ[全選択]/ⓘ[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのキャラ電を削除する	3→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿

お知らせ

- 全件削除すると、お買い上げ時に登録されているキャラ電も含めてすべて削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除後にもう一度ご利用になる場合は、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.195)。

メロディプレーヤー

メロディを再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたｉメロディや、メッセージR/Fやｉモードメールに添付されているメロディは、データBOXのメロディに保存され、メロディプレーヤーで再生できます。

1 待受画面で⦿ 9 1 5 を押す。

- microSDメモリーカード内のメロディを確認するときは、[→microSD]を選択します。再びFOMA端末(本体)のメロディを確認するときは、[→本体]を選択します。

メロディ(本体)
→microSD
8モード
プリインストール
外部取得データ

2 フォルダを選んで⦿を押す。

- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。

3 メロディを選んで⦿[再生]を押す。

- 選んだメロディが再生されます。
- 再生中に⦿を押すと、停止し、メロディ一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 一部再生できないメロディがありますので、ご了承ください。
- メロディを着信音に設定できます(☞P.318)。
- 現在のメロディの参照先(FOMA端末(本体)またはmicroSDメモリーカード)は、メロディプレーヤーをいったん終了しても記録され、次回、メロディプレーヤーを起動したときにも同じ参照先となります。

データ**BOX**のメロディに保存したメロディは、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード(☞**P.318**)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのメロディに登録してあるメロディが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

再生効果を設定する<ステレオ効果設定>

ステレオ効果設定(☞P.120)で設定したステレオ効果を変更することができます。

1 メロディ再生中(☞**P.316**の操作3)にⓜ 7 2 [ステレオ効果設定]を押し、再生効果の種類を選ぶ。

- メロディ再生中にⓘ[3D・ステレオ]を押しても操作できます。

ステレオ/3DサウンドON	1	3D情報が含まれるメロディは3Dサウンドで再生されます。3D情報が含まれていないメロディはステレオサウンドで再生されます。
サラウンド※1	2	サラウンドで再生されます。3D情報が含まれていてもこの設定で再生されます。
OFF	3	再生効果を設定しません。モノラル※2で再生されます。

※1 音に臨場感・立体感を出す再生方式
※2 立体感を出さない再生方式

関連操作

音量を調節する<音量設定>
P.316「メロディを再生する」の操作2の画面でⓜ 7 3 ▶ ◯(上げる)/◯(下げる)▶ ⦿

イコライザを設定する<イコライザ設定>
1 音楽再生中にⓜ 7 1
2 ノーマル再生するときは 1
- ロックを再生するとき: 2
- ポップスを再生するとき: 3
- クラシックを再生するとき: 4

関連操作のお知らせ

音量設定について
- お買い上げ時は、[音量5]に設定されています。

メロディフォルダ一覧画面の見かた

microSDメモリーカードを挿入しているとき、メロディフォルダ一覧画面で[→microSD]を選択するか ⓜ 7 [本体⇔microSD切替]を押すと、microSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。

FOMA端末（本体）　　microSDメモリーカード

メロディ(本体)
→microSD 1
8モード 2
プリインストール 3
外部取得データ 4
マイスペシャル 5

メロディ(microSD)
→本体 6
メロディ 7
お好み 5
移行可能コンテンツ 8

1 microSDメモリーカードのフォルダ一覧画面を表示
2 サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手したメロディ用フォルダ
3 あらかじめFOMA端末（本体）に内蔵されているメロディ用フォルダ
4 バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して入手したメロディ用フォルダ
5 お客様が作成できるメロディ用フォルダ（☞P.326、P.329）
6 FOMA端末（本体）のフォルダ一覧画面を表示
7 あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
8 サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されているメロディ用フォルダ

■ メロディの種類とマークについて

メロディの種類

SMF	MFi（3D情報なし）	MFi（3D情報あり）
SMF	MFi	MFi 3D

マークの種類

マーク	説明
（アイコン）	FOMAカード動作制限機能が設定されたメロディ
（アイコン）	着信音などに設定したメロディ
（アイコン）	ｉモードなどでダウンロードしたメロディ
（アイコン）	バーコードリーダーやmicroSDメモリーカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して取得したメロディ
（アイコン）	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディ

お知らせ

- MFi（3D情報あり）を[移行可能コンテンツ]フォルダに保存した場合は、MFi（3D情報なし）のマークが表示されますが、3D情報は保持しています。

連続再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべてのメロディを連続して再生できます。

1 待受画面で ⊙ 9 1 5 を押し、フォルダを選んで ⓜ 3 [連続再生]を押す。

途中で次のメロディにスキップする	⊙
現在のメロディの先頭に戻る	⊙ ● メロディの先頭でもう一度⊙を押すと、1つ前のメロディに戻ります。

メロディの再生部分を指定する<開始位置選択>

メロディの指定されている部分だけを再生できます。

- 再生部分は、あらかじめ指定されている部分が決まっていて、変更できません。

1 待受画面で ⊙ 9 1 5 を押し、フォルダを選んで ⊙ を押し、ⓜ 7 1 [開始位置選択]を押す。

2 再生方法を選ぶ。

メロディを全部再生する[フルコーラス再生]	1
メロディを一部再生する[ポイント再生]	2

お知らせ

- [ポイント再生]に設定しても、開始位置が指定されていないメロディの場合はフルコーラス再生されます。

メロディを添付してｉモードメールを送信する

相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。

データBOXのメロディからメロディ（SMF、MFi）を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

- 送信できるメロディのサイズは最大100Kバイトです。これを超えるサイズは添付できません。

1 待受画面で ⊙ 9 1 5 を押し、フォルダを選んで ⊙ を押し、メロディを選んで ✉ [メール]を押す。

- 選択したメロディファイルが添付されます。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.214の操作2～4を参照してください。

お知らせ

- ファイル形式がMFiのメロディ、メールに添付されたメロディ、ｉモードでダウンロードしたメロディやｉアプリから取得したファイル制限ありのSMFのメロディは一部、ｉモードメールに添付できないものがあります。

メロディを着信音などに設定する <音設定>

データBOXのメロディに保存されているメロディは、着信音などに設定できます。

1 待受画面で⦿9 1 5を押し、フォルダを選んで⦿を押し、メロディを選んで[音設定]または3[音設定]を押す。

2 項目を選んで⦿を押す。

microSDメモリーカードについて

FOMA端末では、microSDメモリーカードを利用できます。microSDメモリーカードは、miniSDメモリーカードをさらに小型化したメモリーカードです。FOMA端末（本体）内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDメモリーカードに保存したり、microSDメモリーカード内のデータをFOMA端末（本体）に取り込むことができます。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカード内のデータを閲覧できます。microSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安については、P.463を参照してください。
microSDメモリーカードアダプタを利用すると、SDメモリーカード対応パソコンやプリンタなどでも利用できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードおよびmicroSDメモリーカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
microSDメモリーカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- FOMA端末の電源を入れたままの状態でmicroSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- microSDメモリーカードは正しく挿入してください。正しく挿入していないと、使用できません。
- microSDメモリーカードを挿入したときに、[microSDが使用中です]または[microSD認識中]と表示されることがあります。この場合は、しばらくたってからご使用ください。
- FOMA SH903iTVでは市販の２Gバイトまでの microSDメモリーカードに対応しています（2007年８月現在）。microSDメモリーカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ■ ｉモードから[SH-MODE]
    （2007年８月現在）
    [ｉMenu]→[メニュー／検索]→
    [ケータイ電話メーカー]→
    [SH-MODE]

サイト接続用
QRコード

  - ■ パソコンから
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh903itv/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- FOMA SH903iTVでは、サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、動画／ｉモーション、メロディ、着うたフル®、きせかえツールをmicroSDメモリーカードに移動できます。ただし、IP（サービス提供者）が許可していない場合は保存できません。
- microSDメモリーカードをお使いの場合は次の点にご注意ください。
  - ■ FOMA端末に挿入するとFOMA端末でご使用いただくための情報を書き込みます。使用するmicroSDメモリーカードによっては、書き込み時間が長くなる場合があります（最大約30秒）。
    その間にmicroSDメモリーカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
  - ■ パソコンなどでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたmicroSDメモリーカードを使用することをおすすめします。
    フォーマットの操作については、P.325を参照してください。フォーマットすると元のデータが消えてしまいますので、ご注意ください。
- microSDメモリーカード内のデータ編集中に、microSDメモリーカードを抜き差ししないでください。また、データ編集中にFOMA端末やmicroSDメモリーカードを挿入した機器の電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたmicroSDメモリーカードをFOMA SH903iTVに挿入した場合、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- SD-Jukeboxを利用してmicroSDメモリーカードに音楽データを保存するときは、FOMA USB接続ケーブル（別売）でFOMA端末とパソコンを接続して保存するか、著作権保護機能対応のSDメモリーカードスロット付パソコンやSDメモリーカードリーダーライターを利用して保存します。
- microSDメモリーカードにバックアップした辞書データは閲覧できません。

● microSDメモリーカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

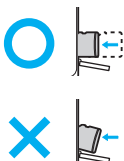
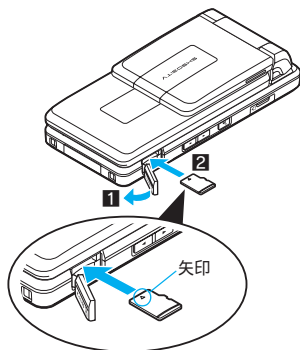
microSDメモリーカードを挿入する

FOMA端末の電源を切ってからmicroSDメモリーカードを取り付けてください。

1 microSDメモリーカードスロットのカバーを開いて引き出す（1）。

2 microSDメモリーカードの矢印（▲）を図のように向けてゆっくりと挿入する（2）。

● microSDメモリーカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDメモリーカードスロットが破損することがあります。

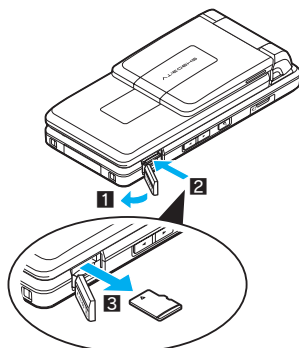
● 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

3 microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる。

microSDメモリーカードを取り外す

FOMA端末の電源を切ってからmicroSDメモリーカードを取り外してください。

1 microSDメモリーカードスロットのカバーを開いて引き出し（1）、microSDメモリーカードを軽く押し込む（2）。

● 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDメモリーカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。

2 microSDメモリーカードを取り外す（3）。

● ゆっくりとまっすぐに取り外してください。取り外したあと、microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

お知らせ

● microSDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとmicroSDメモリーカードが飛び出し危険です。

● microSDメモリーカードを取り外すときは、必ずmicroSDメモリーカードを軽く押し込み「カチッ」と鳴ったことを確認したあと、microSDメモリーカードを引き抜いてください。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。

● FOMA端末から取り外したときは、必ずmicroSDメモリーカードに付属の専用保護ケースに収納してください。

● 電源を入れた状態で、microSDメモリーカードを取り付けたり、取り外した場合には、警告音が鳴ります。

microSDメモリーカードの使用条件

FOMA端末（本体）のデータを、microSDメモリーカードにコピーできます。
コピーには、1件コピー、選択コピー、全件コピーの方法があります。また、機能によっては、グループやフォルダなど分類内のデータをすべてコピーする方法もあります。

■ FOMA端末（本体）からmicroSDメモリーカードにコピーできるデータ

機　能	件　数※1	1件／選択／全件コピー	グループ内全件コピー	フォルダ内全件コピー
電話帳※2	合わせて最大65535件	○	○	－
スケジュール※3※4		○	－	－
ToDoリスト※3		○	－	－
テキストメモ		○	－	－
ブックマーク※5		○	－	○
iモードメール／SMS※6		○	－	○
静止画※7※8	999フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.463）	○	－	○
動画※7	999フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.463）	○	－	○
メロディ※7	999フォルダ／1フォルダ最大400件	○	－	○
PDF※7※9	999フォルダ／1フォルダ最大400件	○	－	○
トルカ	999フォルダ／1フォルダ最大999件	○	－	○

※1　保存するデータの大きさや、microSDメモリーカードの容量によっては、件数が少なくなる場合があります。
※2　シークレット設定、グループ番号、グループ名、メモリ番号、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ色、指定メール着信ランプ色、指定着信ランプパターン、指定メール着信ランプパターン、代替画像設定はコピーされません。電話帳で［画像転送設定］を［しない］に設定しているときは、ピクチャーコール設定もコピーされません。［画像転送設定］を［する］に設定しても、ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のあるデータはコピーされません。
名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
※3　シークレット設定とアラーム時刻以外のアラーム情報はコピーされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報や、視聴予約、録画予約もコピーされません。
※4　祝日設定はコピーされません。終了日時が入力されていないデータをコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。
※5　フォルダ情報はコピーされません。
※6　microSDメモリーカードにコピーしたメールは、返信したり、転送できますが、保護設定はできません。また、フォルダ情報はコピーされません。
※7　ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のないデータのみコピーできます。
※8　Flash画像、フレームはmicroSDメモリーカードにコピーされません。
※9　ダウンロードに失敗したPDFデータは、microSDメモリーカードにコピーできない場合があります。

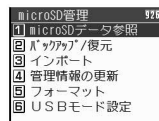
お知らせ

- FOMA端末で撮影した静止画または動画は、FOMA端末（本体）またはmicroSDメモリーカードに保存できます。
- microSDメモリーカードにデータをコピーすると、管理情報もmicroSDメモリーカードに書き込まれます。
- パソコンからmicroSDメモリーカードへ直接ファイルをコピーしても、FOMA端末では表示されないことがあります。その場合はドコモケータイdatalinkをご利用ください。ドコモケータイdatalinkのダウンロードについては、P.406を参照してください。
- 機能別ロック中、ロックされているデータは操作できません。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックが一時的に解除され、操作できるようになります。
- microSDメモリーカード内のトルカからは詳細を取得できません。

トルカについて

- トルカのデータサイズによっては、microSDメモリーカードにコピーできない場合があります。

■ microSD管理画面について

microSD管理画面では、microSDメモリーカード内のデータを参照したり、バックアップやフォーマットを行うなど、microSDメモリーカード内のデータを管理・利用できます。また、FOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）でパソコンに接続し、microSDリーダーライターとして利用できます（☞P.327）。

- microSD管理画面は、待受画面で●926を押して表示します。
- microSDメモリーカード内のフォルダやファイル名などの情報は、「管理情報」と呼ばれる部分で管理されています。パソコンなどでmicroSDメモリーカードを利用（データ編集や追加、削除など）した場合は、microSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります（☞P.328）。
管理情報が正しくない状態では、データの編集、保存や移動、コピーなどができない場合がありますので、ご注意ください。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

microSDメモリーカード

- BOOK
  ブックリーダーフォルダ
- DCIM
  静止画フォルダ
  - xxxSHARP
    撮影静止画用フォルダ
  - xxxSH_UF
    ユーザ作成フォルダ
- MISC
  DPOF設定ファイル用フォルダ
- SD_AUDIO※1
  音楽データ用フォルダ
- SD_PIM
  PIMデータ用フォルダ
  (電話帳、スケジュール／ToDoリスト、メール、テキストメモ、ブックマーク)
- SD_VIDEO
  動画フォルダ
  - MGR_INFO
    ビデオ管理情報用フォルダ
  - PRLxxx
    撮影動画用フォルダ
  - PRGxxx
    ビデオ用フォルダ
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - DOCUMENT
      - PUDxxx
        PDF対応ビューアフォルダ
    - MMFILE
      ボイスメモ、i モーション(音楽データ含む)用フォルダ
    - RINGER
      メロディファイル用フォルダ
    - STILL
      その他画像ファイル用フォルダ
    - TORUCA
      トルカフォルダ
    - DECOIMG
      デコメ絵文字用フォルダ
    - OTHER
      その他ファイル用フォルダ
    - TABLE
      管理情報フォルダ※2
  - SHARP
    - DOCUMENT
      ドキュメントビューアフォルダ
    - IMPORT
      インポートフォルダ
    - MOBILE
      - USERDIC
        ユーザ辞書データ用フォルダ
- SD_BIND
  - SVC00001※3
    移行可能コンテンツ用フォルダ
  - SVC00002
    i アプリデータフォルダ
  - SVC00003
    着うたフル®用フォルダ

※1 お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。また、パソコンなどで直接「SD_AUDIO」フォルダ下のファイルの削除、変更、追加を行わないでください。SDオーディオが正しく動作しない可能性があります。

※2 [TABLE]フォルダの下には[DCIM]、[MMFILE]、[RINGER]、[STILL]、[SD_VIDEO]、[DOCUMENT]、[TORUCA]、[DECOIMG]、[OTHER]それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。

※3 microSDメモリーカード内の[移行可能コンテンツ]フォルダ内(SD_BINDフォルダ内)に保存されているデータをパソコンで削除・移動・編集をすると、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを参照できなくなる場合があります。また、データを移動・削除・保存中にmicroSDメモリーカードを抜いたり、電池パックを抜いたりした場合にも[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを参照できなくなる場合があります。その場合は、microSDメモリーカードをFOMA SH903iTVでフォーマットしてください(フォーマットを行うとmicroSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます)。

- フォルダ名「xxxSHARP」「xxxSH_UF」の「xxx」は、100～999の3桁の半角数字になります(「xxx」は変更できますが、000～099に変更しても認識されません)。
- GIFアニメーションファイルは[STILL]フォルダに入り、それ以外のGIFファイルは[DCIM]フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でmicroSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。
- FOMA SH901iSより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDメモリーカードの\PRIVATE\SHARP\DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存している場合は、\PRIVATE\DOCOMO\DOCUMENT\PUDxxxフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDメモリーカードの管理情報を更新してください。また、PDFファイル名は2バイト文字が使用できます。2バイト文字を含め60バイト(拡張子を除く)より長い文字が使用されていた場合は、60バイト以下(拡張子を除く)に変更してください。
- FOMA SH902i以前に発売された機種をご利用のお客様でmicroSDメモリーカードの\PRIVATE\SHARP\VOICEフォルダにｉモーションの音のみデータを保存している場合は\PRIVATE\DOCOMO\MMFILEフォルダに移動する必要があります。また、ファイル名は「MMFxxxx」(「xxxx」は数字)に変更してから保存してください。そのあとFOMA端末にてmicroSDメモリーカードの管理情報を更新してください。

コンテンツ移行対応

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに移動する

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、microSDメモリーカードに移動できます。また、microSDメモリーカードに移動したデータを、FOMA端末(本体)に移動できます。移動できるデータは画像、動画/iモーション、メロディ、着うたフル®、きせかえツールです。

- microSDメモリーカードに移動したデータは、[移行可能コンテンツ]フォルダ内に保存されます。
- microSDメモリーカードへの移動が[可]/[可(同一機種間)]に設定されているデータのみを移動できます。移動の可否はデータの詳細情報で確認できます(☞P.331)。
- microSDメモリーカードに移動したデータをFOMA端末(本体)へ移動できるのは、以下の場合です。
  - ■ FOMA端末(本体)への移動が[可]のときに、データ取得時と同じFOMAカードを挿入している場合
  - ■ FOMA端末(本体)への移動が[可(同一機種間)]のときに、データ取得時と同じFOMAカードを同一機種に挿入している場合

FOMA端末内のデータをmicroSDメモリーカードに移動する<microSDへ移動>

例:iモーションの場合

1 待受画面で⦿91 3を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

- すべての動画/iモーションを移動するときは、フォルダ一覧画面でフォルダを選んで📷62を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押します。

2 動画/iモーションを選んで📷62[microSDへ移動]を押し、移動方法を選ぶ。

動画/iモーションを1件移動する	1
フォルダ内のすべての動画/iモーションを移動する	2→端末暗証番号を入力→⦿
複数の動画/iモーションをまとめて移動する	3→動画/iモーションを選ぶ⦿(くり返し可)→📷 ● すべてを選択/解除する場合は、ⓘ[全選択]/ⓘ[全解除]を押します。
移動先フォルダを指定する	4→移動先フォルダを選ぶ→📷

microSDメモリーカード内のデータをFOMA端末に移動する<本体へ移動>

例:iモーションの場合

1 待受画面で⦿913を押し、[→microSD]を選んで⦿を押す。

2 [移行可能コンテンツ]フォルダを選んで⦿を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

- すべての動画/iモーションを移動するときは、[移行可能コンテンツ]フォルダを選んで📷62を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押します。
- フォルダ内のすべての動画/iモーションを移動するときは、フォルダを選んで📷61を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押します。

3 動画/iモーションを選んで📷72[本体へ移動]を押し、移動方法を選ぶ。

動画/iモーションを1件移動する	1
複数の動画/iモーションをまとめて移動する	3→動画/iモーションを選ぶ⦿(くり返し可)→📷 ● すべてを選択/解除する場合は、ⓘ[全選択]/ⓘ[全解除]を押します。

- FOMA端末(本体)へ移動する場合は[iモード]フォルダに保存され、移動先選択はできません。

microSDへコピー

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピーする

データの一覧画面や内容表示画面から、データをmicroSDメモリーカードにコピーします。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。

- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例:電話帳の場合

1 待受画面で📖を押し、名前を選んで📷52[microSDへコピー]を押す。

- 電話帳の内容を確認してからコピーするときは、内容表示画面で📷33を押します。そのあと、[はい]を選んで⦿を押します。

2 コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	1→[はい]→⦿
グループ内全件コピーをする	2→グループを選ぶ→⦿→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿
全件コピーする	3→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿
選択コピーする	4→名前を選ぶ⦿(くり返し可)→📷→[はい]→⦿ ● すべてを選択/解除する場合は、ⓘ[全選択]/ⓘ[全解除]を押します。

お知らせ

- データBOXの静止画、メロディ、動画／ｉモーション、PDFデータをmicroSDメモリーカードにコピーする場合、コピー先のフォルダを選択できます。ただし、静止画の選択コピー／全件コピーの場合はコピー先のフォルダを選択できません。
- メールの場合、1件あたり最大100Kバイト（添付ファイルを含む）を超えるメールはコピーできません。
- PDFデータは、FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカードの間で2Mバイトまでコピーできます。
- FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカードの間で静止画、動画／ｉモーションをコピーすると、元の画像より画質が劣化したり、ファイルサイズが変わる場合があります。コピー先フォルダの静止画が400件を超えると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに画像が保存されます。
- microSDメモリーカード参照中の選択コピー、選択削除では、メール、電話帳、スケジュール、ToDo、ブックマーク、テキストメモのデータは50件まで選択可能です。
- FOMA端末（本体）に保存してあるJPEG画像をmicroSDメモリーカードにコピーすると、画像のファイルサイズが変わる場合があります。FOMA端末（本体）のメモリが少ないと、元の画像を削除しても、microSDメモリーカードにコピーした画像をFOMA端末（本体）にコピーして戻せない場合があります。
- FOMA端末で撮影可能な画像サイズや、撮影可能なファイルサイズよりも大きい画像は、コピーできない場合があります。
- コピーした項目を再度コピーすると別のデータとして保存されます。
- microSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、コピーできない場合があります。

バックアップ／復元

FOMA端末（本体）のデータをバックアップする

FOMA端末（本体）の各機能（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、テキストメモ）のデータと辞書データを、microSDメモリーカードにバックアップデータとして保存できます。電話帳のバックアップ／復元では所有者情報も転送できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.318）。

- 個人データのバックアップは同一機種間またはmicroSDメモリーカード対応FOMA端末などでの情報共有、または機種変換時の個人データの移動などの目的でご利用されることをおすすめします。
- 電池残量が少ない場合、バックアップできなかったり、正しくバックアップできないことがあります。充電しながら行うことをおすすめします。
- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.45）。
- 機能別ロック中は、ロックされている機能をバックアップできません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳をバックアップできません。
- 辞書データは、ユーザ辞書とダウンロード辞書変換した辞書を1ファイルで保存します。
- 辞書データ以外は、機能ごとに1ファイルで保存します。

■ FOMA端末→microSDメモリーカードにバックアップする

1 待受画面で⦿⑨②⑥②①を押し、機能を選んで⦿を押す。

- ［メール］を選んだときは、メール内の分類が表示されます。バックアップするメールを選んで⦿を押します。
- ［Bookmark］を選んだときは、［ｉモード］または［フルブラウザ］を選んで⦿を押します。

2 端末暗証番号を入力して⦿を押し、［はい］を選んで⦿を押す。

- 電話帳をバックアップするときは、所有者情報の保存確認画面が表示されます。保存するときは、［はい］を選んで⦿を押します。

お知らせ

- microSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、転送できない場合もあります。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 電話帳でバックアップされないのは次の設定です。
  ■ シークレットコード　■ 指定着信ランプ
  ■ 指定着信音　■ 指定メール着信ランプ
  ■ 指定メール着信音　■ 代替画像設定
  名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
- 電話帳で画像転送設定を［する］に設定している場合、ピクチャーコールに設定した画像もバックアップされます。バックアップされる画像は、自分のFOMA端末でカメラ撮影した静止画／動画およびそれらを編集したもの、取得元がカメラ以外でFOMA端末外への出力が可能な静止画／動画です。
- スケジュール・ToDoリストでは、アラーム時刻以外のアラーム情報はバックアップされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もバックアップされません。
- 電話帳をバックアップするときにFOMA端末（本体）電話帳の登録件数が0件の場合、所有者情報の保存確認画面で［いいえ］を選択するとバックアップデータは作成されません。
- メールでは、ｉアプリTo、フォルダ情報はバックアップされません。
- FOMAカード内の電話帳・SMSはバックアップされません。
- 辞書データはmicroSDメモリーカード内の辞書データを消去してからバックアップされます。

ToDoリストをバックアップすると、シークレット登録したデータが通常のデータとして保存されますので、ご注意ください。

■ microSDメモリーカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む

microSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にバックアップデータを読み込みます。

- FOMA端末（本体）内のデータを残したまま追加する方法と、FOMA端末（本体）内のデータを消去して書き込む方法があります。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。

1 待受画面で⦿ 9 2 6 2 2 を押し、機能を選んで⦿を押す。

- 該当するデータがないときは、[microSDデータがありません]と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- FOMA端末でバックアップしたデータ名には、バックアップした日付が付いています。
  例：2007年4月23日午後1時5分の場合→
  [datagr070423_1305]
- [メール]を選んだときは、メール内の分類を選んで⦿を押すと、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- [Bookmark]を選んだときは、[ｉモード]または[フルブラウザ]を選んで⦿を押します。
- [ユーザ辞書]を選んだときは、端末暗証番号を入力して⦿を押すと、上書きまたは追加されます。
- 内容を確認するときは、データを選んで📷 2 を押します。
- 情報を確認するときは、データを選んで📷 3 を押します。タイトル、ファイル形式、ファイル名、場所、ファイル制限、保存日時が表示されます。

2 バックアップデータを選んで⦿を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

3 [追加]を選んで⦿を押す。

- FOMA端末のデータに上書きするときは、[上書き]を選んで⦿を押してから、[はい]を選んで⦿を押します。電話帳にバックアップデータを上書きする場合、所有者情報を復元するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選んで⦿を押すと、ご契約の電話番号を除いて上書きされます。また、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されますので、ご注意ください。

お知らせ

- メールとブックマークにはフォルダの情報が保存されていないため、受信メールは[受信トレイ]に、送信メールは[送信トレイ]に、未送信メールは[未送信トレイ]に、ブックマークは[Bookmark]フォルダに保存されます。
- メールは、転送に時間がかかる場合があります。
- ユーザ辞書は上書きされ、ダウンロード辞書変換した辞書は追加されます。読み込まれた辞書のタイトルは、常に、[ユーザ辞書1]となります。
- 電話帳のバックアップデータを復元する場合、ピクチャーコールに設定した画像も復元されます。ただし、動画／ｉモーションは、復元されません。
- 所有者情報を含む電話帳のバックアップデータを復元するとき、所有者情報を復元するかどうかの確認画面で[いいえ]を選択した場合、所有者情報を1件の電話帳として登録します。電話帳を復元したときにFOMA端末の登録件数が750件に達した場合、それ以降の電話帳は復元されません。
- ブックマークのバックアップデータを本体へ復元する場合、[ｉモード]または[フルブラウザ]のどちらを選択しても、両方のバックアップデータが表示されますが、復元できるのは、ブックマークのバックアップで選択した方のバックアップデータだけです。

バックアップデータを削除する

1 待受画面で⦿ 9 2 6 2 2 を押し、機能を選んで⦿を押す。

- [メール]を選んだときは、メール内の分類を選んで⦿を押すと、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- [Bookmark]を選んだときは、[ｉモード]または[フルブラウザ]を選んで⦿を押します。どちらを選択しても、両方のバックアップデータが表示されます。

2 データを選んで📷 1 [削除]を押し、削除方法を選ぶ。

データを1件削除する	1→[はい]→⦿
複数のデータをまとめて削除する	2→データを選ぶ⦿(くり返し可)→⦿→[はい]→⦿
フォルダ内のすべてのデータを削除する	3→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿

microSDデータ参照

microSDメモリーカードのデータをプレビューする

microSDメモリーカードにコピーしたデータは、各機能の画面またはmicroSD管理画面から確認できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。

各機能の画面から確認する

microSDメモリーカード内のデータの確認は、各データの一覧画面から操作できます。

例：電話帳の場合

1 待受画面で📖を押し、📷 ◯ 4 [microSDデータ参照]を押す。

- FOMA端末(本体)のデータと同様に確認できます。
- データを選んで⦿を押すと、microSDメモリーカードにバックアップしたデータの内容を確認できます。
- 該当するデータがないときは、[microSDデータがありません]と表示されたあと、元の画面に戻ります。

microSD管理画面から確認する

1 待受画面で⦿ 9 2 6 1 を押し、機能を選んで⦿を押す。

- 選んだ機能内のデータがリスト形式で表示されます。該当するデータがないときは、その旨のメッセージが表示されたあと、元の画面に戻ります。
- [メール]を選んだときは、メール内の分類が表示されます。参照するメールを選んで⦿を押します。

- データを削除するときは、Ⓜを押し、[削除]を選んで⦿を押します。削除方法を選んで⦿を押したあと、画面の指示に従って操作してください（基本的な操作方法は、電話帳などと同様です）。
- FOMA端末（本体）へコピーするときは、Ⓜを押し、[本体へコピー]を選んで⦿を押します。コピー方法を選んで⦿を押したあと、画面の指示に従って操作してください。バックアップ／復元（☞P.323）で作成されたデータはコピーできません。ただし、バックアップされたデータでも詳細画面を表示させた場合は、そのデータに限り本体へコピーすることができます。
- データ情報を確認するときは、Ⓜを押し、[情報表示]を選んで⦿を押します。

2 データを選んで⦿を押す。
- データ表示中の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

お知らせ

- microSDメモリーカード内のブックマーク一覧画面では、iモードのブックマークとフルブラウザのブックマークが混在して表示されます。iモードのブックマークには[]が、フルブラウザのブックマークには[]が表示されます。

本体へコピー

microSDメモリーカードからFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存されている各データを、FOMA端末（本体）にコピーできます。1件コピー、選択コピー、全件コピーの方法があります。
microSDメモリーカードからのコピーは、各データのリスト画面から操作します。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.318）。
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

1 待受画面で▭を押し、Ⓜ◯4[microSDデータ参照]を押す。

2 データを選んでⓂ2[本体へコピー]を押し、コピー方法を選ぶ。

1件コピーする	1→[はい]→⦿
選択コピーする	2→名前を選ぶ⦿（くり返し可）→Ⓜ→[はい]→⦿
全件コピーする	3→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿

- 電話帳を1件コピーしたときは、[プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示されます。登録するときは[はい]を選んで⦿を押します。電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選択します。

お知らせ

- microSD管理画面でデータを確認中にコピーすることもできます。
- microSDメモリーカードにバックアップしたデータをコピーするには、microSDメモリーカードからの読み込み（☞P.323）を行ってください。ただし、バックアップされたデータでも詳細画面を表示させた場合は、そのデータに限り本体へコピーすることができます。
- PDFデータは、FOMA端末（本体）とmicroSDメモリーカードの間で2Mバイトまでコピーできます。

電話帳をコピーするとき
- 名前が未登録のデータがコピーされたときは[No Name]と表示されます。

ブックマークをコピーするとき
- [同じURLは上書きされます　よろしいですか？]と表示されます。現在のデータに上書きするときは、[はい]を選択します。
- 選択コピー／全件コピーを行った場合、FOMA端末（本体）のiモードまたはフルブラウザのブックマークのどちらかが最大件数まで保存されると、それ以降のブックマークはコピーされません。

microSDメモリーカードの管理について

データBOXのマイピクチャ、ミュージック、iモーション、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、トルカ、ブックリーダーは、microSDメモリーカード内のデータを管理するために、フォルダの作成や削除、フォルダ名の編集を行うことができます。データの詳細情報を表示したり、静止画をプリント指定することもできます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.318）。
- microSDメモリーカード内には、1つのフォルダに最大400件までのファイルを保存できます（トルカを除く）。フォルダやデータについては、P.320〜P.321を参照してください。

microSDメモリーカードをフォーマットする<フォーマット>

フォーマット（初期化）されていないmicroSDメモリーカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります。
- フォーマットすると、microSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- パソコンなどでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたmicroSDメモリーカードを使用することをおすすめします。
- フォーマットを中止すると、microSDメモリーカードがFOMA端末やパソコンなどで認識されなくなりますので、ご注意ください。認識されなくなった場合は、フォーマットをやり直してください。
- 実行中は、microSDメモリーカードを抜かないでください。

次ページへ続く

- microSDメモリーカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため[フォーマットできませんでした]と表示されることがあります。microSDメモリーカードを挿入し直すとご使用いただける場合もありますが、そのmicroSDメモリーカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。
- microSDメモリーカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

■ i モードから[SH-MODE]
(2007年8月現在)
[i Menu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用
QRコード

■ パソコンから
http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh903itv/
なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

1 待受画面で⦿9265を押す。

2 端末暗証番号を入力して⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

フォルダを管理する

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で⦿911を押し、[→**microSD**]を選んで⦿を押し、📷11[フォルダ新規作成]を押す。

2 作成するフォルダを選ぶ。

カメラフォルダ	1
その他静止画	2
デコメ絵文字	3

3 フォルダ名を入力して⦿を押す。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLRを1秒以上押します。

お知らせ
- microSDメモリーカードの空き容量がない場合、microSDメモリーカード内にフォルダを新規作成することはできません。
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名は、最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。ブックリーダーのフォルダ名は、全角・半角を問わず最大64文字まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で⦿911を押し、[→**microSD**]を選んで⦿を押し、フォルダを選んで 📷12[フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して⦿を押す。
- フォルダ名を削除するときはフォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ
- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。ただし、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名は編集できます。

フォルダを削除する<削除>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で⦿911を押し、[→**microSD**]を選んで⦿を押す。

2 フォルダを選んで📷2[削除]を押す。

3 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿
複数のフォルダをまとめて削除する	2→フォルダを選ぶ⦿(くり返し可)→📷→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ[全選択]／ⓘ[全解除]を押します。
すべてのデータを削除する(フォルダは残す)	3→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿
すべてのフォルダおよびデータを削除する	4→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿

お知らせ
- microSD管理画面でデータを確認中に削除できます(☞P.324)。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内の先頭に表示されるフォルダは、自動的に作成されるフォルダであり、フォルダ削除を行っても削除されません。
- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

データを管理する

データの詳細情報を表示する<情報表示>

例:電話帳の場合

1 待受画面で📖を押し、📷◐4[**microSD**データ参照]を押し、データを選んで📷3[情報表示]を押す。

● 確認を終わるときは◉を押します。

お知らせ

● 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。
● microSD管理画面でデータを確認中に情報表示できます(☞P.324)。

データを削除する<削除>

例:電話帳の場合

1 待受画面で📖を押し、📷◐4[**microSD**データ参照]を押す。

2 データを選んで📷1[削除]を押す。

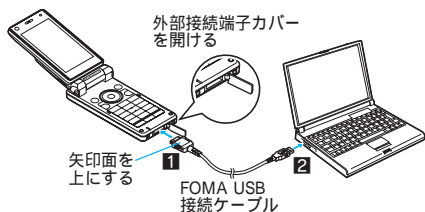
3 削除方法を選ぶ。

データを1件削除する	1→[はい]→◉
複数のデータをまとめて削除する	2→名前を選ぶ◉(くり返し可)→📷→[はい]→◉
フォルダ内のすべてのデータを削除する	3→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉

microSDリーダーライターとして使う <USBモード設定>

お買い上げ時 通信モード

FOMA端末をFOMA USB接続ケーブル(別売)でパソコンに接続し、パソコンからmicroSDメモリーカードのデータの読み込みや書き込みをすることができます。

通信モード	パケット通信、64Kデータ通信、データの送受信(OBEX)するときのモードです(☞P.404)。
microSDモード	microSDメモリーカードのデータを読み込み/書き込みするときのモードです。

1 待受画面で◉9266を押す。

● 待受画面で◉36を押しても操作できます。

2 2[**microSD**モード]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

3 **FOMA USB**接続ケーブルの**FOMA**端末側コネクタを**FOMA**端末の外部接続端子に差し込む(1)。

4 **FOMA USB**接続ケーブルのパソコン側コネクタをパソコンの**USB**コネクタに差し込む(2)。

● 通信モードに戻るときは、いずれかのボタンを押し、[はい]を選んで◉を押します。または、パソコンからFOMA USB接続ケーブルを取り外し、約90秒間何も操作しないでそのままにしておくと、自動的に通信モードに切り替わります。
● FOMA USB接続ケーブルを取り外すときは、パソコンで、各OSのハードウェアの安全な取り外し方法を実行してください。

お知らせ

● FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

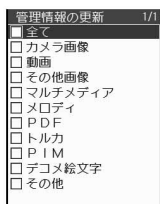
項　目	説　明
接続ケーブル	FOMA USB接続ケーブル(別売)
パソコン	FOMA USB接続ケーブル(別売)が使用できるUSBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP(いずれも日本語版)

● パソコンなどでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしてください。
● FOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
● FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。また、パソコンの電源についても確認してください。
● microSDリーダーライターとして使うときは、あらかじめmicroSDメモリーカードが挿入されていることを確認してください。
● microSDモードへの切り替え中やmicroSDモード中はmicroSDメモリーカードを抜かないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
● データの読み込み/書き込み中はFOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDメモリーカードの管理情報を更新する＜管理情報の更新＞

microSDメモリーカードを他の機器で利用（データ編集や追加、削除など）した場合、microSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。

- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- microSDメモリーカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できない場合があります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、microSDメモリーカードが正しく動作しない場合があります。
- microSDメモリーカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 他の機器で書き込んだデータを利用するときは、管理情報の更新が必要な場合があります。
- 管理情報の更新を行うと、GIF画像、動画、[その他画像]内のデータ、[マルチメディア]内のデータのタイトル名は消去されますので、ご注意ください。ただし、オリジナルタイトルの付いたｉモーションとメロディのタイトル名は消去されません。
- 更新中はmicroSDメモリーカードを抜かないでください。

1 待受画面で⦿9264を押す。

2 項目を選んで⦿を押す。

- マークが[☑]に変わります。[☑]が選択、[☐]が解除の状態です。⦿を押すと交互に切り替えることができます。管理情報を更新する項目をすべて選択します。
- [全て]を選択したときは、[はい]を選んで⦿を押すと管理情報更新が開始されます。

3 ⊜[完了]を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

お知らせ

- 更新中に音声電話やテレビ電話を受けたり、メールを受けることもできますが、次の機能はご利用になれません。
  - ｉアプリ
  - 静止画・動画撮影
  - バーコードリーダー
  - ドキュメントビューア
  - 赤外線受信
  - SDオーディオ
  - プリント指定（DPOF）
  - microSDメモリーカードのメモリ確認
  - 電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、ブックリーダー、トルカ、Bookmarkおよびデータ BOXのマイピクチャ・ｉモーション・メロディ・マイドキュメント・ミュージック・きせかえツールからのmicroSDデータ参照

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する＜インポート＞

パソコンなどで作成したデータ（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ、PDF）を、microSDメモリーカードを経由して、FOMA端末で確認できます。

- あらかじめ、ドコモケータイdatalink（☞P.406）を使って、パソコンなどからmicroSDメモリーカードのインポートフォルダにデータをコピーしておいてください。

1 待受画面で⦿9263を押す。

2 機能を選んで⦿を押す。

- 該当するデータがないときは、[microSDデータがありません]と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。
- 選んだ機能のデータ（ファイル名）が表示されます。
- データを削除するときは、◎1を押します。以降の操作は通常のデータの削除と同様です。
- FOMA端末（本体）へコピーするときは、◎2を押します。以降の操作は通常のデータのコピーと同様です。
- ファイル名に特殊な記号やカタカナが含まれている場合は、データをコピーできない場合があります。
- データ情報を確認するときは、◎3を押します。パソコンなどで作成したデータは、タイトル情報がない場合があります。

3 データを選んで⦿を押す。

お知らせ

- メロディの場合、FOMA端末（本体）へのコピーは100Kバイト、microSDメモリーカード上の再生は200Kバイトまで可能となります。静止画（JPEG画像、GIF画像）、動画、PDFデータの場合は、2Mバイトまでコピーできます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れた場合、バックアップデータ内の最初の1件のみを表示します。
- 横2048×縦2048ドットを超える静止画（JPEG／GIF）は表示できない場合があります。大きな画像は、画像一覧用の画像を表示する場合もあります。
- PDFデータの場合、インポートフォルダにある状態で表示できません。本体にコピーしてから表示してください。
- 次の場合は、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - 添付ファイルの合計が2Mバイトを超えるメール
  - 添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
- インポートフォルダのデータについては、次のようなファイル名の制限があります。
  - PIMデータは、全角・半角を問わず228文字以内（拡張子を除く）
  - PDFデータは、全角・半角を問わず60文字以内（拡張子を除く）
  - 静止画、動画、メロディは、全角・半角を問わず100文字以内（拡張子を除く）

データを管理する

データBOXには次のフォルダがあります。

データBOX

- マイピクチャ
  FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像、FOMA端末で静止画録画した番組画像が保存されます(☞P.296)。
- ミュージック
  着うたフル®が保存されます(☞P.356)。
- ｉモーション
  FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得したｉモーションが保存されます(☞P.305)。
- ビデオ(microSD)
  FOMA端末でビデオ録画したワンセグの番組がmicroSDメモリーカードに保存されます(☞P.311)。
- メロディ
  メロディが保存されます(☞P.316)。
- マイドキュメント
  PDFデータが保存されます(☞P.339)。
- キャラ電
  キャラ電が保存されます(☞P.313)。
- きせかえツール
  きせかえツールが保存されます(☞P.136)。
- プリント指定(DPOF)
  microSDメモリーカードに保存された静止画のプリント指定の枚数などが、microSDメモリーカードに保存されます(☞P.352)。

● キャラ電のデータ管理についてはP.315、ビデオファイルのデータ管理についてはP.313を参照してください。

フォルダを管理する

データBOXのマイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、キャラ電、きせかえツールにそれぞれ最大20個のフォルダを作成して、データを管理できます。

● キャラ電のフォルダ管理については、P.315を参照してください。

■ フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で● 9 1 1 を押し、📷 1 1 [フォルダ新規作成]を押す。

2 フォルダ名を入力して●を押す。

● 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLRを1秒以上押します。

お知らせ

● フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で● 9 1 1 を押し、フォルダを選んで 📷 1 2 [フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して●を押す。

● フォルダ名を削除するときはフォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

● 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

■ フォルダを削除する<削除>

例:マイピクチャの場合

1 待受画面で● 9 1 1 を押し、フォルダを選んで📷 2 [削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●
複数のフォルダをまとめて削除する	2→フォルダを選ぶ●(くり返し可)→📷→端末暗証番号を入力→●→[はい]→● ● すべてを選択/解除する場合は、📱[全選択]/📱[全解除]を押します。
すべてのデータを削除する(フォルダは残す)	3→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●
すべてのフォルダおよびデータを削除する	4→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●

お知らせ

● 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
● 保存されているデータごと削除されます。
● フォルダ内に待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。設定を解除して、やり直してください。
● フォルダを全件削除した場合[デコメピクチャ]フォルダ、[デコメ絵文字]フォルダにお買い上げ時に登録されているデコメもすべて削除されます。
● お買い上げ時に登録されているデコメを削除後にもう一度ご利用になる場合は、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.192)。

データを管理する

データの削除や並べ替えなどができます。

- ミュージックや[移行可能コンテンツ]フォルダの場合、サブメニューの番号は異なります。

■ タイトルを変更する<タイトル編集>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で◉91 1を押し、フォルダを選んで◉を押す。

2 データを選んで📷13[タイトル編集]を押す。

3 タイトルを編集して◉を押す。
- タイトルを削除するときはタイトル編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。また、ファイル名はデータをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。ｉモーションの場合は、最大全角18文字（半角36文字）まで入力できます。
- ミュージック、ｉモーション、メロディ、キャラ電、きせかえツールは、[タイトル編集]を選択したあと、[直接入力]／[オリジナルタイトルに戻す]を選択します。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字（半角14文字）です（タイトル名が最大全角7文字（半角14文字）を超えると、表示されるタイトル名は、最大全角6文字（半角12文字）までです）。

■ ファイル名を変更する<ファイル名編集>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で◉911を押し、フォルダを選んで◉を押し、データを選んで📷14[ファイル名編集]を押す。

2 ファイル名を編集して◉を押す。
- ファイル名を削除するときはファイル名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- ファイル名は、最大半角36文字まで入力できます。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、ｉモードメールに添付されているデータ、ｉアプリから保存したデータで、ファイル制限が[あり]のデータや、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、ワンセグを静止画録画した画像、microSDメモリーカードに保存されているデータのファイル名は編集できません。

■ データを並べ替える<ソート>

お買い上げ時　日付順（新→旧）

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

日付順（新→旧）※1	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）※1	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ）の順
ファイル取得元順※2	取得元によって、空白→ｉモード→カメラ→データ交換→テレビ電話の順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順
アーティスト順（ミュージックのみ）	アーティスト名の文字コード順

※1　microSDメモリーカード内データのファイル制限を変更すると日時情報が更新され、情報表示の保存日時で表示される日時と日付順でソートした結果が一致しない場合があります。

※2　データの種類により取得元は異なります。

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で◉911を押し、フォルダを選んで◉を押し📷◉12[ソート]を押す。

2 ソート方法を選んで◉を押す。

■ データを別のフォルダに移動する<移動>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で◉911を押し、フォルダを選んで◉を押す。

2 データを選んで📷61[移動]を押す。

3 移動方法を選ぶ。

データを1件移動する	1→フォルダを選ぶ→◉
フォルダ内のすべてのデータを移動する	2→端末暗証番号を入力→◉→フォルダを選ぶ→◉
複数のデータをまとめて移動する	3→データを選ぶ◉（くり返し可）→📷→フォルダを選ぶ→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、🅘[全選択]／🅘[全解除]を押します。

お知らせ

- 自分で作成したフォルダがないときは、移動できません。
- 自分で作成したフォルダからお買い上げ時のフォルダへ移動するときは、1件移動しかできません。
- microSDメモリーカードの場合、移動先フォルダ内の静止画や動画／ｉモーション、メロディ、PDFのデータ数が400件を超えると、超えた分のデータは移動できません。
- microSDメモリーカードの[マルチメディア]フォルダ内のデータは[カメラフォルダ]には移動できません。
- FOMA端末（本体）にて、データを別のフォルダに移動中、CLRまたは☎を押すと[中止処理中]と表示されますが、移動処理は中止されません。

詳細情報を表示する<情報表示>

表示される情報は、次のとおりです。

- キャラ電の情報表示について詳しくは、P.315を参照してください。

項　目	マイピクチャ	ミュージック	iモーション	メロディ	PDF	きせかえツール	ビデオ
保存日時	○	○	○	○	○	○	○
保存日時(Exif)(カメラ撮影画像のみ)	○	－	－	－	－	－	－
作成日時	－	－	－	○(MFiのみ)	○	－	－
表示サイズ※1(Flash画像を除く)	○	－	○	－	－	－	－
ファイルサイズ	○	○	○	○	○	○	○
ファイルサイズ(映像部)(JPEG画像のみ)	○	－	－	－	－	－	－
ファイル形式(Flash画像を除く)	○	○	○	○	○	－	○
ファイル制限[あり／なし]	○	○	○	○	○	○	－
音色設定※2	－	○	○	○	－	－	－
画面設定※2	○	－	○	－	－	－	－
電話帳設定※2	○	○	○	○	－	－	－
スケジュール／ToDo設定※2	○	○	○	○	－	－	－
テレビ電話設定※2	○	－	－	－	－	－	－
伝言メモ設定※2	○	－	－	－	－	－	－
所有者情報設定※2	○	－	－	－	－	－	－
デイリーアラーム設定※2	－	○	○	○	－	－	－
スライドショー設定※2	－	－	－	○	－	－	－
作成者	－	－	○	－	－	－	－
コピーライト	－	－	○	－	－	－	－
説明	－	－	○	－	－	－	－
タイトル	－	○	－	－	－	－	－
アーティスト	－	○	－	－	－	－	－
アルバム	－	○	－	－	－	－	－
年	－	○	－	－	－	－	－
ジャンル	－	○	－	－	－	－	－
コメント	－	○	－	－	－	－	－
トラック番号	－	○	－	－	－	－	－
作曲者	－	○	－	－	－	－	－
作詞者	－	○	－	－	－	－	－
権利者	－	○	－	－	－	－	－
販売元	－	○	－	－	－	－	－
権利情報	－	○	－	－	－	－	－
レーベル	－	○	－	－	－	－	－
URL情報	－	○	－	－	－	－	－
ファイル名	○	○	○	○	○	○	○
撮影日時(JPEG画像のみ)	○	－	－	－	－	－	－
オリジナルタイトル	－	○	○	○	－	○	－
再生回数制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	○	－	－	－	－
再生期限制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	○	－	－	－	－
再生期間制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	○	－	－	－	－
音[AAC／AMR／HE-AAC／Enhanced aacPlus／不明／ビットレート(ミュージックのみ)]※4	－	○	○	－	－	－	－
取得元	○	○	○	○	○	○	○
着信音設定[可／不可]	－	－	○	－	－	－	－
着信画面設定[可／不可]	－	－	○	－	－	－	－
まるごと着信音設定[可／不可]	－	○	－	－	－	－	－
オススメ着信音設定[可／不可]	－	○	－	－	－	－	－
保存可能ジャケット画像[あり／なし]	－	○	－	－	－	－	－
保存可能画像[あり／なし]	－	○	－	－	－	－	－
保存可能歌詞[あり／なし]	－	○	－	－	－	－	－
再生時間	－	○	－	－	－	－	－
サラウンド再生[可／不可]※4	－	○	○	－	－	－	－
テーマカラー変更[あり／なし]	－	－	－	－	－	○	－
microSDへの移動[可／不可／可(同一機種間)]※5※6	○	○	○	○	○	○	－
録画開始時間	－	－	－	－	－	－	○
録画終了時間	－	－	－	－	－	－	○
チャンネル名	－	－	－	－	－	－	○
番組名	－	－	－	－	－	－	○

※1　表示サイズは数値(ドット)で表示されます。
※2　microSDメモリーカードの情報表示では、表示されません。
※3　再生制限がないとき、iモーションの場合は表示されません。ミュージックの場合は再生制限が[なし]と表示されます。
※4　音声のない動画／iモーションの場合は、表示されません。
※5　コピー可能なコンテンツは[可]で表示されます。
※6　microSDメモリーカード内データの場合は、[本体への移動]となります。

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で⦿911を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

2 データを選んで◎5［情報表示］を押す。
- 確認を終わるときは⦿またはCLRを押します。

■ 静止画や動画のFOMA端末外への出力を制限する<ファイル制限>

静止画や動画のメール添付や、FOMA端末外への出力ができないように設定できます。
- FOMA端末で撮影したデータをファイル制限設定すると、お客様がｉモードメールに添付して送信することはできますが、受け取った相手がさらに他の方に送信することはできなくなります。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータや、ｉモードメールに添付されているデータ、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、ワンセグを静止画録画した画像、ｉアプリから保存したデータのファイル制限設定を変更することはできません。
- FOMA SH903iTVで撮影、または編集して作成したデータのみ設定を変更できます。
- FOMA SH903iTVで撮影した動画であっても、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションや、ｉモーションメールの本文中に表示されているURLから取得したｉモーションのファイル制限設定を変更することはできません。

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で⦿911を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

2 データを選んで◎15［ファイル制限］を押し、1［あり］を押す。

■ データを削除する<削除>

例：マイピクチャの場合

1 待受画面で⦿911を押し、フォルダを選んで⦿を押す。

2 データを選んで◎2［削除］を押す。
- microSDメモリーカード内のデータを削除するときは、フォルダ一覧画面で［→microSD］→⦿→フォルダを選ぶ→⦿→データを選ぶ→◎→［削除］→⦿を押します。

3 削除方法を選ぶ。

データを１件削除する	1→［はい］→⦿
複数のデータをまとめて削除する	2→データを選ぶ⦿（くり返し可）→◎→［はい］→⦿ ● すべてを選択／解除する場合は、◉［全選択］／◉［全解除］を押します。
フォルダ内すべてのデータを削除する	3→端末暗証番号を入力→⦿→［はい］→⦿

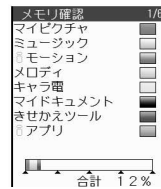
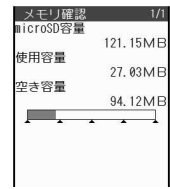
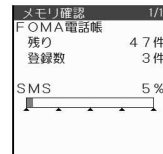
お知らせ
- 待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータは、フォルダ内全件削除では削除できません。
- マイピクチャの［プリインストール］フォルダ内のデータと、メロディの［プリインストール］フォルダ内のデータは削除できません。

メモリの使用状況を確認する<メモリ確認>

確認できる内容は次のとおりです。

項　目	内　容
電話帳、スケジュール、ToDo	残り件数・登録件数・シークレット件数
ブックマーク、テキストメモ	残り件数・登録件数
受信BOX、送信BOX、未送信BOX、メッセージR／F、画面メモ、デコメールテンプレート、トルカ	使用率（%）
データBOXのマイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメント、きせかえツール、ｉアプリ	合計の使用率（%）
microSDメモリーカード	容量・使用容量・空き容量
FOMAカード	電話帳残り件数・登録件数・SMS使用率（%）

- シークレットデータの件数は、シークレットモードを［ON］に設定しているときのみ表示されます（☞P.154）。

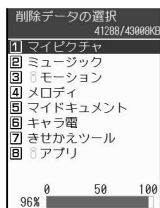
1 待受画面で⦿312を押す。

FOMA端末（本体）

microSDメモリーカード

FOMAカード

- microSDメモリーカードやFOMAカードのメモリ使用状況を確認するときは、◉［→microSD］を押すと、microSDメモリーカード使用状況が表示されます。もう一度◉［FOMAカード］を押すと、FOMAカードの使用状況が表示されます。
- 現在のメモリの使用状況が表示されます。
- 各画面のインジケータ、および目盛は目安です。
- FOMA端末（本体）のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、✣を押します。
- 確認を終了するときは、⦿、CLRまたは☎を押します。
- 電話帳の登録件数はシークレットデータを含んで表示されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

メモリが足りなくなったり、保存件数をオーバーしたときは、データやファイルを保存できません。microSDメモリーカードなどに保存したり、不要なファイルの削除をおすすめします。

- 保存件数を超えたときは、メモリに空きがあっても保存できません。不要なデータを削除してから保存してください。
- 画像や着うたフル®、iモーション、メロディ、キャラ電、iアプリのソフト、PDFデータ、きせかえツールを保存するときにメモリが足りなくなったときは、[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました上書きしますか？]と表示され、不要なデータやファイルを削除して保存できます。
- サイトやインターネットホームページから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、microSDメモリーカードに保存するときにメモリが足りなくなったときは、上書き確認画面が表示され、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを削除して保存することができます。

1 上書き確認画面で[はい]を選んで◉を押す。

2 データの種類を選んで◉を押し、フォルダを選んで◉を押す。

3 データを選んで◉を押す。

- [☑]が選択、[□]が解除の状態です。◉を押すと交互に切り替えることができます。
- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。

4 ◉[完了]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

赤外線通信

赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、電話帳やスケジュール、メール、静止画などのデータを送受信したり、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能を搭載した機器と連動したりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- FOMA SH903iTVから他のFOMA端末へデータBOX内のデータ(マイピクチャ、iモーション、メロディなど)を赤外線通信で送信できない場合があります。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になります。そのため、着信、通話、iモード、iモードメール送受信、SMS送受信、メッセージR／F受信などはできません。
- 通話中は、赤外線通信できません。
- FOMA端末の赤外線受信機能およびデータBOX内コンテンツの赤外線送信機能はIrSimple1.0に対応しています。
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像は、高速赤外線通信で送信することができます(IrSS機能※)(☞P.299)。
  ※ IrSSとは、IrSimple1.0準拠の片方向通信機能(Home Appliance Profile)です。

各種ロック中の動作について

- オールロック中やセルフモード中は、赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳の送受信ができません。
- 機能別ロック中は、ロックされている機能のデータの受信ができません。たとえば、電話帳の機能別ロック中、電話帳を受信できません。ただし、機能別ロックを一時解除することで送信することができます。

赤外線通信を行うと

赤外線通信機能では、次のデータを送受信できます。

■ FOMA端末から送信できるデータ

機　能	1件	全件	備　考
電話帳	○	○	1件送信ではグループ情報、プッシュトーク電話番号、プッシュトークグループ情報は送信されません。シークレット登録した電話帳はシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ色、指定メール着信ランプ色、指定着信ランプパターン、指定メール着信ランプパターン設定、代替画像設定は送信できません。電話帳全件送信は、所有者情報も送信されます。また、シークレット登録した電話帳も送信されます。
スケジュール	○	○	シークレット登録したスケジュールはシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレットで登録されたデータも送信されます。アラーム時刻以外のアラーム情報(鳴動時間、アラーム音選択、アラーム音量選択)および連絡先、画像設定の情報は送信されません。また、終了日時が設定されていないデータは、終了日時に開始日時を設定して送信されます。視聴予約や録画予約は送信されません。

機　能	1件	全件	備　考
ToDoリスト	○	○	シークレット登録したToDoリストはシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレットで登録されたデータも送信され、受信側では通常のデータとして保存されます。アラーム時刻以外のアラーム情報（鳴動時間、アラーム音選択、アラーム音量選択、連絡先の設定）は送信できません。
テキストメモ	○	○	－
ｉモードメール、SMS	○	○	貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されます。添付不可のデータは送信できません。フォルダ情報は送信できません。100Kバイトを超えるメール（添付ファイルを含む）を赤外線通信で送信した場合、相手に正しく送信できないことがあります。
ブックマーク	○	○	ｉモードブックマーク、フルブラウザブックマークどちらも送信できます。フォルダ情報は送信できません。
データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ、PDF	○	×	サイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、受信したｉモードメールに添付されたデータで、ファイル制限ありのデータは送信できません。FOMA端末にあらかじめ内蔵されているデータは送信できません。送信できるデータは静止画2Mバイト、動画2Mバイト、メロディ100Kバイト、PDF2Mバイトまでです。
所有者情報	○	※	受信側では電話帳として保存されます。 ※ 電話帳の備考覧参照
トルカ	○	○	1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ（詳細）、再配布不可のトルカおよび利用済みトルカは送信できません。フォルダ情報は送信できません。

FOMA端末で受信できるデータ

機　能	1件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時メモリ番号は[010]以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。電話帳全件受信は、ご契約の電話番号以外の所有者情報は上書きされます。名前が未登録のデータが送信されたときは[No Name]と表示されます。
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順に登録されます。
ToDoリスト	○	○	ToDoリスト	期限順に登録されます。
テキストメモ	○	○	テキストメモ	最終修正日時順に登録されます。
ｉモードメール、SMS	○	○	ｉモードメール、SMS	受信日時／送信日時／保存日時順に登録されます。
ブックマーク	○	○	ブックマーク	1件受信時は一番上に登録されます。全件受信時は利用された古い順に登録されます。
データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ、PDF	○	×	データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント	該当フォルダ内の[外部取得データ]フォルダの一番上に登録されます。
所有者情報	○	※	電話帳	1件受信時メモリ番号[010]以降で一番若い空き番号に保存されます。 ※ 電話帳の格納順覧参照
トルカ	○	○	トルカ	－

お知らせ

- microSDメモリーカード内のデータは送受信できません。
- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- FOMAカード内の電話帳は送受信できません。
- ブックマーク、ｉモードメール、SMS、トルカを送受信した場合、フォルダ分けの設定は反映されません。

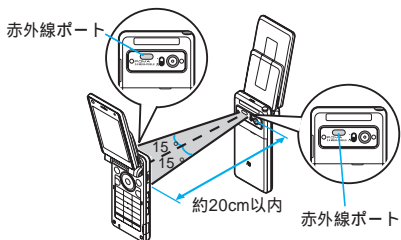
電話帳の1件送受信について
- 受信した電話帳のデータは、メモリ番号[010]以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。ただし、[010]以降に空きがないときは、[000]以降の空き番号に付加されます。
- グループ番号はすべて[（指定なし）]になります。

電話帳の全件受信について
- 全件受信時は、メモリ番号、シークレット設定、グループ名、グループ番号、プッシュトーク電話番号、プッシュトークグループ名、プッシュトークグループ番号も登録されます。

メールの送受信について
- ｉアプリToが貼り付けられたｉモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

絵文字の送受信について
- 絵文字が登録できる機能については、絵文字を送受信できます。ただし、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。ｉモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。

トルカについて
- トルカによっては、メールに添付して送信したり、赤外線通信で送信したり、microSDメモリーカードにコピーすることができない場合があります。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

- 上の図のように、受信側と送信側のFOMA端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- 次のときは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
  - ■ データを受信すると受信側に[○○○保存しますか？]と表示され、[はい]または[いいえ]を選択するまで。
  - ■ データの送受信が終わるまで。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。

お知らせ

- 赤外線通信が正常にできなかったときは、次のメッセージが表示されます。
  [認証に失敗しました　続けますか？]
  [接続相手が見つかりません　続けますか？]
  このような場合は、[はい]を選択すると、もう一度通信をやり直すことができます。
- 正常に通信できなかったときは、FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- 赤外線通信で画像を送信すると元の画像より画質が劣化したりファイルサイズが変わる場合があります。
- IrSSは、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

認証パスワードについて

全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。

- 端末暗証番号には、FOMA端末に設定されている現在の端末暗証番号を入力します。
- 認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。赤外線通信するたびに変更してもかまいません。

データを１件ずつ送受信する

赤外線通信を利用して、FOMA端末のデータを１件ずつ送受信できます。

- 送受信できるデータについては、P.333を参照してください。

データを１件送信する<赤外線送信>

送信したいデータのリスト画面や内容表示画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞**P.108**）や内容表示画面（☞**P.108**）でデータを選んで📷を押し、[データ送信]を選んで◉を押し、[赤外線送信]を選んで◉を押す。

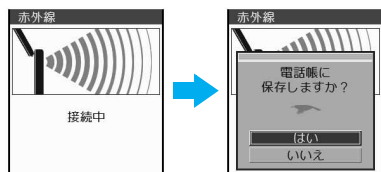
- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

2 受信側の**FOMA**端末を１件受信待ち状態にする。

3 1[送信]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

データを１件受信する<赤外線受信>

赤外線通信を利用した１件受信は、赤外線受信画面から操作します。

1 待受画面で◉9221を押し、[はい]を選んで◉を押す。

電話帳を受信した場合

- データ送信側のFOMA端末で、事前に１件送信状態にしておきます。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。

2 [はい]を選んで◉を押す。

- 電話帳を受信したときは、[プッシュトーク電話帳に登録しますか？]と表示されます。登録するときは[はい]を選んで◉を押します。電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選択します。
- 同じ内容のブックマークが存在するときは、[同一Bookmarkが存在します　保存しますか？]と表示されます。現在のデータに上書きするときは、[はい]を選んで◉を押します。

データを全件送受信する

赤外線通信機能を利用して、FOMA端末のデータを全件送受信できます。
- 送受信できるデータについては、P.333を参照してください。

データを全件送信する<赤外線全件送信>

送信したいデータのリスト画面から操作します。

例：電話帳の場合

1. 電話帳リスト画面（☞P.108）で[MENU]を押し、[データ送信]を選んで●を押し、[赤外線送信]を選んで●を押す。
   - サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。
2. [2][全件送信]を押す。
3. 受信側のFOMA端末を全件受信待ち状態にする。
4. 端末暗証番号を入力して●を押す。
5. 認証パスワード（4桁の数字）を入力して●を押し、[はい]を選んで●を押す。
   - 受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

お知らせ

- ブックマークを全件送信すると、受信側のブックマーク一覧画面では利用された古い順に表示されます。
- スケジュールを全件送信するときは、カレンダー画面またはスケジュール全件表示にしてから操作してください。

データを全件受信する<赤外線全件受信>

赤外線通信を利用した全件受信は、赤外線受信画面から操作します。
- 全件受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要です。
- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

1. 待受画面で●[9][2][2][2]を押し、[はい]を選んで●を押す。
2. 端末暗証番号を入力して●を押す。
3. 送信側のFOMA端末を全件送信状態にする。
   - 送信側で入力した認証パスワードを覚えておいてください。
4. 送信側と同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力して●を押す。
   - 30秒以内に相手側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。
5. [はい]を選んで●を押す。
   - データの受信中に全件受信を中止するときは、[MENU][中止]を押します。

iアプリと連携して赤外線通信を行う

実行中のソフトから、赤外線通信機能（☞P.333）を利用できます。また、赤外線通信からiアプリを起動できます。
- セルフモード中は、赤外線通信機能を利用できません。
- iアプリの機能別ロック中はiアプリを起動できません。

iアプリから赤外線通信を起動する

1. ソフト実行中に赤外線通信を起動し、[はい]を選んで●を押す。
   - 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
   - 赤外線通信を開始します。
   - 赤外線通信を中止するときは、[MENU]を押します。

赤外線通信からiアプリを起動する

iアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、iアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。
- iアプリTo設定を[許可しない]に設定しているときは、赤外線通信からiアプリを起動できません。
- iアプリ待受画面として起動することはできません。

1. 待受画面で●[9][2][2][1]を押す。
   - 受信待ち状態になります。詳しくは、P.335「データを1件受信する」の操作1を参照してください。
2. 送信側からiアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動する。

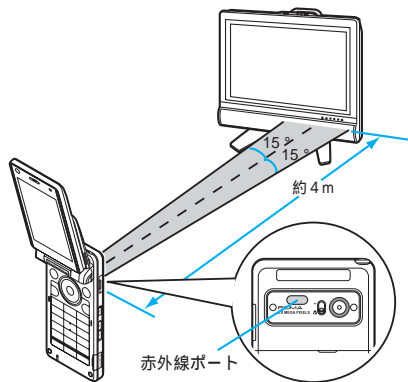
赤外線リモコン

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。

- 赤外線リモコン機能を利用する場合は、赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります（お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は、赤外線リモコン機能に対応しています）。
- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。

リモコン操作を行う

赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。

- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。「Gガイド番組表リモコン」については、P.252を参照してください。
- 操作できる距離は、約４mです（相手側の機器や周囲の明るさなどによって、変わります）。
- 赤外線リモコンの送信中は、[ ]が表示されます。

お知らせ

- 相手側の機器によっては、正常に操作できない場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できない場合があります。

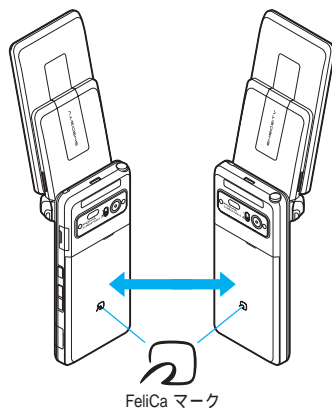
ｉC通信

ｉC通信について

ｉC通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、電話帳やスケジュール、メール、静止画などのデータをｉC通信で送受信できます。

- ｉC通信中は圏外と同じ状態になります。そのため、着信、通話、ｉモード、ｉモードメール送受信、SMS送受信、メッセージR／F受信などはできません。
- 通話中は、ｉC通信できません。
- ＩＣカードロック中は、ｉC通信できません。
- 送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信と同様です。P.333を参照してください。

ｉC通信機能をお使いになるときのご注意

- 受信側と送信側のFOMA端末の FeliCa マーク（ ）を重ね合わせてご利用ください。データの送受信が終わるまでFOMA端末を動かさないでください。
- ｉC通信中にFOMA端末の着信ランプが点滅したり、バイブレータが動作するように設定できます（P.121、P.140）。

データを１件ずつ送受信する

ｉC通信機能を利用して、FOMA端末のデータを１件ずつ送受信できます。

データを１件送信する<送信>

送信したいデータのリスト画面や内容表示画面から操作します。

例:電話帳の場合

1 電話帳リスト画面(☞P.108)や内容表示画面(☞P.108)でデータを選んで⦾を押し、[データ送信]を選んで⦿を押し、[iC送信]を選んで⦿を押す。
- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

2 1[送信]を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

3 相手の**FOMA**端末と **FeliCa** マーク(⌒)を重ね合わせる。
- 送信が完了すると、[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。

データを1件受信する

1 待受画面で相手の**FOMA**端末と**FeliCa** マーク(⌒)を重ね合わせる。

2 [はい]を選んで⦿を押す。
- 電話帳を受信したときは、[プッシュトーク電話帳に登録しますか?]と表示されます。登録するときは[はい]を選んで⦿を押します。電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選択します。

データを全件送受信する

iC通信機能を利用して、FOMA端末のデータを全件送受信できます。
- あらかじめ通信相手と認証パスワードを決めておく必要があります。

データを全件送信する<全件送信>

送信したいデータのリスト画面から操作します。

例:電話帳の場合

1 電話帳リスト画面(☞P.108)で⦾を押し、[データ送信]を選んで⦿を押し、[iC送信]を選んで⦿を押す。
- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

2 2[全件送信]を押す。

3 端末暗証番号を入力して⦿を押す。

4 認証パスワード(4桁の数字)を入力して⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

5 相手の**FOMA**端末と **FeliCa** マーク(⌒)を重ね合わせる。
- 送信が完了すると、[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。

データを全件受信する

1 待受画面で相手の**FOMA**端末と**FeliCa** マーク(⌒)を重ね合わせる。

2 [はい]を選んで⦿を押す。

3 端末暗証番号を入力して⦿を押す。

4 認証パスワード(4桁の数字)を入力して⦿を押す。

5 [はい]を選んで⦿を押す。
- 受信が完了すると[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。
- データ受信中に全件受信を中止するときは、⦾[中止]を押します。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。ボイスレコーダーは、動画撮影機能を利用したもので、[音声のみ](映像なし)の動画データとして、microSDメモリーカードの[マルチメディア]フォルダに保存されます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。
- microSDメモリーカードが挿入されていない場合、ボイスレコーダーは選択できません。
- 64MバイトのmicroSDメモリーカードに保存する場合は、最長約10時間です。
- 録音データは、最大400件まで保存できます(録音時間により保存件数は変わります)。
  1件あたり最長6時間まで録音できます。400件を超えて録音しようとした場合、「録音処理に失敗しました」とメッセージが表示されボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。
- 録音した音声は、iモーションプレーヤー(☞P.305)で再生できます。
- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音距離は、約1.5m以内をおすすめします。
- 録音中にFOMA端末を閉じても録音は継続され、サブディスプレイに[ボイス録音中]と表示されます。

録音する

1 待受画面で⊙ 9 3 3 を押し、⊙[録音]を押す。

- 録音を開始すると、シャッター音が鳴り、撮影ランプが自動的に青色で点滅します。録音を終了すると自動的に消灯します(録音中に消灯させることはできません)。
- 録音を一時停止するときは⊜を押します。録音を再開するときは⊜を押します。

2 録音を止めるときは⊙[停止]を押す。

- 残時間表示が00:00:00になったとき(録音中にファイルサイズ制限に達したときや、microSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき)は、自動的に録音が停止します。

3 1[保存]を押す。

- 録音した音声を再生するときは、2[再生]を押します。再生を一時停止するときは⊙[ポーズ]、停止するときは⊡を押します。CLRを押すと、元の画面に戻ります。
- 保存しないときは、3[取消]を押し、[はい]を選んで⊙を押します。

お知らせ

- 録音中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。
- 録音した音声は、ｉモーションプレーヤーで再生できます。microSDメモリーカードのｉモーションのフォルダ一覧画面で[マルチメディア]を選択します(☞P.307)。

ボイスレコーダーの設定を変える

ボイスレコーダーでは次の設定ができます。詳しくは、動画撮影を参照してください(☞P.169)。

■ データBOXを表示する<データBOX表示>

指定されている保存先フォルダのファイルを表示します。

1 待受画面で⊙ 9 3 3 を押し、📷 1[データBOX表示]を押す。

■ セルフタイマーを設定する<セルフタイマー>

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で⊙ 9 3 3 を押し、📷 2[セルフタイマー]を押す。

2 設定時間を選ぶ。

解除する	1	5秒にする	3
2秒にする	2	10秒にする	4

PDF対応ビューア

PDFデータを表示する

FOMA端末(本体)やmicroSDメモリーカード内のPDFデータを表示することができます。また、サイトやインターネットホームページからPDFデータをダウンロードして表示・保存することもできます(☞P.193)。

- 表示するファイルはあらかじめデータBOXのマイドキュメント、またはmicroSDメモリーカードの\PRIVATE\DOCOMO\DOCUMENT\PUDxxxフォルダに置いてください。microSDメモリーカードに保存する場合は、保存してからmicroSDメモリーカードの管理情報を更新してください(☞P.320、P.328)。
- microSDメモリーカード内のPDFデータを表示するときは、あらかじめmicroSDメモリーカードを挿入しておいてください。

※ パソコンでは、ファイルの種類を識別するために、ファイル名の末尾に「.pdf」などの拡張子と呼ばれる英数字を付けています(パソコンの設定によっては、表示されない場合があります)。詳しくは、ご使用のパソコンやソフトウェアに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で⊙ 9 3 6 を押す。

- 待受画面で⊙ 9 1 6 を押しても操作できます。

2 フォルダを選んで⊙を押す。

- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。
- microSDメモリーカード内のPDFデータを表示するときは、[→microSD]を選んで⊙を押すか、📷 4 を押します。

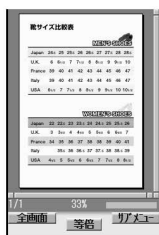
PDFマークの見かた

マーク	説明
PDF	すべてのページをダウンロードしたPDFデータ
Data	ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータ
Data	通信が途中で切断された場合など、ダウンロードに失敗したPDFデータ
DL	ｉモードなどでダウンロードしたPDFデータ
EX	microSDメモリーカードから取得したPDFデータ
✕	ファイル制限ありのPDFデータ
🔒	FOMAカード動作制限機能が設定されたPDFデータ

3 ファイルを選んで⊙を押す。

- ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータの場合、[続きのページをダウンロードしますか？]と表示されることがあります。[はい]を選んで⊙を押すと、続きのページのダウンロードが開始されます。
- ダウンロードに失敗したPDFデータを選択した場合、[データが不足しています　残り全てをダウンロードしますか？]と表示されます。[はい]を選んで⊙を押すと、ダウンロードが開始されます。

次ページへ続く▶▶

- 表示倍率などの表示方法が設定されているPDFデータは、設定に従って表示されます。

内容表示画面

画面スクロールする	上下	上:◯　下:◯
	左右	左:◯　右:◯
ページ全体を表示する		◉[フィット]
等倍で表示する（[フィット]表示のとき）		◉[等倍]
全画面表示する		◯ ● 全画面表示を終了するときはCLRを押します。
次のページを表示する		◯
前のページを表示する		◯
終了する		◯ ● 保存されていないファイルがある場合は、保存確認画面が表示されます。

お知らせ

- マルチメディアの機能別ロック中にファイルを表示するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- 現在のPDFデータの参照先（FOMA端末（本体）またはmicroSDメモリーカード）は、PDF対応ビューアをいったん終了しても記録され、次回、PDF対応ビューアを起動したときにも同じ参照先となります。
- PDFデータによってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード（最大32桁）を入力して◉を押してください。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
- 作成したソフトによっては、表示できない場合があります。
- ファイルによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できない場合もあります。
- ファイル名に、～、‖、－、¢、£、¬が含まれるPDFデータは、非対応となっています。

全画面表示での操作

上下左右に移動する	◯
拡大／縮小する	3／1
左に90度回転する	2
表示イメージを静止画として保存する	8
前のページを表示する	◯
次のページを表示する	◯

内容表示画面の操作方法

- PDF対応ビューアの内容表示画面では次の機能を利用できます。

ズーム（拡大）			画面を倍率10%ずつ拡大表示します。1000%まで拡大表示できます。
ズーム（縮小）			画面を倍率10%ずつ縮小表示します。８%まで縮小表示できます。
表示を回転			画面表示を右または左に90度回転して表示します。
画面設定	ページレイアウト	単一ページ	１ページ単位で表示します（お買い上げ時）。
		連続ページ	複数のページがある場合に、縦に連続して表示します。
		見開きページ	複数のページがある場合に、２ページ単位で左右に並べて表示します。
	表示	全体表示	ページ全体を表示します（お買い上げ時）。
		実際の大きさ	PDFデータのサイズに合わせて表示します。
		幅に合わせる	PDFデータの横幅をディスプレイの横幅に合わせて表示します。
	スクロールバー表示		スクロールバーを表示するかどうかを設定できます。お買い上げ時は[ON]に設定されています。
	ページ番号表示		ページ番号を表示するかどうかを設定できます。お買い上げ時は[ON]に設定されています。
	拡大率表示		拡大率を表示するかどうかを設定できます。お買い上げ時は[ON]に設定されています。
ページ移動	最初のページ		複数のページがある場合に、最初のページに移動します。
	最後のページ		複数のページがある場合に、最後のページに移動します。
	指定のページ		複数のページがある場合に、文書中のページを指定して表示します。
しおり・マーク	しおり表示	しおり	あらかじめPDFデータに登録されているしおりのタイトルを最大50件まで表示し、選択したしおりにジャンプします。
		ｉモードしおり	追加したしおりを表示し、選択されたしおりにジャンプします。しおりの削除やタイトルの変更、詳細情報を表示することもできます。
	ｉモードしおりの追加		しおりを追加します。拡大率や、回転した状態を保持したまま追加することもできます。最大10件まで登録できます。
	マーク表示		マークの一覧を表示します。マークを削除することができます。
	マークの追加		表示されている画面の中央にマークを追加します。最大10件まで登録できます。

検索	最大半角16文字までの文字列を検索し、検索結果を反転して表示します。
検索条件設定	検索条件を設定できます。
リンク表示／ビューア表示	リンク表示とビューア表示を切り替えます。リンク表示にすると、ファイル内へのリンクや、Web To、Mail To、Phone To（AV Phone To）などを利用できます。
画面切り出し	画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存することができます。
保存	PDFデータをFOMA端末（本体）やmicroSDメモリーカードに保存します。 ● microSDメモリーカードには、すべてのページをダウンロードしたファイル制限のないPDFデータが保存できます。
情報表示	PDFデータの情報を表示します。表示される情報は保存日時、作成日時、ファイルサイズ、ファイル形式、ファイル制限、ファイル名、取得元、microSDへの移動／本体への移動の可否です。
文書のプロパティ	PDFデータのプロパティを表示します。表示される情報はタイトル、作成者、サブタイトル、キーワード、作成日時、更新日時、アプリケーション、PDF変換、ファイルサイズです。
ライトアップ	最大の明るさで表示します。
残り全てを取得	ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータや、ダウンロードに失敗したPDFデータの、ダウンロードしていない部分をすべてダウンロードできます。
操作ガイド	操作ガイドブックを呼び出して、操作方法を調べることができます。

画面を拡大／縮小する<ズームイン／ズームアウト>

1 内容表示画面でⓜ1
2 ◎でズームの中心位置を画面の中央にスクロール▶ⓜ［拡大］／ⓘ［縮小］
 ● 終了するとき：⊙またはCLR

表示を回転する<表示を回転>

内容表示画面でⓜ21［右に90°回転］
● 左に90度回転するとき：ⓜ22

ページのレイアウトを設定する<ページレイアウト>

内容表示画面でⓜ31▶ページレイアウトの種類を選ぶ▶⊙

画面表示方法を設定する<表示>

内容表示画面でⓜ32▶表示の種類を選ぶ▶⊙

スクロールバー、ページ番号、拡大率を表示する <スクロールバー表示、ページ番号表示、拡大率表示>

1 内容表示画面でⓜ3
2 スクロールバーを表示するときは3
 ● ページ番号を表示するとき：4
 ● 拡大率を表示するとき：5
3 1

指定したページを表示する<ページ移動>

内容表示画面でⓜ43▶ページ番号を入力▶⊙
● 最初のページを表示するとき：ⓜ41
● 最後のページを表示するとき：ⓜ42

しおりを追加する<iモードしおりの追加>

1 内容表示画面でⓜ52
2 ［OK］▶⊙
 ● しおりのタイトルを編集してから追加するとき：［タイトル編集］▶⊙▶タイトルを編集▶⊙
 ● すでにしおりが10件登録されているとき：［OK］▶⊙▶［はい］▶⊙▶上書きするしおりを選ぶ▶⊙

しおりの一覧を表示する<しおり表示>

1 内容表示画面でⓜ51
2 あらかじめ登録されているしおりを表示するときは1
 ● iモードしおりを表示するとき：2
3 しおりにジャンプするときは、しおりを選ぶ▶⊙
 ● iモードしおりのタイトルを編集するとき：ⓜ2▶タイトルを編集▶⊙
 ● iモードしおりの詳細情報を表示するとき：ⓜ3▶確認を終わるときは⊙またはCLR

iモードしおりを削除する<1件削除>

1 内容表示画面でⓜ512▶iモードしおりを選ぶ▶ⓜ1
2 1
 ● 複数のiモードしおりをまとめて削除するとき：2▶iモードしおりを選ぶ⊙（くり返し可）▶ⓜ
 ● すべてのしおりを削除するとき：3▶端末暗証番号を入力▶⊙
3 ［はい］▶⊙

マークを追加する<マークの追加>

1 内容表示画面でⓜ54
2 ［はい］▶⊙
 ● すでにマークが10件登録されているとき：［はい］▶⊙▶上書きするマークを選ぶ▶⊙

マークの一覧を表示する<マーク表示>

内容表示画面でⓜ53

マークを削除する<1件削除>

1 内容表示画面でⓜ53▶マークを選ぶ▶ⓜ1
2 1
 ● 複数のマークをまとめて削除するとき：2▶マークを選ぶ⊙（くり返し可）▶ⓜ
 ● すべてのマークを削除するとき：3▶端末暗証番号を入力▶⊙
3 ［はい］▶⊙

文字列を検索する<検索>

1 内容表示画面でⓜ6▶文字列を入力▶⦿

2 続けて次へ検索するときはⓘまたはⓜ1

- 続けて前へ検索するとき:✉またはⓜ2
- 新規検索するとき:ⓜ3▶文字列を入力▶⦿
- 検索条件を設定するとき:ⓜ4▶1[大文字小文字を区別]／2[単語に完全一致]▶1[ON]／2[OFF]▶ⓜ
- 検索を中止するとき:検索中画面で⦿またはCLR

3 検索モードを終了するときはⓓまたはCLR

検索条件を設定する<検索条件設定>

1 内容表示画面でⓜ7

2 大文字と小文字を区別して検索するときは1

- 単語に完全一致する文字列を検索する条件を設定するとき:2

3 1[ON]／2[OFF]▶ⓜ

リンク表示モードにする<リンク表示>

内容表示画面でⓜ8

- 元の表示に戻すとき:ⓜ1またはCLR

表示イメージを静止画として保存する<画面切り出し>

内容表示画面でⓜ○1▶[はい]▶⦿

ファイルを保存する<保存>

内容表示画面でⓜ○2▶フォルダを選ぶ▶⦿

文書のプロパティを表示する<文書のプロパティ>

内容表示画面でⓜ○4

- 確認を終わるとき:⦿またはCLR

ライトアップする<ライトアップ>

内容表示画面でⓜ○5

PDFデータをすべて取得する<残り全てを取得>

内容表示画面でⓜ○6▶[はい]▶⦿

操作ガイドを表示する

内容表示画面でⓜ○7

お知らせ

ズームイン／ズームアウトについて
- 操作2をくり返して、ズームの中心位置や倍率を調整できます。

左90度回転について
- 操作するたびに、さらに左([右90°回転]のときは右)に90度回転して表示します。

ページレイアウトについて
- サイトやインターネットホームページから起動した場合は[単一ページ]で表示されます。

しおり、マークの追加について
- 追加したしおりはしおり一覧、追加したマークはマーク一覧の最後に追加されます。
- microSDメモリーカードや赤外線通信でパソコンなどにPDFデータを移動した場合、追加したしおりが消去される場合があります。

しおり、マークの削除について
- 選択削除の場合、すべてを選択／解除するときは、ⓓ[全選択]／ⓓ[全解除]を押します。

検索について
- 検索文字列入力画面には、前回検索した文字列が表示されます。
- 最後のページまで検索した場合は、先頭から検索するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、先頭から検索します。

お知らせ

- P.342「文字列を検索する」の操作2で新規検索したときは、先頭から検索します。前回の検索結果は消去されます。

リンク表示について
- リンク表示モードにしたときは、画面をスクロールできません。
- Web To、Mail To、Phone To(AV Phone To)については、P.195を参照してください。

画面切り出しについて
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、切り出しできない場合があります。
- 画面切り出し表示されている文書のイメージを「待受:240×400」のサイズで切り出して、静止画(JPEG画像)としてFOMA端末(本体)に保存できます。
- FOMA端末外への出力や画面コピーが禁止されているPDFデータから切り出した画像は、FOMA端末外への出力が禁止されますが、microSDメモリーカードに移動できます(コンテンツ移行対応)。

文書のプロパティについて
- PDFデータに設定されていない項目は表示されません。

ショートカットキーについて

- 内容表示画面でよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

ボタン	操　作	ページ
✉	前ページ表示	P.340
ⓘ	次ページ表示	
1	ズームアウト※1	
2	左90度回転	
3	ズームイン※2	
4	指定ページへ移動	
5	しおり・マーク	
6	検索	
7	リンク表示	
8	画面切り出し	
9	画面設定	
0	保存	
ⓓ	全画面表示	
#(1秒以上)	ライトアップ	
#	操作ガイド	

※1　ボタンを押すたびに小さくなります。ボタンを押し続けて離すと、押した分だけ小さくなります。

※2　ボタンを押すたびに大きくなります。ボタンを押し続けて離すと、押した分だけ大きくなります。

PDFデータを添付してｉモードメールを送信する

- 送信できるPDFデータのファイルサイズは、最大2Mバイトです。
- FOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているPDFデータは送信できません。

1 待受画面で⦿936を押し、フォルダを選んで⦿を押し、PDFデータを選んで✉[メール]を押す。

2 ｉモードメールを作成し、送信する。

● 詳しくは、P.214の操作2～4を参照してください。

PDFデータを管理する

PDFデータをフォルダに分けて管理したり、タイトル編集や削除、ソートすることができます。

● ファイル制限されていないPDFデータは、microSDメモリーカードにコピー（☞P.322）したり、赤外線機能を利用して他のFOMA端末などに送信することもできます（☞P.333）。

フォルダを管理する

最大20個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 待受画面で◉936を押し、📷11［フォルダ新規作成］を押す。

2 フォルダ名を入力して◉を押す。

● 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLRを1秒以上押します。

お知らせ

● フォルダ名は最大全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 待受画面で◉936を押し、フォルダを選んで📷12［フォルダ名編集］を押す。

2 フォルダ名を編集して◉を押す。

● フォルダ名を削除するときはフォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

● 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で◉936を押し、フォルダを選んで📷2［削除］を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	1→端末暗証番号を入力→◉→［はい］→◉
複数のフォルダをまとめて削除する	2→フォルダを選ぶ◉（くり返し可）→📷→端末暗証番号を入力→◉→［はい］→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ［全選択］／ⓘ［全解除］を押します。
すべてのデータを削除する（フォルダは残す）	3→端末暗証番号を入力→◉→［はい］→◉
すべてのフォルダを削除する	4→端末暗証番号を入力→◉→［はい］→◉

お知らせ

● 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

● 保存されているデータごと削除されます。

PDFデータを管理する

PDFデータを削除したり並べ替えることができます。

タイトルを変更する<タイトル編集>

1 待受画面で◉936を押し、フォルダを選んで◉を押す。

2 ファイルを選んで📷1［タイトル編集］を押す。

3 タイトルを編集して◉を押す。

● タイトルを削除するときはタイトル編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

● 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。

● 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角7文字（半角14文字）です（タイトル名が最大全角7文字（半角14文字）を超えると、表示されるタイトル名は、最大全角6文字（半角12文字）までです）。

データを並べ替える<ソート>

お買い上げ時　日付順（新→旧）

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

● PDF対応ビューアを終了しても、表示順番は変更されたままです。

日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ）の順
ファイル取得元順※	取得元によって、空白→ｉモード→データ交換の順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

※ ファイルの種類により取得元は異なります。

1 待受画面で◉936を押し、フォルダを選んで◉を押し、📷61［ソート］を押す。

次ページへ続く▶▶

2 ソート方法を選んで◉を押す。

■ データを別のフォルダに移動する<移動>

1 待受画面で◉⑨③⑥を押し、フォルダを選んで◉を押す。

2 ファイルを選んで◎④①[移動]を押す。

3 移動方法を選ぶ。

ファイルを1件移動する	①→フォルダを選ぶ→◉
複数のファイルをまとめて移動する	②→ファイルを選ぶ◉(くり返し可)→◎→フォルダを選ぶ→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ[全選択]／ⓘ[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを移動する	③→端末暗証番号を入力→◉→フォルダを選ぶ→◉

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

1 待受画面で◉⑨③⑥を押し、フォルダを選んで◉を押す。

2 ファイルを選んで◎③[情報表示]を押す。

- 内容表示画面のときは、◎◯③を押します。
- 確認を終わるときは、◉またはCLRを押します。

お知らせ

- 表示される情報は保存日時、作成日時、ファイルサイズ、ファイル形式、ファイル制限、ファイル名、取得元、microSDへの移動／本体への移動の可否です。

■ データを削除する<削除>

1 待受画面で◉⑨③⑥を押し、フォルダを選んで◉を押し、ファイルを選んで◎②[削除]を押す。

- microSDメモリーカード内のファイルを削除するときはフォルダ一覧画面で◎④を押し、フォルダを選んで◉を押し、ファイルを選んで◎②を押します。

2 削除方法を選ぶ。

ファイルを1件削除する	①→[はい]→◉
複数のファイルをまとめて削除する	②→ファイルを選ぶ◉(くり返し可)→◎→[はい]→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ[全選択]／ⓘ[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを削除する	③→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉

ドキュメントビューア

Word、Excelファイルなどを表示する

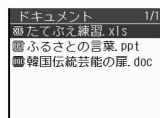
microSDメモリーカード内のMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや画像ファイルなどを、FOMA端末のディスプレイに表示することができます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。

- 表示できるファイルの種類(拡張子※)
  Microsoft Word(.doc)、Microsoft Excel(.xls)、Microsoft PowerPoint(.ppt)、Plain Text(.txt)、JPEG(.jpg、.jpeg)、GIF(.gif)、PNG(.png)、BMP(.bmp)
- 閲覧するファイルはあらかじめmicroSDメモリーカードの\PRIVATE\SHARP\DOCUMENTフォルダに置いてください(☞P.321)。
- 操作の前にFOMA端末のmicroSDメモリーカードスロットにmicroSDメモリーカードを挿入しておいてください。
- SH506iC、SH900i、SH901iCをご利用のお客様で、microSDメモリーカードの\PRIVATE\SHARP\DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存している場合は、\PRIVATE\DOCOMO\DOCUMENT\PUDxxxフォルダに移動する必要があります。

※ パソコンでは、ファイルの種類を識別するために、ファイル名の末尾に「.doc」や「.xls」など拡張子と呼ばれる英数字を付けています(パソコンの設定によっては、表示されない場合があります)。詳しくは、ご使用のパソコンやソフトウェアに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 待受画面で◉⑨③⑤を押す。

2 フォルダを選んで◉を押す。

- 次のページを表示するときは◯、前のページを表示するときは◯を押します。

3 ファイルを選んで◉を押す。

内容表示画面

上下左右にスクロールする	上:◯ 下:◯ 左:◯ 右:◯
ディスプレイ中央にページ全体を表示する	◉
全画面表示する	◉ ● 全画面表示を終了するときは◉またはCLRを押します。 ● サイクロイドポジションでは全画面表示できません。
次のページを表示する	▣[▼ページ]
前のページを表示する	▣[▲ページ]

お知らせ

全画面表示での操作

上下左右に移動する	◯
拡大／縮小する	3／1
左に90度回転する⇔回転なし	2
表示イメージを静止画として保存する	6 1
サブメニューを表示する	◉
前のページを表示する	▣
次のページを表示する	▣
全体を表示する	◉
ライトアップする	7

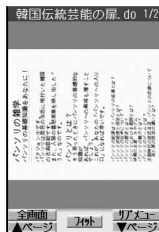
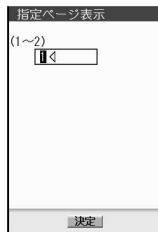
- マルチメディアの機能別ロック中にドキュメントビューアを起動するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

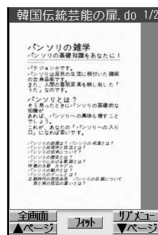
ドキュメントビューア利用時のご注意

- ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なる場合があります。
  - ■ ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。また、すべてを表示できない場合もあります。
  - ■ ドキュメントビューアが対応しているフォントの種類はパソコンなどと異なっておりますので、フォントの種類によって正しく表示されない場合があります。
  - ■ ファイル名が拡張子を含めて231文字以上のファイルは表示されません。
  - ■ Microsoft Excelのワークシートの１つのセルに表示される数値の桁数は、パソコンなどと異なって表示される場合があります。また、元号は表示できません。
- ファイル一覧画面に表示できるのは、１フォルダ400ファイルまでです。
- ドキュメントビューアで表示されるファイルの詳細については、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh903itv/をご覧ください。
- ドキュメントビューア起動中にテレビ電話の発着信、パケット通信を行うとドキュメントビューアは終了します。

内容表示画面の操作方法

- ドキュメントビューアの内容表示画面では次の機能を利用できます。

画面縮小		画面を縮小表示します。
表示を回転		画像表示を左90度回転と回転なしを切り替えて表示します。
画面拡大		画面を拡大表示します。
ルーペ		文字を判別するときなどに、カーソルを合わせた部分を画面下部に拡大して表示できます。カーソルの移動に合わせて画面下部の表示も変わります。ルーペ表示部分を拡大／縮小することもできます。
移動	画面内移動	表示中のページ（文書）の左上、右上、左下、右下や中央を、倍率を変えずに表示できます。
	指定ページ表示	複数のページがある場合は、文書中のページを指定して表示できます。
画面切り出し	画像保存	表示されている文書のイメージを表示されているサイズで切り出して、静止画（JPEG）としてmicroSDメモリーカードに保存できます。
	メール作成	切り出した静止画をｉモードメールに添付して送信できます。
ライトアップ		最大の明るさで表示します。
操作ガイド		操作ガイドブックを呼び出して、操作方法を調べることができます。

左に90度回転画面

指定ページ表示画面

ルーペ拡大画面

画面内移動画面
（左上を選んだ場合）

画面拡大／画面縮小する<画面拡大／画面縮小>

内容表示画面で◉3[画面拡大]／◉1[画面縮小]
- 全体を表示するとき:◉

表示を左に90度回転する<表示を回転>

内容表示画面で◉2
- 元の表示に戻すとき:◉2

次ページへ続く▶▶

ルーペで拡大して表示する<ルーペ>
内容表示画面で ⓜ 4 ▶ [Q]カーソルを移動
- ルーペ表示部分を拡大／縮小するとき：ⓜ 3 ／ⓜ 1
- ルーペを終了するとき：●

ページの端や中央を表示する<画面内移動>
内容表示画面で ⓜ 5 1 ▶ 移動方向を選ぶ ▶ ●

指定したページを表示する<指定ページ表示>
内容表示画面で ⓜ 5 2 ▶ ページ番号を入力 ▶ ●

表示イメージを静止画として保存する<画像保存>
内容表示画面で ⓜ 6 1
- ｉモードメールに添付して送るとき：ⓜ 6 2

ライトアップする<ライトアップ>
内容表示画面で ⓜ 7

操作ガイドを表示する<操作ガイド>
内容表示画面で ⓜ 8

表示中の照明を設定する<バックライト点灯時間>
1 ファイル一覧画面で ⓜ 4
2 2 [常にON]
- 照明設定に従うとき：1

お知らせ

画面縮小について
- 画面内にちょうど納まるように表示されたサイズ（[フィット]表示）より縮小することはできません。

画像保存について
- microSDメモリーカードの空き容量がないときは、画面切り出しできません。

バックライト点灯時間について
- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています（☞P.130）。

ショートカットキーについて

内容表示画面でよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

ボタン	操　作	ページ
◎	上下左右スクロール※1	P.345
✉	前ページ表示	P.345
📖	次ページ表示	P.345
● [フィット]	ページ全体表示	P.345
ⓘ	全画面表示	P.345
1	画面縮小※2	P.345
2	左に90度回転⇔回転なし	P.345
3	画面拡大※3	P.345
4	ルーペ	P.346
5	移動	P.346
6	画面切り出し	P.345
7	ライトアップ	P.346
8	操作ガイド	P.345

※1 ボタンを押し続けると、連続してスクロールします。
※2 ボタンを押すたびに小さくなります。ボタンを押し続けると、徐々に小さくなります。
※3 ボタンを押すたびに大きくなります。ボタンを押し続けると、徐々に大きくなります。

ドキュメントを管理する

ドキュメントビューアでmicroSDメモリーカードの[ドキュメント]フォルダにおさめられているファイルの削除、詳細情報表示、ファイルの並べ替えを行うことができます。
[ドキュメント]フォルダ以外のフォルダにおさめられているファイルは操作できません。マイピクチャから操作してください（☞P.330）。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.318）。

ファイルを並べ替える<ソート>

お買い上げ時　タイトル名順

[ドキュメント]フォルダ内の表示順番を、次のいずれかに変更できます。
- ドキュメントビューアを終了しても、表示順番は変更されたままです。

タイトル名順	タイトルによって、（半角数字→半角英文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英文字→半角カタカナ）の順 ● Unicode順でソートされますが英文字は大文字／小文字の違いを無視してソートします。
日付順（新→旧）	保存した日付の新しい順
日付順（旧→新）	保存した日付の古い順
サイズ順（大→小）	サイズの大きい順
サイズ順（小→大）	サイズの小さい順

1 待受画面で ● 9 3 5 を押し、フォルダを選んで ● を押し、ⓜ 3 [ソート]を押す。

2 ソート方法を選んで ● を押す。

詳細情報を表示する<情報表示>

1 待受画面で ● 9 3 5 を押し、フォルダを選んで ● を押す。

2 ファイルを選んで ⓜ 2 [情報表示]を押す。
- 確認を終わるときは、● を押します。

お知らせ
- 表示される情報は保存日時、ファイルサイズ、ファイル形式、ファイル名です。

お知らせ

フォルダ名／ファイル名について
- 対応していない文字コードを持つ名前のフォルダやファイルをパソコンなどで作成した場合、フォルダ名、ファイル名が空白文字で表示されます。

ファイルを削除する<削除>

［ドキュメント］フォルダ内のファイルを削除できます。

1 待受画面で◉ 9 3 5を押し、フォルダを選んで◉を押し、ファイルを選んで📷 1［削除］を押す。

2 削除方法を選ぶ。

ファイルを1件削除する	1→［はい］→◉
複数のファイルをまとめて削除する	2→ファイルを選ぶ◉（くり返し可）→📷→［はい］→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、📄［全選択］／📄［全解除］を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを削除する	3→端末暗証番号を入力→◉→［はい］→◉

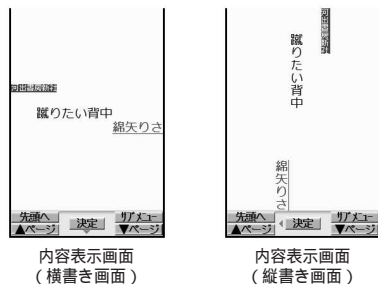
ブックリーダー

電子書籍や電子辞書を表示する

microSDメモリーカードに保存されている電子書籍／電子辞書を、FOMA端末で表示できます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.318）。
- 表示できる電子書籍／電子辞書の種類（拡張子）：XMDF形式（.zbf）（メディアバインドXMDFには非対応）、TEXT形式（.zbk .txt .text）
- 閲覧するファイルはあらかじめmicroSDメモリーカードの\BOOKフォルダに置いてください（☞P.321）。
- お買い上げ時は、FOMA端末（本体）にサポートブックが内蔵されています。
- あらかじめFOMA端末のmicroSDメモリーカードスロットに、電子書籍や電子辞書が入っているmicroSDメモリーカードを挿入しておいてください。サポートブックをご利用になる場合、microSDメモリーカードを挿入する必要はありません。
- 電子書籍／電子辞書によっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、FOMA端末では音声をご利用になれません。画像によってもご利用になれない場合があります。

1 待受画面で◉ 9 3 4を押し、フォルダを選んで◉を押す。
- 前回の閲覧時に📞を押して終了した場合、終了時に表示されていたページが表示されます。

2 電子書籍／電子辞書を選んで◉を押す。
- 前回の閲覧時にCLRを押して終了した電子書籍／電子辞書を選んだ場合、終了時に表示されていたページが表示されます。

内容表示画面
（横書き画面）

内容表示画面
（縦書き画面）

行を移動する	横書き画面	◎（上下）
	縦書き画面	◎（左右）
次のページを表示する		📖［▼ページ］
前のページを表示する		✉［▲ページ］
先頭のページを表示する		📄または📷 4 2
ブックリーダー一覧画面に戻る		CLRまたは📷 4 4

お知らせ

- 内容表示画面は、綿矢りさ著「蹴りたい背中」©ザウルスセレクト文庫／河出書房新社提供のものを使用しています。
- マルチメディアの機能別ロック中にブックリーダーを起動するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

履歴を表示する

前に表示したページを、順に戻ったり進んだりできます。
- 履歴がないときは、操作できません。

表示したページを順に戻る	横書き画面	◎（左）
	縦書き画面	◎（上）
表示したページを順に進む	横書き画面	◎（右）
	縦書き画面	◎（下）

お知らせ

- 📞を押してブックリーダーを終了したあと、次回ブックリーダーを起動すると、自動的に終了時のページが表示されます。ただし、挿入し直したmicroSDメモリーカードに、終了時に閲覧していたファイルが入っていないときや、文字読み取りから起動したときは表示されません。また、待受画面からサポートブックを起動したときも表示されません。
- 電子書籍／電子辞書によってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード（最大16桁）を入力して◉を押してください。
- データによっては、コンテンツ内の他のページに移動する情報が埋め込まれている場合があります。情報が埋め込まれている文字列や画像を選び◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで◎（横書き画面の場合）、◎（縦書き画面の場合）を押すと、元のページに戻ります。
- ファイル一覧に表示できるのは最大400件までです。

マルチアシスタントを使う
- メール作成中などにMULTIを押すと、ブックリーダーを利用できます。

関連操作

フォルダを切り替える<表示フォルダ切替>

待受画面で⊙934▶ⓜ3▶フォルダを選ぶ▶⊙

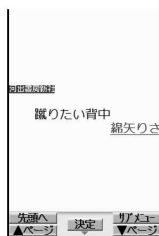
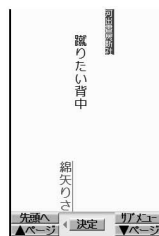
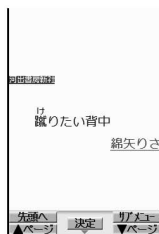
関連操作のお知らせ

表示フォルダ切替について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式の電子書籍を利用していた場合、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できない場合もあります。

■ 内容表示画面の操作方法

電子書籍／電子辞書の内容表示画面では次の機能を利用できます。

しおり設定	しおりをはさむ	表示中のページにしおりを設定します。1つの電子書籍／電子辞書に最大2個（最大10冊）のしおりを設定できます。
	しおりへ移動	以前に設定したしおりのページを表示します。
情報表示		電子書籍／電子辞書の詳細情報を表示します。
現在位置確認		現在のページが全体のおよそ何%にあるかを表示します。
移動	目次	目次に対応した書籍データの場合は、目次からページを表示できます。
	先頭へ	先頭のページを表示します。
	最後へ	最後のページを表示します。
	リストへ	ブックリーダー一覧画面を表示します。
	%指定移動	文書全体のページ数に対するおおよその位置を%で指定して表示します。
文字列コピー		電子書籍／電子辞書内の文字列をコピーします。他の画面などに貼り付けできます。一度にコピーできる文字数は最大全角20文字（半角20文字）です。
表示設定	文字サイズ設定	電子書籍／電子辞書の文字サイズを［大きい文字］、［標準］、［小さい文字］に設定できます。お買い上げ時は［標準］に設定されています。
	縦横設定	画面の縦横表示を設定できます。お買い上げ時は［縦書き］に設定されています。
	ルビ表示	ルビ（ふりがな）を表示するかどうかを設定できます。お買い上げ時は［OFF］に設定されています。

横書き画面

縦書き画面

ルビ表示［ON］

しおりをはさむ<しおりをはさむ>

1 内容表示画面でⓜ11
2 1
- しおり2を設定するとき：2

しおりへ移動する<しおりへ移動>

内容表示画面でⓜ12▶しおりを選ぶ▶⊙

電子書籍／電子辞書の詳細な情報を確認する<情報表示>

内容表示画面でⓜ2
- 確認を終わるとき：⊙

現在の表示位置を確認する<現在位置確認>

内容表示画面でⓜ3
- 確認を終わるとき：⊙

目次からページを表示する<目次>

内容表示画面でⓜ41▶項目を選ぶ▶⊙

最後のページを表示する<最後へ>

内容表示画面でⓜ43

%指定でページを移動する<%指定移動>

内容表示画面でⓜ45▶移動先（2桁：00～99%）を入力▶⊙

文字をコピーする<文字列コピー>

内容表示画面でⓜ5▶最初の文字を選ぶ▶⊙▶最後の文字を選ぶ▶⊙

文字サイズを設定する<文字サイズ設定>

内容表示画面でⓜ71▶文字サイズを選ぶ▶⊙

縦書き／横書きを切り替える<縦横設定>

1 内容表示画面でⓜ72
2 2［横書き］
- 縦書きにするとき：1

ルビ（ふりがな）を表示する<ルビ表示>

1 内容表示画面でⓜ73
2 1

お知らせ

しおりについて

- 11冊目のしおりを設定すると、自動的に古いしおりから消去されます。
- ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに[自動しおり１]が設定されます。次に同じ電子書籍／電子辞書を表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが[自動しおり１]に設定され、前回の[自動しおり１]は[自動しおり２]に設定されます(自動しおりも、１つの電子書籍／電子辞書に最大２個(最大10冊)まで設定され、古いものから自動的に消去されます)。
- 電池パックを取り外したときは、[自動しおり]は設定されません。
- 待受画面でMULTIを押してサポートブック(内蔵)を起動したときは、[自動しおり]を参照せずに常に先頭ページから表示されます。また、マルチアシスタントからサポートブックを起動したときは、[自動しおり]を参照せずに起動元の機能に対応したページまたは先頭ページが表示されます。

コピーについて

- 電源を切ると、読み取った文字は破棄されます。
- コピーできない文字もあります。
- マスクが設定されている文字やルビ文字、外字などはコピーできません。

表示設定について

- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されている電子書籍／電子辞書もあります。
- サポートブック(内蔵)は縦書き／横書きの切り替えに対応していません。

ルビ表示について

- ルビが設定されていない電子書籍／電子辞書では表示されません。

■ サポートブック(ヘルプ)を利用する

1 待受画面でMULTIを押す。

- サポートブック(内蔵)から対応する機能を起動できます(☞P.36)。

■ 辞書で調べる

辞書も電子書籍と同様の操作が可能です。辞書の検索例を説明します。

- 文字読み取りで読み取った文字を辞書で調べることもできます(☞P.180)。
- あらかじめ電子辞書が入っているmicroSDメモリーカードを挿入してください。

※ 電子辞書は下記のシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」でご購入いただけます。
http://www.spacetown.ne.jp/

1 待受画面で⦿934を押し、フォルダを選んで⦿を押し、辞書を選んで⦿を押す。

- 文字読み取りで文字を読み取るときは、📷6[文字読み取り]を押します(☞P.350)。

2 入力欄を選んで⦿を押し、用語を入力して⦿を押す。

- 255文字まで入力できます。
- 文字読み取りから辞書を表示した場合は、読み取った文字が入力されています。

3 用語を選んで⦿を押す。

電子書籍／電子辞書内の情報を利用する

電子書籍／電子辞書内から他のページへ移動したり、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用したり、動画の実行、静止画の保存、文字列のマスクなどの機能を利用することができます(対応ページのみ)。

- あらかじめ電子書籍や電子辞書が入っているmicroSDメモリーカードを挿入してください。

Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍／電子辞書内で反転表示された文字情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)やPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、サイトやインターネットホームページを表示できます(☞P.195)。

1 待受画面で⦿934を押し、フォルダを選んで⦿を押し、電子書籍／電子辞書を選んで⦿を押す。

2 電話番号やメールアドレス、**URL**などを選んで⦿を押す。

- 画像に設定されているときは、⦿2[リンクへ移動]を押します。

3 [はい]を選んで⦿を押す。

- Phone To(AV Phone To)機能が設定されているときは、テレビ電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、テレビ電話キーを押します。音声電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、通話キーを押します。
- Mail To機能が設定されているときは、メールアドレスが入力されたメール作成画面が表示されます。
- Web To機能が設定されているときは、接続が開始され、サイトやホームページが表示されます。

お知らせ

- 電話番号やメールアドレス、URLが表示されていても、電話をかけたり、メッセージを送信したり、画面を表示できない場合もあります。

■ リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 **P.349「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」**の操作１の内容表示画面で、リンク情報が設定されている文字列や画像を選んで⦿を押す。

■ 動画を再生する

画像に動画を実行する情報が設定されているときは、動画を再生できます。

1 **P.349「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」**の操作１の内容表示画面で、画像を選んで⦿4［動画の実行］を押す。

関連操作

文字列や画像をマスク（目隠し）する<マスク>
「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」の操作１の内容表示画面で文字列／画像を選ぶ▶⦿
- マスクされた文字列を表示するとき：文字列▶⦿
- マスクされた画像を表示するとき：画像▶⦿3

電子書籍／電子辞書内の画像を保存する

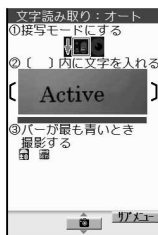
電子書籍／電子辞書に表示された静止画をマイピクチャ（☞P.296）に保存すると、待受画面などに設定できます（☞P.125）。
- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- 保存した画像は、マイピクチャ内の［カメラ］フォルダに保存されます（☞P.297）。
- 画像の保存件数は、最大1000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。microSDメモリーカードへの保存や、メールへの添付はできません。

1 **P.349「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」**の操作１の内容表示画面で、静止画を選んで⦿1［マイピクチャ登録］を押す。

文字読み取り
カメラで文字を読み取って検索する

電子辞書を表示中に、英単語をFOMA端末で撮影し、検索できます。
- あらかじめ電子辞書が入っているmicroSDメモリーカードを挿入してください。
- 文字読み取りについて詳しくは、P.178を参照してください。

例：英和辞書の場合

1 **P.349「辞書で調べる」**の操作１の内容表示画面で📷6［文字読み取り］を押す。

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示する（☞**P.179**）。

3 ⦿を押す。
- 静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。
- 複数の行を撮影したときは、⦾で読み取る行を指定します（文字の読み取りは一行単位で行います）。

4 ⦿［読取］を押す。
- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

5 単語を選んで⦿を押す。

電子書籍／電子辞書を管理する

電子書籍／電子辞書は、フォルダを作成して管理したり、削除、移動することができます。ファイル名を編集したり、詳細情報を表示できます。

フォルダを管理する

最大398個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

■ フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

1 待受画面で⦿934を押し、📷11［フォルダ新規作成］を押す。

2 フォルダ名を入力して⦿を押す。
- 「新しいフォルダ」名を削除するときは、CLRを１秒以上押します。

お知らせ
- 最大全角・半角64文字まで入力できます。

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

1 待受画面で◉⑨③④を押し、フォルダを選んで📷①②[フォルダ名編集]を押す。

2 フォルダ名を編集して◉を押す。
- フォルダ名を削除するときは、フォルダ名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ
- 自分で作成したフォルダ以外は編集できません。

フォルダ名／ファイル名について
- 対応していない文字コードを持つ名前のフォルダやファイルをパソコンなどで作成した場合、フォルダ名、ファイル名が空白文字で表示されます。

フォルダを削除する<削除>

1 待受画面で◉⑨③④を押し、フォルダを選んで📷②[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

フォルダを1件削除する	①→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉
複数のフォルダをまとめて削除する	②→端末暗証番号を入力→◉→フォルダを選ぶ◉(くり返し可)→📷→[はい]→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、🅘[全選択]／🅘[全解除]を押します。
すべてのデータを削除する	③→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉

お知らせ
- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- フォルダに保存されているすべてのファイルごと削除されます。

電子書籍／電子辞書を管理する

電子書籍／電子辞書を削除したり、移動したりできます。

ファイル名を編集する<ファイル名編集>

サポートブック(内蔵)のファイル名は変更できません。

1 待受画面で◉⑨③④を押し、フォルダを選んで◉を押す。

2 電子書籍／電子辞書を選んで📷①[ファイル名編集]を押す。

3 ファイル名を入力して◉を押す。
- ファイル名を削除するときは、ファイル名編集画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ
- ファイル名は、最大全角・半角64文字まで入力できます。
- 半角8文字以内のファイルの名前および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わる場合があります。

ファイルを別のフォルダに移動する<移動>

サポートブック(内蔵)は移動できません。

1 待受画面で◉⑨③④を押し、フォルダを選んで◉を押す。

2 電子書籍／電子辞書を選んで📷④[移動]を押す。

3 移動方法を選ぶ。

ファイルを1件移動する	①→フォルダを選ぶ→◉
複数のファイルをまとめて移動する	②→ファイルを選ぶ◉(くり返し可)→📷→フォルダを選ぶ→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、🅘[全選択]／🅘[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを移動する	③→端末暗証番号を入力→◉→フォルダを選ぶ→◉

詳細情報を表示する<情報表示>

表示される詳細情報は次のとおりです。
- XMDF形式(.zbf)は、ブックリーダー一覧画面ではタイトル、ファイル名、著者、出版社、ファイルサイズが、内容表示画面ではシリーズ、タイトル、サブタイトル、ファイル名、著者、出版社、出版人、要約、配布日時、ファイルサイズ、配布時の刻印情報が表示されます(これらの項目でも電子書籍／電子辞書に記録されていない情報は表示されません)。

1 待受画面で◉⑨③④を押し、フォルダを選んで◉を押す。

2 電子書籍／電子辞書を選んで◉を押し、📷②[情報表示]を押す。
- ブックリーダー一覧画面から表示するときは、📷③を押します。
- 確認を終わるときは、◉を押します。

お知らせ
- サポートブック(内蔵)の情報は表示できません。
- ファイル名は、拡張子もあわせて表示されます。

電子書籍／電子辞書を削除する<削除>

サポートブック(内蔵)は削除できません。

1 待受画面で◉⑨③④を押し、フォルダを選んで◉を押す。

次ページへ続く▶▶

2 電子書籍／電子辞書を選んで📷2[削除]を押す。

3 削除方法を選ぶ。

ファイルを1件削除する	1→[はい]→●
複数のファイルをまとめて削除する	2→電子書籍／電子辞書を選ぶ●(くり返し可)→📷→[はい]→● ● すべてを選択／解除する場合は、i[全選択]／i[全解除]を押します。
フォルダ内のすべてのファイルを削除する	3→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●

プリント指定(DPOF)

保存した画像を印刷する

DPOF(ディーポフ:「Digital Print Order Format」の略称)とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。FOMA端末で撮影したmicroSDメモリーカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントできます。

- サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画はプリントできません。ただし、microSDメモリーカードにコピーできるJPEG画像の場合は、プリントできます。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の取扱説明書を参照してください。
- DPOF対象となるフォルダ
  - ■ 撮影静止画用フォルダ／ユーザ作成フォルダ(☞P.321)
  - ■ 他の機器で作成したDCF準拠フォルダ(☞P.175)
- DPOF対象となるファイル
  - ■ 上記フォルダに保存されている静止画(DCF準拠JPEG)
- FOMA端末(本体)の静止画は指定できません。

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する＜プリント指定(DPOF)＞

- 他の機器でmicroSDメモリーカードに保存したDCF準拠以外の静止画は、印刷指定できない場合があります。
- PDF対応ビューアで切り出したファイル制限ありのファイルはプリントできません。

1 待受画面で●919を押す。

- すでに他の機器で設定したDPOFがあるときは、確認画面が表示されます。クリアするときは、[はい]を選んで●を押します。クリアしないと、新たにDPOFを設定できません。

2 プリント内容を設定する。

静止画を選んでプリント枚数を設定する	フォルダを選ぶ→●→静止画を選ぶ→✉→枚数(0～99)を入力→● ● 静止画を選んで、0～9でプリント枚数を入力できます。 ● 続けて他の静止画を指定できます。
すべての静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷1→1→枚数(0～99)を入力→●
[640×480以上]の静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷1→2→枚数(0～99)を入力→●
[1024×768以上]の静止画を同じ枚数ずつプリントする	📷1→3→枚数(0～99)を入力→●
指定をすべて取り消す	📷2→[はい]→●
日付を付ける	📷3→1 ● 静止画のプロパティの日付が付けられます。
インデックスプリントを指定する	プリント枚数を設定→📷4→1 ● インデックスプリントとは、はがきやA4用紙などに縮小画像をファイル名付きで印刷する機能です。
プリント指定状況を確認する	📷5 ● 枚数一括指定をしている場合、枚数は概算が表示されます。 ● 確認を終わるときは●を押します。

3 i[完了]を押し、[はい]を選んで●を押す。

- プリント指定をやり直すときは、[いいえ]を選んで●を押します。

4 ●[確認]を押す。

関連操作

静止画を並べ替える＜ソート＞
待受画面で●919▶フォルダを選ぶ▶●▶📷2▶ソート方法を選ぶ▶●

音楽再生

■音楽再生

■FMトランスミッタ

音楽の再生方法について

FOMA端末では、音楽データによって、次の方法で音楽を再生できます。

- 音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。
  同時に使用可能な機能の組み合わせについては、P.435「マルチアシスタント（マルチタスク）の組み合わせについて」を参照してください。

■ ミュージックプレーヤー（☞P.354）

サイトやインターネットホームページからダウンロードした着うたフル®を再生できます。また、microSDメモリーカードに保存した音声のみのｉモーション（音楽データ含む）も再生できます。

- ｉモーションはｉモーションプレーヤーでも再生できます（☞P.305）。

■ SDオーディオ（☞P.358）

SD-JukeboxとパソコンなどをJ利用してmicroSDメモリーカードに保存した音楽データを再生できます。

ミュージック
ミュージックプレーヤーを利用する

- 再生できる楽曲は次のとおりです。

楽曲の種別	ファイル形式	Audioコーデック
着うたフル®	MFF	MPEG4-AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
［マルチメディア］内データ	MP4	AMR、MPEG4-AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus

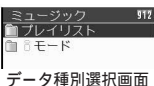
- 保存できる楽曲と再生時間は次のとおりです。

楽曲の種別	FOMA端末（本体）	microSDメモリーカード	最大再生時間
着うたフル®	最大100件	1フォルダ最大400件	約540分
［マルチメディア］内データ	－	1フォルダ最大400件	約540分

※ 楽曲のサイズやmicroSDメモリーカードの容量によって保存できる件数が変わります。

- FMトランスミッタ機能を利用して、FMラジオなどで再生することもできます（☞P.361）。

1 待受画面で◉ 9 1 2 を押す。

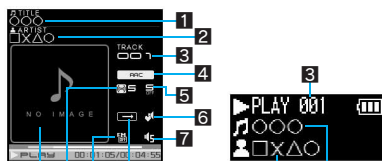
- 前回再生していた楽曲がある場合、停止した曲から再生されます。CLRを押すと終了確認画面が表示され、［はい］を選んで◉を押すとデータ種別選択画面が表示されます。

データ種別選択画面

2 データ種別を選ぶ。

着うたフル®	［ｉモード］→◉ ● データとフォルダが混在して表示されます。フォルダ内の曲を選ぶときは、フォルダを選んで◉を押します。 ● microSDメモリーカード内の着うたフル®を選ぶときは、✉［→microSD］→［移行可能コンテンツ］→◉→フォルダを選ぶ→◉を押します。
［マルチメディア］内データ	［ｉモード］→◉→✉［→microSD］→［マルチメディア］→◉
プレイリスト	［プレイリスト］→◉→プレイリストを選ぶ→◉

- 楽曲一覧画面が表示されます。

3 楽曲を選んで◉を押す。

ミュージックプレーヤー画面

メインディスプレイ　　サブディスプレイ

1 タイトル名
2 アーティスト名
3 トラック番号
4 コーデック
5 サラウンド
6 マナー再生状態
7 音量
8 再生モード
9 FMトランスミッタ設定
10 ステレオ／モノラル
11 ジャケット画像（着うたフル®のみ）

- ダウンロードの途中で保存した着うたフル®を選んだ場合、残りのデータをダウンロードするか確認画面が表示されます。［はい］を選んで◉を押すとダウンロードできます。

再生中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	FOMA端末を閉じているとき
一時停止	◉[ポーズ]	―
停止	✉[停止]	―
音量調節（音量0～10）	◯（下げる）／◯（上げる） ● ボタンを押し続けると、連続して調節できます。	▼（下げる）／▲（上げる）
前の曲に戻す／頭出し	◯ ● 再生経過時間が約2秒未満の場合は前の曲に戻ります。約2秒以上の場合は頭出しになります。 ● ボタンを押し続けると、早戻しになります。	▲（1秒以上） ● 再生経過時間が約2秒未満の場合は前の曲に戻ります。約2秒以上の場合は頭出しになります。
次の曲を再生	◯ ● ボタンを押し続けると、早送りになります。	▼（1秒以上）
着うたフル®の画像を表示	# ● 画像がない場合は表示されません。	―
着うたフル®の歌詞を表示	＊ ● 歌詞がない場合は表示されません。	―
FMトランスミッタON／OFF	◉	―
ミュージックプレーヤー終了	CLRまたは☎→[はい]→◉	―
サブメニュー表示	◉	―
サブディスプレイ表示のスクロール	―	◉ ● タイトル名／アーティスト名が全角7文字以下（半角14文字以下）の場合はスクロールしません。

● ダイヤルボタン（1～9）を押すとボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。1を押すと再生中の曲の先頭に戻ります。2～8を押すと曲の録音時間の約1/8ずつ先の位置にジャンプします。9を押すと曲の最後にジャンプします。ただし、楽曲によってはジャンプしないときがあります。

● マナー再生設定を[ON]に設定すると、音量6以上に調節していた場合は、音量5に変更されます（音量は、音量0～5で変更できます）。

● 平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続していない状態でFMトランスミッタ出力を[ON]にしている場合は、FOMA端末で音量を調節できません。FM受信機で音量を調節してください。

平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続した場合

● 平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチで下記の操作ができます。

再生／一時停止	スイッチを押す ● スイッチを押すごとに切り替わります。

お知らせ

● 電池残量表示マークが[▮▮▮]／[➡□]でない場合、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。また、ご使用状態によっては電池残量表示マークが[➡□]でも確認画面が表示されることがあります。

● 再生中に電話がかかってくると、再生が中止し着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後にミュージックプレーヤー画面が表示されると、着信前に停止した位置から再生が再開されます。

● 音楽再生中に他の機能の操作を行ったりすると、音楽が途切れることがあります。

関連操作

再生対象の楽曲一覧を表示する<再生曲一覧>

ミュージックプレーヤー画面で◫または◉1

リピート再生／シャッフル再生を設定する<再生モード設定>

1 ミュージックプレーヤー画面で◉21

2 全曲リピート再生するときは3

- 通常再生するとき：1
- 1曲リピート再生するとき：2
- シャッフル再生するとき：4
- シャッフルリピート再生するとき：5

サラウンドを設定する<サラウンド設定>

ミュージックプレーヤー画面で音楽停止中に◉22▶1

マナー再生モードにする<マナー再生設定>

ミュージックプレーヤー画面で◉23▶1

関連操作のお知らせ

再生曲一覧について

● 音楽再生中に再生曲一覧を表示した場合、一覧に[データ未取得]と表示されることがあります。

サラウンド設定について

● ミュージックプレーヤーを起動すると、ステレオ効果設定（☞P.120）を[サラウンド]に設定している場合は[ON]、[サラウンド]以外に設定している場合は[OFF]で再生されます。音楽停止中にサラウンド設定で、サラウンドの[ON]／[OFF]を切り替えると、ステレオ効果設定にも反映されます。

マナー再生設定について

● 平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続していない状態でFMトランスミッタ出力を[ON]にしている場合は、設定できません。

着うたフル®を着信音に設定する <着信音設定>

1 着うたフル®の楽曲一覧画面で着うたフル®を選んで📷4[着信音設定]を押す。

2 着信音の項目を選ぶ。

音声電話	1	メッセージR	5
テレビ電話	2	メッセージF	6
非通知	3	SMS	7
メール	4	プッシュトーク	8

3 設定範囲を選ぶ。

1曲全部を設定する	1[まるごと設定] ● microSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内の着うたフル®を選んだときは、FOMA端末(本体)への移動確認画面が表示されます。◉を押すと着信音に設定されます。
楽曲の一部を設定する	2[オススメ設定]→範囲を選ぶ→🅘→[はい]→◉ ● オススメ設定の場合、選択した範囲がｉモーションとして保存され、着信音に設定されます。 ● 選択できる範囲は、あらかじめ決められています。

- 着うたフル®によっては、[まるごと設定]のみ設定できるもの、[オススメ設定]のみ設定できるものがあります。また、[着信音設定]できないものもあります。

着うたフル®の情報を編集する<情報編集>

着うたフル®のタイトルやアーティスト名、アルバム名、ジャンル、年、コメント、トラック番号、総トラック数の情報を編集することができます。

1 着うたフル®の楽曲一覧画面で着うたフル®を選んで📷7[情報編集]を押す。

2 編集する項目を選んで◉を押し、編集して◉を押す。

- 元に戻すときは、[オリジナルに戻す]を選んで◉を押し、[はい]を選んで◉を押します。

着うたフル®ダウンロード

着うたフル®をダウンロードする

サイトやインターネットホームページから着うたフル®をダウンロードして保存できます。

- 最大5Mバイトの着うたフル®をダウンロードできます。
- 著作権のある楽曲をダウンロードした場合、違うFOMAカードを使用しての再生はできません。

1 サイト(☞P.182の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.187の操作1～2)を表示中に、着うたフル®を選んで◉を押す。

2 保存する。

着うたフル®を保存する	2→フォルダを選ぶ→📷 ● microSDメモリーカードに保存するときは、[→microSD]→◉→[移行可能コンテンツ]→📷で保存できます。
着うたフル®を再生する	1 ● 元の画面に戻るときは、CLRを押します。
詳細情報を表示する	3 ● 元の画面に戻るときは、◉またはCLRを押します。
保存しない	4→[いいえ]→◉

- 保存が完了すると、再生確認画面が表示されます。[はい]を選んで◉を押すと再生されます。
- データの読み込み／書き込み／中止などの処理を実行中は、microSDメモリーカードを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDメモリーカードに音楽データを保存する

microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。
microSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
microSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

- 着うたフル®をmicroSDメモリーカードの[移行可能コンテンツ]フォルダに保存する方法については、P.322「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに移動する」またはP.356「着うたフル®をダウンロードする」を参照してください。

パソコンで作成したｉモーション（音楽データ含む）をFOMA端末で再生する

お客様が購入したCDの楽曲などを、パソコンなどを利用してmicroSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。
ここでは、FOMA USB接続ケーブル（別売）でFOMA端末とパソコンを接続してデータBOXのｉモーションの［マルチメディア］フォルダに保存し、再生する方法を説明します。

1 お客様が購入した**CD**の楽曲などを、**MP4**形式に変換できる市販のソフトを利用して変換し、パソコンに保存する。
- ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

2 **FOMA**端末に**microSD**メモリーカードを挿入し、［**microSD**モード］に設定（☞**P.327**）する。

3 **FOMA**端末を**FOMA USB**接続ケーブルでパソコンに接続する。

4 楽曲をコピーする。
- コピー方法は次のとおりです。
  1. 操作1で作成したファイルの名前を「MMFxxxx.3gp」／「MMFxxxx.mp4」に変更する。
     - ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示してから行ってください。
     - 変更後のファイル名は、拡張子を除いて半角で「MMF0001」～「MMF9999」の範囲で変更してください。
  2. microSDメモリーカード内の\PRIVATE\DOCOMO\MMFILEフォルダにコピーする。
     - ［MMFILE］フォルダがmicroSDメモリーカード内にない場合は、microSDメモリーカードをFOMA端末に一度挿入して認識させてから、再度パソコンに挿入してください。
     - microSDメモリーカードのフォルダ構成については、P.321を参照してください。

5 楽曲のコピーが終わったら、**FOMA**端末から**FOMA USB**接続ケーブルを取り外す。
- FOMA USB接続ケーブルを取り外すときは、パソコンで、各OSのハードウェアの安全な取り外し方法を実行してください。

6 いずれかのボタンを押し、［はい］を選んで⦿を押す。
- 通信モードに切り替わります。

7 **microSD**メモリーカードの管理情報の更新を行う。
- 詳しくは、P.328を参照してください。

■ ｉモーションプレーヤーで再生するとき

1 待受画面で⦿9 1 3を押し、📷7を押し、［マルチメディア］フォルダから楽曲を選んでｉモーション（音楽データ含む）を再生する。
- ｉモーションの再生についてはP.305、リピート再生についてはP.306、連続再生についてはP.308を参照してください。
- ミュージックプレーヤーで再生する方法については、P.354を参照してください。
- ［マルチメディア］フォルダ内のデータは、最大400件まで表示されます。フォルダ内に再生できないデータがある場合や、401件以上のデータが存在する場合には、データが表示されないことがあります。

お知らせ
- 再生中に着信やアラーム動作があった場合、再生は中止されます。
- ご使用になる市販のソフトウェアなどによっては、楽曲ファイルをFOMA端末でうまく再生できない場合があります。

プレイリストを管理する

FOMA端末で再生できるプレイリストには、FOMA端末で作成したユーザプレイリストがあります。
- ユーザプレイリスト：最大10件まで作成できます。1件につき99曲の楽曲を登録できます。

プレイリストを作成する

1 着うたフル®／［マルチメディア］内データの楽曲一覧画面で楽曲を選んで📷2［プレイリストに登録］を押す。

2 登録方法を選ぶ。

1件登録する	1
複数をまとめて登録する	2→楽曲を選ぶ⦿（くり返し可）→📷［確定］ ● すべてを選択／解除する場合は、🅘［全選択］／🅘［全解除］を押します。
全件登録する	3→［はい］→⦿

3 登録する。

プレイリストを新規作成して登録する	🅘［新規］→プレイリスト名を入力→⦿ ● プレイリスト名は最大50文字入力できます。
プレイリストに楽曲を追加する	プレイリストを選ぶ→⦿［追加］
プレイリストの楽曲を上書きする	プレイリストを選ぶ→✉［上書］→［はい］→⦿

■ プレイリストを再生する

1 待受画面で⦿[9][1][2]を押し、[プレイリスト]を選んで⦿を押す。

2 プレイリストを選んで✉[再生]を押す。

- プレイリスト内の楽曲を選んで再生するときは、⦿を押し、楽曲を選んで⦿を押します。

関連操作

プレイリストを新規作成する<プレイリスト新規作成>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でⓘまたは📷[1][1]

2 プレイリスト名を入力▶⦿

プレイリストをコピーする<複製>

ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ▶📷[4]▶プレイリスト名を入力▶⦿

プレイリスト名を編集する<プレイリスト名編集>

ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ▶📷[1][2]▶プレイリスト名を編集▶⦿

プレイリストに楽曲を追加する<曲追加>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ▶⦿▶ⓘまたは📷[1]

2 フォルダを選ぶ▶⦿▶楽曲を選ぶ▶ⓘ

プレイリストの表示順を1つ上に移動する<プレイリスト移動(↑)>

ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ▶📖または📷[3]

プレイリストを削除する<削除>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ▶📷[2]

2 1件削除するときは[1]

- 複数のプレイリストをまとめて削除するとき:[2]▶プレイリストを選ぶ⦿(くり返し可)▶📷▶端末暗証番号を入力▶⦿
- すべてのプレイリストを削除するとき:[3]▶端末暗証番号を入力▶⦿

3 [はい]▶⦿

プレイリスト内の楽曲を削除する<削除>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ▶⦿▶楽曲を選ぶ▶📷[2]

2 1件削除するときは[1]

- 複数の楽曲をまとめて削除するとき:[2]▶楽曲を選ぶ⦿(くり返し可)▶📷
- すべての楽曲を削除するとき:[3]

3 [はい]▶⦿

プレイリスト内の楽曲を並べ替える<並べ替え>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ▶⦿▶📷[3]

2 移動する楽曲を選ぶ⦿移動先を選ぶ⦿(くり返し可)▶ⓘ

プレイリストを更新する<プレイリスト更新>

ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ▶⦿▶📷[8]▶[はい]▶⦿

関連操作

関連操作のお知らせ

プレイリスト内の楽曲削除について

- プレイリスト内から削除しても、元の楽曲は削除されません。

プレイリスト更新について

- 次の場合は、プレイリスト更新を行うとプレイリストから削除されます。
  - ■ 元の楽曲を削除/移動した場合
  - ■ microSDメモリーカード内の楽曲で、プレイリストに登録したときのmicroSDメモリーカードが挿入されていない場合
- 再生回数/再生期限/再生期間が終了した楽曲は、プレイリスト更新を行ってもプレイリストから削除されません。

SDオーディオ

SDオーディオを利用する

お客様が購入した音楽CDの楽曲などを、SD-JukeboxとパソコンなどをSD利用してmicroSDメモリーカードに保存すると、FOMA端末で音楽を再生することができます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。

- SDオーディオで再生できる音楽データは次のとおりです。

種　類	ソフト	形　式
SD-Audioデータ	SD-Jukebox	SD-Audio対応AAC

- microSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
- ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- microSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移動をしないでください。
- FMトランスミッタ機能を利用して、FMラジオなどで再生することもできます(☞P.361)。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは次のホームページより購入できます。
http://www.sense.panasonic.co.jp/PanaSense/special/soft/sd_jukebox/
SD-Jukeboxの対応OSは、Windows 2000またはWindows XPになります。動作環境詳細は次のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

microSDメモリーカードに音楽データを登録する

FOMA USB接続ケーブル(別売)でFOMA端末とパソコンを接続し、microSDメモリーカードに音楽データを保存します。

- SDメモリーカードリーダーライターなどを用いることもできます。ただし、SDメモリーカードリーダーライターは著作権保護機能に対応している必要があります。

1 **SD-Jukebox**をパソコンにインストールする。

2 **FOMA**端末に**microSD**メモリーカードを挿入し、**FOMA**端末を[**microSD**モード]に設定(☞**P.327**)する。

3 **FOMA**端末を**FOMA USB**接続ケーブルでパソコンに接続する。

4 **SD-Jukebox**を起動し、パソコンに音楽**CD**をセットする。

5 登録する音楽を選び、**microSD**メモリーカードに楽曲をコピーする。
- SD-Jukeboxの操作方法については、SD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。

6 楽曲のコピーが終わったら、**FOMA**端末から**FOMA USB**接続ケーブルを取り外す。
- FOMA USB接続ケーブルを取り外すときは、パソコンで、各OSのハードウェアの安全な取り外し方法を実行してください。

7 いずれかのボタンを押し、[はい]を選んで◉を押す。
- 通信モードに切り替わります。

SDオーディオで音楽を再生する

microSDメモリーカードの[SD-AUDIO]フォルダに保存されたAAC形式の音楽データを再生します。

1 待受画面で◉ 9 3 2 を押す。

2 ◉[再生]を押す。
- 前回再生していた楽曲がある場合、停止した位置から再生されます。

■ 再生中のボタン操作

	FOMA端末を開いているとき	FOMA端末を閉じているとき
一時停止	◉[ポーズ]	―
音量調節(音量0～10)	◯(下げる)/◯(上げる) ● ボタンを押し続けると、連続して調節できます。	▼(下げる)/▲(上げる)
前の曲に戻す/頭出し	◯ ● 再生経過時間が約2秒未満の場合は前の曲に戻ります。約2秒以上の場合は頭出しになります。 ● ボタンを押し続けると、早戻しになります。	▲(1秒以上) ● 再生経過時間が約2秒未満の場合は前の曲に戻ります。約2秒以上の場合は頭出しになります。
次の曲を再生	◯ ● ボタンを押し続けると、早送りになります。	▼(1秒以上)
FMトランスミッタON/OFF	◯	―
SDオーディオ終了	CLRまたは☎→[はい]→◉	―
サブメニュー表示	◯	―
サブディスプレイ表示のスクロール	―	◯ ● タイトル名/アーティスト名が全角7文字以下(半角14文字以下)の場合はスクロールしません。

- ダイヤルボタン(1～9)を押すとボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。1を押すと再生中の曲の先頭に戻ります。2～8を押すと曲の録音時間の約1/8ずつ先の位置にジャンプします。9を押すと曲の最後にジャンプします。ただし、楽曲によってはジャンプしないときがあります。
- マナー再生設定を[ON]に設定すると、音量6以上に調節していた場合は、音量5に変更されます(音量は、音量0～5で変更できます)。
- 平型ステレオイヤホンセット(別売)などを接続していない状態でFMトランスミッタ出力を[ON]にしている場合は、FOMA端末で音量を調節できません。FM受信機で音量を調節してください。

■平型ステレオイヤホンセット(別売)などを接続した場合

● 平型ステレオイヤホンセット(別売)や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチで下記の操作ができます。

再生／一時停止	スイッチを押す ● スイッチを押すごとに切り替わります。

お知らせ

● 電池残量表示マークが[■]／[■]でない場合、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。また、ご使用状態によっては電池残量表示マークが[■]でも確認画面が表示されることがあります。
● 音楽再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。
● 音楽再生中に他の機能の操作を行ったりすると、音楽が途切れることがあります。
● SDオーディオ再生時、最後に再生した曲の履歴情報(曲番号と再生時間)をmicroSDメモリーカード内に保持します。次回再生時は、この履歴情報により、最終再生位置から再生を再開します。ただし、プレイリストを切り替えて、そのままSDオーディオを終了した場合は、次回再生時は、切り替えをしたプレイリストの1曲目から再生されます。また、FOMA端末やパソコンでmicroSDメモリーカード内の曲を削除したり、曲の追加などを行ったりした場合は、履歴情報がクリアされたり、異なるデータに履歴情報が適用されることがあります。
● SDオーディオ再生時に電池パックを取り外したり、microSDメモリーカードを抜いた場合、最後に再生した曲の履歴情報は保持されません。また、曲を削除したり、並べ替えをした場合は、履歴情報はクリアされます。
● 曲は2秒単位で構成されているため、再生を中断させた場合、停止位置と再生の再開位置がずれることがあります。
● マルチメディアの**機能別ロック**中は、端末暗証番号を入力するとSDオーディオを起動できます。
● SDオーディオ起動中に、他の機能からmicroSDメモリーカードを使用することはできません。
● 他の機能でmicroSDメモリーカードを使用しているときは、SDオーディオを起動できません。

関連操作

リピート再生／シャッフル再生を設定する<再生モード設定>

1 音楽一時停止中／音楽再生中に◎21
2 全曲リピート再生するときは3
● 通常再生するとき:1
● 1曲リピート再生するとき:2
● シャッフル再生するとき:4
● シャッフルリピート再生するとき:5

マナー再生モードにする<マナー再生設定>

音楽一時停止中／音楽再生中に◎23▶1

サラウンドを設定する<サラウンド設定>

音楽一時停止中に◎22▶1

関連操作

再生中の画面を設定する<再生中画面設定>

1 音楽一時停止中に◎3
2 パターン1を表示するときは1
● パターン2を表示するとき:2
● パターン3を表示するとき:3
● 画像を表示するとき:4▶フォルダを選ぶ▶●▶画像を選ぶ▶●

タイトルやアーティスト名を編集する<トラック情報編集>

1 音楽一時停止中に◎5
● プレイリスト画面から編集するとき:プレイリスト一覧で[全曲リスト]▶●▶曲を選ぶ▶◎2
2 タイトルを編集するときは1▶タイトルを編集▶●
● アーティスト名を編集するとき:2▶アーティスト名を編集▶●

関連操作のお知らせ

マナー再生設定について
● 平型ステレオイヤホンセット(別売)などを接続していない状態でFMトランスミッタ出力を[ON]にしている場合は、設定できません。

サラウンド設定について
● SDオーディオを起動すると、ステレオ効果設定(☞P.120)を[サラウンド]に設定している場合は[ON]、[サラウンド]以外に設定している場合は[OFF]で再生されます。音楽一時停止中にサラウンド設定で、サラウンドの[ON]／[OFF]を切り替えると、ステレオ効果設定にも反映されます。

情報編集について
● 音楽CDからmicroSDメモリーカードに楽曲を保存すると、タイトル(全角)、タイトル(半角)、アーティスト(全角)、アーティスト(半角)、アルバム(全角)、アルバム(半角)、ジャンルの情報が設定されます。
● タイトル(全角)とアーティスト(全角)は編集することができます。タイトル・アーティストをあわせた文字数の合計は、最大125文字までです。また、タイトル(半角)、アーティスト(半角)、アルバム(全角)、アルバム(半角)、ジャンルについては、FOMA端末で確認することはできません。
● FOMA端末で確認することができない項目にあらかじめ情報が含まれていた場合、編集できる文字数は少なくなります。

プレイリストを利用する<プレイリスト一覧>

登録されているプレイリストを使って再生します。
● 全曲リストと、お客様がSD-Jukeboxで作成したユーザプレイリストを表示できます。
● 1つのユーザプレイリストには、最大99曲格納できます。

1 音楽一時停止中に◎1[再生中プレイリスト表示]を押す。
● 再生中のプレイリストから曲を選ぶ場合は、操作4に進みます。音楽再生中でも操作できます。

2 ⓜ1[プレイリスト一覧]を押す。

- ⓘを押しても、プレイリスト一覧が表示されます。

3 プレイリストを選んで◉を押す。

- プレイリストを選んでⓘを押すと詳細情報が表示されます。

4 再生する曲を選んで◉[再生]を押す。

関連操作

音楽データを削除する<トラック削除>

1 プレイリスト一覧で[全曲リスト]▶◉▶曲を選ぶ▶ⓜ3
2 1件削除するときは1
- 複数の曲をまとめて削除するとき:2▶端末暗証番号を入力▶◉▶曲を選ぶ◉(くり返し可)▶ⓘ
- すべての曲を削除するとき:3▶端末暗証番号を入力▶◉

3 [はい]▶◉

プレイリストの曲を並べ替える<並べ替え>

プレイリスト一覧で[全曲リスト]▶◉▶ⓜ4▶移動する曲を選ぶ◉移動先を選ぶ◉(くり返し可)▶ⓘ

詳細情報を表示する<情報表示>

プレイリスト画面で曲を選ぶ▶ⓜ6
- 確認を終わるとき:◉またはCLR

関連操作のお知らせ

トラック削除/並べ替えについて
- ユーザプレイリスト表示中は操作できません。

■ プレイリストの曲を検索する<トラック検索>

1 音楽一時停止中にプレイリスト画面でⓜ5[トラック検索]を押し、検索方法を選択する。

タイトルで検索する	1→タイトルを入力→◉
アーティストで検索する	2→アーティスト名を入力→◉
検索履歴から検索する	3→検索履歴を選択→◉ ● 最近検索した履歴が5件まで表示されます。

- 検索結果リストから曲を削除するとき:ⓜ1→削除方法を選択
  検索結果リストから削除しても、元の音楽データは削除されません。
- 検索をやり直すとき:ⓜ2
- プレイリスト画面に戻るとき:ⓜ4またはCLR
- SDオーディオを終了すると、検索履歴はクリアされます。

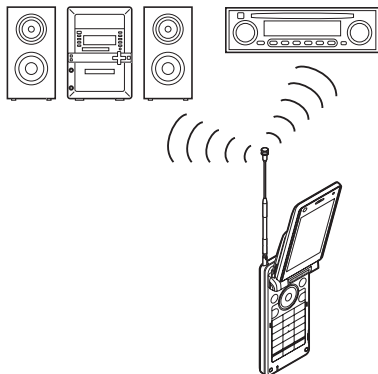
2 再生する曲を選んで◉[再生]を押す。

- 再生中にⓜ1[検索結果表示]を押すと、検索結果リストに戻ります。

FMトランスミッタ出力

FMトランスミッタ機能を利用する

お買い上げ時 OFF

ワンセグやビデオプレーヤー、ミュージックプレーヤー、SDオーディオの音声や音楽を、FOMA端末からFM電波で送信し、FMラジオや車載FMチューナーなどで受信して再生できます。

- FMトランスミッタを使用する場合は、FOMA端末のTVアンテナを伸ばして使用してください(☞P.273)。

1 送信する機能を起動して視聴/再生する。

- 起動方法については、各機能のページを参照してください。
  - ■ ワンセグ(☞P.275)
  - ■ ビデオプレーヤー(☞P.311)
  - ■ ミュージックプレーヤー(☞P.354)
  - ■ SDオーディオ(☞P.358)

ミュージックプレーヤーの場合

2 ⓜを押し、[FMトランスミッタ出力]を選んで◉を押す。

3 1[ON]を押す。

- FM電波が送信されます。
- FM電波送信中は、FOMA端末から音は出ません。
- 解除するときは、2[OFF]を押します。
- ミュージックプレーヤーやSDオーディオの場合は、再生画面でⓘ[FM/ON]/ⓘ[FM/OFF]を押して[ON]/[OFF]を切り替えることもできます。
- 起動時自動出力設定を[ON]に設定しておくと、各機能を起動したときに自動でFM電波が送信されます。

次ページへ続く▶▶

4 FM受信機の受信周波数をFMトランスミッタの送信周波数に合わせる。

- お買い上げ時、FMトランスミッタの送信周波数は[77.4MHz]に設定されています。周波数設定で変更できます（☞P.362）。
- FMトランスミッタ出力時はFOMA端末で音量は調節できません。FM受信機で音量を調節してください。また、FMトランスミッタ機能終了時は、FM受信機の音量が大きくなりすぎていないことをご確認のうえ、終了してください。

お知らせ

- FMトランスミッタは微弱な電波を使用するため、FM受信機や周辺の状況、受信機の設置状況やアンテナの位置によっては雑音が発生したり音が途切れたりする場合があります。この場合は、FOMA端末のTVアンテナをより良く聞こえる方向に向けてください。ただし、雑音や音の途切れがなくならない場合もあります。
- 受信機器との間に障害物があったり、FOMA端末の近くに金属類があると雑音が発生したり音が途切れたりする場合があります。
- 海外ではFMトランスミッタを使用できません。
- FMトランスミッタ出力中に電話の着信やメールの受信、アラーム動作があると、FMトランスミッタ出力は中断され、着信音やアラーム音がFOMA端末のスピーカから鳴ります。各機能の動作が終了すると、FMトランスミッタ出力が再開されます。
- 次の場合は、FMトランスミッタ機能は利用できません。
  - ■ セルフモード中
  - ■ 外部機器接続中
  - ■ ミュージックプレーヤーやSDオーディオで、平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続している場合

FM送信周波数を設定する<周波数設定>

お買い上げ時 77.4MHz

FMトランスミッタの送信周波数を変更できます。ご使用になる地域のFM放送と重ならない周波数を選択してください。

1 送信する機能を起動して📷を押し、[FMトランスミッタ出力]を選んで⦿を押す。

2 3[周波数設定]を押し、周波数を選択する。

周波数1（77.4MHz）	1
周波数2（78.3MHz）	2
周波数3（79.0MHz）	3
周波数4（84.1MHz）	4
周波数5（85.0MHz）	5

FMトランスミッタ機能を自動的にONにする<起動時自動出力設定>

お買い上げ時 OFF

各機能を起動したときに自動的にFM電波を送信するように設定します。

- 機能ごとに[ON]／[OFF]を設定でき、次回起動時から有効になります。

1 送信する機能を起動して📷を押し、[FMトランスミッタ出力]を選んで⦿を押す。

2 4[起動時自動出力設定]を押し、[ON]／[OFF]を選ぶ。

起動時に送信する	1
起動時に送信しない	2

その他の便利な機能

設定状況確認

設定状況を確認する

各種機能の設定状況を確認できます。

1 待受画面で●③①④を押し、端末暗証番号を入力して●を押す。

2 確認する機能を選ぶ。

- 設定状況が表示され、内容を確認できます。✥でページを切り替えられます。
- ●を押すと、元の画面に戻ります。

［音］を選んだ場合

音	1	ｉモード	6
表示	2	フルブラウザ	7
一般設定	3	メール・メッセージ	8
通話・通信機能設定	4	ｉアプリ	9
セキュリティ	5	トルカ	●1

マルチアクセス

マルチアクセスについて

FOMA端末では音声電話と一部のパケット通信（ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信）の複数の通信を同時にご利用いただけます。これをマルチアクセスと呼びます。

- マルチアクセスとは別に、音声電話などの通信中にSMSを受信できます。
- 音声電話中、上記以外のパケット通信（ｉモードおよびｉモードメール送信）もご利用になれます。
- テレビ電話中はｉモードメールを受信できません。ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。

マルチアクセスの主な組み合わせ

FOMA端末で同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは、P.434「マルチアクセスの組み合わせについて」を参照してください。

通話中にｉモードメールや**SMS**を受信する

1 音声電話の通話中にｉモードメールや**SMS**を受信する。

- ディスプレイに［✉］、［📨］または［SMS］が表示されます。
- このまま通話を続けて、通話終了後にｉモードメールやSMSを見ることもできます。

2 通話しながらｉモードメールや**SMS**を見るときは、MULTIを押す。

- マルチアシスタントの使いかたについては、P.364を参照してください。
- 通話中画面に戻るときは、MULTIを押します。

3 ［メール］を選んで●を押し、［受信**BOX**］を選んで●を押す。

4 フォルダを選んで●を押し、メールを選んで●を押す。

- 通話中画面に戻るときはMULTIを押し、［音声電話］を選んで●を押します。

ｉモード中に電話をかける

ｉモード中に通信を継続したまま、Phone To（AV Phone To）機能により音声電話をかけることができます。

- テレビ電話やプッシュトークを発信した場合は、ｉモード通信が終了します。

1 サイトやインターネットホームページで表示されている電話番号を選んで●を押す。

2 ［はい］を選んで●を押し、📞または●［発信］を押す。

- ｉモードに接続したまま、ダイヤルされます。

3 通話が終わったら☎を押す。

- サイトやインターネットホームページの画面に戻ります。

マルチアシスタント（マルチタスク）

マルチアシスタント（マルチタスク）について

マルチアシスタント（マルチタスク）とは音声電話中やワンセグ視聴中にメールを作成するなど、複数の機能を同時に使用できる機能です。

- 音声電話の着信やデータ通信の着信などで、４つ以上の機能が同時に動くこともあります。
- ディスプレイ上部に、起動中の機能のマーク（マルチタスク表示）が表示されます（☞P.30）。

新しい機能を呼び出す

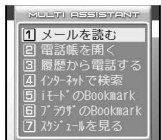
音声電話中や機能の操作中に別の機能を起動することができます。

- 待受画面表示中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、カメラ起動中、ボイスレコーダー起動中、メール送受信中、赤外線受信中、アラーム設定中、タイマー設定中、microSD管理画面、各種設定画面、TOPメニュー、ズームメニュー、ショートカットメニューなどは、マルチアシスタントで他の機能を起動できません。

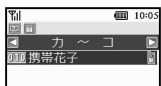
1 音声電話の通話中や機能の操作中にMULTIを押す。

アプリアイコン選択画面

アプリリスト選択画面

- アプリアイコン選択画面が表示されないときは、Ⓜ[切替]を何回か押します。
- アプリリスト選択画面が表示されたときは、Ⓜで切り替えるか、そこから起動する機能を選ぶこともできます。
- マルチアシスタントを利用できないときはMULTIを押してもマルチアシスタントの画面は表示されません。
- 音声電話の通話中や機能の操作中にTVを押すかサイクロイドポジションにすると、ワンセグを起動できます。

2 起動する機能アイコンを選んで◉を押す。

［電話帳］を選んだ場合

- ✥でカーソルを移動します。
- 選択できない機能は起動できません。
- 起動する機能が一覧表示されたときは、機能を選んで◉を押します。機能の操作については、各機能の説明ページを参照してください。
- 音声電話をかけるときは、マルチアシスタントの画面で☎を押し、電話番号を入力して☎を押します。
- アプリアイコン選択画面の機能アイコンの位置を入れ替えるときは、機能アイコンを選んで✉を押し、移動先を選んで◉を押します。元に戻すときは、📖[リセット]を押します。

画面を切り替える

マルチアシスタントで複数の機能を起動しているときは、表示する画面を切り替えることができます。

1 複数の機能の動作中にMULTIを押す。

アプリアイコン切替画面

- 現在動作している複数の機能が、アプリアイコン切替画面にアイコンとして表示されます（4つ以上の機能が動作しているときは、アプリリスト切替画面が表示されます）。
- ワンセグ起動中に他の機能を起動している場合は、TVを押して画面を切り替えることができます。

2 ⊖で表示する機能を選んで◉を押す。

- 4つ以上の機能が動作しているときは、⊜で機能を選んで◉を押します。

機能を終了する

■ 表示中の機能を終了する

1 複数の機能が動作しているときに、☎を押す。

- 表示されていた機能が終了し、別の動作中の画面が表示されます。

■ 機能を選んで終了する

1 複数の機能が動作しているときにMULTIを押す。

2 ⊖で機能を選んで📷[終了]を押す。

- 4つ以上の機能が動作しているときは、⊜で機能を選んで📷を押します。
- すべての機能を終了するときは、✉[全終了]を押し、[はい]を選んで◉を押します。[いいえ]を選んで◉を押すと操作1で動作中の機能に戻ります。

アクティブマーカー
最近利用した機能やファイルを呼び出す

最近利用した機能、最近表示したページや画像などは待受画面から簡単に呼び出すことができます。当日のスケジュールやToDoリストの詳細を表示できます。

アイコン	機　能	内　容
iモード	ｉモード履歴	ｉモードメニューから接続したｉモードサイトのURLとタイトルを最新５件分記憶しています。履歴一覧から選択するだけで、同じサイトにすぐに接続できます（同じサイトは重複せず１件として記憶されます）。
フルブラウザ	フルブラウザ履歴	Internet（フルブラウザ）メニューから接続したインターネットサイトのURLとタイトルを最新５件分記憶しています。履歴一覧から選択するだけで、同じサイトにすぐに接続できます（同じサイトは重複せず１件として記憶されます）。
ミュージック	ミュージック履歴	SDオーディオとミュージックプレーヤーで再生した楽曲の最新の１件を記憶しています。[SDオーディオを再生]または[ミュージックを再生]を選択するだけですぐに再生できます（音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は記憶されません）。
12	スケジュール表示	当日のスケジュールまたは当日が期限のToDoリストのうち開始時間／期日時間が早いものが５件まで表示されます。一覧から選択すると、詳細画面が表示されます。
✉	メール履歴	表示したメールを最新５件分記憶しています。履歴一覧から選択してメール表示画面を表示できます。

アイコン	機　能	内　容
	マイピクチャ履歴	イメージビューアで再生した画像を最新５件分記憶しています。履歴一覧から選択して再生できます（Flash画像、GIFアニメーションは記憶されません）。
	ｉモーション履歴	ｉモーションプレーヤーで再生したｉモーションを最新５件分記憶しています。履歴一覧から選択して再生できます。
	ｉアプリ履歴	保存されているｉアプリのうち最近起動したものを５件分記憶しています。履歴一覧から選択して起動できます（待受ｉアプリを実行した場合は履歴に記憶されません）。

1 待受画面でを押す。

- 待受画面にカレンダーを表示しているときはを押し、カレンダー表示を解除したあと、を押してください。

デスクトップアイコン選択画面

2 デスクトップアイコンを選んで◉を押し、履歴を選んで◉を押す。

- 履歴のないデスクトップアイコンでは、履歴は表示されません。
- 選択した履歴の機能が起動します。
- 選択した機能の機能別ロック中は端末暗証番号の入力が必要です。
- 選択した履歴のファイルやメールを削除または移動した場合は、［起動できません　削除／移動されている可能性があります］、または［起動できません　削除されている可能性があります］と表示され、起動できません。また、マイピクチャ履歴やｉモーション履歴を選択したときは、カレンダー／日付表示エリアの選択画像表示は代替画像に切り替わります。選択した履歴のｉアプリを削除した場合は、［指定されたソフトがありません］と表示されます。
- マイピクチャ履歴、ｉモーション履歴は、FOMA端末（本体）にデータがある場合は、フォルダを移動しても表示され、起動できます。

カレンダー／日付表示エリア

- ［スケジュール表示］の履歴を表示中は、常にカレンダーが表示されます。［マイピクチャ履歴］、［ｉモーション履歴］の場合は選択した画像が表示されます。それ以外の場合は、［カレンダー／日付表示］の設定に従います。

アクティブマーカーのデザインを変更する

アクティブマーカーのデザインを変える＜スクリーンテーマ＞

デスクトップアイコンのタイトル画像やアクションを、統一されたイメージに変更できます。

1 デスクトップアイコン選択画面で1［スクリーンテーマ］を押し、テーマを選ぶ。

LUMINOUS	1
LIGHTNING	2
CRYSTAL	3

アクティブマーカーの背景を設定する＜背景設定＞

お買い上げ時　待受画像１

アクティブマーカーの背景画像を設定できます。

- 横240×縦400ドット以下のJPEG画像、GIF画像を利用できます（Flash画像、GIFアニメーションは利用できません）。
- サイクロイドポジションの場合、設定した画像は表示されません。

1 デスクトップアイコン選択画面で2［背景設定］を押し、フォルダを選んで◉を押し、静止画を選んで［決定］を押す。

- 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

カレンダー／日付の表示を設定する＜カレンダー／日付表示＞

- ［スケジュール表示］の履歴を表示中は、この設定にかかわらず常にカレンダーが表示されます。［マイピクチャ履歴］、［ｉモーション履歴］の場合は選択した画像が表示されます。

1 デスクトップアイコン選択画面で3［カレンダー／日付表示］を押し、表示する内容を選ぶ。

カレンダーを表示する	1
日付を表示する	2
表示しない	3

履歴を削除する＜履歴削除＞

- スケジュールは削除できません。

1 デスクトップアイコン選択画面で4［履歴削除］を押し、削除方法を選ぶ。

カテゴリ内を全削除する	1
全削除する	2→端末暗証番号を入力→◉

■ デスクトップアイコンを表示するかどうかを設定する<表示カテゴリ設定>

お買い上げ時 すべて表示

機能ごとにデスクトップアイコンを表示するかどうかを設定できます。

1 デスクトップアイコン選択画面で⊚5[表示カテゴリ設定]を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 表示または非表示にする項目を選んで◉を押し、⊚[完了]を押す。

- ☑は表示、☐は非表示の状態です。
- ◉を押すと、表示と非表示を交互に切り替えることができます。
- すべてを選択／解除する場合は、Ⓘ[全選択]／Ⓘ[全解除]を押します。

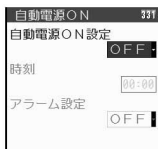
自動電源ON
自動的に電源をONにする

お買い上げ時 OFF(解除)

指定した時刻になったら自動的にFOMA端末の電源を入れます。

- 自動電源ONを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入る場合は、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。

1 待受画面で◉331を押す。

- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください(☞P.45)。

2 [自動電源ON設定]を選んで◉を押し、[ON]を選んで◉を押す。

3 [時刻]を選んで◉を押し、動作時刻(4桁)を入力して◉を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◯で移動できます。

4 [アラーム設定]を選んで◉を押し、[ON]を選んで◉を押す。

- アラームを鳴らさないときは、[OFF]を選んで◉を押し、操作7へ進みます。

5 [アラーム音]を選んで◉を押し、フォルダを選んで◉を押し、アラーム音を選んでⒾ[決定]を押す。

- アラーム音を確認するときは、アラーム音を選んで◉を押します。停止するときはⒾを押します。

6 [アラーム音量]を選んで◉を押し、◯(上げる)／◯(下げる)を押して音量を調節し、◉を押す。

7 Ⓘ[完了]を押す。

- アラーム設定を[ON]に設定したときは、[PIN1コード入力がONのときにはPIN1コードが入力されるまでアラームは鳴動しません]と表示されます。◉[確認]を押すと、自動電源ON機能が設定されます。

■ 指定した時刻になると

自動的に電源が入り、[自動電源ON時刻が過ぎました]と表示されます。

- 指定した時刻に電源が入っていたときも、同様に動作します。
- PIN1コード入力設定(☞P.146)を[ON]に設定しているときは、PIN1コード入力画面になり、PIN1コード入力後[自動電源ON時刻が過ぎました]と表示されます。
- アラームが鳴るように設定しているときは、約15秒間アラームが鳴ります。TV、Eco以外のいずれかのボタンを押すと止まります。
- 通話中や着信時の場合は、通話終了後にアラームが鳴ります。

お知らせ

- 自動電源ONとアラーム(アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム／視聴予約アラーム／録画予約アラーム)を同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。自動電源ON通知画面でしばらく(約15秒)お待ちいただくか、またはボタンを押して自動電源ON通知画面を消すとアラームが動作します。
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。ただし、電源が入っているときは、電源が切れたあとすぐに電源が入る場合があります。
- 電池パックを取り外して電源を切った場合には、自動電源ONが動作しないことがあります。

アラーム設定時刻に自動で電源を入れてアラームを鳴らす<アラーム連動電源ON>

お買い上げ時 OFF

- 自動電源ONとアラーム連動電源ONを同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。

1 待受画面で◉333を押し、1[ON]を押す。

2 ◉[確認]を押す。

自動電源OFF

自動的に電源をOFFにする

お買い上げ時 OFF(解除)

指定した時刻になったら自動的にFOMA端末の電源を切ります。

● 自動電源OFFを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。

1 待受画面で⦿3 3 2を押す。

● あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください(☞P.45)。

2 [自動電源OFF設定]を選んで⦿を押し、[ON]を選んで⦿を押す。

3 [時刻]を選んで⦿を押し、動作時刻(4桁)を入力して⦿を押す。

● 時刻は24時間制で入力します。

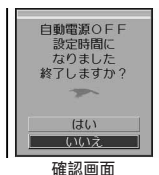
● カーソルは、⊙で移動できます。

4 ⓘ[完了]を押す。

● 自動電源OFF機能が設定されます。

■ 指定した時刻になると

確認画面

指定した時刻に何かの操作をしていると(待受画面以外のとき:iモード/メール/アラーム(鳴動時)/電卓/スケジュール/ToDo/タイマー/メロディプレーヤー/ワンセグ/データBOXの連続再生・スライドショー・全画面表示など)、確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約1分間何も操作しないでそのままにしておくと、電源は切れます。

[いいえ]を選択すると、操作を続けることができます。

● 通話中のときは、通話を終了して通話前の画面に戻ると確認画面が表示されます。

● ソフトウェア更新中(☞P.452)は、ソフトウェア更新終了後、待受画面に戻ると確認画面が表示されます。

● 確認画面表示中は、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、録画も開始されません。

お知らせ

● 自動電源OFFと**アラーム**(アラーム/スケジュールアラーム/ToDoアラーム/視聴予約アラーム/録画予約アラーム)を同じ時刻に設定すると、自動電源OFFにより電源が切れ、アラームは動作しません(ただし、同時刻内に手動で電源を入れた場合や確認画面が表示されたときに、[いいえ]を選択した場合は、アラームが動作します)。

● iアプリ起動中は、自動電源OFFで設定した時刻になっても、電源は切れません。iアプリを終了すると自動電源OFF確認画面が表示され、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。

● **赤外線通信**機能起動中は、自動電源OFFで設定した時刻になっても、電源は切れません。赤外線通信が終了すると自動電源OFF確認画面が表示され、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。

お知らせ

● **自動電源ON**と自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。ただし、電源が入っているときは、電源が切れたあとすぐに電源が入る場合があります。

タイマー

一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、アラーム音やランプでお知らせできます。

● タイマー音が鳴っている間にTV、Eco以外のいずれかのボタンを押すと止まります。

● タイマー音の音色や鳴動時間は、各種設定音のタイマー音(☞P.118)で設定できます。

● 着信バイブレータ(☞P.121)を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

1 待受画面で⦿9 2 8 3を押す。

2 時間を入力して⦿[開始]を押す。

● 左の2桁に分を、右の2桁に秒を入力します。

● 1秒〜99分59秒の間で設定できます。

● タイマー動作中に電源を切った場合、タイマーは終了します。

9分58秒
➡[09:58]

停止する	⦿ ● 再開するときは⦿[開始]を押します。 ● ⓘ[リセット]を押すと、設定時間が[3分]に戻ります。
解除する	☎

お知らせ

● お知らせするランプの動作を設定することもできます(☞P.140)。

● タイマーを利用中に電話がかかってきたりメールを受信しても、タイマーは継続します。ただし、通話中、メール受信中など、タイマーが表示されていないときに設定した時間が経過した場合、アラーム音は鳴りません。

待受画面からタイマーを使う<タイマー>

待受画面で、時間(1〜99分)を入力▶⦿3

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、メロディ、着うたフル®や動画／ｉモーションでお知らせします。

● 着信バイブレータ（☞P.121）を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

アラームを登録する

お買い上げ時	アラーム音選択：着信音１ アラーム音量選択：音量５ スヌーズ設定：OFF　鳴動時間：15秒

ここでは、アラームが動作する時刻と曜日を設定する手順を例に、基本的なアラームの登録方法を説明します。

● アラーム音量や音色を変えたり、メッセージや電話番号を表示するなど、アラーム動作時の状態を設定できます（☞P.369）。また、ステレオ効果（☞P.120）やランプ（☞P.140）を変えることもできます。

メッセージ	アラーム動作時にメッセージを表示できます。最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
連絡先	アラーム動作時に電話番号を表示できます。アラーム動作時に簡単に電話をかけられます。
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。メロディ、着うたフル®や動画／ｉモーションも設定できます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変えることができます。
スヌーズ設定	アラームが鳴る回数と間隔を設定できます。
鳴動時間	アラーム動作時にアラームが鳴っている時間を変更できます。

1 待受画面で◉９２８４を押し、登録番号を押す。

● あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください（☞P.45）。

● アラームは９件まで登録でき、毎日、または曜日指定の繰り返し設定を行っている場合は、解除するまでお知らせします。

アラーム１
1 時刻入力
2 繰り返し設定　0:00
3 メッセージ
4 連絡先
5 アラーム音選択
6 アラーム音量選択
7 スヌーズ設定
8 鳴動時間

アラーム登録画面

2 １［時刻入力］を押し、動作時刻（４桁）を入力して◉を押す。

● 時刻は24時間制で入力します。

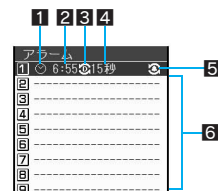
● カーソルは、◯で移動できます。

3 ２［繰り返し設定］を押し、くり返し方法を選ぶ。

１回だけ動作する	１ ● アラーム動作後、設定が自動的に解除されます。
指定曜日に動作する	２→曜日を選ぶ◉（くり返し可）→Ⓜ ● ［休日設定日を除く］にチェックを入れたときは、休日設定・祝日設定された日にはアラームが動作しません。 ● 曜日指定を解除する場合は、曜日を選び◉を押します。 ● すべてを選択／解除する場合は、Ⓘ［全選択］／Ⓘ［全解除］を押します。
毎日動作する	３

4 Ⓘ［完了］を押す。

● 登録を終わるときは☎を押します（待受画面に［♪］表示）。

設定内容の見かた

1 アラーム設定されているときに表示
2 設定時刻
3 くり返し設定の内容を表示

1	１回だけ
W	曜日指定
D	毎日

4 アラーム音が動作している時間
5 スヌーズ設定されているときに表示
6 未登録

お知らせ

● 複数のアラーム機能を同じ時刻に設定した場合、次の優先順位で動作します。

	優先順位（高→低）
アラーム機能	録画予約→視聴予約→アラーム→スケジュール／ToDoリスト

■ 視聴予約と録画予約を同じ時刻に設定した場合は、視聴予約アラームは動作しません。

■ スケジュールアラームとToDoアラームを同じ時刻に設定した場合は、新しく登録した方のアラームが先に動作します。

● 当日（時刻が過ぎている場合は翌日）、１回のみのアラームを簡単に設定できます（クイックアラーム）。

関連操作

待受画面からアラームを設定する<クイックアラーム>

待受画面で時刻（例 午後２時５分：「1405」）入力▶◉２

メッセージを表示する<メッセージ>

アラーム登録画面で３▶メッセージを入力▶◉

連絡先を表示する<連絡先>

1 アラーム登録画面で４
2 １▶名前を選ぶ▶◉
● 直接入力するとき：２▶電話番号を入力▶◉

次ページへ続く▶▶

関連操作

アラーム音を変更する<アラーム音選択>

1 アラーム登録画面で5

2 1［メロディ］
- 着うたフル®を設定するとき：2
- 動画／iモーションを設定するとき：3
- 設定しないとき：4

3 P.116の操作2を参照してアラーム音を選ぶ

アラーム音量を変更する<アラーム音量選択>

1 アラーム登録画面で6

2 ○（上げる）／○（下げる）▶●
- アラーム音を鳴らさないとき：［サイレント］

アラームの回数と間隔を設定する<スヌーズ設定>

1 アラーム登録画面で7

2 1

3 間隔（2桁：02〜15分）を入力▶●▶回数（2〜6）を入力▶●

鳴動時間を変更する<鳴動時間>

アラーム登録画面で8▶鳴動時間（2桁：02〜99秒）を入力▶●

関連操作のお知らせ

待受画面からのアラーム設定について（クイックアラーム）
- 日時は当日（時刻が過ぎている場合は翌日）、分類は［分類なし］、メッセージは［クイックアラーム］としてスケジュールに登録されます。

連絡先の表示について
- ダイヤル発信制限中は、連絡先を入力できません。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話帳利用時に端末暗証番号の入力が必要です。

アラーム音設定について
- マルチメディアの機能別ロック中、［メロディ］、［ミュージック］、［iモーション］を設定するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

スヌーズ間隔について
- スヌーズ中に音声電話着信があった場合、通話中にスヌーズ設定された時刻になった場合には、通話終了後に直ちに鳴動します。スヌーズ設定された時刻になっていない場合は、通話終了後にスヌーズ中となり、スヌーズ設定された時刻になると鳴動します。

アラーム設定時刻になると

1 アラーム音が鳴る。

- アラームのオプションで設定した、アラーム音の種類、音量、鳴動時間などに従って動作します（登録しているメッセージ、連絡先の電話帳に登録されている画像も表示されます）。
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに［アラーム鳴動中］と表示されます。
- アラーム／タイマーランプ（☞P.140）を設定したときは、ランプも点滅します。
- 着信バイブレータ（☞P.121）を設定しているときは、アラーム音と同時にバイブレータも動作します。
- アラーム音量をステップトーン以外に設定しているときは、○（上げる）／○（下げる）を押して音量を調節できます。

2 止めるときは、TV、Eco以外のいずれかのボタンを押す。
- 表示されている画面を消したいときは、☎を押します。
- スヌーズを設定しているときは、☎以外のボタンでアラーム音を止めると、あらかじめ指定した間隔で複数回アラームが鳴ります。☎でアラーム音を止めたときは、以降その時刻に対するスヌーズは動作しません。
- 連絡先を登録しているときは、●を押して登録した連絡先に電話をかけることもできます。

お知らせ

- アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像が表示されます。
- アラームの連絡先に設定した電話帳に、ピクチャーコールとグループピクチャーコールの両方が設定されている場合、電話帳に登録されているピクチャーコールが優先されます。
- 映像と音を含んだiモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくiモーションの映像が表示されます。
- 音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールが表示されます。ピクチャーコールにiモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。
- メモ／スケジュール／ToDo／アラームの機能別ロック中、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 赤外線通信中、データ送受信中、赤外線リモコン操作中にアラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラームで設定した時刻になったときは、通信が終了し、待受画面に戻ると動作しますが、ソフトウェア更新操作中にアラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラームで設定した時刻になったときは、ソフトウェア更新操作終了後でも動作しない場合があります。
- スヌーズ中またはスヌーズが設定されたアラームが鳴動中は、別のアラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラームは設定した時刻になっても動作しません。

操作2で何も操作しないで、アラーム鳴動時間が経過すると
- アラーム音が止まり、アラーム時間が過ぎたことを、ディスプレイの表示でお知らせします（アラームの設定時間が表示されます）。

通話中にアラーム時刻になったとき
- 通話を終了し、通話前の画面に戻るとアラームが動作します。

メール受信中にアラーム時刻になったとき
- メール着信音が止まってから、アラーム音が鳴ります。

マナーモード設定中にアラーム時刻になったとき
- 通常マナーモードの場合、アラーム音は鳴りませんが、バイブレータは動作します。サイレントマナーモードの場合、アラーム音はならず、バイブレータも動作しません。オリジナルマナーモードの場合は、アラーム音やバイブレータの［ON］／［OFF］の設定に従います。
  通常マナーモードや、オリジナルマナーモードでバイブレータを［ON］にしている場合、バイブレータ設定を［OFF］に設定していても、バイブレータは［パターン1］で振動します。

お知らせ

公共モード（ドライブモード）設定中にアラーム時刻になったとき
- アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータ、サブディスプレイも動作しません。

ワンセグ視聴中にアラーム時刻になったとき
- 通常ポジションの場合は、ワンセグが中断しアラームが動作します。サイクロイドポジションの場合は、マルチウインドウに切り替わり、アラームが動作します。
  アラームが停止すると、どちらの場合もワンセグ視聴画面に戻ります。

アラームを解除／削除／再設定する

アラームは、1件ごとに設定（再設定）／解除／削除できます。削除すると登録内容が消えますが、解除しても登録内容は消えません。再設定を行うことで、再び同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 待受画面で⊙9284を押し、登録番号を選んで解除／削除／再設定する。

解除した場合

解除する	ⓘ ● 解除するときは[⊘]が表示されている番号を選びます。解除すると[⊘]が消えます。
再設定する	ⓘ ● 再設定するときは[⊘]が表示されていない番号を選びます。設定すると[⊘]が表示され、待受画面に[🔔]が表示されます。
削除する	ⓜ→[はい]→⊙ ● 設定されていた内容が削除され、アラーム一覧画面に[-------------------]が表示されます。

■ ズームメニューから登録する

- アラーム時刻のみを設定できます。その他の項目は以下のように設定されます。
  繰り返し設定：毎日　メッセージ：なし　連絡先：なし
  アラーム音選択：前回設定したアラーム音　アラーム音量選択：音量5　スヌーズ設定：OFF　鳴動時間：60秒

1 待受画面で⊙を押し、[便利機能]を選んで⊙を押す。
- TOPメニューやショートカットメニューが表示されたときは、ⓘ[メニュー切替]を押してズームメニューに切り替えます。

2 [アラーム]を選んで⊙を押し、登録番号を選んで⊙を押す。

3 動作時刻（4桁）を入力して⊙を押す。
- 時間は24時間制で入力します。
- カーソルは、◎で移動できます。

■ ズームメニューからアラームを解除／削除／再設定する

1 P.371「ズームメニューから登録する」の操作1を行い、[アラーム]を選んで⊙を押す。

2 解除／削除／再設定する登録番号を選ぶ。
- 操作方法はP.371「アラームを解除／削除／再設定する」の操作1を参照してください。

スケジュール

スケジュールを管理する

予定の開始日時、終了日時、内容、連絡先（電話番号）などを登録して管理できます。開始時刻前にアラームでお知らせしたり、メッセージや電話番号、静止画を表示できます。また、連絡先でスケジュールを検索したり、電話帳を表示して電話をかけたり、メールを作成できます。アイコン表示のカレンダーでは、簡単な操作で分類アイコンだけをスケジュールに登録できます。あとから内容を追加することもできます（☞P.372）。
- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください（☞P.45）。
- スケジュールは最大300件まで登録できます。
- 2000年1月1日～2099年12月31日まで登録できます。

カレンダーを表示する<カレンダー>

カレンダーを表示できます（☞P.126）。スケジュール機能で登録した予定を確認できます。
視聴予約や録画予約した内容も、カレンダーで確認できます（☞P.281）。
- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号）」に基づいた祝日が登録されています（2007年8月現在）。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。
  祝日は赤色で表示されます。
- 自分の休日など、新たな休日や祝日を登録し、カレンダーに表示できます。

1 待受画面で⊙9271を押す。
- 今月のカレンダーが表示されます。
- カレンダーを消すときは☎を押します。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2007年 4月

カレンダー画面

前月を表示する	ⓜ
次月を表示する	ⓘ

■ 指定した日付のカレンダーを表示する
＜日付指定表示＞

1 カレンダー画面でⓜ 3 5［日付指定表示］を押す。

日付指定
2007年04月23日

2 日付を入力して◉を押す。

関連操作

待受画面から日付を入力してカレンダーを表示する
待受画面で日付入力▶◉ 1

関連操作のお知らせ

- 日付入力と表示されるカレンダーの対応は次のとおりです。
  01〜31　今月のカレンダー（1日〜31日）
  0101〜1231　指定月日のカレンダー（1月1日〜12月31日）
  20000101〜20991231
  指定年月日のカレンダー（2000年1月1日〜2099年12月31日）

■ カレンダー表示を切り替える＜表示切替＞

お買い上げ時　通常表示

- カレンダーの表示をアイコン表示に切り替えても、待受画面のカレンダー表示設定には反映されません（設定したスケジュールや休日は反映されます）。
  待受画面のカレンダー表示設定については、P.126を参照してください。

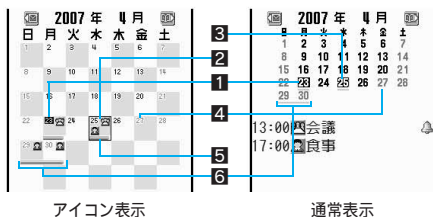
1 カレンダー画面でⓜ 3 1［表示切替］を押し、表示形式を選ぶ。

- 予定の内容を表示するときは、予定を選んで◉を押します（☞P.375）。

表示切替
1 通常表示
2 アイコン表示

通常表示にする	1
アイコン表示にする	2

■ カレンダー画面の見かた

アイコン表示　　通常表示

1 本日（反転表示）
2 選択している日（黒線枠で表示）
3 選択している日（緑色で表示）
4 休日設定されている日（赤色で表示）
5 登録されている予定（分類別にアイコンで表示）
- 視聴予約には［📺］、録画予約には［📼］が表示されます。

6 予定が登録されている日（アンダーライン表示）
- 2日以上の予定が登録されている日（アンダーライン表示）

スケジュールを登録する

ここでは、予定の日時と内容、分類、連絡先を登録する手順を例に、基本的な予定の登録方法を説明します。

- 開始日時と内容は必ず設定してください。

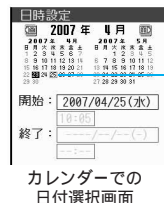
1 待受画面で◉ 9 2 7 1を押し、日を選んでⓘ［新規］またはⓜ 1［新規作成］を押す。

- アイコン表示カレンダーの場合は、ⓜ 1を押します。
- 予定の開始時刻前にアラームを鳴らしたり（☞P.373）、予定をシークレット登録する（☞P.374）こともできます。

予定登録画面

2 ［日時］を選んで◉を押し、予定の開始日を入力する。

カレンダーでの日付選択画面

選択している日
◎で日にちを選択します。

- カレンダーから日付を選ぶときは、ⓜ［切替］を押し、開始日を選んで◉を押します。

3 時間を入力して◉を押し、くり返し方法を選ぶ。

1回のみの予定を登録する	1→操作5へ
毎日くり返す予定を登録する	2
毎週1回の予定を登録する	3
毎月1回の予定を登録する	4
毎年1回の予定を登録する	5

- 時刻は24時間制で入力します。
- 終了日時を入力すると、［1回のみ］以外は選択できません。
- 終了日時をリセットするときは、ⓘを押します。

4 くり返しの回数（00〜99）を入力して◉を押す。

- くり返しの回数に「00」を入力したときは、くり返し回数が制限なしの予定が登録されます。

5 ［要約］を選んで◉を押し、要約を入力して◉を押す。

- 最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

6 ［分類］を選んで◉を押し、分類のアイコンを選んで◉を押す。

分類の種類

アイコン	分　類	アイコン	分　類
	分類なし		誕生日
	プライベート		趣味
	休日		デート
	旅行		カラオケ
	仕事		飲み会
	会議		買い物
	食事		習い事
	ドライブ		出張
	スポーツ		鑑賞
	記念日		病院

- 選択された分類名が表示されます。
- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

7 ［画像］を選んで◉を押し、静止画を選ぶ。

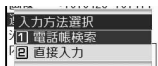
設定する	1→フォルダを選ぶ→◉→静止画を選ぶ→ⓘ ● 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉を押します。戻るときは、CLRを押します。
設定しない	2

- 動画／ｉモーションを選択することはできません。
- 選択された静止画のタイトル名が表示されます。
- 設定した画像は、予定リスト画面やスケジュール詳細画面で表示されます。

8 ［連絡先］を選んで◉を押し、入力方法を選んで連絡先を設定する。

- 連絡先を設定すると、スケジュール詳細画面やアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。

- ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。

電話帳から選択する	1→電話番号を選ぶ→◉ ● 電話番号が登録されていない電話帳は、連絡先として選択できません。
直接入力する	2→電話番号を入力→◉

9 ［内容］を選んで◉を押し、内容を入力して◉を押す。

- 最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

10 ⓘ［完了］を押す。

お知らせ

- microSDメモリーカードへのコピーについては、P.322を参照してください。
- 赤外線通信については、P.333を参照してください。
- ｉC通信については、P.337を参照してください。
- スケジュールをｉモードメールに添付したり、赤外線送信やｉC送信を行ったり、microSDメモリーカードにコピーした場合、スケジュールに登録された画像は削除されます。

スケジュールに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**microSD**メモリーカード（☞**P.318**）やドコモケータイ**datalink**（☞**P.406**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

関連操作

アイコン表示カレンダーから分類アイコンのみを登録する

カレンダー画面でⓜ 3 1 2 ▶日を選ぶ▶ⓘ▶分類アイコンを選ぶ▶◉

関連操作のお知らせ

スケジュールに登録される内容

日時	カーソル日＋操作した時間
要約	−
分類	選択したアイコンの分類
アラーム	OFF
画像	−
連絡先	−
シークレット	OFF
内容	［未入力］と入力されます。

アラームを設定する

予定の開始時刻前にアラームでお知らせするように設定できます。アラーム動作時の状態を設定できます。

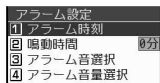
- 着信バイブレータ（☞P.121）を設定していると、アラーム動作時にもバイブレータが連動して動作します。
- 同じ時刻に複数のスケジュールアラームを設定した場合、設定した回数、アラームが鳴ります。

アラーム時刻	予定の開始時刻の何分前にアラームを鳴らすか設定します。
鳴動時間	アラームが鳴っている時間を変更できます。
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変更できます。

- 上記の設定は、予定登録画面（☞P.372）から行います。

アラームを設定する

お買い上げ時	アラーム時刻:00分　鳴動時間:15秒 アラーム音選択:着信音１ アラーム音量選択:音量５

1 スケジュールの予定登録画面(☞P.372)で[アラーム]を選んで◉を押し、1[ON]を押す。

アラーム設定画面

2 1[アラーム時刻]を押し、アラームを鳴らす時刻(予定開始時刻の何分前:**00〜99**)を入力して◉を押す。

3 ⓘ[完了]を押す。

- 予定登録画面に戻ります。

関連操作

アラームが鳴っている時間を変更する<鳴動時間>

アラーム設定画面で2▶鳴動時間(２桁:02〜99秒)▶◉

アラーム音を変更する<アラーム音選択>

1 アラーム設定画面で3
2 1[メロディ]
- 着うたフル®を設定するとき:2
- 動画／ｉモーションを設定するとき:3
- 設定しないとき:4

3 P.116の操作２を参照してアラーム音を選ぶ

アラーム音量を変更する<アラーム音量選択>

アラーム設定画面で4▶◯(上げる)／◯(下げる)▶◉

- アラーム音を鳴らさないとき:[サイレント]

シークレット登録する

予定をシークレット登録すると、端末暗証番号を入力してFOMA端末のシークレットモードを[ON]に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない予定を守ることができます。

- シークレットモードの設定方法については、P.154を参照してください。
- シークレット登録を解除するときは、あらかじめシークレットモードを[ON]に設定(☞P.154)してから操作してください。

1 スケジュールの予定登録画面(☞P.372)で[シークレット]を選んで◉を押し、1[ON]を押す。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、TV、Eco以外のいずれかのボタンを押します。連絡先が登録されているときは、アラームを止めると連絡先が表示されます(☞P.369)。

- アラーム音量がステップトーン以外のときは、◯(上げる)／◯(下げる)を押して音量を調節できます。
- スケジュールに画像が設定されていたり、アラーム音に映像を含んだｉモーションを設定していたり、連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール設定(画像)されている場合は、その画像や映像が次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	アラーム音に設定したｉモーション→スケジュールの画像→電話帳のピクチャーコール設定→グループピクチャーコール設定→通常のアラーム画像

通常のスケジュール

シークレットデータ

- シークレット登録している予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。シークレットモードを[ON]に設定(☞P.154)しているときは、表示されます。
- メモ／スケジュール／ToDo／アラームの機能別ロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の[ON]／[OFF]を設定できます。
- 公共モード(ドライブモード)設定中に設定した時刻になったときは、アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータ、サブディスプレイも動作しません。

休日を登録する<休日設定>

特定の日を休日に設定したり、毎週決まった曜日を休日に設定できます。休日は最大100件まで設定できます。また、自分で設定した休日をすべて解除したり、過去の休日のみすべて(曜日指定で設定した休日を除く)解除できます。

- 全解除を行うと、曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定(土曜日と日曜日が休日)に戻ります。

1 カレンダー画面(☞P.371)で休日に設定する日(休日を解除する日)を選んで📷41[休日設定]を押し、休日の設定方法を選ぶ。

- 毎週同じ曜日を休日に設定したり、休日をすべて解除するときは、日を選ぶ必要はありません。

選択した日を休日に設定／解除する	1 ● 休日に設定されている日を選んだときは、設定が解除されます。
毎週決まった曜日を休日に設定する	2→曜日を選ぶ◉(くり返し可)→📷 ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ[全選択]／ⓘ[全解除]を押します。

- 設定した休日は、赤色で表示されます。

関連操作

設定した休日をまとめて解除する<全解除>

1 カレンダー画面で📷 4 1

2 4 ▶［はい］▶ ⦿

- 過去の休日をすべて解除するとき：3 ▶［はい］▶ ⦿

関連操作のお知らせ

- 曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定（土曜日と日曜日が休日）に戻ります。

祝日を登録する<祝日設定>

- あらかじめ登録されている国民の祝日のほかに、最大20件まで設定できます。

1 カレンダー画面（☞P.371）で祝日に設定する日を選んで📷 4 2［祝日設定］を押す。

2 1［新規登録］を押す。

- 設定した祝日をすべて解除するときは、2［初期設定に戻す］を押し、［はい］を選んで⦿を押します。

3 祝日の設定方法を選ぶ。

「毎年○月○日」として設定する	1
「毎年○月第○○曜日」として設定する	2

4 祝日名を入力して⦿を押す。

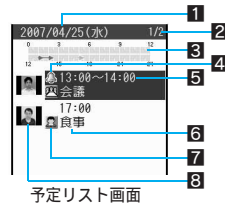
- 最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。
- 設定した祝日内容を変更するときは、スケジュール詳細画面で📷 1［編集］を押します。変更する日を入力して⦿を押し、操作3へ進みます。
- 設定した祝日は、赤色で表示されます。

スケジュールを確認する

登録されているスケジュールの内容を確認します。視聴予約や録画予約の内容も確認できます。分類別、連絡先別に表示できます。電話番号やメールアドレスが登録されているときは、電話をかけたりｉモードメールを送信できます。スケジュールをコピーできます。

1 待受画面で⦿ 9 2 7 1 を押し、日を選んで⦿を押す。

- 指定した日の予定がリストで５件まで表示されます（予定リスト画面）。
- ✉［前日］を押すと、前の日の予定一覧が表示されます。
- 📖［翌日］を押すと、次の日の予定一覧が表示されます。
- シークレット登録した予定を確認するときは、シークレットモードを［ON］に設定（☞P.154）してください。
- microSDメモリーカード内の予定を確認するときは、カレンダー画面で📷 7 を押します。

予定リスト画面

1 日付
2 当日に登録されている件数
3 タイムバー
スケジュールの開始時刻～終了時刻までの目安が、30分単位で表示されます。
4 アラームの有無
5 予定時刻
6 要約または内容※
7 分類アイコン
8 画像（マイピクチャに保存されている画像または電話帳に登録されている画像）

※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角８文字分（半角16文字分）が表示されます。
要約が登録されていないときは、内容の先頭全角８文字分（半角16文字分）が表示されます。

2 予定を選んで⦿を押す。

スケジュール詳細画面

- 画像が登録されているとき、⦿を押すと、画像を確認できます。
- 連絡先が登録されていると、電話番号が表示され、電話をかけることができます。電話帳に登録されているときは名前が表示されます。⦿を押すと電話帳内容表示画面（☞P.108）になり、電話をかけたりメールを送信できます。
- ✉［前日］を押すと１つ前に登録されている日の予定を確認できます。📖［翌日］を押すと次に登録されている日の予定の詳細を確認できます。複数の予定が登録されている日は⊙で切り替えて確認できます。
- 確認を終わるときは☎を押します。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などにMULTIを押すと、スケジュールを呼び出して予定を確認できます（☞P.364）。

関連操作

分類別に表示する<分類別表示>

待受画面で⦿ 9 2 7 1 ▶📷 3 3 ▶分類を選ぶ▶⦿

関連操作

連絡先別に表示する<連絡先別表示>
待受画面で◉⑨②⑦①▶Ⓜ③④▶連絡先を選ぶ▶◉

すべてのスケジュールを確認する<スケジュール全件表示>
待受画面で◉⑨②⑦①▶Ⓜ③②
- 予定を確認するとき：予定を選ぶ▶◉
- microSDメモリーカード内の予定を確認するとき：カレンダー画面でⓂ⑦

スケジュールから電話をかける
1 スケジュール詳細画面で◉[電話]
2 音声電話をかけるときは◉
- テレビ電話をかけるとき：Ⓘ
- プッシュトーク発信するとき：Ⓟ

スケジュールからｉモードメールを作成する
スケジュール詳細画面で◉[電話]▶アドレスを選ぶ▶◉[メール]▶ｉモードメール作成

スケジュールをｉモードメールに添付する<メール添付>
スケジュール詳細画面でⓂ④▶ｉモードメール作成

スケジュールをコピーする<コピー>
スケジュール詳細画面でⓂ⑤①
- コピーしたスケジュールは、メール本文や電話帳などの文字入力画面で、貼り付けたりすることができます。

スケジュールの機能別ロックを設定する<機能別ロック>
待受画面で◉⑨②⑦①▶Ⓜ⑧▶端末暗証番号を入力▶◉▶①

関連操作のお知らせ

ｉモードメールの作成について
- 予定からｉモードメールを作成できるのは、電話帳にメールアドレスも登録されているときのみです。

メール添付について
- 視聴予約や録画予約は添付できません。

スケジュールを修正する<編集>

1 待受画面で◉⑨②⑦①を押し、日を選んで◉を押し、予定を選んでⓂ②[編集]を押す。
- シークレット登録している予定を選ぶときは、シークレットモードを[ON]に設定（☞P.154）してください。

```
日時　：[ 2007/04/25 ]
要約　：[           ]
分類　：[プライベート]
アラーム：[ＯＦＦ    ]
画像　：[070423_10141]
連絡先：[090XXXXXXXX ]
シークレット：[ＯＦＦ    ]
内容　 食事
```

2 予定を修正し、Ⓘ[完了]を押して登録方法を選ぶ。
- 修正方法は、登録時の操作と同様です（☞P.372）。

新しい予定として登録する	①
予定を上書き登録する	②→[はい]→◉

■ 着信履歴、リダイヤルの連絡先を登録する
着信履歴やリダイヤルの電話番号をスケジュールの連絡先として登録できます。

1 着信履歴（☞**P.54**の操作１）またはリダイヤル（☞**P.53**の操作１）を選んでⓂ◌①[スケジュール作成]を押す。

スケジュールに登録される内容

	着信履歴	リダイヤル
日時	着信日時	発信日時
要約	−	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	−	
連絡先	電話番号	
シークレット	OFF	
内容	[未入力]と入力されます。	

2 スケジュールの内容を追加登録する（☞**P.372**の操作２〜**10**）。

■ ｉモードメールの本文を登録する
受信／送信メールの本文をスケジュールの内容として登録できます。
- ｉモードメールに添付されたファイルは、スケジュールの内容として登録できません。

1 受信メールを表示（☞**P.228**の操作１〜２）してⓂ⑦④[スケジュール作成]を押す。
- 送信メールのときは、送信メールを表示してⓂ⑧④を押します。

スケジュールに登録される内容

	受信メール	送信メール
日時	受信日時	送信日時
要約	−	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	−	
連絡先	差出人の登録されている電話帳の１つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません）	宛先の登録されている電話帳の１つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません）
シークレット	OFF	
内容	メールの題名と本文（全角100文字（半角200文字）まで）	

2 スケジュールの内容を追加登録する（☞**P.372**の操作２〜**10**）。

テキストメモの本文を登録する

テキストメモの本文をスケジュールの内容として登録できます。

1 待受画面で◉9282を押し、テキストメモを選んで⊚13[スケジュール作成]を押す。

スケジュールに登録される内容

日時	----/--/--
要約	–
分類	テキストメモに登録されている分類
アラーム	OFF
画像	–
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	テキストメモに登録されている本文

2 スケジュールの内容を追加登録する（☞P.372の操作2～10）。

マイピクチャの静止画を登録する

データBOXのマイピクチャの静止画を、スケジュールの静止画として登録できます。

- データBOXの動画／ｉモーションは、スケジュールの内容として登録できません。

1 静止画を選んで（☞P.296の操作1～3）、⊚38[スケジュール画像設定]を押す。

スケジュールに登録される内容

日時	静止画の保存日時
要約	–
分類	分類なし
アラーム	OFF
画像	静止画のタイトル名
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	[未入力]と入力されます。

2 スケジュールの内容を追加登録する（☞P.372の操作2～10）。

お知らせ

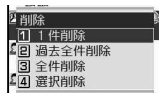
- カメラ撮影後のプレビュー画面で⊚33[スケジュール]を押すと、撮影した静止画をすぐに登録できます。なお、保存先をmicroSDメモリーカードに設定しているときは、スケジュールに登録できません。保存先をFOMA端末（本体）に設定してから撮影してください。
- microSDメモリーカード内の静止画は、直接スケジュールに登録できません。FOMA端末（本体）にコピーしてから登録してください。

スケジュールを削除する<削除>

予定は、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除する	予定を1件ずつ削除します。
過去全件削除する	指定した日の前日までのすべての予定を削除します。
全件削除する	すべての予定を削除します。
選択削除する	複数の予定をまとめて削除します。

1 待受画面で◉9271を押し、⊚32[スケジュール全件表示]を押し、予定を選んで⊚3[削除]を押す。

- 1件削除や選択削除でシークレット登録している予定を選ぶときは、シークレットモードを[ON]に設定（☞P.154）してください。
- 選択削除の場合は、操作2で予定を選択します。
- 過去全件削除の場合は、選択した予定の前日までの予定を削除します。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→[はい]→◉
過去のすべてを削除する	2→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉
すべてを削除する	3→端末暗証番号を入力→◉→[はい]→◉
複数をまとめて削除する	4→予定を選ぶ◉（くり返し可）→⊚→[はい]→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、ⓘ[全選択]／ⓘ[全解除]を押します。

関連操作

カレンダー画面から削除する

1 カレンダー画面で⊚2
2 1[過去全件削除]
- 全件削除するとき：2

3 端末暗証番号を入力▶◉▶[はい]▶◉

ToDoリスト

ToDoリストを登録する

行動予定の期限、内容などを登録して行動予定を管理できます。優先度を設定したり、行動予定の期限前にアラームでお知らせできます。また、行動予定をシークレット登録すると、端末暗証番号（☞P.144）を入力してシークレットモードを[ON]に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない行動予定を守ることができます。

- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください（☞P.45）。
- ToDoリストは最大100件まで登録できます。
- 2000年1月1日～2099年12月31日まで登録できます。

次ページへ続く▶▶

ここでは、行動予定の期限と内容、分類などを登録する手順を例に、基本的な行動予定の登録方法を説明します。

1 待受画面で◉9272を押し、Ⓜ[新規]またはⓂ1[新規作成]を押す。

行動予定登録画面

2 [期限]を選んで◉を押し、期限(時刻)を入力して◉を押す。

- 完了日を設定するときは、[完了日]を選んで◉を押し、完了日(時刻)を入力して◉を押します。
- 状態を設定するときは、[状態]を選んで◉を押し、状態を選んで◉を押します。
- 優先度を設定するときは、[優先度]を選んで◉を押し、優先度を選んで◉を押します。

3 [内容]を選んで◉を押し、内容を入力して◉を押す。

- 内容は最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。
- 要約を入力するときはこのあと、[要約]を選んで◉を押し、要約を入力して◉を押します。最大全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

4 [分類]を選んで◉を押し、分類のアイコンを選んで◉を押す。

- 分類の種類については、P.373を参照してください。
- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 Ⓜ[完了]を押す。

- 行動予定の内容が入力されていない場合、Ⓜを押しても完了することはできません。

お知らせ

- microSDメモリーカードへのコピーについては、P.322を参照してください。
- 赤外線通信については、P.333を参照してください。
- ｉC通信については、P.337を参照してください。

ToDoリストに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はmicroSDメモリーカード(☞P.318)やドコモケータイdatalink(☞P.406)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

関連操作

行動予定の期限前にアラームで知らせる <アラーム設定>

1 行動予定登録画面で[アラーム]▶◉
2 1
3 1[アラーム時刻]▶時刻(期限の何分前)を入力▶◉
- アラームに連絡先を登録するとき:5▶入力方法を選ぶ▶◉▶連絡先を設定▶◉

4 Ⓜ

行動予定をシークレット登録する<シークレット>

1 行動予定登録画面で[シークレット]▶◉
2 1

関連操作のお知らせ

アラーム設定について
- アラーム音の変更方法などについては、スケジュールのP.373「アラームを設定する」を参照してください。
- 連絡先を設定するとアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。

シークレットについて
- シークレットモードの設定方法については、P.154を参照してください。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、TV、Eco以外のいずれかのボタンを押します(☞P.370)。

通常の予定

シークレットデータ

- シークレット登録している行動予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。シークレットモードを[ON]に設定(☞P.154)しているときは、表示されます。
- メモ/スケジュール/ToDo/アラームの機能別ロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の[ON]/[OFF]を設定できます。
- 公共モード(ドライブモード)設定中に設定した時刻になったときは、アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータ、サブディスプレイも動作しません。

お知らせ

- アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくｉモーションの映像が表示されます。

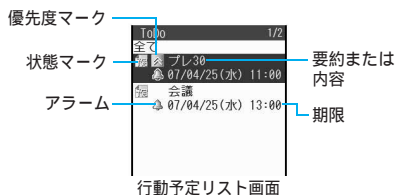
お知らせ

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールが表示されます。ピクチャーコールにｉモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。

ToDoリストを確認する

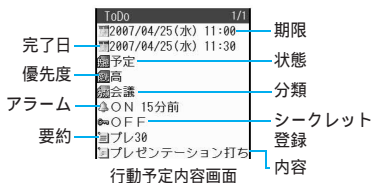
1 待受画面で⦿9272を押す。

- microSDメモリーカード内の予定を確認するときは、行動予定リスト画面で、MENU○1を押します。

行動予定リスト画面

※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角９文字分（半角18文字分）が表示されます。
要約が登録されていないときは、内容の先頭全角９文字分（半角18文字分）が表示されます。

2 行動予定を選んで⦿［表示］を押す。

内容をコピーする	MENU 2
確認を終了する	☎

行動予定内容画面

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などにMULTIを押すと、ToDoリストを呼び出して行動予定を確認できます（☞P.364）。

関連操作

状態を切り替える<状態切替>
待受画面で⦿9272▶行動予定を選ぶ▶MENU6▶項目を選ぶ▶⦿

状態別／分類別に表示する<状態別表示／分類別表示>
1 待受画面で⦿9272
2 MENU71
- 分類別表示をするとき：MENU72
3 項目を選ぶ▶⦿

関連操作

完了したToDoリストをチェックする
待受画面で⦿9272▶行動予定を選ぶ▶✉［☑］
- 未チェック（［未］）に戻すとき：すでに［完］が表示されている行動予定を選んで✉［☑］

ToDoリストをｉモードメールに添付する<メール添付>
待受画面で⦿9272▶行動予定を選ぶ▶MENU4▶ｉモードメール作成

ToDoリストの機能別ロックを設定する<機能別ロック>
待受画面で⦿9272▶MENU○2▶端末暗証番号を入力▶⦿▶1

関連操作のお知らせ

ToDoリストのチェックについて
- チェックすると、完了日時が自動的に登録されます。

ToDoリストを修正する<編集>

1 待受画面で⦿9272を押し、行動予定を選んでMENU2［編集］を押す。

2 行動予定を修正する。

- 修正方法は、登録時の操作と同様です（☞P.377）。
- 完了日を設定するときは、行動予定登録画面で［完了日］を選んで⦿を押します。行動予定の完了日（時刻）を入力して⦿を押します。

3 修正が終わったら📱［完了］を押し、登録方法を選ぶ。

新規登録する	1
上書き登録する	2→［はい］→⦿

ToDoリストを削除する<削除>

※ 状態別表示や分類別表示のときは、完了のみ削除、全件削除を行うことはできません。

1 待受画面で⦿9272を押し、行動予定を選んでMENU3［削除］を押す。

- ［完了のみ削除］、［全件削除］の場合は、削除したい行動予定を選択する必要はありません。

次ページへ続く

2 削除方法を選ぶ。

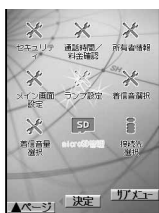
1件削除する	1→[はい]→●
完了したすべてを削除する	2→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●
すべてを削除する	3→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●
複数をまとめて削除する	4→行動予定を選ぶ●(くり返し可)→📷→[はい]→● ● すべてを選択/解除する場合は、[全選択]/[全解除]を押します

ショートカットメニュー
よく使う機能を手早く実行する

よく使う機能をあらかじめショートカットに登録しておくと、簡単な操作でその機能を表示できます。

ショートカットメニューを登録する

登録できるショートカットは、最大18件です。
FOMA端末には、あらかじめ次のショートカットが登録されていますが、よく使う機能やｉアプリのソフト、ブックマークを上書き登録できます。

SHORT CUT 1

SHORT CUT 2

1 登録したい機能(が表示されている)の画面でMULTIを1秒以上押す。

● ショートカットに登録したｉアプリのソフトそのものや、ブックマークのURLを削除すると、ショートカットメニューからも自動的に削除されます。

2 登録先を選んで●を押す。

3 上書き登録のときは、[はい]を選んで●を押す。

お知らせ

● 設定リセットを行うと、お買い上げ時のショートカットに戻ります。

ショートカットメニューを実行する

1 待受画面で○を押し、ショートカットアイコンを選んで●を押す。

● 登録している機能が実行されます。
● [SHORT CUT 1]の上段に登録したメニューは、1〜3に割り当てられ、待受画面で各ボタンを1秒以上押すことで実行できます。
● 待受画面で●を押してもショートカットメニューを表示できます。ただし、TOPメニューやズームメニューが表示されたときは[メニュー切替]を押してショートカットメニューに切り替えてください。待受画面で●を押すと、前回と同じメニューが表示されます。
● 待受画面にカレンダーを表示しているときは☎を押し、カレンダー表示を解除したあと、○を押してください。
● ショートカットメニューのページを切り替えるときは、✉[▲ページ]/📖[▼ページ]を押します。

お知らせ

● お買い上げ時に[SHORT CUT 1]の上段に登録されているメニューは、次のとおりです。

メニュー	割り当てボタン
予約リスト	1
赤外線受信	2
バーコードリーダー	3

ショートカットメニューから削除する

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、ショートカットアイコンを選んで📷2[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→[はい]→●
すべてを削除する	2→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●

● 選択したショートカットが削除され、ショートカットメニューに表示されなくなります。

ショートカットメニューのアイコンを移動する<アイコン移動>

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、ショートカットアイコンを選んで📷12[アイコン移動]を押す。

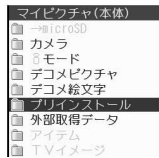
2 移動先を選んで●を押す。

● 最初に選んだショートカットと入れ替わります。

ショートカットメニューのアイコンを設定する<アイコン画像設定>

ショートカットメニューのアイコンを変更できます。１つのアイコンに非選択時用と選択時用の２枚の画像を設定し、切替表示できます。

- 横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。
- GIFアニメーションの場合は最大３シーンが切り替わります。選択時用の画像は設定できません。

1 ショートカットメニューを表示させた状態で、ショートカットアイコンを選んでⓜ11[アイコン画像設定]を押す。

2 フォルダを選んで◉を押し、非選択時用の静止画を選んでⓘ[決定]を押す。

- 非選択時用のアイコンが設定されます。
- 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉を押します。戻るときは、CLRを押します。

3 選択時用の静止画を選ぶ。

非選択時用と選択時用の画像を同じに設定する	[いいえ]→◉
選択時用の画像を別に設定する	[はい]→◉→フォルダを選ぶ→◉→静止画を選ぶ→ⓘ

- 操作２でGIFアニメーションを選択したときは、ショートカットメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ショートカットアイコンに設定できない画像は表示されません。
- あらかじめ内蔵されているショートカットメニューのアイコンは、GIFアニメーションです。
- マイピクチャの静止画をショートカットアイコンに設定した場合、元の静止画を削除しても、ショートカットアイコンの設定を変更するまでショートカットメニューの表示は変わりません。

ショートカットメニューのアイコンにアクションフォーカスを設定する<アクションフォーカス>

お買い上げ時　スターダスト

- GIFアニメーションが設定されている場合は、最後に表示される画像にアクションフォーカスを設定します。

1 ショートカットメニューを表示させた状態でⓜ3[アクションフォーカス]を押し、アクションフォーカスの種類を選ぶ。

グローブ	1	円が速度を変えながら回転します。
ターゲット	2	大きい四角形から小さい四角形になります。
ミスト	3	霧のような光の幕がかかります。
スターダスト	4	光がきらきら輝きます。
ウインドミル	5	３本の棒が次々に現れ、アイコンの下で回転します。
リップル	6	丸い枠が広がっていきます。
OFF	7	設定しません。

ショートカットメニューの背景を設定する<背景設定>

- JPEG画像、GIF画像が利用できます（Flash画像、GIFアニメーションは利用できません）。

1 ショートカットメニューを表示させた状態でⓜ4[背景設定]を押す。

2 フォルダを選んで◉を押し、静止画を選んでⓘ[決定]を押す。

- 静止画を確認するときは、静止画を選んで◉を押します。戻るときは、CLRを押します。

お知らせ

- 背景画像に設定できない静止画は、表示されません。
- マイピクチャの静止画を背景画像に設定した場合、元の静止画を削除しても、背景画像の設定を変更するまでショートカットメニューの表示は変わりません。

ショートカットメニューをリセットする<メニューリセット>

ショートカットメニューをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 ショートカットメニューを表示させた状態でⓜ5[メニューリセット]を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 [はい]を選んで◉を押す。

所有者情報登録

自分の名前や画像を登録する

お客様の所有者情報として、名前とフリガナ、自宅などの電話番号やメールアドレス、郵便番号、住所、誕生日、メモ、所有者画像を登録・変更できます。
電話番号はご契約の電話番号のほかに２件、メールアドレスは３件まで登録できます。

登録できる項目

● お買い上げ時は、取り付けたFOMAカードの電話番号のみが表示され、メールアドレスは未登録です。取得したｉモードメールアドレスを追加登録してください。

アイコン	登録項目
👤	名前（最大全角16文字／半角32文字）
ｶﾅ	フリガナ（最大半角32文字）
📱	ご契約の電話番号（編集不可）
☎	電話番号（２件、１件あたり最大26桁）
✉	メールアドレス（３件、１件あたり最大半角50文字）
〒	郵便番号（半角数字、最大７桁）
🏠	住所（最大全角50文字／半角100文字）
🎂	誕生日（半角数字、1900年１月１日～2099年12月31日まで）
📝	メモ（最大全角100文字／半角200文字）
🖼	所有者画像

1 待受画面で◉0を押し、◉［詳細］を押す。

2 端末暗証番号を入力して◉を押し、📷1［編集］を押す。

3 ◌で項目を選んでそれぞれの内容を登録する。
- 登録方法は、電話帳と同様です。詳しくは、P.98～P.100を参照してください。
- １つの項目の登録が終わると、操作２の画面に戻ります。続けて他の項目を登録できます。
- 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、誕生日、メモを削除するときは、各入力画面でCLRを押して削除します。所有者画像を削除するときは3を選びます。

4 必要な項目の登録が終わったら✉［完了］を押す。
- ◌で各項目のアイコンを選ぶと、登録した内容が表示されます。

お知らせ

- ｉモードメールアドレスは、お好みで変更できます（☞P.213）。
- ｉモードメールアドレスを変更しても、電話番号表示に表示されるメールアドレスは、自動的には変更されません。メールアドレスは登録し直してください。
- microSDメモリーカード内の電話帳の内容を所有者情報にコピーすることもできます（☞P.107）。

関連操作

自分のｉモードメールアドレスを確認する（ｉモードご契約者のみ）
待受画面で✉▶1［ｉMenu］▶［料金＆お申込・設定］▶◉▶［メール設定］▶◉▶［アドレス確認］▶◉

所有者情報の詳細を表示する

- 所有者情報の各項目の文字情報をコピーして、他の画面に貼り付けできます。

1 待受画面で◉0を押し、◉［詳細］を押す。

2 端末暗証番号を入力して◉を押す。
- ◌を押すと、登録した内容を順に表示できます。
- 所有者情報の項目をコピーするときは、◌でコピーする項目を選んで📷21を押します。コピーできる項目は、名前、ご契約の電話番号、電話番号、メールアドレス、住所、メモです。

お知らせ

- 赤外線通信機能を利用して、所有者情報を他のFOMA端末などに送信できます（☞P.335）。
- ｉC通信については、P.337を参照してください。

関連操作

ｉモードメールやSMS作成中にコピーする
1 待受画面で✉4▶［本文］▶◉▶📷82
- SMSのとき：待受画面で✉5▶［本文］▶◉▶📷62

2 ◉▶端末暗証番号を入力▶◉▶項目を選ぶ▶◉

所有者情報をmicroSDメモリーカードにコピーする<microSDへコピー>
所有者情報詳細画面で📷22▶［はい］▶◉

所有者画像を赤外線通信やｉC通信で転送したり、microSDメモリーカードにコピーしたりできないように設定する<画像転送設定>
所有者情報詳細画面で📷4▶2

通話中音声メモ／待受中音声メモ

通話中の相手の声や待受中の自分の声を録音する

音声電話の通話中に相手の声（通話中音声メモ）を録音したり、待受中に自分の声（待受中音声メモ）を録音できます。

- 録音した待受中音声メモを応答保留音（☞P.68）や保留音（☞P.68）、応答メッセージ（☞P.73）に設定できます。
- 録音時間は１件につき約15秒で、音声電話伝言メモの用件（☞P.71）と合わせて３件（１件あたり約15秒）まで録音できます。
- テレビ電話伝言メモは２件（１件あたり約15秒）まで録画できます。

通話中に相手の声を録音する ＜通話中音声メモ＞

1 音声電話の通話中に📷 2 [通話中音声メモ]を押す。

- 音声電話の通話中に 7 を１秒以上押しても操作できます。
- 録音時の注意点は、待受中に自分の声を録音するときと同様です（☞P.383）。
- 録音を止めるときは📷を押します（中止前までの内容は録音されています）。

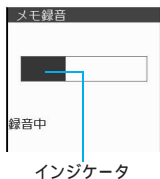
待受中に自分の声を録音する ＜待受中音声メモ＞

1 待受画面で◉ 9 2 8 5 を押し、1 [録音]を押す。

- 待受画面で 7 を１秒以上押しても操作できます。
- 録音が始まります。
- 送話口から約10cm以内でお話しください。
- 録音は約15秒で自動的に終わります。
- インジケータは目安です。
- 録音を止めるときは、◉[停止]を押します（中止前までの内容は録音されています）。

メモ録音
録音中
インジケータ

お知らせ

- 通話中音声メモ、待受中音声メモの再生／削除については、P.74を参照してください。
- 音声メモが３秒以下の場合、録音されないことがあります。
- 通話中音声メモでは、自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、自分の声が録音される場合もあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。
- 待受中音声メモ録音中、ボタン／待受ｉモーション音は鳴りません。

お知らせ

待受中音声メモ録音中に電話がかかってくると
- 録音は中止されます。📞を押すと電話に出ることができます（中止前までの内容は録音されています）。

録音した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いします。
- FOMA端末の録音内容は、使用誤りや静電気・電気的ノイズを受けたとき、また、故障・修理・FOMA端末の変更やその他取り扱いによって、録音内容が変化・消失してしまう場合もあります。万が一、録音した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電卓

電卓として使う

電卓用の画面で加算、減算、乗算、除算、パーセント計算、税計算などができます。
- 電卓計算例については、P.434を参照してください。

1 待受画面で◉ 9 2 8 1 を押す。
- 待受画面で計算用の数字を入力→◉ 4 を押しても操作できます。

2 計算用の数字を入力する。
- 次のボタンを押して、入力します。

キー	機能
0～9	０～９の数字
＊	小数点
＃	＋／－の切り替え※

※ 先に数値を入力してから ＃ を押すことにより、＋／－の切り替えができます。
- CLR を押すと、入力した数字がすべて消えます（数字が０のとき、CLR を押すと電卓が終了します）。

3 演算方法を選ぶ。
- 加減乗除は、マルチガイドボタンで指定します。

キー	演算	キー	演算
◉（上）	＋ 加算	◉（右）	－ 減算
◉（左）	× 乗算	◉（下）	÷ 除算

電卓画面

- 次の演算も指定できます。

キー	演算	キー	演算	キー	演算
✉	CM クリア メモリ	📖	RM メモリ 呼出し	ⓘ	% パーセント 計算
📞	TAX 税計算	📷	M+ メモリ加算		

4 計算用の数字を入力して◉[＝]を押す。
- 電卓を終了するときは、📞を押します。待受画面に戻ります。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- 電卓表示中にアラーム、スケジュールアラームまたは、ToDoアラームが動作しても待受画面には戻りません。アラーム動作終了後、電卓の画面に戻ります。
- メモリ計算をご利用の場合、電卓を終了しても計算結果は保存されています。

関連操作

税率を変更する

電卓画面で☎（1秒以上）▶税率（01～99の数字）を入力▶⦿

税額を計算する

計算結果を表示して☎［TAX］（税）

- 税抜額を計算するとき：計算結果を表示して☎［TAX］☎［TAX］（税抜）

計算内容をコピーする

計算中に☒（1秒以上）

関連操作のお知らせ

税計算について

- お買い上げ時は、税率は［5％］に設定されています。
- 税額は小数点以下切り捨てで計算されます。
例：120☎［TAX］と押すと、［5税］と表示されます。

通話時間／料金確認

通話時間／料金を表示する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間として音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、［0円］もしくは［¥¥¥¥¥¥円］が表示されます。
- テレビ電話と音声電話を切り替えて使用した場合の料金表示は、［音声電話通話料金○○円］、［テレビ電話通話料金○○円］と表示されます。複数回切り替えた場合は、音声電話、テレビ電話ごとに、それぞれが合算されて表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません（FOMAカードには蓄積されています）。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- PIN1コード・PIN2コードは4～8桁の数字を入力してください（☞P.144）。

通話明細を表示する

1 待受画面で⦿④⑦を押す。

- FOMAカード読み込み中のときは、［FOMAカード（UIM）読み込み中です］と表示されます。
- 一度もリセットしていない場合には、リセット日時は［----/--/--/(--)--:--］と表示されます。
- 積算通話料金をリセットすると、リセット日時にリセット時の積算通話料金が記録されます。
- 確認を終わるときは☎を押します。

通話時間／料金確認
音声電話通話時間 0分00秒
テレビ電話通話時間 0分00秒
64Kﾃﾞｰﾀ通信時間 0分00秒
リセット 上限通知

お知らせ

- プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 前回の通話時間が9時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 積算の通話時間が999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切ると、前回通話料金は［¥¥¥¥¥¥円］になります。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

通話時間と通話料金をリセットする

前回の通話時間および積算の通話時間・通話料金の記憶を「0」に戻すことができます。

1 待受画面で⦿④⑦を押し、ⓘ［リセット］を押す。

2 リセットする項目を選ぶ。

積算料金をリセットする	①→PIN2コードを入力→⦿→［はい］→⦿
積算通話時間をリセットする	②→端末暗証番号を入力→⦿→［はい］→⦿

- ［リセット日時］に、リセットした年月日が登録されます。

通話料金の上限を設定して知らせる <料金上限通知設定>

お買い上げ時 無効

設定した通話料金の上限を超えた通話が終了したあと、待受画面に戻ったときにメッセージを表示したり、アラームで知らせるように設定できます。毎月1日に通話料金のリセット通知を表示し、リセットできます。

1 待受画面で⦿47を押し、◎[上限通知]を押す。

2 1[料金上限通知設定]を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

3 [料金上限通知設定]を選んで⦿を押し、1[有効]を押す。

4 [料金上限額設定]を選んで⦿を押し、上限の料金を入力して⦿を押す。
- 10～100,000円の間、10円単位で入力できます。
- お買い上げ時は、0円に設定されています。

5 [通知方法選択]を選んで⦿を押し、2[待受け]を押す。
- アラームでも知らせるようにするときは、1を押し、アラーム音(☞P.370)/アラーム音量(☞P.370)/鳴動時間(☞P.370)を設定し、◉[完了]を押す。

6 [自動リセット]を選んで⦿を押し、自動リセットするかどうかを選ぶ。

設定する	1 ● 毎月1日午前0時を通過したとき、または日時設定(☞P.45)で翌月以降に日時を変更したときに、待受画面に[リセット時刻経過]が表示され、通話料金をリセットすることができます。
設定しない	2

7 ◉[完了]を押し、**PIN2**コードを入力して⦿を押す。

お知らせ
- 待受画面に料金上限通知メッセージが表示されている場合、料金上限通知を再設定すると、料金上限通知メッセージが削除されます。

関連操作

待受画面に表示された料金上限通知メッセージを削除する<通知あり表示削除>
待受画面で⦿47▶◎▶2▶端末暗証番号を入力▶⦿

関連操作

リセット通知画面から通話料金をリセットする
待受画面に[リセット時刻経過]が表示中に⦿▶⦿▶PIN2コードを入力▶⦿▶[はい]▶⦿

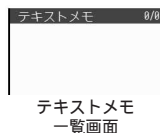
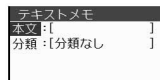
関連操作のお知らせ
通知あり表示削除について
- 料金上限通知メッセージを削除すると、積算通話料金をリセットするか、料金上限通知を再設定するまで、料金上限通知メッセージは表示されなくなります。

自動リセットについて
- リセットを中断したり、リセット確認画面で[いいえ]を選択してもリセット通知の表示は消去されます。翌月の1日午前0時になるまでリセット通知は表示されません。

テキストメモ
メモを入力する

よく利用する文章を登録しておき、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用できます。

1 待受画面で⦿9282を押す。
- テキストメモは、最大10件まで登録できます。また、20種類に分類できます。

テキストメモ一覧画面

2 ◉[新規]または◎11[新規作成]を押す。
- 登録したメモを確認するときは、メモを選んで⦿を押します。

3 [本文]を選んで⦿を押し、本文を入力して⦿を押す。
- 本文は最大全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

4 [分類]を選んで⦿を押し、分類のアイコンを選んで⦿を押す。
- 20種類の分類設定から選択できます。分類の種類については、P.373を参照してください。
- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 ◉[完了]を押す。

お知らせ
- microSDメモリーカードへのコピーについては、P.322を参照してください。
- 赤外線通信については、P.333を参照してください。
- iC通信については、P.337を参照してください。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

テキストメモに登録した内容は、別にメモを取るか、**microSD**メモリーカード（☞**P.318**）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合はドコモケータイ**datalink**（☞**P.406**）と**FOMA USB**接続ケーブル（別売）を利用して、テキストメモの内容をパソコンに保管することもできます。

メモを利用する

テキストメモに登録されているメモを、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用できます。

1 テキストメモ一覧画面（☞**P.385**）で、メモを選んで◉［表示］を押す。

2 メモを利用する機能を選ぶ。

メール作成に利用する	📷11 ● メール作成画面が表示されます。［本文］にメモの文章が入力されます。
スケジュールに利用する	📷12 ● 予定登録画面が表示されます。［内容］にメモの文章が、［分類］にメモの分類が入力されます。
ToDoリストに利用する	📷13 ● 行動予定登録画面が表示されます。［内容］にメモの文章が、［分類］にメモの分類が入力されます。

お知らせ

● 音声電話の通話中やメール作成中などにMULTIを押すと、テキストメモを呼び出して起動できます（☞P.364）。

登録したメモを修正する

1 テキストメモ一覧画面（☞**P.385**）で、メモを選んで📷2［編集］を押す。

2 メモを編集する。

● 編集方法は、登録時と同様です（☞P.385）。

3 修正が終わったら🔘［完了］を押し、登録方法を選ぶ。

新規登録する	1
上書登録する	2→［はい］→◉

メモを削除する

1 テキストメモ一覧画面（☞**P.385**）で、メモを選んで📷3［削除］を押す。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→［はい］→◉
複数を削除する	2→メモを選ぶ◉（くり返し可）→📷→［はい］→◉ ● すべてを選択／解除する場合は、🔘［全選択］／🔘［全解除］を押します。
すべてを削除する	3→端末暗証番号を入力→◉→［はい］→◉

関連操作

テキストメモの機能別ロックを設定する
＜機能別ロック＞
待受画面で◉9282▶📷7▶端末暗証番号を入力▶◉▶1

関連操作のお知らせ

● テキストメモで機能別ロック設定を行うと、**スケジュール、ToDoリスト、アラーム**も同時に機能別ロックが設定され、アラームとして設定した時刻になってもアラームは動作しません。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、スイッチを押すだけでメモリ番号に登録した相手に音声電話をかけたり、かかってきた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを受けることができます。

● イヤホンマイクは、次の単品あるいは組み合わせでご使用になれます。
 ■ 平型スイッチ付イヤホンマイク
 ■ スイッチ付イヤホンマイク ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
 ■ ステレオイヤホンセット P001 ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
 ■ イヤホンターミナル P001 ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
 この組み合わせには、これらとは別にステレオイヤホンが必要です。
● テレビ電話やプッシュトークの発信を行うときはFOMA端末のボタンを操作してください。
● イヤホンマイク端子のゴムカバーは無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクの動作を設定する<イヤホンマイク自動発信>

お買い上げ時 OFF

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチのみで音声電話をかけるように設定できます。あらかじめ相手の電話番号をFOMA端末(本体)電話帳に登録し、そのメモリ番号を指定します。

- FOMA端末(本体)電話帳のメモリ番号000〜749から1件のみ登録することができます。
- スイッチの操作でテレビ電話をかけることはできません。

1 待受画面で⦿6 2を押し、1[ON]を押す。

2 メモリ番号(3桁:000〜749)を入力して⦿を押す。

- イヤホンマイク自動発信が設定されます。

スイッチを使って音声電話をかける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する。

- イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 待受画面でスイッチを2秒以上押す。

- ディスプレイが微灯または消えているときは、いずれかのボタンを押すかスイッチを2回押し、ディスプレイを表示させてから操作してください。
- イヤホンマイク自動発信で設定したメモリ番号に登録されている電話番号に自動的に発信します。
- イヤホンマイク自動発信で設定したメモリ番号に電話番号が複数登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に発信します。1件目に電話番号が登録されていないときは2件目に、2件目にも登録されていないときは3件目の電話番号に発信します。

3 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す。

- FOMA端末の☎を押しても、電話を切ることができます。

お知らせ

- イヤホンマイク自動発信に設定したメモリ番号がシークレット登録されている場合は、シークレットモードを[ON]に設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続したままカバンなどに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
- 電話帳の機能別ロック中は、電話をかけることができません。
- スイッチのないイヤホンマイクを接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまうおそれがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、ボタン/待受ｉモーション音は、イヤホンから聞こえます。
- イヤホンからの受話音量は受話音量調節(☞P.67)で設定されている音量で聞こえます。

スイッチを使って電話を受ける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する。

- イヤホンマイク端子に、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 電話がかかってくると、着信音が鳴る。

- 着信音は、着信音出力切替(☞P.122)で設定したところから流れます。

3 スイッチを2秒以上押す。

- FOMA端末の☎を押しても、電話がつながります。
- FOMA端末を閉じているときにテレビ電話がかかってきたときは、スイッチを押すと代替画像設定(☞P.78)で設定した代替画像が送信されます。FOMA端末を開いているときは、自分側のカメラ映像が送信されます。

4 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す。

- FOMA端末の☎を押しても、電話を切ることができます。

お知らせ

- 着信音が鳴ってから接続する場合、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。
- スイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しく働かないことがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- 通話中にプラグの差し込みが不完全な場合は「プー」という音がしますが故障ではありません。
- 電源を入れた瞬間に「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。

オート着信設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時 OFF

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを自動的に受けるように設定できます。

- 音声電話やテレビ電話のときは、自動的に電話を受けるまでの時間(着信時間)を設定できます。
- オート着信設定を[ON]に設定していても、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません(プッシュトークを除く)。

1 待受画面で⦿6 3 2を押す。

2 項目を選び、オート着信を設定する。

音声電話、テレビ電話を設定する	1 1→着信時間(3桁:000〜120秒)を入力→⦿ ● 電話を受けるまでの時間を入力せずに⦿を押すと、電話がかかってくると約2秒後に自動的に電話を受けます(お買い上げ時は、[2秒]に設定されています)。 ● 着信時間を[000秒]に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますので、ご注意ください。
プッシュトークを設定する	2 1

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否・許可などの機能を利用して電話を受けないようにしている相手から電話がかかってきた場合、自動的に電話を受けることはできません。
- オート着信設定と伝言メモ応答時間設定は、同じ時間に設定できません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスをオート着信設定と同時に設定しているときに、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を同じ時間に設定した場合、留守番電話サービスや転送でんわサービスが優先される場合があります。
  オート着信設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりもオート着信設定の着信時間を短く設定してください。
- オート着信設定のプッシュトークとプッシュトーク電話帳のオート着信設定(☞P.92)は連動しており、どちらかを[ON]にすると同時に設定されます。また、マナーモード設定時はオート着信できません。
- テレビ電話がかかってきたときは、代替画像設定で設定した代替画像が相手に送信されます。そのあと、自分側の映像をカメラ映像に切り替えることができます(☞P.77)。

設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定できる内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態については、P.418〜P.425「メニュー一覧」を参照してください。
- きせかえツールが設定できる項目は、本体色にかかわらず、プリインストールフォルダ内のきせかえツール[White](本体色White用)の設定となります。きせかえツールが設定できる項目については、P.136「きせかえツールを利用する」を参照してください。

1 待受画面で⦿#を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

2 [はい]を選んで⦿を押す。

お知らせ

設定リセットを行うと

- 次のものはリセット(削除・変更)されません。リセットするときは、それぞれのページを参照してください。

日時設定(☞P.45)	ToDoリスト(☞P.379)
端末暗証番号(☞P.145)	画面メモ(☞P.192)
所有者情報(☞P.382)	送受信/未送信メール(☞P.234)
電話帳指定着信許可リスト(☞P.155)	署名の登録内容(☞P.237)
電話帳指定着信拒否リスト(☞P.156)	ネットワークサービスの設定(☞P.392〜P.401)
伝言メモなどの録音内容(☞P.74)	電話帳の登録内容(☞P.112)
データBOXのデータ(☞P.329、P.332)	microSDメモリーカード内のデータ(☞P.327)
カメラで撮影した画像(☞P.329、P.332)	テキストメモ(☞P.386)
Bilingual(☞P.141)	ユーザ辞書(☞P.414)
アラーム(☞P.371)	ダウンロード辞書(☞P.415)
スケジュール(☞P.377)	

- iモードの設定のリセットについては、P.199を参照してください。
- メールの設定のリセットについては、P.240を参照してください。
- ワンセグ設定リセットについては、P.286を参照してください。
- 設定リセットを行うと、iチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、iチャネルテロップが自動的に表示されます。

ユーザデータ削除

登録データを一括して削除する

お客様が登録されたデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 端末暗証番号はお買い上げ時の番号[0000]に戻ります。
- FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- データ一括削除中は、他の機能を使用できません。また、音声電話／テレビ電話の着信やメールの受信、アラーム、ワンセグ予約録画などは動作しません。
- データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、一括削除できないことがあります。
- データ一括削除を行っているときは、電源を切らないでください。
- お買い上げ時に登録されているデータBOXのメロディのプリインストールフォルダ内のメロディ、マイピクチャのプリインストールフォルダ内の静止画、GIFアニメーション、Flash画像は削除されません。キャラ電、iモーション、デコメール用画像（デコメピクチャ、デコメ絵文字、テンプレート）、きせかえツール、PDFデータは削除されます。
- お買い上げ時の状態については、P.418～P.425「メニュー一覧」を参照してください。

削除されるデータ	電話帳、プッシュトーク電話帳、データBOX内の静止画・動画・メロディ・キャラ電・着うたフル®・PDFデータ・きせかえツール、iアプリ、メール、メッセージR／F、ブックマーク、画面メモ、ダウンロード辞書、音声メモ、テキストメモ、ToDoリスト、アラーム設定、着信履歴、リダイヤル、送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、URL履歴、署名、ユーザ辞書、ブックリーダーのしおり、フォルダ※、SMS（ショートメッセージ）、iアプリメールのデータ、メールテンプレート、伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）、バーコードリーダーで読み取ったデータ、スケジュール（登録・変更した祝日を含む）、トルカ、ラストURL、電話帳通信履歴、着もじメッセージ、ソフトウェア更新予約情報、予約録画履歴
削除されないデータ（お買い上げ時の状態に戻るデータ）	各種設定リセット（☞P.388）の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。 ● メイン画面設定、サブ画面設定、着信メロディ設定、伝言メモ応答メッセージ、定型文、学習機能、各種設定、端末暗証番号、日時設定、TOPメニュー、ショートカットメニュー、通話時間、各種画面カスタマイズ設定、応答メッセージ登録、USSD登録、所有者情報（ご契約の電話番号以外）、プッシュトークグループ、プッシュトーク設定、メールメンバー、URL入力、プレフィックス設定、データBOXのマイピクチャ・iモーション・メロディ・マイドキュメントの各種動作設定、メール設定、iモード設定、iアプリ設定、放送用保存領域のデータ、テレビリンク、チャンネルリスト

※ お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されません。

1 待受画面で⦿⑦⑧①を押す。

2 ⦿[確認]を押し、端末暗証番号を入力して⦿を押す。

- [20分程度かかる事がありますがよろしいですか？]と表示されます。

3 [はい]を選んで⦿を押す。

- [削除後再起動しますがよろしいですか？]と表示されます。

4 [はい]を選んで⦿を押す。

- データ削除完了後にFOMA端末が再起動します。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているiアプリ、キャラ電、iモーション、デコメール用画像、きせかえツールは、iMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります（☞P.192、P.195、P.206、P.247）。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- 他の機能が動作中は、一括削除できません。
- 削除するデータが多い場合は、データ一括削除に時間がかかる場合があります。
- データ一括削除中は、表示が乱れることがありますのでFOMA端末を閉じないでください。
- ユーザデータ削除を行うと、iチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、iチャネルテロップが自動的に表示されます。
- iアプリのGガイド番組表リモコン、ケータイクレジット「iD（アイディ）」、DCMXクレジットアプリは削除されません。

シークレットデータをまとめて削除する <シークレットデータ削除>

電話帳、スケジュール、ToDoリストにシークレット登録したデータを、一括して削除できます。

- シークレットモードを[ON]／[OFF]どちらに設定していても、削除できます。

1 待受画面で⦿⑦⑧②を押す。

2 端末暗証番号を入力して⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	ページ
留守番電話サービス	要	有料	P.392
キャッチホン	要	有料	P.394
転送でんわサービス	要	無料	P.395
迷惑電話ストップサービス	要	無料	P.396
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.46
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.68
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.70
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.397
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.397
英語ガイダンス	不要	無料	P.398
マルチナンバー	要	有料	P.400
OFFICEED	要	有料	P.401

※「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

お知らせ

- ネットワークサービスは、ネットワークサービスセンターに接続して操作するサービスのため、圏外のときは操作できません（公共モード（ドライブモード）は圏外でも設定できます）。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます（☞P.401）。

留守番電話サービス

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ（☞P.71）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、待受画面に［着信あり］と表示されます。

お知らせ

- 伝言メッセージの録音時間は1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件で、最長72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間（呼出時間は変更できます：☞P.392）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を［0秒］に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときにテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、留守番電話サービスに接続し、メッセージ録音／録画が開始されます。また、設定した呼出時間内に応答すると、留守番電話サービスに接続せずに、そのまま通話できます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください（☞P.50）。

留守番電話サービスの基本的な流れ

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。
STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP 3　音声電話／テレビ電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音／録画する。
STEP 5　伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスを開始／停止する
<留守番電話サービス開始／留守番サービス停止>

留守番電話サービスを開始する

1 待受画面で●413を押す。

2 開始方法を選ぶ。

サービスを開始する	1→［はい］→●
呼出時間を設定してからサービスを開始する	2→呼出秒数（000～120秒）を入力→●→［はい］→●

- 留守番呼出時間は、待受画面で●414を押しても設定できます。

留守番電話サービスを停止する

1 待受画面で●415を押し、［はい］を選んで●を押す。

伝言メッセージを聞く＜留守番メッセージ再生＞

1 待受画面で⦿4 1 2を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

2 音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージを再生する。

お知らせ

- 待受画面に[留守録音あり ○件]が表示されているときに⦿を押すと、[留守番メッセージ再生しますか？]と表示されます。[はい]を選び、⦿を押すとメッセージを再生できます。ただし、待受画面にｉアプリを設定しているときは、CLRを押すと表示が消えます。
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- テレビ電話の伝言メッセージの場合は、「1417」へテレビ電話でかけてメッセージを再生することができます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する＜留守番サービス設定＞

1 待受画面で⦿4 1 7を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

2 音声ガイダンスの指示に従って9を押し、設定する。

不在案内を変更する	1
応答メッセージまたは名前のアナウンスの確認・変更をする	2
発信者番号案内の確認・変更をする	3

新しい伝言メッセージがあるか確認する＜メッセージ問合せ＞

1 待受画面で⦿4 1 1を押す。

- 音声電話の伝言メッセージが入っていると、待受画面に[留守録音あり ○件]が表示されます。
- テレビ電話の伝言メッセージが入ったときは、伝言メッセージがあることをお知らせするSMSを受信します。

留守番電話サービスの設定を確認して変更する＜留守番設定確認＞

1 待受画面で⦿4 1 6を押す。

- 現在の設定内容が表示されます。

停止中の場合

2 ◙を押し、機能を選ぶ。

サービスを開始する	1 1→[はい]→⦿
呼出時間を設定してからサービスを開始する	1 2→呼出秒数(000～120秒)を入力→⦿→[はい]→⦿
サービスを停止する	2→[はい]→⦿
呼出時間を変更する	3→呼出秒数(000～120秒)を入力→⦿

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする＜件数増加鳴動設定＞

1 待受画面で⦿4 1 8 1を押し、1[ON]を押す。

- 件数増加鳴動が設定されます。

伝言メッセージマークを消去する＜表示消去＞

伝言メッセージが届いたことを示す[留守録音あり ○件]を消去できます。

1 待受画面で⦿を押し、[TOPメニュー]を選んで⦿4 1 8 2を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

- [留守録音あり ○件]が消去されます。
- 待受画面に[留守録音あり ○件]が表示されているときにCLRを1秒以上押しても消去できます。

お知らせ

- 伝言メッセージが留守番電話センターに残っているとき、[留守録音あり ○件]を消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行ったり、新しい伝言メッセージが録音されると、再び表示されます。

着信通知機能を利用する＜着信通知開始／着信通知停止＞

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

- SMS一括拒否を設定していても、履歴は通知されます。
- SMSの受信は無料です。
- 1通のSMS受信で最大5件までお知らせいたします。

着信通知を開始する

1 待受画面で⦿4 1 9 1を押す。

2 発信者番号非通知の着信を通知するかどうかを選ぶ。

着信を通知する	[はい]→⦿→[はい]→⦿
着信を通知しない	[いいえ]→⦿→[はい]→⦿

- 着信通知の開始画面で[はい]を選択すると、着信通知が開始されます。

着信通知を停止する

1 待受画面で⦿4192を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

着信通知の設定を確認する

1 待受画面で⦿4193を押す。
- 現在の設定内容が表示されます。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中着信動作選択」(☞P.399)を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 圏外のときは、キャッチホンの設定はできません。

お知らせ
- 通話中のテレビ電話を保留にして、音声電話やテレビ電話に出る、またはかけることはできません。
- 通話中の音声電話を保留にして、かかってきたテレビ電話に出る、またはかけることはできません。

キャッチホンを開始/停止する<キャッチホンサービス開始/キャッチホンサービス停止>

キャッチホンを開始する

1 待受画面で⦿421を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

キャッチホンを停止する

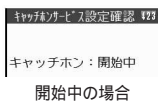
1 待受画面で⦿422を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

お知らせ
- 通話保留中も発信者の方の料金は加算されます。
- キャッチホンを停止しても、通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることはできます。

キャッチホンの設定を確認する

1 待受画面で⦿423を押す。
- 現在の設定内容が表示されます。

キャッチホンサービス設定確認 423
キャッチホン:開始中

開始中の場合

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、☎を押す。
- 最初の方との通話は自動的に保留になり、新しくかかってきた音声電話を受けることができます。
- ☎を押すたびに通話の相手を切り替えることもできます。

《マルチ接続中》
0:02

2 新しくかかってきた方との通話が終わったら、☎を押す。
- ☎を押すと、最初の方と通話できます。

保留中の音声電話を終わらせるとき
- ⓜ3[保留呼切断]を押します。

お知らせ
- 音声電話通話中にテレビ電話がかかってきても、テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってきても、通話中に「ププ…ププ…」と聞こえず、電話に出ることもできません。音声電話やテレビ電話終了後、待受画面に戻ると[着信あり]と表示されます。

通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、☎を押す。
- 新しくかかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 ☎を押す。
- 新しくかかってきた電話の方と通話できます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルする。
- 電話帳、着信履歴、リダイヤルから選ぶこともできます。

2 ☎を押す。
- 新しくかけた相手と通話できます。
- 最初の方との通話は自動的に保留されます。
- 保留中の相手がいるとき、☎を押して通話する相手を切り替えることができます。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら、☎を押す。
- 新しくかけた相手との通話が終了します。
- ☎を押すと、最初の方と通話できます。

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（☞P.71）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、待受画面に［着信あり］と表示されます。

お知らせ

- テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れず、転送中のメッセージが画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間（呼出時間は変更できます：☞P.395）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、あらかじめ登録されている転送先に転送します。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を［０秒］に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときは、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動的に転送させることもできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します。
- 圏外のときは、FOMA端末から転送でんわサービスの設定はできません。このような場合は、プッシュ式の一般電話、公衆電話などからネットワーク暗証番号を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定で遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

STEP１　転送先の電話番号を登録する。
STEP２　転送でんわサービスを開始する。
STEP３　お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP４　音声電話／テレビ電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスを開始／停止する
＜転送サービス開始／転送サービス停止＞

転送でんわサービスを開始する

1. 待受画面で◉４３１を押す。
2. ３［転送先電話番号入力］を押し、転送先電話番号を入力する。

直接入力する	１→電話番号を入力→◉
電話帳から入力する	２→名前を選ぶ→◉→◉

3. ２［呼出秒数設定］を押し、呼出秒数（３桁：**000**～**120**秒）を入力して◉を押す。
4. １［転送サービス開始］を押し、［はい］を選んで◉を押す。

お知らせ

- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。
- 着信音が鳴っている間に応答すると、転送されずに通話できます。

転送でんわサービスを停止する

1. 待受画面で◉４３２を押し、［はい］を選んで◉を押す。

音声電話通話中にかかってきた音声電話を転送先へ転送する

1. 通話中着信音が鳴っている間に📷２［着信転送］を押す。
   - かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

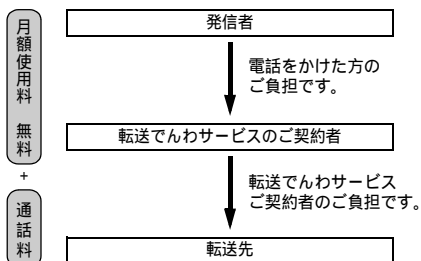
着信音が鳴っているときに電話を転送先へ転送する

1. 着信音が鳴っている間に📷２［着信転送］を押す。
   - かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。
   - テレビ電話のときは📷３を押します。

転送ガイダンス有・無を設定する場合

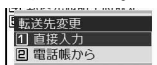
1. 待受画面で１４２９☎を押す。
   - 音声ガイダンスに従って設定してください。

転送でんわサービスの料金

■ 通話料金

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止などの操作の通話料は無料です。

転送先を変更する<転送先変更>

1 待受画面で⦿[4][3][3]を押し、入力方法を選んで電話番号を修正する。

転送先変更
[1] 直接入力
[2] 電話帳から

直接入力する	[1]→電話番号を入力→⦿
電話帳から入力する	[2]→名前を選ぶ→⦿→⦿

2 転送でんわサービスを開始するかどうかを選ぶ。

変更のみ	[1]
変更してからサービスを開始する	[2]

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対する<転送先通話中時設定>

- 留守番電話をご利用になるには、留守番電話サービス（月額使用料：有料）のお申し込みが必要です。

1 待受画面で⦿[4][3][4]を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

転送サービス設定を確認する<転送サービス設定確認>

1 待受画面で⦿[4][3][5]を押す。
- 現在の設定内容が表示されます。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記憶されません。

お知らせ
- 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話を拒否登録できない場合があります。

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録する<迷惑電話着信拒否登録>

1 待受画面で⦿[4][4][1]を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

電話番号を選択して着信拒否登録する<電話番号指定拒否登録>

1 待受画面で⦿[4][4][2]を押し、選択先を選ぶ。

着信履歴から選択する	[1]→電話番号を選ぶ→⦿→[はい]→⦿
リダイヤルから選択する	[2]→電話番号を選ぶ→⦿→[はい]→⦿
電話帳から選択する	[3]→電話番号を選ぶ→⦿→[はい]→⦿

- すでに30件登録されているときは、[限度数を超えました。最も古い登録を削除し、迷惑電話を登録しますが、よろしいですか？]と表示されます。[はい]を選んで⦿を押すと、上書き登録されます。

登録した電話番号をすべて削除する<迷惑電話全登録削除>

1 待受画面で⦿[4][4][3]を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

最後に登録した電話番号1件のみを削除する

1 待受画面で◉④④④を押し、[はい]を選んで◉を押す。
- 最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作をくり返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

拒否登録した電話番号の件数を確認する ＜拒否登録件数確認＞

1 待受画面で◉④④⑤を押す。
- 現在の拒否登録件数が表示されます。

お知らせ
- 迷惑電話番号を削除する方法は、すべて削除、または最後に登録した1件の削除のいずれかです。特定の番号のみの削除はできません。

各サービス利用時の応答

次の各サービスの開始中に迷惑電話着信拒否登録した方から着信があった場合、次のようになります。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否登録した電話番号からプッシュトーク着信があった場合、相手に音声ガイダンスは流れず、切断されます。

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、待受画面に[着信あり]の表示もされません。
- 発信者番号が通知されないプッシュトークの着信があった場合、ガイダンスは流れず、切断します。

各サービス利用時の応答中の着信とサービスとの関係

番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合、次の各サービスの開始中に、発信者番号を通知しない着信があった場合、次のようになります。

サービス名	発信者番号を通知しない方への応答
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話着信拒否登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービスを開始する ＜番号通知サービス開始＞

1 待受画面で◉④⑥①を押し、[はい]を選んで◉を押す。

番号通知お願いサービスを停止する ＜番号通知サービス停止＞

1 待受画面で◉④⑥②を押し、[はい]を選んで◉を押す。

設定内容を確認する＜サービス設定確認＞

1 待受画面で◉④⑥③を押す。
- 現在の設定内容が表示されます。

デュアルネットワークサービス

デュアルネットワークサービスを利用する

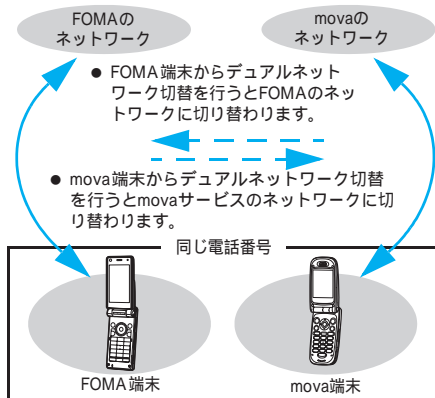
お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。
- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- ネットワーク暗証番号は4桁の数字を入力してください(☞P.144)。

■ デュアルネットワークサービスの切り替え

FOMAの
ネットワーク

movaの
ネットワーク

● FOMA端末からデュアルネットワーク切替を行うとFOMAのネットワークに切り替わります。

● mova端末からデュアルネットワーク切替を行うとmovaサービスのネットワークに切り替わります。

● 一部のサービスはご利用になれません。
● FOMAとmovaを同時にご利用いただくことはできません。
● デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

FOMA端末を使えるようにする ＜デュアルネットワーク切替＞

FOMAのネットワークに切り替えます。

1 待受画面で⦿⑤②①を押す。
● ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 ネットワーク暗証番号を入力して⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。
● ネットワーク切替が終了します。

お知らせ
● ネットワーク切替を行うときは、アンテナ表示でサービスエリアであることを確認してください。FOMA端末、mova端末の画面の[Yıll]は、電波状態を示しているもので、ネットワーク利用可能、不可能の状態を示しているものではありません。

設定内容を確認する ＜デュアルネットワーク状態確認＞

1 待受画面で⦿⑤②②を押す。
● 現在の設定内容が表示されます。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
● 圏外のときは、英語ガイダンスの設定はできません。
● 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

■ 利用できるガイダンスの種類

	メニュー項目	ガイダンスの内容
発信時（ネットワークサービス設定時に流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	英語	すべて英語ガイダンスで流れます。
着信時（相手がかけてきたときに流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

1 待受画面で⦿⑤③①を押し、ガイダンスの種類を選ぶ。

発信時と着信時	1
発信時のみ	2
着信時のみ	3

発着信選択
1 発信＋着信
2 発信のみ
3 着信のみ

2 言語の種類を選ぶ。

発信時のガイダンス		着信時のガイダンス	
日本語	1	日本語	1
英語	2	日本語＋英語	2
		英語＋日本語	3

設定内容を確認する＜ガイダンス設定確認＞

1 待受画面で⦿⑤③②を押す。
● 現在の設定内容が表示されます。

ガイダンス設定確認 532
発信時の言語は
「日本語」
着信時の言語は
「日本語」
に設定されています

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 待受画面で⦿5 4を押し、項目を選び[はい]を選んで⦿を押す。

ドコモ故障問合せ	1	故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。
ドコモ総合案内・受付	2	総合案内・受付へ電話をかけることができます。

お知らせ

- 故障問い合わせをする前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」(☞P.438〜P.440)を参照してお調べください。
- お客様がご使用のFOMAカードによっては、「ドコモ故障問合せ」や「ドコモ総合案内・受付」などが表示されない場合があります。
  表示されない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」や「故障お問い合わせ先」などを電話帳に登録しておくと便利です。

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

お買い上げ時 通常着信

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の音声電話通話中にかかってきた音声電話にどのように対応するかを設定できます。

- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。

選択できる着信動作

留守番電話	通話中にかかってきた電話を留守番電話サービスに自動で接続します。留守番電話サービスの「開始」／「停止」に関係なく、伝言メッセージをお預かりします。
転送でんわ	通話中にかかってきた電話を転送でんわサービスに自動で接続します。転送でんわサービスの「開始」／「停止」に関係なく、登録してある電話番号に転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた電話の着信を自動で拒否します。
通常着信	キャッチホンが「開始」に設定されている場合、キャッチホンの動作となります。キャッチホンが「停止」に設定されている場合、次のいずれかの動作が可能です。 ● 通話中の電話を終了し、かかってきた電話に出ることができます。 ● 通話中にかかってきた電話を手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスが「開始」に設定されているときは、その設定に従います。

- キャッチホンを使用するときは、[通常着信]に設定してください。
- 通話中着信動作選択がいずれの設定の場合でも、通話中に着信があったことを着信履歴でお知らせします。

1 待受画面で⦿4 9を押し、着信動作を選ぶ。

留守番電話	1	着信拒否	3
転送でんわ	2	通常着信	4

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

通話中着信設定を「開始」に設定すると、音声電話通話中に別の音声電話を受けたときに、通話中着信動作選択(☞P.399)に従い着信させることができます。

- 圏外のときは、通話中着信設定はできません。

通話中着信設定を開始する ＜通話中着信設定開始＞

1 待受画面で⦿4 8 1を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

通話中着信設定を停止する ＜通話中着信設定停止＞

1 待受画面で⦿4 8 2を押し、[はい]を選んで⦿を押す。

設定内容を確認する＜通話中着信設定確認＞

1 待受画面で⦿4 8 3を押す。

- 現在の設定内容が表示されます。

遠隔操作設定
遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
- FOMAのサービスエリア外でも操作できます。
- 遠隔操作を行う前に、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。
- 圏外のときは、遠隔操作設定はできません。

遠隔操作を開始する＜遠隔操作開始＞

1 待受画面で◉5 1 1を押し、[はい]を選んで◉を押す。

遠隔操作を停止する＜遠隔操作停止＞

1 待受画面で◉5 1 2を押し、[はい]を選んで◉を押す。

設定内容を確認する＜遠隔操作設定確認＞

1 待受画面で◉5 1 3を押す。
- 現在の設定内容が表示されます。

公衆電話などからネットワークサービスの操作をする

- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する詳しい方法は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

マルチナンバー
マルチナンバーを利用する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号１と付加番号２の最大２つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。
- それぞれの番号に、名称と着信音（☞P.116）を設定できます。
- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号１／付加番号２）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

マルチナンバーを登録する＜電話番号設定＞

お買い上げ時　着信音：着信音１

- 「基本契約番号」は電話番号の削除はできません。
- 登録した電話番号と名称は、発信時のマルチナンバー選択画面や着信画面で表示されます。

1 待受画面で◉5 6 3を押し、登録する番号を選んで◉を押す。

2 名称を入力して◉を押す。
- 最大全角７文字（半角14文字）まで入力できます。

3 電話番号を入力して◉を押す。
- 電話番号は26桁まで入力できます。「P」は入力できません。

4 着信音を選んで◉[決定]を押す。
- 着信音の設定について詳しくは、P.116を参照してください。

電話をかけるときに発信番号を選ぶ

1 待受画面で電話番号を入力する。

2 ◉4[マルチナンバー選択]を押す。

3 使用する電話番号を選んで◉を押す。
- マルチナンバーを選択後は、ダイヤル入力はできません。

4 ☎を押す。
- 選択した電話番号から発信します。

お知らせ
- 着信履歴またはリダイヤルから登録した電話番号を選んで電話をかけるときは、相手を選び◉5を押して操作３～４を行います。
- 上記操作のほか、電話番号のあとに「¥590#」、「¥591#」、「¥592#」を入力して発信することができます。「¥590#」を入力した場合は「基本契約番号」、「¥591#」を入力して発信した場合は「付加番号１」、「¥592#」を入力して発信した場合は「付加番号２」を発信元番号として発信します。その場合、サブメニューから[マルチナンバー選択]でマルチナンバー発信元を選択すると、選択したマルチナンバー発信元情報が優先され発信されます。

使用する発信番号を設定する<通常発信番号設定>

● すべての発信先に、設定した電話番号で電話をかけることができます。

1 待受画面で⦿561を押す。

2 使用する電話番号を選んで⦿を押し、[はい]を選んで⦿を押す。
● 設定した電話番号で発信するようになります。

マルチナンバーの設定内容を確認する<通常発信番号設定確認>

1 待受画面で⦿562を押す。
● 現在の設定内容が表示されます。

マルチナンバーを修正する

1 待受画面で⦿563を押す。

2 番号を選んで⦿1[修正]を押す。
● 修正方法は登録時の操作と同じです。

マルチナンバーを削除する

1 待受画面で⦿563を押す。

2 番号を選んで⦿2[削除]を押す。

3 [はい]を選んで⦿を押す。

OFFICEED

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS(屋内基地局設備)で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には、別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご確認ください。

追加サービス(USSD)

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。
● 圏外のときは、追加サービスの設定はできません。
● FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを登録できます。
● サービスコードが提供される場合、FOMA端末には「USSD」として登録されます。

サービスを登録する<USSD登録>

● 新しいネットワークサービスは最大10件登録できます。

1 待受画面で⦿551を押す。

2 登録する番号を選んで📷1[編集]を押し、サービス名を入力して⦿を押す。
● 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

3 追加するサービスの特番またはサービスコードを入力して⦿を押す。

登録したサービスを利用する

1 待受画面で⦿551を押す。

2 サービスを選んで⦿[発信]を押す。

登録したサービスを削除する

1 待受画面で⦿551を押す。

2 サービスを選び、削除方法を選ぶ。

1件削除する	📷2→[はい]→⦿
すべてを削除する	📷3→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿

登録したサービスの受信表示を編集する<応答メッセージ登録>

1 待受画面で⦿552を押す。

2 受信表示を選び、編集する。

編集する	📷1→受信表示名を入力→⦿→特番またはサービスコードを入力→⦿ ● 受信表示名は最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
1件削除する	📷2→[はい]→⦿
すべてを削除する	📷3→端末暗証番号を入力→⦿→[はい]→⦿

データ通信

データ通信について、詳細は付属のCD-ROM※内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。
PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照願います。

※ 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、TOP画面が表示されます。[取扱説明書]→[データ通信マニュアル（PDFファイル）]をクリックします。
何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[FOMA_SH903iTV]を選んで右クリックし、[エクスプローラ]をクリックし、[manual]をダブルクリックし、[SH903iTV_J_Manual.pdf]をダブルクリックします。

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea、sigmarionⅡ、sigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。musea、sigmarionⅡを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信できます（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です）。
パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。
データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます（☞P.364）。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売）や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。
FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話を接続する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどを接続する場合は、赤外線通信とFOMA USB接続ケーブルを使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

動作環境の確認

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境	
	通信設定ファイル FOMA PC設定ソフト	FirstPass PCソフト
パソコン本体	PC/AT互換機 USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要	PC/AT互換機
OS	Windows 2000、Windows XP(各日本語版)	
必要メモリ※	Windows 2000:64MB以上 Windows XP:128MB以上	Windows 2000:32MB以上 Windows XP:128MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	—	Windows 2000:Internet Explorer 5.5以上 Windows XP:Internet Explorer 6.0以上

※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」と「FirstPass PCソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)、またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)
- CD-ROM「FOMA SH903iTV用CD-ROM」(付属)

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」、または「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では、「FOMA USB接続ケーブル」の場合で説明しています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ通信用語集

APN(Access Point Name)
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid(Context Identifier)
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では1番から10番まで使えます。

DNS(Domain Name System)
ドメインネーム(例:nttdocomo.co.jp)を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

IrDA(Infrared Data Association)
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

IrMC(Ir Mobile Communications)
携帯電話どうしやPDA(携帯情報端末)間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

OBEX(Object Exchange)
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS(Quality of Service)
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム(IMT-2000)の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー
OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

※ FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」(お申し込み必要)が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。
また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。
詳しくは付属のCD-ROM内のFirstPassManualをご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「データ通信マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書(PDF)が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

収録ソフト／PDF

- SH903iTV通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- PDF版「データ通信マニュアル」／「Manual for Data Communication」
- PDF版「区点コード一覧」／「KutenCode List」
- Adobe® Reader®7.0
- mopera U のご案内

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告はInternet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
[はい]をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境によって異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属されているCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途FOMA USB接続ケーブル(別売)の購入が必要となります。

文字入力

「区点コード一覧」について、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。

文字入力
文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字入力が必要な機能がいくつかあります。
実際にお使いになる前に、文字入力のしくみを覚えておいてください。

文字入力変換方式について

かな方式	1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられ、ボタンを数回押すことにより目的の文字を入力する方式です。各ボタンの文字の割り当てについては、P.428～P.429を参照してください。表示を逆戻りさせるときは[☎]を押します。
2タッチ方式	2つの数字を組み合わせて文字を入力する方式です。数字の組み合わせと入力できる文字(変換方法)については、P.430を参照してください。

- 文字入力変換方式の選択方法については、P.416を参照してください。
- それぞれの入力方式には、文字の種類に合わせた入力モードがあります(☞P.410、P.416)。

入力できる文字の種類

全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号、絵文字
半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号

- 全角文字の数字は、全角英数字入力モードで入力できます。
- 詳しくは、P.428～P.430を参照してください。

近似予測変換と連携予測について

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時は、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止できます(☞P.416)。
- 学習された変換候補をすべてリセットできます(☞P.415)。

お知らせ

- 文字入力画面のデザインは、機能により異なります。

かな方式
かな方式で文字を入力する

漢字・ひらがな・カタカナ(全角)を入力する

漢字モードで、ひらがなを入力して漢字・ひらがな・カタカナ(全角)や記号などに変換します。

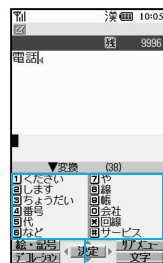
1 文字入力画面でダイヤルボタンを押してひらがなを入力する。

- 押す回数で文字が変わります。
- ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、[→]を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。

例:「あい」 [1]→[→]→[1][1]または[1]→[1](1秒以上)→[1]

- カタカナや英数字を入力するときは、[i]を押します。押すたびに入力モード(文字の種類)が切り替わります。

2 [↕]で変換候補欄にカーソルを移動し、文字を選んで[●]を押す。

- 変換候補のリスト番号に対応した[1]～[9]、[0]、[*]、[#]を押しても入力できます。
- 選択をやめるときは、[CLR]を押します。文字入力画面にカーソルが戻り、入力を続けることができます。

変換候補欄

次のリスト画面を表示する	[i][次ページ]→[i][次ページ] ● リストの最後の候補にカーソルがあるときは[i][次ページ]を1回押します。
前のリスト画面を表示する	[✉][前ページ]→[✉][前ページ] ● リストの最初の候補にカーソルがあるときは[✉][前ページ]を1回押します。
目的の漢字に変換されないとき	● 文字入力画面にカーソルがあるときは[↔]で変換の対象になる文字(反転している文字)の区切りを変えて変換し直します。 ● 変換候補欄にカーソルがあるときは[☎][⇐文節]または[📷][文節⇒]で文字の区切りを変えます。 ● ワンタッチ変換するときは[↑]を押します(☞P.409)。

お知らせ

文字入力を中止するとき

- 文字入力を中止し1つ前の画面に戻るには、[CLR]を押します。すでに文字を入力しているときは、[CLR]を押してすべての文字を削除(☞P.410)したあと、[CLR]を押します。
  文字の途中にカーソルがあるときは、[CLR]を1秒以上押す操作を2回くり返し、[CLR]を押します。

関連操作

濁点(゛)を付ける
文字を入力▶[＊]

半濁点(゜)を付ける
文字を入力▶[＊][＊]

小文字に変換する
文字を入力▶[メール][大/小]

文末にスペースを入力する
文末で[→]

入力を取り消し、元に戻す<UNDO機能>
文字を入力▶操作(削除、切り取り)確定▶[クリア]

文字表示サイズを変える<文字サイズ設定>
1 文字入力画面で[カメラ]▶[文字入力/辞書設定]▶[●]▶[2]
2 [1][大きい文字]/[2][標準]/[3][小さい文字]

操作ガイドを表示する<操作ガイド>
文字入力画面で[カメラ]▶[操作ガイド一覧]▶[●]

関連操作のお知らせ

濁点、半濁点について
- 半角カタカナの場合、[＊]を1回押すと濁点(゛)、2回押すと半濁点(゜)、3回押すと長音(ー)、4回押すと改行(↲)が追加されます。5回押すと再び濁点(゛)に戻ります。追加された文字は1文字として数えられます。
- 全角かなの場合、[＊]を1回押すと濁点(゛)、2回押すと半濁点(゜)、3回押すと元の文字に戻ります。

小文字について
- 英字の場合は、小文字に変換され、入力モードも小文字になります。

スペース入力について
- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは1文字として数えられます。

入力の取り消し(**UNDO**機能)について
- [クリア]を11回以上押すと、[UNDO　これ以上元にもどせません]と表示され、10回前の画面に戻ります。メール本文入力中は1回のみ取り消しできます。
- 文字編集が終了すると、記憶されている操作はクリアされます。
- 入力画面によってはUNDO機能を利用できない場合があります。

文字サイズ設定について
- 文字サイズ設定できない文字入力画面もあります。
- [大きい文字]は24ドット、[標準]は20ドット、[小さい文字]は16ドットです。
- メール本文入力画面でサブメニューからデコレーションを選択し、文字サイズの変更を行った場合、変更前の文字サイズを基準に、一段階大きいドットまたは小さいドットに変更できます。変更可能なドットは、30/24/20/16/12ドットです。
- 文字の表示(太さ)も設定できます(☞P.141)。

1文字変換について

変換によって入力した漢字を再度入力するときには、先頭の1文字を入力するだけで漢字に変換できます。

入力したい漢字が見つからないとき

<単漢字変換>

漢字の音読みや訓読みを入力して1文字ずつ漢字を入力できます。

1 文字入力画面でひらがなを入力して[i][単漢字]を押す。

2 漢字を選んで[●]を押す。

お知らせ

- 変換できる漢字は、JIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形もしくは省いています。

漢字変換用の文字を簡単に指定する

<ワンタッチ変換>

ワンタッチ変換を使うと、押したボタンに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例:「おはよう」と入力する場合

1 文字入力画面で[1][6][8][1]を押す。

- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- 濁点・半濁点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを1回押したあと、濁点・半濁点を入力します。
例:「勉強」の場合
「[6][＊][0][2][8][1]」と入力

2 [↑]を押す。

- ワンタッチ変換状態のとき、[i][⇐文節]または[カメラ][文節⇒]で、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。

- ワンタッチ変換の変換候補が表示されているときに[CLR]を押すと、変換前のひらがなに戻ります。この状態で[↓]を押すと、通常変換の変換候補が表示されます。
- 電話帳登録のとき、ワンタッチ変換で名前を入力してもフリガナは自動的に入力されません。

3 文字を選んで⦿を押す。

■ 推測頭出し変換について

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「あ」を入力した場合「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

- 表示される言葉は、あらかじめ登録されています。
- 表示される言葉は、5:00〜10:59、11:00〜16:59、17:00〜22:59、23:00〜4:59の時間帯で変わります。

■ ワンタッチ１文字学習について

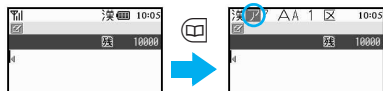
以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字（「あたあさわ」と入力してワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合は「あ」）を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果（「お父さん」）が表示されます。

かな方式の入力モードの種類と切り替え方法

かな方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

■ 入力モードの種類

- ■ 漢字・ひらがな　■ 全角カタカナ　■ 半角カタカナ
- ■ 全角英数字　■ 半角英数字　■ 半角数字
- ■ 区点コード

1 文字入力画面で[文字]を押す。

- [文字]を押すたびに、[ア]（全角カタカナ）→[ｱ]（半角カタカナ）→[A]（全角英数字）→[A]（半角英数字）→[１]（半角数字）→[区]（区点コード）→[漢]（漢字・ひらがな）の順に入力モードが切り替わります。
- [文字]を押したあとは、◯を押しても同様に切り替えられます。◯を押すと、逆の方向に切り替わります。

お知らせ

- 文字入力画面で[絵・記号]と表示されているときは、[絵・記号]を押すと、絵文字入力モードや記号入力モードに切り替わります（☞P.412）。

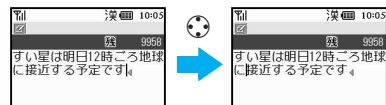
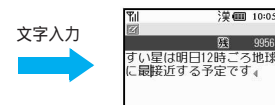
文字を修正する

■ 文字を追加する

1 追加したい文字の位置にカーソルを移動し、追加する文字を入力する。

例：「接近」の前に「最」を追加する場合

追加したい位置にカーソルを移動

文字入力

カーソル位置に追加される

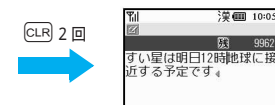
■ 文字を削除する

1 削除したい文字の左側にカーソルを移動し、CLRを押す。

- カーソル右側の文字が消えます。
- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソル位置の文字が消えます。

例：「ごろ」を削除する場合

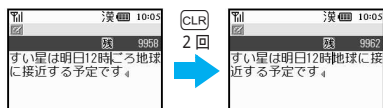
削除したい位置にカーソルを移動

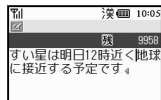
CLR 2回

文字が削除される

- CLRを１秒以上押すと、カーソル位置に応じて文字をまとめて削除できます。
  - ■ カーソルの前後に文字があるときやカーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
  - ■ カーソルの前にだけ文字があるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

■ 文字を変更する

1 変更したい文字を削除し、文字を入力する。

例：「ごろ」を「近く」に変更する場合

変更したい位置にカーソルを移動　　文字が削除される

文字入力

カーソル位置に追加される

カタカナ（半角）を入力する

1 [文字]を数回押して[ｱ]を表示する。

2 ダイヤルボタンを押して半角カタカナを入力する。

- 次の文字を入力するか、◯または◯を押すと確定されます。
- ｉモードメールの本文入力時は、◉で確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◯を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを１秒以上押します。
  例：「アイ」　1→◯→1 1または1→1（1秒以上）→1

関連操作

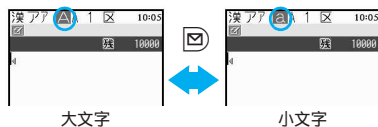
かなをカタカナ（全角／半角）に変換する
<カナ英数字変換>
ひらがなを入力 ▶ ◎ ▶ 全角カタカナ／半角カタカナ ▶ ◉

英数字を入力する

■ 英字を入力する

1 [文字]を数回押して[A]または[A]を表示する。

- [A]を表示したときは全角英数字、[A]を表示したときは半角英数字が入力できます。
- ✉を押すと大文字と小文字が切り替わります。文字を入力後に✉を押して、直前に入力した文字を変換できます。

大文字　　小文字

2 ダイヤルボタンを押して英字を入力する。

- 次の文字を入力するか、◯または◯を押すと確定されます。
- ｉモードメールの本文入力時は、◉で確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◯を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを１秒以上押します。
  例：「AB」「ab」　2→◯→2 2または2→2（1秒以上）→2
- 漢字モードで英単語の固有名詞（例「はうす」など）を入力し、変換候補から半角英字（例「House」、「house」など）を選んで入力できます。
- 漢字モードでひらがな（例「ひとみ」）を入力し、変換候補から半角ローマ字（例「hitomi」など）を選んで入力できます。

■ 数字を入力する

1 [文字]を数回押して[１]を表示する。

2 ダイヤルボタンを押して数字を入力する。

- すぐに確定されます。
- 全角数字は、全角英数字モード（大文字／小文字）で、入力したい数字のダイヤルボタンをくり返し押すと入力できます。
  例：「１」を入力するとき→1を５回押す
  　「２」を入力するとき→2を７回押す（大文字の場合）／2を４回押す（小文字の場合）
- 漢字モードでひらがなを入力し、カナ英数字変換候補から数字を選んで入力できます。

関連操作

かなを英字／数字に変換する<カナ英数字変換>
ひらがなを入力 ▶ ◎ ▶ 英字／数字 ▶ ◉

関連操作のお知らせ

- 変換候補には、ボタンに割り当てられている数字や英字が表示されます。
  例：「いき」（1 1 2 2）と入力して◎[カナ英数]を押すと、「イキ（全角カタカナ）」、「ｲｷ（半角カタカナ）」、「１２（全角数字）」、「12（半角数字）」、「／Ｂ（全角英字の大文字）」、「/B（半角英字の大文字）」、「／ｂ（全角英字の小文字）」、「/b（半角英字の小文字）」、「１１２２（全角数字）」、「1122（半角数字）」が表示されます。

バーコードリーダーを利用して入力する

ｉモード接続中に、JANコードやQRコードを読み取って文字入力画面で入力できます（☞P.185「サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力」）。

1 サイトやインターネットホームページの文字入力画面で📷 6 3［バーコードリーダー］を押す。

2 データを読み取る。

- バーコードリーダーの利用方法については、P.176を参照してください。

定型文を利用する<定型文挿入>

あらかじめ登録されている固定定型文（☞P.433）や、自分で登録した自作定型文（☞P.413）、メールアドレスなどを簡単に入力できます。

1 文字入力画面で📷を押し、［定型文挿入］を選んで⦿を押す。

- 文字入力画面で✉を1秒以上押しても表示できます。
- すべての定型文を表示するときは、ⓘを押します。定型文選択（全表示）画面が表示されます。

定型文挿入画面

2 定型文の分類を選んで⦿を押す。

3 定型文を選んで⦿を押し、定型文を確認して⦿を押す。

■ メールアドレスなどを簡単に入力する

- メールアドレスなどは半角で入力されます。

1 文字入力画面で📖を1秒以上押し、定型文を選んで⦿を押す。

お知らせ

- 定型文選択（全表示）画面を表示したとき、定型文は最後に使用されたものから、使用された順番に表示されます。

絵文字／記号を入力する

絵文字や記号を入力できます。メールの本文と署名にはデコメ絵文字を入力することもできます。

- デコメ絵文字一覧表（☞P.432）
- マルチメディアの機能別ロック中は、デコメ絵文字を入力できません。

1 文字入力画面でⓘを押して［絵文字］／［記号］を切り替える。

次のリスト画面を表示する	📖［次ページ］→📖［次ページ］ ● リストの最後の絵文字または記号にカーソルがあるときは📖［次ページ］を1回押します。
前のリスト画面を表示する	✉［前ページ］→✉［前ページ］ ● リストの最初の絵文字または記号にカーソルがあるときは✉［前ページ］を1回押します。

2 絵文字または記号を選んで⦿を押す。

- 連続して入力できます。
- 絵文字入力中の操作は次のとおりです。

絵文字1／絵文字2／デコメ絵文字を切り替える	📷 ● メール本文／署名作成の場合は、📷を押すたびに、絵文字1→絵文字2→絵文字D（デコメ絵文字）→絵文字1･･･に切り替わります。 ● メール本文／署名作成以外の場合は、📷を押すたびに、絵文字1→絵文字2→絵文字1･･･に切り替わります。
元の入力モードに戻る	CLR

- 記号入力中の操作は次のとおりです。

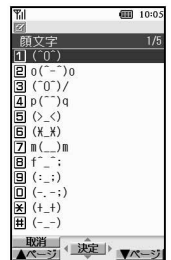
全角記号と半角記号を切り替える	📷
元の入力モードに戻る	CLR

お知らせ

- メール作成中にデコメ絵文字を入力すると、デコメールになります。
- 絵文字の「見出し（ヨミ）」を入力して絵文字に変換できます。P.431「絵文字一覧」を参照してください。
- 入力できる記号・特殊文字については、P.430「記号・特殊文字一覧」を参照してください。
- 一覧の1行目に表示される絵文字または記号は、最近使用された10個の記号が表示されます。
- 2タッチ方式でも同様に操作できます。

顔文字を入力する<顔文字>

顔文字一覧表（☞P.433）

1 文字入力画面で📷を押し、［顔文字］を選んで⦿を押す。

次のリスト画面を表示する	㊞[▼ページ]→㊞[▼ページ] ● リストの最後の行にカーソルがあるときは㊞[▼ページ]を1回押します。
前のリスト画面を表示する	✉[▲ページ]→✉[▲ページ] ● リストの最初の行にカーソルがあるときは✉[▲ページ]を1回押します。

2 顔文字を選んで◉を押す。
- 数字を押しても入力できます。

お知らせ
- ひらがなで「かお」と入力すると、漢字の候補と共に顔文字も表示されます。

定型文登録
定型文を修正／登録する

よく使う言葉を自作定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を修正できます。
- あらかじめ登録されている定型文については、P.433を参照してください。
- 定型文は全角64文字（半角128文字）まで入力できます。
- 定型文をお買い上げ時の状態に戻すこともできます。

1 待受画面で◉3 2 3を押し、6[自作定型文]を押す。
- 登録されている定型文を修正するときは、1～5のいずれかを押します。

2 登録する番号を選んで㊂[編集]を押す。

3 定型文を入力して◉を押す。

■ 定型文をお買い上げ時の状態に戻す<リセット>
定型文のリセットを行うと、修正／登録した定型文を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
リセットできる種類は次のとおりです。

1件リセットする	指定した定型文を1件ずつリセットします。
フォルダ内をリセットする	指定した分類内の定型文をすべてリセットします。
全件リセットする	すべての定型文をリセットします。

関連操作

1件リセット／フォルダ内リセットを行う
<1件リセット／フォルダ内リセット>
1 待受画面で◉3 2 3▶分類を選ぶ▶◉▶定型文を選ぶ▶㊂
- 編集していない定型文のフォルダにはサブメニューが表示されません。

2 1[1件リセット]
- フォルダ内の定型文をすべてリセットするとき：2

3 [はい]▶◉

関連操作

すべての定型文をリセットする<全件リセット>
1 待受画面で◉3 2 3▶㊂
2 [はい]▶◉

文字コピー
文字の切り取り・コピーと貼り付け

連続した文字列をコピー／切り取りして、他の場所に貼り付けることができます。
- 同じ画面へも、他の文字入力画面へも貼り付けできます（サブメニューが表示されていない画面へは貼り付けできません）。
- 切り取りした場合、指定した文字列は元の位置から削除されます。
- 他の画面へ一度に切り取り・コピーできる文字数は、最大全角5000文字（半角10000文字）までです。
- コピー／切り取りして文字を記憶できるのは1件のみです。新たにコピー／切り取りを行うと、前に記憶していた文字に上書きされます。

文字をコピーする／切り取る

例：テキストメモの文字をコピーまたは切り取る場合

1 文字入力画面で、コピーまたは切り取る最初の文字にカーソルを移動する。

2 コピーまたは切り取りを選ぶ。

コピーする	㊂1→◉
切り取る	#（1秒以上） ● メニューで操作するときは、㊂2を押し、◉を押します。

3 最後の文字にカーソルを移動して◉を押す。
- 文字列が選択され、反転表示されます（反転表示されている文字列が、コピーまたは切り取りの対象になります）。
- ◌を1秒以上押すと、操作1で指定した開始位置以降のすべての文字を選択できます。
- ◌を1秒以上押すと、操作1で指定した開始位置以前のすべての文字を選択できます。

メールの本文などをコピーする

例：受信メールの本文をコピーする場合

1 受信したメールを表示し、㊂6 2[コピー]を押す。
- 送信メールのときは、送信メール表示画面で㊂7 2を押します。
- 未送信メールのときは、メール作成画面で[本文]を選んで◉を押し、㊂3を押します。操作3に進みます。

2 コピーする項目を選ぶ。

アドレスをコピーする	1 ● アドレスがコピーされ、操作が終了します。
題名をコピーする	2
本文をコピーする	3

3 コピーする最初の文字にカーソルを移動して⦿[開始]を押す。

4 コピーする最後の文字にカーソルを移動して⦿[コピー]を押す。

文字を貼り付ける

例：新規メールの本文に文字を貼り付ける場合

1 貼り付け先の文字入力画面を表示し、貼り付ける位置にカーソルを移動して✱を1秒以上押す。

- メニューで操作するときは、📷5を押し、貼り付ける位置にカーソルを移動して⦿を押します。
- 記憶されている文字列が、カーソルの位置に挿入されます。

お知らせ

- 電話帳の「フリガナ」入力欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付けした場合、記憶されている文字列内の半角文字のみ入力されます。また、貼り付け先に応じて入力可能な文字数分のみ貼り付けされます。
- コピー／切り取りした文字列は、新たにコピー／切り取りするか、電源を切るまで記憶しています。

区点コード入力

区点コードで入力する

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付与されている固有の番号です。
- 「区点コード一覧」について、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面で📖[文字]を数回押して[区]を表示する。

2 4桁の区点コードを入力する。

- 4桁目を押すと、コード入力した文字が表示されます。
- 区点コードを押し間違えたときは、4桁目を押す前にCLRを押すと、数字が消えます。正しい数字を入力し直してください。

単語登録（ユーザ辞書）

よく使う単語を登録する

よく使う単語に見出し語（全角ひらがな最大8文字）を付けて、最大100語まで登録できます。登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され、簡単に入力できます。

- 同じ見出し語は5件まで登録できます。

単語を新規登録する

1 待受画面で⦿321を押す。

- ユーザ辞書一覧画面が表示されます。
- 単語と見出し語のリストを切り替えるときは、📱を押します。

2 [新規登録]を選んで⦿を押す。

3 単語を入力して⦿を押す。

- 最大全角15文字（半角30文字）まで入力できます。
- 改行は入力できません。

4 見出し語を入力して⦿を押す。

- ひらがなで入力します（最大全角8文字）。

登録した単語を修正する

1 待受画面で⦿321を押し、単語を選んで⦿を押す。

2 単語を修正して⦿を押す。

3 見出し語を修正して⦿を押し、登録方法を選ぶ。

- 修正しないときは、そのまま⦿を押して登録方法を選びます。

新規登録する	1 ● 同じ見出し語がすでに5件登録されている場合は、新規登録できません。
上書き登録する	2

登録した単語を削除する

1 待受画面で⦿321を押し、単語を選んで📷1[削除]を押す。

2 [はい]を選んで⦿を押す。

変換学習クリア
学習された変換候補をリセットする

近似予測変換や連携予測機能などで学習された変換候補を、すべてリセットできます。

- 絵文字や記号の変換候補もリセットされます。

1 待受画面で◉③②④を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

2 [はい]を選んで◉を押す。

ダウンロード辞書
ダウンロードした辞書を使用する

お買い上げ時	辞書登録なし

FOMA端末には、サイトやインターネットホームページから日本語変換用の辞書をダウンロードして、最大10件まで登録できます。このうち5件の辞書を、漢字変換用の辞書として使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。

- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換できます。
- 辞書のダウンロード方法については、P.194を参照してください。

使用辞書を設定／解除する

1 待受画面で◉③②②を押す。

- 登録されている辞書が表示されます。現在使用中の辞書には、[■]が表示されます。

2 辞書を選び、使用辞書を設定または解除する。

使用辞書を設定／解除する	ⓜ① ● すでに5件使用を設定されているときは、[使用辞書登録は最大5つまでです]と表示されます。現在使用中の辞書を解除してから、やり直してください。 ● すでに設定されている使用辞書を選んだときは、解除されます。
辞書の情報を確認する	ⓜ④ ● 辞書の情報(タイトル、作者、バージョン、ダウンロード日時など)が表示されます。CLRまたはⓘ[戻る]を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力画面でⓜを押し、[文字入力／辞書設定]を選択して③⑤[ダウンロード辞書切替]を押しても、設定／解除の操作ができます。

辞書の内容を確認する

1 待受画面で◉③②②を押し、辞書を選んで◉[表示]を押す。

- 単語の詳細情報を表示するときは、◉[詳細]を押します。
- 確認を終了するときは、CLRを押します。
- 見出し語の一覧を確認するときは、ⓘ[切替]を押します。ⓘを押すたびに、「単語の一覧」と「見出し語の一覧」が切り替わります。

辞書を削除する

登録されている辞書を1件ずつ、またはすべての辞書をまとめて削除できます。

1 待受画面で◉③②②を押し、辞書を選んでⓜ⑤[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

辞書を1件削除する	①→[はい]→◉
すべての辞書を削除する	②→[はい]→◉

お知らせ

- ダウンロードしたときに挿入していたFOMAカードとは別のFOMAカードが挿入されている場合、そのダウンロード辞書の横にFOMAカード動作制限マークが表示されます。その場合、辞書の内容を確認することはできませんが、削除することはできます。

ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換する<ダウンロード辞書変換>

単語登録したユーザ辞書を、ダウンロード辞書に変換できます。

1 待受画面で◉③②①を押し、ⓜ②[ダウンロード辞書変換]を押す。

2 保存先を選んで◉を押す。

- 登録されている辞書に上書きするときは、[はい]を選んで◉を押します。
- 使用辞書登録確認画面が表示されたときは、[はい]を選んで◉を押すと使用辞書に設定されます。すでに5件使用辞書に設定されているときは表示されません。

お知らせ

- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換するとユーザ辞書は削除されます。

関連操作

ダウンロード辞書変換した辞書のタイトルを編集する<タイトル編集>

待受画面で◉③②② ▶ 辞書を選ぶ ▶ ⓜ③ ▶ タイトルを編集 ▶ ◉

次ページへ続く▶▶

関連操作

ダウンロード辞書変換した辞書の内容を編集する
<編集>

1 待受画面で⦿322▶辞書を選ぶ▶📷6
2 単語を選ぶ▶⦿
● 新規登録するとき:1
3 単語を編集▶⦿▶見出し語を編集▶⦿▶📷

近似予測変換辞書／連携予測辞書

使用する変換方法を選ぶ

お買い上げ時	近似予測変換辞書:ON(使用する) 連携予測辞書:ON(使用する)

近似予測変換および連携予測(☞P.408)を使用するかどうかを設定できます。

1 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで⦿を押し、32[近似予測変換辞書]を押す。
● 変換候補欄にカーソルがあるときは📷[予測変換]／📷[通常変換]を押して[ON]／[OFF]を切り替えることもできます。
● 連携予測辞書を選ぶときは、📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで⦿を押し、33を押します。

2 1[ON]を押す。

変換候補の優先度を設定する<優先候補設定>

お買い上げ時	すべて高い

英語、姓名、地名、固有名詞、顔文字については、変換候補として表示されるときの優先順位を高くすることができます。

1 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで⦿を押し、31[優先候補設定]を押す。

2 項目を選んで⦿を押す。
● ☑は高い、☐は低い設定の状態です。

3 ⓘ[完了]を押す。

顔文字を変換候補に表示する<顔文字連携>

お買い上げ時	ON

文字入力時に心情を表す形容詞(うれしい)などを確定したとき、確定した文字に続くと思われる変換候補に、顔文字・絵文字を表示するかどうかを設定できます。

1 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで⦿を押し、34[顔文字連携]を押す。

2 1[ON]を押す。

2タッチ方式

2タッチ方式で文字を入力する

2タッチ方式に設定する<変換方式>

ボタン2つでひらがなが入力できる、2タッチ方式に切り替えられます。2タッチでの文字指定に慣れた方におすすめです。

1 文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで⦿を押し、12[2タッチ方式]を押す。
● 2タッチ方式は、通常の入力方式[かな方式]にするまで継続します。
● 2タッチ方式でも、かな方式と同様に定型文挿入を利用できます。
● 2タッチ方式では、カナ英数字変換はできません。
● かな方式に戻すときは、文字入力画面で📷を押し、[文字入力／辞書設定]を選んで⦿を押し、11を押します。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で📧[文字]を押す。
● 📧を押すたびに、半(半角大文字)→区(区点コード)→全(全角大文字)に切り替わります。

お知らせ

● 大文字モード／小文字モードの切り替えは、全角モード／半角モードの状態で行うことができます。
また、文字を入力後📧[大／小]を押すと、1文字ずつ変換できます(☞P.411)。
● 文字入力画面で📧[文字]を押したあと、○を押しても同様に切り替えられます。○を押すと、逆の方向に切り替わります。

文字を入力する

2タッチ方式で、2桁の数字を押し、1文字ずつ指定します。

1 文字入力画面で2桁の数字を入力する。
例:22 ➡[き]
● 文字の割り当てについては、P.430を参照してください。

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー一覧

TOPメニューを表示させて、機能メニューを順に選択する方法の一覧です。

- お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット（☞P.388）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。
- メニュー一覧では、通常ポジションでの機能メニューの選択方法を記載しております。サイクロイドポジションにした場合に機能番号が変更されるものがあります。詳しくは各項目の参照先をご覧ください。

ｉモードメニュー

機能メニュー				お買い上げ時	ページ
ｉモード	ｉMenu			―	P.182
	メッセージR／F	1メッセージR		―	P.201
		2メッセージF		―	P.201
	Bookmark			―	P.189
	ｉモード問い合わせ			―	P.201 P.225
	画面メモ			―	P.191
	Internet	1ラストURL		―	P.184
		2URL履歴		―	P.188
		3URL入力		http://	P.187
	ｉモード設定	1共通設定	1接続待ち時間設定	60秒間☆	P.198
			2接続先選択	ｉモード（FOMAカード）☆	P.198
		2メール／メッセージ設定※		―	―
		3Internet設定	1画像表示設定	ON☆	P.199
			2文字サイズ設定	標準☆	P.184
			3証明書設定	すべて有効☆	P.203
			4ｉモーション設定	自動再生設定：する☆ ｉモーションタイプ設定：標準タイプ☆	P.207
			5セキュア通信サービス設定	ユーザ証明書操作：― センター接続先設定：ドコモ☆	P.203 P.205
			6端末情報データ利用設定	利用する☆	P.199
			7効果音設定	音量5☆	P.184
		4ｉモード通信中着信設定		プッシュトーク着信優先☆	P.199
		5ｉモード設定リセット		―	P.199
		6機能別ロック		OFF☆	P.183
	ｉチャネル	1ｉチャネル一覧起動		―	P.209
		2ｉチャネルテロップ設定	1メイン画面	ON☆	P.210
			2サブ画面	OFF☆	P.210
		3ｉチャネル初期化		―	P.210
	Internet（フルブラウザ）	1ホーム		―	P.288
		2Bookmark		―	P.288
		3Internet	1ラストURL	―	P.288
			2URL履歴	―	P.288
			3URL入力	http://	P.288
		4フルブラウザ設定	1ホーム設定	http://☆	P.288
			2Cookie設定	設定：有効☆ 削除：―	P.292
			3Script設定	有効☆	P.292
			4画面設定	表示モード設定：通常モード☆ 画像表示設定：ON☆ 文字サイズ設定：標準☆	P.289 P.292
			5ウィンドウオープンガード設定	無効☆	P.293
			6Referer設定	送信する☆	P.293
			7アクセス設定	OFF☆	P.293
			8フルブラウザ設定リセット	―	P.293

※ TOPメニューからメール→[メール設定]の順に選択した場合と同じメニューです。
● ｉモードメニューに表示される番号とダイヤルボタンは、一致しない場合があります。

ｉアプリメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
ｉアプリ	1ソフト一覧	―	P.249
	2ｉアプリ音量設定	音量5☆	P.250
	3ソフト情報表示設定	OFF☆	P.248
	4自動起動設定	OFF☆	P.255
	5ｉアプリ使用データ	―	P.259
	6エラー表示	―	P.258
	7トレース表示	―	P.258
	8機能別ロック	OFF☆	P.259

カメラメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
カメラ	1静止画撮影	―	P.167
	2動画撮影	―	P.169
	3文字読み取り	―	P.178
	4バーコードリーダー	―	P.176

メールメニュー

機能メニュー			お買い上げ時	ページ
メール	受信BOX		―	P.229
	送信BOX		―	P.229
	未送信BOX		―	P.229
	新規メール作成		―	P.214
	新規SMS作成		―	P.240
	問い合わせ	1ｉモード問い合わせ	―	P.201 P.225
		2SMS問い合わせ	―	P.242
	テンプレート		―	P.219
	メール選択受信		―	P.224
	メール設定	1クイック返信メール設定	―	P.239
		2添付ファイル受信設定	すべて受信する☆	P.239
		3メロディ自動再生	自動再生する☆	P.239
		4文字サイズ設定	標準☆	P.236
		5メール受信表示設定	通知優先☆	P.239
		6ｉモード問い合わせ設定	ｉモードメール・メッセージR・メッセージF：ON☆	P.238
		7メッセージ自動表示設定	メッセージR優先☆	P.201
		8メール選択受信設定	OFF☆	P.238
		9メールメンバー設定	―	P.238
		0署名登録	ON☆	P.237
		✱SMSセンター設定	ドコモ	P.243
		#SMS送達通知設定	要求しない☆	P.243
		○1SMS有効期間設定	3日	P.243
		○2SMS本文入力設定	日本語（70文字）	P.243
		○3メール設定確認	―	P.240
		○4メール設定リセット	―	P.240
		○5機能別ロック	OFF☆	P.240

● メールメニューに表示される番号とダイヤルボタンは、一致しない場合があります。

データBOXメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
データBOX	1マイピクチャ	—	P.296
	2ミュージック	—	P.354
	3ｉモーション	—	P.305
	4ビデオ(microSD)	—	P.311
	5メロディ	—	P.316
	6マイドキュメント	—	P.339
	7キャラ電	—	P.313
	8きせかえツール	—	P.136
	9プリント指定(DPOF)	—	P.352

電話帳メニュー

機能メニュー	お買い上げ時	ページ
電話帳	—	P.107

設定メニュー

- お買い上げ時の設定内容は、本体色によって、きせかえツールで設定できる項目(☞P.136)が、[White]、[Black]、[Brown]と表示されます。きせかえツールの設定を変更したときも、きせかえツールのタイトル名が表示されます。

機能メニュー				お買い上げ時	ページ
設定	1音	1音量選択	1着信音量選択	音声電話着信音・テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音量５☆	P.118
			2メール着信音量選択	メール着信音・メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：音量５☆	P.119
			3プッシュトーク着信音量選択	音量５☆	P.119
			4各種設定音量選択	ボタン／待受ｉモーション音・充電開始音・充電完了音・タイマー音：音量５☆	P.119
		2音選択	1着信音選択	音声電話着信音：着信音１☆ テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音声電話着信音に従う☆	P.116
			2メール着信音選択	メール着信音：着信音２☆ メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：メール着信音に従う☆	P.117
			3プッシュトーク着信音選択	着信音１☆	P.117
			4各種設定音選択	シャッター音：標準音☆ タイマー音：TI(標準音)☆	P.175 P.118
		3バイブレータ設定	1着信バイブレータ	OFF☆	P.121
			2メール着信バイブレータ	OFF☆	P.121
			3ＩＣカードバイブレータ	OFF☆	P.121
		4マナーモード設定	1通常マナーモード	—	P.123
			2サイレントマナーモード	—	P.123
			3オリジナルマナーモード	伝言メモ・バイブレータ・マイク感度アップ：ON☆ アラーム音・ボタン／待受ｉモーション音・電池残量警告音：OFF☆ 着信音・メール着信音：サイレント☆	P.124
		5着信音出力切替		イヤホン＋スピーカ☆	P.122
		6着信鳴動時間設定	1メール鳴動時間設定	ON／３秒☆	P.122
			2プッシュトーク鳴動時間設定	30秒☆	P.122
		7呼出動作開始時間設定		OFF☆	P.158
		8保留・応答保留音	1応答保留音	応答保留音１☆	P.68
			2保留音	保留メロディ１☆	P.68
		9音再生設定	1ステレオ効果設定	ステレオ／３ＤサウンドON☆	P.120
			2再生音優先設定	音楽プレイヤー優先☆	P.121

機能メニュー					お買い上げ時	ページ
設定	2表示	1メイン画面設定	1待受画面設定		待受画面１（本体色White）、待受画面２（本体色Black）、待受画面３（本体色Brown）※	P.125
			2待受時計表示設定		時計表示：ON（大）☆ 時計グラフィック設定：待受時計１☆ 表示位置設定：下☆	P.127
			3カレンダー表示設定		OFF☆	P.126
		2サブ画面設定	1相手表示設定		ON☆	P.129
			2時計表示設定		待受時計（大）☆	P.130
		3文字表示設定			太字☆	P.141
		4各種画面カスタマイズ設定	1発着信画面設定		ピクチャーコール設定：ON☆ 電話発信画面：電話発信１（本体色White）、電話発信２（本体色Black）、電話発信３（本体色Brown）※ 音声電話着信画面・テレビ電話着信画面：電話着信１（本体色White）、電話着信２（本体色Black）、電話着信３（本体色Brown）※ 公衆電話着信画面・非通知設定着信画面・通知不可能着信画面：電話着信１☆	P.127 P.129
			2メール送受信画面設定		メール送信画面設定：メール送信１（本体色White）、メール送信２（本体色Black）、メール送信３（本体色Brown）※ メール受信画面設定：メール受信１（本体色White）、メール受信２（本体色Black）、メール受信３（本体色Brown）※ メール受信完了画面：メール受信結果１（本体色White）、メール受信結果２（本体色Black）、メール受信結果３（本体色Brown）※	P.128
			3サブメニュー画像設定		上画像：メニュー枠１（上）☆ 下画像：メニュー枠１（下）☆	P.132
			4お知らせウィンドウアニメ		お知らせアニメ１（本体色White）、お知らせアニメ２（本体色Black）、お知らせアニメ３（本体色Brown）※	P.133
			5電波／電池／小時計マーク		電波マーク：電波マーク１（本体色White）、電波マーク２（本体色Black）、電波マーク３（本体色Brown）※ 電池マーク：電池残量１（本体色White）、電池残量２（本体色Black）、電池残量３（本体色Brown）※ 小時計マーク：時計表示１☆	P.133
			6テーマカラー設定		ModernWhite（本体色White）、MidnightBlack（本体色Black）、StreetBrown（本体色Brown）※	P.133
		5ランプ設定	1着信ランプ	1音声電話	ランプ色設定：アクア☆ ランプパターン設定：エキサイト☆	P.138 P.139
				2テレビ電話	ランプ色設定：アクア☆ ランプパターン設定：ノーティス☆	P.138 P.139
				3プッシュトーク	ランプ色設定：サンセット☆ ランプパターン設定：モールス☆	P.138 P.139
				4不在着信お知らせ	ON☆	P.140
			2メールランプ	1メール受信ランプ	ランプ色設定：リーフ☆ ランプパターン設定：ブレス☆ 新未読メールお知らせ：ON☆	P.138 P.139 P.140
				2メール送受信中ランプ	ON（ランプ色設定：スカイ ランプパターン設定：ブレス）☆	P.139
			3通話中ランプ		OFF☆	P.139
			4アラーム／タイマーランプ		ON（ランプ色設定：オーロラ ランプパターン設定：モールス）☆	P.140
			5ＩＣカードランプ		ON☆	P.140
			6開閉／回転連動ランプ		ON（ランプ色設定：アクア ランプパターン設定：ノーティス）☆	P.140
		6鮮やか画質モード設定			ダイナミック☆	P.141

※データ一括削除または設定リセットを行った場合は、本体色White用の設定になります。

次ページへ続く

機能メニュー					お買い上げ時	ページ
設定	2表示	7省電力設定	1通常(明るさ自動)		─	P.130
			2通常(明るさ固定)		─	P.130
			3節電モード(Eco)		─	P.130
			4ユーザ設定	1照明時間設定	通常時:10秒☆ 充電時・i モード時:通常時と同じ☆ テレビ電話時:常にON☆	P.130
				2画面表示時間設定	1分☆	P.132
				3明るさ調整	自動☆	P.132
				4ボタン照明設定	点灯☆	P.131
		8プライベートフィルタ設定	1マナーモード連動		OFF☆	P.142
			2フィルタ濃度設定		標準☆	P.142
	3一般設定	1確認	1所有者情報		─	P.382
			2メモリ確認		─	P.332
			3電池残量確認		─	P.43
			4設定状況確認		─	P.364
		2文字入力設定	1ユーザ辞書		─	P.414
			2ダウンロード辞書		─	P.415
			3定型文編集		─	P.413
			4変換学習クリア		─	P.415
		3自動電源ON/OFF	1自動電源ON		OFF☆	P.367
			2自動電源OFF		OFF☆	P.368
			3アラーム連動電源ON		OFF☆	P.367
		4日時設定			自動時刻補正:ON☆	P.45
		5Bilingual			日本語	P.141
		6USBモード設定			通信モード☆	P.327
		7スキャン機能	1パターンデータ更新		─	P.458
			2自動更新設定		─	P.459
			3スキャン機能設定		スキャン機能・メッセージスキャン:有効☆	P.458
			4バージョン表示		─	P.460
		8ソフトウェア更新			─	P.452
		9設定リセット			─	P.388
	4NWサービス	1留守番電話	1メッセージ問合せ		─	P.393
			2留守番メッセージ再生		─	P.393
			3留守番電話サービス開始		─	P.392
			4留守番呼出時間設定		─	P.392
			5留守番サービス停止		─	P.392
			6留守番設定確認		─	P.393
			7留守番サービス設定		─	P.393
			8件数お知らせ設定		件数増加鳴動設定:ON☆	P.393
			9着信通知		─	P.393
		2キャッチホン	1キャッチホンサービス開始		─	P.394
			2キャッチホンサービス停止		─	P.394
			3キャッチホンサービス設定確認		─	P.394
		3転送でんわ	1転送サービス開始		─	P.395
			2転送サービス停止		─	P.395
			3転送先変更		─	P.396
			4転送先通話中時設定		─	P.396
			5転送サービス設定確認		─	P.396
		4迷惑電話ストップ	1迷惑電話着信拒否登録		─	P.396
			2電話番号指定拒否登録		─	P.396
			3迷惑電話全登録削除		─	P.396
			4迷惑電話1登録削除		─	P.397
			5拒否登録件数確認		─	P.397

機能メニュー				お買い上げ時	ページ
設定	4NWサービス	5発信者番号通知	1設定確認	−	P.46
			2発信者番号通知設定	−	P.46
		6番号通知お願いサービス	1番号通知サービス開始	−	P.397
			2番号通知サービス停止	−	P.397
			3サービス設定確認	−	P.397
		7通話時間／料金確認		−	P.384
		8通話中着信設定	1通話中着信設定開始	−	P.399
			2通話中着信設定停止	−	P.399
			3通話中着信設定確認	−	P.399
		9通話中着信動作選択	1留守番電話	−	P.399
			2転送でんわ	−	P.399
			3着信拒否	−	P.399
			4通常着信	−	P.399
	5その他のNWサービス	1遠隔操作設定	1遠隔操作開始	−	P.400
			2遠隔操作停止	−	P.400
			3遠隔操作設定確認	−	P.400
		2デュアルネットワーク	1デュアルネットワーク切替	−	P.398
			2デュアルネットワーク状態確認	−	P.398
		3英語ガイダンス	1ガイダンス設定	−	P.398
			2ガイダンス設定確認	−	P.398
		4サービスダイヤル	1ドコモ故障問合せ	−	P.399
			2ドコモ総合案内・受付	−	P.399
		5追加サービス	1USSD登録	−	P.401
			2応答メッセージ登録	−	P.401
		6マルチナンバー	1通常発信番号設定	−	P.401
			2通常発信番号設定確認	−	P.401
			3電話番号設定	−	P.400
		7着もじ	1メッセージ作成	−	P.56
			2メッセージ表示設定	番号通知ありのみ☆	P.56
	6通話・通信機能設定	1通話中設定	1ノイズキャンセラ	ON☆	P.62
			2再接続機能	アラームあり（高音）☆	P.62
			3通話品質アラーム	アラームあり（高音）☆	P.122
		2イヤホンマイク自動発信		OFF☆	P.387
		3着信時設定	1エニーキーアンサー	ON☆	P.66
			2オート着信設定	電話／テレビ電話・プッシュトーク：OFF☆	P.388
			3回転連動着信応答	ON☆	P.66
		4テレビ電話設定	1音声自動再発信	OFF☆	P.81
			2送信画像設定	代替画像設定：Dimo※☆ 応答保留画像設定：テレビ電話代替☆ 保留画像設定：テレビ電話代替☆	P.77
			3テレビ電話画面設定	相手大・自分小☆	P.80
			4子画面表示位置	左上☆	P.80
			5送信画質設定	標準☆	P.79
			6テレビ電話切替機能通知	−	P.82
			7テレビ電話ハンズフリー設定	ON☆	P.79
			8パケット通信中着信設定	テレビ電話優先☆	P.82
		5伝言メモ設定	1伝言メモ設定	OFF☆	P.71
			2伝言応答時間	13秒☆	P.73
			3応答メッセージ	応答メッセージ１☆	P.73
			4テレビ電話時応答画像	テレビ電話代替☆	P.73
		6プッシュトーク設定	1番号通知設定	非通知☆	P.94
			2PT通信中着信設定	通常着信☆	P.94
			3PTハンズフリー設定	ON☆	P.94

※ キャラ電の[Dimo]を削除したあとで、設定リセット（☞P.388）を行った場合は[テレビ電話代替]に設定されます。

次ページへ続く

機能メニュー					お買い上げ時	ページ
設定	6通話・通信機能設定	7クローズ動作設定	1電話／テレビ電話		終話☆	P.66
			2プッシュトーク		スピーカ通話☆	P.66
		8セルフモード			OFF☆	P.150
		9その他の設定	1プレフィックス設定		1件目：009130-010☆	P.61
			2サブアドレス設定		ON☆	P.61
			3国際ダイヤルアシスト設定	1自動国際プレフィックス変換	ON☆	P.60
				2国際プレフィックス設定	WORLD CALL 009130-010☆	P.60
	7セキュリティ	1シークレットモード			OFF☆	P.154
		2FOMAカード（UIM）設定	1PIN1コード入力設定		OFF	P.146
			2PIN1コード変更		0000	P.147
			3PIN2コード変更		0000	P.147
		3着信拒否／許可設定	1電話帳指定着信許可		OFF☆	P.156
			2電話帳指定着信拒否		OFF☆	P.157
			3電話帳登録外		許可☆	P.159
			4非通知設定		許可☆	P.158
			5公衆電話		許可☆	P.158
			6通知不可能		許可☆	P.158
		4発着信履歴表示	1着信履歴表示		ON☆	P.153
			2リダイヤル表示		ON☆	P.153
		5メール履歴表示	1メール送信履歴表示		ON☆	P.154
			2メール受信履歴表示		ON☆	P.154
		6ロック設定	1オールロック		－	P.148
			2ダイヤル発信制限		OFF☆	P.152
			3機能別ロック		OFF☆	P.151
			4ＩＣカードロック		電源ON時ＩＣロック設定：OFF☆ 電源OFF時ＩＣロック設定：電源ON時設定に従う☆	P.270
			5まとめて自動ロック		OFF☆	P.153
		7端末暗証番号変更			0000	P.145
		8データ一括削除	1ユーザデータ削除		－	P.389
			2シークレットデータ削除		－	P.389
	8初期設定				－	P.44

LifeKitメニュー

機能メニュー			お買い上げ時	ページ
LifeKit	1バーコードリーダー		－	P.176
	2赤外線受信		－	P.335 P.336
	3トルカ		－	P.264
	4ＩＣカード一覧		－	P.263
	5ＩＣカードロック	1電源ON時ＩＣロック設定	OFF☆	P.270
		2電源OFF時ＩＣロック設定	電源ON時設定に従う☆	P.270
	6microSD管理	1microSDデータ参照	－	P.324
		2バックアップ／復元	－	P.323
		3インポート	－	P.328
		4管理情報の更新	－	P.328
		5フォーマット	－	P.325
		6USBモード設定	通信モード☆	P.327
	7スケジュール	1スケジュール	－	P.371
		2ToDoリスト	－	P.377

機能メニュー			お買い上げ時	ページ
LifeKit	8便利機能	1電卓	―	P.383
		2テキストメモ	―	P.385
		3タイマー	―	P.368
		4アラーム	―	P.369
		5音声／伝言メモ	―	P.383
		6文字読み取り	―	P.350
		7電話帳お預かりサービス	電話帳内画像送信：OFF☆	P.112 P.114 P.159

メディアツールメニュー

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
メディアツール	1ワンセグ	―	P.275
	2SDオーディオ	―	P.358
	3ボイスレコーダー	―	P.338
	4ブックリーダー	―	P.347
	5ドキュメントビューア	―	P.344
	6PDF対応ビューア	―	P.339

お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面

待受画面１
（待受：240×400）

待受画面２
（待受：240×400）

待受画面３
（待受：240×400）

待受画面４※
（Flash画像）

待受画面５
（待受：240×400）

待受画面６
（待受：240×400）

待受画面７
（待受：240×400）

※©CAPCOM 2007

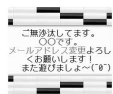
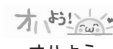
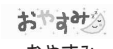
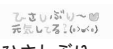
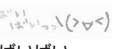
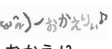
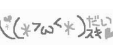
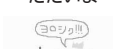
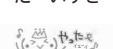
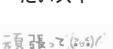
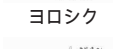
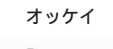
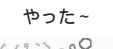
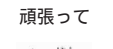
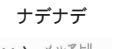
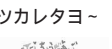
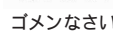
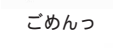
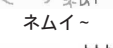
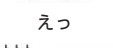
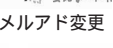
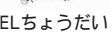
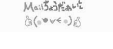
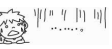
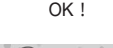
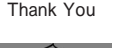
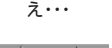
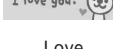
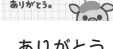
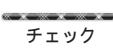
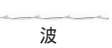
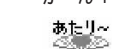
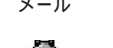
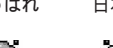
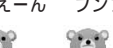
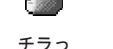
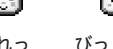
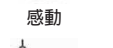
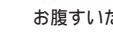
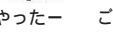
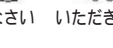
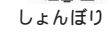
プリインストールフレーム

フレーム1　フレーム2　フレーム3　フレーム4　フレーム5　フレーム6

フレーム7　フレーム8　フレーム9

- 各フレームには、「QCIF：176×144」、「QVGA：240×320」、「待受：240×400」、「横ワイド小：400×240」、「CIF：352×288」、「VGA：480×640」のサイズがあります。

デコメールテンプレート

オツカレサマ	ゴメンなさい	だ～いすき	オメデト～	ハアーイ	オハよう
おやすみ	ありがトン	頑張って	おかえりぃ	だいスキ	ただいま
ヨロシク	オッケイ	メルアド変えました	I Love You	Happy Birthday	ありがとう
がんばれ	おっけー	NG	Thank You	わーいわーい	え･･･
あいさつ	Good afternoon	誕生日おめでとう			

デコメピクチャ

※©Disney

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

文字入力は、ダイヤルボタンで行います。1つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。

- ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。
  例：全角カタカナモードで1を３回押すと1［ア］が表示➡1［イ］が表示➡1［ウ］が表示
- 表示を逆戻りさせるときは☎を押します。

全角文字の割り当て

ボタン	漢 漢字（ひらがな）入力モード	ア 全角カタカナ入力モード	全角英数字入力モード A 大小文字	全角英数字入力モード a 小文字	区 区点コードモード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	．／＿＠１（スペース）	．／＿＠１（スペース）	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	ａｂｃ２	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	ｄｅｆ３	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	ｇｈｉ４	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	ｊｋｌ５	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	ｍｎｏ６	6
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	ｐｑｒｓ７	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	ｔｕｖ８	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	ｗｘｙｚ９	9
0	わをん（スペース）	ワヲン（スペース）	０（スペース）	０（スペース）	0
0～9 1秒以上押す	※3				0～9
＊	゛゜↲※1		↲※1		↲
＃	全角記号変換（ー、。！？・）				なし
↑	ワンタッチ変換（前候補）	カーソル上移動			
↓	通常変換（次候補）／↲※1	カーソル下移動／↲※1			
←	文節左移動	カーソル左移動			
→	文節右移動	カーソル右移動			
□	文字入力モードの切り替え				
□ 1秒以上押す	定型文挿入の［インターネット］表示				
✉	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）		大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
✉ 1秒以上押す	定型文挿入				
CLR ※4	1文字削除、変換中止	1文字削除			入力済みコードまたは1文字削除
CLR 1秒以上押す	カーソルより前の文字全削除※2				
●	採用、決定	決定			
☎	逆順表示またはやり直し				やり直し

※１ 文字確定後に押すと［↲］（改行）されます。［↲］は半角で表示されますが、全角１文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※２ カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
※３ 同じ行の文字を続けて入力したい場合に、１秒以上押すと入力することができます。
※４ 何も入力されていない状態でCLRを押すと、１つ前の画面に戻ります。
- 濁点の付いたひらがなやカタカナは、一部を省略しているものがあります。

半角文字の割り当て

ボタン	ｱ 半角カタカナモード	半角英数字モード		1 半角数字モード
		A 大小文字	a 小文字	
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	. / _ @ 1 (スペース)	. / _ @ 1 (スペース)	1
2	ｶｷｸｹｺ	A B C a b c 2	a b c 2	2
3	ｻｼｽｾｿ	D E F d e f 3	d e f 3	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	G H I g h i 4	g h i 4	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	J K L j k l 5	j k l 5	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	M N O m n o 6	m n o 6	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	P Q R S p q r s 7	p q r s 7	7
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	T U V t u v 8	t u v 8	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	W X Y Z w x y z 9	w x y z 9	9
0	ﾜｦﾝ (スペース)	0 (スペース)	0 (スペース)	0
0～9 1秒以上押す	※4			※5
*	ﾞ ﾟ - ↲	↲※1		¥
#	半角記号変換（-､｡!?･~()’",:;¥&）※3			#
	カーソル上移動			P（電話番号入力時）／カーソル上移動
	カーソル下移動／↲※1			
	カーソル左移動			
	カーソル右移動			
	文字入力モードの切り替え			
1秒以上押す	定型文挿入の［インターネット］表示			
	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）	大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
1秒以上押す	定型文挿入			
CLR	1文字削除			
CLR 1秒以上押す	カーソルより前の文字全削除※2			
	決定			
	逆順表示またはやり直し			やり直し

※1 ［↲］（改行）されます。［↲］は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※2 カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
※3 半角英数入力限定時（メールアドレス、URL入力時）は、「､」、「｡」、「･」を入力することはできません。
※4 同じ行の文字を続けて入力したい場合に、1秒以上押すと入力することができます。
※5 0を1秒以上押した場合は、「+」が入力されます。

■ 文字の数え方

全角1文字は、半角2文字分として数えられます。
半角文字では、濁点・半濁点も1文字分として数えられます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（２タッチ方式）

全角文字

全角大文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ
2	か	き	く	け	こ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ
3	さ	し	す	せ	そ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
4	た	ち	つ	て	と	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ
5	な	に	ぬ	ね	の	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Ｚ	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	※
9	ら	り	る	れ	ろ	１	２	３	４	５
0	わ	を	ん	゛	゜	６	７	８	９	０

半角文字

半角大文字モード

1桁目（最初に押すボタン）＼2桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	※
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

※ 8➡0を押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。□部分は、切り替えた文字モードにより大文字または小文字で入力できます。

- 全角小文字モードで0➡4を押すと「、」、0➡5を押すと「。」が入力できます。
- 半角小文字モードで0➡4を押すと「,」、0➡5を押すと「.」が入力できます。
- 半角大文字モードで[☎]、[♥]は半角２文字分となります。

お知らせ

- 空欄はスペースを示します。
- □部分は、文字入力後、✉を押すたびに、大文字⇔小文字と切り替わります（「ゎ」（小文字）は全角小文字モードでのみ入力できます）。

記号・特殊文字一覧

文字入力画面でⓘを押すと[記号]と[絵文字]を切り替えて入力できます。
記号入力時にⓒを押すと、[半角]、[全角]が切り替わり、絵文字入力時にⓒを押すと、[絵文字２]、[絵文字D]（デコメ絵文字）（メール本文／署名作成の場合）、[絵文字１]が切り替わります。

全角記号・特殊文字

、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛
゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”
（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉
《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－
±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞
∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠
￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○
●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼
※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋	⊆
⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪
≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯
♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ
ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε
Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α
β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ

χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё
Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г
д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м
н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─
│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼
━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻
╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑
㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡
㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽
㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟
⊿	∵	∩	∪						

特殊記号（①～∪）

※ 特殊記号は、iモードメール対応機以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

半角記号

!	"	#	$	%	&	'	(	)	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{		
}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ

絵文字・顔文字一覧

絵文字一覧

読みを入力して絵文字に変換できます。

絵文字１

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
はれ		ばすけっと、ばすけ		びーる、さけ		しーでぃー		かちんこ		はた		かわいい	
くもり		はた		はんばーがー		はーと、はあと		ふくろ		ふりーだいやる		きす	
あめ、かさ		ぽけっとべる、ぽけべる		ぶてぃっく		すぺーど		ぺん		しゃーぷだいやる		ぴかぴか、きらきら	
ゆき		でんしゃ		はさみ、びよういん		だいや		ひとかげ		もばきゅー		ひらめき	
かみなり		ちかてつ		からおけ		くろーばー、くらぶ		いす		いち		むか、いかり	
うずまき、たいふう		しんかんせん		えいが		め		よる、つき		に		ぱんち	
きり		くるま		やじるし、みぎうえ		みみ		すーん		さん		ばくだん	
こさめ		くるま		ゆうえんち		ぐー		おん		よん、し		おんぷ	
おひつじざ		ばす		おんがく		ちょき、ぶい		えんど		ご		やじるし、ばっど	
おうしざ		ふね		あーと		ぱー		とけい		ろく		ねる、ねむい	
ふたござ		ひこうき		えんげき		やじるし、みぎした		でんわ		なな、しち		びっくり	
かにざ		いえ		いべんと		やじるし、ひだりうえ		めーる		はち		びっくり	
ししざ		びる		ちけっと		あし		ふぁっくす		きゅー、く		びっくり	
おとめざ		ゆうびんきょく		たばこ、きつえん		くつ		あいもーど		ぜろ		しょうげき、いらいら	
てんびんざ		びょういん		きんえん		めがね		あいもーど		はーと、はあと		あせ	
さそりざ		ぎんこう		かめら		くるまいす		めーる		はーと、はあと		あせ	
いてざ		ぎんこう、えーてぃーえむ		かばん		しんげつ、つき		どこも		しつれん、はーと、はあと		だっしゅ	
やぎざ		ほてる		ほん		つき		どこも		はーと、はあと		ー	
みずがめざ		こんびに		りぼん		はんげつ、つき		ゆうりょう		かお、にこ		ー	
うおざ		がそりん、すたんど		ぷれぜんと		みかづき、つき		ふりー、むりょう		かお、むか		おーけー	
すぽーつ		ちゅうしゃじょう		ばーすでー		まんげつ、つき		あいでぃー		かお、かなしい			
やきゅう		しんごう		でんわ		いぬ		かぎ、しーくれっと、ぱすわーど		かお、かなしい			
ごるふ		といれ		でんわ、けいたい		ねこ		りたーん		かお、ふらふら			
てにす		れすとらん		めも		よっと、りぞーと		くりあ		やじるし、ぐっど			
さっかー		きっさてん		てれび		くりすます		むしめがね、るーぺ、さーち		おんぷ			
すきー		ばー		げーむ		やじるし、ひだりした		にゅー		おんせん			

絵文字２

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
あいあぷり		らぶれたー		かお、あせ		かお、かなしい		きんし		ちゅーりっぷ、はな		かたつむり	
あいあぷり		れんち、こうぐ		かお、あせ		かお、なみだ、かなしい		あき、くうしつ、くうせき、くうしゃ		ばなな		ひよこ	
てぃーしゃつ、しゃつ		えんぴつ		かお、むか		えぬじー		ごうかく		りんご		ぺんぎん	
さいふ		おうかん		かお、ぼけ		くりっぷ		まんしつ、まんせき、まんしゃ		め		さかな	
くちべに、けしょう		ゆびわ		はーと		こぴーらいと		やじるし、さゆう		もみじ		かお、うまい	
じーんず、じーぱん、ずぼん		すなどけい、とけい		おーけー、ぐっど、ないす		てぃーえむ、とれーどまーく、しょうひょう		やじるし、じょうげ		さくら		かお	
すのぼ		じてんしゃ		かお、べー		はしる、ひと		がっこう		おにぎり、おむすび		うま	
べる、ちゃぺる		おちゃ、ゆのみ		かお、ういんく		まるひ		なみ		けーき		ぶた	
どあ		うでどけい、とけい		かお、にこ、うれしい		りさいくる		ふじさん、やま		とっくり、さけ		わいん、さけ	
おかね、どるぶくろ		かお		かお、がまん、かなしい		まるあーる、しょうひょう		くろーばー		らーめん、どんぶり		かお、げっそり、さけび	
ぱそこん		かお、にこ		ねこ		きけん、けいこく		さくらんぼ、ちぇりー		ぱん、しょくぱん			

- 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。SMSでは[♥]、[♥]、[☎]以外はスペースになります。
- 「見出し（ヨミ）」を入力すると、変換候補の絵文字の後ろに[絵１]／[絵２]と表示されますが、その候補を選択しても[絵１]／[絵２]という文字は採用されません。

デコメ絵文字

名称	デコメ絵文字	名称	デコメ絵文字	名称	デコメ絵文字	名称	デコメ絵文字	名称	デコメ絵文字	名称	デコメ絵文字	名称	デコメ絵文字
笑う		花1		定食		自転車		公園		赤ちゃん天使		ねこ感謝	
わーい		花2		サラダ		走る		噴水		赤ちゃん		うさぎ感謝	
ニッコリ		花3		料理		マイク		教会		床屋		ぺんぎん謝罪	
ウインク		キラキラ星		焼き魚（鮭）		時計		お城（和風）		注射		ねこ謝罪	
ひや〜		流れ星		幕の内弁当		掃除		交番		王冠		うさぎ謝罪	
眠い		晴		ケーキ大		風呂		郵便局		ティアラ		かぶりくま泣き	
目がハート		曇		ケーキ小		うんち		家		音符		ぺんぎん泣き	
冷や汗1		傘		かき氷		洗濯		野球		星		ねこ泣き	
冷や汗2		雨かえる		チョコレート		ドレス		バスケット		アンテナ		うさぎ泣き	
泣き顔		雪		スナック菓子		サングラス		サッカー		門松		ぺんぎん怒る	
悲しい		雷		ドーナツ		スーツ		バレーボール		羽子板		ねこ怒る	
我慢		メール		ソフトクリーム		カジュアルスーツ		卓球		鏡餅		うさぎ怒る	
泣く		ぺんぎん（メール）		アイスクリーム		ネクタイ		スキー		富士山		アイスびっくり	
怒る		着信		プリン		Gパン		スノーボード		バレンタイン		ぺんぎん焦り	
ぷっくっく		コーヒー		せんべい		スカート		ゴルフ		ひなまつり		ねこ焦り	
べー		ジュース		いちご		ハイヒール		サーフィン		花見		うさぎ焦り	
げっそり		ビール		みかん		革靴		テニス		七夕		アイスもうイヤ	
走る人		乾杯		りんご		スニーカー		釣り		うちわ		かぶりくま照れ	
バイバイ		日本酒		さくらんぼ		水着（女性）		ヨガ		線香花火		かぶりくまてへ	
グッド		赤ワイン		ぶどう		水着（男性）		ウォーキング		花火		吹き出し1	
OK		カクテル		バナナ		アタッシュケース		ノートPC		クリスマス1		吹き出し2	
BAD！		ごはん		スイカ		ブランドバッグ		携帯クラム		クリスマス2		吹き出し3	
ピース！		寿司		パイナップル		着物		携帯スイベル		誕生日		着もじ	
パチパチ		おにぎり		桃		病院		薄型テレビ		結婚式		テレビ電話	
矢印（アップ）		食パン		メロン		遊園地		ヘッドホン		旅行		プッシュトーク	
矢印（ダウン）		ハンバーガー		柿		学校		一眼レフカメラ		Dimo冷や汗※		デコレーションメール	
ハート		焼き鳥		電車		会社		CD/DVD		Dimoガーン※		が〜ん	
ハート大		ステーキ		バス		プール		キャンディ		Dimoがっかり※		ありがとう	
3ハート		ラーメン		車		ホテル		天使の羽		かぶりくまウインク		おはよう	
3ハート大		パスタ		タクシー		ガソリンスタンド		チューリップ		アイスウインク		おやすみ	
ハートブレーク1		カレー		救急車		カラオケボックス		バラ		アイス喜び			
ハートブレーク2		おでん		パトカー		工場		きのこ		ぺんぎん喜び			
リボン		ナルト		飛行機		灯台		てんとう虫		ねこ喜び			
音符1		焼肉		オートバイ		大仏		蝶		うさぎ喜び			
音符2		カツ丼		スクーター		信号		チューリップ		ぺんぎん感謝			

※ ©Disney

- デコメ絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、i モード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- デコメール非対応機種に送信した場合、メール本文にデコメール参照用URLを付けて送信し、受信者はURL付きのメールを選択することでデコメールを閲覧できます。

顔文字一覧

(^0^)	(+_+)	(^^ゞ	φ(..)	(^^)Y☆Y(^^)
o(^-^)o	(-_-)	(☆_☆)	(^人^)	o(^-^o)(o^-^)o
(^0^)/	(v_v)	(ノ＞＜)ノ	＜(＿＿)＞	(ノ°0°)ノ
p(^^)q	(T_T)	(－_－#)	(´Д`)	(° o°)＼(-_-)
(>_<)	(￥_￥)	(¨ ;)	＼(^^:;)	(∪o∪)。。。
(X_X)	(@_@)	(－_－メ)	(#^.^#)	(^ ^)＼(° °)
m(__)m	(?_?)	(° ∇°)	(^0)＝3	＼^o^／
f^_^;	(;_;)	!(^ ^)!	(; ´・`)	(┬┬＿┬┬)
(:_;)	(0_0)	o(＞＜)o	(´～`;)	??(° Q。)??
(-.-;)	(^_^)	(。。;)	(￣∇￣;)	(^_-)-☆

● 「かお」と入力すると顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することもできます。

定型文一覧

分類	No.	定型文	分類	No.	定型文
あいさつ	1	おはようございます	応答	1	OKです
	2	おやすみなさい		2	NGです
	3	昨日は、どうもありがとうございました		3	ありがとう
	4	行ってきます		4	ごめんなさい
	5	いってらっしゃい		5	待ってて
	6	お疲れ様でした		6	今忙しい
	7	お世話になっております		7	後で連絡入れます
	8	こんにちは		8	保留です
	9	こんばんは		9	キャンセルです
ビジネス	1	直行します	インターネット	1	.ne.jp
	2	直帰します		2	.co.jp
	3	休暇をとります		3	.ac.jp
	4	半休します		4	.or.jp
	5	電車遅延のため、遅れます		5	.go.jp
	6	本日の会議は中止となりました		6	.com
	7	出欠をご連絡ください		7	@docomo.ne.jp
	8	次の指示を待ってください		8	http://
	9	携帯の電源を切ります		9	www.
プライベート	1	遊びに行こう	自作定型文	1	--------------------
	2	飲みに行きませんか？		2	--------------------
	3	遅れます		3	--------------------
	4	変更します		4	--------------------
	5	中止です		5	--------------------
	6	先に行きます		6	--------------------
	7	先に帰ります		7	--------------------
	8	時間です		8	--------------------
	9	何してるの？		9	--------------------

● お買い上げ時は、自作定型文は登録されていません。

電卓計算例

計算例

計算例		操作	表示結果
加減乗除	14×3+5=	14[×]3[+]5[=]	47
	(−24)÷4−2=	[−]24[÷]4[−]2[=]	−8
定数計算	34+57= 45+57=	34[+]57[=] 45 [=] (加数が定数となります)	91 102
	48−23= 14−23=	48[−]23[=] 14 [=] (減数が定数となります)	25 −9
	68×25= 68×40=	68[×]25[=] 40 [=] (被乗数が定数となります)	1,700 2,720
	35÷14= 98÷14=	35[÷]14[=] 98 [=] (除数が定数となります)	2.5 7
パーセント計算	200の10%は?	200[×]10[%]	20
	9は36の何%?	9[÷]36[%]	25
消費税計算	消費税込み3000円の消費税額は?	3000[TAX]	142税
	消費税込み3000円の税抜き額は?	3000[TAX][TAX]	2,858税抜
割増割引計算	200の10%増しは?	200[+]10[%](または200[×]10[%][+][=])	220
	500の20%引きは?	500[−]20[%](または500[×]20[%][−][=])	400
べき乗	$(4^3)^2$=	4[×][=][=][×][=]	4,096
逆数計算	1/8=	8[÷][=]	0.125
メモリ計算 累計	27×5= +)87÷3= +)68+15= (計) =	[CM]27[×]5[M+] 87[÷]3[M+] 68[+]15[M+] [RM] ([M+]は[=]の働きをかねています。)	M 135 M 29 M 83 M 247
メモリ計算 一時記憶	(13+3×4)×(50−45)=	[CM]13[M+]3[×]4[M+]50[−]45[×][RM][=]	M 125
メモリ計算 定数記憶	135×(12+14)= (12+14)÷5=	[CM]12[+]14[M+] 135[×][RM][=] [RM][÷]5[=]	M 26 M 3,510 M 5.2

● メモリに「0」以外の数値が入ると、[M]が表示されます。

お知らせ

● メモリ計算では[CM]を押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
● 税計算は小数点以下は省略されます。
例:120[TAX]と押すと、[5税]と表示されます。

[E]が表示されたとき

● 計算の結果、[E]が表示されると、それ以降の計算ができません。CLR[C・CE]を押してください。
①除数が0の計算をしたとき(例:5[÷]0[=])
②メモリの数値の整数部が12桁を超えたとき(例:[CM]999999999999[M+]1[M+])
③計算結果の整数部が12桁以上になったとき(例:1000000000[÷]0.01[%])

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の通信状態 \ 実行する通信	音声電話		テレビ電話		iモード接続	iモードメール		SMS		データ通信(パケット)		データ通信(64K)		プッシュトーク		プッシュトークプラス	ワンセグ
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	送信	受信	送信	受信	発信	着信	ネットワーク接続	視聴
音声電話中	△※1	△※1	×	×※2	○	○	○	○	○	○	○	×	×※2	×	×※2	×	○
テレビ電話中	×	×※2	×	×※2	×	×	×	×	○	×	×	×	×※2	×	×	×	×
iモード中	○	○	△※6	△※3	×	○	○	○	○	×	×	×	×※2	△※4	△※7	×	○

現在の通信状態＼実行する通信	音声電話		テレビ電話		iモード接続	iモードメール		SMS		データ通信(パケット)		データ通信(64K)		プッシュトーク		プッシュトークプラス	ワンセグ
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	送信	受信	送信	受信	発信	着信	ネットワーク接続	視聴
iアプリ通信中	△※4	△※4	△※4	△※3	×	△※4	○	△※4	○	×	×	×	×※2	△※4	△※7	×	×
データ通信中(パケット)	○	○	×	×※2	×	×	×	×	○	×	×	×	×※2	×	×	×	○
データ通信中(64K)	×	×※2	×	×※2	×	×	×	×	○	×	×	×	×※2	×	×	×	×
プッシュトーク通信中	×	△※5	×	×※2	×	×	×	×	○	×	×	×	×※2	×※8	×※2	×	×
プッシュトークプラス(ネットワーク接続中)	○	○	×	×※2	×	×	×	×	○	×	×	×	×※2	○	○	×	○
ワンセグ視聴中	○	○	×	△※9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○:現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理できます。
×:現在の通信状態を継続します(実行する通信を処理することはできません)。
△:条件により処理できます。
※1 キャッチホンをご契約の場合は、処理できます(☞P.394)。
※2 着信履歴には記憶されます。
※3 テレビ電話を着信するか、パケット通信を継続するかを選択できます(☞P.82)。
※4 iモード、iアプリからの通信は切断され、実行する通信を処理できます。
※5 [PT通信中着信設定]が[着信拒否](お買い上げ時:[通常着信])の場合、現在の通信状態を継続します。音声電話着信を処理するためには、[PT通信中着信設定]を[着信拒否]以外に変更してください(☞P.94)。また、着信があった状態で、音声電話に応答するとプッシュトークは切断されます。音声電話を拒否した場合は、プッシュトークは切断されません。
※6 iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※7 [iモード通信中着信設定]が[プッシュトーク着信優先](お買い上げ時)の場合、iモード、iアプリからの通信は切断され、実行する通信を処理できます(☞P.199)。
※8 自分が発信者の場合のみ、メンバー追加のための発信は可能です。
※9 着信に応答すると、ワンセグは中断されます。

マルチアシスタント(マルチタスク)の組み合わせについて

マルチアシスタント(マルチタスク)で同時に使用可能な機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の操作中機能＼呼び出し可能な機能	マナーモード設定／省電力設定	メール／メールを読む／ToDo	履歴から電話する／マルチアシスタント画面／ダイヤル入力／音声電話発信	iモード	フルブラウザ／iチャネル／インターネットで検索／ブラウザのBookmark／iモードのBookmark	iアプリ	サポートブック／ブックリーダー	データBOX／ミュージックプレーヤー	電話帳／電話帳を開く	スケジュール／スケジュールを見る	電卓	テキストメモ	テレビ電話発信	プッシュトーク発信	ドキュメントビューア	トルカ	SDオーディオ	ワンセグ	iモーションプレーヤー※1
iアプリ	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×
PDF対応ビューア	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
ミュージックプレーヤー	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
iモーションプレーヤー※1	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
SDオーディオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
ワンセグ	×	○	○	○※2	○	×	○	×※3	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×
ビデオプレーヤー※1	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×
電話帳・プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テキストメモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電プレーヤー	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
スケジュール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データBOX	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×※4	×
音声電話	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×
ブックリーダー・ドキュメントビューア	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トルカ	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

次ページへ続く

現在の操作中機能＼呼び出し可能な機能	マナーモード設定／省電力設定	メール／メールを読む／ToDo	履歴から電話する／マルチアシスタント画面／ダイヤル入力／音声電話発信	iモード	フルブラウザ／iチャネル／インターネットで検索／ブラウザのBookmark／iモードのBookmark	iアプリ	サポートブック／ブックリーダー	データBOX／ミュージックプレーヤー	電話帳／電話帳を開く	スケジュール／スケジュールを見る	電卓	テキストメモ	テレビ電話発信	プッシュトーク発信	ドキュメントビューア	トルカ	SDオーディオ	ワンセグ	iモーションプレーヤー※1
ｉモード	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○※2	○
フルブラウザ・ｉチャネル	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール・メール作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データ通信（パケット）	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○：呼び出し可能な機能です。
×：呼び出し不可能な機能です。グレー表示されます。
※１ バックグラウンド再生はできません。
※２ サイクロイドポジションのときは、ｉモード通信で取得したコンテンツとワンセグは同時に表示できません。
※３ データBOXのフォルダ一覧画面とファイル一覧画面は表示できますが、ファイルの表示・再生はできません。
※４ データBOXのフォルダ一覧画面とファイル一覧画面からはワンセグを起動できますが、ファイルの表示・再生中はワンセグを起動できません。

- 表中の「現在の操作中機能」以外の機能を利用している場合は、マルチアシスタントを使用できないことがあります。
- アプリケーションの状態によってはこの表に従わない場合もあります。
- メモリの不足している場合など、この表の組み合わせでもマルチアシスタントを使用できない場合があります。
- ドキュメントビューアはｉモード／フルブラウザ／インターネットで、検索と同時に使用できないことがあります。
- 「ダイヤル入力」はマルチアシスタント画面で[発信]を押して呼び出します。
- SDオーディオ起動と他の機能からのmicroSDメモリーカード使用は、同時に行うことはできません。

ワンセグのマルチウインドウ表示について

マルチウインドウで、ワンセグを視聴しながら起動できる機能は次のとおりです。

- ■ メール※1
- ■ 電話帳
- ■ サポートブック
- ■ データBOXのフォルダ一覧画面とファイル一覧画面
- ■ スケジュール
- ■ ToDo
- ■ テキストメモ
- ■ 電卓
- ■ ブックリーダー
- ■ ドキュメントビューア
- ■ トルカ※2

※１ 電話帳登録されていない差出人からのメールを表示する場合は、ワンセグの映像が表示されません。
※２ ワンセグの音声のみが放送され、映像は表示されません。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※ 電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

お知らせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります(2007年8月現在)。
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください(2007年8月現在)。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話/携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用になれませんので、ご注意ください(一般電話または公衆電話から、FOMA端末へかける際の自動クレジット通話はご利用になれます)。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合はお近くの公衆電話または一般電話からかけてください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01/02
- 電池パック SH11
- 卓上ホルダ SH13
- リアカバー SH14
- FOMA DCアダプタ01/02
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※2/P002※2
- ステレオイヤホンセット P001※2
- イヤホンターミナル P001※2
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA室内用補助アンテナ
- FOMA USB接続ケーブル※5
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- FOMA海外兼用ACアダプタ01※1
- 車載ハンズフリーキット01※3
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01
- 車内ホルダ01※4
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01※5
- FOMA室内用補助アンテナ(スタンドタイプ)
- FOMA 補助充電アダプタ 01

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※2 スイッチ付イヤホンマイク、ステレオイヤホンセット、イヤホンターミナルは、イヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。
※3 FOMA SH903iTVをUSB接続/充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。
※4 車内ホルダ01をご利用になるときは、サイドボタンのボタン操作無効設定をしてご利用ください。
※5 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

外部機器との連携

対応する外部機器を利用してmicroSDメモリーカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できます。※
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます(☞P.318)。
対応機器などについては、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh903itv/をご覧ください。または下記にお問い合わせください。

- 外部機器で作成したｉモーション(音楽データを含む)をFOMA端末で再生する(☞P.357)。

※ 保存した動画や外部機器の形式によっては、再生できない場合があります。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間:平日10:00～12:00／13:00～17:00
(土・日・祝日および所定の休日を除く)

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ(株)のQuickTime™ Player(無料)ver.6.4以上(またはver.6.3+3GPP)が必要です。
QuickTime™ Playerは、以下のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについては、アップルコンピュータ(株)のホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェア更新をしてください(ソフトウェア更新☞P.452)。

症　状	説　明	ページ
動作しない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.44 P.43 P.39
電源が入らない	● ☎を２秒以上押していますか？ ● 電池切れになっていませんか？ 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。 ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.44 P.43 P.39
電源が切れる	● FOMAカードのIC部が汚れていませんか？ ● 電池パックの接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子(充電端子)が汚れていませんか？	P.36 P.39
充電ができない	● 電池パックが正しく取り付けられていますか？ ● FOMA端末、電池温度が高くなっていませんか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか？ ● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？	P.39 P.40 － P.41 P.42 P.42
充電しても、すぐに使えなくなる	● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？ ● 電池の寿命がきていませんか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● FOMA端末の扱いかたによって電池の持ち時間は変化します。	P.42 P.40 － P.40

症　状	説　明	ページ
ボタン操作ができない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● オールロックやボタン操作無効が設定されていませんか？	P.44 P.148 P.153
[圏外]が表示されて電話がかけられない	● サービスエリア外か電波の弱い場所にいませんか？	P.28
[self]が表示されて電話がかけられない	● セルフモードが設定されていませんか？	P.150
電話帳ダイヤルで電話がかけられない	● 電話帳の機能別ロックが設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.151 P.148
ダイヤルボタンで電話がかけられない	● ダイヤル発信制限が設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.152 P.148
ダイヤルしても話中音(ツーツー…)が聞こえる	● 「090」、「080」や「070」、または市外局番を忘れていませんか？ ● [圏外]が表示されていませんか？ ● 相手が携帯電話の場合、相手の電波状況が悪いと電話がかからないことがあります。	P.49 P.28 —
通話がとぎれたり、切れる	● 電波の届きにくい場所にいませんか？ ● 電池切れになっていませんか？	P.28 P.43
通話中、相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	● 受話音量が大きくなっていませんか？	P.67
通話中に「プチッ」と音が入る	● 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
宛先登録時、[メール送信履歴]、[メール受信履歴]が選択できない	● メール送信履歴表示、メール受信履歴表示が[OFF]に設定されていませんか？	P.154
メールを受信したとき設定した着信音が鳴らない	● メール受信表示設定を[操作優先]に設定していませんか？	P.239
着信音が鳴らない	● 着信音量が[サイレント]に設定されていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 通話中ではありませんか？ ● 保留のままになっていませんか？ ● 呼出動作開始時間設定を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信許可を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信拒否を設定していませんか？ ● 非通知理由別着信拒否を設定していませんか？ ● 電話帳登録外着信拒否を設定していませんか？ ● 留守番電話サービスを使用し、呼出時間を[0秒]に設定していませんか？ ● 公共モード(ドライブモード)に設定していませんか？ ● マナーモードに設定していませんか？	P.118 P.43 P.44 P.63 P.67 P.158 P.156 P.157 P.157 P.159 P.392 P.68 P.123
メールを受信したとき設定した着信音以外の着信音が鳴る	● 電話帳に指定メール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 電話帳のグループにメール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、そのグループのメール着信音が鳴ります。 ● 指定メール着信音とグループ指定メール着信音の両方を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定した指定メール着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳のメールアドレスには電話番号のみを登録し、指定メール着信音を設定してください。 ● メール送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、指定メール着信音を設定していますか？ ● SMSを受信したときは、電話帳に設定した指定メール着信音が有効となります。 ● 電話番号が正しく登録されていますか？	P.100 P.105 P.117 — P.100 P.100 — P.98

次ページへ続く▶▶

症　状	説　明	ページ
着信またはメールの受信をしたとき設定した着信ランプ以外の着信ランプが点滅する	● 電話帳指定着信ランプ／電話帳指定メール着信ランプを設定した相手から着信またはメールを受信したときは、指定したランプ設定で点滅します。 ● グループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプを設定した相手からの着信またはメールを受信したときは、そのグループに設定したランプ設定で点滅します。 ● 電話帳指定着信ランプ／電話帳指定メール着信ランプとグループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプを両方設定した相手からの着信またはメールを受信したときは、電話帳指定着信ランプ／電話帳指定メール着信ランプで設定したランプ設定で点滅します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定したランプ設定で点滅します。 ● 相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳のメールアドレスには電話番号のみを登録し、ランプ設定を設定してください。 ● メール送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、ランプ設定を設定していますか？ ● SMSを受信したときは、電話帳に設定したランプ設定が有効となります。 ● 電話番号が正しく登録されていますか？	P.100 P.105 P.138 － P.100 P.98 P.100 P.98
［サービス未契約です］と表示される	● ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	－ －
日付の順序が逆に表示される	● Bilingualで［English］に設定していませんか？	P.141
［しばらくお待ちください］が表示されて消えない	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混みあっていますので、しばらくたってからかけ直してください。	－
電話の発着信、メールの送受信、ｉモードの機能が使えない	● 電池切れになっていませんか？ ● ［圏外］が表示されていませんか？ ● セルフモードが［ON］に設定されていませんか？	P.43 P.28 P.150
文字が入力できない	● 文字数の制限をオーバーしていませんか？	－
画面表示が消えた	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 省電力モードが起動していませんか？ ● 自動電源OFFを設定していませんか？	P.44 P.43 P.132 P.368
ドコモホームページやｉMenuの［お知らせ］にソフトウェア更新が必要との案内がある	● ソフトウェアの更新が必要です。 ソフトウェアを更新してください。	P.452
ＩＣカード（FeliCa 機能）が使えない	● ＩＣカードロック、おまかせロックが設定されていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？	P.149 P.270 P.43
画面が白っぽく見える	● プライベートフィルタが設定されていませんか？Ecoを１秒以上押すとプライベートフィルタを解除できます。	P.142
ディスプレイの表示が暗い場合やボタンのバックライトが点灯しないことがある	● 省電力設定の明るさ調整を［自動］に設定していませんか？周りの明るさによってディスプレイの照明やボタンのバックライトの照明を調整しています。	P.132
明るさセンサー機能がうまく働かない	● 明るさセンサー部分にシールなどの遮蔽物を貼っていませんか？	P.24
積算通話料金が増えない	● FOMAカードの積算通話料金の上限値（約1677万円）に達していると増えません。リセットすることにより、０円に戻ります。	P.384
データ転送が行われない	● USB HUBを使用していませんか？USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	－

こんな表示が出たら

● メッセージと共に、3桁の数字が表示される場合があります。一部の数字は、端末で表示させているドコモ独自のコードとなります。

表　示	説　明	ページ
[FOMAカード(UIM)を挿入してください]	● FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.36
[PIN1コードがロックされています]	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。しばらくするとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、正しいPINロック解除コードを入力してロックを解除してください。	P.147
[PINロック解除コードがロックされています]	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.145
[一部コピーできない項目がありますが、コピーしますか？]	● FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2件目以降の電話番号／メールアドレスをFOMAカードにコピーすると表示されます。また、使える文字や文字数も異なるため、コピーできないデータがあるとき表示されます。[はい]を選択すると、1件目の電話番号／メールアドレスがコピーされます。	―
[一部登録できないデータがあります　登録しますか？]	● 文字読み取りで読み取った文字を電話帳に登録する場合、登録できないデータがあるとき表示されます。[はい]を選択すると、登録されます。	―
[おまかせロック中です]	● おまかせロックが設定されているときに表示されます。	P.149
[音声伝言メモがすでに3件録音されています]	● 音声電話伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件未満、録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。	P.75
[外部機器接続中のため使用できません]	● 外部機器接続中のため、i モードを終了する以外の i モードの操作はできません。	P.438
[画像に誤りがあり正しく動作しません]	● Flash画像に誤りがあります。	―
[機能別ロック中です]	● 電話帳の機能別ロックが設定されています。解除してからやり直してください。	P.151
[このカードは認識できません]	● 本端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。 ● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	― P.36
[これ以上録音できません]	● 音声伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。	P.75
[シークレットデータが登録されています]	● シークレットモードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようとしたときに表示されます。	P.113 P.154
[しばらくお待ちください]	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混みあっていますので、しばらくたってからかけ直してください。ダイヤルボタンを押すとメッセージが消えます。 ● 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	― ―
[しばらくお待ちください(パケット)]	● パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混みあっていますので、しばらくたってから、再度操作してください。	―
[セルフモード設定中です]	● セルフモード設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.150
[操作できませんでした]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。[Yıll]が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。	P.28
[ダイヤル発信制限設定中です]	● 電話帳(microSDメモリーカード内の電話帳を除く)、リダイヤル以外で電話をかけるときは、ダイヤル発信制限を解除してください。	P.152
[ただ今、使用できません]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、テレビ電話発信しようとしたときに表示されます。	P.28

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[端末暗証番号を入力してください]	● 機能別ロック中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力すると、機能別ロックが一時解除され、操作できます。	P.151
[端末暗証番号が違います][4～8桁で入力してください]	● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。 端末暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.144
[データベースの更新を行います]	● データBOXのデータベースの復旧処理を行います。 復旧処理を行っても、データBOX内の下記情報などは復旧できない可能性があります。 ■ 破損されたデータ ■ お客様が作成した、ユーザ作成フォルダ ただし、フォルダ内のデータは消えずに、移動元のフォルダに残っています。 ■ 再生制限のあるｉモーション、ミュージックのデータ ■ プリインストール以外のPDFデータ ■ データBOXに保存されるｉアプリが使用する一部のデータ	－
[テレビ電話伝言メモがすでに２件録画されています]	● 音声伝言メモ３件未満、テレビ電話伝言メモ２件録音済みです。 不要な伝言メモを削除してからやり直してください。	P.75
[電話帳指定許可を解除してください]	● 電話帳指定着信許可が設定されています。 解除してからやり直してください。	P.156
[同時に通話できる人数４人を超えています]	● プッシュトーク電話帳から５人以上のメンバーにプッシュトーク発信を行った場合に表示されます。発信メンバーを４人以下に設定してください。	P.91
[ネットワーク暗証番号が誤ってます]	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。 ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.144
[メモリの空きがありません]	● すでにFOMA端末（本体）の電話帳に電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合に表示されます。	P.96
[メモリ番号：×××は書換えできません]	● シークレットモードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● 電話帳指定着信許可または電話帳指定着信拒否を設定中に、リスト登録している電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.113 P.155 P.156
[録音処理に失敗しました]	● 400件を超えて録音しようとしたときに表示され、ボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。	P.338
[録画処理に失敗しました]	● microSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をmicroSDメモリーカードに設定して撮影を開始すると表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。	－

ｉモード関連

● ｉモード関連のエラーメッセージ中の（　）で囲まれた数字は、ｉモードセンターから送信されるもので、エラーの内容を区別するためのコードです。

表　示	説　明	ページ
[FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません]	● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選んで実行しようとしたときに表示されます。 ● ソフト一覧からｉアプリを起動しようとした場合に表示されます。 ● サイトやインターネットホームページ、ｉモードメールから、ｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.37 － P.37
[FOMAカード情報が一致しないため[ダウンロード/バージョンアップ/起動/保存]できません]	● 挿入しているFOMAカードと FeliCa に対応付けされているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。	－

表　示	説　明	ページ
[ＩＣカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？]	● おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ＩＣカード内データの容量が足りない場合に表示されます。[はい]を選んで⦿[決定]を押すと、すでに登録しているおサイフケータイ対応ｉアプリの一覧と、ＩＣカード内の容量(バイト数)が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては[はい]を選んで⦿[決定]を押したあとに、おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧のみが表示されることがあります。この場合は、一覧からｉアプリを選択して削除してください。	－
[ｉアプリTo設定されていません]	● サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールからソフトを起動しようとしたときに、指定したソフトが連携許可されていないため、起動できません。	P.256
[ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]	● ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。 ● 通信を行ってｉアプリを継続するときは[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続するときは[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了するときは[終了]を選択します。	P.249 －
[ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？]	● [ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示されたときに[いいえ]を選択してｉアプリを継続している場合、再度ｉアプリが通信を行おうとしたときに表示されます。 ● 通信を行ってｉアプリを継続するときは[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続するときは[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了するときは[終了]を選択します。	P.249 －
[ｉモーション再生サイズを超えています]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.205
[ｉモーション再生サイズを超えました]	● 標準タイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.205
[ｉモーション最大サイズを超えています]	● ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが２Ｍバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.205
[ｉモーション最大サイズを超えました]	● ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションのサイズが２Ｍバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.205
[SMSがいっぱいです　これ以上コピーできません]	● FOMA端末(本体)またはFOMAカード内のSMSが最大件数まで保存されていてコピーできなかったときに表示されます。	P.243
[SSL通信が切断されました]	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再び接続し直してください。	P.183
[SSL通信が無効です]	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	P.183
[SSL通信が無効に設定されています]	● 証明書設定で無効に設定した証明書を受信したときに表示されます。無効に設定した理由を確認し、証明書の安全性に問題がない場合は、証明書を有効に設定してから再び接続し直してください。	P.203
[URLが長すぎて登録できません]	● URLが登録可能文字数を超えるため、ブックマークへ登録できません。	P.188
[以下の宛先にはメール送信できませんでした(561)　Mails could not be sent to following address.　○○@△△△.ne.jp] ※ メールアドレスは送信先により表示が異なります。	● 表示された宛先にメールが正しく送信できなかった場合に表示されます。	－
[応答がありませんでした(408)]	● サイトやインターネットホームページからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続をお試しください。	P.182
[同じサービスを利用するソフトがあるため[ダウンロード/バージョンアップ/起動]できません　該当するサービスを削除しますか？]	● 同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスを[ダウンロード/バージョンアップ/起動]できません。「はい」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。	－

表　示	説　明	ページ
[画面メモがいっぱいです。上書きしますか？]	● 画面メモを登録するメモリの空き容量がないとき表示されます。[はい]を選択して上書きする画面メモを選択すると、保存確認の画面に進みます。[いいえ]を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。	―
[携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します]	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。[はい]を選んで◉[決定]を押すと、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」が送信されます。送信せずに元の画面に戻るには、[いいえ]を選んで◉[決定]を押すか、CLRを押します。 ● 送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。 ● 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。	P.183 ― ―
[圏外です]	● サービスエリア外や電波が届かないところで、ｉモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。 [Yıll]が表示されるところまで移動してｉモードのサービスをご利用ください。	―
[このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください　変更しますか？]	● ｉモーションタイプ設定を[標準タイプ]に設定しているときに、ストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとしたときに表示されます。	P.208
[このサイトとのSSL通信は無効です]	● 書換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトやインターネットホームページとはSSL通信できません。	P.183
[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]	● FOMA端末では検証できないサーバー証明書を受信したときに表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続するときは、[はい]を選んで◉[決定]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選んで◉[決定]を押します。	P.183
[このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバー証明書を受信したときに表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続するときは、[はい]を選んで◉[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選んで◉[決定]を押します。	P.183
[この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？]	● 署名の有効期限が切れたサーバー証明書を受信したときに表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続するときは、[はい]を選んで◉[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選んで◉[決定]を押します。 日時設定を行ってください。	P.183
[この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？]	● 正しくない情報をもったSSLサーバー証明書を受信したときに表示されます。安全性を確認できないことを承知の上で接続するときは、[はい]を選んで◉[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選んで◉[決定]を押します。	P.183
[このデータは再生できない可能性があります。取得しますか？]	● MP4(Mobile MP4)形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。	P.308
[これ以上保護できません]	● メッセージR／F／メール／送信済みメールで保護できる最大件数を超えています。保護を解除してください。	P.234
[これ以上ウィンドウは開けません]	● 表示可能なフレーム数を超えた場合やメモリ不足などにより、新ウィンドウで開くことができないときに表示されます。	―
[サービス未契約です]	● ｉモードをご契約されておりません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから再度電源を入れ直してください。	P.182 ―
[最大サイズを超えたので中断しました]	● サイトやインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、ダウンロードしたところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書をダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	P.187 ―

表　示	説　明	ページ
[最大サイズを超えているため一部のデータが失われる可能性があります　編集終了しますか？]	● 本文のみのサイズが10000バイトを超えているとき表示されます。[はい]を選んで⦿を押すと、メール作成画面が表示されますが、超過しているデータは削除され、[⊠]が表示されます。メールの内容（文字、画像など）によっては、削除されない場合もあります。編集し直すときは、[いいえ]を選んで⦿を押すと本文入力画面に戻ります。10000バイト以内になるように編集してください。	－
[サイトが移動しました(301)]	● サイトやインターネットホームページが移動したためURLが変更されています。古いURLをブックマークに登録している場合は新しいURLに更新されます。	P.188
[サイトに接続できませんでした(403)]	● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.182
[削除される添付ファイルがあります]	● 転送または引用返信するｉモードメールに、ｉモードメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。⦿[決定]を押すと、ファイルが削除された状態でｉモードメール編集画面が表示されます。	P.220
[指定サイトがみつかりません(404)]	● サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。サイトやインターネットホームページが存在しない可能性があります。	－
[指定サイトに表示データがありません(204)]	● 接続したサイトやインターネットホームページに表示するデータがない場合に表示されます。	－
[指定されたソフトがありません]	● ｉモードメール、赤外線通信機能からのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	P.256
[指定されたソフトが起動できませんでした]	● サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメール、赤外線通信機能からソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。	P.256
[指定したサイトへは接続できませんでした(504)]	● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.182
[重複したアドレスを削除しました]	● ｉモードメール作成時、同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定したときに、重複するアドレスを削除します。	P.216
[セキュリティエラーのため終了しました]	● ｉアプリが不正な動作をしようとしました。 ● ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合に表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。	P.257 P.257
[接続が中断されました]	● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。 電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く[Yıl]マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。	P.28 －
[接続できません]	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。 ｉモード設定の[接続先選択]で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.198 P.182
[接続できませんでした]	● テレビ電話発信時に番号通知お願いサービスを設定しているため、接続ができません。発信者番号を[通知する]に設定してかけ直してください。	P.46
[設定時間内に接続できませんでした]	● [接続待ち時間設定]で設定した接続待ち時間となったため、サイトやインターネットホームページへの接続、ｉモードメールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトやインターネットホームページへの接続やｉモードメール送信などを行ってください。	P.198
(ｉＣ通信中に)「送信相手が見つかりません」	● 通信相手が認識できなかったときに表示されます。	－
[送信できませんでした]	● ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されますので、電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。[宛先を確認してください]があわせて表示されるときは、宛先の修正を行ってから送信してください。 [ⓘモードセンターが混みあっています]があわせて表示されるときは、しばらくたってから送信し直してください。また、[送信先のメールがいっぱいです]があわせて表示されるときは、送信先でメールを受け取ることができないためメールを送信できません。	－

次ページへ続く▶▶

表　示	説　明	ページ
[そのソフトは最新です]	● ｉアプリが更新されていないためバージョンアップされません。	P.258
[ソフトに誤りがあります]	● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	－
[ソフトに誤りがあるためダウンロードできません]	● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	－
[対応機種ではありません]	● ダウンロードしようとしたｉアプリがFOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。	－
[ダウンロード済みです]	● 同じバージョンのソフトがすでにダウンロードされています。	P.258
[ダウンロード中止しました]	● ダウンロード中に、ダウンロード中止操作を行ったときに表示されます。	－
[ダウンロードできませんでした] [コンテンツ不正のためダウンロードできません]	● ダウンロードするデータがない場合や、データが正しくない場合に表示されます。ダウンロードすることはできません。 ● 正しくない、または未対応の形式であるためダウンロードできません。	－ －
[ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい]	● ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。	P.182
(赤外線通信中に) [中断しました] [接続相手が見つかりません　続けますか？] [認証に失敗しました　続けますか？]	● 赤外線通信を中止する操作をしたときに表示されます。 ● 通信相手が認識できなかったときに表示されます。[はい]を選んで⦿を押すと、もう一度やり直すことができます。 ● 赤外線通信が正確に行えなかったときに表示されます。[はい]を選んで⦿を押すと、もう一度やり直すことができます。	P.335 P.335 P.335
[添付可能サイズを超えるため添付できません]	● サイズを超えているため添付できません。 本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。	P.220
[入力データまたはURLが長すぎます]	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信できません。 文字数を減らしてから送信し直してください。	－
[入力データをご確認ください(205)]	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信したあとに、サーバーがこの内容をリセットしたいときに表示されます。 画面上の入力した文字や設定が消去されます(直前に送信した内容はすでに送信されています)。	－
[認証タイプに未対応です(401)]	● 認証できないときに表示されます。 元のページに戻ります。	－
[認証を中止しました]	● 認証画面で[キャンセル]を選択したとき、またはCLRを押したときに表示されます。	－
[パスワードをご確認ください(401)]	● 認証画面で認証できないときに表示されます。	－
[保存中止しました]	● ｉアプリのダウンロード時に保存できなかった場合に表示されます。	－
[本体内の容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません]または[FOMAカード(UIM)の容量がいっぱいです空きがないためこれ以上受信できません]	● FOMA端末(本体)とFOMAカードの容量がいっぱいのとき表示されます。 新規にSMS受信できません。FOMA端末(本体)とFOMAカード内の未読ｉモードメール／SMSの確認(☞P.223、P.242)、保護解除(☞P.234)、不要なｉモードメール／SMSの削除(☞P.234、P.244)を行ってください。	－
[未送信BOXがいっぱいのため起動できません]	● 未送信メールの空きエリアがないために新規メールを作成できません。 未送信メールを送信または削除してから作成し直してください。	P.222 P.234
[無効なデータを受信しました(301)] [無効なデータを受信しました(302)]	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。 受信したデータは破棄されます。	－
[メッセージがいっぱいです]	● 保存先メモリの空き容量がなく、保護されていない既読メールが1件もないときにｉモードメールを受信した場合、[メッセージがいっぱいです]と表示されます。受信完了画面には件数[0]と表示されます。	－

表　示	説　明	ページ
[メモリ不足です]	● メモリが不足したため、ソフトを実行できません。 ● メモリが不足したため処理を中断し、i モードを終了します。	－ －
[メモリ不足です。Internet（フルブラウザ）メニューに戻ります]	● フルブラウザでインターネットホームページを表示中にメモリが不足したときに表示されます。この場合は、[確認]を選択してください。開いていたすべてのウィンドウが終了します。	P.290
[容量が不十分です。他の画面メモを上書きしますか？]	● 登録する画面メモの容量が指定した画面メモよりも大きいとき表示されます。[はい]を選択して上書きする画面メモを選択します。選択した時点で、その画面メモは削除されます。[いいえ]を選択すると、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。	－
[読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？]	● トルカの自動読取チェックを[OFF]に設定しているときに読み取り機で自動読取機能を利用しようとした場合に表示されます。[はい]を選んで⦿を押し、⦿[確認]を押すと自動読取チェックが[ON]に設定され、自動読取機能が利用可能になります。	P.270
[“○△□.ne.jp ”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）　Unable to send. “○△□.ne.jp ”is not available temporarily.] ※ ドメイン名は送信先により表示が異なります。	● 回線設備が故障、または回線が非常に混みあっています。しばらくたってから送信し直してください。	－

PDF対応ビューア／ドキュメントビューア関連

表　示	説　明	ページ
[エラー発生　ドキュメントビューアを終了します]	● ドキュメントビューアが起動され、次ページなどの読み込み時、解析に失敗したときに表示されます。ファイルの途中に壊れた情報が入っているときなどに発生します。	－
[実行できませんでした]	● ドキュメントビューアとしての表示はされますが、さらにルーペや指定位置拡大などの機能を実行するにはメモリが不足しているときに表示されます。	－
[正しく表示出来ません]	● ファイルサイズが大きく、ドキュメントビューアでファイルが表示できないときに表示されます。 ● ファイル内に、ドキュメントビューアがサポートしていない機能があるときに表示されます。 ● メモリ不足などにより、ドキュメントビューアの起動に失敗したときに表示されます。 ● ドキュメントビューア起動時、タイムアウトが発生し、起動に失敗したときに表示されます。解析に多くの時間がかかるファイルのときに発生します。 ● ファイルの詳細情報を表示しようとしたとき、情報取得に失敗したときに表示されます。	P.344 P.344 － － P.346
[メモリが不足しているため上書きできませんでした]	● メモリが不足しデータの上書きができない場合に表示されます。	－
[メモリが不足しているため情報の更新ができませんでした]	● メモリが不足しデータの更新ができない場合に表示されます。	－
[ワンセグ実行中です　起動できません]	● ワンセグのビデオ録画中や、録画したビデオの再生中にドキュメントビューアを起動したときに表示されます。	－

データBOX関連

表　示	説　明	ページ
[一部コピーできませんでした]	● microSDメモリーカード内に、FOMA SH903iTV以外の端末やパソコンで作成したファイルやフォルダが存在する場合に表示されることがあります。	P.320
[このデータは再生できません　削除しますか？]	● 日時設定がリセットされたあとに、i モーションを再生しようとしたときに表示されます。	－
[再生可能回数が終了しました　削除しますか？]	● 再生可能回数が終了した i モーションを再生しようとしたときに表示されます。	P.207

表　示	説　明	ページ
［再生可能期限が切れました　削除しますか？］	● 再生期間または再生期限が終了したｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。	P.207
［再生可能日前です　再生できません］	● 再生期間が設定されているｉモーションを、再生可能期間前に再生しようとしたときに表示されます。	P.207
［ただいまカメラを利用できません］	● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続で使用して、カメラ周辺部の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 ● カメラの撮影画面が表示されているときに着信が発生すると、機能制限により表示されることがあります。この場合、着信終了後あるいは通話終了後に再度カメラを起動すれば使用できます。 ● 電話帳やメールなどからカメラを起動した直後にFOMA端末を閉じると、FOMA端末を開いたときに表示される場合があります。再度カメラを起動してください。	－ － －
［電池残量が足りません］	● 電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。	P.40
［未対応画像です　画像編集できません］	● 画像データが正しくないため編集ができません。	－
［メモリがいっぱいです　これ以上登録できません］	● データのコピー中に転送先の最大登録（保存）件数を超えたとき表示されます。すでに登録（保存）されているデータの中で、不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。	－
［メモリが少なくなっています　不要な画像を削除してください］	● FOMA端末（本体）の空きメモリが少なくなっているため、現在の設定のまま で撮影した画像を保存するには、すでに保存されている別のファイルを削除して空きエリアを増やす必要があります。	－
［リンク設定データがあるため一部削除できませんでした］	● フォルダの全件削除時に、待受画面や着信音などの各種機能に設定されているため削除されないデータがあった場合に表示されます。 ● xxxSHARP/xxxSH_UF/PRLxxxなどのフォルダ内にフォルダが存在する場合に表示されます。パソコンなどで該当フォルダを削除するか、microSDメモリーカードをフォーマットしてください。	P.329 P.325

■ マルチアシスタント（マルチタスク）関連

表　示	説　明	ページ
［これ以上起動できません］ ［これ以上起動できません　MULTIボタンを押して機能を終了させてください］	● 起動できる最大数の機能が起動しています。 使っていない機能を終了させてから再度操作してください。	－
［既に起動中です　実行中の機能を終了し新規起動しますか？］	● すでに起動している機能を選択したときに表示されます。すでに起動中の機能を終了させて新規に起動するか、起動中の画面に切り替えるかを選択できます。	－
［電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します］	● 電源が切れそうになると表示されます。充電してください。	P.40 P.43
［同時に利用できない機能を使用中です　起動できません　MULTIボタンを押して機能を終了させてください］	● 同時使用ができない機能を起動しています。 使用中の機能を終了させてから再度操作してください。	－

■ ワンセグ関連

表　示	説　明	ページ
［SD未挿入のため録画できませんでした］	● ビデオ録画開始時にmicroSDメモリーカードが挿入されていないときに表示されます。	P.319
［SD利用中のため録画できませんでした］	● ビデオ録画開始時にmicroSDメモリーカードを利用していたときに表示されます。	P.319
［このチャンネルは受信できません］	● 放送電波圏外のため受信できません。［■.ıl］が表示されるところまで移動してご利用ください。	P.276
［このチャンネルは放送休止中です］	● 放送休止中のため受信できません。 ● 放送電波の受信状況によっては、放送中であっても放送休止中と表示されることがあります。	－ －

表　示	説　明	ページ
［この番組は録画禁止です］	● コピー制御信号が録画不可のときに表示されます。	P.284
［指定の番組を選局できません］	● 指定したチャンネルが検出できなかったときや、放送電波圏外のため受信できないときに表示されます。	－
［ビデオからはサイト接続できません］	● ビデオ再生時、データ放送からデータ放送サイト・ｉモードサイトへ接続しようとした場合に表示されます。	P.311
［ビデオからはｉアプリ起動できません］	● ビデオ再生時、データ放送からｉアプリを起動しようとした場合に表示されます。	P.311
［ビデオからはテレビリンク起動できません］	● ビデオ再生時、データ放送からテレビリンクを起動しようとした場合に表示されます。	P.311
［ビデオからはトルカダウンロードできません］	● ビデオ再生時、データ放送からトルカをダウンロードしようとした場合に表示されます。	P.311
［放送圏外のため録画できません］	● 放送電波圏外のため録画できません。［ ］が表示されるところまで移動してご利用ください。	P.276
［メモリ容量不足のため録画終了します］	● 録画中にmicroSDメモリーカードの空き容量がなくなったときに表示されます。	－
［メモリ容量不足のため録画できませんでした］	● FOMA端末（本体）のメモリの空き容量がないため、静止画録画を保存できないときに表示されます。 ● microSDメモリーカードの空き容量がないため、ビデオ録画できないときに表示されます。	－ －
［録画禁止番組が開始されました　録画終了します］	● 録画中にコピー制御信号が録画不可の番組が開始されたときに表示されます。	－

その他の表示

表　示	説　明	ページ
［SSL通信が無効に設定されています］	● ソフトウェアの更新時、SSL証明書が有効に設定されていないときに表示されます。［証明書設定］で証明書１～11のすべてを有効にしてください。	P.203
［SSL通信を切断しました］	● ソフトウェアの更新時、FOMA端末の日付（年月日）が正しく設定されていないときに表示されます。FOMA端末の日時設定を行ってください。	P.45
［他機能実行中のため起動できませんでした］	● 他の機能が実行されているため、予約時刻にソフトウェア更新を実行できませんでした。即時更新を行うか、別の日時を予約し直してください。	P.452
［ただいまメインカメラを利用できません］	● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続でご使用して、FOMA端末の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 ● 電池残量が少ないときに、テレビ電話でメインカメラを使用した場合に表示されます。充電してからご利用ください。	－ －
［通信に失敗しました］	● ソフトウェアの更新ができなかった場合に表示されます。 再度ソフトウェア更新を実施してください。	P.452
［電池不足です　フル充電してください］	● ソフトウェアの更新時、電池残量が［ ］、［ ］のときに表示されます。 ［ ］になるように充電してください。	P.40
［ファイルの内容が正しくないため表示できません］	● microSDメモリーカードの管理情報ファイルが正しくありません。 microSDメモリーカードの空き容量がなく、管理情報が正しく更新されなかった可能性がありますので、不要なファイルを削除してmicroSDメモリーカードの空き容量を作り、「管理情報の更新」を行ってください。	P.328
［フォーマットできませんでした］	● microSDメモリーカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため表示されることがあります。microSDメモリーカードを挿入し直すとご使用いただける場合もありますが、そのmicroSDメモリーカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。	P.325
［プッシュトークグループに一部受信できませんでした］	● お預かりセンターとFOMA端末（本体）電話帳の更新時、お預かりセンターからのデータのプッシュトークグループが19件を超えている、または同じ電話番号がすでに登録されているため登録できなかったときに表示されます。	－
［無効なデータが含まれています　一部送信できませんでした］	● お預かりセンターとFOMA端末（本体）電話帳の更新時やメールの選択保存時に、FOMAカード動作制限が設定された画像を削除して送信したときに表示されます。	－
［メモリ不足のためピクチャーコール画像を受信できませんでした］	● お預かりセンターとFOMA端末（本体）電話帳の更新時、FOMA端末（本体）の空きメモリが少ないため画像が保存できなかったときに表示されます。	－

保証とアフターサービス

保証について

FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
※ 本FOMA端末は、iモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
※ 本FOMA端末は、電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（☞P.406）とFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

※お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

保証期間内は

保証書の規定に基づき無料で修理を行います。

- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

お願い

FOMA端末および付属品の改造はおやめください。

- 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ■ 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - ■ 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - ■ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。

- 銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。

- お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

FOMA端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 使用箇所:スピーカ、受話口部

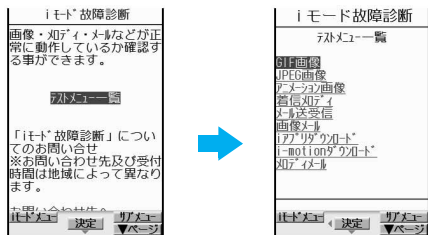
FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

iモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

次ページへ続く

「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

サイト接続用
QRコード

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[お知らせ]→[サービス・機能]→[ｉモード]→[ｉモード故障診断]

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバー（ｉモード故障診断サーバー）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

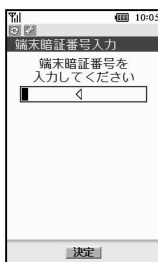
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

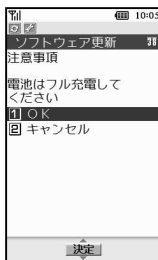
※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
　ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。

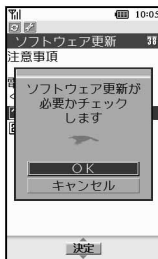
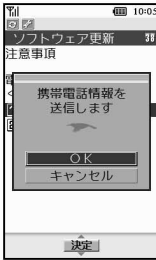
- 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の２種類があります。
  即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ｉモード設定の接続先選択をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■ 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ■ ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ■ 通話中・圏外にいるとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ 外部機器と接続中
  - ■ オールロック中
  - ■ 機能別ロック中
  - ■ おまかせロック中
- PIN1コードON／OFF設定を[ON]に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません（書換え以外の場合、音声電話の着信は可能です）。
- ソフトウェア更新中に送信されてきた、ｉモードメールやメッセージR／FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR／Fが保管されると[✉]／[R]／[F]が表示されますが、ソフトウェア更新の再起動時に消えます。また、メール選択受信を[ON]に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。ｉモードセンターには保管されています。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておく必要があります（お買い上げ時は[有効]に設定されています。☞P.203）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に[更新は必要ありません　このままご利用ください]と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。

- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。必要なデータは、更新前にバックアップ（☞P.323、P.406）を取ることをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、[書換え失敗しました]と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。
- ソフトウェア更新中は、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、録画も開始されません。

ソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で◉③⑧を押す。

- 初期設定でもソフトウェア更新確認画面が表示され、ソフトウェア更新を起動できます（☞P.44）。

2 端末暗証番号を入力して◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、[¥]で表示されます。お買い上げ時は、[0000]に設定されています。
- ソフトウェア更新注意事項画面で電池残量が不足しているときは、②[キャンセル]を押します。十分充電してからやり直してください。

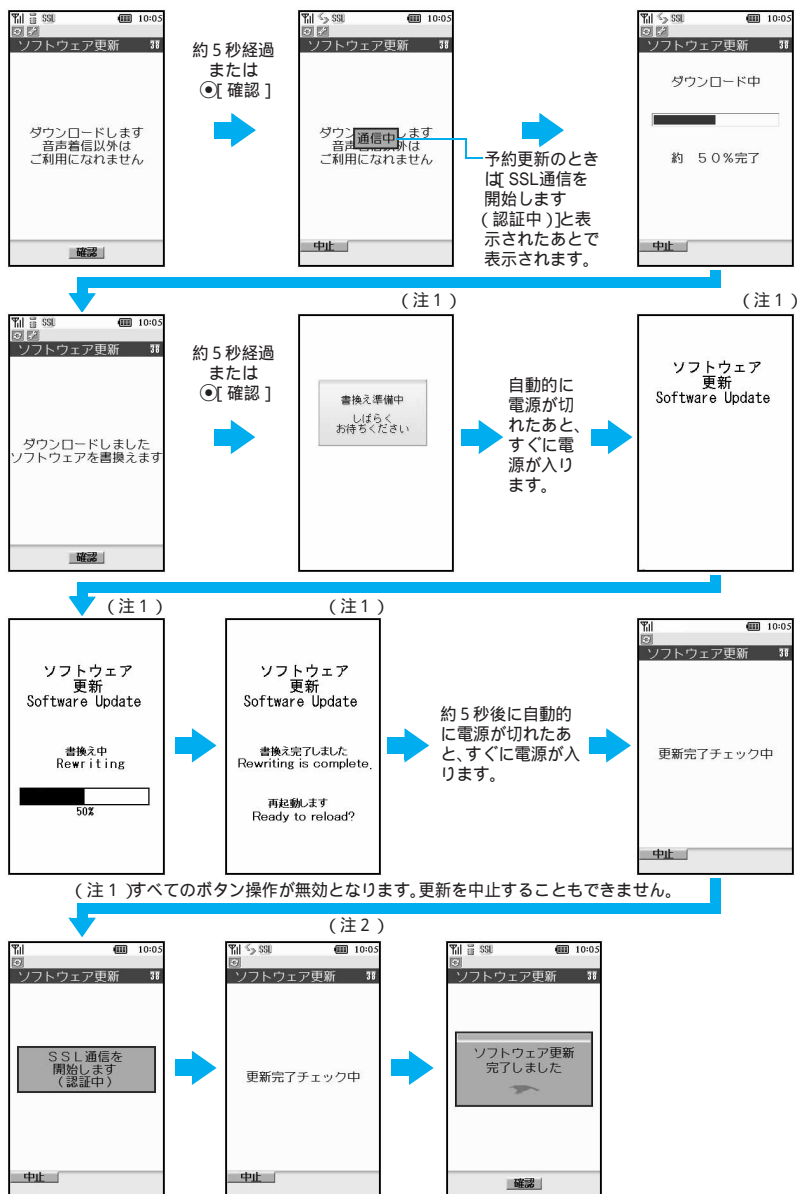
3 ①[OK]を押す。

4 [OK]を選んで⦿を押す。

5 [OK]を選んで⦿を押す。

- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新の必要がないときは、[更新は必要ありません　このままご利用ください]と表示されます。⦿を押して、そのままご利用ください。
- 更新が必要な場合には[更新が必要です]と表示されます。このとき、[今すぐ更新]するか[予約]するかを選択することができます。
- 送信を中止するときは、☎を押します。

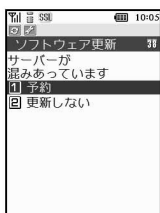
すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

1 P.453の操作1～5を行い、1[今すぐ更新]を押す。

- ソフトウェアのダウンロードが開始されます。以降は、メニューなどを選択しなくても、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- 更新しないときは、3[更新しない]を押します。

（注1）すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。

（注2）[更新完了チェック中]と表示されたあと、すぐに次の画面が表示されます。

次ページへ続く

- ☎を押すと操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。ダウンロード中に終了した場合、それまでダウンロードされたデータは削除されます（ソフト書換え中は操作できません）。

- ［通信中］と表示されたあと、［サーバーが混みあっています］と表示されたときは、①［予約］を押します。以降の操作については、P.456「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作２～４を参照してください。予約しないときは②［更新しない］を押します。操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。操作を終了するときは、［はい］を選んで◉を押します。

2 ◉［確認］を押す。

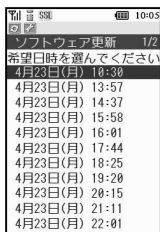
お知らせ

- 操作１～２を行っているときに［書換え準備中　しばらくお待ちください］、［ソフトウェア更新］、［ソフトウェア更新　書換え中］、［書換え完了しました　再起動します］と表示されているときは、圏外と同じ状態になり着信できません。これ以外の画面が表示されているときは着信できます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。
- 操作１～２を行っているときに送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新終了後、待受画面に［ソフトウェア更新完了］または［ソフトウェア更新説明あり］と表示されたら、◉を押してください。正常に完了しなかった場合は、端末暗証番号を入力すると、その旨のメッセージが表示されます。◉を押して、更新をし直してください。

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバーが混みあっている場合には、ソフトウェア更新を行う日時をあらかじめ設定しておくことができます。

1 **P.453**の操作１～５を行い、②［予約］を押す。

ソフトウェア更新 1/2
希望日時を選んでください
4月23日(月) 10:30
4月23日(月) 13:57
4月23日(月) 14:37
4月23日(月) 15:58
4月23日(月) 16:01
4月23日(月) 17:44
4月23日(月) 18:25
4月23日(月) 19:20
4月23日(月) 20:15
4月23日(月) 21:11
4月23日(月) 22:01

- 予約候補選択画面が表示されます。
- 日時は、サーバーの時刻に合わせて表示されます。
- 操作を中止するときは、操作１～４で☎を押し、［はい］を選んで◉を押します。

2 希望日時を選んで◉を押す。

- 確認画面が表示されます。
- ［その他の日時］を選んだときは、サーバーと通信したあと、ご希望の日、時間帯を選ぶことができます。まず希望日を選んで◉を押し、次に希望時間帯を選んで◉を押します。
  時間帯を選択する画面には、各時間帯の予約空き状況が［○：空あり］、［△：空わずか］のように表示されます。希望する時間帯を１つ選んで◉を押すと、再びサーバーと通信して予約時刻の候補が表示されます。ご希望の予約候補を選んで◉を押します。

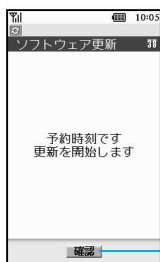
3 ［はい］を選んで◉を押す。

- 希望日時が予約されます。

4 ◉［確認］を押す。

お知らせ

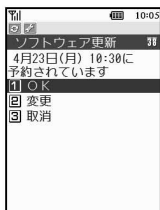
- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。

■ 予約した日時になると

予約した日時に待受画面が表示されていると左の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約した日時に電源が入っていないときは、ソフトウェアは更新されません。
以降は「すぐにソフトウェアを更新する」の操作1と同じ動作になります。

約5秒経過するか◉[確認]を押すと、自動的にソフトウェア更新が開始されます。

- ソフトウェア更新の予約日時には電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。また、予約した日時にソフトウェア更新に必要な電池残量がない場合は、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時に待受画面以外の状態、メール送信中、ｉモード中、ｉアプリ起動中、メニュー表示中、外部機器接続中、セルフモード中、オールロック中、機能別ロック中、おまかせロック中などの操作を行っていた場合は、予約した日時を過ぎて待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。メール受信中の場合は、メール受信終了後にソフトウェアが更新されます。
- 予約した日時と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は（自動マナーモード解除は除く）、アラームなどを優先し、ソフトウェアは更新されません。
- ソフトウェア更新の予約日時になったときFOMA端末の電源が切れている場合や、予約起動後すぐにFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 予約した日時に通話中（着信中および発信中を含む）の場合、約10分以内に待受画面に戻るとソフトウェア更新が起動されます。それ以上経過して待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。
- 予約が完了したあとに「データ一括削除（ユーザデータ削除）」（☞P.389）を行うと、予約は取り消されます。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 待受画面で◉③⑧を押し、端末暗証番号を入力して◉を押す。

- 画面に予約されている日時が表示されます。

予約を確認したとき	①
予約を変更する	②→[OK]→◉を選択すると、希望日選択画面が表示されます。 ● 以降の操作については、P.456「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作2～4を参照してください。
予約を取り消す	③→[はい]→◉→[OK]→◉→[予約を取消しました]と表示されたら、◉

お知らせ

- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど、外部からFOMA端末に取得したデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

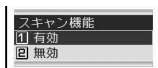
- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。そのため当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時　すべて有効

スキャン機能設定を[有効]に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定することもできます。

- メッセージスキャンの設定は、スキャン機能が[有効]に設定されている場合に設定できます。
- スキャン機能が[無効]の場合、メッセージスキャンは現在の設定にかかわらず[無効]となります。

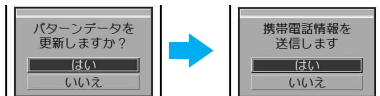
1 待受画面で◉③⑦③を押し、①[スキャン機能]を押す。

2 ①[有効]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

3 ②[メッセージスキャン]を押す。

4 ①[有効]を押し、[はい]を選んで◉を押す。

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に5段階の警告レベルで表示されます(☞P.460)。

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 待受画面で◉③⑦①を押し、[はい]を選んで◉を押す。

- 携帯電話情報を送信しないときは、[いいえ]を選んで◉を押します。

2 [はい]を選んで◉を押す。

- ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードを中止するときは、Ⓢ[中止]または☎を押し、[はい]を選んで◉を押します。
- パターンデータ更新の必要がないときは、[パターンデータは最新です]と表示されます。◉を押して、そのままご利用ください。

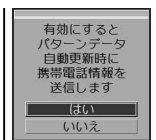
3 パターンデータ更新が完了したら◉を押す。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 電波の状態により、ダウンロードが中断される場合があります。

パターンデータを自動的に更新するように設定する<自動更新設定>

自動更新設定を[有効]に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに、自動的に更新されます。
自動更新が成功した場合、待受画面に自動更新を行った旨のメッセージが表示されます。また、FOMA端末の状態によっては自動更新が行われないことがあります。その場合は、パターンデータのバージョンアップがあった旨のメッセージが表示されます。

1 待受画面で◉372を押し、[有効]を選んで◉を押す。

2 [はい]を選んで◉を押す。

3 [はい]を選んで◉を押す。

4 ◉[確認]を押す。

お知らせ

- 自動更新設定の有効／無効の情報はネットワークで保持しています。そのため、設定の際、FOMA端末では常に[有効]が選択された状態になっています。
- 自動更新設定の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 電波の状態により、自動更新設定が中断される場合があります。

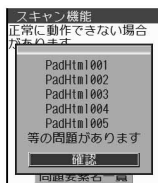
スキャン結果の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は、警告画面が表示されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
スキャン機能 正常に動作できない場合があります 確認 問題要素名一覧	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 問題要素名一覧	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します 確認 問題要素名一覧	スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい いいえ 問題要素名一覧	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します 確認 問題要素名一覧
表示／起動／発信できます。以前に問題があったが、現在は問題が起こらない場合に表示されます。[確認]を選んで◉を押すと表示／起動／発信できます。	[いいえ]を選んで◉を押すと表示／起動／発信できます。[はい]を選んで◉を押すと動作を中止します。	表示／起動／発信できません。[確認]を選んで◉を押すと終了します。	表示／起動／発信できません。[はい]を選んで◉を押し、削除確認画面で[はい]を選んで◉を押すとデータが削除されます。[いいえ]を選んで◉を押すとデータを削除しないで終了します。	表示／起動／発信できません。[確認]を選んで◉を押すとデータが削除されます。

※ パターンデータの内容によっては、上記以外の警告画面が表示されることがあります。

■ スキャンされた問題要素の表示について

- 警告画面で[問題要素名一覧]を選んで◉を押すと、問題要素名が表示されます。パターンデータの内容によって問題要素名がない場合、[問題要素名一覧]は表示されません。
- 問題要素名は最大5個まで表示されます。6個以上検出した場合は、5個目の問題要素名の下に[等の問題があります]と表示されます。また、同じ問題要素を複数検出した場合は、1個のみ表示されます。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 待受画面で◉374を押す。

主な仕様

項目		仕様
品名		FOMA SH903iTV
サイズ		高さ111mm×幅50mm×厚さ25mm(折りたたみ時)
質量		約143g(電池パック装着時)
連続待受時間※1※3		静止時:約580時間※4
		移動時:約440時間※5
連続通話時間※2※3		音声電話時:約200分
		テレビ電話時:約130分
ワンセグ視聴時間		約320分
充電時間		ACアダプタ:約140分
		DCアダプタ:約140分
液晶部	方式	メインディスプレイ:モバイルASV液晶　262,144色
		サブディスプレイ:有機EL　1色
	サイズ	メインディスプレイ:約3.0inch
		サブディスプレイ:約0.8inch
	画素数	メインディスプレイ:96,000画素(240×400ドット)
		サブディスプレイ:3,744画素(96×39ドット)
撮像素子	種類	メインカメラ:CMOS※6
		サブカメラ:CMOS※6
	サイズ	メインカメラ:1/3inch
		サブカメラ:1/7inch
カメラ部	有効画素数	メインカメラ:約200万画素
		サブカメラ:約11万画素
	記録画素数(最大時)	メインカメラ:約190万画素
		サブカメラ:約10万画素
	ズーム(デジタル)	メインカメラ:最大約19倍
		サブカメラ:最大約4倍
記録部	静止画記録枚数	約1000枚(本体保存時)※7
	静止画連続撮影	6枚/9枚/25枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	1件あたり約434秒(本体保存時)※8
		1件あたり約60分(microSDメモリーカード(64Mバイト)保存時)※9
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	iモーション(バックグラウンド再生対応※10):約540分※11
		着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約540分※11
		SD-Audioデータ(バックグラウンド再生対応):約540分※11

※1 連続待受時間とは、FOMA SH903iTVを折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか、弱い場合)などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、ワンセグの視聴、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動などによって、通話(通信)・待受時間は短くなります。

※2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※3 データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

※4 FOMA SH903iTVを折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※5 FOMA SH903iTVを折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※6 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。

※7 画像サイズ:sQCIF(128×96ドット)/画質:NORMAL/ファイルサイズ:10Kバイト

※8 画像サイズ:sQCIF(128×96ドット)/画質:NORMAL/ファイルサイズ制限:メール用(長)/種別:映像+音声

※9 画像サイズ:sQCIF(128×96ドット)/画質:NORMAL/ファイルサイズ制限:なし/種別:映像+音声

※10 ミュージックプレーヤーで再生した場合

※11 ファイル形式:AAC形式

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録可能件数	保護可能件数	ページ
電話帳		750※1	－	P.96
スケジュール	スケジュール	300	－	P.371
	休日	100	－	P.374
	祝日	20※2	－	P.375
ToDo		100	－	P.377
テキストメモ		10	－	P.385
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	1000※3※4	1000	P.228
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.231
	送信メール	500※3※4	500	P.228
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.231
	未送信メール	500※4	500	P.228
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.231
デコメールのテンプレート		10～100※5	－	P.219
メッセージ	メッセージR	50※4	25	P.200
	メッセージF	50※4	25	
ブックマーク		100	－	P.188
	ブックマークフォルダ	20	－	P.190
画面メモ		400※4	400※4	P.191
ｉアプリ		100※4	－	P.247
	メール連動型ｉアプリ	5	－	P.247
静止画		1000※4	－	P.192
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.329
動画／ｉモーション		100※4	－	P.206
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.329
きせかえツール		50※4	－	P.194
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.329
キャラ電		50※4	－	P.195
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.329
メロディ		500※4	－	P.193
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.329
着うたフル®		100※4	－	P.354
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.329
PDFデータ		50※4	－	P.193
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.329
トルカ		1000※4	－	P.265
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.267

※1　50件までFOMAカードに保存できます。
※2　あらかじめ登録されている国民の祝日とは別に登録できます。
※3　SMSの場合はさらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます（☞P.243）。
※4　データ量によっては実際にできる件数が少なくなる場合があります。
※5　お買い上げ時に登録されているデータも含みます。

お知らせ

● FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって保存内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので万が一に備え保存した内容は別にメモを取るかパソコンをお持ちの場合はmicroSDメモリーカード（☞P.318）やドコモケータイdatalink（☞P.406）をご利用いただきパソコンに転送・保管することをおすすめします。

主な仕様（データBOX）

microSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安は次のとおりです。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.318）。

- 保存できる枚数や時間は、撮影環境や被写体などの条件により少なくなることがあります。

静止画撮影枚数（64Mバイト）

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
sQCIF：128×96	約3700枚	約1800枚	約1800枚
QCIF：176×144	約3700枚	約1800枚	約1200枚
QVGA：240×320	約1800枚	約1500枚	約620枚
待受：240×400	約1800枚	約1200枚	約620枚
横ワイド小：400×240	約1800枚	約1200枚	約620枚
CIF：352×288	約1800枚	約1200枚	約620枚
VGA：480×640	約1200枚	約930枚	約620枚
横ワイド大：1200×720	約620枚	約410枚	約260枚
1.2M：1280×960	約620枚	約310枚	約180枚
UXGA：1600×1200	約310枚	約180枚	約120枚

動画撮影時間（64Mバイト）

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像＋音声	約155秒	約105秒	約52秒	－
		映像のみ	約214秒	約130秒	約62秒	－
	メール用（長）	映像＋音声	約10分	約434秒	約215秒	－
		映像のみ	約14分	約534秒	約257秒	－
	制限なし※	映像＋音声	約314分	約214分	約108分	－
		映像のみ	約433分	約263分	約129分	－
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約134秒	約78秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約176秒	約91秒	約31秒	約20秒
	メール用（長）	映像＋音声	約552秒	約323秒	約117秒	約79秒
		映像のみ	約12分	約375秒	約129秒	約85秒
	制限なし※	映像＋音声	約263分	約162分	約58分	約39分
		映像のみ	約344分	約188分	約64分	約42分
QVGA：320×240	メール用（短）	映像＋音声	－	－	－	約10秒
		映像のみ	－	－	－	約10秒
	メール用（長）	映像＋音声	－	－	－	約41秒
		映像のみ	－	－	－	約42秒
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約20分
		映像のみ	－	－	－	約20分
VGA：640×480	メール用（短）	映像＋音声	－	－	－	－
		映像のみ	－	－	－	－
	メール用（長）	映像＋音声	－	－	－	約16秒
		映像のみ	－	－	－	約16秒
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約474秒
		映像のみ	－	－	－	約474秒

※ 1回の撮影での連続撮影可能時間は最大約60分です。

音声録音時間（ボイスレコーダー）

- 64Mバイトの場合、最長約10時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA SH903iTVの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが２W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SH903iTVのSARの値は0.224W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。

総務省のホームページ	http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ	http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/product/
シャープ株式会社のホームページ	http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の２）で規定されています。

日本輸出管理規制／米国再輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulation）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

本索引は「五十音」、「英数字」の順に機能名や用語、キーワードを収録しています。機能名を思い出せない場合は、キーワードからも検索することができます。

＜例:「おまかせロック」を探したいとき＞

機能名から探すとき

オプション・関連機器......437
おまかせロック..........149
主な仕様................461
オリジナルマナーモード
.....................124
音楽再生................353

キーワードから探すとき

ロック機能..............148
オールロック..........148
おまかせロック........149
機能別ロック..........151
セルフモード..........150
ダイヤル発信制限......152
ボタン操作無効........153

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

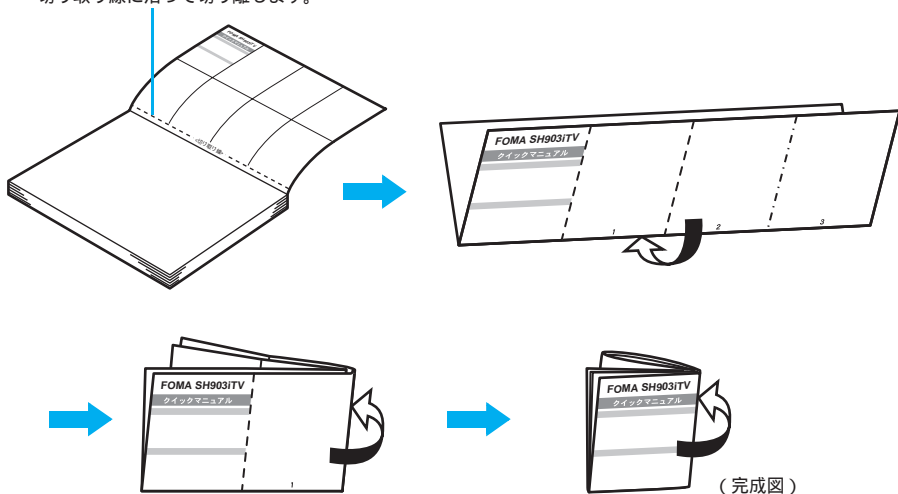
英数字

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。

折りたたみかた

切り取り線に沿って切り離します。

ご注意

- 切り離しの際、けがなどをしないように十分にご注意ください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

NTT DoCoMo FOMA SH903iTV

クイックマニュアル

お申し込み・お問い合わせ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)151(無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)113(無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
- なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳登録

1 待受画面で(1秒以上)▶1[本体新規]／2[FOMAカード(UIM)新規]
2 名前▶◉▶[]／[]※▶◉▶電話番号▶◉▶電話種別(FOMAカードのときは省略)▶◉▶[]／[]※▶◉▶メールアドレス▶◉▶メールアドレス種別(FOMAカードのときは省略)▶◉
※FOMAカードの場合
3 [完了]▶メモリ番号(FOMAカードのときは省略)
4 プッシュトーク電話帳登録を選択する(FOMAカードのときは省略)

登録できる項目

アイコン	項 目	補 足
	名前	全角16文字(半角32文字)以内 FOMAカードのときは全角10文字(半角21文字)以内
ｶﾅ	フリガナ	自動的に入力(半角32文字以内 FOMAカードのときは全角12文字(半角25文字)以内)
	グループ	20グループ FOMAカードのときは11グループ
	電話番号	3件まで FOMAカードのときは1件
	電話種別※	7種類
	メールアドレス	3件まで FOMAカードのときは1件
	メールアドレス種別※	4種類
	郵便番号※	半角7文字
	住所※	全角50文字(半角100文字)以内
	誕生日※	半角数字のみ
	メモ※	全角100文字(半角200文字)以内
	シークレット登録※	電話帳に表示しない
	シークレットコード※	4桁の数字
	指定着信音選択※	－
	指定メール着信音選択※	－
	指定着信ランプ色※	－
	指定着信ランプパターン※	－
	指定メール着信ランプ色※	－
	指定メール着信ランプパターン※	－
	ピクチャーコール設定※	1件
	代替画像設定※	－

※ FOMAカードのときは登録できません。

電話帳編集

1 待受画面で▶名前▶312▶項目▶◉▶編集

電話帳を呼び出して電話をかける

1 待受画面で
検索方法を切り替えるとき:1▶検索方法▶◉
2 名前▶◉▶またはDo

文字入力

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で
を押すごとに、ア(全角カタカナ)→ｱ(半角カタカナ)→A(全角英数字)→A(半角英数字)→1(半角数字)→区(区点コード)→漢(漢字・ひらがな)の順に切り替わります。

小文字を入力する

1 全角英数字モード／半角英数字モードで
小文字入力モードに切り替わります。
文字入力後の小文字変換:

ワンタッチ変換する

1 文字入力後に

絵文字・記号・デコメ絵文字を入力する

1 文字入力画面で[絵・記号]
絵文字モードと記号モードが交互に切り替わります。
デコメ絵文字を入力するとき:絵文字モードで
- 絵文字1→絵文字2→絵文字D(デコメ絵文字)→絵文字1・・・に切り替わります。

文字を削除する

1 カーソルを合わせてCLR
すべての文字を削除するとき:CLR(1秒以上)

定型文を利用する

1 文字入力画面で(1秒以上)
2 定型文の分類▶◉
3 定型文▶◉▶◉

顔文字を入力する

1 文字入力画面で▶[顔文字]▶◉▶顔文字▶◉

文字入力例

例)「今日のテニス3時」
1 文字入力画面で2 2回▶▶[今日]▶◉

- ダイヤルボタンでひらがなを入力します。押す回数で文字が変わります。
- ひらがなを1文字入力するたびに、変換する候補が表示され、選択できます。
- で小文字変換されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、を押してカーソルを移動させるか、最初の文字を入力したあとで、同じボタンを1秒以上押します。

2 ▶[の]▶◉

3 453▶▶[テニス]▶◉
今日のテニス
- でワンタッチ変換されます。

4 5回▶3
今日のテニス3
- 5回で半角数字モードになります。

5 2回▶3 2回▶▶▶[時]▶◉
今日のテニス3時
- で濁点が付きます。

6 [絵・記号]▶▶[]▶◉
今日のテニス3時
絵文字1

テレビを見る

自動チャンネル設定をする

1 待受画面で◉9316
2 登録先番号▶1▶[はい]▶◉
3 地域▶◉▶都道府県／地区▶◉
4 ◉▶[はい]▶◉

チャンネルリストを選択する

1 待受画面で◉9316▶チャンネルリスト▶◉[設定]

テレビを見る

1 待受画面でTV
- 待受画面でサイクロイドポジションにしても起動できます。
ビデオ録画するとき:(1秒以上)▶(録画)▶[停止]
静止画録画するとき:

ビデオを見る

1 待受画面で◉914▶ビデオファイル▶◉

カメラ－静止画撮影

1 待受画面で
2 ◉[]
3 ◉[保存]

カメラ－動画撮影

1 静止画撮影画面で12
2 ◉[録画]▶(録画)
3 ◉[停止]
4 1[保存]

静止画を表示する

1 待受画面で◉911▶フォルダ▶◉▶静止画▶◉

動画を表示する

1 待受画面で◉913▶フォルダ▶◉▶動画▶◉

ボイスレコーダーで録音する

1 待受画面で◉933▶◉[録音]▶(録音)▶◉[停止]▶1[保存]

テレビ電話

テレビ電話をかける

1 待受画面で、電話番号を入力▶

テレビ電話を受ける

1 テレビ電話着信▶

テレビ電話中にキャラ電を代替画像として送る

1 33▶フォルダ▶◉▶キャラ電▶

<切り取り線>

ブックリーダー

電子書籍や電子辞書を表示する

1 待受画面で◉934▶フォルダ▶◉▶電子書籍／電子辞書▶◉
行を移動するとき：⇕（横書き）／⇔（縦書き）
次／前のページを表示するとき：Ⓘ［▼ページ］／✉［▲ページ］

PDFデータを表示する

1 待受画面で◉936▶フォルダ▶◉▶PDFデータ▶◉
画面をスクロールするとき：✥
ページ全体を表示するとき：◉［フィット］
表示画面を切り出すとき：📷▷1［画面切り出し］▶［はい］▶◉

ｉモードメール作成・送信

1 待受画面で✉（1秒以上）▶［宛先］▶◉
2 2▶宛先を入力▶◉
電話帳から選択するとき：1▶相手▶◉
メール送信／メール受信履歴から選択するとき：3／4▶相手▶◉▶◉
メールメンバーから選択するとき：5▶メンバー▶◉

メール作成<新規>
宛先
題名
（添付なし）
本文 0.0KB

3 ［題名］▶◉▶題名を入力▶◉▶［本文］▶◉▶本文を入力▶◉
4 Ⓜ［送信］

デコメールを送る

1 本文入力画面で✉［デコレーション］
2 デコレーション選択▶文字を入力
3 📷▷7［プレビュー］▶◉［確認］
4 ◉▶Ⓜ［送信］

画像／メロディを送る

1 待受画面で◉911
動画／ｉモーションを送るとき：◉913
メロディを送るとき：◉915
2 フォルダ▶◉▶ファイル
3 ✉［メール］

SMS（ショートメッセージ）作成・送信

1 待受画面で✉5
2 ［宛先］▶◉▶2▶宛先を入力▶◉▶［本文］▶◉▶本文を入力▶◉
3 Ⓜ［送信］

ｉモード問い合わせ

1 待受画面で✉61
SMSのとき：✉62

メール自動受信

1 メールが届くと自動的に受信する
2 ［メール］▶◉▶フォルダ▶◉▶メール▶◉

メニュー一覧

TOPメニューから選ぶ

1 待受画面で◉
2 TOPメニューからアイコン▶◉
3 機能▶◉

TOPメニュー／ショートカットメニュー／ズームメニューの切替

1 待受画面で◉▶Ⓜ［メニュー切替］

機能番号で呼び出す

1 待受画面で◉▶機能番号

音

機能メニュー		機能番号
音量選択	着信音量選択	111
	メール着信音量選択	112
	プッシュトーク着信音量選択	113
	各種設定音量選択	114
音選択	着信音選択	121
	メール着信音選択	122
	プッシュトーク着信音選択	123
	各種設定音選択	124
バイブレータ設定	着信バイブレータ	131
	メール着信バイブレータ	132
	ＩＣカードバイブレータ	133
マナーモード設定	通常マナーモード	1411
	サイレントマナーモード	1412
	オリジナルマナーモード	1413
着信音出力切替		15
着信鳴動時間設定	メール鳴動時間設定	161
	プッシュトーク鳴動時間設定	162
呼出動作開始時間設定		17
保留・応答保留音	応答保留音	181
	保留音	182
音再生設定	ステレオ効果設定	191
	再生音優先設定	192

表示

機能メニュー			機能番号
メイン画面設定	待受画面設定		211
	待受時計表示設定		212
	カレンダー表示設定		213
サブ画面設定	相手表示設定		221
	時計表示設定		222
文字表示設定			23
各種画面カスタマイズ設定	発着信画面設定		241
	メール送受信画面設定		242
	サブメニュー画像設定		243
	お知らせウィンドウアニメ		244
	電波／電池／小時計マーク		245
	テーマカラー設定		246
ランプ設定	着信ランプ	音声電話	2511
		テレビ電話	2512
		プッシュトーク	2513
		不在着信お知らせ	2514
	メールランプ	メール受信ランプ	2521
		メール送受信中ランプ	2522
	通話中ランプ		253
	アラーム／タイマーランプ		254
	ＩＣカードランプ		255
	開閉／回転連動ランプ		256
鮮やか画質モード設定			26
省電力設定	通常（明るさ自動）		271
	通常（明るさ固定）		272

機能メニュー			機能番号
省電力設定	節電モード（Eco）		273
	ユーザ設定	照明時間設定	2741
		画面表示時間設定	2742
		明るさ調整	2743
		ボタン照明設定	2744
プライベートフィルタ設定	マナーモード連動		281
	フィルタ濃度設定		282

一般設定

機能メニュー		機能番号
確認	所有者情報	311
	メモリ確認	312
	電池残量確認	313
	設定状況確認	314
文字入力設定	ユーザ辞書	321
	ダウンロード辞書	322
	定型文編集	323
	変換学習クリア	324
自動電源ON／OFF	自動電源ON	331
	自動電源OFF	332
	アラーム連動電源ON	333
日時設定		34
Bilingual		35
USBモード設定		36
スキャン機能	パターンデータ更新	371
	自動更新設定	372

機能メニュー		機能番号
スキャン機能	スキャン機能設定	373
	バージョン表示	374
ソフトウェア更新		38
設定リセット		39

NWサービス

機能メニュー		機能番号
留守番電話	メッセージ問合せ	411
	留守番メッセージ再生	412
	留守番電話サービス開始	413
	留守番呼出時間設定	414
	留守番サービス停止	415
	留守番設定確認	416
	留守番サービス設定	417
	件数お知らせ設定	418
	着信通知	419
キャッチホン	キャッチホンサービス開始	421
	キャッチホンサービス停止	422
	キャッチホンサービス設定確認	423
転送でんわ	転送サービス開始	431
	転送サービス停止	432
	転送先変更	433
	転送先通話中時設定	434
	転送サービス設定確認	435
迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	441
	電話番号指定拒否登録	442

機能メニュー		機能番号
迷惑電話ストップ	迷惑電話全登録削除	443
	迷惑電話１登録削除	444
	拒否登録件数確認	445
発信者番号通知	設定確認	451
	発信者番号通知設定	452
番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始	461
	番号通知サービス停止	462
	サービス設定確認	463
通話時間／料金確認		47
通話中着信設定	通話中着信設定開始	481
	通話中着信設定停止	482
	通話中着信設定確認	483
通話中着信動作選択	留守番電話	491
	転送でんわ	492
	着信拒否	493
	通常着信	494

その他のNWサービス

機能メニュー		機能番号
遠隔操作設定	遠隔操作開始	511
	遠隔操作停止	512
	遠隔操作設定確認	513
デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	521
	デュアルネットワーク状態確認	522
英語ガイダンス	ガイダンス設定	531
	ガイダンス設定確認	532

<切り取り線>

機能メニュー		機能番号
サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	541
	ドコモ総合案内・受付	542
追加サービス	USSD登録	551
	応答メッセージ登録	552
マルチナンバー	通常発信番号設定	561
	通常発信番号設定確認	562
	電話番号設定	563
着もじ	メッセージ作成	571
	メッセージ表示設定	572

通話・通信機能設定

機能メニュー		機能番号
通話中設定	ノイズキャンセラ	611
	再接続機能	612
	通話品質アラーム	613
イヤホンマイク自動発信		62
着信時設定	エニーキーアンサー	631
	オート着信設定	632
	回転連動着信応答	633
テレビ電話設定	音声自動再発信	641
	送信画像設定	642
	テレビ電話画面設定	643
	子画面表示位置	644
	送信画質設定	645
	テレビ電話切替機能通知	646
	テレビ電話ハンズフリー設定	647
	パケット通信中着信設定	648

機能メニュー		機能番号
伝言メモ設定	伝言メモ設定	651
	伝言応答時間	652
	応答メッセージ	653
	テレビ電話時応答画像	654
プッシュトーク設定	番号通知設定	661
	PT通信中着信設定	662
	PTハンズフリー設定	663
クローズ動作設定	電話/テレビ電話	671
	プッシュトーク	672
セルフモード		68
その他の設定	プレフィックス設定	691
	サブアドレス設定	692
	国際ダイヤルアシスト設定	693

セキュリティ

機能メニュー		機能番号
シークレットモード		71
FOMAカード(UIM)設定	PIN1コード入力設定	721
	PIN1コード変更	722
	PIN2コード変更	723
着信拒否/許可設定	電話帳指定着信許可	731
	電話帳指定着信拒否	732
	電話帳登録外	733
	非通知設定	734
	公衆電話	735
	通知不可能	736

機能メニュー		機能番号
発着信履歴表示	着信履歴表示	741
	リダイヤル表示	742
メール履歴表示	メール送信履歴表示	751
	メール受信履歴表示	752
ロック設定	オールロック	761
	ダイヤル発信制限	762
	機能別ロック	763
	ICカードロック	764
	まとめて自動ロック	765
端末暗証番号変更		77
データ一括削除	ユーザデータ削除	781
	シークレットデータ削除	782

その他の設定

機能メニュー	機能番号
初期設定	8
電話番号表示	0

データBOX

機能メニュー	機能番号
マイピクチャ	911
ミュージック	912
iモーション	913
ビデオ(microSD)	914
メロディ	915

機能メニュー	機能番号
マイドキュメント	916
キャラ電	917
きせかえツール	918
プリント指定(DPOF)	919

LifeKit

機能メニュー		機能番号
バーコードリーダー		921
赤外線受信		922
トルカ		923
ICカード一覧		924
ICカードロック	電源ON時ICロック設定	9251
	電源OFF時ICロック設定	9252
microSD管理	microSDデータ参照	9261
	バックアップ/復元	9262
	インポート	9263
	管理情報の更新	9264
	フォーマット	9265
	USBモード設定	9266
スケジュール	スケジュール	9271
	ToDoリスト	9272
便利機能	電卓	9281
	テキストメモ	9282
	タイマー	9283
	アラーム	9284
	音声/伝言メモ	9285

機能メニュー		機能番号
便利機能	文字読み取り	9286
	電話帳お預かりサービス	9287

メディアツール

機能メニュー	機能番号
ワンセグ	931
SDオーディオ	932
ボイスレコーダー	933
ブックリーダー	934
ドキュメントビューア	935
PDF対応ビューア	936

その他の機能

マナーモード 設定/解除	[#](1秒以上)
公共モード(ドライブモード)設定/解除	[*](1秒以上)
まとめて簡単ロック 設定/解除	⊙(1秒以上)
リダイヤルの表示	[右キー]
着信履歴の表示	[左キー]
iチャネル情報表示	[CLR](ch)/[CLR](ch)(1秒以上)
アクティブマーカー	[下キー]
iモードメニューの表示	[i]
iアプリ画面の表示	[i](iα)(1秒以上)

伝言メモ/音声メモの起動	[7](1秒以上)
メールメニューの表示	[メール]
電話帳の表示	[電話帳]
カメラ(静止画モード)起動	[カメラ]
カメラ(動画モード)起動	静止画撮影画面で[カメラ][1][2]
データBOX画面の表示	[カメラ](1秒以上)
サポートブック(内蔵)	待受画面で[MULTI]
マルチアシスタント(マルチタスク)の起動	アプリ実行中に[MULTI]
ショートカットメニューの登録	[アイコン]が表示されている画面で[MULTI](1秒以上)
受話音量変更	通話中に[上キー]/[下キー]
ボタン操作無効/解除	[サイドキー](1秒以上)
ワンセグ起動	[TV]
ワンセグメニューの表示	[TV](1秒以上)
プライベートフィルタ設定/解除	[Eco](1秒以上)

ネットワークサービス

※ 確認画面が表示されたときは、[はい]を選んで⊙を押してください。

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:有料)サービスです。

STEP1 留守番電話サービスを開始する。

STEP2 お客様のFOMA端末に音声電話/テレビ電話がかかる。

STEP3 音声電話/テレビ電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。

STEP4 相手が用件を伝言メッセージに録音/録画する。

STEP5 伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスの開始	待受画面で⊙41331
呼出時間を設定してからサービスを開始	待受画面で⊙41332▶呼出秒数を入力▶⊙
留守番電話サービスの停止	待受画面で⊙4115
留守番メッセージの再生	待受画面で⊙4112
音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定	待受画面で⊙4117
新しい伝言メッセージの確認	待受画面で⊙4111
留守番電話サービスの設定を確認してから変更	待受画面で⊙4116▶[カメラ]▶各設定
伝言メッセージ増加時に着信音を鳴らす	待受画面で⊙41881▶1[ON]

伝言メッセージマークの消去	待受画面で⊙▶[TOPメニュー]▶⊙41882
着信通知の開始	待受画面で⊙41991
着信通知の停止	待受画面で⊙41992
着信通知開始設定確認	待受画面で⊙41993

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:有料)サービスです。

キャッチホンサービスの開始	待受画面で⊙4221
キャッチホンサービスの停止	待受画面で⊙4222
キャッチホンサービス設定確認	待受画面で⊙4223
通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る	通話中に「ププ…ププ…」▶[通話]▶通話▶[通話]▶[通話]▶通話
通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る	通話中に「ププ…ププ…」▶[通話]▶[通話]▶通話
通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける	通話中にダイヤル▶[通話]▶通話▶[通話]▶[通話]▶通話

<切り取り線>

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:無料)サービスです。

STEP 1 転送先の電話番号を登録する。
STEP 2 転送でんわサービスを開始する。
STEP 3 お客様のFOMA端末に音声電話/テレビ電話がかかる。
STEP 4 音声電話/テレビ電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスの開始	待受画面で◉431▶31▶転送先電話番号の入力▶◉▶2▶呼出秒数を入力▶◉▶1
転送でんわサービスの停止	待受画面で◉432
転送先の変更	待受画面で◉433 1▶転送先電話番号の修正▶◉▶1
転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対	待受画面で◉434
転送サービス設定確認	待受画面で◉435
着信中/通話中にかかってきた電話を転送先へ転送	着信中/通話中に◎2

迷惑電話ストップサービス

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:無料)サービスです。

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録	待受画面で◉441
電話番号を選択して着信拒否登録	待受画面で◉442
登録した電話番号をすべて削除	待受画面で◉443
最後に登録した電話番号1件のみを削除	待受画面で◉444
拒否登録した電話番号の件数を確認	待受画面で◉445

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます(月額使用料:無料)。

番号通知お願いサービスの開始	待受画面で◉461
番号通知お願いサービスの停止	待受画面で◉462
サービス設定確認	待受画面で◉463

デュアルネットワークサービスを利用する

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:有料)サービスです。

FOMA端末を使えるようにする	待受画面で◉521▶ネットワーク暗証番号(4桁の数字)を入力▶◉
設定内容確認	待受画面で◉522

FOMAからご利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料) ● 電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません。	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)午前8時~午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

マーク一覧

メインディスプレイ

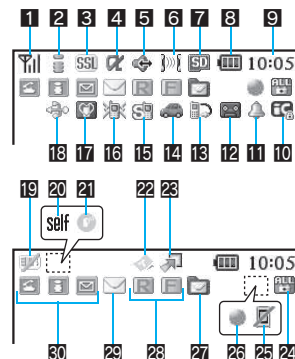
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10:05 18 17 16 15 14 13 12 11 10

19 20 21 22 23 self 10:05 30 29 28 27 26 25 24

サブディスプレイ

1 19 17 14 7 8 31 8 30 20 24 10 9 10:05

電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認できます(メインディスプレイ表示/サブディスプレイ表示の順で記載しています)。

1		電波状態表示
2		iモード/フルブラウザ表示
3		SSL表示
4		iアプリ表示
5	(赤色) (緑色)	ハンズフリー表示
6	(緑色) (赤色)	赤外線通信/外部機器通信中表示
7	(グレー)/	microSDメモリーカードを挿入中
	(ピンク)/	microSDメモリーカード内のデータを参照中

8	/	電池残量表示
	/	充電中表示
9	時計表示	
10	/	ICカードロック表示
11		アラーム(アラーム/スケジュール/ToDoリスト/視聴予約/録画予約)表示
12		伝言メモ表示
	~	伝言メモ件数
13		イヤホンマイク接続表示
14	/	公共モード(ドライブモード)表示
15		サイレント表示
16		バイブレータ表示
17	/	マナーモード表示
18		USBモード表示
19	/	FOMAカードが挿入されていない、またはFOMAカードに異常がある
	/	FOMAカード以外のカード挿入中
20	/	セルフモード表示
21		プッシュトーク表示
22		トルカ表示
23		ショートカットメニュー表示
24	/	制限表示
25		プライベートフィルタ表示

26		ワンセグ録画中
27		センターにメールを保管中
		センターに保管中のメールがいっぱい
28	(緑色)	未読メッセージR/Fあり
	(黄色)	受信メッセージR/Fがいっぱい
		センターにメッセージR/Fを保管中
		センターに保管中のメッセージR/Fがいっぱい
		未読メッセージR/Fあり、センターにメッセージR/Fを保管中
		未読メッセージR/Fあり、センターに保管中のメッセージR/Fがいっぱい
		受信メッセージR/Fがいっぱい、センターにメッセージR/Fを保管中
		受信メッセージR/Fとセンターに保管中のメッセージR/Fがいっぱい
29	(緑色)	未読メールあり
	(赤色)	受信メールがいっぱい
	(赤文字)	未読SMSあり
	(青文字)	SMSがいっぱい
30	マルチタスク表示 ● 2つ以上の機能が起動中の場合サブディスプレイにも表示	
31		メインディスプレイに待受画面以外を表示中

※ 表示されるマークの詳しい説明は、取扱説明書のP.28~P.30を参照してください。

<紛失時等の緊急連絡先>

おまかせロック

※ おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定/解除

0120-524-360

24時間受付

その他緊急連絡先

<連絡先: >

<連絡先: >

<連絡先: >

※ ダイヤル番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

<切り取り線>

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

★航空機内　★病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード（☞P.123）／オリジナルマナーモード（☞P.124）

ボタン／待受ｉモーション音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、バイブレータ、マイク感度アップ、着信音、メール着信音、アラーム音、ボタン／待受ｉモーション音、電池残量警告音）のON（設定）／OFF（解除）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

●公共モード（ドライブモード）（☞P.68）

電話をかけてきた相手の方に、運転中のため電話に出られないことをお知らせするガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので、安全に運転できます。

●着信バイブレータ（☞P.121）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ（☞P.71）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（☞P.392）、転送でんわサービス（☞P.395）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

ｉモードから	ｉMenu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ 各種手続き（ドコモeサイト） パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/） ▶ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 ＜DoCoMo インフォメーションセンター＞

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　シャープ株式会社

’07.10（7版）
TINSJA299AFZF
07J 22.5 YM TU484⑦

FOMA® SH903iTV データ通信マニュアル

データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA SH903iTVでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「SH903iTV通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
Windows XPの操作について
本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2 に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

’07.2（1版）

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea、sigmarionⅡ、sigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。musea、sigmarionⅡを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信できます（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です）。
パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。
データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売）や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。
FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話を接続する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどを接続する場合は、赤外線通信とFOMA USB接続ケーブルを使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

ご使用になる前に

動作環境の確認

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境	
	通信設定ファイル FOMA PC設定ソフト	FirstPass PCソフト
パソコン本体	PC/AT互換機 USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要	PC/AT互換機
OS	Windows 2000、Windows XP（各日本語版）	
必要メモリ※	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上	Windows 2000：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	―	Windows 2000：Internet Explorer 5.5以上 Windows XP：Internet Explorer 6.0以上

※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」と「FirstPass PCソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告はInternet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
［はい］をクリックしてください。

※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境によって異なる場合があります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）、またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）
- CD-ROM「FOMA SH903iTV用CD-ROM」（付属）

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」、または「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では、「FOMA USB接続ケーブル」の場合で説明しています。

データ通信用語集

APN（Access Point Name）
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid（Context Identifier）
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では1番から10番まで使えます。

DNS（Domain Name System）
ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

IrDA（Infrared Data Association）
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

IrMC（Ir Mobile Communications）
携帯電話どうしやPDA（携帯情報端末）間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

OBEX（Object Exchange）
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS（Quality of Service）
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます（☞P.28、P.34）。

W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー
OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をする
- パケット通信(☞P.16)
- 64Kデータ通信(☞P.16)

接続する(☞P.23)

※ FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」(お申し込み必要)が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります(☞P.4～P.6)。

お知らせ

- インストールに失敗してP.5の操作３の各画面で[FOMA SH903iTV]のデバイス名が表示されていない場合は、通信設定ファイルをアンインストールし(☞P.5)、もう一度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし(☞P.5)、もう一度インストールしてください。

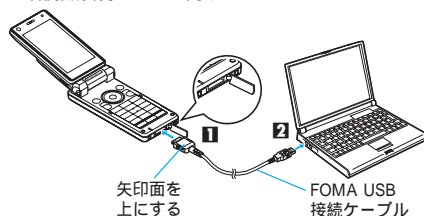
FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます(☞P.6)。
また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。
詳しくは付属のCD-ROM内のFirstPassManualをご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。通信設定ファイルがインストールされている場合には、FOMA端末の画面に[ ]が表示されます。

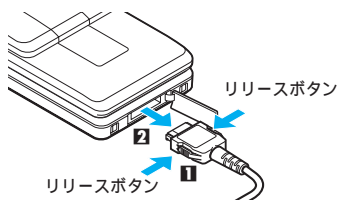
FOMA USB接続ケーブルで接続する

次ページへ続く

1 **FOMA USB接続ケーブル(別売)のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む(❶)。**

2 **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む(❷)。**

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。
  その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で[キャンセル]をクリックして、終了してください。

取り外しかた

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押した状態(❶)で、FOMA端末からコネクタを水平に引き抜く(❷)。無理に引っ張ると故障の原因となります。

2 パソコンからFOMA USB接続ケーブルのコネクタを抜く。

お知らせ

- FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら接続することもできます。
- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

- パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。
- FOMA端末は操作1～3を行ったあとにパソコンに接続してください。

1 付属の**CD-ROM**をパソコンにセットする。

- TOP画面が表示されます。

※ メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 6.0以上です。
お使いのパソコンが推奨環境を満たさない場合、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合、または何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、次の手順で操作してください。
Windowsの[スタート]メニューで[ファイル名を指定して実行]をクリックし、[<CD-ROMドライブ名>:\USBDRV\SH903Tin.exe]と指定して[OK]をクリックし、操作3に進みます。

2 [データリンクソフト・各種設定ソフト]→[**FOMA**通信設定ファイル(**USB**ドライバ)]欄の[**FOMA**通信設定ファイル(**USB**ドライバ)]を順にクリックし、[**SH903Tin.exe**]をダブルクリックする。

3 [インストール開始]をクリックする。

- 一定時間経過すると[FOMA SH903iTVとPCをFOMA USB接続ケーブルにて接続してください。]と表示されます。

4 [**FOMA SH903iTV**と**PC**を**FOMA USB**接続ケーブルにて接続してください。]が表示されたら、**FOMA**端末をパソコンに接続する。

- インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に開始します。
- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

次ページへ続く ▶▶

5 ［FOMA SH903iTVドライバのインストールが完了しました。］が表示されたら、［OK］をクリックする。

- 通信設定ファイルのインストールが終了します。
- 「インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」に進み、インストールした通信設定ファイルを確認してください。

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- パソコンを再起動する旨の画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- 通信設定ファイルをインストールする前にパソコンにFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作２でアンインストールする必要がある旨の画面が表示されます。画面の指示に従ってアンインストールを行ったあと、通信設定ファイルをインストールしてください。

インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。
<例>　Windows XPで確認するとき

- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 ［スタート］メニュー→［コントロールパネル］をクリックし、［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンを順にクリックする。

- システムのプロパティ画面が表示されます。

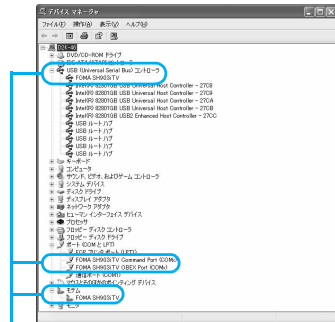
Windows 2000の場合

- ［スタート］メニュー→［設定］→［コントロールパネル］の順に選んで［システム］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする。

- デバイスマネージャ画面が表示されます。

3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する。

［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］、［ポート（COMとLPT）］、［モデム］の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

認識されるとこのように表示されます。

- 通信設定ファイルをインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	● FOMA SH903iTV
ポート（COMとLPT）	● FOMA SH903iTV Command Port（COMx） ● FOMA SH903iTV OBEX Port（COMx）
モデム	● FOMA SH903iTV

※「COMx」の「x」は数値です。お使いのパソコンによって異なります。

インストールに失敗したとき、または操作３の画面に［FOMA SH903iTV］が表示されていないとき

- アンインストールしてから再度インストールしてください。アンインストールの操作については「通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする」を参照してください。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。

- 通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

付属のCD-ROMからアンインストールする

<例> Windows XPでアンインストールするとき

- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 付属の**CD-ROM**をパソコンにセットする。

- TOP画面(☞P.4)が表示された場合は、画面を終了してください(閉じてください)。TOP画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 [スタート]メニュー→[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

- [ファイル名を指定して実行]画面が表示されます。

3 [**<CD-ROM**ドライブ名>:**¥USBDRV¥Win2000¥SH903Tui.exe**]と入力し、[**OK**]をクリックする。

4 [**FOMA SH903iTV**ドライバをアンインストールしますか?]が表示されたら、[はい]をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

5 [**FOMA SH903iTV**ドライバを削除しました。]が表示されたら、[**OK**]をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

コントロールパネルからアンインストールする

<例> Windows XPでアンインストールするとき

- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]アイコンをクリックする。

- [プログラムの追加と削除]画面が表示されます。

Windows 2000の場合

- [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。[アプリケーションの追加と削除]画面が表示されます。

2 [**FOMA SH903iTV USB**]を選択して、[変更と削除]をクリックする。

3 [**FOMA SH903iTV**ドライバをアンインストールしますか?]が表示されたら、[はい]をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 [**FOMA SH903iTV**ドライバを削除しました。]が表示されたら、[**OK**]をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

かんたん設定

メニューに従って操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「W-TCPの設定」などを簡単に行います。

W-TCPの設定

[FOMAパケット通信]を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、[W-TCP設定]による通信設定の最適化が必要です。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先(APN)の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN(Access Point Name)と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号(cid)を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

cid[Context Identifier]…
FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号のこと。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

次ページへ続く

お知らせ

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます(☞P.16)。
- FOMA PC設定ソフトバージョン3.0.1以前の古いバージョン(以後、旧[FOMA PC設定ソフト])がインストールされている場合には、あらかじめ旧[FOMA PC設定ソフト]をアンインストールしてください。

■ FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください(☞P.2)。

STEP 1　「FOMA PC設定ソフト」をインストールする
旧「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」(バージョン3.0.1)のインストールを行う前にアンインストールをしてください。
旧「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」(バージョン3.0.1)のインストールは行えません。
旧「W-TCP設定ソフト」および旧「APN設定ソフト」がインストールされているという画面が表示された場合は、P.9を参照してください。

STEP 2　設定前の準備
設定を行う前に以下のことを確認してください。
- FOMA端末とパソコンの接続(☞P.3)
- FOMA端末がパソコンに認識されているか(☞P.5)

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。その場合は通信設定ファイルのインストールを行ってください(☞P.4)。

STEP 3　かんたん設定で通信の設定を行う
- mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信(☞P.10)
- その他のプロバイダを利用したパケット通信(☞P.11)
- mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信(☞P.12)
- その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信(☞P.13)

その他の設定は、P.16以降を参照してください。

STEP 4　接続する(☞P.14)
インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをインストールする

- FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。
- インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、FOMA PC設定ソフトの[キャンセル]をクリックし、使用中のプログラムを保存終了させたあと、インストールを再開してください。

<例>　Windows XPにインストールするとき
- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 付属の**CD-ROM**をパソコンにセットする。

- TOP画面が表示されます(☞P.4)。

※ メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 6.0以上です。
お使いのパソコンが推奨環境を満たさない場合、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合、または何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、次の手順で操作してください。
Windowsの[スタート]メニューで[ファイル名を指定して実行]をクリックし、[<CD-ROMドライブ名>:\pcset\FOMA_PCSET\setup.exe]と指定して[OK]をクリックし、操作4に進みます。

2 [データリンクソフト・各種設定ソフト]→[**FOMA PC**設定ソフト]欄の[インストール]を順にクリックする。

- [インストール]をクリックすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告はInternet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

■「ファイルのダウンロード - セキュリティの警告」画面が表示された場合
[実行]をクリックしてください。

■「Internet Explorer - セキュリティの警告」画面が表示された場合
[実行する]をクリックしてください。

FirstPass PCソフトをインストールする場合

- TOP画面で[データリンクソフト・各種設定ソフト]→[FirstPass PCソフト]欄の[インストール]を順にクリックします。
- Internet Explorerのセキュリティの設定によっては「FOMA PC設定ソフト」をインストールするときと同様の警告画面が表示される場合がありますが、使用には問題ありません。
- CD-ROM内のFirstPassPCSoftフォルダ内の[FirstPassManual]の手順に従ってインストールしてください。

次ページへ続く ▶▶

Windows 2000の場合

● TOP画面で[データリンクソフト・各種設定ソフト]→[FOMA PC設定ソフト]／[FirstPass PCソフト]欄の[インストール]→[開く]を順にクリックします。

3 [インストール]をクリックする。

● インストールが開始されます。

4 [次へ]をクリックする。

● 旧[W-TCP設定ソフト]および旧[FOMAデータ通信設定ソフト]がインストールされているという画面や、すでに旧[FOMA PC設定ソフト]がインストールされているという画面が表示された場合は、P.8「FOMA PC設定ソフト インストール時の注意」を参照してください。

5 内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする。

● FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約書です。[いいえ]をクリックすると、インストールは中止されます。

6 [タスクトレイに常駐する]が☑であることを確認し、[次へ]をクリックする。

● セットアップ後、タスクトレイにW-TCP設定が常駐します(☞P.14)。
これは、W-TCP通信の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
インストール後に常駐の設定は変更できます。

7 インストール先を確認し、[次へ]をクリックする。

● 変更する場合は[参照]をクリックし、任意のインストール先を指定して[次へ]をクリックしてください。

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックする。

● 変更する場合はフォルダ名を入力して[次へ]をクリックしてください。

9 [InstallShield Wizardの完了]の画面で[完了]をクリックする。

● FOMA PC設定ソフトが起動します。
このまま各種設定を始められます(☞P.10)。

FOMA PC設定ソフト インストール時の注意

● 旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または旧「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または旧「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合、警告画面が表示されます。[OK]をクリックし、[プログラム(アプリケーション)の追加と削除]より、これらのソフトをアンインストールしてから、「FOMA PC設定ソフト」(バージョン3.0.1)をインストールしてください。

● インストール途中で[キャンセル]をクリックした場合

セットアップ途中で[キャンセル]や[いいえ]をクリックし、インストールを中断した場合、セットアップの中止画面が表示されます。インストールを継続する場合は[いいえ]を、意図的に中止する場合は、[はい]をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報の確認

FOMA PC設定ソフトの起動画面で、[メニュー]→[バージョン情報]を選ぶと、バージョン情報が表示されます。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをアンインストールする

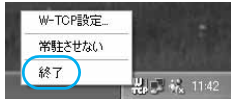
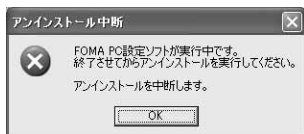
アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

- FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

1 タスクトレイの[W TCP]を右クリックし、[終了]をクリックする。

右クリック

クリック

2 起動中のプログラムを終了させる。

- FOMA PC設定ソフトやW-TCP設定ソフトが起動中にアンインストールを実行しようとすると、上のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールする

<例> Windows XPでアンインストールするとき

- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 [スタート]メニュー→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]アイコンをクリックする。

- [プログラムの追加と削除]画面が表示されます。

Windows 2000の場合

- [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]の順に選んで[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
  [アプリケーションの追加と削除]画面が表示されます。

2 [NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選んで[削除]をクリックする。

[NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選ぶ

ここをクリック

FirstPass PCソフトをアンインストールする場合

- [FirstPass PCソフト]を選んで[変更と削除]をクリックします。

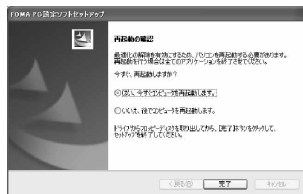
3 削除するプログラム名を確認し、[はい]をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。

4 [完了]をクリックする。

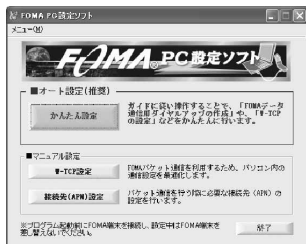
- FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

W-TCP最適化の解除

- W-TCPが最適化されている場合は次の画面が表示されます。
- 最適化の解除をする場合は、[はい]をクリックしてください。
  W-TCP最適化の解除は、再起動後に行われます。

各種設定前の準備

この設定ソフトでは、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください(☞P.3)。

1 **FOMA PC**設定ソフトを起動する。

- [スタート]メニュー→[すべてのプログラム](Windows 2000の場合は、[プログラム])→[FOMA PC設定ソフト]→[FOMA PC設定ソフト]の順に選びます。
  FOMA PC設定ソフトを起動すると上の画面が表示されます。

各種設定の方法

通信設定のしかた

1 **FOMA PC**設定ソフトを起動し、[メニュー]→[通信設定]をクリックする。

2 通信ポート指定を選び、[**OK**]をクリックする。

- 通常は[自動設定(推奨)]を選んでください。自動的に接続されているFOMA端末を指定します。
- COMポートを指定したい場合、[COMポート指定]を選び、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポート番号(COM 1～99)を指定してください。

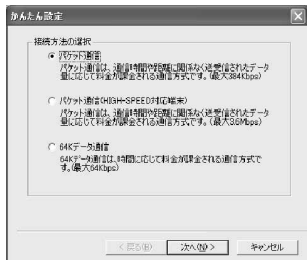
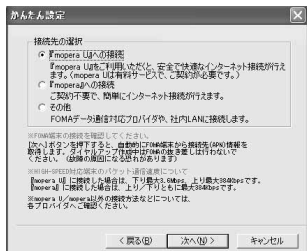
お知らせ

- COMポートの確認方法は、P.5「インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」を参照してください。

かんたん設定からパケット通信を選択する場合(**mopera U**または**mopera**を利用)

最大384kbpsの高速パケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

1 **FOMA PC**設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする。

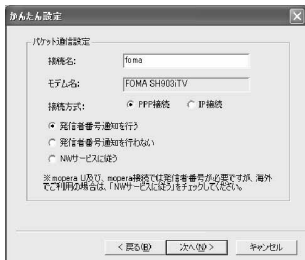
2 [パケット通信]を選んで[次へ]をクリックする。

3 [『**mopera U**』への接続]または[『**mopera**』への接続]を選んで[次へ]をクリックする。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。mopera Uを選択すると、ご契約の確認メッセージが表示されます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用の場合(☞P.11)

4 [**FOMA**端末設定取得]の画面で[**OK**]をクリックする。

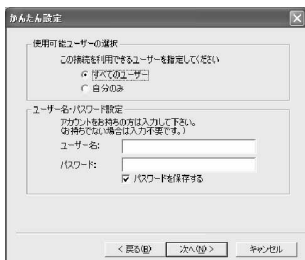
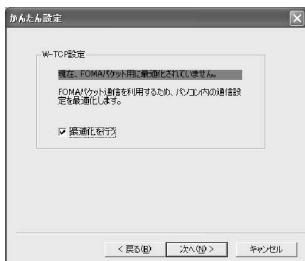
- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。
  しばらくお待ちください。

次ページへ続く

5 接続名を入力して［次へ］をクリックする。

● FOMA SH903iTVはPPP接続のみに対応しています。接続方式は［PPP接続］を選んでください。

● ［接続名］欄に任意の接続名を入力します。
● 次の記号（半角文字）は入力できません。
\ / : ＊ ? ! < > ¦ ”
● mopera Uおよびmoperaに接続する場合は、［発信者番号通知を行う］を選んでください。

6 ［次へ］をクリックする。

● mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、［ユーザー名］と［パスワード］については空欄でも接続できます。
● 使用可能なユーザーを選びます。

7 ［最適化を行う］が☑であることを確認し、［次へ］をクリックする。

● パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、［完了］をクリックする。

● 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
［デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する］が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。

9 ［完了］の画面で［**OK**］をクリックする。

● 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は、［はい］を選びます。
● 通信を行うには（☞P.14）

■ かんたん設定からパケット通信を選択する場合（その他のプロバイダを利用）

最大384kbpsの高速パケット通信の設定を行います。

1 **P.10**「かんたん設定からパケット通信を選択する場合（**mopera U**または**mopera**を利用）」の操作１～４を行う。

● 操作３の接続先は［その他］を選びます。

2 接続名を入力して［接続先（**APN**）設定］をクリックする。

● ［接続名］欄に任意の接続名を入力します。
● 次の記号（半角文字）は入力できません。
\ / : ＊ ? ! < > ¦ ”
● ［発信者番号通知を行う］を選ぶと、通信実行時に発信者番号を通知します。発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

高度な設定（TCP/IPの設定）

● ［詳細情報の設定］をクリックするとIPアドレス・ネームサーバーの設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

次ページへ続く

3 接続先(APN)を設定する。

- お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  1. [追加]をクリックする。
     [接続先(APN)の追加]画面が表示されます。
  2. [接続先(APN)]にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名(APN)を正しく入力して[OK]をクリックする。
     [接続先(APN)設定]画面に戻ります。
- [接続先(APN)]には半角文字で、英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。

※ cidは10まで登録可能です。

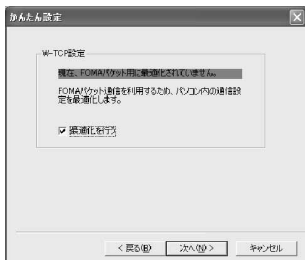
4 [接続先(APN)設定]の画面で[OK]をクリックする。

- 操作2の画面に戻ります。[接続先(APN)の選択]には、操作3で設定した接続先(APN)が表示されます。

5 [接続先(APN)の選択]で接続先名(APN)を確認し、[次へ]をクリックする。

6 ユーザー名・パスワードを設定し、[次へ]をクリックする。

- ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- 使用可能なユーザーを選びます。

7 [最適化を行う]が☑であることを確認し、[次へ]をクリックする。

- パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

9 [完了]の画面で[OK]をクリックする。

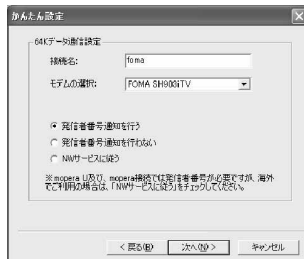
- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は[はい]を選びます。
- 通信を行うには(☞P.14)

■ かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合(mopera Uまたはmoperaを利用)

64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

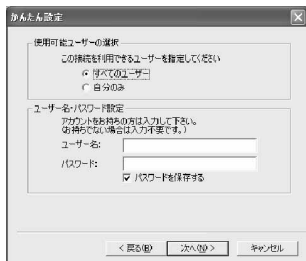
1 P.10「かんたん設定からパケット通信を選択する場合(mopera Uまたはmoperaを利用)」の操作1～4を行う。

- 操作2の接続方法は[64Kデータ通信]を選びます。

2 接続名の入力とモデムを選んで[次へ]をクリックする。

- [接続名]欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  \ / : ＊ ? ! < > ¦ ”
- [モデムの選択]が[FOMA SH903iTV]に設定されていることを確認してください。
- mopera Uおよびmoperaに接続する場合は、[発信者番号通知を行う]を選んでください。

次ページへ続く ▶▶

3 [次へ]をクリックする。

- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- 使用可能なユーザーを選びます。

4 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

5 [完了]の画面で[**OK**]をクリックする。

- 通信を行うには(☞P.14)

■ かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合(その他のプロバイダを利用)

64Kデータ通信の設定を行います。

1 **P.10**「かんたん設定からパケット通信を選択する場合(**mopera U**または**mopera**を利用)」の操作1～4を行う。

- 操作2の接続方法は[64Kデータ通信]、操作3の接続先は[その他]を選びます。

2 各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

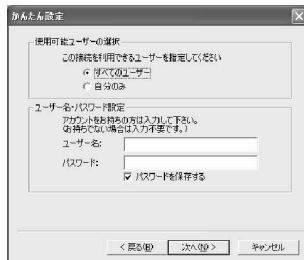
- ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に以下の項目をそれぞれ登録します。
  - ■ 接続名:任意
  - ■ モデムの選択:FOMA SH903iTV
  - ■ 電話番号:
    プロバイダ情報を元に正しく入力してください。
- 接続名に次の記号(半角文字)は入力できません。
  \ / : ＊ ? ! < > ¦ ”
- 電話番号に入力できる文字は次のとおりです。
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D P T W a b c d p t w ! @ $ - . ( ) + ＊ # , &および半角スペース
- [発信者番号通知を行う]を選ぶと、通信実行時に発信者番号を通知します。発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

高度な設定(TCP/IPの設定)

- [詳細情報の設定]をクリックするとIPアドレス・ネームサーバー設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 ユーザー名・パスワードを設定し、[次へ]をクリックする。

- ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- 使用可能なユーザーを選びます。

次ページへ続く

4 設定情報を確認し、[完了]をクリックする。

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

5 [完了]の画面で[OK]をクリックする。

設定した通信を実行する

<例> Windows XPで設定した通信を実行するとき

- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする。

- 接続画面が表示されます。
- 接続アイコン名には、設定を行ったときに入力した接続名が表示されます。

2 [ダイヤル]をクリックする。

- 接続が開始されます。

- mopera Uまたはmoperaを選んだ場合は[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- P.13の操作3で[ユーザー名]と[パスワード]を入力した場合は、その情報が入力されています。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[ダイヤル]をクリックします。
- ユーザー名とパスワードを保存する項目を☑にすると、次回からは入力の必要がなくなります。

お知らせ

- デスクトップに接続アイコンがないとき
  (Windows XP)
  [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする。
  (Windows 2000)
  [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする。
- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

1 タスクトレイの[ ]をクリックし、[切断]をクリックする。

- 接続が切断されます。

W-TCP設定

W-TCPの役割

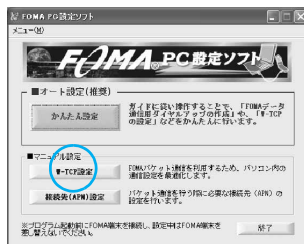
W-TCP設定ソフトはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

● Windows XPの場合

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[W-TCP設定]をクリックする。

次ページへ続く

タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合

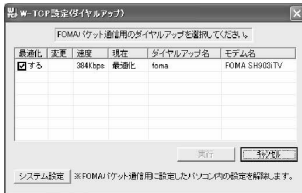
● タスクトレイの[]をクリックし、W-TCP設定を起動してください。

2 次の操作を行う。

システム設定が最適化されていない場合

● 次の画面が表示されます。
[384kbps]を選び、[最適化を行う]をクリックしてください。
W-TCP設定(ダイヤルアップ)画面が表示されます。
最適化するダイヤルアップを選んで[実行]をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。
システム設定は、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が有効になります。

システム設定が最適化されている場合

● 次の画面が表示されます。
ダイヤルアップを変更する場合は、設定するダイヤルアップを選び最適化を行ってください。
変更した内容はパソコンを再起動したあと、有効になります。

最適化を解除する場合

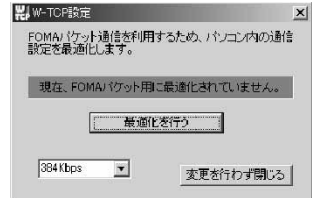
● W-TCP設定(ダイヤルアップ)画面で[システム設定]をクリックします。
次の画面が表示されます。
FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、[最適化を解除する]→[OK]を順にクリックしてください。再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、再起動を実行してください。

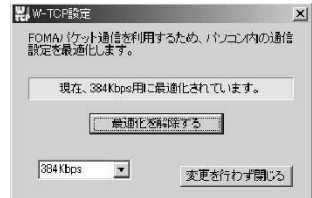
● Windows 2000の場合

1 「**Windows XPの場合**」の操作1を行う。

2 次の操作を行う。

システム設定が最適化されていない場合

● 次の画面が表示されます。
[384kbps]を選び、[最適化を行う]をクリックし、現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、再起動を実行してください。

システム設定が最適化されている場合

● 次の画面が表示されます。
FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、[最適化を解除する]→[OK]を順にクリックしてください。再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、再起動を実行してください。

接続先(APN)の設定

FOMA端末からの接続先(APN)情報の読み込み

[接続先(APN)設定]をクリックし、FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている接続先(APN)情報を読み込みます(FOMA端末が接続されていない場合は起動しません)。また、設定情報はツールバーから[ファイル]→[FOMA端末から設定を取得]を順に選んでも読み込むことができます。

接続先(APN)の追加・編集・削除

● 接続先(APN)を追加する場合

接続先(APN)設定画面で、[追加]をクリックします。

● 登録済みの接続先(APN)を編集または修正する場合

接続先(APN)設定画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選んで[編集]をクリックします。

● 登録済みの接続先(APN)を削除するには

接続先(APN)設定画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選んで[削除]をクリックします。

- 番号(cid)の1と3に登録されている接続先(APN)は削除できません(番号(cid)の3を選択して、「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります)。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先(APN)設定のバックアップや編集中の接続先(APN)設定を保存したい場合は、ツールバーの[ファイル]からの操作で、接続先(APN)設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先(APN)設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みたい場合には、ツールバーの[ファイル]からの操作で、パソコンに保存されている接続先(APN)設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先(APN)情報の書き込み

接続先(APN)設定画面で、[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックすると、表示されている接続先(APN)設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能

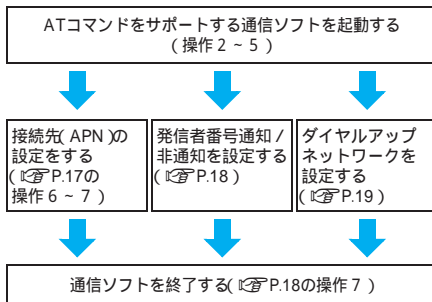
接続先(APN)設定画面で追加・編集された接続先(APN)を選んで[ダイヤルアップ作成]をクリックします。FOMA端末への書き込み確認画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。接続先(APN)への書き込み終了後、[パケット通信用ダイヤルアップの作成]画面が表示されます。
任意の接続名を入力して[アカウント・パスワードの設定]をクリックします(mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、空欄でも接続できます)。
[ユーザー名]と[パスワード]を入力して使用可能ユーザーを選んで[OK]をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面で[詳細情報の設定]をクリックし、必要な情報を登録後、[OK]をクリックしてください。
設定を入力後、[OK]→[OK]→[FOMA端末へ設定を書き込む]を順にクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

パケット通信と64Kデータ通信の設定手順

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信/64Kデータ通信を設定する方法について説明します。
設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

- ATコマンドで設定する操作は、以下のような流れになります。
- 64Kデータ通信の場合、接続先(APN)の設定はありません。

お知らせ

- パケット通信／64Kデータ通信の設定をする前に通信設定ファイルをインストールしてください(☞P.4)。
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合、お買い上げ時に設定されているため、接続先(APN)の設定は不要です。
- 発信者番号通知の設定は必要に応じて設定してください(mopera Uまたはmoperaをご利用の場合、[通知]に設定する必要があります)。お買い上げ時は、[設定なし]に設定されています。
- その他の設定は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。最大10件まで登録できます。接続先は1～10のcid(☞P.17)という番号で管理されます。お買い上げ時、cidの1番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの3番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されていますので、cid2、4～10に接続先(APN)を登録してください。

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先(APN)については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

＜例＞ Windows XPの場合

- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 **FOMA**端末をパソコンに接続する。

2 [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に選ぶ。

- ハイパーターミナルが起動します。

Windows 2000の場合

- [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に選びます。

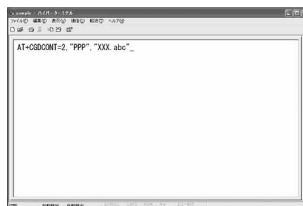
3 [名前]に接続先名など任意の名前を入力して[**OK**]をクリックする。

- 電話番号の詳細設定画面が表示されます。

4 [接続方法]から[**FOMA SH903iTV**]を選んで[電話番号]に実在しない電話番号([0]など)を仮入力して、[**OK**]をクリックする。

- 市外局番には、Windowsに設定されている値[03]などが表示されますが、接続先(APN)の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。

5 接続画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックする。

6 接続先(**APN**)を入力して⏎を押す。

- 「AT+CGDCONT=<cid>, "PPP","APN"」の形式で入力します(☞P.28)。
  <cid> ： 2、4～10までのうち任意の番号を入力します。
  "PPP"： そのまま"PPP"と入力します。
  "APN"： 接続先(APN)の名称を" "で囲んで入力します。
- [OK]と表示されると、APNの設定は完了です。
- 現在の接続先(APN)設定を確認したい場合は「AT+CGDCONT?⏎」と入力すると、接続先(APN)設定が一覧画面で表示されます。

次ページへ続く ▶▶

ATコマンドを入力しても画面に何も表示されない場合

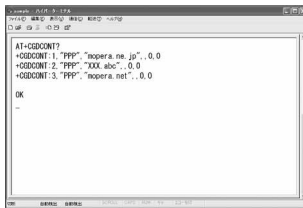
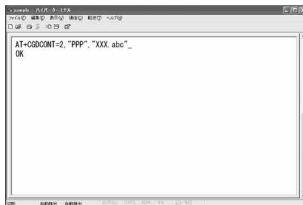
- ATE1↵
  詳しくは、P.31を参照してください。

ATコマンドで接続先(APN)設定をリセットする場合

- AT+CGDCONT=↵:　すべてのcidをリセットします
- AT+CGDCONT=<cid>↵:特定のcidのみリセットします

リセットした場合、<cid>=1は「mopera.ne.jp」(初期値)、<cid>=3は「mopera.net」(初期値)に戻り、<cid>=2、4～10の設定は未登録になります。

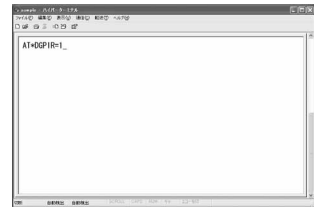
ATコマンドで接続先(APN)設定を確認する場合

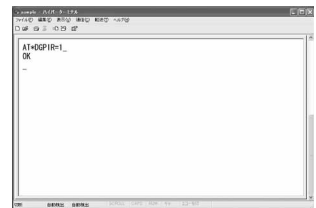
- AT+CGDCONT?↵
  詳しくは、P.28を参照してください。

7 [OK]が表示されていることを確認し、[ファイル]メニューから[ハイパーターミナルの終了]を選ぶ。

- ハイパーターミナルが終了します。
- [セッション×××を保存しますか？]と表示されますが、保存する必要はありません。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

1 **P.17**「接続先(**APN**)の設定」の操作１～５を行う。

2 パケット通信時の発信者番号の通知(**186**)／非通知(**184**)を設定する。

- 「AT*DGPIR=<n>」の形式で入力します(☞P.27)。
  AT*DGPIR=1↵:
  　パケット通信確立時、接続先(APN)に「184」を付けて接続します。
  AT*DGPIR=2↵:
  　パケット通信確立時、接続先(APN)に「186」を付けて接続します。

3 [**OK**]が表示されたことを確認する。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」(通知)／「184」(非通知)を付けることができます。
*DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」(通知)／「184」(非通知)の設定を行った場合は、次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定(<cid>=1の場合)	*DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
*99***1#	設定なし(初期値)	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184*99***1#	設定なし(初期値)	非通知(ダイヤルアップネットワークの「184」が優先される)
	非通知	
	通知	
186*99***1#	設定なし(初期値)	通知(ダイヤルアップネットワークの「186」が優先される)
	非通知	
	通知	

- 「186」(通知)／「184」(非通知)を[設定なし](初期値)に戻すには、「AT*DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を[通知]に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークを設定する

接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ 接続先について

パケット通信では、あらかじめ接続先(APN)設定をしておきます。接続先(APN)設定で1〜10の管理番号(cid)に接続先(APN)を登録しておけば、その管理番号を指定してパケット通信ができます。接続先(APN)設定とはパソコンでパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、通常の電話帳と比較すると次のようになります。

電話帳の登録	パケット通信の設定
登録番号(メモリ番号)	1〜10の管理番号(cid)
相手の名前	接続先の名前(接続先(APN))
相手の電話番号	*99***<cid>#

たとえば、moperaの接続先(APN)、「mopera.ne.jp」をcid1に登録している場合、「*99***1#」という接続先番号を指定すると、moperaに接続できます。他のcidに登録した場合も同様です。

*99***1#:　cid1に登録した接続先(APN)に接続します。*99#でも接続できます。
*99***2#:　cid2に登録した接続先(APN)に接続します。
　≀
*99***10#:　cid10に登録した接続先(APN)に接続します。

お買い上げ時、cid1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。moperaまたはmopera Uの接続先(APN)以外のインターネットサービスプロバイダや企業LANに接続する場合は、cid2、4〜10に接続先(APN)を登録してください(☞P.17)。

64Kデータ通信では、接続先にはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。

- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 64Kデータ通信をご利用の場合のアクセスポイントの電話番号は、mopera Uをご利用の場合「*8701」、moperaをご利用の場合「*9601」です。
- パケット通信をご利用の場合の接続先番号は、mopera Uをご利用の場合「*99***3#」、moperaをご利用の場合「*99***1#」です(お買い上げ時)。

■ Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先(APN)とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

＜例＞　<cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合

- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

1 [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする。

- ネットワーク接続画面が表示されます。

2 [ネットワークタスク]の[新しい接続を作成する]をクリックする。

- 新しい接続ウィザード画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

- ネットワーク接続の種類を選ぶ画面が表示されます。

4 [インターネットに接続する]を選んで[次へ]をクリックする。

- 準備画面が表示されます。

5 [接続を手動でセットアップする]を選んで[次へ]をクリックする。

- インターネット接続画面が表示されます。

6 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する]を選んで[次へ]をクリックする。

- デバイスの選択画面が表示されます。

7 [モデム－**FOMA SH903iTV(COMx)**]を選んで[次へ]をクリックする。

- 「x」には数字が入ります。
- 接続名画面が表示されます。
- [FOMA SH903iTV]以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

8 [**ISP**名]に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする。

- ダイヤルする電話番号画面が表示されます。
- [ISP名]とは、インターネットサービスプロバイダの名称です。

次ページへ続く ▶▶

9 [電話番号]に接続先の番号を入力して[次へ]をクリックする。

- インターネットアカウント情報画面が表示されます。
- ここでは<cid>=3(mopera U)への接続のため、「*99***3#」を入力します。

10 各項目を画面例のように設定し、[次へ]をクリックする。

- 新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、プロバイダご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

11 [新しい接続ウィザードの完了]が表示されたら、[完了]をクリックする。

- 新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 設定内容を確認し、[キャンセル]をクリックする。

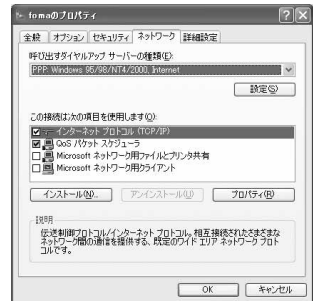
- ここではすぐに接続せずに、設定の確認のみを行います。

13 作成した接続先アイコンを選んで[ファイル]メニューの[プロパティ]を選ぶ。

- 接続先のプロパティ画面が表示されます。

14 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH903iTV]が☑になっているか確認します。☐の場合は、☑にします。また、[FOMA SH903iTV]以外のモデムの☑を☐にします。
- [ダイヤル情報を使う]が☐になっていることを確認します。☑の場合は、☐にします。

15 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目の設定を確認し、[設定]をクリックする。

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet]に設定します。
- [この接続は次の項目を使用します]の欄は、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみを☑にします。[QoSパケットスケジューラ]は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。
- PPP設定画面が表示されます。
- ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

次ページへ続く ▶▶

16 すべての項目を☐にし、[**OK**]をクリックする。

- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

17 [プロパティ]の画面で[**OK**]をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.23を参照してください。

Windows 2000でダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows 2000では「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

＜例＞ <cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合

- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

1 [スタート]メニュー→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする。

- ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックする。

- 所在地情報画面が表示されます。
- この画面は[新しい接続の作成]をはじめてダブルクリックしたときに表示されます。
  ２回目以降の場合は、操作５へ進みます。

3 [市外局番]を入力して[**OK**]をクリックする。

- 電話とモデムのオプション画面が表示されます。

4 [**OK**]をクリックする。

- ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする。

- ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 [インターネットにダイヤルアップ接続する]を選んで[次へ]をクリックする。

- ウィザードの開始画面が表示されます。

7 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(**LAN**)を使って接続します]を選んで[次へ]をクリックする。

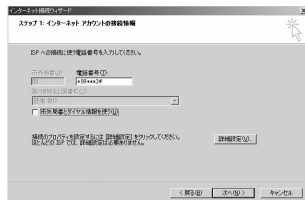
- インターネットの選択画面が表示されます。

8 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]を選んで[次へ]をクリックする。

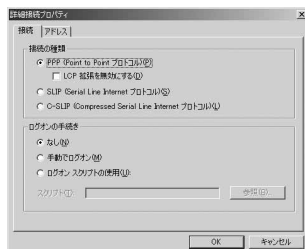
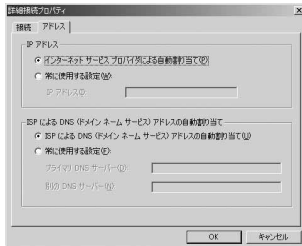
- モデムの選択画面が表示されます。

9 [インターネットへの接続に使うモデムを選択する]が[**FOMA SH903iTV**]に設定されていることを確認し、[次へ]をクリックする。

- インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。
- [FOMA SH903iTV]に設定されていない場合は、[FOMA SH903iTV]に設定してください。
- [FOMA SH903iTV]以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

10 [電話番号]に接続先の番号を入力して[詳細設定]をクリックする。

- 詳細設定プロパティの接続画面が表示されます。
- [市外局番とダイヤル情報を使う]が☐になっていることを確認します。☑の場合は☐にします。

11 [接続]タブの各項目を画面例のように設定する。

次ページへ続く

12 [アドレス]タブをクリックし、各項目を画面例のように設定する。

- ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

13 [OK]をクリックする。

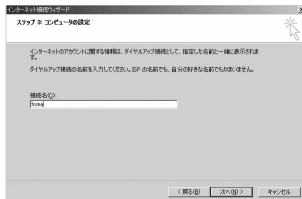
- インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 [次へ]をクリックする。

- インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

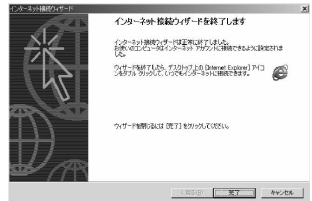
15 各項目の設定を確認し、[次へ]をクリックする。

- コンピュータの設定画面が表示されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。空欄のまま[次へ]をクリックすると[ユーザー名]と[パスワード]それぞれに確認の画面が表示されますので[はい]をクリックしてください。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、プロバイダご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

16 [接続名]に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする。

- e-mailアカウントの設定画面が表示されます。

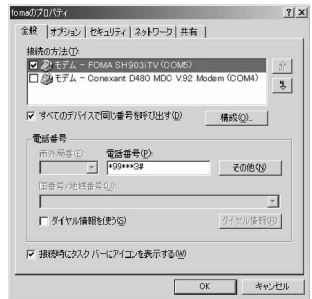
17 [いいえ]を選んで[次へ]をクリックする。

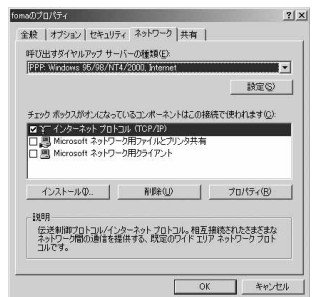
- インターネット接続ウィザードの終了画面が表示されます。

18 [完了]をクリックする。

- ネットワークとダイヤルアップ接続画面に戻ります。

19 作成した接続先アイコンを選んで[ファイル]メニューの[プロパティ]を選ぶ。

- 接続先のプロパティ画面が表示されます。

20 [全般]タブの各項目の設定を確認する。

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH903iTV]が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。また、[FOMA SH903iTV]以外のモデムの☑を□にします。
- [ダイヤル情報を使う]が□になっていることを確認します。☑の場合は□にします。

21 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目の設定を確認する。

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet]に設定します。
- コンポーネントは[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみを☑にします。

次ページへ続く ▶▶

22 [設定]をクリックする。

- PPPの設定画面が表示されます。

23 すべての項目を□にし、[OK]をクリックする。

- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

24 [OK]をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.23を参照してください。

ダイヤルアップ接続する

＜例＞ Windows XPでダイヤルアップ接続する場合

- Windows 2000をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 FOMA端末をパソコンに接続する。

2 [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

3 接続先のアイコンをダブルクリックする。

- 接続画面が表示されます。
- 接続先のアイコンを選んで[ファイル]メニューの[接続]を選んでも、接続画面が表示されます。

4 各項目を確認し、[ダイヤル]をクリックする。

- 接続先へ接続されます。
- [ダイヤル]には「ダイヤルアップネットワークを設定する」(☞P.19)で設定した電話番号が表示されます。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でも接続できます。

■ 切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

1 タスクトレイの[ ]をクリックし、[切断]をクリックする。

- 接続が切断されます。

データの送受信(OBEX)について

FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する

- FOMA端末は、データ通信用のプロトコルとして、OBEXを持っています。本データ通信(OBEXによるデータの送受信)を使ってパソコンとの間で電話帳、電話番号表示の所有者情報、スケジュール、ToDoリスト、送信メール(SMS含む)、受信メール(SMS含む)、未送信メール(SMS含む)、テキストメモ、メロディ、マイピクチャ、i モーション、マイドキュメント、ブックマークのデータを送受信できます。また、FOMA SH903iTVには赤外線通信機能が搭載されています。赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末やパソコンなどと電話帳や受信メールなどのデータを送信したり、受信したりできます。また、microSDメモリーカード経由でもデータを転送できます。
- FOMA端末では、次の３通りのデータ送信が可能です。
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを１件ずつ送信する(１件書き込み)
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを一括して送信する(全件書き込み)
  - ■ FOMA端末からパソコンにデータを一括して送信する(全件読み出し)

次ページへ続く

● データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、ｉモードやｉモードメール、パケット通信、プッシュトークなどはできません。
● データの送受信終了後、しばらく[圏外]と表示される場合があります。

お知らせ

● FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
● FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
● パソコンの電源についても確認してください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
● 待受画面の状態でデータ通信を行ってください。待受画面に動画／ｉモーションを設定している場合は、動画／ｉモーションの再生を停止してからデータ通信を行ってください。
● 通信中(音声通話やテレビ電話、データ通信、プッシュトーク)にデータの送受信はできません。また、データの送受信中には他の通信もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信が中止されます。
● FOMAカード内の電話帳は送信できません。
● 赤外線通信時、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ、静止画、ｉモーションやPDFデータはパソコンに送信できません。ただし、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画は、ファイル制限が[あり]に設定されていても送信されます。
● ｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信されます。
● 本文と合わせて100Kバイトを超えるメールの添付データは削除して送信されます。
● オールロック、またはセルフモードが設定されている場合、電話帳などのデータの送受信はできません。機能別ロックが設定されている場合、ロックされている機能のデータの受信はできません。
● ダイヤル発信制限が設定されている場合、電話帳のデータは送受信できません。
● データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。また、データの大きさによってはFOMA端末で受信できない場合があります。
● 電話帳のデータを受信する場合、1件受信のときは、メモリ番号[010]から、全件受信のときは、メモリ番号の情報に従って登録します。
● 電話帳を全件受信すると、電話番号表示に登録されている所有者情報(1件目の電話番号を除く)も上書きされます。
● 電話帳はメモリ番号順に送信されます。
● 全件送信を行うと電話番号表示の所有者情報は電話帳と一緒に送信されます。
● 2Mバイトを超えるPDFは送信できません。

データの送受信(OBEX)に必要な機器

● データの送受信を行うには、OBEXに準拠したデータ転送用のソフトをインターネットからダウンロードし、パソコンにインストールする必要があります。データ転送用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。また、あらかじめFOMA SH903iTV通信設定ファイルのインストール(☞P.4～P.5)が必要です。
● FOMA端末とパソコンの接続には、FOMA USB接続ケーブルが必要です。

お知らせ

● FOMA端末のデータの送受信(OBEX)機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

データを1件送信する(1件書き込み)

● パソコンからFOMA端末へデータを1件ずつ送信します。
● FOMA端末からパソコンへ1件ずつ送信することはできません。
● データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信(1件書き込み)の操作を行う。

● データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

● 電話帳のデータを1件ずつ受信するとき(パソコンからFOMA端末(本体)へ送信するとき)は電話帳のメモリ番号[010]～[749]の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。[010]～[749]がすべて登録されているときは、[000]～[009]の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。
● 電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときや750件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

データを全件送信する(全件書き込み／全件読み出し)

● パソコンとFOMA端末の間で一括書き込みと一括読み出しができます。
● 「全件書き込み」あるいは「全件読み出し」の操作では、データ転送用のソフトとFOMA端末の両方で認証パスワードを入力する必要があります。
● データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

次ページへ続く ▶▶

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（全件転送）の操作を行う。

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
- 認証パスワードは４桁の数字を入力してください。

2 FOMA端末で、端末暗証番号（４～８桁の数字）と認証パスワード（４桁の数字）を入力する。

3 データ送信を開始する。

お知らせ

- パソコンからFOMA端末への全件書き込みを行うとFOMA端末のデータはすべて書換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されますので、ご注意ください。シークレット登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。
- パソコンからFOMA端末への全件書き込みの途中で送信エラーが起こると、送信中のFOMA端末のすべてのデータが消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA端末の電池残量、パソコンの電源の状態を確認してください。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- 相手の機器によっては、通信状況（バー表示）が表示されないことがあります。

ATコマンド一覧

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ずATを付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず１行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、160文字（AT含む）まで入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作をすると、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを１台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- AT&D1に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、ATO↵と入力します。

※ USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

[M]：FOMA SH903iTV Modem Portで使用できるATコマンドです。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT [M]	—	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することでFOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT⏎ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT%V⏎ Ver1.00 OK
AT&C<n> [M]	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0：回路CDを常にON n=1：回路CD信号は回線接続状態に従って変化（お買い上げ時） &C1に設定する場合は、接続完了時のCONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」にします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号を「OFF」にします。	AT&C1⏎ OK
AT&D<n> [M]	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号が「ON」から「OFF」に変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモード状態になる n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード状態になる（お買い上げ時）	AT&D1⏎ OK
AT&E<n> [M]	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：DTEシリアル通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E0⏎ OK
AT&F<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をお買い上げ時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。※2	n=0のみ指定可能（省略可）	AT&F⏎ OK
AT&S<n> [M]	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にDR信号ON	AT&S0⏎ OK
AT&W<n> [M]	現在の設定値をFOMA端末に記憶します。※2、※5	n=0のみ指定可能（省略可）	AT&W⏎ OK
AT*DANTE [M]	アンテナ本数をTEに表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DANTE:<m> <m> 0：FOMA端末にて圏外と表示される状態 1：FOMA端末にてアンテナ本数0本もしくは1本の状態 2：FOMA端末にてアンテナ本数2本の状態 3：FOMA端末にてアンテナ本数3本の状態	AT*DANTE⏎ *DANTE:3 OK
AT*DGANSM=<n> [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼のみ有効です。※2	n=0：着信拒否設定および着信許可設定を[OFF]に設定（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定を[ON]に設定 n=2：着信許可設定を[ON]に設定	AT*DGANSM=0⏎ OK AT*DGANSM?⏎ *DGANSM:0 OK
AT*DGAPL=<n>[,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信許可リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>=0）あるいは削除（<n>=1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加） n=1：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除）	AT*DGAPL=0,1⏎ OK AT*DGAPL?⏎ *DGAPL:1 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT*DGARL=<n> [,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信拒否リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>=0）あるいは削除（<n>=1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0 ：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加） n=1 ：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストより削除）	AT*DGARL=0,1⏎ OK AT*DGARL?⏎ *DGARL:1 OK
AT*DRPW [M]	FOMA端末から通知される受信電力値を表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DRPW:<m> m：0～75（受信電力の値）	AT*DRPW⏎ *DRPW:0 OK
AT*DGPIR=<n> [M]	本コマンドの設定は、発信時に有効です。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。※2	n=0 ：パケット通信確立時、接続先（APN）にそのまま接続（お買い上げ時） n=1 ：パケット通信確立時、接続先（APN）に184を付けて接続 n=2 ：パケット通信確立時、接続先（APN）に186を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で186（通知）／184（非通知）を設定した場合については、P.18の表を参照してください。	AT*DGPIR=0⏎ OK AT*DGPIR?⏎ *DGPIR:0 OK
+++ [M]	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は、1秒の固定値です。※2	―	（通信中） +++（表示は見えない） OK
AT+CACM=[<passwd>] [M]	UIMに記録される累積課金値をリセットします。※2	本コマンドで、パスワードが一致した場合は、UIMに記録される累積課金値をリセットします。 <passwd>：SIM PIN2 ※ ストリングパラメータであり、入力時は "で囲みます。	AT+CACM="0123"⏎ OK
AT+CAOC=[<mode>] [M]	現在の課金値の問い合わせを行います。※2	<mode> 0：現在の呼の課金を問い合わせる 本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CAOC:"<ccm>"	AT+CAOC⏎ +CAOC:"00001E" OK
AT+CBC [M]	バッテリー状態の問い合わせを行います。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CBC:<bcs>,<bcl> <bcs> 0：バッテリーによりFOMA端末が動作している状態 1：充電中 2：バッテリー未接続状態 3：減電中 <bcl> 0～100（バッテリー残量）	AT+CBC⏎ +CBC:0,80 OK
AT+CBST=[<speed>[,<name>[,<ce>]]] [M]	発信時のベアラサービスの設定を行います。AT+FCLASS=<n>コマンド（☞P.30）が0の時のみ有効です。※1	<speed> 116：64Kデータ通信（お買い上げ時） <name> 1：固定値 <ce> 0：固定値	AT+CBST=116,1,0⏎ OK
AT+CEER [M]	直前の通信の切断理由を表示します。※2	「切断理由一覧」を参照（☞P.34）。	AT+CEER⏎ +CEER:36 OK

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照（☞P.34）。	「ATコマンドの補足説明」を参照 （☞P.34）。
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照（☞P.34）。	「ATコマンドの補足説明」を参照 （☞P.34）。
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照（☞P.35）。	「ATコマンドの補足説明」を参照 （☞P.35）。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT+CGMR⏎ 12345678901234 56 OK
AT+CGREG=<n> [M]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知されている内容は圏内／圏外です。※1	<n> 0：設定しない（お買い上げ時） 1：設定する AT+CGREG=1に設定すると、"+CGREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは、0,1,4,5をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏内（visitor）	AT+CGREG=1⏎ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?⏎ +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） +CGREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。※2	—	AT+CGSN⏎ 123456789012345 OK
AT+CLIP=<n> [M]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	<n> 0：リザルトを出さない（お買い上げ時） 1：リザルトを出す 「AT+CLIP?」のとき、+CLIP:<n>,<m>を表示します。 <m> 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0⏎ OK AT+CLIP?⏎ +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=<n> [M]	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手側に通知するかどうかを設定します。※2	<n> 0：サービスご契約の設定どおり 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?のとき、 +CLIR：<n>,<m>を表示します。 <m> 0：CLIRは起動していない（常時通知） 1：CLIRは常時起動している（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリ・モード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリ・モード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0⏎ OK AT+CLIR?⏎ +CLIR:2,3 OK
AT+CMEE=<n> [M]	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 <n> 0：リザルトコードを使用せずに"ERROR"を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは以下のように表示されます。 +CME ERROR:xxxx xxxxには数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」（☞P.34）	AT+CMEE=0⏎ OK AT+CNUM⏎ ERROR AT+CMEE=1⏎ OK AT+CNUM⏎ +CME ERROR:10

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CNUM [M]	FOMA端末の自局番号を表示します。※2	number：電話番号 type　：129もしくは145 129 ：国際アクセスコード+を含まない 145 ：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM⏎ +CNUM:,"+8190 12345678",145 OK
AT+COPS=[<mode>[,<format>[,<oper>]]] [M]	接続する通信事業者を選択します。※2	<mode> 0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） 1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） 2：通信事業者との接続を解除（切断）する ※非サポートとなります。 3：マッピングを行わない 4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） ※非サポートとなります。 <format> 2：固定値 <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示します。 書式は以下の通り。 Digit 1 of MCC…octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC…octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC…octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC…octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC…octet 3 bits 5 to 8. Digit 1 of MNC…octet 3 bits 1 to 4.	AT+COPS =1,2,"44F001" ⏎ OK （MCC:440MNC:10に接続）
AT+CPAS [M]	FOMA端末のアクティビティー状態問い合わせを行います。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CPAS:<pas> <pas> 0：ATコマンド送受信可能 1：ATコマンド送受信不可能（+CPAS:1のリザルトを送出しない） 2：不明 3：ATコマンド送受信可能かつ着信中 4：ATコマンド送受信可能かつ通信中	AT+CPAS⏎ +CPAS:0 OK
AT+CPIN=<pin>[,<newpin>] [M]	UIMに関するパスワード（PIN1,PIN2）の入力を行います。※2	<pin> PIN1入力待ち状態ではPIN1を入力（<pin>パラメータのみ入力） PIN2入力待ち状態ではPIN2を入力（<pin>パラメータのみ入力） PUK1入力待ち状態ではPUK1を入力 PUK2入力待ち状態ではPUK2を入力 ※ストリングパラメータであり、入力時は" "で囲みます <newpin> PUK1入力待ち状態では新しいPIN1を入力 PUK2入力待ち状態では新しいPIN2を入力 ※ストリングパラメータであり、入力時は" "で囲みます	AT+CPIN?⏎ +CPIN:SIM PIN1 OK （PIN1入力待ち状態を表している） AT+CPIN="1234" ⏎ OK AT+CPIN?⏎ +CPIN:SIM PUK1 OK （PUK1入力待ち状態を表している） AT+CPIN="12345678","1234"⏎ OK
AT+CR=<mode> [M]	回線接続時に“CONNECT”のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1 パケット通信のときは、“GPRS”と表示され64Kデータ通信のときは“SYNC”と表示されます。	<mode> 0 ：回線接続時に表示しない（お買い上げ時） 1 ：回線接続時に表示する	AT+CR=1⏎ OK ATD*99***1# +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=<n> [M]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0 ：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1 ：拡張リザルトコードを使用する	AT+CRC=0⏎ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CREG=<n> [M]	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。※1	AT+CREG=1に設定すると、"+CREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは0,1,4,5をサポートします。 <n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり <stat> 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏内（visitor）	AT+CREG=1⏎ OK （通知ありに設定） AT+CREG?⏎ +CREG:1,0 OK （圏外を意味している） +CREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）
AT+CUSD=[<n>[,<str>[,<dcs>]]] [M]	付加サービスなどに関し、網側の設定を変更します。※1	<n> 0：中間リザルトを応答せず、OKを応答する（お買い上げ時） 1：中間リザルトを応答する <str> サービスコード ※ 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。 <dcs> 0：固定値	AT+CUSD=0,"xxxxxx"⏎ OK
AT+FCLASS=<n> [M]	モード設定を行います。※1	<n> 0:データ（固定値）	AT+FCLASS=0⏎ OK
AT+GCAP [M]	FOMA端末の能力リストを表示します。※2	－	AT+GCAP⏎ +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI [M]	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。※2	－	AT+GMI⏎ SHARP OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名の略称（FOMA SH903iTV）がアルファベットおよび数字で表示されます。※2	－	AT+GMM⏎ FOMA SH903iTV OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	－	AT+GMR⏎ Ver1.00 OK
AT+IFC=<n,m> [M]	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（<n>） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（<m>） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2⏎ OK
AT+WS46=<n> [M]	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。着信に影響を与えるものではありません。※1	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22⏎ OK
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。※2	－	A/ OK
ATA [M]	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。※2	パケット着信中には、「ATA184⏎」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186⏎」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA⏎ CONNECT

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATD [M]	発信処理を行います。※2、※3	● パケット通信ATD*99***<cid>#↵ ATD*99#を入力した場合： <cid>=1（お買い上げ時）を用います（<cid>の入力を省略した場合は、<cid>=1になります）。 ATD184*99***<cid>#で始まる書式を入力した場合： 指定した<cid>に規定した接続先（APN）に対して"184"が付加されます（発信者番号通知ありの"186"でも同様の操作ができます）。 ● 64K データ通信 ATD［パラメータ］、［電話番号］↵ 相手側の電話番号に、0〜9、*、#、+、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）以外を設定した場合は、発信できません。　　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD*99***1#↵ CONNECT
ATE<n> [M]	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0 ：エコーバックなし n=1 ：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定してください。	ATE1↵ OK
ATH [M]	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。※2	—	（通信中） +++（表示は見えない） OK ATH↵ NO CARRIER
ATI<n> [M]	確認コードを表示します。※2	n=0 ：NTT DoCoMo n=1 ：製品名の略称を表示（FOMA SH903iTV） n=2 ：製品のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示 n=3 ：ACMP信号の各要素を表示 n=4 ：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO [M]	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。※2	—	ATO↵ CONNECT
ATQ<n> [M]	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0 ：リザルトコードを表示する（お買い上げ時） n=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0↵ OK
ATV<n> [M]	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0 ：リザルトコードを数字表記で表示 n=1 ：リザルトコードを英文字表記で表示（お買い上げ時）	ATV1↵ OK
ATX<n> [M]	接続のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1	ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時のCONNECT表示に速度を表示するかどうかを設定します。 n=0 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2 ：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3 ：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4 ：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1↵ OK
ATZ<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※2、※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。 n=0のみ指定可能（省略可）	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS0=<n> [M]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0 ：自動着信しない（お買い上げ時） n=1～255　：指定したリング数で自動着信する	ATS0=0↵ OK
ATS2=<n> [M]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=<n> [M]	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=13）。	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=<n> [M]	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、CRキャラクタの後ろに付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=10）。	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=<n> [M]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時n=8）。	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=<n> [M]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=10↵ OK
ATS8=<n> [M]	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n=0 ：ポーズしない n：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=<n> [M]	自動切断の遅延時間（秒）を設定します（1/10秒）。※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK
ATS30=<n> [M]	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0～255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=<n> [M]	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0 ：*アスタリスク n=1 ：/スラッシュ （お買い上げ時） n=2 ：\マーク あるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=<n> [M]	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0 ：#シャープ n=1 ：%パーセント（お買い上げ時） n=2 ：&アンド	ATS104=0↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT\S [M]	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。※2	—	AT\S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 \V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT\V<n> [M]	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、ATX<n>コマンド（☞P.31）がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT\V1↵ OK

※１　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されます。
※２　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
　　　AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。
※３　ATDN↵やATDL↵でリダイヤル発信ができます。
※４　AT&Wコマンドを使用する前にATZコマンドを実行すると、最後に記憶した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。
※５　AT&WコマンドでFOMA端末に記憶された設定値は、電源を切ると不揮発データとしてFOMA端末に格納されます。

切断理由一覧

パケット通信

値	理　由
27	接続先（APN）が存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するＩＣカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]⏎

パラメータ説明

<cid>*　：1～10
<APN>*　：任意
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には「mopera.ne.jp」が、<cid>=3には「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。<APN>は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

実行例

「abc」という接続先（APN）名を登録する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"⏎
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=<cid>
指定された<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGDCONT?
現在の設定値を表示します。

コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている４パターンが設定できます。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQMIN=[<cid> [,, <Maximum bitrate UL> [, <Maximum bitrate DL>]]]⏎

パラメータ説明

<cid>*　：１～10
<Maximum bitrate UL>*：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>*：なし（初期値）または384
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=１には「mopera.ne.jp」が、<cid>=3には「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。［Maximum bitrate UL］および［Maximum bitrate DL］では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。［なし（お買い上げ時）］に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますので、ご注意ください。

実行例

以下の４パターンのみ設定できます。（１）の設定が各cidに初期値として設定されています。
（１）　上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
AT+CGEQMIN=2⏎
OK

次ページへ続く ▶▶

（2） 上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384↵
OK

（3） 上り64kbps／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64↵
OK

（4） 上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=
すべての<cid>の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

概要

PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている１パターンのみで初期値としても設定されています。
AT&Wコマンドで FOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQREQ=[<cid>]↵

パラメータ説明

各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
<cid>*：１～10
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には「mopera.ne.jp」が、<cid>=3には「mopera.net」が初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド

実行例

<cid>=3の場合
AT+CGEQREQ=3↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=
すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手側と接続しました。
2	RING	着信を検出しました。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました。

次ページへ続く

お知らせ

- リザルトコードは、ATV<n>コマンド(☞P.31)がn=1に設定されている場合は英文字表記(初期値)、n=0に設定されている場合は数字表記で表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため、通信速度は表示します。ただし、FOMA端末ーPC間はFOMA USB接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- [RESTRICTION](数字:100)が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

リザルトコード表示例

ATX0が設定されている場合

AT\V<n>コマンド(☞P.33)の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例:　ATD*99***1#
CONNECT

数字表示例:　ATD*99***1#
1

ATX1が設定されている場合

- ATX1、AT\V0が設定されている場合(初期値)

接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末ーPC間の速度＞の書式で表示します。

文字表示例:　ATD*99***1#
CONNECT 460800

数字表示例:　ATD*99***1#
1 21

- ATX1、AT\V1が設定されている場合※

接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT＜FOMA端末ーPC間の速度＞PACKET＜接続先(APN)＞／＜上り方向(FOMA端末→無線基地局間)の最高速度＞／＜下り方向(FOMA端末←無線基地局間)の最高速度＞

文字表示例:　ATD*99***1#
CONNECT 460800 PACKET
mopera.ne.jp/64/384
(mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表す)

数字表示例:　ATD*99***1#
1 21 5

※ ATX1、AT\V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT\V0のみでのご利用をおすすめします。

区点コード一覧

'07.2（1版）

４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付けられている固有の番号です。
  区点コードでの入力のしかたについては、取扱説明書の「区点コードで入力する」を参照してください。
- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、何も入力されないか、またはスペースが入力されます。
- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
——ほ——										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
——ま——										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
——み——										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
——む——										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
——め——										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
——も——										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
——や——										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
——ゆ——										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
——よ——										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
——ら——										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
——り——										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
——る～れ——										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
——ろ——										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
——わ——										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奥	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			